

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	専門職短期大学の設置								
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン ヤマザキガクエン 学校法人 ヤマザキ学園								
フリガナ 大学の名称	ヤマザキドブツカンゴセンモンショクタンキダイガク ヤマザキ動物看護専門職短期大学 (Yamazaki Professional College of Animal Health Technology)								
大学の位置	東京都渋谷区松濤2-3-10								
大学の目的	「生命を生きる」を教育理念に、人間も動物も大自然の生態系の摂理の中で生かされているという思想を原点とし、動物看護に関わる基本的な理論・技術を身に付け、激化するグローバル競争における職業を担うための知識や技術の高度化・複雑化に対応する。産業界での生産年齢の急減に伴う労働力の変化にも多くの問題が指摘されている現状に鑑み、一人ひとりが企業や組織で十分に生きて行くために実践的な知識や技術を学修することの必要性に基づく質の高い専門職業人としての動物看護師を養成することを目的とする。								
新設学部等の目的	動物の生から死までのトータルライフを教育研究の対象とし、動物関連産業の成長・発展に寄与する動物看護師の職域を拡大し、産業界と飼い主（コンシューマー）を結び、高齢社会での動物（コンパニオンアニマル）の飼育・ケアに対応する実践的かつ応用的な能力を展開する人材の養成を目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	動物トータルケア学科 (Department of Animal Health Technology) 計	3年	80人	—人	240人	動物看護短期大学士（専門職）	年月第年次 平成31年4月第1年次	東京都渋谷区松濤2-3-10	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	ヤマザキ学園大学 平成30年4月名称変更 ヤマザキ学園大学→ヤマザキ動物看護大学 ヤマザキ動物専門学校 動物美容学科（廃止）（△80） ※平成30年4月学生募集停止 動物美容・トレーニング学科（新設）（80）（平成30年4月） 動物看護・美容学科（廃止）（△240） 動物美容・トレーニング学科（廃止）（△80） ※平成31年4月学生募集停止 平成31年4月名称変更 動物看護学科→動物看護・美容・トレーニング学科								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	動物トータルケア学科	講義	演習	実験・実習	計	107単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設分	動物トータルケア学科	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
		計	5人 (3人)	1人 (0人)	6人 (5人)	2人 (2人)	14人 (10人)	4人 (4人)	28人 (9人)
	既設分	該当なし	—	—	—	—	—	—	—
		計	—	—	—	—	—	—	—
合計		5人 (3人)	1人 (0人)	6人 (5人)	2人 (2人)	14人 (10人)	4人 (4人)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計						
	事 務 職 員		5 (5)	3 (3)	8 (8)						
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	1 (1)	2 (2)						
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	計		6 (6)	4 (4)	10 (10)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計						
	校 舎 敷 地	1,597.273㎡	0㎡	400.462㎡	1,997.735㎡	・ヤマザキ動物専門学校 (収容定員：80人、面積基準：校舎等を保有するに必要な面積)と共用					
	運 動 場 用 地	152.19㎡	0㎡	0㎡	152.19㎡						
	小 計	1,749.463㎡	0㎡	400.462㎡	2,149.925㎡						
	そ の 他	0㎡	251.295㎡	0㎡	251.295㎡						
合 計	1,749.463㎡	251.295㎡	400.462㎡	2,401.22㎡							
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計							
	3,241.39㎡ (2,769.09㎡)	929.12㎡ (911.31㎡)	482.75㎡ (786.62㎡)	4,653.26㎡ (4,467.02㎡)	・ヤマザキ動物専門学校 (収容定員：80人、面積基準：300㎡)と共用						
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	専門職短期大学全体					
	6室	0室	4室	1室 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)						
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専門職短期大学全体					
	動物トータルケア学科			5 室							
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	専門職短期大学全体			
	動物トータルケア学科	10,226 [649] (10,226 [649])	30 [3] (30 [3])	20 [13] (20 [13])	18 (18)	2,934 (2,662)	91 (91)				
	計	10,226 [649] (10,226 [649])	30 [3] (30 [3])	20 [13] (20 [13])	18 (18)	2,934 (2,662)	91 (91)				
図書館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			専門職短期大学全体 図書館及び体育館は ヤマザキ動物専門学校と共用			
	247.89㎡		40		16,750冊						
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	197.82㎡		-								
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	専門職短期大学全体	
		教員1人当り研究費等		230千円	230千円	230千円	- 千円	- 千円	- 千円		
		共同研究費等		1,000千円	1,000千円	1,000千円	- 千円	- 千円	- 千円		
		図書購入費	5,140千円	0千円	0千円	0千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	設備購入費	86,162千円	25,308千円	0千円	0千円	- 千円	- 千円	- 千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,430千円	1,280千円	1,280千円	- 千円	- 千円	- 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入、資産運用収入等								

既設大学等の状況	大学の名称	ヤマザキ動物看護大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	動物看護学部 動物看護学科	4	180	—	720	学士(動物看護学)	0.90	平成22年度	東京都八王子市南大沢4-7-2
	大学の名称	ヤマザキ動物専門学校							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍			
動物看護・美容学科	3	80	—	240	専門士	0.78	平成22年度	東京都渋谷区松濤2-16-5	
動物看護学科	2	40	—	80	専門士	0.62	平成21年度		
動物美容学科	2	40	—	80	専門士	0.13	平成22年度		
附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

教育課程等の概要

（動物トータルケア学科）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
① 基礎科目	生命倫理学	1前	2			○			1						兼1
	心理学	1前		2		○									兼1
	社会学	1後		2		○									兼1
	キャリアマネジメント	1後		2		○					1				兼1
	コミュニケーション論	1前		2		○									兼1
	英語 I	1通	2				○				1				
	英語 II	2前		1			○				1				
	コンピューターリテラシー（情報処理）I	1前	1				○								兼1
	コンピューターリテラシー（情報処理）II	2前		1			○								兼1
	生活とアート	2後		2		○									兼1
小計（10科目）		—	5	12	0	—	—	—	1	0	2	0	0	兼5	
② 職業専門科目	動物看護学概論	1前	2			○			1						
	動物形態機能学	1前	2			○			1						
	動物形態機能組織学	1後	2			○			1						
	動物形態機能学・組織学実習	1後	1					○			1	1	4		共同
	動物臨床看護学（基礎・内科）	1前	2			○			1						兼1 共同
	動物臨床看護学（基礎・内科）実習	1通	2					○	1						兼1 共同
	動物臨床看護学（外科）	2前	2			○					1				
	動物臨床看護学（外科）実習	2通	2					○			2				共同
	動物口腔ケア論	3前		1		○									兼1
	動物口腔ケア実習	3後		1				○							兼1
	訪問動物看護学	2前	2			○									兼1
	動物看護ソーシャルワーク	2後	2			○					1				兼1
	動物生理・繁殖学	1前	2			○			1						兼1 オムニバス
	動物病理学	1後	1			○			1						
	動物薬理学	2前	2			○			1						
	公衆衛生学	1前	2			○			1						
	動物感染症学	1後	2			○			1						
	環境生物学	2後		1		○			1						
	動物臨床検査学	1後	2			○					1				
	動物臨床検査学実習	1後	1					○			1	1	4		共同
	動物臨床栄養学	2後	2			○			1						兼1
	動物行動学	1後	2			○									兼1
	動物リハビリテーション論	3前		2		○			1		1				オムニバス
	動物人間関係学	3前	2			○					1				
	動物愛護・福祉と関連法規	3後	1			○									兼1
	伴侶動物学	1前	2			○						1			兼2 オムニバス
	動物飼育管理論	2前	2			○									兼2 オムニバス
	野生動物学	2後	1			○									兼1
	産業・実験動物学	3前	2			○									兼1
	動物トータルライフ環境論	2前	2			○									兼3 オムニバス
動物トータルライフ演習	3前		1				○			1				兼1 オムニバス	
コンパニオンアニマルケア論	1前	2			○						1			兼1 オムニバス	
コンパニオンアニマルケア実習（基礎）	1通	3						○			1	4			
コンパニオンアニマルケア実習（応用）	2通	3						○			1	4		兼1 オムニバス	
コンパニオンドッグトレーニング論	2前	2			○					1					
コンパニオンドッグトレーニング実習	2通	3						○		1		4			

教育課程等の概要

（動物トータルケア学科）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
② 職業専門科目	臨地実習1	1後・2前	1					[臨]			3	1			共同 共同 共同 共同 共同 オムニバス +共同(一部) オムニバス	
	臨地実習2	1後・2前	1					[臨]	1		3					
	臨地実習3	2後	4					[臨]	3		1	2				
	臨地実習4	3前	4					[臨]	1	1	3	1				
	臨地実習5	3後		5				[臨]	2	1	1	1				
	臨地実習6	3後		5				[臨]	1	1	2	1				
	動物実習短期留学	2・3通		2				○			2					
	研修・ボランティア活動	1・2・3通		1				○			1	1				
小計（44科目）		—	70	19	0		—		4	1	6	2	4	兼15		
③ 展開科目	ジェロントロジー	3前		2			○								兼1	
	社会福祉学	2前		2			○								兼1	
	少子高齢社会と人口問題	3前		1			○								兼1	
	高齢者心理	2後		2			○								兼1	
	死生学	3後		2			○								兼1	
	産業論	3前		2			○								兼1	
	起業論	3後		2			○								兼1	
	消費者行動分析学	3後		2			○								兼1	
	IT社会論	3後		1			○								兼1	
	情報危機管理論	3後		1			○				1				兼1	
	災害・危機管理論	3前		2			○			1					兼1	
	医療安全	3後		2			○								兼1	
小計（12科目）		—	0	21	0		—		1	0	1	0	0	兼11		
④ 総合科目	動物トータルケア総合演習1	2通	1				○			1	1	1			共同	
	動物トータルケア総合演習2	3通	1				○			1	1	1			共同	
	小計（2科目）		—	2	0	0		—		1	1	2	0	0	兼0	
合計（68科目）			—	77	52	0		—		5	1	6	2	4	兼28	
学位又は称号	動物看護短期大学士（専門職）		学位又は学科の分野				農学関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
・卒業要件 1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。 2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。 3 展開科目 選択科目15単位修得すること。 4 総合科目 必修科目2単位修得すること。 上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。 ・履修制限 1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。								1 学年の学期区分			2 学期					
								1 学期の授業期間			15週					
								1 時限の授業時間			90分					

（注）

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎 科目	生命倫理学	<p>「生命倫理学」の講義は、ヤマザキ学園が創始者山崎良寿の建学の精神のもと、基本においてきた講義要目である。「生命と命」「生と死」「死は敗北か」といった生命倫理プロパーのテーマのみならず、「青年」「恋愛と結婚」「家庭の意味」「愛の広さ：深さ」などを総じて、「人生あれこれ」全般を取り扱う。</p> <p>これら生命倫理で扱う要目をとおして、動物と人間が愛といのちにおける共生をはかることを狙っていく。</p>	
	心理学	<p>本講義では、心理学の基礎的な項目として知覚や記憶、学習、知能、感情、脳と神経、社会と個人の関係、心理的・社会的発達に関する事柄について理解すると共に、Well-being 教育、ポジティブ心理学など心理学における新しい研究事例を通し、受講者が日常生活において、また各々の人生において役立つ知識、考え方を自ら習得することを目的とする。</p> <p>授業形態においては、グループワークを取り入れること、視聴覚教材を用いることで、受講者がアクティブに参加し、自ら学修を促進する工夫を行う。</p>	
	社会学	<p>グローバル化による多面的な変化を強いられ、少子高齢化の進む現代日本社会の現状を理解する。さまざまな社会問題の事例検討を通じたマクロ的視点から、また、多様な人間関係やコミュニケーションのあり方を通じたミクロ的視点により、現代社会を多面的にとらえることを通じて、飼い主をはじめとする動物にかかわる全ての人々に対し、配慮あるかかわりの出来る職業人の養成を目的とする。</p>	
	キャリアマネジメント	<p>キャリアとは職業や地域活動など様々な活動を通じて、社会の一員として価値を生み出しながら、生涯を通して人生の価値を築いていく生き方の事である。それは人生の経験をつみながら、自身の人生を体験していく道程でもある。</p> <p>変化のスピードが加速している社会の中で、職業のあり方や個人の選択肢もますます多様化してきている傾向がある。そのような現代において、自分自身と向き合い、自分が人生に求める事や人生で達成したい事を明らかにした上で人生の長期的ビジョンをもつことはとても重要になってきている。</p> <p>本講義では講義ならびに実践ワークを通じてキャリアデザインの基礎を学ぶ。</p> <p>自分が社会にどのような価値を与えることができるのか、それらを達成するにはどのような方法があるのか、またどのような経験をつむ必要があるのかについて考え、自身が主体的に人生の舵をとり、創意工夫や自らの行動を通じてキャリアの道を切り開いていくための基本的な心構えと知識を学ぶとともに、長期的なビジョンをもった自分らしい人生設計と職業選択への取り組みができることを目指す。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	コミュニケーション論	<p>社会生活を送る上で、私達には良好な人間関係の構築が重要である。片方が何らかの意思伝達を発信し、それを他方が受けて応える事でコミュニケーションは成立する。そして、その意思疎通は言語で行われるバーバルコミュニケーションと表情・立ち居振る舞い・身嗜み・声など人間の五感によるノンバーバルコミュニケーションに及ぶ。</p> <p>本講義では、前半は伝達発信者に焦点を当て言語的及び非言語的コミュニケーション両者の基礎を学ぶ。後半では、対人コミュニケーションの基本が相手の話をよく聴くことにあることから、傾聴について学ぶ。</p> <p>講義に続いてグループディスカッション・実技等で、学生に「良好なコミュニケーション」を実感してもらい、効果的にコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>最後に、心理学的側面からのコミュニケーションについても考察する。</p>	
	英語 I	<p>日常の身近な話題について、英語で理解し表現するコミュニケーション能力を養うことを主たる目標とする。日常生活において英語を使えるようにするためにも、日常での基本的な語彙、文法及び英語表現の知識の習得は不可欠である。「聞く」「読む」「話す」「書く」という英語の4技能の全てを用いたアクティビティを積極的に行い、日常で使われる実践的な語彙、文法及び定型表現の習得を目指す。</p>	
	英語 II	<p>生活の場面で英語の実践的な運用能力の習得を目標とする。「英語 I」で学んだ日常で使用される英語表現をさらに発展させ、生活の場面で実際に英語を使う場面を想定し、そこで必要とされる英語表現を、ロールプレイやグループワークを通して習得する。「聞く」「読む」「話す」「書く」という英語の4技能の全てを総合的に訓練し、生涯にわたり必要とされる英語の運用能力を有する人材を養成する。</p>	
	コンピューターリテラシー (情報処理) I	<p>本演習では、コンピューターのリテラシー (情報処理能力) を高めるためにコンピューターの歴史、コンピューターや OS の動作原理を理解した上で、ファイルやファイルシステムの種類と操作方法、コンピューターやネットワークへの認証の重要性を学ぶ。</p> <p>次にインターネットの原理とウェブブラウザの動作原理を理解した上で、情報検索、インターネット上で提供されている無料サービスの使用方法を学ぶ。さらにデータベースの種類や構造を理解した上で、データの整理方法を学ぶ。また、効果的なプレゼンテーションの方法やコンピューターのセキュリティ等を学ぶ。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ	<p>本演習では、コンピューターのリテラシー（情報処理能力）をさらに高めるためにインターネットを利用したサービス、ウェブサイトの動作原理と構造を理解した上で、ウェブサイトの構築方法、マークアップ言語として有名なHTML、CSSの使用法、ウェブによる情報発信の活用事例、基礎的な作成方法について学ぶ。</p> <p>また、社会に普及し始めているAI（人工知能）、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、仮想通貨などによって、社会がどのように変化しているのか、さらに、これらの技術が発展すると、将来、社会はどのように変革していくのか等、最新技術の概要について学びながら、グループディスカッションを通してコンピューター社会について考察する。</p>	
	生活とアート	<p>人間がどのようにして生活の中で芸術作品を生み出してきたかを考察することで、芸術が人間生活に果たす役割を学修する。そのために美術を中心に、古代から現代までのモニュメンタルな芸術作品や芸術家を取り上げ、美術史学の観点から講義をする。また通史が自然と理解できるよう、年代順に講義内容を構成している。</p> <p>芸術は人間の生活や精神を豊かにするものである。この講義を通して美術の見方や芸術への興味・関心を養うとともに、生涯にわたる教養を身につけることを目的とする。</p>	
職業専門科目	動物看護学概論	<p>動物看護学は新しい分野であることから、学生にはまず、看護学の本質を理解させる必要がある。特に、動物看護学とヒトの看護学の共通性と相違を比較して、動物看護学の重要性和特殊性を認識させると共に、獣医臨床における動物看護師の必要性を説く。さらに、動物看護学が実践的学問として重要な位置を占めることを教育するために、疾病とその予防に関わる看護を中心とした教育方法を取り入れ、“病気の動物を看護する”および“病気にさせないための看護“という流れの中で、動物看護の方法を教授する。</p>	
	動物形態機能学	<p>動物の正常な体を構成する骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、生殖器系、内分泌系、脈管系、神経系、感覚器について主要な器官の肉眼的構造を理解し、生きるために必要な生体の恒常性維持と生命現象とは何か学ぶ。動物種の違いによる機能の差異について理解を深める。</p> <p>動物の体・構成器官別の名称や生理学的な役割について学ぶ。正常な動物の肉眼的な各種器官の特徴について学び、それらが相互に関係しながら生命維持を果たすことを学ぶ。</p> <p>ワークシートにより自ら色分けをさせ、相互関係について理解させる。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物形態機能組織学	生物体の正常な形態と構造を理解した上で、細胞の機能を学ぶ細胞学とその組織を形態学的に学ぶことにより狭義の組織学を理解することを目的とする。顕微鏡像を用いて、動物の正常な組織を観察させ、細胞や器官の構造を理解させることにより、生命現象の根幹について興味を導き出す。解剖学的な構造と組織が担う役割について正しく理解することにより、動物臨床現場において正常～疾病時における病的变化を考えた動物看護に必要な大切な予備知識を学ばせる。	
	動物形態機能学・組織学実習	動物形態機能学の講義に合わせて、健康な動物の組織、機能についてミクロレベルの理解を深める。光学顕微鏡の操作に慣れて、組織観察、スケッチを行う。器官と組織の基本構造に関するイメージングを持たせることにより、検査や治療の意義を考えさせる。	共同方式
	動物臨床看護学(基礎・内科)	動物臨床看護学の導入となる根幹科目で、これからの動物の臨床看護を学ぶ上で必要な基本的な知識と技術理論を総括的に学修する。動物臨床看護で要求される飼い主への対応、礼節から始まり動物の形態、機能および動物の観察の仕方に次いで、症状別、緊急時の看護を学ぶ。さらに内科疾患として腫瘍性疾患、感染症、代謝疾患に対する看護、および、それらの診断治療に必要な一般身体検査、血液検査、血液生化学検査尿検査、糞便検査についても修得する。	
	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	動物臨床看護の現場における基礎的な動物看護技術の修得を目標とし実習を行う。 衛生管理に始まり、犬を用いた保定法や一般身体検査、検体を用いた糞便検査や尿検査、血液検査、分泌物検査等各種検査方法、薬剤を用いた調剤、投薬、注射等を学び、さらに、内科的疾患に対する看護手法を修得する。	共同方式
	動物臨床看護学(外科)	外科疾患の症例を示しながら解説し、その原因と症状、特徴など示すとともに、これらの疾患に対して、必要な検査方法、ならびに、外科的治療法について講義する。 各講義では、臨床現場で実際に遭遇する頻度の高い疾患や、緊急性の高い疾患、避妊去勢などの予防的手術など、重要と思われる外科手術の例を主に取り上げ、それぞれの疾患を概説するとともに、病態に基づき看護の知識と実践について教授する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物臨床看護学（外科）実習	術前準備、術野の消毒法、滅菌操作、術中のモニター管理、麻酔管理、補助業務、各種医療器の保守管理について、より実践的な内容で実習を行う。 また、手術器具の名称・使用法の修得し、術中の助手および器具出しなど動き方、縫合法や結紮法、術後管理についても教授し、実技を行う。	共同方式
	動物口腔ケア論	動物の口腔の形態や機能を確認したうえで、口腔疾患について解説するとともに、歯周病の治療法や予防法に関わる必要器具や器材の準備、実際の手技等、動物看護師が行う口腔ケアの方法について具体的に講義する。 予防歯科学的観点から、動物看護師が行う口腔ケアの知識や看護技術を修得する。 また、口腔ケアにおける動物看護師の役割も考える。	
	動物口腔ケア実習	動物口腔ケア論に基づき、動物の口腔の形態や機能について標本等の肉眼および顕微鏡観察で知識を深め、それらの知識をもとに、歯周病の治療法や予防法に関わる必要器具や器材の準備から使用方法、メンテナンスおよび片付けまで、実際の手技や手順も学びながら、動物看護師が行う口腔ケア（スケーリングやブラッシング）について実習を行う。 また、口腔ケアの飼い主指導も考える。	
	訪問動物看護学	小動物医療の進歩と、飼い主の予防や診療への関心の高さにより、コンパニオンアニマルの寿命が伸び、高齢動物が増えている。長期入院が動物へのストレスになることが実証されているが、諸事情により在宅でのケアが困難である。看護や介護に必要な分野を幅広く学び、その目は家族が直面する不安やストレスの軽減にも向けなくてはならない。本講義では、常に動物とその家族に寄り添う信頼できる人材を育てることを目的としている。	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物看護ソーシャルワーク	子ども（15歳以下）の数をイヌとネコの飼育数をはるかに上回る現代社会において、動物とヒトとの関係は、密接かつ複雑化してきている。様々な場面で起こる動物が関連する問題をソーシャルワークとしてどのようにとらえていくか、更に動物看護師としてどのような介入ができるかを考えていく。本講義では、まず少子高齢社会の現状を知り、高齢者と動物、障害者と動物（身体障害者補助犬）、子どもと動物というライフステージの各視点から問題をとらえ理解を深めていく。さらに、多頭飼育崩壊や犯罪と動物虐待との関連など、地域で起こる問題についても学んでいく。動物看護師という専門職として、他職種とどのような連携を取り、社会的な問題に介入できるかを考える。	
	動物生理・繁殖学	<p>(科目の概要)</p> <p>動物生理・繁殖学では、動物生理学として主に伴侶を対象に心臓、肝臓、胃、あるいは骨格や血液に関する各細胞の形態、機能などと共にこれらが形成する臓器、器官系の正常状態を理解させることを目的に講義する。このことにより異常な状態(病理学)に繋がるように展開する。繁殖学は、とくに種族の維持を根幹とする学問であることから、動物の生殖器官を中心に講義を行う。雌雄差、発生や分娩、成熟などを理解させる。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(13) 谷川 力／7回)</p> <p>動物生理学は体を構成している様々な細胞や器官について解説し、それらの連携した機能が生命活動を営んでいることを学ぶ学問である。その個々の機能の基本となる器官や組織の構造の知識を得ることは重要であり、今後学ぶべきイヌ・ネコなどの動物を扱うための基礎情報となる。そのため種々の動物を比較し、生体の仕組みを理解させる。なお、生理学は解剖学を理解していることが重要であることから、必要に応じて図表などを用いて解剖学の知識も教示して、講義を展開する。</p> <p>(30) 鎌田 壽彦／8回)</p> <p>動物繁殖学は、動物が次世代を残し、種や品種を維持していく世代更新の根幹的機構を明らかにする学問である。そのため、雌性・雄性生殖器の構造と機能に始まり、精子・卵子の構造と機能、受精のメカニズム、性成熟・性行動・交配・妊娠・分娩そして泌乳に至る一連の流れを理解させる。また、繁殖には内分泌機構が大きく関わるので、繁殖における内分泌の役割を十分に理解させる。伴侶動物を中心に、講義毎に配布する図表や資料を用い、動物繁殖に関わる一連の流れに添って講義を展開する。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物病理学	病理学は、動物の疾患を理解する上で基礎となる科目である。病気が起こった時に、動物の各臓器や、各組織、各細胞がどのような異常を示すか（病変）を学び、各疾患（病気）における基本的な病変を理解する。本科目では、遺伝性疾患、神経障害、循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、肝疾患、内分泌疾患、造血疾患、腎疾患、生殖器疾患、骨・関節器師疾患等の各疾患に於ける基本的な病変を細胞・組織障害、循環障害、炎症反応、代謝異常、細胞増殖の異常、腫瘍免疫異常、に分類して講義により学習し、これらの病変がどのような原因で起こるのか病気のメカニズムを理解する。	
	動物薬理学	現代の動物医療においては、治療や予防の目的で多種の医薬品が様々な投与方法によって動物に投与されている。動物医療に於いて、薬物治療の占める割合は非常に大きい為、動物診療に携わる動物看護師は、医薬品の薬理作用や体内動態、副作用や毒性、薬物漏出の危険性等の知識を備えておく必要がある。本科目では、最初に”くすり”の基礎知識として薬がどう効くのか（作用機序）、どのように吸収され、どこに分布し、どのように代謝されて排泄されるか（体内動態）を学び生体との相互関係を理解する。その上で、動物臨床で遭遇しやすい疾患に使用される薬について投与目的や効果に加え、副作用やアレルギーの観察等動物看護師に必要な知識を講義する。	
	公衆衛生学	多様に変化する社会において、健康を維持・増進するために必要となる知識を学ぶ。 食品衛生、環境衛生など社会的な問題や国際的な枠組みの差異、今後対応していかなくてはならない課題について最新の情報を基に学ぶ。 特に伴侶頭物（コンパニオンアニマル）から人に感染する病気（人獣共通感染症）や食肉、乳、卵などの動物由来食品の危害から人の健康を確保することが重要であり、人獣共通感染症や細菌性食中毒などの知見の修得、知識の向上を図る。	
	動物感染症学	現在、数ある病気のなかで唯一原因が明らかにされているものが感染症である。動物看護師には感染動物の看護のみならず、動物やヒトへの感染を防止する為の知識も必要となる。感染症を起こす病原体（微生物）は、細菌、ウイルス、真菌、寄生虫に大別され、それぞれに特徴がある。本科目では、動物および動物とヒトに共通して感染症を引き起こすこれら病原体の種類と特徴を理解し、各感染症の概要を学ぶ。更に、感染症を正しく理解する為に、微生物側からのみ一方的に捉えるのではなく、感染症を病原微生物と宿主（動物）との動的な係り合いとして捉えることで、免疫の仕組みや生体防御機構についても学ぶ。また、これらを基に、感染症の予防や制御法についても教授する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業 専門 科目	環境生物学	環境生物学はヒトという生物を中心とした環境を学ぶことで、基本的には自然界や野生動物の環境とは異なる人工的な環境内の生物の生き方、またそのために害虫獣化した生き物の生態や防除方法を学ぶ学問である。具体的にはヒトの環境に悪影響を与えるネズミ、ゴキブリ、ノミ、ダニなどの生態や駆除を学び、今後就職することもありえるペストコントロール業界への関与も視野に入れる。本講義は他の大学にはみられない講義であり、近似した講義は無いが、医学部では「医動物学」として確立されている。本講義はそれに類似している内容で進める。なお、身近な生き物の対象となる講義のため、わかりやすい授業となる。	同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。
	動物臨床検査学	一般に動物病院での臨床検査は、その動物の健康状態を把握し、病気の診断や治療を適切に行えるように実施されている。そのために重要な検査項目の測定方法や臨床的意義などの基礎的事項を理解することが必要である。 また、動物の症状から各種検査項目を実施する目的を知った上で、得られた検査結果が適切なものであるかどうか自ら解析し判断できる能力を養い、獣医師に対して十分な診断支援を行うことを可能にする。	
	動物臨床検査学実習	動物病院における臨床検査は、動物の健康状態を把握し、病気の診断や治療を適切に行うために極めて重要である。様々な臨床検査法を実習し、得られた検査データが適切であるか否か解釈し自ら考え検査に取り組む能力を養う。	共同方式
	動物臨床栄養学	動物栄養学の基礎である五大栄養素とその働きおよび水とエネルギーの重要性を理解し、ペットフードの栄養価や安全性に関する知識を持っていることを前提に、疾病の予防と治療を目的とした栄養学を学んでいく。コンパニオンアニマルとしての犬猫を中心に、これらの食性および嗜好性の違い、代謝と栄養要求量の違いをはじめ、それぞれのライフステージによる栄養学的配慮、様々な疾病や病態に対する栄養についても教授し、学生自ら応用できるように考えさせる。特に近年問題となっている肥満、アレルギー、消化器疾患、肝臓・腎臓疾患に対する食事管理を考え、これらに関連のある歯周疾患の予防と対策にも触れ、食に関するトータルケアを修得する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業 専門 科目	動物行動学	本科目の目的は、学習理論に基づいた動物行動に関する基本的な概念と原理を理解し、動物の問題行動の原因を環境との相互作用によって明らかにし、解決の方法を見出せるようになることである。講義では、獣医行動学と動物行動学の違いを明確にした上で、動物看護師、美容師、トレーナー、ペットショップの店員など動物に関わる職業人が最低限学ぶべき行動の原理、安全かつ福祉的なハンドリングに必要な系統的脱感作、拮抗条件づけ、シェイピングなどを国内外の最新の情報を交えて講義する。	
	動物リハビリテーション論	(科目の概要) 動物リハビリテーションは動物医療において、近年、関心が高まっており、その施術者として動物看護師の役割へ期待が集まっている。小動物臨床でのリハビリテーションにおける動物看護師の役割の多様性について可能性を探り発展させていく。 (オムニバス方式全15回) ② 本田 三緒子／5回 リハビリテーションにおける動物の正しい扱いや、機能回復に有効とされるさまざまな運動器具の使用方法を修得する。 ⑧ 井上 留美／10回 家庭動物の高齢化を背景に、動物のQOL(生活の質)の向上が重要視されている。今後の臨床現場で需要が見込まれる動物理学療法、基本的な技術と理論の理解を深め、良質な動物看護を提供できる人材養成をする。	オムニバス方式
	動物人間関係学	少子高齢の現在社会においては、かつて愛玩動物として一方的にかわいがられていた身近な動物が、伴侶動物(コンパニオンアニマル)と呼ばれるようになり、家族のような存在としてヒトと暮らすようになってきた。そのような伴侶動物がヒトにどのような影響や効果を与えるのかを学ぶ。また、動物がヒトに与える効果を社会の中で活かしていく活動である動物介在介入(アニマル・アシステッド・インターベーション)を理解し、動物介在活動や動物介在療法の実際を知る。さらに、愛する動物との別れであるペットロスについての理解も深める。	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物愛護・福祉と関連法規	動物に関するさまざまな分野に携わる動物看護師にとって必要な基本理念となる動物愛護および動物福祉のそれぞれの考え方を理解する。講義形式の授業を通して、動物愛護そして動物福祉双方の視点から、その現状や問題点を学び、より良い人と動物の関係を考える。動物愛護においては、日本人の動物観をその歴史の変遷、動物愛護教育の現状とともに学ぶ。一方、日本人にとってはまだ馴染みの薄い動物福祉に関しては、その概念、基本原則、評価方法を理解し、産業、実験、野生、展示、伴侶、使役動物といったカテゴリー別の動物の利用や管理に関する福祉的配慮の基礎知識を学習する。また、動物愛護管理法を中心とした関連法規を併せて学び、適切な動物愛護・福祉の実践のための基礎知識を修得する。	
	伴侶動物学	<p>(科目の概要)</p> <p>現代のヒトの生活において、伴侶動物は非常に大きな存在となっている。動物の専門家として社会に出るために必要となる伴侶動物の知識の修得を目的として、形態や家畜化の歴史、文化、品種の特徴、繁殖や飼育方法等、多方面から解説する。</p> <p>(オムニバス方式全15回)</p> <p>(5) 宮田 淳嗣 / 5回 イヌの特性を解説する。起源や家畜化、育種、能力、品種のサイズやカラーバリエーション等を解説する。</p> <p>(20) 早田 由貴子 / 5回 猫の特性を解説する。猫の各成長過程における行動発達や猫の社会化、問題行動の発生とその対処について学ぶ。</p> <p>(21) 小嶋 篤史 / 5回 飼鳥として人気の高い幾つかの種を取り上げてその特質を学びさらに適正飼養について考えていく。また犬や猫の看護学と鳥類の看護がどのように異なるのか鳥類の分類学的位置、生理学的特徴、解剖学的特徴の基礎を学び、いくつかの病気を紹介するなかで理解を進めていく。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物飼育管理論	<p>(科目の概要)</p> <p>本科目は講義形式で授業を行う。 伴侶動物や産業動物と人との良好な関係性の基盤となるのが適正な飼育管理である。各動物種が有する分類学的、生態学的、行動学的、解剖学的、生理学的特徴をふまえた飼育管理方法のみならず、法的な背景や動物福祉への配慮なども含めて基礎的知識を学修し理解を深めることを目標とする。</p> <p>本科目では身近な哺乳類の飼育管理について15回の授業を行う。具体的な動物種は、伴侶動物として主要な小型哺乳類（イヌ・ネコ・ウサギ・ハムスター・モルモット・フェレット）、産業動物ではあるが一部伴侶動物としても飼育される哺乳類（ウマ・ヤギ・ブタ）、主要な産業動物としての哺乳類（ウシ・ブタ・ヒツジ・ヤギ・ウマ）である。</p> <p>(オムニバス科目全15回)</p> <p>(26 古川 力/7回)</p> <p>産業動物ではあるが一部伴侶動物としても飼育される哺乳類（ウマ・ヤギ・ブタ）、主要な産業動物としての哺乳類（ウシ・ブタ・ヒツジ・ヤギ・ウマ）の飼育管理について担当する。</p> <p>(27 堀井 隆行/8回)</p> <p>動物の飼育管理の概論および伴侶動物として主要な小型哺乳類（イヌ・ネコ・ウサギ・ハムスター・モルモット・フェレット）の飼育管理について担当する。</p>	オムニバス方式
	野生動物学	<p>講義前半では日本における野生動物の生息状況、生息環境、保護管理、形態、生理、生態、行動、社会構造や人間の社会経済活動と野生動物との関わりなどを講義する。講義後半では動物看護師として必要となる野生動物学関連分野の知識、特に社会が求める傷病鳥獣の救護・看護、絶滅危惧種や希少種の保全対策、外来種問題、さらに野生鳥獣保全に関する法制度についても教授する。授業形態は座学が主となるが、動物園や水族館さらに傷病鳥獣保護センターの見学も取り入れる。</p>	
	産業・実験動物学	<p>産業動物と実験動物について、伴侶動物と異なりヒトの生活に役立つように改良され、目的を持って飼育管理される意義と、それぞれが抱える社会的意義、倫理的な問題について理解することを目的とする。</p> <p>産業動物の特性や改良と歴史的な背景、問題点について学び、将来展望について理解する。</p> <p>実験動物の概要、倫理、法規制、動物実験代替法について学ぶ。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物トータルライフ環境論	<p>(科目の概要) 人と動物が共生する社会において、動物の生から死までの生活環境の整備について教授する。</p> <p>(オムニバス方式全15回)</p> <p>(22) 鈴木 友紀 / 3回 人と動物の食生活に注目し、幼齢から老齢までのライフステージや肥満に対応した補食について教授する。</p> <p>(23) 奥山 健二 / 7回 英国の動物学者デズモンド・モリスは著作「裸のサル」で人類は193種のサルの只1種類の裸のサルであり、「一生物種としてのヒト」であると定義した。また動物としての人間の在り方を説き、身近な動物が持つ習性や特性を明らかにして動物への理解を示した。この講義では動物やヒトが外界（室内環境・屋外環境）を感知する多種類の感覚機能から視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚等を取り上げ、動物としてのヒトが外界との感覚作用を如何に行い生活・行動するかを探求・考察する。</p> <p>(24) 宮下 めぐみ / 5回 ペット関連市場のデータを読み解きながら、動物トータルライフを支える保険制度についての理解を深める。</p>	オムニバス方式
	動物トータルライフ演習	<p>(科目の概要) コンパニオンアニマルの食と衣について、実践的な知識を学ぶ。</p> <p>(オムニバス方式全15回)</p> <p>(2) 荒木 幸子 / 12回 犬猫の食を取り巻く環境について理解し、近年飼主からのニーズが高まっている「ペットと食を楽しむための家庭での手作り食」についての基本的な知識を学ぶ。また、犬猫にとって必要な栄養を満たす事のできる食事について飼い主に指導を行うための基礎的な知識を身につけることを目的とする。さらに、家庭での手作り食のレシピでよく見受けられる栄養上の問題点を把握するとともに、適切で楽しい栄養指導を行う基本を学ぶ。適切な栄養バランスのとれた食事のレシピを作成する演習や、調理実習を通じて食と栄養への理解を深める。</p> <p>(31) 長岡 恵 / 3回 イヌの骨格や関節の特徴をつかみ、イヌの動きを妨げないストレスフリーな衣服作りのための基礎知識を学ぶ。イヌに服を着せることのメリットとデメリットや、どのような場合に服が必要になるかをイヌの立場になり考える。イヌ服に適した素材やデザイン、ソーイングの基礎をデモンストレーションを行いながら学修する。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業 専門 科目	コンパニオンアニマルケ ア論	<p>(科目の概要) コンパニオンアニマル (主にイヌおよびネ コ) のケアについて解説する。</p> <p>(オムニバス方式全15回)</p> <p>(5) 宮田 淳嗣 / 12回 イヌは人為的な選択繁殖により他の家畜に ない種類の多さや、同種内での形態の大差を持 ち合わせている。イヌの形態、ライフステージ、 飼育環境、飼育目的、健康状態等を考慮した、 家庭内飼育において健康管理上必要なグルー ミング手技を学修する。イヌのケア (ドッググ ルーミング) に必要な知識を総合的に修得す る。犬体名称、ハンドリング、専門器具 (種類、 選定法、使用法)、シャンプー剤、皮膚および 被毛の構造、代表的な品種 (作出目的、形態的 特徴) 等を解説する。</p> <p>(17 高野 八重子 / 3回) 愛くるしい容姿の中に潜む野性的な性格こ そがコンパニオンアニマルとしての猫の最大 の魅力であり、猫と楽しく暮らすには猫の本能 や習性、生理を理解し、適正な飼育管理を行う ことが大事である。猫を飼育する上で知ってお きたい基礎的な知識や心得など、多角的観点か ら学習する。</p>	オムニバス方式
	コンパニオンアニマルケ ア実習 (基礎)	<p>イヌへのケア作業として基本となる、健康チ ェック、耳道処置、ブラッシング、ペイジング、 ドライグ、爪切り、クリッピング、カットの 技術を修得することを目的とする。美容よりも 動物福祉や健康管理を重視したケアの方法を 身につける。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業 専門 科目	コンパニオンアニマルケ ア実習（応用）	<p>(科目の概要)</p> <p>コンパニオンアニマルケア実習（基礎）において修得した技術に加え、品種による多様な形態や皮膚・被毛の状態に対応できる応用力を修得する。</p> <p>また、ネコのケアに関する技術を修得する。</p> <p>(オムニバス方式全30回)</p> <p>(5) 宮田 淳嗣 / 25回</p> <p>イヌのライフステージや飼育環境、品種や飼育目的に沿ったグルーミングケア技術を修得する。社会での応用力を養うため、基礎では使用しなかったグルーミング器具も使用する。ハンドリングが多少困難な性質をもつ個体も使用して実習を行う。</p> <p>(20) 早田 由貴子 / 5回</p> <p>ネコを飼育する上で知っておきたい基礎的な知識や心得など、多角的観点から学習し、キャットグルーミングについてブラッシング、ベイジング（洗浄）等を実践する。</p>	オムニバス方式
	コンパニオンドッグトレ ーニング論	<p>単なる犬に何かを教える訓練的な内容ではなく、人と犬が人の社会の中における快適な暮らしを達成するために必要な知識と技術の修得を目的としている。犬がどのような経緯で私たちと暮らすようになり、私たちはどのような目的で犬と暮らし始め、どのようにして家畜化して来たのかなど、生態的な特徴から、人との暮らしに適応して来た犬の学習能力までを学ぶ。言葉を介さない伴侶動物たちとのコミュニケーションは、どれだけ彼らの行動を理解できるかによる。本科目では、学習理論を中心として犬の学習と行動の関係を学び、犬が社会で健全に人との暮らしに適応できる指導能力の基礎となる知識を学ぶ。犬の行動観察、分析の技術は確かな理論の理解能力に裏付けであり、優れたコンパニオンドッグトレーナーとしての技術の基本知識となる。現在の社会現象とも言える「殺処分ゼロ」に最も必要な教育は、「民間への犬の終生飼養」の教育であり、家庭犬育成の専門家としてのトレーナーの職務でもある。犬と飼い主の暮らしのサポートを、社会へのサポートとして担う意識の高い家庭犬育成のスペシャリストの育成を目指し、実践能力を高める内容の講義を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	コンパニオンドッグトレーニング実習	コンパニオンドッグトレーニング論の講義内容に沿って、理論に裏付けられた実技能力の修得を目的とする。人と犬は他の伴侶動物にはない形態で共に同じ空間で暮らしている場合が大半である。適切な飼養の指導なしでは、犬との豊かな暮らしの達成は難しく、ミスコミュニケーションや知識の欠落から咬傷事故や、飼養遺棄の事態を招く危険も伴う。優れた家庭犬の育成指導専門家として、確かな犬のトレーニング技術の修得が必須であると共に、優れたコミュニケーション能力による人への指導能力の修得も重要とされる。したがって実習では様々なサイズ、犬種の犬にできる限り触れ、幅広いハンドリング能力の修得を目指す。特に、動物看護、美容の現場で望まれる受診動作「ハズバンダリートレーニング」の技術の重要性を学び、高いハンドリング&トレーニング、そして飼い主への指導能力の修得を目指す。	
	臨地実習 1	1年次夏季又は1年次春季にキャンパス内に併設されているペットサロンにおいて3日間の実習を行う。臨地実務実習の導入部となることから、学外実習につながるよう実習先の業務について1日の流れを学び、指導者のもとシャンプー等の基礎的技術を身に付ける。対象動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、受付、商品知識や販売・管理の補助に加え、開店から閉店までの業務を学び、職場でのコミュニケーション能力を身に付け、スタッフや飼い主との対応についても学ぶ。	共同方式
	臨地実習 2	1年次夏季又は1年次春季にキャンパス内に併設されている動物病院において3日間の実習を行う。臨地実務実習の導入部となることから、学外実習につながるよう動物病院の1日の業務について、開院前の準備、清掃から消毒法までの衛生管理、動物の逃走防止のためのドアの開閉、診察台からの転落防止など、動物病院で必要とされる基本的な事項の確認、動物看護師としての基礎を学ぶ。	共同方式
	臨地実習 3	2年次夏季に動物病院において、8日間ずつ2か所で実習を行う。小規模、中規模の動物病院の業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。動物病院における動物看護師の業務の流れや分担を把握し、院内清掃、電話応対、診療準備、診療補助、検査、手術の準備及び補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学び、看護師のチーム作業を身に付ける。 事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。	共同方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	臨地実習 4	2年次春季に動物関連企業等において8日間ずつ2か所で実習を行う。「臨地実習1～3」で学んだ動物看護の素養を活かしながら、動物関連企業等の現場（店舗等）での初任者としての必要な実務を学び、他のスタッフとチームで働くコミュニケーションを学ぶ。また、必ず2業種の臨地実務実習を行い、幅広い視野と実践力を培う。 事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。	共同方式
	臨地実習 5	3年次夏季の「臨地実習5」は、動物病院への就職を希望する学生が選択する実習で、7日間ずつ3か所の施設で実習を行う。 職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会とのつながりを学修したことを通じて、動物看護師として幅広い視野を養う。 事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。	共同方式
	臨地実習 6	学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場（店舗等・団体等）で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を生かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し顧客対応できる従業員の役割を学ぶ。 事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。	共同方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目	動物実習短期留学	<p>オーストラリア最大規模の動物園である Australia Zoo は、オーストラリアの環境保護に大きな役割を果たしていることでも知られている。本実習は、この動物園が本学学生のために作るカスタム教育プログラムを中心として行われる。動物飼育体験の実習においては、動物の QOL に配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶ。</p> <p>受講者は事前学修として、実習目的や実習のポイント等を理解した上で、現地で多種多様な動物園実習を体験する。さらに渡航先では、宿舎での共同生活等を通じて、多くを学ぶことになる。帰国後には事後学修として、英語の実習報告書の作成と発表を行う。</p> <p>(オムニバス方式／全11回)</p> <p>(② 荒木 幸子／7回)</p> <p>Australia Zoo では、1日4～8時間の実習を行い、最後にまとめのディスカッションを行う。動物園の担当者による説明等をもとに、動物飼育体験の実習にて、動物の QOL に配慮した動物飼育方法等を学ぶ。本学教員は学生に付き添い、必要な助言を行い、学生の受講態度等を指導確認する。</p> <p>(② 荒木 幸子・① 加藤剛／4回) (共同)</p> <p>事前学修は、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイングや動物実習短期留学体験者の講話等により実習のポイント等を学修する。事後学修はグループワークによる英語の実習報告書の作成と代表学生による成果発表を行う。事前学修2回分及び事後学修2回分は共同で担当する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)
	研修・ボランティア活動	<p>本学が指定する研修とボランティアに参加することで、それらの意義や原則を理解することとする。主として「夏季休暇」等を利用した研修 (国内・国外) やボランティア活動を実践するとともに、事前授業のオリエンテーション及び事後授業でのディスカッションを含む報告会で成果をまとめる。</p> <p>レポートの提出をもって単位の認定を行うこととする。</p> <p>海外研修および国内研修は別途費用が必要となる。</p>	共同方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展 開 科 目	ジェロントロジー	<p>ジェロントロジーは加齢を研究対象とする領域横断的な学問である。加齢は出生とともに始まるが、特に中高年期の加齢は心身と社会生活に大きな影響を与えるため医学や心理学、社会学、工学、経済学、法学、倫理学、行政学など多くの学問が取り組む重要な主題である。基礎研究だけでなく、実用に資する応用研究が重んじられている。日本社会に代表される超高齢化社会では、若者や中年世代が社会成層の中心を占めることを前提とした諸制度を再構成する必要がある。高齢者の健康長寿を目指して福祉を重んじると同時に、高齢者が備えている様々な能力を積極的に活用してよりよい社会を構築する試みが求められている。日本はこの点で課題先進国であり、革新的な取り組みによって多くの国々の範たりえる可能性をもつ。本科目では自分自身と身近な他者の日常生活と職業活動において、ウェルネスと福祉の向上に資するジェロントロジー研究の成果を講じる。</p>	<p>同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。</p>
	社会福祉学	<p>社会福祉に関する基本的な知識を理解し、社会的な実践につながることを目標に講義を展開する。具体的には、社会福祉の諸分野、法制度、理論、歴史、援助技術などを解説する。また、人口の高齢化や少子化のなかでの介護問題や待機児童問題などといった現代の日本社会の抱える問題を解説、検討し、具体的な支援のあり方を考察することで、理解を深め、社会的な実践につながるようにしたい。</p> <p>動物看護専門職短期大学ということから、盲導犬の役割や動物介在活動といった福祉と動物との関わりについても講義のなかに含める。福祉を通じて、人間と動物との共生をはかるという視点をもつことも到達目標としたい。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展 開 科 目	少子高齢社会と人口問題	<p>少子高齢化と不可分の人口減の問題は、日本の将来のために国民が乗り越えなければならない試練である。だが、この難題は政府の政策だけで解決できるものではなく、国民一人一人が関心を深める必要がある。少子高齢化・人口問題の対応は、国民が経済・教育・文化・福祉等の充実によって生活の豊かさを持続可能にしていく根幹をなすからだ。</p> <p>日本の良き将来を考える時、人間同士のみならず、動物と人間との共生が進むことも期待してよいだろう。塚屋太一氏が提言してきた「歩いて暮らせるまちづくり」も、動物と人間との絆が深まる契機と位置付けたい。</p> <p>講義形式を基本とする授業では、上記の視点を背景として①少子高齢化と家族の絆（コンパニオンアニマルも含めて）②少子化と子育て③人口減と働き方改革④人口減と都会と地方創生⑤高齢者と介護と医療⑥就活と死生観・看取り⑦「歩いて暮らせるまちづくり」⑧行政（社会保障制度）の歩みと今日等の内容を柱として講義する。</p> <p>受講生が社会に出て直面せざるを得ない少子高齢化・人口問題への理解が深まることを目標とし、就活にも有益になるよう努めたい。</p>	<p>同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。</p>
	高齢者心理	<p>今20歳前後の青年が65歳を迎えるときには、4人に1人以上が高齢者であると予想されている。このような社会では介護が必要な高齢者、認知症患者の増加は重要な社会的課題であり、誰でもが会う問題である。そこで高齢者心理では、高齢者の健康の課題・家族関係、幸福感や生きがい、孤独や病気など多様な角度から高齢者の心を学び、アニマルセラピー等の活用を通しての高齢者理解のあり方を取り上げる。</p>	<p>同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。</p>
	死生学	<p>人と動物の死を見つめ、死の視点から、生を考え、生きることの大切さについての認識を深める。また、社会科学的な観点から生と死に関する様々な知識を理解し、事例検討を重ねて豊かな想像力を養う。人間にとって永遠のテーマである生と死の問題についてどう立ち向かうかを考え、死生観を学ぶことにより、問題対応能力を修得する。生と死を多様な価値観からとらえることのできる専門性を学び、変化に富む社会において長期的な活躍に資する応用力をより一層高めてゆくことを目的とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展 開 科 目	産業論	私たちの生活水準の向上は技術革新によって達成される。それは現実の技術に対するあらゆる人々の挑戦による成果であり、特に起業家精神の役割は大きい。社会を一変させてきた情報革新（コンピューターやネットワークなど）は新産業を次々と生み出し、伝統的な産業構造の分類は業際的な産業の出現によって見直されてきている。中でもサービス産業（動物関連産業を含む）の技術革新や発展は顕著であり対個人サービス業、対事業所サービス業での新しいビジネスモデルが構築されてきた。本講義は産業（業種・職業構造）の全体像とその特性、産業（企業）発展の特徴及び新産業の創出の仕方など基本的な産業知識について学ぶ。	同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。
	起業論	本科目では、学生が卒業後にペット産業で起業できるよう、次の学習を行う。 起業ではどこで何をどのように行うかが重要であるところ、それを考えるにはまず、産業界のニーズを把握し、需要のある事業を見出す必要がある。そのため、産業界で活躍するゲストスピーカーを招いた産学連携の実践的教育を提供する。 また、経営者として専門知識を活かすためには、他の授業科目で扱う専門分野の座学と実習に加えて、起業のために必要な経済社会の仕組みやルールを知ることにも有用である。そこで、本授業では、起業や会社経営に最低限必要な会計・資金調達・税金・法律等の実務の基礎を実践的に教授する。 最後に、それらを踏まえ、学生には、事業計画を立案してレポートしてもらう。	同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。
	消費者行動分析学	本科目の目的は、動物に関わる職業人が行動分析学の知見に基づいて、コンシューマーとしての伴侶動物の飼い主との関係を考えられるようになることである。講義では、行動分析的な行動の見方を概観し、その応用領域である行動経済学や組織行動マネジメントの知識を援用した上で、コンシューマーのニーズに応じたサービスと商品を提供し、顧客満足度を上げる方法を考えていく。また、広告がコンシューマーに与える影響に関する心理学の研究、コンシューマーにサービスを提供する組に改善の問題も取り扱う予定である。	同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開 科目	IT社会論	<p>この授業では、IT(情報技術)と社会との関係について、過去から現在、そして未来において概要を理解することを目標とする。</p> <p>基本的には講義科目であるが、学生の身近にある技術を取り扱うので、適宜、課題を課したり、ディスカッションを行ったりすることがある。</p> <p>取り扱う内容は、コンピュータの誕生以降、これまでのITの発展に伴う社会の変化から、現代社会を支える情報基盤となるインターネット、電子マネー、仮想通貨、そして、今後の社会に影響を与えていくことが期待される先端ITなどである。</p> <p>ITは常に発展しているので、開講時の状況に合わせて、適宜内容を更新していく予定である。</p>	<p>同時に授業を行う学生数は80人であることが想定される。授業終了後にメール等による質疑応答等を行い、更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。</p>

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開 科目	情報危機管理論	<p>(科目の概要)</p> <p>文章によるコミュニケーションは重要なビジネスの意思疎通手段となっているが、インターネットによるコミュニケーション網が発達した現代においては、文章以外にも画像やビデオなどの情報も日常的なビジネス活動に欠かせない要素になりつつある。</p> <p>現代のネット社会では、電子メールなどのシステムを使って、多数の受信者とのやりとりが簡単にかつ瞬時に行うことが可能であり、またホームページなどネット上での不特定多数に向けての情報発信や、SNSなどのグループ網を基盤にしたコミュニケーションが手軽に行えるなど、情報が広く瞬時に場所を問わずに共有されることが可能となっており、情報の取り扱い方法について正しく認識することは、どのような職業においても必須である。</p> <p>本講義では、このようなネット社会において、ビジネス上の文書はもとより、多様な形態の情報の管理方法について学ぶ。様々な形態の情報について、閲覧・作成・取扱い・管理等に関わるリスクを学び、起こりうる危機を回避するための基本的な知識と方法を広く学修する。</p> <p>(オムニバス方式／全8回)</p> <p>(② 荒木 幸子／4回)</p> <p>ビジネスにおいて、また個人として関わる情報の種類や形態について広く考察し、閲覧・作成時に留意する点や、適切な公開・発信・管理方法について学修する。また機密情報としての管理が必要な文章についての種類や重要度についても学び、情報の管理方法についての基本知識を身につける。</p> <p>(△ 近藤 美保子／4回)</p> <p>コンピュータシステムの情報資産には機密情報や顧客の個人情報など、厳密に扱う必要のある重要な情報が溢れている。インターネットに接続されたパソコンや携帯電話・スマートフォンでさまざま情報を手に入れることができ、便利になった反面、情報漏えいなどさまざまな問題や犯罪も起こっている。そういった危険性を学び、ネット社会における必要な知識とモラルを身につけることを目的とする。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開 科目	災害・危機管理論	<p>(科目の概要) 社会が抱える様々なリスクや危機に対応する為に必要な知識を学ぶ。地球環境問題、気象災害、地震、津波、食品と有害物質、医療安全、感染症対策、大規模事故によるビジネスリスク、リスクマネジメントの観点からヒトの健康を守る為の知識を学び、社会貢献可能な人材育成を目指す。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(2) 本田 三緒子/8回 災害・危機管理に関する総論(自然災害と人が関与することによって起こる事故について:位置1~3)について実例を素に解説する。 医療、地球環境、津波、大規模事故など、実際に起こった事象をもとにその問題点、リスクコントロールに必要な基礎知識を解説する。 被害を最小に留める為に自ら、実施できることは何か発想可能な教育を行う。</p> <p>(26) 福山 貴昭/7回 災害発生時の避難所が抱える問題点、地震災害の実例を基に、動物由来感染症、野生動物由来感染症の危機管理、危機発生時に必要なリーダーシップなどについて解説する。</p>	オムニバス方式
	医療安全	<p>医療安全保障システムとしてのヒトの病院内組織における医療の安全管理と医療に携わる者としての責任を学修する。医療現場におけるリスクマネジメントの基本的な原理、原則を学んだ上で、予防対策、事故発生要因とメカニズムの分析、予防・対策の決定、事故発生後の対処行動・報告、記録方法、説明の仕方など、ヒトの病院で実際にあった事故と実践例を交えて分かりやすく講義する。医療人あるいは医療現場にとって必要となる医療安全の考え方と危機管理対策について理解する。 人間の医療現場での医療安全を学ぶことで動物医療現場において働く際の創造的能力を養うことを目的とする。</p>	
総合 科目	動物トータルケア総合演習1	<p>「臨地実習1~3」の経験を踏まえて修得した知識・技能等を総合し、今後の臨地実務実習に向け必要な能力を向上させることを目的とする。</p> <p>40名のクラスを6~7名ずつのグループに分け、各自の臨地実務実習について全員が報告し、ディスカッションにより問題解決の方途を探る。最後に2年次の学生全員そろってのまとめの授業を実施する。</p> <p>また、学生1名ごとに実習授業にご提供いただいているモデル犬の飼い主3名と授業を通してコミュニケーションをはかり、アンケート等によりイヌの健康管理や在宅看護、グルーミング、しつけ、問題行動など飼育上の課題について飼い主の声を収集する。</p> <p>なお、臨地実務実習施設への礼状を作成・投函する。</p>	共同方式

授 業 科 目 の 概 要			
(動物トータルケア学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
総合科目	動物トータルケア総合演習2	<p>「臨地実習1～6」の経験を踏まえて修得した知識・技能等を総合し、今後の臨地実務実習に向け必要な能力を向上させるとともに、動物看護師として実践的・応用的な能力を総合的に向上させることを目的とする。</p> <p>40名のクラスを6～7名ずつのグループに分け、各自の臨地実務実習について全員が報告し、ディスカッションによりそれぞれの課題を発見することで問題解決の方途を探る。最後に3年次の学生全員そろってのまとめの授業を実施する。</p> <p>尚、「動物トータルケア総合演習1」に引き続き3名の同じ飼い主から、動物看護師への飼育管理上必要とされる要望を収集・分析する。さらに動物病院・企業から産業界発展のために必要とされる要望を収集・分析し、まとめる。</p> <p>最終の授業で臨地実務実習関係者の代表に参加いただき意見交換を行い、人と動物の豊かな共生社会について考察する。</p> <p>また、臨地実務実習施設及びモデル犬飼い主への礼状を作成・投函する。</p>	共同方式

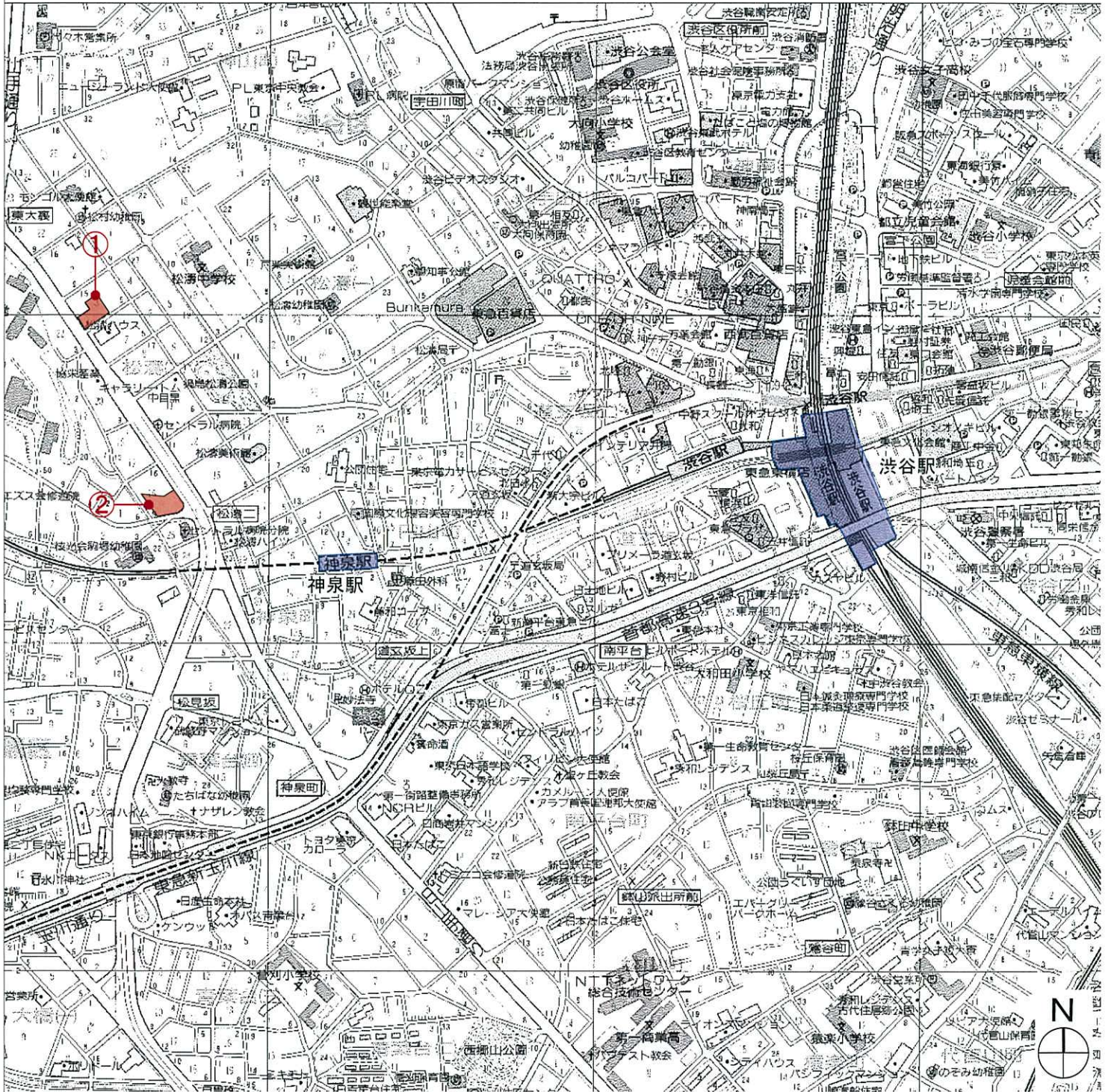
学校法人ヤマザキ学園 設置認可等に関わる組織の移行表

平成 30 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成 31 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
ヤマザキ動物看護大学				ヤマザキ動物看護大学				
動物看護学部				動物看護学部				
動物看護学科	180	-	720	動物看護学科	180	-	720	
計	180	-	720	計	180	-	720	
ヤマザキ動物専門学校				ヤマザキ動物専門学校				
動物看護・美容学科	80	-	240		0	-	0	平成 31 年 4 月学生募集停止
動物看護学科	40	-	80	動物看護・美容・トレーニング学科	40	-	80	平成 31 年 4 月名称変更
動物美容・トレーニング学科	40	-	80		0	-	0	平成 31 年 4 月学生募集停止
計	160	-	400	計	40	-	80	
				ヤマザキ動物看護専門職短期大学				専門職短期大学新設
				動物トータルケア学科	80	-	240	
				計	80	-	240	

都道府県内における位置関係



■校地・校舎概要



1 : 10,000 0 100 200 300 400 500m

①ヤマザキ動物看護専門職短期大学 1号館

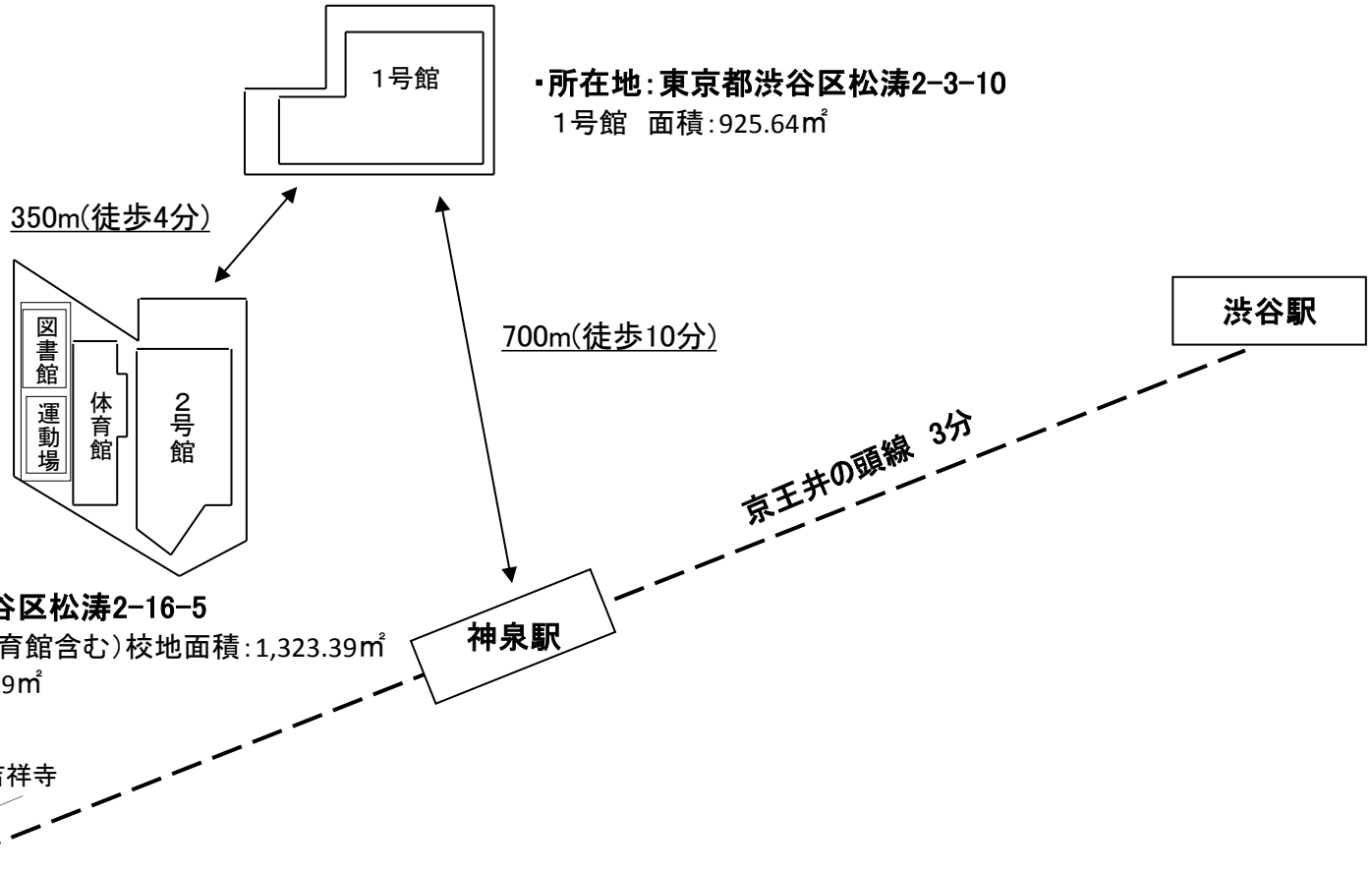
②ヤマザキ動物看護専門職短期大学 2号館

■最寄駅

①ヤマザキ動物看護専門職短期大学 1号館
 渋谷駅 徒歩 15分
 神泉駅 徒歩 8分

②ヤマザキ動物看護専門職短期大学 2号館
 渋谷駅 徒歩 10分
 神泉駅 徒歩 5分

最寄り駅からの距離及び交通機関がわかる図面



・所在地: 東京都渋谷区松涛2-16-5

2号館(図書館及び体育館含む)校地面積: 1,323.39m²

運動場校地面積: 152.19m²

凡例

1. ヤマザキ動物看護専門職短期大学 専用



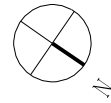
2. ヤマザキ動物専門学校 専用



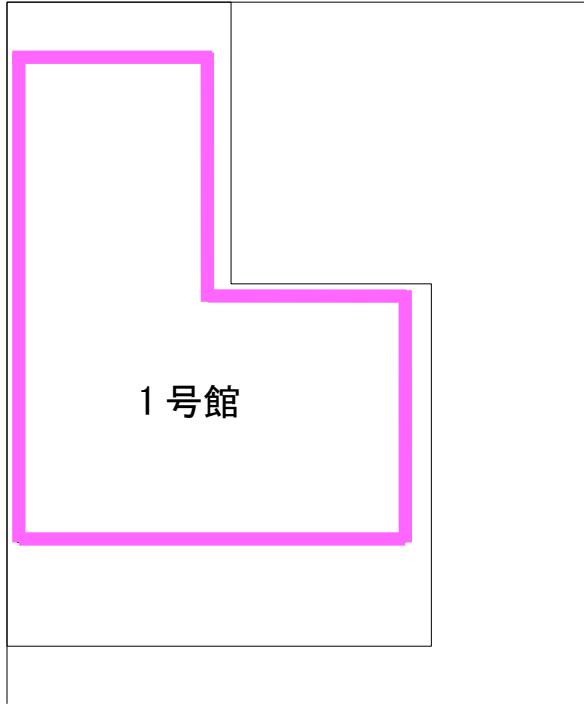
3. ヤマザキ動物看護専門職短期大学と
ヤマザキ動物専門学校 共用



1号館

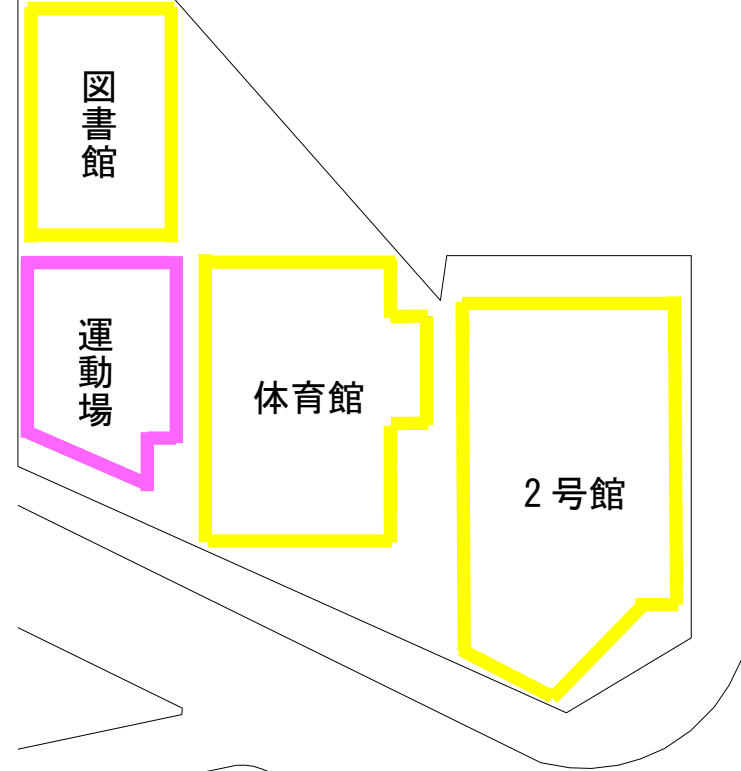


-5-



1号館 所在地 東京都渋谷区松濤 2-3-10
1号館校地面積 925.64 m²
1号館校舎面積 2,326.63 m²

2号館



2号館 所在地 東京都渋谷区松濤 2-16-5
2号館(図書館及び体育館を含む)校地面積 1,323.39 m²
運動場校地面積 : 152.19 m²
2号館校舎面積 2,326.63 m²

校舎、運動場等の配置図

ヤマザキ動物看護専門職短期大学学則（案）

平成31年4月1日

制定

目次

第1章 総則

- 第1節 目的（第1条～第5条）
- 第2節 組織編制（第6条～第8条）
- 第3節 職員組織（第9条・第10条）
- 第4節 学年、学期及び休業日（第11条～第14条）

第2章 修業年限及び入学等

- 第1節 修業年限及び在学年限（第15条）
- 第2節 入学（第16条～第21条）
- 第3節 教育課程及び履修方法等（第22条～第31条）
- 第4節 休学・復学・転学・留学・退学及び除籍（第32条～第37条）
- 第5節 卒業及び学位（第38条・第39条）
- 第6節 賞罰（第40条・第41条）
- 第7節 外国人留学生、研究生、科目等履修生及び特別聴講生（第42条～第45条）
- 第8節 検定料・学費及びその他諸費用（第46条～第51条）
- 第9節 育英・奨学（第52条）

第3章 厚生施設（第53条）

第4章 公開講座等（第54条）

第5章 雑則（第55条）

附則

第1章 総則

第1節 目的

（目的）

第1条 ヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（平成29年法律第41号）に則り、建学の精神である「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を遵守し、「生命を生きる」を教育理念として、人間も動物も大自然の生態系の摂理の中で生き、生かされているという、原点を忘れずに、共鳴・共生する生命の思想を貫き、動物看護に関わる基本的な理論・技術を身に付

け、動物看護に関わる専門的応用的能力を有する人材を養成することを目的とする。

- 2 動物看護学を教育研究の対象とし、動物愛護の精神に則り、人とコンパニオンアニマルとの関係に求められる豊かな人間性と幅広い視野を備え、動物看護に関わる基本的な理論・技術を身に付け、実践的な専門的応用的能力を有する動物看護師を養成することを目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究、組織運営並びに施設設備（以下「教育研究等」という。）の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 前条の措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第40条に規定する期間ごとに文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けることとし、その結果を公表するものとする。

- 3 第1項の自己点検・評価の事項及びその実施体制等については、別に定める。

(情報開示)

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を開示するものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第4条 本学は、教育内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとし、その実施方法については、別に定める。

(教育課程連携協議会)

第5条 本学は、産業界及び地域社会との連携により、教育課程を編成し、及び円滑かつ効果的に実施するため、教育課程連携協議会を設けるものとする。

- 2 第1項の教育課程連携協議会に関する事項は別に定める。

第2節 組織編制

(学科)

第6条 本学に次の学科を置く。

動物トータルケア学科

- 2 前項の学科の入学定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	収容定員
動物トータルケア学科	80名	240名

(附属図書館)

第7条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第8条 本学に、事務局を置く。

第3節 職員組織

(教職員)

第9条 本学に、学長、学科長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員その他の職員を置く。

2 本学に副学長及び副学科長を置くことができる。

3 第1項の職員のうちから事務局長及び部課長を置く。

4 任免及び職務については、別に定める。

(教授会)

第10条 本学の教育研究に関する事項を審議するために教授会を置く。

2 教授会は、学長、副学長、学科長、副学科長及び専任の教授をもって構成する。

3 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めたときは、教授会に准教授、講師、助教及びその他の教職員を加えることができる。

4 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第4節 学年、学期及び休業日

(学年)

第11条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第12条 学期は、学年を前期と後期の2学期に分け、期間については、当該年度の学年暦において定める。

(休業日)

第13条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 本学創設記念日

(4) 夏季休業、冬季休業及び春季休業の期間は学年暦で定める。

2 前項の規定にかかわらず、学長は臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

3 学長は、必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

(授業期間)

第14条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間等を含め、35週にわたることを原則とする。

2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い期間において授業を行うことができる。

第2章 修業年限及び入学等

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第15条 本学の修業年限は、3年とする。ただし、在学年限は6年を超えてはならない。ただし、第21条の規定により入学した者にあつては定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第2節 入学

(入学の時期)

第16条 本学の入学時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第17条 本学に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の課程を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した（同規則附則第2条の規定

による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの
(入学出願の手続)

第18条 入学志望者は、本学所定の入学願書に定める入学検定料を添えて、指定期日までに
出願しなければならない。

- 2 提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。
(入学者の選考及び合格者の決定)

第19条 入学志願者には、別に定めるところにより、選考を行い、教授会の意見を聴いて、
学長が合格者を決定する。

(入学手続及び入学許可)

第20条 前条の選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日内に第46条に
定める入学金のほか、授業料等を添えて、手続を取らなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
(編入学・再入学及び転入学)

第21条 本学に編入学、再入学又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に
限り、選考の上、教授会の意見を聴いて、学長が相当年次に入学を許可することができる。

- 2 前項の規定により、編入学をすることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 他の大学を卒業又は退学した者
 - (2) 短期大学、高等専門学校を卒業又は退学した者
 - (3) 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- 3 第1項の規定により、再入学又は転入学できる者は、本学を中途退学した者又は他の大学に在学中の者で、転入学により当該大学を退学する者とする。
- 4 第1項の規定により、入学を許可された者についての履修方法は、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

第3節 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第22条 本学の授業科目は、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目とする。

2 各授業科目を必修科目、選択科目に分け、各年次に配当して編成する。

3 本学の授業科目は、別表第1のとおりとする。

(卒業単位数)

第23条 本学を卒業するためには、次の各号により合計107単位以上の単位を修得しなければならない。

(1) 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位

(2) 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」から5単位

(3) 展開科目 選択科目15単位

(4) 総合科目 必修科目2単位

(単位の計算方法)

第24条 授業科目の単位計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準によるものとする。

(1) 講義・演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の講義・演習をもって1単位とする。

(2) 実験・実習及び実技については、30時間の実験・実習及び実技をもって1単位とする。

(3) 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合にあつては、その組合せに応じ、総時間数が45時間となる授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、社会・地域活動参加等の授業科目については、その学修の成果を考慮して単位を定める。

(単位の授与)

第25条 授業科目を履修し、各授業時数の3分の2以上出席し、所定の試験に合格した者には、単位を与える。

(成績の評価)

第26条 成績の評価は、S、A、B、C、Dをもって表し、C以上を合格とする。

(他大学等における授業科目の履修等)

第27条 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協定に基づき、学生が当該他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位は、

46単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものと認めることができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

3 前2項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第28条 本学は、教育上有利と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項の規定により、与えることができる単位は、前条第1項により認定する単位と併せて46単位を超えないものとする。

3 前2項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第29条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（第44条に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上必要と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、第27条第1項及び第2項並びに前条第1項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて46単位を超えないものとする。

4 前3項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

5 前項までの規定にかかわらず、動物看護の専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、動物看護師を担うための実践的な能力を修得している場合に、当該実践的な能力を本学において修得したものとみなし、単位を与えることができる。

6 前項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、23単位を超えないものとする。

(成績評価基準等の明示)

第30条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たって、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。

(その他)

第31条 この節に定めるもののほか、各授業科目の配当年次、履修方法等については、別に定める。

第4節 休学・復学・転学・留学・退学及び除籍

(休学)

第32条 病気その他やむを得ない事情により、休学しようとする者は、医師の診断書等その理由を証する書類及び保証人連署をもって学長に提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 病気等のため修学することが適当でないと認められる者について、学長は、学科長、教務部長又は学生部長その他学長が必要と認める者（以下、「学科長等」という。）の意見を聴いて、休学を命ずることができる。

3 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし、特別の事情がある場合には、引き続き1年間に限り、期間延長の許可をすることができる。

4 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。

5 休学の期間は、在学年数に算入しない。

(復学)

第33条 休学期間中に、その事由が消滅したときは、学科長等の意見を聴いて、学長が復学の許可をすることができる。

(転学)

第34条 他の大学に転学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。

(留学)

第35条 留学を希望する者は、あらかじめ保証人連署をもって願い出て、学長の許可を得て、外国の大学又は短期大学に留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、1年に限り、第15条に定める期間に算入する。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第37条 次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の意見を聴いて、学長が除籍する。

- (1) 第15条に定める在学年限を超えた者
- (2) 休学期間を超えて、なお修学できない者
- (3) 授業料の納付を怠り、催促しても、なお納入しない者
- (4) 死亡した者又は長期にわたり、行方不明の者

第5節 卒業及び学位

(卒業の認定)

第38条 本学に3年以上在学（編入学等により入学した学生については、別に定める年限）し、本学則に定める授業科目の中から基礎科目の必須科目5単位、選択科目10単位、職業専門科目の必須科目70単位、選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」から5単位、展開科目の選択科目15単位、総合科目2単位、併せて107単位以上修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 前項による卒業認定は、学年末に行う。やむを得ない理由により、この認定を得られなかった者については、次年度前期にこれを行うことができる。

(学位の授与)

第39条 前条の規定により卒業を認定された者には、動物看護短期大学士（専門職）の学位を授与する。

2 学位に関して必要な事項については、別に定める。

第6節 賞罰

(表彰)

第40条 学生として品行方正、学術優秀又は素行等表彰に値する行為があった者は、教授会の意見を聴いて、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第41条 本学則、その他本学の定める諸規則を守らず、学生としての本分にもとる行為があった学生に対しては、教授会の意見を聴いて、学長が懲戒する。

2 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 退学は、次の各号のいずれかに該当する学生に対して行う。

- (1) 入学誓約書に違反した者
- (2) 品行不良で改善の見込みがないと認められる者

- (3) 成績不良で学業継続の見込みがないと認められた者
- (4) 正当な理由なくして出席不良の者
- (5) 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

第7節 外国人留学生、研究生、科目等履修生及び特別聴講生

(外国人留学生)

第42条 外国籍を有し、第17条第3号に該当する者が、本学に入学を希望した場合は、選考の上、教授会の意見を聴いて、入学を許可することがある。

2 外国人留学生については、第35条に関する規定を除き、正規の学生についての規定を準用する。外国人留学生について必要な事項は、別に定める。

3 前項の外国人留学生に対しては、第22条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

(研究生)

第43条 本学に研究生として、入学の申出のあるときは、教育・研究に支障のない限り選考の上、教授会の意見を聴いて、学長が研究生として入学を認めることができる。

2 研究生に関する事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第44条 本学において、特定の科目について履修しようとする者については、教育研究に支障がない範囲において、選考の上、教授会の意見を聴いて、科目等履修生として、入学を許可することがある。

2 科目等履修生が履修した授業科目について、試験に合格したときは、第25条及び第26条の規定を準用して当該科目の単位を付与することができる。

3 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(特別聴講生)

第45条 学長は、他の大学、短期大学との協議に基づき、当該大学の学生を特別聴講生として、教授会の意見を聴いて、入学を許可することがある。

2 特別聴講生に関する事項は、別に定める。

第8節 検定料・学費及びその他諸費用

(入学検定料及び学費)

第46条 入学検定料及び学費は、別表第2に定めるところによる。

(学費等の納期)

第47条 学費その他の納入金は、別に定める指定の期日までに納入しなければならない。

(納付した学費)

第48条 納入した学費は、原則として返還しない。

(復学した場合の授業料)

第49条 復学の許可を受け、復学したときは、当該学期分の学費を納入しなければならない。

(退学・除籍及び停学の場合の授業料)

第50条 学期の途中で退学し、又は除籍された者の当該学期分の授業料は、徴収する。

2 停学期間中の授業料は、徴収する。

(修業年限を超えて在学する者の学費等)

第50条の2 修業年限を超えて在学する者の当該学期分の学費等については、第46条の規定にかかわらず別に定める。

(休学者の在籍料)

第51条 休学を許可された者は、別に定める在籍料を納入しなければならない。

第9節 育英・奨学

(育英・奨学)

第52条 本学に、育英及び奨学に関する制度を置く。

2 育英及び奨学に関する事項は、別に定める。

第3章 厚生施設

(厚生施設)

第53条 本学に厚生施設を置く。

2 厚生施設（学生ラウンジ、医務室等）について必要な事項は、別に定める。

第4章 公開講座等

(公開講座)

第54条 本学は、学術文化の普及を図るため、広く一般市民のための公開講座等を開講する。

2 公開講座等について、必要な事項は別に定める。

3 施設使用について必要な事項は、別に定める。

第5章 雑則

(学則の改廃)

第55条 この学則の改正及び廃止は、教授会の意見を聴いて、理事会の議を経て理事長が定める。

附 則

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

別表第1（第22条関係）

教育課程

（動物トータルケア学科）

科目群	授業科目の名称	単位数		備考
		必修	選択	
基礎科目	生命倫理学	2		
	心理学		2	
	社会学		2	
	キャリアマネジメント		2	
	コミュニケーション論		2	
	英語 I	2		
	英語 II		1	
	コンピューターリテラシー（情報処理） I	1		
	コンピューターリテラシー（情報処理） II		1	
	生活とアート		2	
職業専門科目	動物看護学概論	2		
	動物形態機能学	2		
	動物形態機能組織学	2		
	動物形態機能学・組織学実習	1		
	動物臨床看護学（基礎・内科）	2		
	動物臨床看護学（基礎・内科）実習	2		
	動物臨床看護学（外科）	2		
	動物臨床看護学（外科）実習	2		
	動物口腔ケア論		1	
	動物口腔ケア実習		1	
	訪問動物看護学	2		
	動物看護ソーシャルワーク	2		

職業専門科目	動物生理・繁殖学	2		
	動物病理学	1		
	動物薬理学	2		
	公衆衛生学	2		
	動物感染症学	2		
	環境生物学		1	
	動物臨床検査学	2		
	動物臨床検査学実習	1		
	動物臨床栄養学	2		
	動物行動学	2		
	動物リハビリテーション論		2	
	動物人間関係学	2		
	動物愛護・福祉と関連法規	1		
	伴侶動物学	2		
	動物飼育管理論	2		
	野生動物学	1		
	産業・実験動物学	2		
	動物トータルライフ環境論	2		
	動物トータルライフ演習		1	
	コンパニオンアニマルケア論	2		
	コンパニオンアニマルケア実習（基礎）	3		
	コンパニオンアニマルケア実習（応用）	3		
	コンパニオンドッグトレーニング論	2		
	コンパニオンドッグトレーニング実習	3		
	臨地実習1	1		
	臨地実習2	1		
	臨地実習3	4		
	臨地実習4	4		
	臨地実習5		5	
	臨地実習6		5	

門 科 目	職 業 専	動物実習短期留学		2	
		研修・ボランティア活動		1	
展 開 科 目		ジェロントロジー		2	
		社会福祉学		2	
		少子高齢社会と人口問題		1	
		高齢者心理		2	
		死生学		2	
		産業論		2	
		起業論		2	
		消費者行動分析学		2	
		I T社会論		1	
		情報危機管理論		1	
		災害・危機管理論		2	
		医療安全		2	
科 目	総 合	動物トータルケア総合演習1	1		
		動物トータルケア総合演習2	1		

注1 1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。

別表第2（第46条関係）

入学検定料及び学費

（動物トータルケア学科）

（単位 円）

事項		金額
入学検定料		20,000
入学金		150,000
学費	授業料（年額）	700,000
	実習費（年額）	300,000
	施設費（年額）	280,000
	小計	1,280,000

注2 学費は1年次、2年次、3年次共通

注3 入学検定料は、2回目以降に受験する際は、免除する。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学教授会規程（案）

平成31年4月1日

制定

（趣旨）

第1条 この規程は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学学則（以下「学則」という。）第10条第4項の規定に基づき、教授会の運営等について定めるものとする。

（構成）

第2条 教授会の構成は、学則第10条第2項に定める者をもって構成する。

2 教授会が必要と認める場合、教授会構成員以外の出席を認め、意見を聴くことができる。

（招集）

第3条 教授会の招集は、学長が行う。

2 定例教授会は、原則として毎月1回開催するものとする。

3 学長が必要と認めた場合及び構成員の3分の2以上が審議の必要性を認める議案がある場合は、臨時教授会を招集することができる。

4 教授会は、管理運営上重要な会議であることに鑑み、やむを得ず出席できないときは、あらかじめ学長の下承を得なければならない。

（議長）

第4条 教授会の議長は、学科長とする。

2 学科長に支障のあるときは学科長があらかじめ指名した教授が議長の職務を代行する。

（教授会の成立）

第5条 教授会の成立は、構成員の3分の2以上の出席を必要とする。ただし、海外出張者、公務出張者、長期欠勤者及び休職者を除く。

（議題の提出）

第6条 教授会の審議事項及び報告事項は、事前に学長に提出しなければならない。ただし、緊急の場合はこの限りでない。

2 教授会の運営を円滑に進めるために、教授会運営会議を置く。教授会運営会議については、別に定める。

（審議事項）

第7条 教授会は、次の各号の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関すること。

(2) 学位の授与に関する事。

2 前項各号に規定するもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が次の各号に定める事項。

(1) 教育課程の編成に関する事。

(2) 学生の編入学、再入学、留学及び除籍に関する事。

(3) 学生の表彰・懲戒に関する事。

(4) 教員の教育研究業績等の審査に関する事。

(5) 学則及び諸規程に関わる事項

(6) 第1号から第5号までに規定するもののほか、学長が意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

3 前項第6号に規定する事項を学長が定めるに当たり、教授会の意見を聴くものとする。

4 教授会は、第1項及び第2項に規定する事項のほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(議決)

第8条 議決は、出席者の過半数を必要とし、可否同数の場合は議長が裁決する。

(議事録)

第9条 教授会は、議事内容を記録(以下「議事録」という。)し、次回の教授会で確認しなければならない。

2 議事録は、事務局教務・学生課が作成し、保管するものとする。

(委員会)

第10条 教授会は、教育・研究の遂行及び諸案件の審議を円滑に進めるために、それ等に対応した委員会を設けることができる。

2 委員会の組織、運営等については別に定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改正及び廃止は、教授会の意見を聴いて、学長が定め、理事長に報告するものとする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から制定施行する。

目 次

1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性	1
(1)設置の趣旨及び必要性	1
(2)専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等	8
(3)教育研究上の理念、目的及び対象	10
(4)養成する人材像	10
(5)研究対象とする学問分野及び教育研究上の数量的・具体的な到達目標	11
2. 専門職短期大学及び学科の特色	12
(1)学科の特色	12
(2)教育目標	12
3. 専門職短期大学・学科の名称及び学位の名称	12
(1)専門職短期大学名称	12
(2)学科及び学位の名称	12
4. 教育課程の編成の考え方及び特色	12
(1)教育課程の編成方針	12
(2)科目構成及び区分	15
(3)教養教育の実施方針と教育課程編成上の具体的工夫	16
5. 教員組織の編成の考え方及び特色	16
(1)教員組織の編成の考え方	16
(2)教員の配置	17
(3)実務家教員の配置	21
(4)中心となる研究分野及び研究体制	24
(5)教員の年齢構成	25
6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件	26
(1)特色とする教育方法	26
(2)履修指導方法	27
(3)卒業要件	28
(4)履修モデル	29
7. 教育課程連携協議会	29
8. 施設、設備等の整備計画	30
(1)校地、運動場の整備計画	30
(2)校舎等設備の整備計画	30
(3)図書等の資料及び図書館の整備計画	36
9. 入学者選抜の概要	37
(1)アドミッションポリシー	37

(2)募集人員と選抜方法	37
(3)科目等履修生及び聴講生等の受け入れ	39
(4)選抜試験実施体制	39
10. 取得可能な資格	40
(1)卒業と同時に受験資格を得ることが可能な資格	40
(2)指定の2科目を取得すると受験資格を得ることが可能な資格	41
(3)本学を卒業後、実務経験1年以上を経て受験資格を得ることが可能な資格	41
(4)その他の資格	41
11. 臨地実務実習の具体的な計画	42
(1)臨地実務実習の目的	42
(2)臨地実務実習先の確保の状況	50
(3)臨地実務実習水準の確保の方策	52
(4)臨地実務実習先との連携体制	57
(5)その他	58
12. 管理運営	58
(1)教授会	58
(2)学内委員会	58
13. 自己点検評価	59
(1)自己点検・評価の基本方針	59
(2)実施体制	59
(3)実施方法	59
(4)評価項目	59
(5)結果の活用及び公表	60
14. 情報の公表	60
(1)情報公表の方針	60
(2)実施方法及び提供する項目	60
15. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	60
(1)FD・SD研修	60
16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制	62
(1)教育課程内の取組について	62
(2)教育課程外の取組について	64
(3)適切な体制の整備について	64

1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性

(1)設置の趣旨及び必要性

①設置の趣旨

人と動物の共生は永い歴史を有しているが、19世紀、産業革命によるさまざまな技術革新は、人による動物の改良と量産を促し、動物の産業資源化を進めてきた。

その結果、獣医学、畜産学はめざましい発展をとげ、それぞれの学術分野が確立された。しかし、20世紀、産業規模の急速な拡大は、自然環境の劣化を招くこととなり、人間社会は自然回帰、自然界との共生の中に新しい動物との関係を求め始め、動物に対するかかわりも、それを資源として産業化するばかりでなく、近年、家族の一員としてのコンパニオンアニマル^{脚注1}の飼育数が増大したことによる、動物医療や看護を含む関連産業の発展が目覚ましい。

現在、日本において超少子高齢社会を迎え、動物飼育環境の改善はイヌ、ネコの長寿をもたらし、イヌ 987.8 万頭、ネコ 984.7 万頭が飼育されていると推定される（資料 1）。イヌとネコの合計飼育数は、人の 15 歳未満の人口を超えている。加えて、人の高齢者人口は 3,000 万人を超え、3,500 万人に近づこうとしている。なお、イヌとネコの平均寿命も 14 歳を超え、超高齢化の傾向は顕著である（資料 2）。

超高齢社会の日本において、人とコンパニオンアニマルの共生が、高齢者の健康寿命を延ばすことが確認されている（資料 3）。このことは、国民の医療費の削減という日本の国家戦略に資するものである。さらに、身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬：以下補助犬）ユーザーである障がい者による社会進出を図ることも求められている。

なお、現在国内の動物診療施設数は微増している（資料 4）。

ペット関連産業の規模は、1兆 4,000 億円を超え、1兆 5,000 億円に届くと言われている（資料 5）。その内訳は、ペット関連サービス等 7,480 億円（ペット医療 3,009 億円^{脚注 2}を含む）、ペットフード市場 4,735 億円、ペット用品市場 2,505 億円となっている。なお、ペット関連サービスのうち、ペット保険の市場は現在 430 億円であり、国内加入率は 5%と

脚注 1 「愛がん動物又は伴侶動物（コンパニオンアニマル）として家庭等で飼養及び保管されている動物並びに情操の涵養及び生態観察のため飼養及び保管されている動物をいう。」と、「家庭動物等の飼養及び保管に関する基準（平成 14 年 5 月 28 日環境省告示 37 号）」にあるとおり、定義的には、家庭動物の扱いとなる。なお、ペットの和訳は、愛がんであり、大切に可愛がり慰みとするとなり、ここには人間が優位であり動物は従属、隷属するものという、差別がある。一方、コンパニオンの和訳は仲間、伴侶などの、同等、対等の意味を持つ言葉が並ぶ。したがって、コンパニオンアニマルとは伴侶動物であり、家族の一員としての同等の位置付けがなされる。コンパニオンアニマルという考え方が定着することで、飼主全体の意識が向上し、捨て犬・猫、放し飼いなどの公衆衛生上の問題も激減するものと期待される。

脚注 2 総務省・経済産業省 2012 年経済センサス 活動調査

なっているが、将来、イギリスの犬猫の加入率 45%と同様になった場合はその市場規模は 1,500~2,000 億円程度になると予想される（資料 6）。

しかし、高齢者の飼い主はペットが亡くなった後に、自分の年齢を考慮すると、終生飼養の観点から新たにペットを迎え入れることに不安を感じていることが多く、東京都では、ガイドブックを発行している（資料 7）。本学は、高齢者のペット飼育をサポートするために、家庭で看護・介護・管理・グルーミング等のトータルケアを行う訪問看護・在宅ケアができる動物看護師の養成を目指す。

同時に、動物医療が市場の 20%を占めるのに対し、その他の動物関連産業が 80%を占めることに鑑み、ペットフードの選択、予防医療の積極的な推進や保険加入の条件等（資料 8）において、溢れる情報のなかから適切な選択をできるよう、本学では、飼い主と産業界と動物を繋ぐ専門知識を持った動物看護師の養成を目指す。このことは動物看護師の職域を広げ、自立性をもって活躍することに繋がる。このような積み重ねがコンパニオンアニマルの飼育頭数の安定を図り、産業界の発展、人と動物の健康増進をもたらすものとする。

そこで本学は、動物看護教育の先駆者としての経験を活かし、専門職短期大学として産業界との連携をもって、実務的な教育課程の充実を図り、各専門分野において豊かな実務経験や高度な専門性を有する教員組織により、動物看護師としての実践的な能力を修得させる。飼い主に直接対応するとともに、訪問看護、介護、グルーミング、口腔ケア、しつけ及び食事・栄養の指導を行う、トータルケアのできる人材を養成するための、専門職短期大学を設立することとする。

②専門職短期大学設置の経緯と必要性

学校法人ヤマザキ学園は、故山崎良壽が昭和 42 年 12 月に、東京都渋谷区において「シブヤ・スクール・オブ・ドッグ・グルーミング」を創立して以来 50 年の歴史を有する（資料 9）。昭和 40 年代初頭、日本経済は高度成長期にあり、海外より洋犬の輸入が急激に増加し、ペットの需要は「ペットブーム」と言われ社会現象になった。海外からは、プードルやコリー、テリア等多種多様な犬種が輸入され、洋犬の飼育や長毛犬のシャンプー・カット等のケア、輸入されたドッグフードの与え方等の衣食住に関わる問題が次々と生じた。そのような背景を踏まえ、イヌに関する正しい知識を広めるために、渋谷駅ハチ公前のビルにて「イヌのリビング展」を開催した。このことはイヌの美容師という新しい職業への関心から多くの人々に注目され、翌年「シブヤ・スクール・オブ・ドッグ・グルーミング」は開設された。同校創立 3 年後には、「シブヤカレッジ」と改名し、高等学校卒業生を対象に、コンパニオンアニマルの健康管理を中心とした体系的な人材養成事業を始めた。昭和 52 年には、「ヤマザキカレッジ」と改名。動物看護・ケア教育の充実をはかり、昭和 58 年、獣医師、動物病院からの切実な要望に対応し「ヤマザキカレッジ附属日本動物看護学院」を新設。しかし、「動物看護」は専修学校の 8 分野に適合しないとの東京都の指導のもと学校法人認可まで約 10 年を要し、平成 6 年 6 月、「学校法人ヤマザキ学園」の認可を受け、平成 7 年 4 月、「専修学校 日本動物学院」の開校に至った。なお、「動物に看護はない」との指導から、「日本動物看護学院」の校名は「日本動物学院」に変更。以後、昭和から平成にかけて「動物看護」

の概念に対する認知を高め、動物看護学の科学的体系作りに邁進してきた。

そして、平成 16 年 4 月、高等教育機関として初めて動物看護学科を有するヤマザキ動物看護短期大学を八王子市南大沢に開学、平成 22 年 4 月、動物看護学を母体として認可された、日本で唯一の動物看護学部を擁するヤマザキ学園大学（動物看護学部動物看護学科：入学定員 180 人）（平成 30 年 4 月、ヤマザキ学園大学をヤマザキ動物看護大学に校名変更した。以下同様とする。）を開学し、今日に至っている。

以上のように、学校法人ヤマザキ学園は 50 年にわたり、我が国における動物看護教育の先駆者として、動物愛護、動物福祉等について動物愛護シンポジウム（資料 10）や公開講座（資料 11）を通して啓発に努めてきた。

また、動物看護師の養成機関として専門学校、短期大学と大学を合わせて 13,000 人以上の卒業生を輩出し、日本における動物看護並びに動物看護師の発展に大きく貢献してきた。

なお、平成 22 年 10 月 1 日より、日本において動物看護師の資格認定を行っている 5 団体が協力して、動物看護職統一試験協議会が発足し、平成 24 年 2 月 1 日に第 1 回統一試験が実施され、平成 23 年 9 月 29 日に設立した動物看護師統一認定機構が認定・登録を行った。同機構は、平成 28 年 2 月 1 日には一般財団法人化し、統一試験を実施して資格認定、登録を行い、平成 29 年 3 月までに第 6 回の試験に至っている。

現在、九州保健福祉大学、倉敷芸術科学大学、帝京科学大学、日本獣医生命科学大学、ヤマザキ動物看護大学、酪農学園大学、東亜大学、千葉科学大学の 8 校が受験認定を受け、専修学校 68 校（資料 12）を加え、全国で 76 校が受験している。

しかし、近年になり飼い主の高齢化と飼育されているイヌやネコの高齢化に伴い、高齢犬等の健康維持をサポートする訪問看護・在宅ケアの要望が高まり、一般財団法人日本ヘルスケア協会において、ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会（資料 13）も発足し、ペットとの暮らしが人の長寿に繋がると証明されてきている。このような状況の中で、臨地実務実習（臨地実習を正式名称の臨地実務実習に変更した。科目名称は除く。以下同様とする。）で多くの経験を重ね、実践力を兼ね備え、産業界の職場で飼い主に飼育やケアの他、商品や保険に関してアドバイスのできる人材の養成が要望されている。それらの要望に応えるため、ヤマザキ動物看護大学の特色ある教育・研究と、ヤマザキ動物専門学校の実学教育の経験を踏まえ、3 年制の専門職短期大学を平成 31 年 4 月、渋谷区松濤に設置する。

日本の将来を見据えて産業界のイノベーションが問われている経済状況に鑑み、動物関連産業界においても、動物医療を支え、動物関連企業では新たな創造力を持って、職域を拡大し、動物関連産業界の一角を担う動物看護師が期待されている。

設置する学校種を 3 年制の専門職短期大学とする理由は、昭和 42 年以来、動物看護や動物美容の教育に携わり、昭和 60 年以降は圧倒的に 3 年制の学科が支持され、その結果、専門学校では就職率 95%を保持してきたことによる。また、4 年制大学に入学し、教育・研究に進むより実務力を身に付け、社会で活躍することを希望する高校生の層が見受けられる。特に動物と接することの多い実習授業や臨地実務実習を好む学生には新制度の専門職短期大学への期待が大きい。また、就職等の出口の観点から説明すると、ヤマザキ動物看

護大学の就職率は 97.4%（平成 28 年度）であり、就職先は、動物病院 49.6%、動物関連産業等 50.4%である。それに対し、ヤマザキ動物専門学校就職率は 95.0%（平成 28 年度）であり、就職先は、動物病院 83.0%（43.0%はグルーミングを含む）、その他（サロンショップを含む）17.0%という結果であった。主な就職先である動物病院の半数はグルーミング（イヌ・ネコの美容）業務を行っていることから、専門学校では教育課程の半分を学内での実習に要し、多くの実習授業をとおして看護と美容の即戦力となる技術を備えた動物看護師を動物病院に送り出している（全体の 8 割強）。動物関連企業は 2 割弱に留まる（資料 14）。

3 年制のヤマザキ動物看護専門職短期大学の就職先は、動物病院及び動物関連企業の 3 分野（①ペットサロン（動物病院美容部門を含む）・ペットショップ②ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設、③その他のペット関連企業・動物関連団体）を想定し、臨地実務実習先での知識と経験を活かし、動物関連企業への就職領域の拡大が見込まれる。

なお、450 時間の臨地実務実習を履修しつつ、一般財団法人動物看護師統一認定機構主催の動物看護師統一認定試験の受験資格となるコアカリキュラムを履修して、同認定試験に対応するためにも、3 年間の教育期間が必要とされる。

ヤマザキ動物看護大学の教育課程は、教養科目から卒業論文に至る授業科目の体系をもって 4 年間学修し、動物看護学の科学的体系を構築するための教育・研究機関であることから、ヤマザキ動物看護専門職短期大学とは異なる役割を果たす。

また、ヤマザキ動物専門学校の教育課程は、技術の即戦力を養成するため学内実習を中心に、講義と実習の割合が約半々であり、実習授業に多くの時間を割いている。また、実習授業では、技術修得のために何度も繰り返すリピート授業を行うことが、社会に出た時の確実な即戦力となる。新制度の専門職短期大学のように関連する他分野の展開科目等は配置していない。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学の教育課程は、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに沿って、教育課程において修得した知識・技術をとおし、動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力を修得する。

なお、既設のヤマザキ動物専門学校の動物看護・美容学科（3 年制・収容定員 240 人）については、その定員を振替えて専門職短期大学を設置することに伴い、専門職短期大学の開設にあわせて廃止を前提に学生募集を停止するが、これらに関する情報の周知を図るとともに、在学生の教育に支障がないように引き続き丁寧な学生指導を徹底する等の配慮をした上で在学生の卒業後に廃止する。あわせて同専門学校は、2 年制の動物看護学科を名称変更し、動物看護・美容・トレーニング学科として、引き続き存続する。

学校教育法において、大学は、「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。」と規定されている。専修学校は、「職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る。」ことを目的とすることが規定されている。

この度、新たに学校教育法の改正により制定された専門職短期大学は、深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を養成することを目的とするものであり、450時間の臨地実務実習を行うことを特色とする。なお、専門職短期大学は、キャリア教育・職業教育を充実・強化し、産業構造の変化や技術革新、グローバル化等の社会状況の変化に直面しても、職業を通じた社会との関わりを持ち続けることができる高度な実践力と豊かな創造力をもつ職業人としての動物看護師を養成する。

新たに設立されるヤマザキ動物看護専門職短期大学においては、動物看護師として訪問看護・在宅ケアの要望に応えるとともに、同時に動物看護の素養を備えて臨地実務実習で多くの経験を重ね実践力を備えた、飼い主と市場を結び産業界の発展に寄与する人材を養成するものである。ヤマザキ動物看護専門職短期大学、ヤマザキ動物看護大学、ヤマザキ動物専門学校は、それぞれの役割をもって、社会に必要な人材を養成する。

③ペット需要の変化と設置の必要性

一般社団法人ペットフード協会が公表している全国犬猫飼育実態調査（以下、同調査）によると、犬の飼育頭数については、平成24年（2012年）に1,153.4万頭だったものが平成28年（2016年）には、987.8万頭へと165.6万頭減少している（資料1）。

しかし、同調査による飼育頭数と犬の年齢構成から高齢犬の飼育頭数を計算すると10歳以上の高齢犬の飼育頭数は平成24年（2012年）に304.5万頭であったものが、平成28年（2016年）の352.6万頭へと高齢犬が48.1万頭増加し、今後も高齢犬の増加が想定される（表1）。

表1 犬の年齢構成

暦年	0~6歳	7~9歳	10~12歳	13歳以上	不明	総数
平成24年 (2012年)	47.7%	23.9%	16.7%	9.7%	1.9%	1,153.4万頭
	71.6% (825.8万頭)		26.4%(304.5万頭)		1.9% (21.9万頭)	
平成28年 (2016年)	41.0%	21.1%	20.0%	15.7%	2.3%	987.8万頭
	62.1% (613.4万頭)		35.7% (352.6万頭)		2.3% (22.7万頭)	

(出典：一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査)

なお、ペットを家族の一員ととらえる傾向が強まり、犬の高齢化が進む中で、前述した動物診療施設の増加については、平成23年(2011年)の10,551施設に対し平成28年(2016年)には11,675施設と1,124施設が増設している(資料4)。その理由としては、人の高齢化と同じようにペットの高齢化による動物医療の多様化に付随する医療費の増加等によるものと推察される。また、東京都の飼育動物診療施設届出数(表2)によると、往診専門の診療施設は、平成24年(2012年)の111施設から平成29年の163施設へと52施設、46.8%も増加している。このことから近年、往診の需要が増加していることが伺える。一般の動物病院においても、幼齢の時から診療に携わっていた犬が高齢化した場合、往診診療の要

望が増えていることが想定され、訪問看護・在宅ケアの動物看護師が期待されるところが大きい。

このように動物関連産業の市場は犬の飼育頭数の減少を受けても、「①設置の趣旨」(P1)で述べたとおり、動物病院を含む、ペット保険市場、ペット同伴宿泊施設、ペット葬儀社など、コンパニオンアニマル(伴侶動物)に関する市場が拡大を続けている(資料 5-2、5-3、5-4)。

表 2 東京都の飼育動物診療施設届出数

年度	往診専門診療施設数
平成 24 年 (2011 年)	111
平成 29 年 (2017 年)	163 (46.8%増)

注) () 内は平成 24 年対比の増加割合 (出典: 東京都産業労働局農林水産部食料安全課)

本学は、上記の調査から犬の飼育頭数が減少傾向にあるにもかかわらず、ペット関連産業が成長していることに注目した。加えて犬の飼い主の年齢構成について検証したところ、50代~60代の犬の飼い主が一番多く、平成 25 年 (2013 年) には 50代~70代の犬の飼育者の合計は、47.1%を占める。しかし、平成 28 年 (2016 年) には 41.6%へと減少しているが(表 3)、訪問看護・在宅ケアの動物看護師が飼育をサポートすることにより、この減少を食い止める一助になると考える。

表 3 犬 現在の飼育状況_年代別構成比 (単位: %)

暦年	20代	30代	40代	50代	60代	70代	50代~70代の合計
平成 24 年(2012 年)	14.8	13.3	16.1	21.4	18.2	—	39.6
平成 25 年(2013 年)	15.1	12.7	15.1	20.0	16.4	10.7	47.1
平成 26 年(2014 年)	14.3	12.4	13.9	18.2	16.5	10.3	45.0
平成 27 年(2015 年)	14.1	12.2	12.9	17.5	15.6	10.7	43.8
平成 28 年(2016 年)	13.4	12.0	13.9	16.7	14.7	10.2	41.6

(出典: 一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査)

さらに同調査によると、50代~70代世代の飼育のきっかけは「生活に癒し・安らぎが欲しかったから」、「家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから」という回答が多く、子育てが一段落したところで犬の飼育を開始する傾向もみられる。飼育の阻害要因としては、「十分に世話ができないから」、「最後まで世話をする自信がないから」といった回答が多かった。また、あったらいいと思う飼育サービスとしては「旅行中や外出中の世話代行サービス」、「高齢で飼育不可能な場合の受入施設提供サービス」、「飼育が継続不

可能な場合の引き取り手斡旋サービス」といった意見が多く出ている（表4）。

表4 犬の飼育阻害要因など年代別にみる特徴一覧（50代～70代）

年代	阻害要因 (犬)	あったらいいと思う 飼育サービス	飼育のきっかけ (犬飼育者)
50代	①「十分に世話ができないから」：28.5% ②「死ぬとかわいそうだから」：23.8% ③「別れがづらいから」：23.1%	①「旅行中や外出中の世話代行サービス」：44.3% ②「飼育が継続不可能な場合の引き取り手斡旋サービス」：25.9% ③「健康保険料、生命保険料などが減額になるサービス」：25.4%	①「生活に癒し・安らぎが欲しかったから」：28.6% ②「以前飼っていたペットが亡くなったから」：21.6% ③「子供にせがまれたから」：19.5%
60代	①「最後まで世話をする自信がないから」：28.0% ②「別れがづらいから」：27.3% ③「十分に世話ができないから」：26.5% ④「死ぬとかわいそうだから」：26.5%	①「旅行中や外出中の世話代行サービス」：35.5% ②「高齢で飼育不可能な場合の受入施設提供サービス」：30.6% ③「飼育が継続不可能な場合の引き取り手斡旋サービス」：27.9%	①「以前飼っていたペットが亡くなったから」：35.5% ②「生活に癒し・安らぎが欲しかったから」：26.6% ③「家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから」：18.2%
70代	①「最後まで世話をする自信がないから」：42.1% ②「別れがづらいから」：32.4% ③「死ぬとかわいそうだから」：31.2%	①「高齢で飼育不可能な場合の受入施設提供サービス」：48.8% ②「旅行中や外出中の世話代行サービス」：40.7% ③「飼育が継続不可能な場合の引き取り手斡旋サービス」：39.9%	①「以前飼っていたペットが亡くなったから」：42.6% ②「生活に癒し・安らぎが欲しかったから」：34.9% ③「家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから」：23.7%

（出典：一般社団法人ペットフード協会 平成28年全国犬猫飼育実態調査）

現在、人生100歳時代を迎え、50代、60代、70代のペット飼育者が20年後に70代、80代、90代になっても伴侶動物との豊かな共生に癒しと安らぎを得て、生涯にわたり終生飼養ができるようなサポートが急務であり、今後、高齢者と高齢犬への飼育に関するサポートの重要性が増すと考えている。

本学では、「(2)専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実」(P8)で記載した訪問看護・在宅ケアができる動物看護師の必要性に着目した。

そのため、教育課程に訪問看護・在宅ケアを学修する授業科目を配置し、飼い主に寄り添う訪問看護や在宅ケアのできる動物看護師と、犬のデイケアサービスや老犬ホームなどの新しい分野を開拓し消費者（飼い主）と動物関連産業とを繋ぐ動物看護師を養成する教育機関が必要であるとの結論に至った。

また、本学園では、これまでもペット需要に対応し教育課程を柔軟に変更してきたが、専門職短期大学においても、ペットの需要の変化や業界の動向の変化を教育課程に反映させるため、教育課程連携協議会に動物病院の動向に詳しい構成員、ペットサロン（動物病院美容部門を含む）・ペット用品・ペットフード販売などの動向に詳しい構成員、動物看護

職の動向に詳しい構成員、今後さらなる発展が予想されるペット同伴宿泊施設に詳しい構成員、地域の代表となる地方公共団体の構成員を含めた。

本学では、教育課程連携協議会による意見をもとに、学内の教授会や教務委員会で教育課程を議論した上、業界の動向に対応した教育課程の具現化に努めることとする。

(2) 専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等

① 訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実

現在、小動物及びその他の動物を対象とする動物病院数は、全国で 11,675 施設、1 都 6 県で 4,681 施設ある（資料 15）。近年、人とコンパニオンアニマルの高齢化が進み、在宅のまま受けられる訪問サービスを望む声が多くなってきている。また、動物病院での動物看護師の業務は獣医師とのチーム医療が中心であり、今後も、獣医師の指導のもと行われる訪問看護の他、在宅ケアでは動物看護師の職業的自立を目指し、職域を広げていく。

したがって、本学の動物看護師養成には、訪問看護・在宅ケアに関する知識と技術の教育が必要とされる。加えて、高齢犬のリハビリテーションや口腔ケアを修得することも大切である。本学が養成する動物看護師は獣医師の指示の下、往診に同行して行う業務と獣医師とは別に独自に行う行為がある。在宅ケアは訪問看護で行われる内容と重なる部分もあるが、獣医師の同行が必要とされない動物看護師独自の業務があり、必要に応じては主治医（獣医師）との連携も図る。在宅ケアの内容は訪問看護の内容と重なる部分が多いが、それぞれに分けて説明すると次のとおりである。

在宅ケアとは、家庭において幼齢動物から高齢動物のライフステージに対応し、様々な場面で飼い主のサポートを行うトータルケアである。例えば、幼齢動物に対しては家庭の飼育環境を整備し、トイレトレーニングや乳歯から永久歯に生え変わる際の口腔ケアを行う。また、高齢動物に対して、移動の負担を減らし自宅でシャンプー、カットを行う他、補食のサポートも行う。なお、終末期ケア及びグリーフケアも在宅ケアに含まれる。

訪問看護とは、動物看護師が病気や障がいを抱えながら自宅療養中の動物を対象に、往診治療の際、獣医師の指示のもとチーム医療の一員として治療の補助を行うことである。

具体的な内容は、往診治療時に獣医師の治療の補助や獣医師が行う検体採取（採血・採尿・採便等）の補助、動物の保定、飼い主への薬の投与状況の確認や指導を行う。また、獣医師と飼い主の関係調整として、双方のコミュニケーションが円滑に進むよう動物看護師は飼い主の意思や希望が主治医に正確に伝わるようにサポートし、対象動物の QOL を維持する等が挙げられる。

更に、獣医師が医学的見地も含めて選択肢の一つとして挙げる安楽死について、悩む飼い主を支えるのも動物看護師の役割と言える。

また、人と動物の共生において、公衆衛生学は動物看護師にとって重要な科目である。動物の医療が進み、動物臨床検査学及び実習の授業は動物の健康管理に欠くことのできない領域である。イヌやネコの高齢化に対応し、動物臨床栄養学に加え、動物トータルライフ演習では、自然食、手作り食、肥満管理に至る授業内容を展開する。動物人間関係学では、動物

が介在する人の福祉についても学修する。この分野を学修し、動物病院にとどまらず、ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物関連団体などへの職域拡大を図る。

これらの教育研究を行う専門職短期大学を設置する。

②動物看護師の職域の拡大と卒業後の進路

動物看護師の職域の代表として挙げられる動物病院は、個人経営から法人経営を含む15,631件が全国で開業し、また、最近の傾向としては、求人先の動物病院の約半数がコンパニオンアニマルケア（グルーミング）^{脚注3}の業務を備えているため、その能力・技術における専門性も必要とされている。

加えて、動物看護師は、動物病院だけでなく、ペットショップ、ペット用品店、グルーミングサロンや犬のしつけ教室等の他、動物園、水族館など、様々な職域で活躍している。動物看護の素養を備えた人材は、動物医薬品を含む製薬会社、研究所に加え、ペットフードやサプリメント・消臭剤等を取り扱う全国のドラッグストアが加盟する日本チェーンドラッグストア協会からの需要も大きい（資料16）。さらにドッグ・リゾートやネコカフェ（資料17）は日本の新しい文化として根付き始め、外国からの観光客に人気を得ている。

このように多様化する動物関連の職域では、動物看護の専門的な知識と技術を修得するのみならず、幅広い視野と様々な事象に的確に対応できる能力を備えた動物トータルケアができる動物看護師が要望されていることから、この度の専門職短期大学設置認可申請に際し、本学が所在する渋谷区の長谷部健区長をはじめ、動物病院や動物関連産業界より多数の賛同意見をいただいている（資料18）。

人と動物の共生する社会において、動物が介在する人の福祉の分野では、動物看護師がアニマルアシステッドセラピーや補助犬による、人の福祉の向上のため、社会福祉法人日本介助犬協会、公益財団法人日本盲導犬協会、社会福祉法人日本聴導犬協会等の関連団体を始めとして、小児病院研究センター、精神神経センター、高齢者施設等からの需要が将来的に予想され、動物看護師の職域拡大が期待されている。特に補助犬については、アメリカ合衆国では、盲導犬：約10,000頭、介助犬：約5,000頭以上、聴導犬：約5,000頭以上が活躍している。一方、日本国内では、厚生労働省の補助犬実働頭数によれば、盲導犬：950頭、介助犬：70頭、聴導犬：73頭（平成29年6月1日現在）に過ぎず、動物看護学を基盤とする動物介在福祉の教育研究による人材養成並びに補助犬の育成普及が、社会の強い要請であると考えられる。補助犬の育成については、動物看護師がその職域の一端を担い、補助犬の増加に貢献することができる。また、小学校等で動物を飼育することが幅広く行われているが、それらの飼育動物の診療及びケアを、動物看護師が獣医師とともに学校を訪問して行っている。青少年の教育の現場でも動物看護師の活躍が期待される。以

脚注3 イヌやネコの健康管理のために衛生上から行う、ブラッシング、シャンプー、カットなど被毛の手入れのことを総称しコンパニオンアニマルケアまたはグルーミングという。

上のことから、卒業後の進路が広がる。

③人と動物の関係における法令等整備の動向

平成 11 年 12 月に「動物の愛護及び管理に関する法律」が 26 年ぶりに抜本的に改正され、動物が命あるものと明文化されたことにより、動物はここに新たに市民権を得たと言える。なお、動物へのみだりな殺傷に対する罰則が強化され、さらに、平成 17 年 6 月には動物取扱業の規制強化や実験動物への配慮、更なる罰則の強化等、一部が改正された（資料 19）。

また、平成 14 年 5 月に「身体障害者補助犬法」（資料 20）が、平成 20 年 6 月には「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律」（資料 21）が公布された。

(3)教育研究上の理念、目的及び対象

学校法人ヤマザキ学園は「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を建学の精神に掲げ、人間は、地球上に存在する多種多様な生命に対し、尊敬の心を持ち、共に生きるものに限りない愛を注ぎ、調和のとれた平和な社会の建設に寄与する豊かな人間性と幅広い視野を持つ人間教育を行うことを目的としている。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学は、学園の建学の精神のもと「生命を生きる」を教育理念とする。この教育理念は、「動物を愛することで自分自身も大自然のなかで生かされている生命であることを認識し、人間が自分たちよりも小さな弱い立場のものに思いやりの心を忘れずに、動物たちと豊かに共生すること」である。

動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を備えて、人とコンパニオンアニマルの関係に求められる豊かな人間性と幅広い視野を養い、動物トータルケアに関わる基本的な理論・技術を身に付け、実践的、応用的能力を有することにより、訪問看護・在宅ケアのできる動物看護師を養成することに加え、動物看護の素養をもって、飼い主と産業界を繋ぐ人材の養成を目的とする。

(4)養成する人材像

①養成する人材像

本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護・在宅ケアにおいてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防、衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。また、動物関連産業界において飼い主（消費者）と市場を結ぶ役割を果たす人材を養成する。

本学が養成する人材像は次のとおりである。

- ・ 動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連産業において実務家として社会に貢献する人材
- ・ 基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を

備えた人材

- ・ 豊かな人間性とグローバルな視野を身に付け、実践的、応用的能力を備えた人材

専門職短期大学では、動物病院に勤務する動物看護師が獣医師の補助職にとどまらず、動物看護師がチームをつくり、動物医療と協働の上、在宅ケアを充実していくなど、動物看護師の職域を拡大するためのアイデアから、社会的意義のある新しい動物看護師の役割を創造できる人材の養成を目指している。

②ディプロマポリシー

卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護短期大学士（専門職）の学位を授与する。

本学のディプロマポリシーは次のとおりである。

- ・ 動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。
- ・ 動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。
- ・ 動物の在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。
- ・ 動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。

本学のディプロマポリシーに述べられている動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力とは、教育課程の中で修得する知識・技術をとおして、病気や障がいを抱えながら自宅療養中の動物や家庭における幼齢動物や高齢動物のライフステージに対応し、健康問題がどのように変化するかを理解した上で、ケアプランを立て、問題を解決するための能力である。また、飼い主自身が飼育動物のケアができるように指導し、飼い主の相談に対応するための能力である。

(5)研究対象とする学問分野及び教育研究上の数量的・具体的な到達目標

①研究対象とする学問分野

動物看護学を基盤とし、コンパニオンアニマルの生から死までのトータルケアを研究対象とする。人とコンパニオンアニマルの高齢化に対応し、訪問看護・在宅ケアを研究対象とする。

②教育研究上の数量的・具体的到達目標

訪問看護・在宅ケアでコンパニオンアニマルの生から死までのトータルケアを行う動物看護師の養成を到達目標とし、更に産業界において飼い主と市場とを結ぶペット市場において飼い主と産業界を繋ぐ役割を果たす動物看護師の養成を到達目標とする。

2. 専門職短期大学及び学科の特色

(1)学科の特色

動物トータルケア学科は動物看護学を基盤として、コンパニオンアニマルの訪問看護・在宅ケア及び飼い主と産業界を繋ぐ実践力を有する動物看護学教育に重点を置いている。また、本学科の大きな特色として、関連する他分野の展開科目があげられる。今まで動物看護教育ではあまり取り上げられてこなかった「ジェロントロジー」、「死生学」、「産業論」、「起業論」「消費者行動分析学」等の科目を配置し、職業専門科目で修得した動物看護の知識、技術をもってペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップの開業の他、在宅ケアや動物関連企業での新たな事業展開を図り、将来の動物関連産業界を担い、発展させる人材に求められる能力を培う。

(2)教育目標

本学の教育研究目的を達成するために、以下の教育目標を設定する。

- ①生命を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を養う
- ②幅広い視野と創造性を養う
- ③動物看護師にふさわしい使命感と職業観を養う
- ④地域社会に貢献する社会性を養う
- ⑤和を重んじ社会人としての礼節を養う

3. 専門職短期大学・学科の名称及び学位の名称

(1)専門職短期大学名称

専門学校及び大学を通じて動物看護の分野におけるパイオニアとして創始者の建学の精神と遺徳を継承し、校名に「ヤマザキ」の名を冠し、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学（英語名：Yamazaki Professional College of Animal Health Technology）」とする。

(2)学科及び学位の名称

本学の教育課程は、動物看護学を中心に構成され、教育研究分野においても動物看護学を母体としている。なお、訪問看護・在宅ケアにおいてコンパニオンアニマルの生から死までのトータルケアが可能な実践的、応用的能力を備えた動物看護師の養成を目的とする。したがって、学科名は「動物トータルケア学科（英語名：Department of Animal Health Technology）」とする。また、学位は「動物看護短期大学士（専門職）（英語名：Associate Degree of Animal Health Technology）」とする。

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

(1)教育課程の編成方針

①カリキュラムポリシー

動物愛護の精神に則り人と動物の共生の思想と倫理観を身に付け、以下のような教養教

育及び職業専門教育を編成し実施する。

カリキュラムポリシーは、教育課程を整備し次のとおりとする。

- ・基礎科目では、人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を身に付け、生涯にわたり、自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を養う。
- ・職業専門科目では、動物看護師に必要とされる理論的、実践的な能力を養う。
- ・展開科目では、関連する他分野において動物看護師として創造的な役割を果たすために必要な応用的能力を養う。
- ・総合科目では、修得した知識・技術等を総合し、動物看護師として課題解決力・創造力を養う。

以上の課程の修得により、課題解決能力等の涵養及び社会人としての基礎力の構築に努める。

②教育課程の編成

本学の教育課程は、「^{いのち}生命を生きる」という教育理念のもと、カリキュラムポリシーを踏まえ、以下のように体系的に編成した。

- ・「基礎科目」には、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するため「生命倫理学」を配置する。「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目である。なお、「生命倫理学」に「社会学」と「心理学」を加えたこの 3 科目は、展開科目の「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢化と人口問題」、「高齢者心理」への関係性を持たせ、体系的な学修を目指す。
- ・「職業専門科目」には修得した知識を応用しケアプランを立て、あわせて問題解決能力を身につけるために「動物トータルライフ環境論」、「訪問動物看護学」、「動物看護ソーシャルワーク」の科目を配置した。あわせて、動物の健康問題の変化について理解するために「公衆衛生学」の科目を配置した。

また、動物看護の基礎を修得した上で、独自に工夫を行うために「動物臨床看護学（外科）」、「動物臨床栄養学」、「動物リハビリテーション論」、「動物口腔ケア論」の科目を配置した。動物の訪問看護や在宅ケアを行うにあたり、基礎科目の「コミュニケーション論」で学修したことを活かし、飼い主への指導・相談技術を修得するために「コンパニオンドッグトレーニング実習」、「動物口腔ケア実習」の科目を配置した。（資料 28-2）

また、卒業後の進路を決定するための動物病院における臨地実務実習及び動物関連企業における臨地実務実習を次のとおり配置した。

「臨地実習 1」

1 年次夏季休暇または 1 年次春季休暇に校舎（1 号館）に併設されているペットサロン（動物病院美容部門を含む）で 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

動物の取り扱い方、マナー、ペットサロン（動物病院美容部門を含む）の業務を把握し、1日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。

「臨地実習 2」

1年次夏季休暇または春季休暇に校舎（1号館）に併設されている動物病院（アニマルメディカルセンター）で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

「臨地実習 3」

動物病院において、8日間ずつ2か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。院内清掃、電話応対、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で8日間ずつ、2か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。表5の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる2か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

表 5

業 種 別 分類番号	業 種
1	ペットサロン（動物病院美容部門を含む）・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

「臨地実習 5」

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を

考慮して配属する。

「臨地実習 6」

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場（店舗等・団体等）で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他ペット関連企業、動物関連諸団体等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

- ・「展開科目」には、動物看護師の自立と職域拡大をめざし、現代社会の高齢化に対応する「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「高齢者心理」、「死生学」、「少子高齢社会と人口問題」、「医療安全」の科目を配置した。また、IT社会や情報危機管理に対応するために「IT社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置した。さらに、動物関連産業の新たな分野を切り開くために「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」の科目を配置した。

以上のことから、「職業専門科目」において、ディプロマポリシーに掲げる動物看護師に必要な、動物の訪問看護及び、動物の在宅ケアに関わる理論的かつ実践的な応用的能力を身に付ける。さらに、動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を備えるため「展開科目」に発展させ、他分野における創造的な役割を果たすことの出来る人材養成に努める。

- ・「総合科目」には、各年次で今までに学んだ知識・技術等を総合し、臨地実務実習での体験を踏まえて、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を養う「動物トータルケア総合演習1」、「動物トータルケア総合演習2」を配置した。

なお、講義と実習においては段階的な教育を行い、科目編成の見直しと実施状況の評価等については、産業界等と密接な連携を図りつつ、教育課程連携協議会の意見を聴き、教育課程の開発に努める。

本学のカリキュラムの概念図は資料22のとおりである。

(2)科目構成及び区分

本学の教育課程は「基礎科目」、「職業専門科目」、「展開科目」、「総合科目」で構成する。

- ・「基礎科目」では、共生の思想と倫理観を学修するための中核となる「生命倫理学」をはじめ、教養としての「英語Ⅰ」や「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」、「コミュニケーション論」等を配置する。
- ・「職業専門科目」では、職業に繋がる「動物看護学概論」、「動物形態機能学」、「動物行

動学」、「動物臨床看護学(基礎・内科)」、「動物病理学」、「動物トータルライフ環境論」、「公衆衛生学」、「動物臨床看護学(外科)」、「コンパニオンアニマルケア実習(基礎)」、「コンパニオンドッグトレーニング実習」等の専門的な科目を配置する。なお、臨地実務実習に関しては「臨地実習 1」、「臨地実習 2」、「臨地実習 3」、「臨地実習 4」、「臨地実習 5」、「臨地実習 6」を配置する。また、「動物生理・繁殖学」、「動物病理学」、「動物感染症学」、「動物薬理学」の理論系の科目は動物病院での臨地実務実習の前に履修しておくことが望ましいため、履修年次を「動物生理・繁殖学」は 1 年次前期、「動物病理学」は 1 年次後期、「動物薬理学」は 2 年次前期、「動物感染症学」は 1 年次後期に変更した。なお、教育内容をさらに充実させるため、「環境生物学」を配置した。

- ・「展開科目」では、訪問看護・在宅ケアを行う動物看護師として職域を広げ、また、将来産業界を担い、産業界の発展に繋がる他分野の応用的な能力を養成することを目指して「少子高齢社会と人口問題」、「医療安全」、「IT 社会論」等の科目を配置する。
- ・「総合科目」では、修得した知識・技術等を総合し、臨地実務実習の体験を活かした実践的、応用的な能力を総合的に高める内容の科目を配置し、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を育成することを目指して「動物トータルケア総合演習 1」及び「動物トータルケア総合演習 2」を配置する。

(3) 教養教育の実施方針と教育課程編成上の具体的工夫

本学の基礎科目では人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を養い、生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する。そのために「生命倫理学」、「英語 I」、「コンピューターリテラシー(情報処理) I」を必修科目とし、「心理学」、「社会学」、「キャリアマネジメント」、「コミュニケーション論」、「英語 II」、「コンピューターリテラシー(情報処理) II」及び「生活とアート」を選択科目として配置する。

5. 教員組織の編成の考え方及び特色

(1) 教員組織の編成の考え方

教員編成の基本的な考え方は以下の 4 点である。

- ・本学の専任教員は、教授 5 人、准教授 1 人、講師 6 人、助教 2 人の合計 14 人(博士 3 人、修士 6 人、学士 3 人、専修学校・各種学校卒 2 人)である。
- ・専任教員 14 人のうち、7 人を 16 年から 30 年の職業経験がある実務家教員とする。なお、7 人の内 3 人の実務家教員は、博士の学位または研究能力を有する実研教員である。
- ・実習科目を補助する助手 4 人を配置する。
- ・実務家教員以外にも、産業界から多彩な非常勤講師を招来して最先端の技術と知識を得られるように努める。

(2)教員の配置

教員配置の基本的な考え方は、以下のとおりとする。

①基礎科目について

基礎科目に配置した「生命倫理学」は、神学修士の学位を持つ山北宣久教授（学長候補）が担当し、建学の精神及び教育理念を投影する。

「心理学」は、生活に役立つ心理学の知識、考え方について、博士の学位を持つヤマザキ動物看護大学の加藤理絵准教授が兼任として担当する。

「社会学」は、グローバル化による多面的な変化を強いられる現代日本社会の現状を理解する等の講義について、ヤマザキ動物看護大学 新島典子准教授が兼任として担当する。

「キャリアマネジメント」は、講義と実践ワークを通じてキャリアデザインの基礎を学び、荒木幸子講師が担当する。

「コミュニケーション論」は、専門学校での教育歴や実務経験を活かし、藤巻裕子兼任講師が担当する。

「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」は、加藤剛講師が担当する。

「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」は、コンピューターやOSの原理を理解した上でファイルの操作法、インターネットの動作原理と情報検索の方法、データの整理方法等を学ぶ。「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」は、ウェブサイトの動作原理と構造、HTML・CSS使用法を学び、AI（人工知能）、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）等の最新技術について学び、コンピューター社会について考察する。「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」は、近藤美保子兼任講師が担当する。

「生活とアート」は、人間がどのようにして生活の中で芸術作品を生み出してきたかを考察することで、芸術が人間生活に果たす役割を学修する科目として、ヤマザキ動物看護大学の斎藤康介兼任講師が担当する。

②職業専門科目について

職業専門科目では、動物看護学の重要な科目は、段階的に履修することを原則とし、獣医師である教授・准教授の専任教員が担当する。

獣医師である花田道子教授（学科長候補）は「動物看護学概論」、「動物臨床看護学（基礎・内科）」、「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」（鈴木友子氏と共同）、「動物臨床栄養学」、「臨地実習 3」（藤村響男教授、本田三緒子教授、井上留美講師、宮田淳嗣助教、山村拓也助教と共同）、「臨地実習 5」（藤村響男教授、山川伊津子准教授、荒木幸子講師、宮田淳嗣助教と共同）を担当する。

獣医師である藤村響男教授は「動物病理学」、「動物薬理学」、「動物感染症学」、「臨地実習 3」（花田道子教授、本田三緒子教授、井上留美講師、宮田淳嗣助教、山村拓也助教と共同）、「臨地実習 5」（花田道子教授、山川伊津子准教授、荒木幸子講師、宮田淳嗣助教と共同）を担当する。

獣医師である本田三緒子教授は、「動物形態機能学」、「動物形態機能組織学」、「公衆衛生

学]、「動物リハビリテーション論」(井上留美講師とオムニバス)、「臨地実習 2」(井上留美講師、荒木幸子講師、高柳信子講師と共同)、「臨地実習 3」(花田道子教授、藤村響男教授、井上留美講師、宮田淳嗣助教、山村拓也助教と共同)、「臨地実習 4」(山川伊津子准教授、山本央子講師、荒木幸子講師、藤原恵利子講師、山村拓也助教と共同)を担当する。

博士(獣医学)の谷川力教授は、「動物生理・繁殖学」(鎌田壽彦氏とオムニバス)、「環境生物学」、「臨地実習 6」(山川伊津子准教授、山本央子講師、藤原恵利子講師、山村拓也助教と共同)を担当する。

山川伊津子准教授は、「動物看護ソーシャルワーク」、「動物人間関係学」、「臨地実習 4」(本田三緒子教授、山本央子講師、荒木幸子講師、藤原恵利子講師、山村拓也助教と共同)、「臨地実習 5」(花田道子教授、藤村響男教授、荒木幸子講師、宮田淳嗣助教と共同)、「臨地実習 6」(谷川力教授、山本央子講師、藤原恵利子講師、山村拓也助教と共同)を担当する。

山本央子講師は、「コンパニオンドッグトレーニング論」、「コンパニオンドッグトレーニング実習」、「臨地実習 4」(本田三緒子教授、山川伊津子准教授、荒木幸子講師、藤原恵利子講師、山村拓也助教と共同)、「臨地実習 6」(谷川力教授、山川伊津子准教授、藤原恵利子講師、山村拓也助教と共同)を担当する。

井上留美講師は、「動物臨床看護学(外科)実習」(高柳信子講師と共同)、「動物リハビリテーション論」(本田三緒子教授とオムニバス)、「臨地実習 1」(高柳信子講師、藤原恵利子講師、宮田淳嗣助教と共同)、「臨地実習 2」(本田三緒子教授、荒木幸子講師、高柳信子講師と共同)、「臨地実習 3」(花田道子教授、藤村響男教授、本田三緒子教授、宮田淳嗣助教、山村拓也助教と共同)、「研修・ボランティア活動」(山村拓也助教と共同)を担当する。

荒木幸子講師は、「動物トータルライフ演習」(長岡恵氏とオムニバス)、「臨地実習 2」(本田三緒子教授、井上留美講師、高柳信子講師と共同)、「臨地実習 4」(本田三緒子教授、山川伊津子准教授、山本央子講師、藤原恵利子講師、山村拓也助教と共同)、「臨地実習 5」(花田道子教授、藤村響男教授、山川伊津子准教授、宮田淳嗣助教と共同)、「動物実習短期留学」(加藤剛講師と共同、一部オムニバス)を担当する。

獣医師である高柳信子講師は、「動物形態機能学・組織学実習」(山村拓也助教と共同)、「動物臨床看護学(外科)」、「動物臨床看護学(外科)実習」(井上留美講師と共同)、「臨地実習 1」(井上留美講師、藤原恵利子講師、宮田淳嗣助教と共同)、「臨地実習 2」(本田三緒子教授、井上留美講師、荒木幸子講師と共同)を担当する。

藤原恵利子講師は、「動物臨床検査学」、「動物臨床検査学実習」(山村拓也助教と共同)、「臨地実習 1」(井上留美講師、高柳信子講師、宮田淳嗣助教と共同)、「臨地実習 4」(本田三緒子教授、山川伊津子准教授、山本央子講師、荒木幸子講師、山村拓也助教と共同)、「臨地実習 6」(谷川力教授、山川伊津子准教授、山本央子講師、山村拓也助教と共同)を担当する。

加藤剛講師は、「動物実習短期留学」(荒木幸子講師と共同、一部オムニバス)を担当する。

宮田淳嗣助教は、「伴侶動物学」（早田由貴子氏・小嶋篤史とオムニバス）、「コンパニオンアニマルケア論」（高野八重子氏とオムニバス）、「コンパニオンアニマルケア実習（基礎）」、「コンパニオンアニマルケア実習（応用）」（早田由貴子氏とオムニバス）、「臨地実習 1」（井上留美講師、高柳信子講師、藤原恵利子講師と共同）、「臨地実習 3」（花田道子教授、藤村響男教授、本田三緒子教授、井上留美講師、山村拓也助教と共同）、「臨地実習 5」（花田道子教授、藤村響男教授、山川伊津子准教授、荒木幸子講師と共同）を担当する。

山村拓也助教は、「動物形態機能学・組織学実習」（高柳信子講師と共同）、「動物臨床検査学実習」（藤原恵利子講師と共同）、「臨地実習 3」（花田道子教授、藤村響男教授、本田三緒子教授、井上留美講師、宮田淳嗣助教と共同）、「臨地実習 4」（本田三緒子教授、山川伊津子准教授、山本央子講師、荒木幸子講師、藤原恵利子講師と共同）、「臨地実習 6」（谷川力教授、山川伊津子准教授、山本央子講師、藤原恵利子講師と共同）、「研修・ボランティア活動」（井上留美講師と共同）を担当する。

また、専門職短期大学の特色を活かしたカリキュラム編成にあたり、産業界での実務経験が豊富な兼任教員を多く配置した。

動物看護学に関する重要な講義及び実習は専任教員を中心として配置し、実務経験の豊かな特色ある兼任教員をオムニバス授業として配置した。

「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」（花田道子教授と共同）にはヤマザキ動物看護大学 鈴木友子講師が担当する。なお、「動物口腔ケア論」、「動物口腔ケア実習」は、動物の口腔ケアに特化した動物病院での実務経験豊かな鈴木友子講師が兼任として担当する。

「訪問動物看護学」は、臨床獣医師として動物の在宅医療に特化している実務経験豊かな濱部有羽子兼任講師が担当する。

「動物生理・繁殖学」は谷川力教授とのオムニバス授業で東京農工大学での教育歴を活かし、ヤマザキ動物看護大学 鎌田壽彦名誉教授が担当する。

「動物行動学」は、星槎大学大学院社会学研究科 杉山尚子教授が兼任として担当する。なお、展開科目との関連があるため、「消費者行動分析学」も兼任として担当する。

「動物愛護・福祉と関連法規」は、公益社団法人日本動物福祉協会での勤務歴及び **Applied Animal Behaviour and Animal Welfare** 修士取得を評価し、菅野多恵氏が兼任として担当する。

「伴侶動物学」のネコに関する内容は、獣医師であり、マウントフジ東京キャットクラブ理事を務め、ヤマザキ動物看護大学での兼任教育歴に鑑み、オムニバスで早田由貴子氏が担当する。また、「伴侶動物学」のトリに関する内容は、獣医師であり、トリの診療を専門とする小嶋篤史氏がオムニバスで担当する。

「野生動物学」は、東京農業大学の教育歴を活かし、ヤマザキ動物看護大学 天野卓教授が担当する。

「動物トータルライフ環境論」は、3人の兼任講師によるオムニバス授業とする。南村友紀氏は、イヌの手作りレシピに関する著書や講演が多く、自らイヌの手作りレシピに関する会社を設立する等、業界での著名人である。奥山健二氏は、建築家として人と動物が暮

らす住環境に関して実務経験を有している。宮下めぐみ氏は、アニコムホールディングス株式会社 経営企画部在籍中であり、動物の保険について見識を備えている。以上の理由により、兼任として本科目を担当する。

「動物トータルライフ演習」は、本学専任教員に加え、文化服装学院オープンカレッジでの愛犬の服講座 12年の教育歴に鑑み、オムニバスで本科目を長岡恵氏が兼任として担当する。

「動物飼育管理論」は、ヤマザキ動物看護大学 古川力教授及び堀井隆行講師がオムニバスで兼任として担当する。また、古川力教授が「産業・実験動物学」を担当する。

「動物実習短期留学」では、英語実践指導の経験豊富な専任教員 2人（荒木幸子講師、加藤剛講師）を配置した。

「研修・ボランティア活動」では、研修、ボランティア活動への参加経験等に鑑み、専任教員 2人（井上留美講師、山村拓也助教）を配置した。

③展開科目について

展開科目では、動物看護分野に関連する他分野から兼任教員を招聘して編成する。

「ジェロントロジー」は、高齢社会について教育・研究歴に鑑み、山野美容芸術短期大学美容総合学科 五十嵐靖博教授が担当する。

「社会福祉学」は、社会福祉に関する知識を理解し、社会的な実践につながることを目的として、庄司裕也兼任講師が担当する。

「少子高齢社会と人口問題」は、人口問題について顕著な教育歴と社会功績を持つ金城大学社会福祉学部社会福祉学科 大西正行特任教授が担当する。

「高齢者心理」は、高齢者の心理を理解するとともにアニマルセラピーの活用等も想定し、ヤマザキ動物看護大学 加藤理絵准教授が担当する。

「死生学」は、人と動物の死を見つめ、死の視点から、生を考え、社会科学的な観点から生と死に関する様々な知識を理解し、事例検討を重ねて豊かな想像力を養うことを目指し、ヤマザキ動物看護大学 新島典子准教授が兼任として担当する。

「医療安全」は、人の医療安全を学ぶことにより、動物看護師が創造的能力をもって「人と動物の医療安全」という領域を動物看護の現場で発展させていくことを目指し、東京薬科大学 今井達男氏が担当する。

「産業論」は、長年に渡る産業経済論、中小起業論等の教育・研究歴が動物関連サービス業に繋がる本講義の構築に鑑み、実践女子大学人間社会学部 壘昭吉元教授が担当する。

「起業論」は、学生が卒業後に動物関連産業で起業できるよう、企業・実務経験豊富な石渡浩氏が担当する。

「IT社会論」は、動物飼育、住環境において IT の活用等を踏まえ、東京工科大学 竹田昌弘教授が担当する。

「情報危機管理論」は、ビジネス上の文書はもとより、多様な形態の情報危機管理方法について荒木幸子講師と近藤美保子兼任講師が担当する。

「災害・危機管理論」は、本学専任教員である本田三緒子教授とオムニバスで、動物の

災害危機管理ボランティア活動の経験豊かなヤマザキ動物看護大学 福山貴昭講師が担当する。

④総合科目について

総合科目では、基礎科目、職業専門科目、展開科目で修得した知識・技術等を総合し、実践的かつ応用的な能力を総合的に高めることを目的とするため、卒業前にそれまでの授業等で身に付けた知識・技術等を総合し、課題解決力・総合力に結び付けるための総合的な演習科目を配置した。

「動物トータルケア総合演習 1」では、各自の臨地実務実習について全員が報告し、ディスカッションにより、問題解決の方途を探り、アンケート等によりイヌの健康管理や訪問看護・在宅ケア等、飼育上の課題について飼い主の声を収集するため、専任教員 2 人（山川伊津子准教授、藤原恵利子講師）を配置する。

「動物トータルケア総合演習 2」では、臨地実務実習の経験を踏まえて修得した知識・技術等を総合し、飼い主から動物看護師への飼育・管理上必要とされる要望を収集・分析する。さらに、動物病院・動物関連企業から産業界発展のために必要とされる要望を収集・分析し、まとめるため専任教員 2 人（藤村響男教授、井上留美講師）を配置した。

(3)実務家教員の配置

動物病院及び動物関連産業で活躍する人材を養成することを目的としている本学では、動物病院及び動物関連産業・施設における 5 年以上の職業実務経験者を実務家教員として配置する。アカデミックな研究者は、理論的な科目を中心に配置する。実務家教員 7 人のうち 4 人は、それぞれの職業実務経験を活かした科目を担当する。

教授に配置した実務家教員（谷川力教授）は、日本における衛生動物に関して著名な企業に 36 年間勤務し、衛生動物の駆除の指導にあたるほか、殺鼠剤抵抗性の研究や捕獲機器の開発、食品への異物混入検査と同定などに従事した。現在は同社の取締役技術研究所所長として活躍中である。その間、衛生動物の実態と駆除に関する著書・論文を多数発表し、その研究実績により博士（獣医学）の学位を取得した。平成 30 年 2 月には、厚生労働大臣の表彰を受けている。本学では、その実務経験と研究能力を活かして、「動物生理・繁殖学」、「環境生物学」、「臨地実習 6」を担当する。以上のとおり、教育課程の充実を図るため、実務のみなし教員（実み）の教授候補者として谷川力氏を申請する。なお、企業において責任ある立場であるため、動物看護師の職域拡大に繋がることから、必要な専任教員として講義授業ばかりでなく、臨地実務実習も担当し、教授会に出席する他、学内運営にも力を注ぐ。

講師に配置する獣医師の実務家教員（高柳信子講師）は、眼科や腫瘍外科、口腔外科等の専門診療に係る豊富な臨床経験を有し、勤務していた動物病院においてインターン研修生として受け入れた学生の実習指導を行ってきた。本学では、診療機器の操作・管理、顕微鏡による細胞診断、レントゲン及びエコーの診断解説等の指導の経験を活かし、「動物臨床看護学（外科）」、「動物臨床看護学（外科）実習」、「動物形態機能学・組織学実習」、「臨

地実習 1」、「臨地実習 2」の科目を担当する。

講師に配置する動物看護師の実務家教員（井上留美講師）は、米国の **Crenshaw Animal Hospital**、**Mid-Peninsula Animal Hospital** にて、動物看護師としての実務経験を有し、**University of California DAVIS Veterinary Medical Teaching Hospital Physical Center** では、動物リハビリテーションの特別プログラムを修了し、研鑽を深めた、日本における動物リハビリテーションの先駆者である。日本動物リハビリテーション学会の創設に関与し、この分野の指導的立場で教育及び臨床看護経験を重ねてきた、余人をもって代えがたい人材である。その経験により、ヤマザキ動物看護大学では、非常勤講師として単独で「動物リハビリテーション」の講義を担当している。また、動物リハビリテーションの分野で博士の学位を取得した世界的権威の **Dr.Heren Nicholson** の著書『**CANINE REHABILITATION**』の日本での出版に際しては、コーディネーターとして監修者の補助を務め、教科書として授業で使用している。なお、NPO 法人日本動物衛生看護師協会主催の「ケーナインリハビリテーション」セミナーの講師を平成 19 年～29 年まで務め、実際にイヌを用いた実習は、特に好評である。一般社団法人日本動物看護職協会理事、一般財団法人動物看護師統一認定機構資格認定委員、全国専修学校各種学校総連合会、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会では運営委員等を歴任し、これらの功績により、全国専修学校各種学校総連合会の専修学校制度制定 40 周年記念表彰を受けている。ヤマザキ動物専門学校においては副校長としてリーダーシップを発揮している。動物看護師としての 30 年間にわたる経験と大学等での教育経験を活かし、「動物リハビリテーション論」や「動物臨床看護学（外科）実習」に加え、「臨地実習 1」、「臨地実習 2」、「臨地実習 3」、「動物トータル総合ケア総合演習 2」及び「研修ボランティア活動」を担当する。なお、勤務していた動物病院でもインターン研修生の指導にあっていた。

同じく講師に配置する実務家教員（山本央子講師）は、アメリカにおいて通訳・翻訳のフリーランスライターとして活動するかたわら、アメリカのデルタ協会^{脚注 4}の動物介在療法及び動物介在活動に参加し、功績をあげたことにより、指導的立場が評価され、平成 9 年にはアメリカデルタ協会ニューヨーク地区のプログラム顧問に就任している。平成 7 年からは、アメリカ動物虐待防止協会において、家庭犬、セラピー犬のトレーナー及びハンドラーの育成指導に従事し、平成 8 年にアメリカペットドッグトレーナーズ協会に入会。その間、**Coler Memorial Hospital**より動物介在活動の業績を評価され、表彰を受けている。平成 13 年からは、日本において公益社団法人日本動物病院協会における老人ホームや小児病院等へイヌを連れての訪問活動である CAPP（人と動物のふれあい活動）を行い、アニマルセラピーの成果を上げている。また、それらの経験を活かし、現在では、長野県動物愛護センターの要請を受け、動物介在活動におけるイヌのトレーニングに関する指導を行っている。家庭犬インストラクターとして小型犬から大型犬まで 16 年間にわたるイヌのトレ

脚注 4 昭和 52 年に設立された NPO 法人デルタ協会（現 NPO 法人ペットパートナーズ協会）は、アメリカ、ワシントン州シアトルに本部をおく非営利団体で、ヒューマン アニマル ボンドを通してヒトの健康・自立性・QOL を改善することを目的として、アニマルセラピーの指導者養成等を行っている。

ーニング等の実務経験や一般社団法人優良家庭犬普及協会の常任理事として飼い主にイヌのしつけや訓練方法を指導してきた実務経験に鑑み、「コンパニオンドッグトレーニング論」、「コンパニオンドッグトレーニング実習」の他、「臨地実習 4」、「臨地実習 6」を担当する。

職業実務経験者であり、加えて博士の学位または研究能力を有する教員 3 人は、理論と実務の架け橋となる科目を担当する。

東京都港区の動物病院勤務の獣医師として 26 年の豊富な臨床経験を持ち、合わせて博士の学位を有する教授（花田道子教授）は、一般的な西洋医学的治療だけでなく、老齢動物に優しい自然療法を取り入れた治療（温灸、鍼等の東洋医学的な代替療法）も行ってきた。平成 19 年には、日本ホメオパシー医学会認定獣医に認定されている。臨床経験と共に積み重ねた研究により、平成 25 年に博士（獣医学）の学位を取得した。また、ヤマザキ動物看護大学の教授として動物病院実習の科目責任者を務め、学生の実習を指導してきた。その経験をもって、本学の学科長候補者として適任である。「動物看護学概論」、「動物臨床栄養学」の他、「動物臨床看護学（基礎・内科）」、「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」、「臨地実習 3」、「臨地実習 5」を担当する。

講師に配置した実務家教員（荒木幸子講師）は、民間企業の財務や経営を経験し、その後ペットフード関連会社の起業に参画したことを発端とし、その間にペットの栄養指導に関心を広げた。平成 23 年には、米国のニューヨーク州立大学に入学し、ヴェテリナリーサイエンステクノロジー学部を卒業、米国の動物看護師としてニューヨーク州の免許を取得した日本には数少ない貴重な人材である。平成 25 年に帰国後は、動物栄養管理士コンサルタントとして、比較統合医療学会や獣医師対象の講座、セミナー、研修等の講師として活躍している。一方、米国ホリスティック獣医学会、日本ペット栄養学会等の学会に所属し、論文を発表している。海外や企業での経験を活かし、「情報危機管理論」、「キャリアマネジメント」、「動物トータルライフ演習」、「臨地実習 2」、「臨地実習 4」、「臨地実習 5」、「動物実習短期留学」を担当する。

講師に配置した実務家教員（藤原恵利子講師）は、大学院修士課程を修了して修士の学位を取得し、臨床検査技師の免許を得ている。その後、臨床検査の企業に 14 年間勤務し、これまで、MRSA スクリーニング検査、酵母様真菌・糸状様真菌の培養同定、薬剤感受性測定、腸内フローラ検査、新規抗菌薬に対する微生物学的検査などに従事している。学会においては、日本真菌学会、日本臨床微生物学会、日本感染症学会において活動し、論文や学会発表の研究業績がある。平成 24 年には、日本医真菌学会総会優秀演題賞を受賞した。「高精度な白癬菌の検出法」及び「接合菌症起炎菌の検出及び同定法」の特許が登録されている。本学においては、特に臨床検査分野の専任教員として「動物臨床検査学」、「動物臨床検査学実習」、「臨地実習 1」、「臨地実習 4」、「動物トータルケア総合演習 1」を担当する。

これらの実務家教員を配置することにより、本学の特色である、動物看護学を基盤としたコンパニオンアニマルの訪問看護・在宅ケア及び飼い主と産業界を繋ぐ実践力を有する

動物看護学教育を可能とする。

(4)中心となる研究分野及び研究体制

①研究分野

動物看護学を基盤とした動物トータルケアの教育研究のために、以下の①～⑤までの分野を関連機関・施設と連携して、これらに関する研究の進展に努める。

本学における中心的な研究分野と研究体制等を次の通りとし、それぞれの研究分野において、産業界との関連を追求する。

- 1) 訪問動物看護に関する研究
- 2) 公衆衛生・防疫に関する研究
- 3) 動物臨床検査に関する研究
- 4) 動物栄養に関する研究
- 5) 動物介在福祉に関する研究

②研究における動物等確保の方策

本学の動物看護等に関する研究対象は、コンパニオンアニマル（伴侶動物）の犬・猫が中心であり、本学の研究は、動物実験に関する倫理規程に基づき、計画書を提出し、動物実験倫理委員会によって審査を受け許可された動物等が対象となる。なお、採材サンプルは、コンパニオン・アニマル・センターに診療、検査、グルーミングのために来院した犬・猫より、尿、糞便、血液、血清等の分与を受けて研究に使用する。また、グルーミング等で来院した犬・猫の被毛サンプルや皮膚スタンプなどは飼い主の同意のうえ、侵襲性の低い方法で採取し、研究試料とする。

現状では、本学の研究において、専任教員による実験動物（マウス・ラット等）を使用する研究・実験は行われないことから、実験動物は学内で飼育しない。ただし、マウス・ラットを使用する研究を行う場合には、レンタルラボを活用する（資料 27-3）。実験動物（マウス・ラット等）については、動物愛護・福祉に関する国際的な考え方から、代替実験の検討がなされ、実習や実験が行われている。社会や産業界のニーズにより、動物看護学分野において研究対象を産業動物、野生動物、実験動物に拡大する必要がある場合には研究委員会及び産業界と協議のうえ、十分な検討を重ねる。

なお、本学の動物介在福祉に関する研究は、主に身体障がい者補助犬の使用者を対象とする。人に関するアンケート調査等については、厚生労働省の指導方針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」に基づくものとし、実験計画書、アンケート内容、集積・解析方法については、研究調査倫理規程により、個人情報等の取り扱いに十分対応できる研究が許可対象となる。また、ポニー等を使用する場合は、必要に応じて乗馬クラブよりレンタルする。

③研究体制

5分野の研究をするために、学内委員会のひとつである研究委員会が中心となって、本学

における主要な研究テーマの検討及び設定、共同研究者の指名、共同研究費の配分等を行う他、ヤマザキ動物看護大学や他大学等の研究機関や諸団体との連携を推進する。研究委員会による研究テーマの選定には細心の注意を払い、専任教員個人による研究の機会を損なうことは無い。

また、公益財団法人日本動物愛護協会では動物愛護週間に行われる、「動物愛護ふれあいフェスティバル」への協力を行い、公益社団法人日本動物福祉協会においては新東京支部を拝命し、保護犬や保護猫の譲渡会を開催している。NPO 法人日本動物衛生看護師協会と協働し、講習会を開催している。一般社団法人日本動物看護職協会、公益財団法人日本盲導犬協会、社会福祉法人日本介助犬協会、日本身体障害者補助犬学会では学会の開催や発表、啓蒙活動に協力する。NPO 法人日本ペットドッグトレーナーズ協会では講師の派遣を行う等、諸団体と連携する。

専任教員は、個人の専門分野の専門性を活かし、研究テーマを設定する。

研究費は、専任教員 1 人当たり個人研究費を支給し、別に年間の共同研究費が用意される。さらに科学研究費補助金等の外部資金獲得を推進する。

研究成果の公表については、紀要を編集し、毎年定期的に刊行するとともに、学外の学会等での発表を推進する。そのために関係する学会の大会等について、本学での開催を積極的に誘致する。また、学内においても定期的に研究会を開催して、研究の成果を披露し、研究水準の維持・向上に努める。

なお、専任教員による 5 つの主要な研究テーマについては、段階的に実施していくこととする。

(5)教員の年齢構成

専任教員の職位別の年齢構成は、十分な教育研究活動を果たすために、年齢層に偏りのない教員を配置する。

開設時の年齢構成は、教授 70 歳代 1 人、60 歳代 4 人、准教授 50 歳代 1 人、講師 60 歳代 1 人、50 歳代 1 人、40 歳代 3 人、30 歳代 1 人、助教 30 歳代 2 人を配置し、次世代を視野に入れた教員の育成に努める。

定年は 65 歳と定めるが、開学に当たり採用される教員が開学後 3 年間に定年を迎える場合は、定年年齢にかかわらず短期大学の完成年度までの間は勤務可能な規程を設けた（資料 23）。

完成年度末において定年を超過している教員 14 人中 3 人のうち、80 歳代の学長が教授として担当する「生命倫理学」の講義については、完成年度後、速やかに後任の教員を配置する。学科長である 72 歳の教授の担当する「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」については、開学時当初から 40 歳代の非常勤講師とのチームティーチングとするとともに、助手を配置することにより、教育効果を高める。この教授は、動物病院で 30 年以上の勤務経験を有し、ヤマザキ学園大学（現ヤマザキ動物看護大学）在任中に博士の学位を取得した、余人をもって代えがたい人材である。

完成年度以降、定年を超過している高齢の専任教員が退職する場合には、学生の教育に支障をきたさないよう、教授会で協議の上、若手教員の採用も踏まえ、段階的に後任として適切な人員を補充する。

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1)特色とする教育方法

本学の教育目標及び人材養成の目的を達成し、学生の意欲及び潜在能力を引き出す教育を実施するために、以下の教育並びに指導方法を導入する。

①グローバル社会に対応したカリキュラム

動物病院や動物関連企業、ショップに来院・来店される外国人の飼い主の対応をするための「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」を学修する。

②授業方法に適した学生数の設定

「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」と「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の授業はレベル分けの上、20人程度を1クラスとして教育する。ただし、この教室は学生が自由に使用できるように、コンピューターは余裕をもって30台設置する。演習、実習は40人を1クラスとして教育する。実習は助手を配置し、学生一人ひとりに細かく指導できるよう配慮する。原則として、講義は1クラス40人とする。しかし、学年全体での講義を実施する場合もある。展開科目の1クラス80人として開講する科目は、著名な非常勤講師を招聘しているため、教育効果を配慮して授業終了後にメール等による質疑応答等を行う。更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する（資料28-3）。

③授業科目の段階的履修

基礎科目のうち、教養科目及び動物看護師に必要な基礎的な知識は、1年次で履修する。職業専門科目では、動物看護学に関わる実習科目を配置し、学内における実習は学生が3年間を通して技術を高めることができるよう、1年次から3年次に偏りなく配当する。実習科目については、次のように段階的な履修を行う。

入学後1年次の「コンパニオンアニマルケア実習（基礎）」では直接動物と触れ合う実習授業を配置してあるため、家庭の事情等により、これまでコンパニオンアニマルの飼育経験のない学生及び触れ合う経験が少なかった学生に事前教育として動物と触れ合う機会を与える。この体験は、学生が自らの学修の目的を再確認し、動物への確かな愛情を学修への原動力とするとともに、学生間において互いの多様な経験と感性の違いを受容し、協働して学修を進める上において極めて重要である。そこで、実習科目の導入として、「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」を1年次前期に配置することにより、イヌの扱いに慣れ、イヌと触れあうことが学生の今後の職業専門科目の学修への動機づけとなる。実習科目は、同じ分野の講義科目と同時期または講義科目の履修後に履修する。また、実習科目は、学修内容を段階的に修得する必要があるため、基礎、応用の順で履修するよう指導する。

④動物関連企業等での臨地実務実習

3年間を通して、動物関連企業等での臨地実務実習を450時間行う。実習先として、ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物関連団体等において実施する。臨地実務実習の科目は、1年次夏季休暇期間、1年次春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、2年次春季休暇期間、3年次夏季休暇期間に実施する。それまでに学修した知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。段階的に臨地実務実習を行うことにより、知識と技術の定着と、実践力の強化が見込まれる。臨地実務実習の計画と実施については、臨地実務実習担当教員等により組織される臨地実務実習委員会が担当する。なお、臨地実務実習先として325施設のご承諾を得ている。

また、実習前には学内における事前授業として「ビジネスマナー」や各施設の概要等を講義で再確認し実習に臨むこととする。実習後には、各自が実習で獲得した経験や問題点、反省点、次回の実習に向けての目標を「動物トータルケア総合演習」の資料としてまとめ、グループごとにテーマを決めてディスカッションをする。この学修を通して卒業後、社会人として必要な実践的・応用的な能力及びコミュニケーション能力を高めることを目指す。

⑤モデル犬制度

動物愛護の精神に則り、原則として家庭動物であるコンパニオンアニマルを実習授業を目的に校舎内外で多頭飼育は行わない。実習で使用するイヌは、650頭を超えるモデル犬として登録された狂犬病及び混合ワクチン接種の済んだ健康なイヌである（資料24）。50年に渡り渋谷区周辺的一般家庭から提供され、近隣地域の住民からは動物の健康管理の点から好評であり、地域貢献活動の一環を成している。小型犬から大型犬まで、多犬種が登録されているため、学生は3年間の実習で同じ個体を扱うことがほとんどなく、実習技術の効果을上げている。

(2)履修指導方法

①GPA制度の採用

本学では、学生の学修意欲並びに潜在能力を向上させるための成績評価として、GPA（Grade Point Average）制度を実施する。学生の成績評価法として、授業科目ごとの成績評価を5段階（S、A、B、C、D）で評価し、それぞれに対して、4、3、2、1、0のポイントを付与し、この単位当たりの平均（GPA）を算出する。授業科目の成績評価は、S（100点～90点）、A（89点～80点）、B（79点～70点）、C（69点～60点）及びD（59点以下）の五段階とし、S、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。なお、GPAが基準に満たない学生については学修指導を実施する。

具体的には、半期毎にGPAを算出し、ひとつの学期におけるGPAのポイントが1.0未満の学生についてはクラスアドバイザー（クラス担任）から注意と学修指導を行う。1.0未満の学期が2回連続した場合は学年主任から、3期連続した場合は、学科長から学生に対して、注意、学修指導を行う。

GPA のポイントによる段階的な学生指導により、短期大学士課程卒業の質を確保し、優秀な人材を送り出すことを実現する。

②履修科目の年間登録上限（CAP 制）

学生が 1 年間に履修登録できる単位数の上限を設ける。これにより履修科目の過剰登録を防ぐことができる。学生が各年次にわたって適切に科目を履修し、学修できるようにすることにより、単位制度の実質化を図る。単位数の上限は、学期ごとに 23 単位とする。

③クラスアドバイザー制度

各クラスにクラスアドバイザー（専任教員）を配置する。アドバイザーは、履修指導、学修上の問題や生活指導、長期欠席者への相談等、学生の学修並びに学生生活全般について、3 年間にわたり指導をする。

④オフィスアワーによる学生の個別指導・支援

専任教員は、学生の相談等に応じる時間として、毎週授業 2 コマ分に相当する時間をオフィスアワーとして設定し、年度当初に学生に周知する。教員が学生とコミュニケーションをとることができる時間を明確にすることで、学生が教員と接しやすい環境を作り、支援の充実を図る。学生の個人指導・支援には、面談室（専用 6 室、兼用 1 室）を利用する。

⑤シラバスの活用

教育内容の周知及び科目選択を適切に行うため、到達目標、講義概要、授業計画、履修上の注意、成績評価基準及び方法、教科書の指定及び参考文献等を記載したシラバスを作成し、各年次のオリエンテーション時に履修方法等について徹底した指導・説明を行う。

⑥事務局（教務担当）による履修指導

履修した科目の単位が修得できなかった学生について、履修登録期間前（夏季休暇中及び春季休暇中）に呼び出し、履修登録方法や卒業要件について説明し、必要な単位を修得するよう注意喚起を行う。

また、履修登録期間中には、履修科目や卒業要件に不安がある学生に対し、それまでに履修した科目を基に、履修のアドバイスを行う。

(3)卒業要件

動物トータルケア学科における卒業要件は、本学に 3 年間以上在学し、必修単位 77 単位以上と選択科目 30 単位以上、計 107 単位以上を修得することである。更に本学の教育課程は、一般財団法人動物看護師統一認定機構が推奨するコアカリキュラムを包括している。卒業のためには、【動物認定看護師コアカリキュラム 2018 対照表】（資料 28-4）の開設科目すべて（52 単位）が必修科目となっており、認定動物看護師の受験資格は卒業要件に含まれる。

これらは、動物看護の専門知識及び技術を有する教育・研究者の養成並びに動物愛護の精神に則り、豊かな人間性と幅広い視野を備える良質な動物看護師が社会から求められていることを踏まえ、短期大学士課程卒業者としての質を保证するための措置である。

区分	必修	選択
基礎科目	5	10
職業専門科目	70	5
展開科目	—	15
総合科目	2	—
合計	107	

(4)履修モデル

動物病院及び動物関連企業への就職に対応する履修モデルを示す（資料 25）。

7. 教育課程連携協議会

教育課程連携協議会は、専門職短期大学設置基準第 8 条及び本学学則第 5 条に基づき位置付けられた委員会である（資料 26）。

審議事項は、①産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設、その他の教育課程の編成に関する基本的な事項、②産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項等である。

構成員は、①ヤマザキ動物看護専門職短期大学長が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学の教員、その他の職員、②動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ若しくはその他の動物関連産業に係る職業に就いている者、またはこれらの職業に関する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動する関係者であって当該事業の実務に関し豊富な経験を有する者、③地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者、④臨地実務実習その他の授業科目の開設または授業の実施において本学と協力する事業者、⑤本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者となっている。任期は 1 年とし、再任を妨げない。

教育課程連携協議会は年 1 回以上開催する。教育課程については、教育課程連携協議会の意見を勘案し、聴取した意見を教務委員会で検討の上、教授会の意見を聴いて、学長が教育課程に反映する。その結果を教育課程連携協議会に報告するという P D C A のサイクルを構築する。

なお、「職業」区分に学生の卒業後の進路と想定される動物産業界からの意見を聴くため、動物産業界で活躍するイオンペット株式会社の事業部長、寺本健太郎氏を構成員とする。

「職業」区分として、動物看護職の動向に詳しい一般社団法人日本動物看護職協会顧問、日本獣生命科学大学名誉学長の池本卯典氏、「地域」区分として、地域との連携を図るとともに災害時におけるペット動物への対応等について意見を聞くため、地方公共団体職員の渋谷区役所危機管理対策部危機管理対策部長の山中昌彦氏、「協力」区分として、臨地実習先であり、今後さらなる発展が予想されるペット同伴宿泊施設の東京建物リゾート株式会社取締役常務執行役員兼ホテル事業本部長の藤田秀一氏を構成員とする。

8. 施設、設備等の整備計画

(1)校地、運動場の整備計画

①校地

校地は、東京都渋谷区松濤に位置する。周囲は閑静な住宅街であり、学修環境として恵まれている。アクセスとしては、京王井の頭線「神泉駅」または「渋谷駅」から徒歩圏内である。また、東急バス、京王バス等の便もあり、学生の通学、教職員の通勤上の利便性は十分確保されている。このため、通学通勤には、公共交通機関の利用を原則とする。

校地面積は 2401.22 m²で、学生定員 240 人に対する設置基準には若干不足している。校舎は既設の大学及び専門学校として使用していたものを転用する。キャンパスは 1 号館と 2 号館で構成され、1 号館には、講義室、実習室、事務局、ミーティングルーム・面談室、学生ラウンジを、2 号館には図書館（第一年次に新図書館を整備）、PC 教室を設置する。限られたスペースを活かして、教室使用を効果的に実施し、かつ学生生活の場を整備する。1 号館と 2 号館との距離は約 400m、徒歩約 5 分の距離であり、校舎間の移動は、授業間の休み時間（10 分）で十分可能である。

②運動場

2 号館に隣接して運動場（152.19 m²）と体育館（242.32 m²）がある。また、南大沢キャンパスの運動場、体育館等の施設を利用して、学生の利便性を図り、スポーツデーやサークル活動等による交流も行う予定である。なお、学生の福利厚生として、体育館内での運動に使用する用具を整備する。

(2)校舎等設備の整備計画

①専門職短期大学の校舎等設備

校舎は、現在、既設の大学、専門学校として使用している校舎（1 号館、2 号館）を専門職短期大学の校舎として転用する。校舎の一部は専門学校と共用することとする。教室は、動物トータルケア学科のカリキュラムに必要な教室（講義室、実習室）はもちろんのこと、PC 教室、図書館、学生ラウンジ、保健室等の施設を備えている。

講義室は、1 号館に設置されており、収容人数は 50 人前後とし、クラスごとに講義を受けることができるよう整備されている。また、講義室は可動式の壁で区切られているため、大教室（収容人数 100 人～150 人）とすることもできる。これにより、1 学年全体の行事等でも使用可能である。

動物看護や検査の実習は、1 号館の「実習室②（収容人数 54 人）」、「実習室③（収容人数 54 人）」で行う。各実習室には、「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」や「動物臨床検査学実習」等に必要学生人数分の顕微鏡等を設置している。

グルーミングの実習は、1 号館の「実習室①（収容人数 54 人）」で行う。実習室には、グルーミング台、シャンプー台、大型ドライヤー等を設置している。

トレーニングの実習は、2 号館に隣接する「運動場」及び「体育館」で行う。体育館はイヌの足を保護するため、滑りにくい床材を使用する等の配慮をしている。また、リハビリ

テーションの授業の一部は、1号館1階の「実習室」を使用する。この実習室には、イヌのリハビリテーションに効果的なウォータートレッドミルを導入している。

学生は、実習時には実習着（ユニフォーム）に着替える必要があるため、荷物を収納できるロッカーを1人につき1つ貸し出す。ロッカー室は、1号館に整備している。

なお、各実習の教材には、モデル犬を使用する。教材としての動物は、イヌが主要なもの（一部ネコ）であり、教育研究において実験動物は飼育、使用しない。

また、本学はコンパニオンアニマルを中心として動物看護教育を行うため、学内で動物を飼育して授業に利用する場合、動物が授業に慣れてしまい、実際の現場で体験するものとは異なる状況となってしまうこと、特定の犬種のみ取り扱うことにより知識が偏ってしまうこと、グルーミング等により毛をカットした個体は、一定の期間、授業で使用できないこと等の理由により、動物愛護の精神からも原則として学内で動物を飼育しない。そのため、家庭で家族の一員として飼育されているイヌをモデル犬として登録する制度を設け、授業において使用する。本学では、650頭以上の小型犬から大型犬まで多犬種のモデル犬等が登録されているため、学生が3年間の実習で同じ個体と出会うことがほとんどなく、緊張感を持って実習に臨むことができる。モデル犬は、「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」や「動物臨床看護学（外科）実習」では、一般身体検査、保定法、検査器具の使用法を学修する際に使用する。「動物形態機能学・組織学実習」は、動物実験代替法に基づき、生体を用いた解剖は行わない。骨格標本、各器官の標本、イヌの解剖模型を使用する（資料27）。

また、モデル犬等の動物を授業のために学内で預かる場合の設備については、犬舎、イヌのトイレコーナー等の施設等を設けている。衛生面では、清掃や消毒を定期的実施しており、換気扇、消毒液、消臭剤等による臭い対策と防音性に優れた教室の仕様による音の対策が完備されている。さらに、各校舎に東京都福祉保健局に届け出た動物取扱い責任者を置いて、動物の安全・衛生に万全を期している。あわせて、本学が契約しているモデル犬等が、静かにすることをしつけられているものが多いこと等により、現在までイヌ、ネコ等が校舎に出入りすることによる騒音や臭気に関して近隣住民からの苦情は皆無である。

パソコンを使用する授業は、1クラス20人で行うが、パソコンは余裕をもって30台設置し、2号館の「PC教室」を使用する。PC教室には、パソコンとプリンターを設置し、マイクロソフト社製のWord、Excel、PowerPointをインストールし、文書作成や表計算、プレゼンテーション資料作成等ができるよう整備する。また、PC教室を授業で使用しないときは、学生が自由に利用できるよう、教室を解放する（資料28）。

学生の厚生施設として、学生ラウンジを1号館の最上階に設置している。

図書館の蔵書は既設の専門学校の図書室にあるものを転用（共用）し、加えて、既設の大学から移設転用（共用）する。

1号館に就職支援室を置き、情報検索のためのパソコンを設置する。加えて、職員を常時滞在させ、専門職員がいつでも学生からの就職相談を受けることができるよう体制を構築する。

専任教員の研究室については、教育研究環境を充実させるため、設置認可申請時の共同研究室 2 室と予備室 3 室を 2 号館の研究室 1～15（5 室各 3 名）に変更する（表 6）。このことにより、専任教員の研究室は、1 人当たりの利用スペースが広がり、室内をパーティションで 3 区画に区切ることで、専任教員のプライバシーを守り、学生の成績管理等を機能的に行える。なお、研究領域の近い専任教員を同室に配置することで、教育研究の効果を上げることに配慮している。

研究室については、年次進行で整備し、平成 30 年度末（開設時）までに、平成 31 年度就任の専任教員 10 名のうち、学長室は研究室を兼用するため、学長を除く 9 名分の研究室を配置する。さらに、平成 31 年度末（第一年次）までに、平成 32 年度就任の専任教員 4 名に加え、将来の専任教員の増加に鑑み、計 6 名分の研究室を配置し、合計 15 名分の研究室を用意する。

研究室 1～15 には、机、椅子、電話機、コンピューター、成績や重要書類を保管できる鍵付きの本棚の他、ミーティング用のテーブル等を配置する。

学生の個人面談については、設置認可申請時の 1 号館 1 階のドッグルーム、キャットルーム、3 階の応接室及び学長室を面談室に用途変更し、1 号館 7 階のミーティングルームをミーティングルーム・面談室に用途変更する。1 号館 1 階のドッグルーム、キャットルームにおける保護犬、保護猫の対応については、専門職短期大学の教育に支障がないことから、基準外面積に算入されているコンパニオン・アニマル・センター内に移動する。さらに年次進行で平成 31 年 4 月完成予定の新図書館内に面談室 2 室を配置し、教員と学生がアクティブ・ラーニング等にも活用する。面談室 6 室と兼用面談室 1 室の合計 7 室を整備することにより、面談者のプライバシーが保護される。なお、面談室はオフィスアワー、カウンセリング等にも活用する。

各専任教員は、1 週間（月～金曜日）当たり 2 コマ（1 コマ 90 分）の学生相談にあたる。

学長室の用途変更に伴い、新たに学長室を確保するため、2 号館 2 階の応接室（共用）を学長室（専用）に用途変更する（表 7）。

以上の整備により、教育研究を適切に行い得るスペースと機能を確保できると考える。

表 6 研究室の整備

号館	階数	旧用途	専用・共用 の区分	新用途	専用・共用 の区分	面積	整備時期	
2	6 階	共同研究室②	専用	研究室 1	専用	19.77 m ²	平成 30 年度末 (開設時)	
				研究室 2		15.13 m ²		
				研究室 3		15.07 m ²		
		共同研究室①	専用	研究室 4	専用	16.41 m ²		平成 30 年度末 (開設時)
				研究室 5		15.12 m ²		
				研究室 6		15.10 m ²		
	7 階	予備室 4	専用	研究室 7	専用	20.14 m ²	平成 30 年度末 (開設時)	
				研究室 8		15.27 m ²		
				研究室 9		15.06 m ²		
		予備室 7	専用	研究室 10	専用	19.77 m ²		平成 31 年度末 (第一年次)
研究室 11	15.13 m ²							
予備室 5	専用	研究室 12	専用	15.07 m ²	平成 31 年度末 (第一年次)			
		研究室 13		20.14 m ²				
		研究室 14		15.27 m ²				
		研究室 15		15.06 m ²				

(備考) 学長は学長室を研究室として兼用する。

表 7 面談室と学長室の整備

号館	階数	旧用途	専用・共用 の区分	新用途	専用・共用 の区分	面積	整備時期
1	1 階	ドッグルーム	専用	面談室 1	専用	9.84 m ²	平成 30 年度末 (開設時)
		キャットルーム	専用	面談室 2	専用	7.90 m ²	平成 30 年度末 (開設時)
	3 階	応接室	専用	面談室 3	専用	7.48 m ²	平成 30 年度末 (開設時)
		学長室	専用	面談室 4	専用	18.21 m ²	平成 30 年度末 (開設時)
	7 階	ミーティング ルーム	専用	ミーティングル ーム・面談室 5	専用	40.42 m ²	平成 30 年度末 (開設時)
2	2 階	応接室	共用	学長室	専用	23.11 m ²	平成 30 年度末 (開設時)

新図書館	運動場	専用	面談室 6 (注)	専用	5.75 m ²	平成 31 年 4 月末 (第一年次)
			面談室 7 (注)	専用	5.29 m ²	平成 31 年 4 月末 (第一年次)

(注) 面談室 6・面談室 7 は、是正事項 4-③で説明する新図書館内に整備する。

本学では、動物看護学を基盤とした動物トータルケアの教育研究のために、訪問動物看護、動物栄養、公衆衛生・防疫、動物臨床検査、動物介在福祉の 5 つの研究を行う。例を挙げると、訪問動物看護では、ヘマトクリット遠心分離機、セルタック、血液生化学測定機器等の機器を使用し、高齢の犬・猫の補食における健康維持及び疾病からの治癒力の向上の研究を行う。なお、この研究にはコンパニオン・アニマル・メディカルセンター内アニマル・メディカル・センターの診療対象（高齢の犬・猫）を飼い主の承諾を得て使用する。動物栄養では、カロリーアンサー、冷蔵ショーケース、小型超低温槽等の機器を使用し、犬・猫のライフステージに合わせた食事内容の研究を行う。なお、この研究には、市販の総合栄養食、動物病院からの療法食及び食材（肉・魚・野菜・穀物等）を使用する。この 2 つの研究は、研究者が検証方法について協力し合うことができ、研究の進展が図られることから研究用実験室 2 で行う。

また、公衆衛生・防疫では、高圧蒸気滅菌機、インキュベーター、冷蔵保管庫等の機器を使用し、動物病院の院内感染予防の観点から汚染要因について研究する。なお、この研究にはコンパニオン・アニマル・センターの落下細菌等を採取し、使用する。

動物臨床検査では、高圧蒸気滅菌機、インキュベーター、遠心分離機、卓上冷却遠心機等の機器を使用し、犬・猫の生活習慣病（肥満等）に関する臨床検査法の研究を行う。なお、この研究はアニマル・メディカル・センターの診療対象（肥満等の生活習慣病をもつ犬・猫）を飼い主の承諾を得て使用する。この 2 つの研究は、公衆衛生・防疫の研究で採取した検体を動物臨床検査で分析し、その結果をフィードバックすることができ、相互に研究の進展が図られることから研究用実験室 1 で行う。

動物介在福祉では、身体障がい者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の使用者（視覚障害者、肢体不自由者、聴覚障害者）が、補助犬の健康管理のために動物病院を訪れる際に発生する一般のクライアントとは異なるニーズに対応する動物看護師の支援方法について研究する。研究のための調査は、補助犬訓練施設、補助犬使用者の指定する場所や動物病院において行うため研究用実験室は使用しない。

整備計画では、まず平成 30 年度末（開設時）までに予備室 5 を研究用実験室 1 に整備し、予備室 6 を研究用実験室 2 に整備して研究・実験を行う（表 8）。その後新図書館（平成 31 年 4 月 20 日竣工予定）の完成をまって、平成 31 年 5 月以降は 1 階図書館を研究用実験室 1 に、3 階図書閲覧室を研究用実験室 2 に用途変更し、専任教員が取り組む研究環境を整備

する（表 9）。

研究用実験室 1 は、主に検体を取り扱う研究を行うため感染予防に配慮し、通常の生物の実験室としての構造及び設備を有する P1 レベルに準じた研究実験を行い、研究用実験室 2 は、訪問動物看護、動物栄養の実験を行うため非汚染エリアとして管理する。

なお、本学の開設時において整備する研究用機器は、資料 27-2 のとおりである。

表 8 研究用実験室の配置と年次進行による整備（平成 31 年度開設時）

号館	階数	旧用途	専用・共用の区分	新用途	専用・共用の区分	面積	整備時期
2	7 階	予備室 5	専用	研究用実験室 1	専用	60.51 m ²	平成 30 年度末 (開設時)
		予備室 6	専用	研究用実験室 2	専用	60.03 m ²	平成 30 年度末 (開設時)

表 9 研究用実験室の配置と年次進行による整備（平成 31 年度 4 月末）

号館	階数	旧用途	専用・共用の区分	新用途	専用・共用の区分	面積	整備時期
2	1 階	図書館	共用	研究用実験室 1	専用	60.32 m ²	平成 31 年 4 月末 (第一年次)
	3 階	図書閲覧室	専用	研究用実験室 2	専用	61.65 m ²	平成 31 年 4 月末 (第一年次)

なお、基本計画書において設備購入費が完成年度に 0 千円となっている。これまで本学と同分野の学問領域で教育研究を行っているヤマザキ動物看護大学は、南大沢との 2 キャンパス制であり、本学の 1 号館は、同大学の 1 年次生が使用してきた校舎である。本学はそれらの設備を転用して使用するため、講義や実習で使用する設備を十分に備えているとともに、さらに今回の本学設置にあたり開学前年度に 79,951 千円、第 1 年次に 8,988 千円、第 2 年次に 13,102 千円の予算により充実させる。完成年度に 0 千円となっている理由は、3 年次の授業が開講する前年度までに準備を完了するためである。もしそれらに不足が生じた場合は、毎年のランニングコストの範囲内で購入していく予定である。

②専門学校施設との供用

校舎は、一部、ヤマザキ動物専門学校と共用する。専門学校は専門職短期大学が使用しない曜日・時間帯に、本校舎の PC 教室、体育館、図書館を使用する。

(3)図書等の資料及び図書館の整備計画

本学の図書館には、人文科学系 4,832 冊、自然科学系 3,192 冊、畜産学系 137 冊、獣医学系 830 冊、動物看護学系 1,235 冊、合計 10,226 冊を備える。雑誌は、30 種である（資料 29）。電子ジャーナルについては、既設の大学で導入している「Animal Health Research Review」「Journal of Small Animal Practice」等 20 種（データベースを含む）を専門職短期大学においても閲覧ができるよう整備をする。

図書館の整備については、現在の体育館に隣接した運動場 509.01 m²に新図書館 186.24 m²を建設する。この図書館は設置認可申請時に計画していた 2 号館 1 階図書館 69.20 m²より 117.04 m²（約 1.7 倍）広くなる。閲覧スペースは、開設時において図書館内に 28 席配置する。

設置認可申請時の図書館は、図書数が 8,226 冊であったが、今回の新図書館には図書 2,000 冊を増やし 10,226 冊とする。申請時の計画では収納可能図書数 9,088 冊であったが、新図書館では 4,662 冊増え、合計 13,750 冊となり、将来にわたる図書の増加に対応できる。なお、開設時から動物関係の和書ならびに洋書の電子ジャーナルとデータベースを整備している。

また、この新図書館の整備計画は、年次進行で行う。平成 30 年度 3 月末（開設時）までは申請時の計画のとおり、2 号館 1 階に図書館、2 号館 3 階に自習室を兼ねる図書閲覧室を整備する。その後、平成 31 年 4 月 20 日に新図書館が竣工予定であるため、竣工・整備完了後に申請時の図書館と図書閲覧室は、表 9 のとおり、研究用実験室 1 と研究用実験室 2 に用途変更する。

さらに完成年度以降に整備する予定の自習室については、学生及び教員の教育研究活動に資するため、平成 32 年度末（第二年度）までに整備し、2 号館 4 階の予備室 3 を自習・閲覧室（表 10）に用途変更する。自習・閲覧室には、新図書館から閲覧席 12 席を移動するほか、新たに自習席 12 席を加えた計 24 席を配置する。それにより、新図書館には書架が追加され、収容可能図書数はさらに 3,000 冊増え、合計 16,750 冊収納可能となり、将来にわたる図書の増加に十分対応できる。

また、本学はヤマザキ動物看護大学図書館（図書：25,910 冊、雑誌：64 種類ほか）との連携を図る。平成 22 年度より、渋谷キャンパスと南大沢キャンパス（ヤマザキ動物看護大学）間を運行している定期交換便を利用して学生及び教員の図書の貸出と返却を行う。

新図書館には、レファレンスコーナー、図書閲覧室を設け、閲覧席、検索端末席を備える。図書館には、専門職員を置き、資料収集、整理及び提供を行う。開学後には、他の大学の図書館や地域の公共図書館、国立国会図書館等との協力を努める。

表 10 閲覧室の整備

号館	階数	旧用途	専用・共用の 区分	新用途	専用・共 用の区分	面積 (㎡)	整備時期
2	4階	予備室3	専用	自習・閲覧室	専用	61.65	平成32年度末 (第二年次)

なお、基本計画書において開学1年目から図書購入費が0千円となっている。これまで本学と同分野の学問領域で教育研究を行っているヤマザキ動物看護大学は、南大沢との2キャンパス制であり、本学の1号館は、同大学の1年次生が使用してきた校舎である。本学はそれらの図書を転用して使用するため、学生が学修するための十分な図書を備えているとともに、さらに今回の本学設置にあたり開学前年度に5,140千円の予算により充実させる。もし図書に不足が生じた場合は、毎年のランニングコストの範囲内で図書を購入していく予定である。

9. 入学者選抜の概要

(1) アドミッションポリシー

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科の養成する人材像に基づき、以下のアドミッションポリシーを掲げる。

- ・ 本学の建学の精神及び教育理念に共感する者
- ・ 動物に深い理解と愛情を持ち、人と動物の豊かな共生社会を目指す者
- ・ 動物看護学に必要なとされる専門知識と技術を学ぶための基礎学力を持つ者
- ・ 国際的視野に立ち、コミュニケーションを大切にする者

(2) 募集人員と選抜方法

① 募集人員

入学 定員	募集人員				
	一般入学 試験	AO入学 試験	特別選抜		
			指定校 推薦	公募 推薦	社会人 入学試験
80名	10名	50名	15名	5名	若干名

なお、社会人特別選抜の募集人員は、特別選抜の募集人員の内数とする。

② 選抜方法

(i) 一般入学試験

必要な基礎学力を判定するため独自の学力検査の結果及び出願書類の内容を総合的に判定して行う。

試験教科：理科と英語を必修とする。

教科	科目	区分
理科	生物基礎 化学基礎	左記の 2 科目から 1 科目選択
英語	英語（リスニングを除く）	必修

また、入学者の高校までの履修歴を勘案し、あわせて入学後の学力試験の結果に基づき、履修指導の際に、基礎学力不足の学生に対する理数系科目の補修授業を実施する。

(ii) AO 入学試験

アドミッションポリシーに基づき入学者を選抜するため、自己推薦文（各種資格、各種検定試験の成績、弁論大会やボランティア活動、在学中の学校内での活動、動物飼育体験の実績等）、小論文、面接、評定平均値の内容を総合的に判定して行う。

入学者選抜における AO 入試において、専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接試験の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。

また、入学前教育として AO 入試及び推薦入試の合格者を対象に、思考力や表現力を問うために、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。

(iii) 指定校推薦

本学が指定する高等学校の現役生で、高等学校での調査書の評定平均値が 3.2 以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長が責任をもって推薦できる者。

小論文、面接、出願書類を総合的に判定して行う。

(iv) 公募推薦

高等学校の現役生及び高等学校卒業後 1 年以内の者で、高等学校での調査書の評定平均値が 3.0 以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長の推薦を受けた者。

小論文、面接、出願書類を総合的に判定して行う。

(v) 社会人入学試験

何らかの動物関係の資格保有者や動物病院をはじめとする動物関連企業で勤務した経験がある者で、今後学び直しを希望し、動物看護師を目指す者。または一般選抜と同様の大学入学資格を有し、入学年度の 4 月 1 日に満 22 歳以上である者を対象とする。

小論文、面接、出願書類を総合的に判定して行う。

なお、入学手続き者に対し、動物看護実習に係る学力と関連する理数系科目について入学までに取り組むべき課題を課すこととする。

(vi) 入学後の教育

AO 入試や推薦入試等で生物や化学の試験を課さない者に対しては、入学後に適切に指導が行えるよう、4月のオリエンテーションにおいて生物基礎及び化学基礎の基本的事項の修得状況を確認するマークシートを使用したプレテストを実施し、一定の水準に達していない学生に対しては、リメディアルトレーニングを行う。

トレーニングの内容は、Moodle というシステムを活用した e-learning によるトレーニングで、初等・中等教育において修得しておくべき生物、化学の学習内容である。各科目の具体的な単元は以下のとおりである。

生物については、「生物の特徴」、「生物の遺伝」、「生物の体内環境」、「消化と代謝」、「神経系とホルモン」、「ヒトの体づくり」等の単元としている。

化学については、「物質の構成」、「化合物と化学式」、「原子の構造」、「物質の量と濃度」等の単元としている。

トレーニング形式はテスト形式となっており、学習者が内容を理解し、テストに正解することにより、e-learning によるトレーニングは修了となるようにプログラムされており、一定の学力を修得させることができる。

(3)科目等履修生及び聴講生等の受け入れ

動物看護師として働く既卒者の学び直し支援のため、教育研究に支障のない限り科目等履修生及び聴講生を受け入れる。

①科目等履修生

受け入れ人数は若干名とし、必修の講義科目及び全選択科目で受け入れる。選抜方法は、面接、書類審査とする。なお、実習を履修する場合は、関連する講義を過去に履修しているか、または、同時に履修することを条件とする。

②聴講生

受け入れ人数は若干名とし、必修の講義科目、選択の講義科目で受け入れる。選抜方法は、面接、書類審査とする。

(4)選抜試験実施体制

公正かつ厳正妥当な方法により選抜試験を行うため、入試委員会を設置し、入試委員長を中心として作業を行い、当該事務処理については、入試広報課が行うものとする。なお、入試委員会では、高等学校教育の現状に留意しつつ、志願者の多様性に対応し、安定的な学生を確保するため、適宜入学者選抜の方法について検討することとする。

10. 取得可能な資格

(1)卒業と同時に受験資格を得ることが可能な資格

資格の名称等	資格付与団体
認定動物看護師	一般財団法人 動物看護師統一認定機構
動物医療における看護師の資格。動物看護師の高い知識・技術を持つことを認定する資格。獣医療現場に従事する動物看護師で適切な知識と技術を持つことが動物看護師統一認定機構により認定された資格。	
アニマル・ヘルス・テクニシャン（動物衛生看護師） 略称：AHT 動物医療における看護師の資格。病気やけがをした動物の看護に当たるための知識・技術・人格を有することを認定する資格。	特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会

ベタリナリー・テクニシャン（動物医療技術師） 略称：VT 動物科学や動物看護学の専門知識を活かしてコンパニオンアニマルの医療・看護・健康管理・飼育やアニマルアシステッドセラピー等に携わり、指導的立場で活動するための知識・技術・人格を有することを認定する資格。 AHTの上位資格であることから取得にはAHTの資格を有することが必要となる。論文審査がある。	特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会
ドッグ・グルーミング・スペシャリスト（イヌの美容師） 略称：DGS イヌの美容師の資格。美容に関する知識、日常の健康管理、ドッグショーに出陳するために必要なグルーミングテクニックやショーの審査に関する基礎並びに専門知識と技術を有することを認定する資格。	
キャット・グルーミング・スペシャリスト（ネコの美容師） 略称：CGS ネコの美容師の資格。美容に関する知識、日常の健康管理、キャットショーに出陳するために必要なグルーミングテクニックやショーの審査に関する基礎並びに専門知識と技術を有することを認定する資格。	

<p>コンパニオン・ドッグ・トレーナー（家庭犬のしつけ訓練士） 略称：C D T</p> <p>人と共生するために、イヌに対して「家庭犬としてのマナーを教える」訓練士であること及び「家庭犬のしつけ方」を飼主に指導する知識と技術を有することを認定する資格。</p>	
<p>ケアー・リハビリテーション・セラピスト ベーシック（犬の理学療法士－基礎－）略称：C R T</p> <p>イヌのリハビリテーションの基礎的資格。イヌの骨格、筋肉、神経、関節の特徴を知り、イヌの健康改善を目的としたリハビリテーションの基礎的な知識と技術を有することを証明する資格。</p>	

(2)指定の2科目を取得すると受験資格を得ることが可能な資格

資格の名称等	資格付与団体
<p>ペット栄養管理士</p> <p>ペットの栄養に関する知識の普及と指導に必要な人材を養成し、ペットの健康の維持向上を図り、動物の愛護に寄与できることを認定する資格。</p>	日本ペット栄養学会

(3)本学を卒業後、実務経験1年以上を経て受験資格を得ることが可能な資格

資格の名称等	資格付与団体
<p>実験動物技術者</p> <p>優良な実験動物の生産、供給及び適正な飼育等を通じライフサイエンスの発展に寄与できることを認定する資格。</p>	公益社団法人 日本実験動物協会

(4)その他の資格

資格の名称等	資格付与団体
動物取扱責任者	各都道府県（登録）
介助犬デモンストレーター	社会福祉法人 日本介助犬協会
救命技能認定	東京消防庁
販売士	日本商工会議所
ペット用品取扱士	一般社団法人 日本ペット用品工業会

11. 臨地実務実習の具体的な計画

(1)臨地実務実習の目的

臨地実務実習は、専門職短期大学設置基準第26条第4号に定める「臨地実務実習（企業その他の事業者の事業所またはこれに類する場所において、当該事業者の実務に従事することにより行う実習）」に基づき、産業界と連携し、トータルケアのできる動物看護師として飼い主と産業界を繋ぐ実務能力を養成するとともに、就業意識を高め、実習後の学習意欲の向上を図り、職業選択における自らの適性理解を促し、就職先での定着率を高める。

3年間を通して、動物関連企業等での臨地実務実習を450時間行う。実習先として、①動物病院、②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップ、動物病院美容部門、③ペットホテル、④訓練施設、⑤老犬ホーム、⑥ペット同伴宿泊施設、⑦その他のペット関連企業、⑧動物関連団体等において実施する。臨地実務実習は、1年次夏季休暇期間、1年次春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、2年次春季休暇期間、3年次夏季休暇期間に実施する。それまでに学修した知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。なお、臨地実務実習の計画案は資料30のとおりである。

<臨地実務実習の教育内容及び到達目標>

養成する人材像及び教育目標に基づき、臨地実務実習において学生が修得すべき到達目標を臨地実習評価書の評価項目に挙げることにより修得する到達目標を明確にした。臨地実務実習における教育の到達目標は、「基礎能力」と「実務能力」からなる。

「臨地実習 1～6」の「基礎能力」は共通項目とし、社会人として必要な「社会人マナー」、「コミュニケーション」の2項目を設定した。

また、「臨地実習 1～6」の「実務能力」では、「業務の流れ」、「衛生管理」、「事務的管理」は各臨地実務実習先においても共通して求められる能力であることから、共通項目とした。成績評価は、実習先8分野の臨地実習評価書による。

実習先の業種を8分野に分けていることから、それぞれの業種の特色をいかした到達目標及び評価項目を設定した。

- 1)実習先が「臨地実習 2・3・5」（動物病院）の場合は、項目を「診療補助・動物の看護」とした。
- 2)実習先が「臨地実習 1・4・6」（ペットサロン（動物病院美容部門を含む）・ペットショップ）の場合は、項目を「動物の取扱・グルーミング」とした。
- 3)実習先が「臨地実習 4・6」（ペットホテル）の場合は、項目を「ペットホテルの業務」とした。
- 4)実習先が「臨地実習 4・6」（訓練施設）の場合は、項目を「訓練施設の業務」とした。
- 5)実習先が「臨地実習 4・6」（老犬ホーム）の場合は、項目を「老犬ホームの業務」とした。

- 6)実習先が「臨地実習 4・6」(ペット同伴宿泊施設)の場合、は項目を「ペット同伴宿泊施設の業務」とした。
- 7)実習先が「臨地実習 4・6」(その他の動物関連企業)の場合、項目を「店舗業務」とした。
- 8)実習先が「臨地実習 4・6」(動物関連団体)の場合、項目を「団体活動」とした。

さらに、8分野においては、それぞれの到達目標を段階的に資料 30-6 のとおり整理した。

「臨地実習 1」(②ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

1年次夏季休暇または1年次春季休暇に校舎(1号館)に併設されているペットサロン(動物病院美容部門を含む)で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

動物の取り扱い方、マナー、ペットサロン(動物病院美容部門を含む)の業務を把握し、1日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン(動物病院美容部門を含む)及びペットショップの1日の業務の流れを把握する。「基礎能力」の到達目標接客マナーと受付、電話対応に加え、「実務能力」の到達目標動物の取り扱い方、衛生管理の実践、商品知識と管理を習得することを到達目標とする(資料 30-6)。

「臨地実習 2」(①動物病院)

1年次夏季休暇または春季休暇に校舎(1号館)に併設されている動物病院(アニマルメディカルセンター)で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習 2」は、臨地実務実習の導入として、業務の流れを把握する。「基礎能力」の到達目標電話対応、飼い主対応に加え、「実務能力」の到達目標入院動物看護等の診察補助、主な処置法、調剤受付、手術見学、衛生管理、院内清掃等の動物看護技術を修得させることを到達目標とする(資料 30-6)。

「臨地実習 3」(①動物病院)

動物病院において、8日間ずつ2か所の動物病院で臨地実務実習を行う。
小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。
院内清掃、電話対応、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日×2病院（1日7時間）の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

【到達目標】

「臨地実習3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを理解する。「基礎能力」の到達目標電話対応に加え、「実務能力」の到達目標検査、手術の準備の補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、院内清掃等動物看護師に必要な業務全般を修得することを到達目標とする（資料30-6）。

「**臨地実習4**」（②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）・ペットショップ、③ペットホテル、④訓練施設、⑤老犬ホーム、⑥ペット同伴宿泊施設、⑦その他の動物関連企業、⑧動物関連団体）

動物関連企業等で8日間ずつ、2か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。補正申請時の是正事項7の（1）でも説明したとおり、表11の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる2か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日間×2社（1日7時間）の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

なお、業種別分類番号1のペットサロン（動物病院美容部門を含む）と業種別分類番号2のペットホテルは併設されている場合があることから、ペットホテルが併設されている業種別分類番号1のペットサロンに配属した場合は、もう一つの配属先は、業種別分類番号2のペットホテル以外の施設、もしくは業種別分類番号3に配属することとする。

表 11 臨地実習 1～6 における実習先 8 分野

番号	実習先 (分野別)	臨地実務実習
1	動物病院	臨地実習 2・3・5
2	ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ	臨地実習 1・4・6
3	ペットホテル	臨地実習 4・6
4	訓練施設	
5	老犬ホーム	
6	ペット同伴宿泊施設	
7	その他の動物関連企業	
8	動物関連団体	

【到達目標】

「臨地実習 4」は「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図り必要な業務全般を修得することを到達目標とする。

上記の到達目標に、さらに業種別に以下の到達目標を加える。

- ②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップにおいては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「動物の取扱」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。
- ③ペットホテルにおいては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「ペットホテルの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。
- ④訓練施設においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「訓練施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。
- ⑤老犬ホームにおいては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「老犬ホームの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。
- ⑥ペット同伴宿泊施設においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「ペット同伴宿泊施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。
- ⑦その他の動物関連企業においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「店舗業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。
- ⑧動物関連団体においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「団体活動」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。(資料 30-6)

「臨地実習 4」の分野ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表 12)

表 12

番号	実習先 (分野別)	「臨地実習 4」の内容
2	ペットサロン（動物病院美容部門を含む） ペットショップ	ペットサロン（動物病院美容部門を含む）においては、開店準備、清掃、犬具の手入れ、商品知識や販売、閉店作業を学ぶ。 ペットショップにおいては、開店作業、消毒、清掃、閉店作業等の実務を学ぶ。
3	ペットホテル	ペットホテルにおいては、開店準備作業、清掃等の環境整備、ペットの健康状態を保ちながら預かるためのノウハウ、閉店作業を通じて実務を学ぶ。
4	訓練施設	訓練施設においては、ペットの「無駄吠え」「散歩の引張癖」「甘噛み」等を治すしつけの方法、開店準備、閉店作業等を通じて実務を学ぶ。
5	老犬ホーム	老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ等の実務を学ぶ。
6	ペット同伴宿泊施設	ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。
7	その他の動物関連企業	その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を行う店舗等において、開店準備、商品知識、閉店作業、清掃、陳列等の実務を学ぶ。
8	動物関連団体	動物関係の公益団体の事務所において、公益団体が提供している動物に関連するイベントの準備作業、公益団体関連法規の知識修得、団体が主催する検定試験準備補助事務等の実務を学ぶ。

「臨地実習 5」(①動物病院)

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3病院（1日7時間）の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

「臨地実習 5」は、職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして動物看護師として幅広い視野を養う。「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「診療補助・動物の看護」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。

「臨地実習 6」(②ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ、③ペットホテル、④訓練施設、⑤老犬ホーム、⑥ペット同伴宿泊施設、⑦その他の動物関連企業、⑧動物関連団体)

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場(店舗等・団体等)で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン(動物病院美容部門を含む)、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3社(1日7時間)の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして、顧客のニーズを把握し、通常業務における顧客への対応を学ぶことを到達目標とする。

上記の到達目標に、さらに業種別に以下の到達目標を加える。

- ②ペットサロン(動物病院美容部門を含む)、ペットショップにおいては、「基礎能力」の到達目標に加え、「業務の流れ」、「動物の取扱」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ③ペットホテルにおいては、「基礎能力」の到達目標に加え、「業務の流れ」、「ペットホテルの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ④訓練施設においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「訓練施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ⑤老犬ホームにおいては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「老犬ホームの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ⑥ペット同伴宿泊施設においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「ペット同伴宿泊施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目

を到達目標とする。

- ⑦その他の動物関連企業においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「店舗業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ⑧動物関連団体においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「団体活動」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。

「臨地実習 6」の分野ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表 13)

表 13

番号	実習先 (分野別)	「臨地実習 4」の内容
2	ペットサロン（動物病院美容部門を含む） ペットショップ	ペットサロン（動物病院美容部門を含む）においては、開店準備、清掃、犬具の手入れ、商品知識や販売、閉店作業を学ぶ。 ペットショップにおいては、開店作業、消毒、清掃、閉店作業等の実務を学ぶ。
3	ペットホテル	ペットホテルにおいては、開店準備作業、清掃等の環境整備、ペットの健康状態を保ちながら預かるためのノウハウ、閉店作業を通じて実務を学ぶ。
4	訓練施設	訓練施設においては、ペットの「無駄吠え」「散歩の引張癖」「甘噛み」等を治すしつけの方法、開店準備、閉店作業等を通じて実務を学ぶ。
5	老犬ホーム	老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ等の実務を学ぶ。
6	ペット同伴宿泊施設	ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。
7	その他の動物関連企業	その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を行う店舗等において、開店準備、商品知識、閉店作業、清掃、陳列等の実務を学ぶ。
8	動物関連団体	動物関係の公益団体の事務所において、公益団体が提供している動物に関連するイベントの準備作業、公益団体関連法規の知識修得、団体が主催する検定試験準備補助事務等の実務を学ぶ。

動物病院での臨地実務実習は、動物病院によって動物看護師の職務範囲が異なることが考えられるため、学生が行う業務の範囲の基準を設けているか。基準がある場合はその基準を説明し、病院ごとに異なる場合は、どのように業務範囲を把握し十分な教育が行えるかと判断したのことに、以下のとおり説明する。

現在、「動物病院実習ガイドライン」作成に関し、一般社団法人 全国動物教育協会が主体となり、「認定動物看護師養成における効果的な連携事業を行うための動物病院実習ガイドライン作成事業」において、鋭意「動物病院実習ガイドライン」を作成中である。

しかしながら本学においては、ヤマザキ動物看護大学が作成した「学生が動物病院で行う業務の範囲の基準」を基に、業務の範囲の基準を次のとおり設定した。

なお、「動物病院実習ガイドライン」が作成された後は、同ガイドラインに準拠した基準を設定する。

<学生が動物病院で行う業務の範囲の基準>

学生が動物病院で行う業務の範囲の基準について、以下のとおり説明する。

(1)受付業務

- ①常に笑顔を忘れずに、明るくあいさつができる。
- ②飼い主名、ペット名を来院3回以内に確実に覚えることができる。
- ③カルテを間違いなく出せる。
- ④初診の受付ができる。(診察券の発行を含む)
- ⑤診察時間、来院手段の問い合わせに正しく答えられる。(予約診療の場合、予約の取り方を含む)

(2)クライアントエデュケーション

- ①健康犬、健康猫の飼育・食餌指導ができる。
- ②予防指導ができる。(予防接種の種類、接種時期、接種後の注意、接種後の体調の変化等)
- ③手入れの仕方を指導できる。(被毛、歯、耳、爪、肛門囊について)
- ④寄生虫について正しく説明できる。(ノミ、ダニ、シラミ、フィラリア、回虫、条虫、鉤虫、鞭虫等)
- ⑤投薬方法、療法食について正しく説明できる。

(3)清掃・消毒

- ①たえず臭気・汚れに気を配り、院内を清潔に保つ事ができる。
- ②駐車場やエントランスにも気を配り、ゴミや排泄物を処理できる。
- ③トイレのチェックを定期的に行い、清潔を保つ。(トイレットペーパー、汚物入れ等)
- ④院内で使用されている消毒薬の使用方法を理解している。(至適濃度、目的等)
- ⑤院内感染防止の重要性・方法を理解し、正しく実行できる。(汚物の処理法、手指消毒法等)

(4)診療補助

- ①あらゆる犬、猫の体重・体温の測定ができる。
- ②あらゆる犬に対し、獣医師の指示どおり保定ができる。
- ③おとなしい猫に対し、獣医師の指示どおり保定ができる。
- ④おとなしい犬・猫に対し、一般身体検査を行い、かつ獣医師に正しく報告できる。
- ⑤飼い主の質問に対し、診断・診療・方針に関する事は答えてはならないことを理解している。

(5)臨床検査

- ①血液検査において、CBC・mf検査が正しくかつ迅速にできる。(検体の取り扱い、準備、後片付けを含む)
- ②糞便検査において、各寄生虫卵を正しく同定できる。(検体の取り扱い、準備、後片付けを含む)
- ③尿検査において、比重・尿スティック検査ができ、尿沈渣観察用の標本が作製できる。(検体の取り扱い、準備、後片付けを含む)
- ④X線検査において、X線防御の必要性を理解し、正しく実行できる。
- ⑤ECG検査において、正しく動物を保定し電極を装着できる。

(6)看護

- ①健康な動物の状態を把握し、異常を発見できる観察力をもつ。
- ②あらゆる動物に対し、正しく経口投与・点眼・点耳・点鼻ができる。
- ③点滴セットを正しくセットしたり、アンプル・バイアルから指示された量の薬剤を注射器に移すことができる。
- ④全身麻酔から動物が完全に覚醒するまで、バイタルサインを観察し、獣医師に正しく報告できる。
- ⑤飼い主の心の痛みが理解でき、患者に対しては動物愛護の精神を持って優しく接する。

また、本学が実施する臨地実務実習は、臨地実務実習先の動物病院により実習内容が異なるため、臨地実務実習先の動物病院との事前打合せの際に、次の事項を確認し合い、連携して指導体制を構築する。

- ①臨地実務実習の内容・目的及び到達目標を提示する。
- ②臨地実務実習の内容に関する要望・提案等の意見交換を行う。
- ③本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。

(2)臨地実務実習先の確保の状況

本学園は、日本ではじめて動物看護及びケアという領域の職業を確立し、以来50年にわたり動物関連産業及び多数の動物関連団体と深い絆を結んできた。とりわけ、山崎薫理事

長は、環境省中央環境審議会 動物愛護部会委員や公益財団法人日本動物愛護協会理事、一般財団法人動物看護師統一認定機構理事、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン顧問等を務め、公益社団法人日本動物福祉協会新東京支部を拝命する他、一般社団法人日本ペットフード協会、一般財団法人日本ヘルスケア協会等の動物関連団体と信頼できる就職のネットワークを築いている。動物病院及び動物関連企業と長年にわたる交流があり、その結果、臨地実務実習先として全国 325 施設（表 14）、全学生 240 人分の承諾を得ている。なお、1 都 6 県からの進学者が見込まれることや教員の巡回指導及び学生の移動方法に鑑み、原則として 1・2 年次は 1 都 6 県を中心に臨地実務実習に参加することとする。1 都 6 県の臨地実務実習先は 193 件であるため、実習先は十分に確保されている。

表 14 再補正申請時の臨地実務実習先

分野	実習先		施設数		
			補正申請時	除外分	再補正申請時
動物病院	動物病院		227	62	165
動物関連企業等	(1)	ペットサロン・ペットショップ	96	5	91
	(2)	ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設	26	3	23
	(3)	その他のペット関連企業・動物関連団体	67	21	46
	動物関連企業等小計		189	29	160
合計			416	91	325

実習中は、臨地実務実習委員会の立案した計画に従い、専任教員全員が担当地域を効率的に巡回する。1 学年 80 人の学生を対象に教員 1 人あたりが 6～7 人のローテーションとなる。完成年度は 240 人の学生が夏季と春季にそれぞれ実習することとなるが、実際には 1 施設に数人の学生が実習を行う。教員 1 人当たり 20 人の学生を担当するため、綿密な巡回計画を立案することで教員の負担を軽減する。

なお、関東圏以外のペット同伴宿泊施設と日本盲導犬総合センター（表 15）については、両施設とも宿泊を伴う実習先ため、宿泊先の手配については教職員が行うこととする。両施設とも、臨地実務実習中は無料の宿泊施設が提供されることから、学生の宿泊費に関する負担はない。また、学生が実習期間に自宅に帰れないことによるストレスも考えられるので、実習指導担当者と電話やメールで相談できるような体制をとる。

巡回指導については、ペット同伴宿泊施設は、全 11 施設のうち関東圏以外（静岡、山梨、長野）に位置するのは 7 施設（表 15）と全実習施設数のうち少数である。また、日本盲導犬総合センターについては、1 施設で比較的関東圏から近い静岡県である。これらの実習施

設への巡回指導については、特定の教員に偏らないようにし、教員が負担を感じないように配慮する。

表 15 例外的に臨地実務実習先から除外しない 1 都 6 県外の動物関連企業一覧

業種	NO	補正申請 施設番号	会社名	所在地	
(2) ペットホテル・ 訓練施設・老犬 ホーム・ペット同伴 宿泊施設	ペット同伴宿泊施設	1	339	東京建物リゾート 株式会社レジャーリゾート 富士	山梨県南都留郡富士河口湖町
	ペット同伴宿泊施設	2	341	東京建物リゾート 株式会社レジャーリゾート 御影用水	長野県北佐久郡軽井沢町
	ペット同伴宿泊施設	3	342	東京建物リゾート 株式会社レジャーリゾート 蓼科	長野県茅野市
	ペット同伴宿泊施設	4	343	東京建物リゾート 株式会社レジャーリゾート 旧軽井沢	長野県北佐久郡軽井沢町
	ペット同伴宿泊施設	5	346	株式会社ペリークルーズ 修善寺 絆	静岡県伊豆市
	ペット同伴宿泊施設	6	348	株式会社ペリークルーズ フェニックスイング白馬	長野県北安曇郡白馬村
	ペット同伴宿泊施設	7	349	株式会社共立メンテナンス(ルシアン旧軽井沢)	長野県北佐久郡軽井沢町
	小計	7施設			
(3) その他ペット 関連企業・ 動物関連団体	動物関連団体	1	412	公益財団法人日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センター	静岡県富士宮市
	小計	1施設			
合計	8施設				

(3) 臨地実務実習水準の確保の方策

臨地実務実習のため「臨地実務実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。

実習に際しては、専任教員による事前教育、事後教育を行う他、専任教員の分担による訪問を実施する。実習施設において実習指導担当者を選任していただき、実習指導者と事前の打ち合わせを行う。実習後の学生からの実習ノートによる報告、実習先の評価書に基づき、実習担当の専任教員により成績を評価する。

臨地実務実習施設を選定する基準について、以下のとおり動物病院と動物関連企業の業種ごとに説明する。

<動物病院>

動物病院の選定理由は、「設置の趣旨等を記載した書類」(P10) 養成する人材像に記したとおり、「動物愛護の精神に則り、動物病院において実務家として社会に貢献する人材」を育成するため、臨地実務実習先動物病院もこれに則した動物病院が必要と考えたため、中規模動物病院、小規模動物病院、高度医療・二次診療を行う動物病院、専門科診療を行う動物病院、往診を実施している動物病院等を選んだのが選定理由である。

また、本学の臨地実務実習病院若しくは卒業生が就職している動物病院で、臨床経験 5 年以上の獣医師、動物看護の経験が 3 年以上の動物看護師がいる動物病院を基本的に対象とした。

都道府県は、学生が臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮して、東京都、千

葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県の1都6県の動物病院を対象とした。

2年次夏季に実施される「臨地実習3」の臨地実務実習の動物病院としては、8日間ごとのローテーションにより2か所において臨地実務実習を行う。臨地実務実習先の動物病院は一次診療施設で従業員5人以下の小規模動物病院と従業員100人以下の中規模動物病院（往診を実施している動物病院を含む。）を対象とした研修を行う。

3年次夏季の「臨地実習5」の臨地実務実習先としては、動物病院で、7日間ごとのローテーションにより3か所において臨地実務実習を行う。研修先の動物病院は5グループに設定した。一次診療施設で従業員数10人以上、4～9人、1～3人の3つのタイプの動物病院（往診を実施している動物病院を含む。）、高度医療・二次診療を行う動物病院、専門科診療を行う動物病院の計5グループから3か所での臨地実務実習を行う。

また、動物病院の施設設備基準は明確に規定されていないため、本学では次のとおり動物病院の基準を設定した。

小規模動物病院は、施設として待合室（受付）、診察室、処置室を備え、設備として滅菌（オートクレーブ）、薬品管理等を備え、診察に必要な器具を有する。

中規模動物病院は、施設として待合室（受付）、診察室、処置室、手術室、入院室、X線検査室を備え、設備として検査機器、救急（人工蘇生機器）、滅菌（オートクレーブ）薬品管理等を備え、診察に必要な器具を有する。

小規模動物病院と中規模動物病院では、施設設備における違い及び診療科数等の違いはあるが、小規模動物病院では診療可能な動物種に特化している動物病院及び専門診療科に特化している動物病院もあるため、小規模・中規模両方の動物病院を実習先としている。

<動物関連企業等>

本学園の卒業生が就職している企業・店舗を含み、経営が安定している動物関連企業等で、3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる企業・店舗等を基本的に対象とした。

また、学生の利便性を考慮し、概ね1都6県の動物関連企業を対象とした。

2年次春季に実施される「臨地実習4」は、教育効果を考慮し、以下の（表16）の3分類の業種の中から、2分類の動物関連企業等において8日間ごとのローテーションにより2か所において臨地実務実習を行う。

3年次夏季に実施される「臨地実習6」においては、学生の進路希望先や関連する動物関連企業において7日間のローテーションにより、基本的に3か所において臨地実務実習を行う。

3分類の業種ごとにそれぞれの基準（表16）を以下のとおり説明する。

表 16

番号	実習先 (分野別)	基準
2	ペットサロン (動物病院美容部門を含む) ペットショップ	ペットのグルーミング等の知識や飼育・健康管理等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している店舗等
3	ペットホテル	ペットホテル・訓練施設・老犬ホームは、ペットを宿泊で預かる際の動物の飼育・健康管理等が学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等
4	訓練施設	
5	老犬ホーム	
6	ペット同伴宿泊施設	ペット同伴宿泊施設は、宿泊客が同伴してきたペットへの対応等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業しているホテル等
7	その他の動物関連企業	その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等
8	動物関連団体	動物に関する公益団体等で公益的な活動を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している事務所等

臨地実務実習先の動物病院は、合計 165 施設となるが、資料 30-3 の臨地実務実習ローテーション表 (1 か所につき 1 人) のとおり、臨地実務実習を円滑に運用することができる。運用方法として、「臨地実習 3」(8 日間ずつ 2 か所) を例にすると、80 人の学生が 8 日間ずつ 1 か所目 (オレンジ) 及び 2 か所目 (グリーン) で実習したとしても 165 施設内で終了する。「臨地実習 5」(7 日間ずつ 3 か所) を例にすると、80 人の学生が 7 日間ずつ 1 か所目 (イエロー)、2 か所目 (ブルー) 及び 3 か所目 (グリーン) で実習したとしても 165 施設内で終了する。「臨地実習 3」及び「臨地実習 5」を同時に実施した場合も円滑に運用することができる。

また、臨地実務実習先の動物関連企業等は、合計 160 施設となるが、資料 30-4 の臨地実務実習ローテーション表のとおり、臨地実務実習を円滑に運用することができる。運用方法として、「臨地実習 4」(8 日間ずつ 2 か所) を例にすると、80 人の学生が 8 日間ずつ 1 か所目のペットショップ・ペットサロンは 1 人 (オレンジ) 及び 2 か所目のペット用品販売は 2 人 (グリーン) で実習したとしても 160 施設内で終了する。「臨地実習 6」(7 日間ずつ 3 か所) を例にすると、80 人の学生が 7 日間ずつ 1 か所目のペットショップ・ペットサロンは 1 人 (イエロー)、2 か所目のペット用品販売は 2 人 (グリーン) 及び 3 か所目の動物関連施設は 4 人 (イエロー) で実習したとしても 160 施設内で終了する。「臨地実習 4」及び「臨地実習 6」を同時に実施した場合も円滑に運用することができる。

＜実習指導者の質の確保・要件等＞

臨地実務実習先の指導者の要件及び指導者の質をどのように確保するかを取組や方策について、以下のとおり説明する。

学修した動物看護の基礎知識・技術を生かし、動物病院・動物関連企業等の現場で実務をとおして実践的能力を身に付けることを臨地実務実習の目的とし、①可能な範囲で動物病院・動物関連企業等での臨地実務実習において実践的な臨地実務実習を体験する、②動物病院・動物関連企業等での実践をとおして動物看護に必要な知識やその目的を理解する、③人間関係形成のためのコミュニケーション能力を高めることを臨地実務実習の目標としているため、動物病院においては、獣医師として豊富な経験を有し、臨地実務実習の受入・指導経験のある獣医師がいること。動物看護の経験が3年以上の動物看護師がいることを臨地実務実習先の指導者の要件としている。

動物看護師に求められる適性や能力は動物医療への時代のニーズの高まりとともに変化するが、獣医師の指示通りの単純作業だけに留まらず、診療、検査、手術、受付対応、飼い主への心のケアにいたるまであらゆる場面に関わる職域である。獣医療を側面から支える動物看護師は社会人として成熟し、人間性は勿論のこと、しっかりとした職業観、コミュニケーション能力が要求される。そのため、人により多少の差はあるが、実習指導者として初任者教育ができるようになるには3年以上の実務経験が必要となるため、実務経験年数3年以上を指導者の要件とした。

動物関連企業等においては、初任者レベルの臨地実務実習のため、それを指導できる3年以上の実務経験がある社員・職員を臨地実務実習先の指導者の要件としている。

指導者の質をどのように確保するかを取組や方策について、以下のとおり説明する。

指導者の質をどのように確保するかを取組や方策については、本学において年1回大学教員と臨地実務実習先指導者とのミーティングを実施し、臨地実務実習先が重要視している臨地実務実習を通して学んでほしい事項、問題点や課題等について確認する。臨地実務実習指導者及び教職員間の情報共有を図り、学生への意識付の工夫、課題の確認・目標の設定の再確認、更なる臨地実務実習の向上を図る。

＜臨地実務実習の成績評価＞

養成する人材像及び教育目標に基づき、臨地実務実習において学生が修得すべき到達目標を臨地実習評価書の評価項目に挙げることにより修得する到達目標を明確にした。臨地実務実習における教育の到達目標は、「基礎能力」と「実務能力」からなる。

「臨地実習1～6」の「基礎能力」は共通項目とし、社会人として必要な「社会人マナー」、「コミュニケーション」の2項目を設定した。また、「臨地実習1～6」の「実務能力」では、「業務の流れ」、「衛生管理」、「事務的管理」は各臨地実務実習先においても共通して求められる能力であることから、共通項目とした。成績評価は、臨地実務実習先8分野の臨地実習評価書による。

成績評価について、以下のとおり説明する。

臨地実習評価書（①動物病院）は「臨地実習 2、3、5」の 3 種類、臨地実習評価書（②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップ）は「臨地実習 1、4、6」の 3 種類、臨地実習評価書（③ペットホテル）は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書（④訓練施設）は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書（⑤老犬ホーム）は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書（⑥ペット同伴宿泊施設）は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書（⑦その他の動物関連企業）は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実務実習評価書（⑧動物関連団体）は「臨地実習 4、6」の 2 種類、計 18 種類の臨地実習評価書により成績評価を行う（資料 30）。

なお、臨地実務実習の成績評価は、実習先の実習指導担当者（動物病院における実習指導者要件：臨床経験 5 年以上の獣医師、動物看護経験 3 年以上の動物看護師。動物関連企業等における実習指導者要件：実務経験 3 年以上の社員・職員）が臨地実習評価書の項目に従い、「基礎能力」と「実務能力」をそれぞれの項目ごとに A（優れている）・B（普通）・C（努力を要する）の 3 段階評価とし、総合評価にまとめる。

また、本学が実施する臨地実務実習は、臨地実務実習先により実習内容が異なるため、臨地実務実習先との事前打合せの際に、次の事項を確認し合い、連携して指導体制を構築する。

- ①臨地実務実習の内容・目的及び到達目標を提示する。
- ②臨地実務実習の内容に関する要望・提案等の意見交換を行う。
- ③本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。

<臨地実務実習委員会の役割>

「臨地実務実習委員会」の役割について、以下のとおり説明する。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学学生の教育内容を充実し就職活動に有意義な支援指導を行うことを目的として、「臨地実務実習委員会」を設置している。

「臨地実務実習委員会」の臨地実務実習に対する役割については、「設置の趣旨等を記載した書類」（P51）(3)実習水準の確保の方策及び（P56）(4) 実習先との連携体制に次のとおり記載している。

(3)実習水準の確保の方策

臨地実務実習のため「臨地実務実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。

(4) 実習先との連携体制

実習担当教員は、臨地実務実習委員会と一体となって、臨地実務実習の計画・実施・評価、臨地実務実習指導体制の構築、実習施設の実習指導者との実習内容と実習方法の連絡・調整を行う。

「臨地実務実習委員会」の協議事項については、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）」（資料 30-2）において、審議事項を次のとおり規定している。

（審議事項）

第6条 委員会は、次の事項を審議し、実施する。

- (1) 就職支援の研修指導に関する事項
- (2) 臨地実務実習先の開拓、あっせん等に関する事項
- (3) 臨地実務実習の実施に関する全般的な指導及び連絡調整に関する事項
- (4) その他臨地実務実習に関する事項

「臨地実務実習委員会」の委員会構成については、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）」（資料 30-2）において、構成を次のとおり規定している。

（構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 動物トータルケア学科長
- (2) 教務部長
- (3) 学生部長
- (4) 教科担当の専任教員
- (5) 専任教職員の中から学長が指名した者

(4)臨地実務実習先との連携体制

臨地実務実習施設の実習指導者と本学の実習担当教員が適時に連絡を取り、実習全般の調整を行う。実習担当教員は、実習中の巡回指導時において本学と実習施設と情報交換し、十分な連携を図る体制を構築する。

実習施設への巡回は、実習期間の前後及び期間中に原則として1回実施するものとし、実施施設からの要望に応じても訪問する。巡回指導時には、実習目標の達成や課題について本学教員、学生、実習指導者が相互に認識し合い、連携した指導体制とする。

巡回指導時には、学生からの問題点や学習の達成状況等について、実習が円滑に展開するために指導・支援し、学生の抱える悩みについて相談を受け、指導・助言して実習の充実に努める。

実習担当教員は、臨地実務実習委員会と一体となって、臨地実務実習の計画・実施・評価、臨地実務実習指導体制の構築、実習施設の実習指導者との実習内容と実習方法の連絡・調整を行う。実習施設の実習指導者は、業務について経験と知識・技術を持ち、本学の提示する実習計画に基づき実習環境を整備し、スタッフとの調整、実習の評価等を行い、本学実習担当教員との連絡にあたる。

(5)その他

実習期間中の学生に対する実習先からの報酬及び交通費は、原則として支給されない。

また、実習中の災害補償及び損害賠償責任保険については、公益財団法人日本国際教育災害傷害保険（学生教育研究災害傷害保険、通学中等傷害危険担保特約及び学険災付帯賠償責任保険）に本学が加入することにより対応する。

12. 管理運営

学科の教育研究に関する重要事項を審議する「教授会」を置き、その下に専門の事項を調査審議する「学内委員会」を設ける。また、学科長を置くとともに、必要に応じて副学長を置き、学長を中心とした管理運営体制を図る。

(1)教授会

学科の教育研究に関する教育研究に関する事項を審議するために、教授会を置き、学長及び専任の教授をもって構成し、議長を学科長とする。教授会は原則として毎月 1 回開催することとし、以下の事項を審議する。

- ア 教育課程の編成に関すること
- イ 学生の編入学、再入学、留学及び除籍に関すること
- ウ 学生の表彰・懲戒に関すること
- エ 教員の教育研究業績等の審査に関すること
- オ 学則及び諸規程に関わる事項
- カ その他、学長が意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

(2)学内委員会

専門の事項を調査審議するため、教授会の下部組織として以下の学内委員会を置く。委員会の結果は教授会に報告し審議をする。

学内委員会

- ア 自己点検・評価委員会
- イ FD・SD 委員会
- ウ 入学試験委員会
- エ 教務委員会
- オ 学生委員会
- カ 研究委員会
- キ 臨地実務実習委員会
- ク 就職支援委員会
- ケ 動物実験委員会（組換え DNA 実験を含む）

13. 自己点検評価

(1)自己点検・評価の基本方針

設置の趣旨及び目的を達成するために、教育研究等の状況について自己点検・評価を行う。教育研究目標を明確にし、目標を達成するための教育研究等の活動を行うとともに、教育研究等の活動状況や目標達成状況を適確に把握し、それらの結果を十分に踏まえ、教育研究等の活動の改善に努める。

自己点検・評価の結果については、報告書にまとめ公表する。さらに、認証評価機関による評価を受け、教育研究等の改善策に活用する。自己点検・評価は広範、多岐にして将来にわたる重要性を考慮し、学内挙げて組織的に改善に努める方針である。

(2)実施体制

自己点検・評価について、自己点検・評価委員会を設置し、自己点検・評価委員会規程に基づき、自己点検・評価を実施する。なお、自己点検・評価委員会は、認証評価機関による評価等に関わる業務も担当する。

自己点検・評価委員会は学長を委員長とし、学内各種委員会から選出する専任教職員、学校法人の職員によって構成する。

(3)実施方法

自己点検・評価委員会は、自己点検・評価委員会規程に基づき、各評価項目ごとに評価基準を定め、実施する。

自己点検・評価委員会は、専任教員や事務職員に対し、自己点検・評価の重要性及び、調査や資料収集の意義を説明する場を設けるなどし、十分な意思の疎通を図り実施体制を築く。各自が自己点検・評価の意義を理解し、改善すべき点を分析し努力していくことになる。

また、評価項目ごとに学内委員会に対する調査、資料収集を行い、現状を把握する。結果については、自己点検・評価委員会で評価及び改善策等を検討し、教授会に報告する。その報告を得て学長は、運営、教育研究の改善策を図る他、完成年度以後自己点検・評価報告書にまとめ、公表する。

(4)評価項目

自己点検・評価は、次の項目ごとに行う。

- ① 使命・目的等（使命・目的、教育目的）
- ② 学生（学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応）
- ③ 教育課程（卒業認定、教育課程、学修成果）
- ④ 教員・職員（教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援）
- ⑤ 経営・管理と財務（経営の規律、理事会、管理運営、財務基盤と収支、会計）
- ⑥ 内部質保証（組織体制、自己点検・評価、PDCA サイクル）

(5)結果の活用及び公表

自己点検・評価結果は、ホームページ、自己点検・評価報告書として公表するとともに、当該部署、委員会等の責任者にフィードバックし、結果に対する意見や対応策を自己点検・評価委員会に報告し、継続的な教育研究活動の改善、次期の自己点検・評価に利用する。これらを通じて、全職員が評価結果を共有し、全学的な改善向上に資する。

14. 情報の公表

(1)情報公表の方針

教育研究水準の維持向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について学内外に対し積極的な情報提供を行う。

専門職短期大学のホームページ、刊行物によって広く情報公開に努める。教員の学術研究成果に関しては、紀要により公開する。

(2)実施方法及び提供する項目

- ① 建学の精神、専門職短期大学（学科）の概要と特色
- ② 教育研究上の理念及び目的、教育目標
- ③ 教育研究に関する事項（学生便覧、授業計画、教員の研究活動、紀要）
- ④ 入学試験に関する事項
- ⑤ 卒業後の進路に関する事項
- ⑥ 行事に関する事項（公開講座等）
- ⑦ 施設設備に関する事項（「図書館便り」「ニューズレター」）
- ⑧ 自己点検・評価及び認証評価結果
- ⑨ 将来計画に関する事項
- ⑩ 事業計画及び財務に関する事項
- ⑪ 学則
- ⑫ 専門職短期大学設置認可申請書
- ⑬ 設置計画履行状況報告書

15. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

(1)FD・SD研修

①基本方針

教育研究目標を達成し、教育の質の維持と向上を図るために、教員の教育力向上及び職員的能力・資質向上に努める。また、その手段として、FD・SD委員会を設置のうえ、組織的に授業の内容及び教育方法の改善を総合的に図るための研修及び研究を実施し、その活動状況を報告書としてまとめ、公表する。

②実施体制

FD・SD 委員会を、学長が指名する専任教職員若干名で構成し、学科長が委員長となり以下の活動を行う。

FD・SD 委員会は、下記③の項目について、年度当初に実施計画を立て、年度末に実施結果の総括及び次年度以降の取り組みについて検討する。

③具体的対応

A FD への取り組み

ア 教育研究に関わる研修

担当授業を開始する前に、各教職員が、大学の教育上の目的や養成する人材像について共通の認識を持つことができるようにするため、委員長は、教職員に対して研修の機会を設ける。

イ 授業科目の教育目標の周知・徹底

各授業科目の教育目標や位置付け、他の授業科目との関連(授業内容及び授業範囲)について、十分に討議・連携を踏まえ、各教員が担当する授業の内容・方法等を決定する。

ウ カリキュラムの改善

教育内容の向上を図るために、継続的にカリキュラムの改善を行う。すなわち、体系的に学修できる必修科目の検討等、カリキュラムの改善を図る。その際には、学生による授業評価と教員による自己評価、動物看護をめぐる国内外の教育研究の動向を考慮したカリキュラムの改善を目指す。

また、開学時から、自己点検・評価委員会を設置して評価基準項目に従い、カリキュラムの評価を行う。評価結果は「自己点検・評価報告書」としてまとめ、法令に従い公益財団法人日本高等教育評価機構の評価を受審する。

カリキュラムの改善に関する項目については、評価機構による評価結果及び改善策等を学長が教育課程連携協議会を経て情報を共有し、改善に取り組む。また、評価結果は教授会に報告し、全学を挙げて教育・研究の改善に努める。なお、「自己点検・評価報告書」は公表する。

エ シラバスに関連する対応

シラバスの内容の充実・改善を図るために、教務委員会で検討した事項を教授会に付し、学長が決定した結果を FD・SD 委員会が検証して協議会に提案する。担当科目の内容、教育目標、成績評価基準、教科書や参考書の指定等のシラバスの記載項目並びに記載方法等を検討する。

オ 教員相互の授業参観

教員相互で授業の参観を実施し、各教員の授業内容及び方法の改善を図る。

カ 授業評価

学期の最終授業時に各科目の授業評価アンケートを行い、授業の改善資料とする。このアンケート結果は自己点検・評価の際にも活用する。

キ FD 関連の情報収集と周知

他大学並びに諸団体における FD 関連の成果・資料等の情報を収集し、これらを教員に周知する。

ク 教員の研究会、研修会への派遣

他大学並びに諸団体が開催する FD 関連の研究会、研修会等に積極的に教職員を派遣する。

B SD への取り組み

ア 事務職員の職務遂行に係る改善

職責向上の遂行及び質的向上の推進を図る。そのため業務における反省、課題についての討議・研修等により業務改善を図る。

イ SD 関連の情報収集と周知

他大学並びに諸団体における SD 関連の成果・資料等の情報を収集し、これらを教員に共有する。

ウ 事務職員の研究会、研修会への派遣

他大学並びに諸団体が開催する SD 関連の研究会、研修会等に積極的に事務職員を派遣する。

C 共通の取り組み

ア FD・SD に関する研修

全教職員が教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、FD・SD に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を定期的に設け、あわせて両者の連携体制の確保を図る。

16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

(1)教育課程内の取組について

①展開科目

本学では職業専門科目において動物看護を基盤とした学修を行っている。主に 3 年次の展開科目（全科目選択）には関連する他分野の科目を配置することで動物看護師の職域を拡大する目的をもって社会的、職業的自立を目指す教育体制をとる。

超高齢社会でペット産業の発展の一端を担う動物看護師は、「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」、「死生学」、「医療安全」の科目をとおして、少子高齢化が進む社会を理解し、問題を解決する創造的能力を修得することを目指す。

また、ディプロマポリシーを踏まえ、産業界の発展を寄与する人材養成のために「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」の科目をとおして多様化する産業界を理解し、問題を解決する創造的能力を修得することを目指す。さらに、人口知能が発達していく社会に

において新しい技術を動物飼育環境整備にどう活用していくかの応用的能力を養成するために、「IT 社会論」をとおして職業的自立を目指す。

なお、「情報危機管理論」の科目をとおして文書の保管・管理等を踏まえ、情報の危機管理について教授し、「災害・危機管理論」では、人と動物が共生する社会における災害対応を学修し、同行避難等の問題を解決するための創造的能力を修得することを目指す。

②「動物実習短期留学」及び「研修・ボランティア活動」

総合科目に含まれる「動物実習短期留学」、「研修・ボランティア活動」は、総合科目の趣旨を踏まえ、総合科目から削除し、職業専門科目に配置する。

「動物実習短期留学」（配当年次 2・3 年次、選択科目 2 単位）は、Australia Zoo（オーストラリアズー）での動物飼育実習を通じて、多文化共生社会における動物関連学問領域のあり方を学び、グローバルな視野を身に付けることを目的とする。その内容は、Australia Zoo（オーストラリアズー）において、動物園の担当者による説明等をもとに、実習を行い、動物の QOL に配慮した動物飼育方法等を学ぶ。実習の最後には、現地での総括としてディスカッションを行う。事前学修では、オリエンテーション、Australia Zoo での動物実習短期留学体験者による講話、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイングなどを通して、実習目的や内容、注意事項等、動物園実習に関する事前知識を深める。帰国後の事後学修では、英語による実習報告書の作成や実習報告の発表を行う。

「研修・ボランティア活動」は、研修やボランティア活動に参加し、飼い主と動物を取り巻く環境に対して、専門職として介入できる知識と技術を身に付けることを目的とする。

また、本学園での国内研修は、平成 22 年度より毎年夏期休業中に北里大学との提携により、北里大学獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場にて 3 泊 4 日の研修を行い、平成 29 年度で第 8 回を迎える。本学園では、コンパニオンアニマルを対象とした動物看護学の教育を行っているが、北海道の八雲牧場での産業動物を対象とした牧場実習体験では自然の中でのエコロジカル牧場の特色を活かした学修成果が大きい。

研修内容は、電気牧柵設置や牛の追い込み、堆肥処理、放牧地・採草地の管理や観察等に加え、牛の個体情報管理や体尺値測定にまで及ぶ。国内研修への参加は、選択科目のため別途料金が発生する。

さらに、本学園での海外研修は、昭和 46 年度の第 1 回アメリカ研修旅行に始まり、平成 29 年度で第 38 回を迎える。アメリカ研修旅行ではカリフォルニア大学デイビス校、オーストラリア研修旅行ではシドニー大学でのセミナー授業の受講の他、動物病院、野生動物の保護施設、盲導犬協会、動物虐待防止協会、ドッグショーの見学等の研修を通し、動物看護を学ぶ学生としてコンパニオンアニマルの社会的地位と現状の視察等を行い、国際人としての教養とコミュニケーション能力を身に付ける。海外研修への参加は、選択科目のため別途料金が発生する。

ボランティア活動としては、公益社団法人動物福祉協会の新東京支部の活動の一環として、保護されたイヌ・ネコの預かりや譲渡活動、災害時の救援物資の仕分け業務などに参加するものである。（資料 28-5）

(2)教育課程外の取組について

本学園の歴史の中で、ヤマザキ動物愛護シンポジウム、公開講座、ドッグ・ウォーキングフェスティバル、日本動物看護学会、日本動物リハビリテーション学会、日本身体障害者補助犬学会等をキャンパス内において開催することで学生達の参加を促す取り組みを行っている。また、動物関連団体や動物関連企業から内外を問わず第一線で活躍中のスペシャリストを迎え、セミナーを開催している。12月10日の学園創立記念日には、動物看護フォーラムを開催し、本学の教員に加え動物看護分野から専門家を招聘して研究発表やパネルディスカッションを行い、学生が参加できる取り組みをしている。

(3)適切な体制の整備について

①就職委員会の設置

専任教員で構成する就職委員会を設置し教授会のもとで開催する。就職委員は、事務局就職支援課及びクラスアドバイザーと連携し、動物病院や動物関連企業、また、短期大学生をとりまく就職に関する情報収集に当たる。

加えて、就職委員会では、学生の就職活動に関する企画を発案、実施する。具体的には、1年次生向けに早くから就職活動を意識できるような企画、2年次向けに就職活動が始まるにあたっての決起集会、自己分析の方法、エントリーシートの書き方、集団面接・個人面接の指導、OG・OBによる講演等の企画や、動物関連企業の見学会等を行う。また、動物関連企業や大規模な動物病院の関係者を招き、全学年対象の企業説明会を定期的実施する。

②就職支援課の設置

学生の就職活動を支援する就職支援課を1号館9階に設置し、専任職員を常駐させる。就職支援課では、学生からの就職に関する相談や企業訪問・動物病院訪問によって、就職先の拡充を図る。また、3年次後期の時点で就職先が決まっていない学生について、クラスアドバイザーと連携して、学生面談を行い、重点的な就職活動の支援を行う。

以上

資料目次

- 資料1. 犬猫飼育頭数の推移
- 資料2. 犬の年齢及び平均寿命
- 資料3. 我が国の高齢者における犬猫飼育と二年後累積生存率（抜粋）
- 資料4. 動物診療施設の推移状況について
- 資料5. ペットビジネス市場の動向
- 資料 5-2. ペット保険の市場規模推移と予測
- 資料 5-3. ペット同伴宿泊施設の整備実態と利用者のニーズ
- 資料 5-4. ペット葬送ビジネスの市場規模推移と予測
- 資料6. ペット保険業界の動向
- 資料7. ペットと暮らすシニア世代の方へ
- 資料8. ペット保険加入の条件等
- 資料9. ヤマザキ学園の沿革
- 資料10. ヤマザキ動物愛護シンポジウム
- 資料11. ヤマザキ学園大学公開講座
- 資料12. 動物看護師統一認定試験 認定校一覧（専門学校）
- 資料13. 一般財団法人 日本ヘルスケア協会パンフレット
- 資料14. 2016 年度卒業生就職実績
- 資料15. 都道府県別飼育動物診療施設の開設届出状況
- 資料16. ペット用品の需要について
- 資料17. 猫カフェの状況
- 資料18. (仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学の設置についての賛同書
- 資料19. 動物の愛護及び管理に関する法律
- 資料20. 身体障害者補助犬法
- 資料21. 愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律
- 資料22. カリキュラムマップ・概念図
- 資料23. ヤマザキ動物看護専門職短期大学専任教員定年規程
- 資料24. モデル犬クラブ会員一覧
- 資料25. 履修モデル

資料26. ヤマザキ動物看護専門職短期大学教育課程連携協議会規程

資料27. 機械・器具・標本一覧

資料 27-2. 研究用機器備品 設置場所一覧 (案)

資料 27-3. レンタルラボ

資料28. ヤマザキ動物看護専門職短期大学時間割

資料 28-2. 動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている
科目 (職業専門科目編)

動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている
科目 (基礎科目・臨地実務実習・展開科目・総合科目編)

資料 28-3. 80 人クラスの担当者及び理由

資料 28-4. 認定動物看護師のコアカリキュラム

資料 28-5. 「動物実習短期留学」及び「研修・ボランティア活動」

資料29. 学術雑誌一覧

資料30. 臨地実務実習の授業科目の概要その他

資料 30-2. ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則 (案)

資料 30-3. 臨地実習 3・5 学生ローテーション表

資料 30-4. 臨地実習 4・6 学生ローテーション表

資料 30-5. 基礎能力の段階的到達目標 (共通項目)

資料 30-6. 臨地実習 1・2・3・4・5・6 における評価項目 (実務能力) に対する段階的到達目標

①書類等の題名

資料 1. 犬猫飼育頭数の推移

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 21 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

- ・グラフの 2016 年度 犬・猫の数字を赤枠で囲んだ。
- ・表の 2016 年度 飼育頭数の数字を赤枠で囲んだ。

犬の年齢(出典 一般社団法人ペットフード協会)

	0～6歳	7～9歳	10～12歳	13歳以上	不明	総数
2011年	47.7%	23.9%	16.7%	9.7%	1.9%	1,183頭
	71.6%		26.4%		1.9%	
2016年	43.8%	20.1%	20.1%	14.4%	1.7%	1,066頭
	63.9%		34.5%		1.7%	

平均寿命(出典 一般社団法人ペットフード協会)

	犬	猫
2012年	13.94歳	14.45歳
2016年	14.36歳	15.04歳

原 著

我が国の高齢者における犬猫飼育と二年後累積生存率

(抜粋)

The relationships between caring for pets and the two year cumulative survival rate for the elderly in Japan

星 旦二¹⁾、望月友美子²⁾Tanji HOSHI¹⁾, Yumiko MOCHIZUKI²⁾

1) 首都大学東京、2) 国立研究開発法人国立がん研究センター

1) Tokyo Metropolitan University

2) National Cancer Center Research Institute

抄録

背 景：高齢者の主観的健康感がその後の生存を予測する妥当性の高い指標であることは明確にされている。しかしながら、在宅高齢者の犬猫飼育とその後の生存との関連を明確にした先行研究は国内外の主要論文では報告されていない。

研究目的：全国の在宅高齢者における犬猫飼育や世話の実態とともに関連要因を明らかにし、その後の生存との関連を明確にすることである。

研究方法：調査対象者は全国16市町村に居住する在宅高齢者とした。分析対象者は、犬猫の飼育状況とともに、主観的健康感、生活満足感、年間収入額について、自記式質問紙調査に回答した23,826名(23,826/30,521=78.1%)であった。分析対象者の生存と死亡の有無を2年後まで追跡し、生存を規定する要因を、構造的に総合的に分析した。

結 果：犬猫を飼育している人は、男性38.0%、女性37.6%であった。犬猫を飼育するだけでなく、犬猫を世話するほど主観的健康感が維持される傾向は、統計学的に有意な関連が示された。犬猫を飼っている群と共に犬猫の世話をしているほど二年後生存と累積生存率が維持されていた。生存日数を規定する要因を総合的にみるためにCox比例ハザードモデルで検討すると、犬猫の世話をすることは、その後の生存日数の延伸に有意に寄与していた。生存日数を規定する要因を構造的に見るパス解析では、年間収入額を背景にした犬猫の世話があり、主観的健康感や外出頻度の維持を経て間接効果として生存日数の延伸につながる関連構造が示された。

考 察：地域の高齢者の生存維持にとって、犬猫の飼育だけではなく、犬猫の世話をすることに注目すべきである。研究課題としては、因果構造を明確にし、他地域で無作為抽出された調査対象により研究成果の外的妥当性を高めることである。

動物診療施設の推移状況について

動物診療施設数の推移



参考資料：農林水産省統計情報 飼育動物診療施設の開設届出状況（診療施設数）
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/animal/>（平成 29 年 11 月 14 日閲覧）

平成 28 年飼育動物診療施設の開設届出状況（診療施設数）は、産業動物向け診療施設 3,956 施設、小動物向け診療施設 11,675 施設で、合計 15,631 施設であり、特に小動物向け診療施設は年々増加傾向にある。

①書類等の題名

資料 5. ペットビジネス市場の動向

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 15 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

- ・グラフの 2018 年度（予測） 数字を赤枠で囲んだ。
- ・表の 2018 年度（予想）のペット関連総市場の数字を赤枠で囲んだ。

①書類等の題名

資料 5-2. ペット保険の市場規模推移と予想

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 177 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 5-3. ペット同伴宿泊施設の整備実態と利用者のニーズ

②出典

東海林 克彦 著

③書類等の利用範囲

「ペット・ツーリズムの適正推進方策に関する考察」

観光学研究 第 14 号 (2015 年 3 月発行) 39～49 ページのうち 44～45 ページを抜粋

https://toyo.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=7315&item_no=1&page_id=13&block_id=17

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

- ・「4. ペット同伴宿泊施設の整備実態と利用者ニーズ」「(1) 施設の整備状況」の上から 7 行目から 9 行目をピンク色で着色した。

①書類等の題名

資料 5-4. ペット葬送ビジネスの市場規模推移と予想

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 195 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 6. ペット保険業界の動向 (1～2 ページ)

②出典

アイペット損害保険株式会社

PEDGE ペット保険業界の動向 2017 年 7 月 27 日

③書類等の利用範囲

<http://pedge.jp/reports/insurance/>

(平成 30 年 11 月 21 日現在、2018 年 2 月 1 日版に更新されている)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

要約

成長するペット保険市場で約60%の市場シェアを持つマーケットリーダー

2016年度ペット保険市場は推定500億円弱、同社保有契約数の過去5年平均成長率は10%

アニコムホールディングス(以下、同社)はペット保険を主力事業(17年3月期売上高構成比は資産運用収益を含み98.6%)とする損害保険会社。推定500億円弱(2016年度)のペット保険市場の中で約60%の市場シェアを保有するマーケットリーダーである。同社の2017年3月末の保有契約数は636千件、過去5年間の平均成長率は10%と成長を続けている。

業績推移(左:市場及び市場シェア、中:経常利益、右:新規契約数)



出所: 会社資料よりSR作成

英国並みの市場に成長すれば国内ペット保険市場は1,500~2,000億円規模の可能性も

日本国内のペット市場は未成熟であり、国内犬猫飼育頭数約2,000万頭(2016年10月、ペットフード協会推計1,972.5万頭)に対しペット保険加入率はまだ6.3%の約125万頭(2013年度、同社推定)に過ぎない。ペット保険加入率の高い英国では犬猫約1,520万頭に対し加入率は22%(2009年度、Datamonitor社)であり、仮に日本国内のペット保険加入率が英国並みに高まるならば、1,500~2,000億円へと市場が拡大する可能性がある。

窓口精算システム(契約者は保険証をみせ、自己負担分を払うだけ)・IT活用で差別化

同社の市場シェアの高さの背景及び強みとして、1) 対応動物病院における窓口精算システム、2) 病院(レセプト作成・カルテ管理システム)・ペットショップ(保険募集Webツール)・契約者(顧客Web)・アニコム損保の情報をシームレスに繋げるITシステムの活用、3) これらを背景とした対応病院・ペットショップ代理店の多さがあげられる。

窓口精算システムに対応しているのは同社(6,104病院、2017年4月末時点)とアイペット損保(3,950病院、2017年5月18日時点)、ペット&ファミリー少額短期保険の3社、動物病院にとっても顧客獲得ツールとなっており、デファクトスタンダード化が進んでいる。また、同社の対応病院数は他社と比較して大きくリードしている。

COVERAGE INITIATED ON: 2014.06.06

LAST UPDATE: 2017.08.16

当レポートは、掲載企業のご依頼により株式会社シェアードリサーチが作成したものです。投資家用の各企業の『取扱説明書』を提供することを目的としています。正確で客観性・中立性を重視した分析を行うべく、弊社ではあらゆる努力を尽くしています。中立的でない見解の場合は、その見解の出所を常に明示します。例えば、経営側により示された見解は常に企業の見解として、弊社による見解は弊社見解として提示されません。弊社の目的は情報を提供することであり、何かについて説得したり影響を与えたりする意図は持ち合わせておりません。ご意見等がございましたら、sr_inquiries@sharedresearch.jp までメールをお寄せください。ブルームバーグ端末経由でも受け付けております。

ペットと暮らす シニア世代の方へ

♥一緒に長く幸せに暮らすためのヒント♥

ペットとの暮らしは、私たちに幸せをもたらしてくれます。

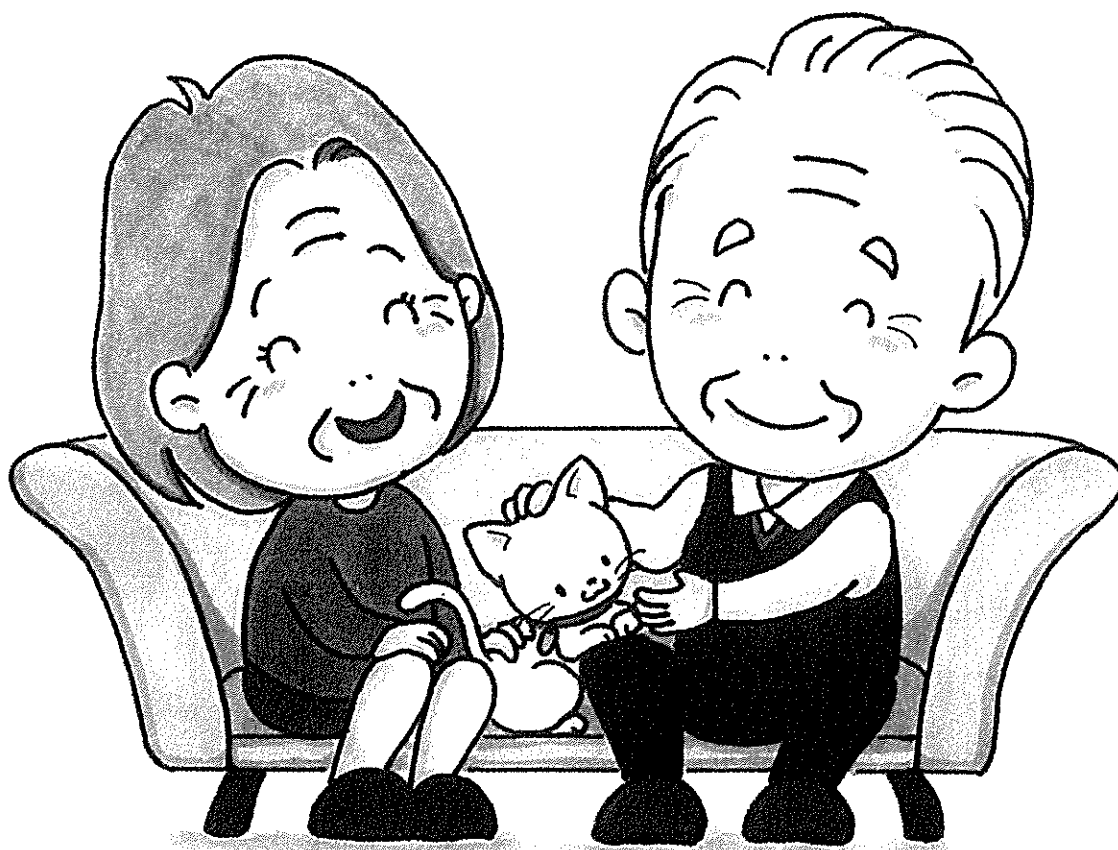
ペットから寄せられる信頼と愛情を感じて幸せな気持ちになれる。

ペットの話題を通して、家庭やご近所での会話が弾む。

散歩仲間など地域とのつながりができる。

ペットのためにも健康でいなきゃ！と気力がわく。

シニア世代になってもペットと楽しく、安心して暮らすために、
必要なことを考えてみませんか？



🐾 困った時の解決方法 🐾

その1 民間事業者のサービスを利用したり、動物病院などで専門的なアドバイスを受けてみましょう

年齢を重ねると、今まで当然できていたことも負担になってくる場合があります。飼い主自身の体力や能力に合わせ、民間事業者を利用することを検討してみましょう。また、ペットの介護を一人で頑張らず、ときには、専門家に相談してみましょう。

◆ 民間事業者のサービスを利用する

ペットシッターは、飼い主の自宅を訪問し、飼い主の代わりに散歩などのペットの世話を行います。

トリミングサロンは、シャンプーや被毛のカットなどを行います。爪切りや毛玉取り、耳掃除なども頼めます。送迎してくれるところもあります。

利用料金は、ペットの種類や大きさによって異なります。

民間事業者のサービスや店舗などは、電話帳、情報誌、インターネットなどで探すことができます。



◆ 動物病院に相談する


かかりつけの動物病院で、介護のポイントや注意点についてアドバイスをもらいましょう。往診や、ペットの介護が大変な時の短期入院の相談に応じしてくれる動物病院もあります。



このパンフレットが、シニア世代のあなたとペットの
 幸せな将来のお役に立てることを願っています。



🐾 相談窓口 🐾

23区(特別区)	区役所又は保健所 東京都動物愛護相談センター 世田谷区八幡山2-9-11 電話 03(3302)3507
多摩地域	東京都動物愛護相談センター多摩支所 日野市石田1-192-33 電話 042(581)7435
八王子市	八王子市保健所 電話 042(645)5113 (直通)
町田市	町田市保健所 電話 042(722)0621
島しょ地域	島しょ保健所 各出張(支)所
東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 電話 03(5320)4412	
東京都 動物愛護	検索 

発行：東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課
 印刷番号(27)30 平成28年2月発行
 印刷：音羽印刷株式会社

①書類等の題名

資料7. ペットと暮らすシニア世代の方へ (4 ページ)

②出典

日本経済新聞

③書類等の利用範囲

2014年(平成25年)12月1日(月曜日)夕刊

らいふプラス 「ペットも老老介護」

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料7. ペットと暮らすシニア世代の方へ (5 ページ)

②出典

読売新聞

③書類等の利用範囲

2017年(平成29年)4月13日(木曜日)14面

「飼い主代わり 自宅でお世話 ペットシッター高度化」

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

- ・第2段落「動物取扱業者」に赤線を引き強調した。
- ・第4段落「民間資格「動物看護師」の所有者」を赤線で囲み強調した。

①書類等の題名

資料7. ペットと暮らすシニア世代の方へ (6 ページ)

②出典

毎日新聞

③書類等の利用範囲

2017年(平成29年)10月26日(木曜日)夕刊

どうすれば安心安全 シニア Plus 「子犬よりしつけ済み成犬を」

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 8. ペット保険加入の条件等

②出典

東洋経済新報社

③書類等の利用範囲

週刊東洋経済 2016年9月10日号 68ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・文中の表を赤枠で囲んだ。

ヤマザキ学園の沿革

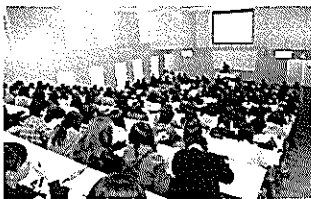
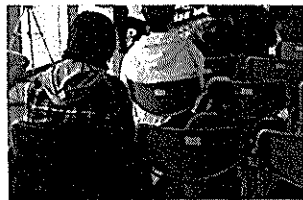
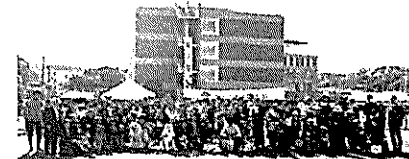
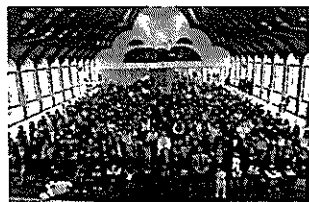
西暦	昭和/平成	
1967	42	シブヤ・スクール・オブ・ドッグ・グルーミング開設
1970	45	シブヤ・カレッジ(2年制)新設
1983	58	ヤマザキカレッジ付属日本動物看護学院 動物看護専攻科(1年制)新設
1985	60	日本動物看護学院(3年制)改編 日本ドッグ・グルーミング学院(2年制)改編
1986	61	日本動物保育学院(2年制)新設
1989	H1	アニマル・ヘルス・テクノロジーコース(3年制)、ペット・スペシャリスト・コース(2年制)改正
1990	2	創始者 山崎 良壽逝去 山崎 薫理事長・学長就任
1991	3	アニマル・ヘルス・テクノロジーコース(3年制)に統一・改編
1994	6	学校法人認可、専修学校日本動物学院認可
1995	7	専修学校日本動物学院開校
2004	16	ヤマザキ動物看護短期大学(3年制)開学 ヤマザキ動物専門学校校名変更
2009	21	ヤマザキ動物専門学校 動物看護学科(2年制)新設
2010	22	ヤマザキ学園大学開学
2012	24	ヤマザキ動物看護短期大学閉学

ヤマザキ動物愛護シンポジウム

	第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回	第七回
日時	平成12年6月25日(日) 13:00～16:00	平成16年7月19日(祝) 13:00～16:00	平成20年10月12日(日) 13:00～16:00 平成20年10月13日(月祝) 13:00～16:00	平成21年10月17日(土) 10:00～11:30	平成22年7月19日(月祝) 14:00～16:00	平成24年7月21日(土) 10:00～12:00	平成29年7月17日(月祝) 13:00～15:00
会場	有楽町朝日ホール	よみうりホール	平成20年10月12日(日) ヤマザキ動物専門学校 平成20年10月13日(月祝) ヤマザキ動物看護短期大学	ヤマザキ動物看護短期大学	九段会館	ヤマザキ学園大学 南大沢キャンパス	有楽町朝日ホール
参加者数	550名	800名	315名(2日間計)	406名	811名	610名	656名
主催	朝日新聞社	学校法人 ヤマザキ学園	学校法人 ヤマザキ学園	学校法人 ヤマザキ学園	学校法人 ヤマザキ学園	学校法人 ヤマザキ学園	学校法人ヤマザキ学園
後援	(財)アイメイト協会/自然と動物を考える市民会議/(社)東京都獣医師会/(社)日・豪・ニュージーランド協会/(社)日米文化振興会/(社)日本獣医師会/(財)日本動物愛護協会/(社)日本動物福祉協会/(社)日本動物保護管理協会/(財)日本盲導犬協会/ヒトと動物の関係学会/ペットフード工業会	読売新聞東京本社/(財)アイメイト協会/心の東京革命推進協議会/サバンナクラブ/自然と動物を考える市民会議/全日本愛犬スポーツ協会/(社)東京都獣医師会/(財)鳥取県動物臨床医学研究所/(社)日・豪・ニュージーランド協会/(社)日米文化振興会/日本獣医臨床病理学会/(社)日本動物愛護協会/日本動物衛生看護師協会/(社)日本動物福祉協会/日本ペット栄養学会/日本ペットロス協会/(財)日本盲導犬協会/(財)のゆり会/比較心身症研究会/ヒトと動物の関係学会/ペット研究会「互」/ペットフード工業会/優良家庭犬普及協会	環境省/心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)/渋谷区/渋谷区教育委員会/八王子市/八王子市教育委員会/(財)日本動物愛護協会/(社)日本動物福祉協会/(社)日本介助犬協会/NPO法人日本動物衛生看護師協会	環境省/心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)/八王子市/八王子市教育委員会/(特非)日本動物看護師協会	環境省/文部科学省/農林水産省/渋谷区/八王子市/大学コンソーシアム八王子/心の東京革命推進協議会/(社)日本獣医師会/(社)東京都獣医師会/(財)日本動物愛護協会/(社)日本動物福祉協会/(社)日本動物病院福祉協会/(社)福祉法人日本介助犬協会/(特非)日本動物衛生看護師協会/(社)日本動物看護職協会/(福)日本介助犬協会/(特非)聴導犬育成の会/(財)アイメイト協会/読売新聞社東京本社/日本ペット栄養学会/サバンナクラブ/(特非)日本ペットドッグトレーナーズ協会/日本動物リハビリテーション研究会/動物との共生を考える連絡会/ヒトと動物の関係学会/ペット研究会「互」/優良家庭犬普及協会/世界犬教育協会/全日本愛犬スポーツ協会/(財)日本盲導犬協会/(社)ペットフード協会/(特非)日本介助犬アカデミー	環境省/農林水産省/心の東京革命推進協議会/渋谷区/八王子市/大学コンソーシアム八王子/(公財)日本動物愛護協会/(社)日本動物福祉協会/(社)日本動物病院福祉協会/(社)福祉法人日本介助犬協会/(特非)日本盲導犬アカデミー/(特非)聴導犬育成の会/(財)アイメイト協会/(財)日本盲導犬協会/(公)日本獣医師会/(公)東京都獣医師会/日本ペット栄養学会/(社)ペットフード協会/(特非)日本ペットドッグトレーナーズ協会/日本動物リハビリテーション研究会/動物との共生を考える連絡会/ヒトと動物の関係学会/ペット研究会「互」/優良家庭犬普及協会/世界犬教育協会/(社)日本動物看護職協会/(特非)日本動物衛生看護師協会/朝日新聞社	環境省/文部科学省/農林水産省/厚生労働省/八王子市/八王子市教育委員会/八王子市学園都市推進会議/大学コンソーシアム八王子/こころの東京革命推進協議会/(独)国立科学博物館/(社)日本獣医師会/(社)東京都獣医師会/(財)日本動物愛護協会/(社)日本動物福祉協会/(社)神奈川獣医師会/(社)日本動物病院協会/(一社)日本小動物獣医師会/WWFジャパン/(特非)日本動物衛生看護師協会/(社)日本動物看護職協会/(福)日本介助犬協会/(公)日本盲導犬協会/(社)聴導犬協会/(財)アイメイト協会/(財)動物看護師統一認定機構/(一社)日本動物看護職協会/日本動物看護学会/(一社)優良家庭犬普及協会/(一社)ペットフード協会/(一社)人とペットの幸せ創造協会/(財)日本ヘルスクア協会/ペット法学会/(一社)日本ペット栄養学会/(一社)日本ウォーキング協会/(一社)日本ヒューマン・ドッグウォーキング協会/(特非)日本ペットドッグ・トレーナーズ協会/(特非)自然と動物を考える市民会議/ペット研究会(互)/サバンナ友の会/世界犬教育協会/(特非)日本補助犬情報センター/(特非)聴導犬育成の会/(特非)日本動物衛生看護師協会
基調講演	兵藤哲夫先生 (財団法人日本動物福祉協会理事、獣医師)	中川志郎先生 (財団法人日本動物愛護協会理事)	中川志郎先生 (財団法人日本動物愛護協会理事)	中川志郎先生 (財団法人日本動物愛護協会理事)	中川志郎先生 (財団法人日本動物愛護協会理事)	基調講演 西山理行氏 (環境省 動物愛護管理室長)	基調講演 林良博氏 (国立科学博物館館長)
	「動物愛護元年をむかえて」	「動物愛護と青少年の教育を考える」	「長生きになった動物」	「ヒトと動物の絆～動物たちが教えてくれること～」	「動物愛護と青少年の教育を考える」	「動物愛護及び管理に関する法律改正及びペットフード安全法について」	「少子高齢化時代におけるヒトと動物の共生」

ヤマザキ学園大学 公開講座

日時	平成23年11月6日(日)		平成24年11月4日(日)		平成25年11月3日(日)		平成26年11月2日(日)		平成27年11月1日(日)		平成28年11月6日(日)	
	第一回		第二回		第三回		第四回		第五回		第六回	
	公開講座	DW	公開講座	DW	公開講座	DW	公開講座	DW	公開講座	DW	公開講座	DW
参加者数	465名	50頭	208名/16頭	54名/47頭	223名/5頭	23名/19頭	246名/9頭	60名/49頭	290名イヌ11頭	31名イヌ16頭	284名イヌ28頭	87名/56頭
主催協賛	学校法人ヤマザキ学園 ヤマザキ学園大学	日本ヒューマン・ドッグ・ウォーキング協会	ヤマザキ学園大学	日本ヒューマン・ドッグ・ウォーキング協会	ヤマザキ学園大学	日本ヒューマン・ドッグ・ウォーキング協会	ヤマザキ学園大学	ヤマザキ学園大学 ロイヤル・ドッグ・ウォーキング協会	ヤマザキ学園大学	ヤマザキ学園大学 ロイヤル・ドッグ・ウォーキング協会	ヤマザキ学園大学	ヤマザキ学園大学 ロイヤル・ドッグ・ウォーキング協会
後援	八王子市 大学コンソーシアム八王子 (特非)日本動物衛生看護師協会 日本ヒューマンドッグウォーキング協会		八王子市 八王子市教育委員会 大学コンソーシアム八王子 (特非)日本動物衛生看護師協会		八王子市 八王子市教育委員会 大学コンソーシアム八王子 (特非)日本動物衛生看護師協会		八王子市 八王子市教育委員会 大学コンソーシアム八王子 八王子市学園都市推進会議 (特非)日本動物衛生看護師協会		八王子市 八王子市教育委員会 大学コンソーシアム八王子 八王子市学園都市推進会議 (特非)日本動物衛生看護師協会		原坂省、八王子市、八王子市教育委員会、八王子市学園都市推進会議、大学コンソーシアム八王子、公益財団法人日本動物愛護協会、公益社団法人日本動物福祉協会、社会福祉法人日本助犬協会、公益社団法人東京都獣医師会、一般社団法人優良家庭犬普及協会、一般社団法人日本動物看護職協会、NPO法人日本動物衛生看護師協会、一般社団法人ペットフード協会、一般社団法人アニコム損害保険株式会社、一般社団法人日本ウォーキング協会、NPO法人日本動物衛生看護師協会	一般社団法人日本ウォーキング協会
基調講演	岡浩一郎氏 早稲田大学スポーツ科学学術院准教授		菊池和美氏 帝京平成大学健康メディカル学部作業療法学科講師		福山貴昭氏 ヤマザキ学園大学動物看護学科助教		岡浩一郎氏 早稲田大学スポーツ科学学術院准教授		岡浩一郎氏 早稲田大学スポーツ科学学術院准教授		星巨二先生 首都大学東京名誉教授/アニコムホールディングス(株)顧問	
パネルディスカッションゲスト	井上成美氏 ジェロントロジーズスポーツ研究所所長		井上成美氏 ジェロントロジーズスポーツ研究所所長		星政和氏 社団法人日本ウォーキング協会健康ウォーキング指導士		菊池和美氏 帝京平成大学健康メディカル学部作業療法学科講師		菊池和美氏 帝京平成大学健康メディカル学部作業療法学科講師			



第7回 公開講座

参加費無料
要予約

～ヒトがイヌと歩くということ～

日時 2017年11月5日(日) 10:00～12:15 (9:30受付開始)

場所 ヤマザキ学園大学 南大沢キャンパス 2号館セントヨハネホール

基調講演「ヒトがイヌと歩くということ～ウォーキングでQOL(生活の質)を向上させる～」

(時間 10:05～11:15) ヒトもペットも高齢化が進む現代社会において、最期まで「歩く」ということは、それぞれのQOLの向上にどのように繋がるのか、基調講演とパネルディスカッションを通して考察します。



厚東 篤生 先生
医療法人社団慶成会 よみうりランド慶友病院 院長
慶應義塾大学医学部卒業 医学博士
元慶應義塾大学医学部、看護医療学部 教授
元慶應義塾看護短期大学 学長



枝村 一弥 先生
日本大学生物資源科学部獣医学科
獣医外科学研究室 准教授
日本大学農獣医学部獣医学科卒業
獣医師、博士(獣医学)、小動物外科専門医

パネルディスカッション (時間 11:25～12:10)

座長 山崎 薫 先生 学校法人ヤマザキ学園 理事長・学長
厚東 篤生 先生 よみうりランド慶友病院 院長
枝村 一弥 先生 日本大学生物資源科学部 准教授

菊池 和美 先生 帝京平成大学 健康メディカル学部 准教授
福山 貴昭 先生 ヤマザキ学園大学動物看護学部 講師

主催 ヤマザキ学園大学

後援 八王子市、八王子市教育委員会、八王子市学園都市推進会議、大学コンソーシアム八王子、
(公財)日本動物愛護協会、(公社)日本動物福祉協会、(福)日本介助犬協会、(公社)東京都獣医師会、
(一社)優良家庭犬普及協会、(特非)日本動物衛生看護師協会、(一社)日本ウォーキング協会

申込期間 10月2日(月)～10月27日(金)

申込方法 裏面参加申込書に必要事項をご記入の上 FAX してください。大学HPからもお申込みできます。

募集対象 小中学生、高校生、大学生、一般(定員300名)

愛犬と一緒に聴講することも可能です。ぜひご参加ください!

🐾 ドッグ・ウォーキングフェスティバル

2017年11月5日(日) 13:00～14:30 (12:00 受付開始)

協力 一般社団法人 日本ヒューマン・ドッグウォーキング協会

申込期間 10月2日(月)～10月27日(金)

申込方法 裏面参加申込書に必要事項をご記入の上 FAX してください。
大学HPからもお申し込みできます。

募集対象 小中学生、高校生、大学生、一般 イヌと一緒にご参加ください



お散歩グッズの
おみやげつき♪

協賛：株式会社たかくら新度英



問い合わせ先

ヤマザキ学園大学

東京都八王子市南大沢 4-7-2 TEL 042-689-5254 FAX 042-689-5209
http://univ.yamazaki.ac.jp/ 申込書、参加条件はHP からダウンロードできます。

大学祭「絆祭」

11月4日(土)・5日(日)
10:00～16:00(5日は15:00終了)

動物看護師統一認定試験 認定校一覧（専門学校）

	法人名	学校名	学科・コース名	都道府県
1	学校法人工藤学園	愛犬美容看護専門学校	動物看護科	北海道
2	学校法人IPC学園	愛知ペット専門学校	動物看護科	愛知県
3	学校法人佐山学園	アジア動物専門学校	動物総合学科 ベテリナ リーテクニシャンコース	茨城県
4	学校法人穴吹学園	穴吹動物専門学校	動物看護総合学科	広島県
			動物健康管理学科 動物 看護師専攻	
5	学校法人穴吹学園	専門学校穴吹動物看護カレ ジ	動物看護総合学科	香川県
			動物衛生看護学科	
6	学校法人日本環境科学学 院	専門学校アニマルインターカ レッジ	動物看護専修学科 動物 看護コース	宮城県
			動物看護研究学科 動物 看護コース	
7	学校法人高橋学園	エス・ワン動物専門学校	動物看護学科	北海道
8	学校法人コミュニケー ションアート	大阪ECO動物海洋専門学校	動物看護師専攻	大阪府
			動物看護福祉専攻	
			動物理学療法専攻	
			ドッグマスター専攻 (2015年度試験のみ)	
9	学校法人則天学園	大阪動植物海洋専門学校	動物飼育看護学科 動物 看護コース	大阪府
10	学校法人立志舎グループ	大阪動物専門学校	動物看護コース	大阪府
11	学校法人立志舎グループ	大阪動物専門学校 天王寺校	動物看護コース	大阪府
12	学校法人宮崎学園	大阪ペイイ動物看護専門学校	動物看護学科	大阪府
			動物看護福祉学科	
13	学校法人MGL学園	太田動物専門学校	ペットビジネス学科 動 物看護コース	群馬県
14	学校法人大原学園	大原キャリアビジネス&ペッ ト専門学校	動物看護コース	福井県
15	学校法人シモゾノ学園	大宮国際動物専門学校	動物看護・栄養学科	埼玉県
16	学校法人加計学園	岡山理科大学専門学校	動物看護学科 (2年制)	岡山県
			動物看護学科 (3年制)	
17	学校法人KBC学園	沖縄ペットワールド専門学校	動物看護師コース (2年 制)	沖縄県
			動物看護師コース (3年 制)	
18	学校法人原田学園	鹿児島キャリアデザイン専門 学校	動物看護科	鹿児島県
19	学校法人河原学園	河原アイペットワールド専門 学校	動物看護師学科	愛媛県
20	学校法人安達学園	専門学校九州スクールオブビ ジネス	ペット学科動物看護専攻	福岡県
			ペット学科動物看護&ト リマー専攻	
			ペット学科トレーナー& 動物看護専攻	
21	学校法人南京都学園	京都動物専門学校	動物看護師コース	京都府
22	学校法人HAC学園	群馬動物専門学校	動物総合学科・動物看護 師コース	群馬県
23	学校法人経専学園	経専北海道どうぶつ専門 学校	ペットプロデュース学科 動物看護師科	北海道
24	学校法人神戸学園	神戸動植物環境専門 学校	1年次スモールアニマル コース、2年次動物看護師 ゼミ選択の者のみ	兵庫県
25	学校法人野上学園	神戸ブレイメン動物専門 学校	総合コース	兵庫県
			動物看護コース	
26	学校法人シモゾノ学園	国際動物専門学校	動物看護・理学療法学科	東京都
			動物看護・栄養学科	
27	学校法人国際総合学園	国際ペットワールド専門 学校	動物看護師学科	新潟県
			動物看護師・ペット栄養 学科	

28	学校法人国際ビジネス学院	国際ペット専門学校 金沢	ペット総合学科 動物看護・福祉コース	石川県
			イオンペット社員養成学科 動物看護コース	
29	学校法人国際ビジネス学院	国際ペット専門学校 福井	ペット総合学科 動物看護福祉コース	福井県
30	学校法人TBC学院	国際ペット総合専門学校	動物看護師学科	栃木県
			ペットスペシャリスト学科	
31	学校法人高村育英会	国際ペットビジネス専門学校 熱海校	ペットビジネス学科	静岡県
32	学校法人湘中央学園	湘中央生命科学技術専門学校	応用生物科学科 動物看護コース	神奈川県
33	学校法人滋慶学園	仙台コミュニケーションアート専門学校	エコ・コミュニケーション科内 動物看護師専攻	宮城県
34	学校法人菅原学園	仙台総合ペット専門学校	動物衛生看護科	宮城県
35	学校法人秋田学園	専門学校セントラルトリミングアカデミー	動物美容・管理学科 動物看護師コース	愛知県
36	学校法人MGL学園	高崎動物専門学校	ペットビジネス学科 動物看護コース	群馬県
37	学校法人中村学園	専門学校ちば愛犬動物フラワー学園	動物看護科	千葉県
38	学校法人中央総合学園	中央動物看護専門学校	国際動物看護学科	群馬県
39	学校法人中央工学校	中央動物専門学校	動物看護科	東京都
			動物看護研究科	
			動物共生研究科	
			動物共生総合科	
40	学校法人つくば文化学園	つくば国際ペット専門学校	動物看護福祉コース	茨城県
41	学校法人滋慶学園	東京コミュニケーションアート専門学校	エコ・コミュニケーション科 動物理学療法専攻	東京都
			エコ・コミュニケーション科 ドッグスペシャリスト専攻	
			エコ・コミュニケーション科 動物看護師専攻	
42	学校法人仙都学園	専門学校東北動物看護学院	動物看護総合学科	宮城県
43	学校法人滋慶コミュニケーションアート	名古屋コミュニケーションアート専門学校	動物看護師専攻	愛知県
44	学校法人東京安達学園	専門学校名古屋スクールオブビジネス	ペットビジネス学科 動物看護師コース	愛知県
45	学校法人立志舎	名古屋動物専門学校	動物看護コース	愛知県
46	学校法人盈科学園	日本危機管理専門学校	動物医療学科	茨城県
47	学校法人立志舎	日本動物専門学校	動物管理学科 動物看護コース	東京都
48	学校法人立志舎	専門学校日本動物21	動物看護コース	東京都
49	学校法人安達文化学園	専門学校ビジョナリーアーツ (東京校)	ペット学科 動物看護専攻	東京都
			ペット学科 動物理学療法専攻	
50	学校法人英数学園	広島アニマルケア専門学校	動物看護学科・動物看護コース (2年制)	広島県
			動物看護学科・動物看護コース (3年制)	
51	学校法人滋慶文化学園	福岡ECO動物海洋専門学校	エコ・コミュニケーション科 ドッグマスター専攻	福岡県
			エコ・コミュニケーション科 動物看護福祉専攻	
			エコ・コミュニケーション科 動物理学療法専攻	
			エコ・コミュニケーション科 動物看護師専攻	
52	学校法人野上学園	ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校	ペットビジネス学科 総合コース	徳島県
			ペットビジネス学科 動物看護コース	
53	学校法人産業技術学園	北海道エコ・動物自然専門学校	動物看護師学科	北海道

54	学校法人坪内学園	専門学校松江総合ビジネスカレッジ	動物看護師コース（動物看護コース）	島根県
55	学校法人宮崎総合学院	宮崎ペットワールド専門学校	動物看護師学科 動物看護師コース	宮崎県
56	学校法人未来学舎	専門学校未来ビジネスカレッジ	動物看護師学科	長野県
57	学校法人龍澤学館	盛岡ペットワールド専門学校	動物看護師科	岩手県
			ペットマスター科	
58	学校法人ヤマザキ学園	ヤマザキ動物専門学校	動物看護・美容学科	東京都
			動物看護学科	
59	学校法人吉田学園	吉田学園動物看護専門学校	動物看護学科	北海道
60	学校法人爽青会	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	動物看護師科	静岡県
61	学校法人京都中央学院	YIC京都ペット総合専門学校	動物看護科	京都府
62	学校法人YIC学院	YICビジネスアート専門学校	ペット総合学科 動物看護コース	山口県
63	学校法人福岡安達学園	専門学校 福岡ビジョナリーアーツ	動物看護専攻	福岡県
			動物理学療法専攻	
64	学校法人日米学院	高知ペットビジネス専門学校	環境ペット学科 動物看護コース	高知県
65	学校法人孔明学園	東北愛犬専門学院	動物看護学科	宮城県
66	学校法人北海道安達学園	北海道どうぶつ・医療専門学校	ペット学科動物看護専攻	北海道
67	学校法人大阪安達学園	大阪ビジネスカレッジ専門学校	ペットビジネス学科 動物看護師専攻	大阪府
68	学校法人タイケン学園	日本ペット&アニマル専門学校	ペットビューティー・ケア科 動物看護・リハビリテーション専攻	東京都



JAHI 一般財団法人 日本ヘルスケア協会
Japan Association of Health care Initiative

■ 一般財団法人日本ヘルスケア協会

一般財団法人日本ヘルスケア協会は、超高齢社会における健康寿命延伸とヘルスケア産業育成の実現を目指す、ヘルスケアに関する有識者、産業関係者が集まった民間唯一の団体であり、国民の健康寿命延伸とそれを支える産業の育成を図ることを目的としています。

日本ヘルスケア協会は産業の育成を図る「産業協議会」とヘルスケアに関する研究を行う「ヘルスケア学会」から成り、ヘルスケア推進に有益な制度、商品、サービス等の啓発・推進活動を総合的に行う組織です。

■ 日本ヘルスケア学会

日本ヘルスケア学会は、日本ヘルスケア協会は、一般財団法人日本ヘルスケア協会の付属組織として設置されています。先進諸国ではヘルスケアが学問として定着し、ヘルスケアという新しい学問分野は、基礎科学と異なり実践や現場を伴った研究が必要となります。力のある、多くの実績を上げるために日本ヘルスケア協会の付属組織として設置しました。超高齢社会のわが国において、科学分野と産業分野からのヘルスケア推進に関する研究を通じて、次のヘルスケア推進の環境整備を実現します。

■ ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会

当部会は、(一財)日本ヘルスケア協会 産業協議会の部会として、ペットとの共生が人のヘルスケアや健康寿命の延伸に寄与する事を生活者に啓発し、ヘルスケア産業を活性化させる活動を行っています。また日本ヘルスケア学会の科学部会において、ペットとの共生がおとしよりや子供のヘルスケアに与える効用について研究を行い、産業・学術の両面から「ペットと人のヘルスケア」の関係について普及推進活動を行っています。

活動に興味のある方は、事務局までお問合せ下さい。

部会長：越村 義雄
副会長：片岡 香樹
児玉 博元

入会のお申し込みは
こちらから



■ お問い合わせ先

一般財団法人 日本ヘルスケア協会
Japan Association of Health care Initiative

〔本部〕〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目15-10名和ビル3階
TEL03-5510-7274 FAX03-3504-8103
http://www.jahi.jp E-Mail:info@jahi.jp

〔横浜事務所〕〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10
楓第2ビル4階(NRKグループ内)
TEL045-474-2521 FAX045-474-2520

免責事項：本パンフレットはセルフメディケーションを行うための情報として制作されたものであり、その内容における責任は負いかねます。

子どもからおとしよりまで ひとの心とからだに良い ペットとの暮らし



JAHI 一般財団法人 日本ヘルスケア協会
Japan Association of Health care Initiative

監修：東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科
動物介在療法学 研究室 教授 太田光明

ペットとの暮らしは 心とからだの健康に貢献し
子どもから おとしよりまで
豊かで健康な日々を もたらしてくれます



幼少児には「豊かな感性を育み」、おとしよ
りには「生活習慣病の予防」ひいては「健康
な効用があることがわかってきています。
『ワン・ヘルス』という考え方が重要になっ
てきています。

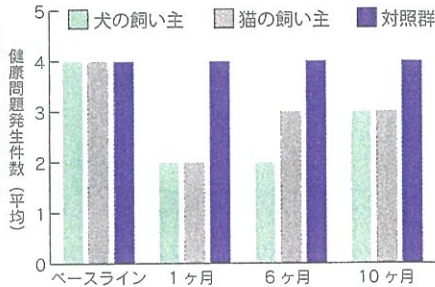
ペットとの暮らしによって、「責任感が増す」、「精神
規則正しくなる」、さらに「健康寿命が延伸する」など
と暮らすうえで大切なことは、どんな種類のペットも
見ることが大切で、それが飼い主の健康や生きがい

が安定する」、「家族の会話が豊かになる」、「生活が
さまざまな面で良い影響が享受されます。そしてペット
生き物として、ともに健康に留意し、最後まで面倒を
にもつながっていきます。

ペットとの暮らしがおとしよりに与える効用

日常的な健康問題を減らします ※1

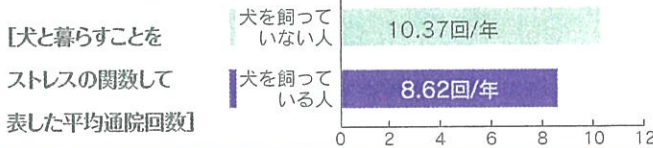
ペットと初めて暮らした人は、今までの健康上の不満や不安(よく眠れない、やる気がでない、だるいなど)を一カ月後には半減できました。このペットの効用はイギリス王立医学会も認めています。



【健康問題が発生する件数】

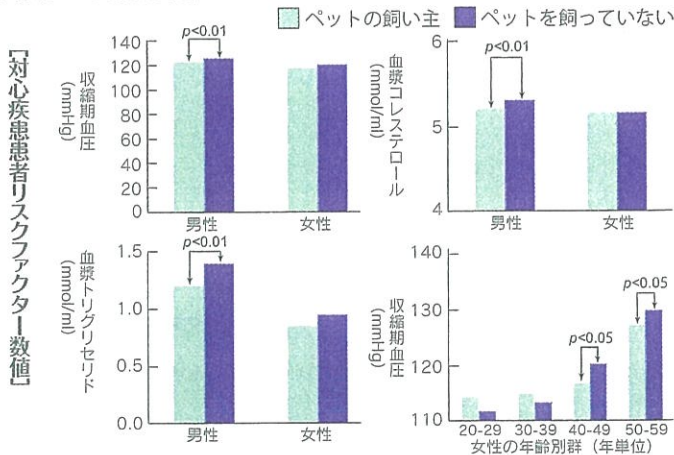
病院に行く回数を減らします ※2

日ごろストレスの多いおとしより(65歳以上)の通院回数が、犬と暮らしている人は、そうでない人に比べて、一年間に1.85(10.37-8.62)回少なくなりました。これは約18%の医療費の節約になっています。

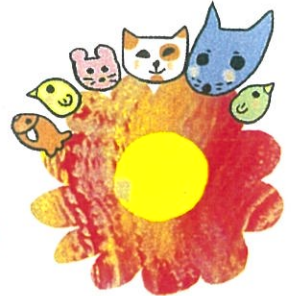


血圧・コレステロールを下げます ※3

心臓血管の疾患リスクファクターとして広く知られている各項目のレベルが、ペットと暮らしている人は、そうでない人に比べて、低いことが分かってきました。



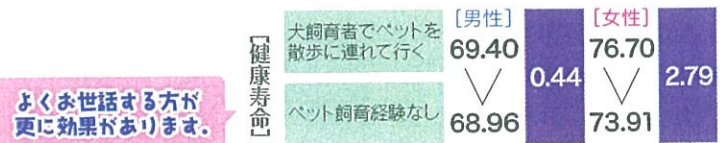
ペットとの暮らしがひとの



心やからだの健康にとっても良いことが少しずつ分かってきました。

健康寿命を延ばします ※4

ペットとの暮らしによる健康寿命の延伸について調査したデータによると、男性は0.44歳、女性は2.79歳も健康寿命が延ばっています。

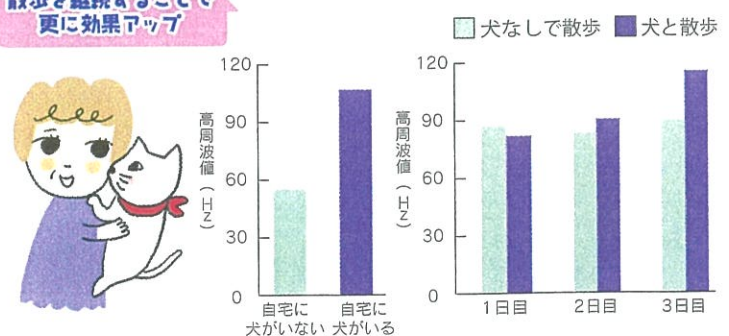


リラックス効果があります ※3

犬との散歩は、犬がいない散歩よりも副交感神経(心身をリラックスさせる神経)をより活性化させます。また、犬と暮らしているおとしより(65歳以上)の心身もリラックスさせます。

散歩を継続することで更に効果アップ

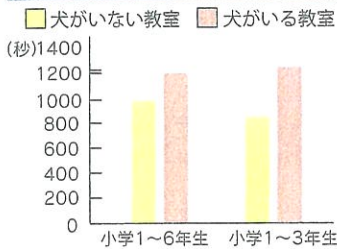
【犬との散歩における副交感神経活性数値】



※1 ヒーティラ (Headley, B., et., 1985) ※2 Serpell J.A. 人の健康状態に与えるペットの飼育効果 ※3 アンダーソンら (Anderson, W.P., et., 2005)

ペットとの暮らしが子どもに与える効用

勉強のやる気と集中力向上をもたらします ※6

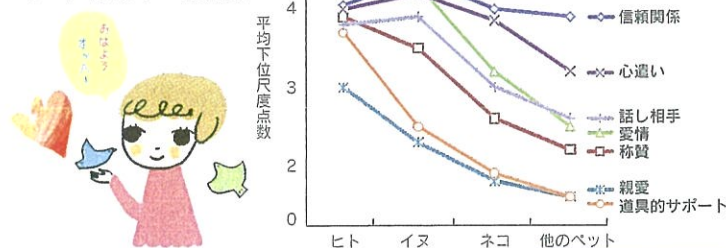


ペットのもたらすリラックス効果とあいまって、向学心や集中力の向上が認められます。左表は、「犬がいる教室」の方が、平均で約5分も長く集中力が維持できたというデータです。

すべての世代に 人から得られるソーシャルサポートと同程度の効果を得ることができます ※7

ペットは、信頼関係、愛情を込めた心遣い、話し相手になることに関して人と同じくらい良好な関係を築きます。

[ペットとの暮らしで得られるソーシャルサポート比較]



観賞魚・小鳥・小動物・昆虫等様々なペットの効用

「小鳥」「ハムスター」「モルモット」「カメ」「ウサギ」「昆虫」などの暮らしにも様々な効用があるとされています

熱帯魚(アクアリウム)による効果

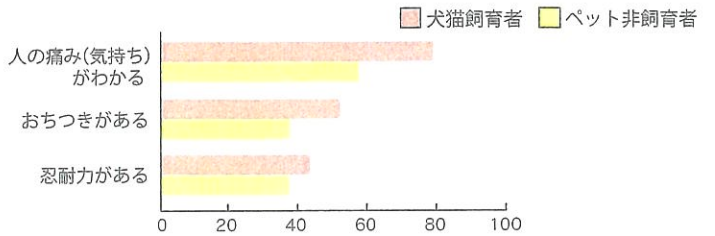
- 観賞魚水槽を眺める時間が長いほど、ストレスを与えられても心拍振動にリラックスしている波長が確認されました。
- ストレスを受けたあと、観賞魚水槽を眺めることでアミラーゼ(ストレス指標酵素)活性が低下しました。
- 観賞魚水槽を眺める時間が長ければ長いほど、人の体の中では、生理的なリラックス(癒し)効果が現れていることが明らかになりました。
- おとしよりに向けた効用の検証では、観賞魚と接することで、高齢者の好奇心が高まり、生きがいにもつながることがわかりました。

※【生活の中のアクアリウムの効果研究チーム】研究成果

al.,1992) ※4 ペットフード協会調べ。 ※5 出典・参考文献: ペットフード協会調べ ※6 伊藤(2008) ※7 "Bonas, 2000" 論文

「相手の気持ちを察する能力」= 「思いやりの心」を育てます ※5

話しをすることのできないペットとのふれあいを通して子どもたちが、「相手の気持ちを察する」こと、つまり「思いやりの心」を育てます。



ペットとの暮らしをいつまでも…

ペットの寿命って?

人間の年齢に換算した年齢目安(歳)

生後年	人間	大型犬	小型犬猫	馬	ウサギ	ハムスター	セキセイインコ
1ヶ月	1ヶ月	1	1		1	5	3
1	1	12	15	6	18	35	32
2	2	19	24	12	28	74	36
3	3	26	28	17	36		40
4	4	33	32	20	44		44
5	5	40	36	23	52		48
6	6	47	40	26	58		52
7	7	54	44	29	66		54
8	8	61	48	32	74		58
9	9	68	52	35	82		62
10	10	75	56	38	90		66
11	11	82	60	41			70
12	12	89	64	44			74
13	13	96	68	47			78
14	14		72	50			82
15	15		76	53			86
16	16		80	56			90
17	17		84	59			94
18	18		88	62			
19	19		92	65			
20	20		96	68			
平均寿命	80	10	15	25	6~7	2~3	7~8

★赤帯年齢は、ペットの体調が変わってくる時期です。また、ペットとの暮らしを継続するため、飼主の体調やサポート体制を考慮の上、新たなペットを迎え入れる準備をはじめませんか？

【2016年度卒業生就職実績】

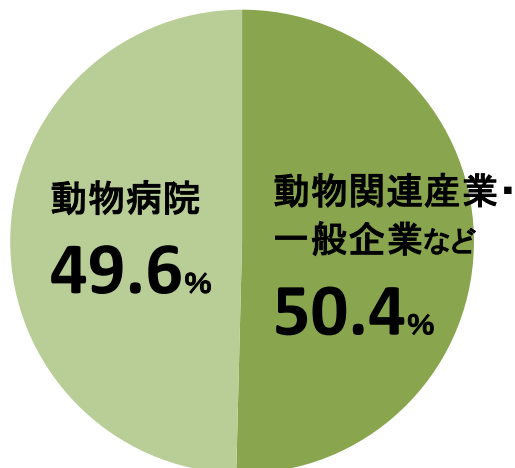
ヤマザキ学園大学

動物看護学部 動物看護学科

就職率

97.4%

(卒業生数に対する就職率86%)

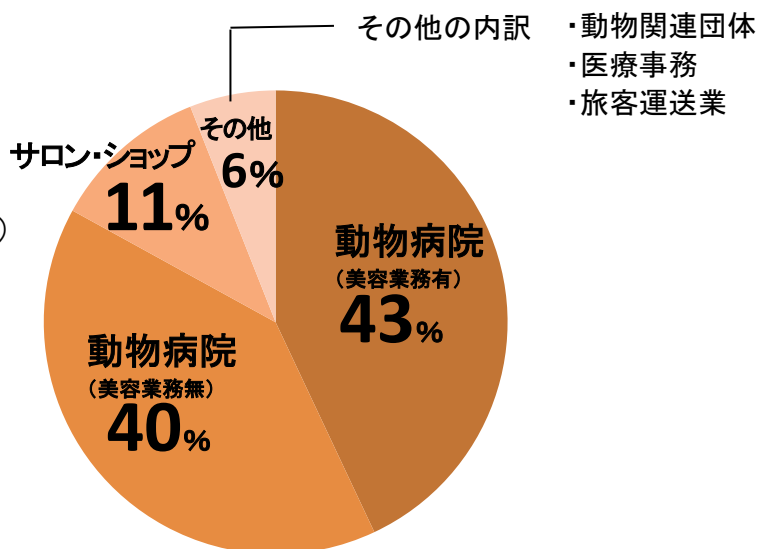


ヤマザキ動物専門学校

就職率

95%

(卒業生数に対する就職率86%)



都道府県別飼育動物診療施設の開設届出状況

都道府県	合計	合計		国	国		都道府県	都道府県		市町村	市町村		農業協同組合	農業共済組合	小計	会社・その他		法人		任意団体		個人診療施設			獣医師	獣医師以外
		産業動物	その他		産業動物	その他		産業動物	その他		産業動物	その他				産業動物	その他	産業動物	その他	産業動物	その他	小計	産業動物	その他		
北海道	1,022	525	497	1	0	1	27	15	12	8	0	8	18	89	290	124	166	123	166	1	0	589	279	310	640	382
青森	172	109	63	0	0	0	8	6	2	1	1	0	2	2	63	38	25	32	25	6	0	96	60	36	101	71
岩手	257	166	91	0	0	0	17	7	10	2	2	0	6	13	68	43	25	39	25	4	0	151	95	56	153	104
宮城	304	116	188	0	0	0	12	6	6	2	0	2	1	4	82	22	60	22	60	0	0	203	83	120	211	93
秋田	138	75	63	0	0	0	5	4	1	2	0	2	1	3	27	12	15	12	15	0	0	100	55	45	100	38
山形	124	63	61	0	0	0	10	6	4	0	0	0	0	6	39	19	20	15	19	4	1	69	32	37	73	51
福島	288	153	135	0	0	0	14	8	6	2	0	2	6	7	79	30	49	24	48	6	1	180	102	78	179	109
茨城	390	124	266	0	0	0	5	4	1	1	0	1	8	3	128	30	98	30	97	0	1	245	79	166	245	145
栃木	315	137	178	0	0	0	7	5	2	1	0	1	6	2	102	47	55	47	55	0	0	197	77	120	198	117
群馬	290	104	186	0	0	0	11	10	1	2	0	2	6	3	80	19	61	19	60	0	1	188	66	122	190	100
埼玉	759	64	695	0	0	0	9	6	3	4	0	4	0	3	333	9	324	8	324	1	0	410	46	364	410	349
千葉	779	132	647	0	0	0	12	8	4	5	0	5	2	8	349	36	313	36	313	0	0	403	78	325	402	377
東京都	1,708	53	1,655	0	0	0	8	4	4	4	1	3	0	0	745	20	725	20	725	0	0	951	28	923	937	771
神奈川県	1,117	63	1,054	0	0	0	7	5	2	6	0	6	3	1	473	19	454	19	454	0	0	627	35	592	622	495
新潟	202	57	145	0	0	0	12	7	5	5	3	2	2	5	56	12	44	12	44	0	0	122	28	94	126	76
富山	87	30	57	0	0	0	4	3	1	1	1	0	0	1	23	6	17	6	17	0	0	58	19	39	61	26
石川	117	25	92	0	0	0	6	6	0	2	1	1	0	1	43	9	34	9	34	0	0	65	8	57	65	52
福井	53	11	42	0	0	0	6	5	1	2	1	1	0	1	22	1	21	1	21	0	0	22	3	19	22	31
山梨	104	17	87	0	0	0	3	2	1	1	0	1	0	3	25	6	19	6	19	0	0	72	6	66	70	34
長野	285	92	193	0	0	0	18	7	11	10	5	5	12	7	52	16	36	14	34	2	2	186	45	141	194	91
岐阜	248	73	175	0	0	0	20	10	10	13	13	0	3	2	68	16	52	16	51	0	1	142	29	113	149	99
静岡県	418	57	361	0	0	0	9	5	4	4	0	4	3	4	162	8	154	8	154	0	0	236	37	199	233	185
愛知県	772	109	663	0	0	0	16	12	4	11	5	6	5	3	277	30	247	30	247	0	0	460	54	406	465	307
三重	223	53	170	0	0	0	15	6	9	1	0	1	2	6	50	10	40	10	40	0	0	149	29	120	150	73
滋賀	141	36	105	0	0	0	5	4	1	1	0	1	1	2	47	13	34	13	34	0	0	85	16	69	90	51
京都	265	27	238	0	0	0	8	6	2	5	2	3	0	2	85	5	80	5	80	0	0	165	12	153	163	102
大阪府	819	24	795	0	0	0	9	1	8	7	1	6	1	0	334	11	323	11	323	0	0	468	10	458	458	361
兵庫県	628	108	520	0	0	0	16	10	6	8	0	8	6	7	199	18	181	18	181	0	0	392	67	325	390	238
奈良	136	12	124	0	0	0	3	2	1	1	0	1	0	1	39	1	38	1	38	0	0	92	8	84	91	45
和歌山	97	9	88	0	0	0	5	3	2	2	0	2	0	0	19	2	17	2	17	0	0	71	4	67	77	20
鳥取	104	61	43	0	0	0	8	5	3	0	0	0	2	4	26	20	6	20	6	0	0	64	30	34	67	37
島根	128	66	62	0	0	0	16	9	7	4	1	3	6	9	31	9	22	9	22	0	0	62	32	30	56	72
岡山	245	85	160	0	0	0	6	5	1	2	0	2	7	8	88	30	58	29	58	1	0	134	35	99	132	113
広島	310	73	237	0	0	0	5	4	1	5	2	3	1	8	102	14	88	14	88	0	0	189	44	145	187	123
山口	179	53	126	0	0	0	8	7	1	3	0	3	2	7	48	6	42	6	42	0	0	111	31	80	107	72
徳島	108	43	65	0	0	0	5	4	1	1	0	1	4	1	18	7	11	7	11	0	0	79	27	52	78	30
香川	101	30	71	0	0	0	4	4	0	0	0	0	1	5	39	9	30	9	30	0	0	52	11	41	55	46
愛媛	148	51	97	0	0	0	10	9	1	0	0	0	1	5	34	4	30	4	30	0	0	98	32	66	98	50
高知	95	30	65	0	0	0	8	8	0	1	0	1	0	4	22	4	18	4	18	0	0	60	14	46	60	35
福岡	452	42	410	1	0	1	5	5	0	10	1	9	5	3	143	10	133	10	133	0	0	285	18	267	281	171
佐賀	95	45	50	0	0	0	6	4	2	0	0	0	3	6	24	8	16	8	16	0	0	56	24	32	60	35
長崎	147	56	91	1	0	1	8	8	0	5	4	1	2	10	35	6	29	6	29	0	0	86	26	60	85	62
熊本	263	128	135	0	0	0	9	8	1	2	0	2	8	3	74	39	35	34	35	5	0	167	70	97	176	87
大分	187	92	95	0	0	0	14	5	9	4	3	1	2	3	32	11	21	10	21	1	0	132	68	64	133	54
宮崎	224	146	78	0	0	0	3	3	0	4	2	2	1	17	57	32	25	32	25	0	0	142	91	51	150	74
鹿児島	388	249	139	0	0	0	20	16	4	11	8	3	4	44	102	57	45	57	44	0	1	207	120	87	225	163
沖縄	199	82	117	2	0	2	10	8	2	2	1	1	0	9	41	6	35	6	35	0	0	135	58	77	147	52
合計	15,631	3,956	11,675	5	0	5	452	295	157	168	58	110	143	335	5,275	904	4,371	873	4,363	31	8	9,253	2,221	7,032	9,362	6,269

注:平成28年12月31日現在

①書類等の題名

資料 16. ペット用品の需要について

②出典

朝日新聞

③書類等の利用範囲

2017年（平成29年）2月2日（木曜日）朝刊 11面

「ペット用品 健康志向」

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 16. ペット用品の需要について (2 ページ)

②出典

日本経済新聞

③書類等の利用範囲

2016 年 (平成 28 年) 10 月 30 日 (日曜日) 朝刊 7 面

「高齢犬の介護用品」

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

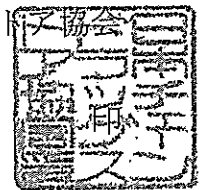
臨地実務実習施設使用承諾書

平成29年11月15日

学校法人ヤマザキ学園
理事長 山崎 薫 殿

貴社名 日本チェーンドラッグストア協会

代表者名 会長 青木 桂生



(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科の臨地実務実習施設として、平成31年度よりドラッグストア会員企業 傘下店舗 (下記、参照)を使用することを承諾します。

【主な会員企業】() は、傘下の店舗数 ※順不同

(株)マツモトキヨシホールディングス (1555店舗)、ウエルシアホールディングス(株) (1477店舗)、(株)サンドラッグ (638店舗)、(株)クリエイトエス・ディー (502店舗)、(株)トモズ (152店舗)、(株)カメガヤ (82店舗) 等を予定しています。

原本と相違ないことを証明する。

平成29年11月2日

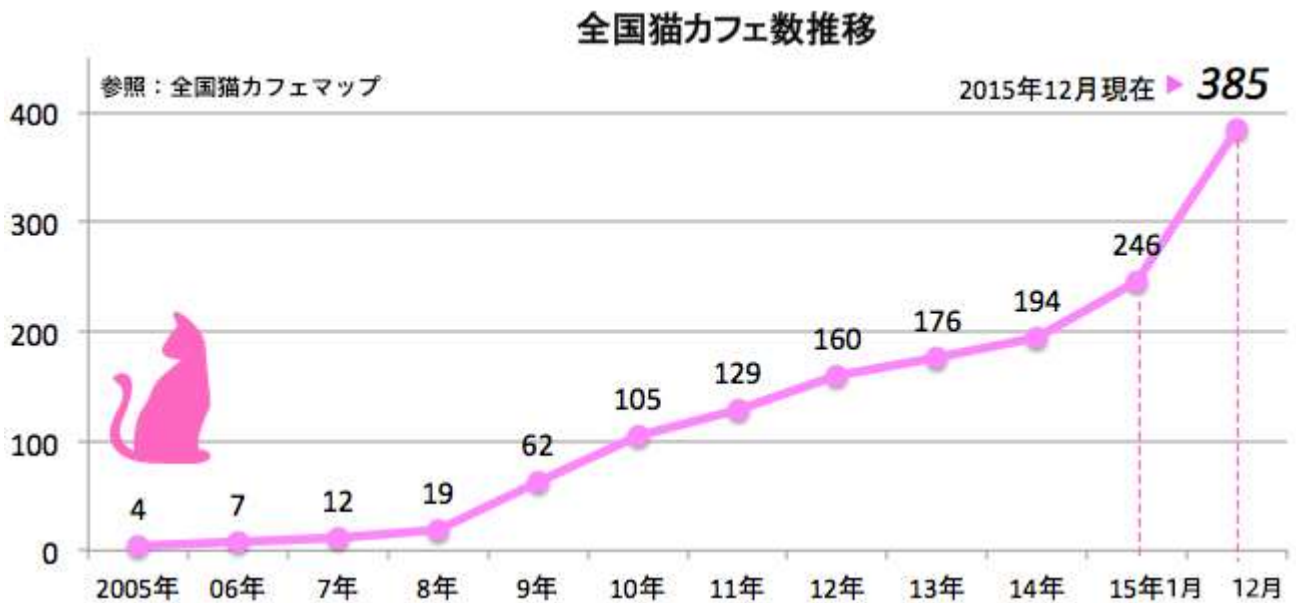
学校法人ヤマザキ学園 理事長 山崎 薫



猫カフェの状況

日本の猫カフェの店舗数は急激に増加しており、2005年に3店舗だったものが2015年末の時点では約300店舗が全国に展開している。また営業形態も、従来の猫カフェから、保護猫を扱い、里親の募集もするもの（約80店舗）、ペットショップやブリーダーが経営して子猫の販売を行うもの（約20店舗）などと、多様化している。

環境省中央環境審議会動物愛護部会（第42回）



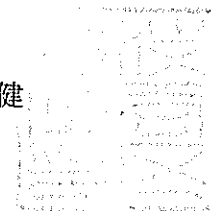
渋谷保発第 231 号

平成29年11月9日

文部科学大臣

林 芳 正 様

渋谷区長 長谷部 健



(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学の設置について

貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本区の文教行政に格別のご理解を賜り、深く感謝いたします。

さて、本区は、高度な国際競争力と強烈な地域性とを兼ね備え、区民自身が誇りをもってそこで暮らせる成熟した国際都市を目指しています。そのため、「ダイバーシティとインクルージョン」の考え方を大切に、まちづくりを進めています。

このたび、渋谷区を発祥の地とされ、動物看護教育のパイオニアとして数々の実績を上げられている学校法人ヤマザキ学園が、新たに「ヤマザキ動物看護専門職短期大学」を設置しようとされております。

既に大学と専門学校を設置されている学校法人ヤマザキ学園が、実践的な職業教育に重点を置いた仕組みとして新たに制度化される専門職大学（短期大学）の設置に、いち早く着手され、人とペットの豊かな共生社会を目指して、動物病院、ペットサロンのほか多様な職域に即戦力となれる技術を身に付けた、新しい時代の動物看護師を育成することは、今後大いに期待される分野への意義ある展開であろうと思われまます。

本区としても、ヤマザキ動物看護専門職短期大学の設置は、未来を担う若い人材の育成に結びつくものとして大いに賛同するものです。貴職よりも特段のご高配を賜りますように、お願い申し上げます。

平成 29年 10月 16日

文部科学大臣 殿

貴社・貴院名

アニマルケアホスピタル
アマノ動物病院

代表者・院長名

院長 天野 芳二
東京都世田谷区太子堂3-25-7
TEL 3413 - 1 1 0 1 代



(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 (構想中) の賛同書

このたび (仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 (構想中) の設置申請にあたり、コンパニオンアニマルの一生に寄り添い、適切なトータルケアを行う動物看護師の育成は、動物関連産業の今後の発展のためにも急務と考えます。特に、1兆5千億円に達しようとしている動物関連産業界では、動物病院だけでなくコンパニオンアニマルの生活を支える業態を含み、様々な場面で飼い主 (コンシューマー) をサポートできる人材の育成が求められます。

近年、飼い主の高齢化とコンパニオンアニマルの長寿化が進行したことにより、人と動物の共生する環境が様変わりし、看護・介護・飼育・栄養指導・健康管理が必要とされております。

また、動物病院ばかりでなく、市場において、飼い主 (コンシューマー) の要望に沿って、適切な生活指導・商品アドバイスを提供していくために産業界と協力して人材育成を行っていくことが、市場の成長に欠かせないものと考えます。

以上のような市場の変化に伴い、学校法人ヤマザキ学園が (仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学を計画されることは、誠に時宜に適ったことと考え期待するところであります。

つきましては、(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学設置に賛同いたしますので、動物関連産業の発展のために、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

原本と相違ないことを証明する。

平成29年11月15日

学校法人ヤマザキ学園 理事長 山崎 薫



賛同書一覧【動物病院】

1	アマノ動物病院	41	有限会社高橋 高橋動物病院	81	池田動物病院 祖師谷道り
2	ひなた動物病院	42	どうぶつクリニックNEXT	82	麻布動物病院
3	さわはた動物病院	43	株式会社アニマルプラザ けやき動物病院 富士見	83	本郷獣医科病院
4	ラブリー動物病院	44	動物病院くまごろう	84	やまもと動物病院
5	磯貝動物病院	45	みねぎし動物病院	85	ヴァンケット動物病院
6	土田動物病院	46	アニマルメディカルセンター	86	ロイヤルペットクリニック
7	Alpha Vets株式会社 安田獣医科医院	47	小動物診療所	87	有限会社みなみ野動物病院
8	砧愛犬病院	48	株式会社ワイ・エイ・シー ようが動物病院	88	サム動物病院/サムトリミングクラブ
9	ハロー動物病院	49	本駒込動物病院	89	葉山動物病院
10	キロロ動物病院	50	ひばり動物病院	90	池田動物病院 成城通り
11	ゼファー動物病院	51	夜間救急動物病院 目黒	91	アニーマどうぶつ病院
12	木もれ陽動物病院	52	赤羽ペットクリニック	92	さくら台動物病院
13	高木動物病院	53	有限会社 あみ動物病院	93	溝の口犬猫病院
14	ごんた動物病院	54	有限会社セントラルペットクリニック	94	かのペットクリニック
15	桜ヶ丘ペットクリニック	55	アルト動物病院	95	志村坂上動物病院
16	こうご動物病院	56	あきやま動物病院	96	仲野どうぶつ病院
17	りか動物病院	57	小暮動物病院	97	ナカ動物病院
18	有限会社カトウ獣医科クリニック	58	川口動物医療センター上青木動物病院	98	松尾犬猫病院
19	有限会社ソックス コトブキ獣医科医院	59	駒沢どうぶつ病院	99	ハリーペットクリニック
20	横浜青葉どうぶつ病院	60	かいぬま動物病院	100	むかい猫と犬の病院
21	おくだ動物病院	61	とりうみ動物病院	101	木村動物病院
22	可愛動物病院	62	大泉ココ動物病院	102	松原ペットクリニック
23	アルフペットクリニック	63	ふく動物病院	103	みつはし動物病院
24	おか動物病院	64	チコラ動物病院	104	聖母坂どうぶつ病院
25	株式会社よしだ動物病院	65	けやき動物病院	105	有限会社セラピスト セラピスト動物病院
26	株式会社フローラル フローラル動物病院	66	みなみ小金井動物病院	106	戸塚動物病院
27	さきがおか動物病院	67	ポウズ動物病院	107	ませ動物病院
28	緑ヶ丘動物病院	68	アニマルウェルネスセンター	108	株式会社 池田動物病院
29	いしじま動物病院	69	ココ動物病院	109	古谷動物病院
30	市原・山口動物病院	70	トレフル動物病院	110	湘南なぎさ動物病院
31	結城チロロ動物病院	71	有限会社 保田動物病院	111	桜ヶ丘どうぶつ病院
32	ライオン動物病院	72	動物病院川越 株式会社	112	有限会社グリーンウェルネスサービス久米川みどり動物病院
33	田中動物病院	73	くさか動物病院	113	ナラシノ動物愛護病院
34	アステール動物病院	74	たはら動物病院	114	有限会社 セキ動物病院
35	戸田動物病院	75	富士見台どうぶつ病院	115	ウッディ動物病院
36	美園どうぶつ病院	76	朝陽動物病院	116	広尾動物病院
37	後藤動物病院	77	有限会社岡部獣医科病院	117	JOY動物病院
38	イーリスペットクリニック	78	ぬのかわ犬猫病院	118	株式会社フェイス1(ワン) 竹原獣医科医院
39	東いわつき動物病院	79	吉田動物病院	119	かぶくん動物病院
40	みさと動物病院	80	ノワール動物病院	120	東京ウエスト動物病院

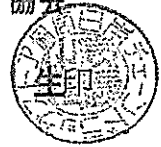
121	野毛坂どうぶつ病院	161	てらぞの動物病院
122	越谷動物医療センター	162	ベルノス動物病院
123	コンパニオンアニマルケアー 葉山どうぶつ病院	163	有限会社ワイズベツト 新習志野どうぶつ病院
124	本間動物病院	164	有限会社成城こばやし動物病院
125	大泉動物病院	165	千歳船橋あむ動物病院
126	有限会社ビジョン動物愛護病院 鳩ヶ谷院	166	藤の花どうぶつ病院
127	ナガイ動物病院	167	株式会社リードベツツ 日本小動物医療センター(日本小動物医科学研究所)
128	ノブ動物病院	168	海浜動物医療センター
129	中田動物病院	169	はやし動物病院
130	埼玉動物医療センター	170	城山通りどうぶつ病院
131	有限会社小林動物病院 アニマルクリニックこばやし	171	有限会社 高野動物病院
132	みつわ台動物病院	172	つなしま動物病院
133	アン動物病院	173	マスナガ動物病院
134	松本動物病院	174	株式会社 日本動物高度医療センター
135	オアシス動物病院	175	石黒動物病院
136	上田動物病院	176	よしむら動物病院
137	ピア動物医療センター		
138	西湘動物病院		
139	有限会社 いちかわ動物病院		
140	株式会社シンテック マーブル動物医療センター		
141	アキヨシアニマルクリニック		
142	野田動物病院		
143	指扇ペットクリニック		
144	リバーズ動物病院		
145	みやざわ動物病院		
146	七光台どうぶつ病院		
147	沢村獣医科病院		
148	谷口動物病院		
149	Dr.NORIKO ペット自然療法院		
150	フォレスタ動物病院		
151	かむい動物病院		
152	パンダ動物病院		
153	ワシントン動物病院		
154	松本動物病院		
155	コトー動物病院		
156	くさの動物病院		
157	井上動物病院		
158	かわはら動物病院		
159	一之江どうぶつ病院		
160	マリーナストリートおかだ動物病院		

平成 29 年 11 月 10 日

文部科学大臣 殿

貴団体名 日本チェーンドラッグストア協会

代表者名 会長 青木 桂



(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 (構想中) の賛同書

このたび(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学(構想中)の設置申請にあたり、コンパニオンアニマルの一生に寄り添い、適切なトータルケアを行う動物看護師の育成は、動物関連産業の今後の発展のためにも急務と考えます。特に、1兆5千億円に達しようとしている動物関連産業界では、動物病院だけでなくコンパニオンアニマルの生活を支える業態を含み、様々な場面で飼い主(コンシューマー)をサポートできる人材の育成が求められます。

近年、飼い主の高齢化とコンパニオンアニマルの長寿化が進行したことにより、人と動物の共生する環境が様変わりし、看護・介護・飼育・栄養指導・健康管理が必要とされております。

また、動物病院ばかりでなく、市場において、飼い主(コンシューマー)の要望に沿って、適切な生活指導・商品アドバイスを提供していくために産業界と協力して人材育成を行っていくことが、市場の成長に欠かせないものと考えます。

以上のような市場の変化に伴い、学校法人ヤマザキ学園が(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学を計画されることは、誠に時宜に適ったことと考え期待するところであります。

つきましては、(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学設置に賛同いたしますので、動物関連産業の発展のために、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

原本と相違ないことを証明する。

平成29年11月15日

学校法人ヤマザキ学園 理事長 山崎 薫



賛同書一覧【企業】

1	株式会社AHB	36	株式会社湘南動物プロダクション
2	株式会社TACT	37	ペットサロン&ホテル With
3	株式会社シー・アイ・シー	38	株式会社カラーズ
4	東京建物リゾート株式会社	39	都心のペット霊園 城南ペット霊園
5	公益財団法人ハーモニセンター	40	有限会社ワンクスクリエイション
6	株式会社野生司環境設計	41	Supreme maihama studio (シュプリーム舞浜スタジオ)
7	株式会社ヤマザキ教育サポート	42	公益財団法人 日本動物愛護協会
8	株式会社佐藤秀	43	東武乗馬クラブ&クレイン
9	イオンペット株式会社	44	クラブケンケン 田園調布店
10	株式会社セラヴィリゾート泉郷	45	公益財団法人日本動物福祉協会
11	一般財団法人動物看護師統一認定機構	46	株式会社ブライトケア 介護付有料老人ホーム カーロガーデン大塚
12	乗馬クラブクレイン東京	47	株式会社ベリークルーズ しぶこえ館山
13	株式会社サンリングペットサロンSIT	48	株式会社ベリークルーズ 御宿海岸
14	大井警察犬訓練所	49	株式会社ベリークルーズ 修善寺 絆
15	ペットサロン モグMOGU	50	株式会社ベリークルーズ 鬼怒川 絆
16	寿量寺附属 真心動物霊園	51	株式会社ベリークルーズ フェニックスウイング白馬
17	ペットの保育園Will	52	株式会社 BELL-PET(ベルペット)
18	世界動物友の会 深大寺動物霊園	53	学校法人 敬心学園
19	株式会社誠文堂新光社	54	株式会社アットエフ
20	株式会社 ワイズドギー モントウトウ シブヤ西武店		
21	有限会社オーグ・うさぎのしっぽ 本社		
22	アローメディカル株式会社		
23	有限会社ドッグライフ		
24	トリミングスタジオ Oasis		
25	Pet's Life		
26	日本医療株式会社		
27	日本クレア株式会社		
28	ナチュラルペットフード株式会社		
29	株式会社ミネルヴァコーポレーション		
30	野生水族繁殖センター		
31	特定非営利活動法人 聴導犬育成の会		
32	ドッグサロンLC 世田谷店		
33	株式会社JPR		
34	PET SALON KUMIKO		
35	日本チェーンドラッグストア協会		

昭和四十八年法律第百五号

動物の愛護及び管理に関する法律

目次

第一章 総則（第一条—第四条）第二章 基本指針等（第五条・第六条）第三章 動物の適正な取扱い第一節 総則（第七条—第九条）第二節 第一種動物取扱業者（第十条—第二十四条）第三節 第二種動物取扱業者（第二十四条の二—第二十四条の四）第四節 周辺の生活環境の保全等に係る措置（第二十五条）第五節 動物による人の生命等に対する侵害を防止するための措置（第二十六条—第三十三条）第六節 動物愛護担当職員（第三十四条）第四章 都道府県等の措置等（第三十五条—第三十九条）第五章 雑則（第四十条—第四十三条）第六章 罰則（第四十四条—第五十条）

附則

第一章 総則

(目的)

第一条 この法律は、動物の虐待及び遺棄の防止、動物の適正な取扱いその他動物の健康及び安全の保持等の動物の愛護に関する事項を定めて国民の間に動物を愛護する気風を招来し、生命尊重、友愛及び平和の情操の涵養に資するとともに、動物の管理に関する事項を定めて動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障を防止し、もつて人と動物の共生する社会の実現を図ることを目的とする。

(基本原則)

第二条 動物が命あるものであることにかんがみ、何人も、動物をみだりに殺し、傷つけ、又は苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うようにしなければならない。

2 何人も、動物を取り扱う場合には、その飼養又は保管の目的の達成に支障を及ぼさない範囲で、適切な給餌及び給水、必要な健康の管理並びにその動物の種類、習性等を考慮した飼養又は保管を行うための環境の確保を行わなければならない。

(普及啓発)

第三条 国及び地方公共団体は、動物の愛護と適正な飼養に関し、前条の趣旨にのっとり、相互に連携を図りつつ、学校、地域、家庭等における教育活動、広報活動等を通じて普及啓発を図るよう努めなければならない。

(動物愛護週間)

第四条 ひろく国民の間に命あるものである動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めるようにするため、動物愛護週間を設ける。

2 動物愛護週間は、九月二十日から同月二十六日までとする。

3 国及び地方公共団体は、動物愛護週間には、その趣旨にふさわしい行事が実施されるように努めなければならない。

第二章 基本指針等

(基本指針)

第五条 環境大臣は、動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針（以下「基本指針」という。）を定めなければならない。

2 基本指針には、次の事項を定めるものとする。

- 一 動物の愛護及び管理に関する施策の推進に関する基本的な方向
- 二 次条第一項に規定する動物愛護管理推進計画の策定に関する基本的な事項
- 三 その他動物の愛護及び管理に関する施策の推進に関する重要事項

3 環境大臣は、基本指針を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、関係行政機関の長に協議しなければならない。

4 環境大臣は、基本指針を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

(動物愛護管理推進計画)

第六条 都道府県は、基本指針に即して、当該都道府県の区域における動物の愛護及び管理に関する施策を推進するための計画（以下「動物愛護管理推進計画」という。）を定めなければならない。

2 動物愛護管理推進計画には、次の事項を定めるものとする。

- 一 動物の愛護及び管理に関し実施すべき施策に関する基本的な方針
- 二 動物の適正な飼養及び保管を図るための施策に関する事項
- 三 災害時における動物の適正な飼養及び保管を図るための施策に関する事項
- 四 動物の愛護及び管理に関する施策を実施するために必要な体制の整備（国、関係地方公共団体、民間団体等との連携の確保を含む。）に関する事項

3 動物愛護管理推進計画には、前項各号に掲げる事項のほか、動物の愛護及び管理に関する普及啓発に関する事項その他動物の愛護及び管理に関する施策を推進するために必要な事項を定めるように努めるものとする。

4 都道府県は、動物愛護管理推進計画を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、関係市町村の意見を聴かななければならない。

5 都道府県は、動物愛護管理推進計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表するように努めなければならない。

第三章 動物の適正な取扱い

第一節 総則

(動物の所有者又は占有者の責務等)

第七条 動物の所有者又は占有者は、命あるものである動物の所有者又は占有者として動物の愛護及び管理に関する責任を十分に自覚して、その動物をその種類、習性等に応じて適正に飼養し、又は保管することにより、動物の健康及び安全を保持するように努めるとともに、動物が人の生命、身体若しくは財産に害を加え、生活環境の保全上の支障を生じさせ、又は人に迷惑を及ぼすことのないように努めなければならない。

2 動物の所有者又は占有者は、その所有し、又は占有する動物に起因する感染性の疾病について正しい知識を持ち、その予防のために必要な注意を払うように努めなければならない。

- 3 動物の所有者又は占有者は、その所有し、又は占有する動物の逸走を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 動物の所有者は、その所有する動物の飼養又は保管の目的等を達する上で支障を及ぼさない範囲で、できる限り、当該動物がその命を終えるまで適切に飼養すること（以下「終生飼養」という。）に努めなければならない。
- 5 動物の所有者は、その所有する動物がみだりに繁殖して適正に飼養することが困難とならないよう、繁殖に関する適切な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 6 動物の所有者は、その所有する動物が自己の所有に係るものであることを明らかにするための措置として環境大臣が定めるものを講ずるよう努めなければならない。
- 7 環境大臣は、関係行政機関の長と協議して、動物の飼養及び保管に関しよるべき基準を定めることができる。

（動物販売業者の責務）

第八条 動物の販売を業として行う者は、当該販売に係る動物の購入者に対し、当該動物の種類、習性、供用の目的等に応じて、その適正な飼養又は保管の方法について、必要な説明をしなければならない。

- 2 動物の販売を業として行う者は、購入者の購入しようとする動物の飼養及び保管に係る知識及び経験に照らして、当該購入者に理解されるために必要な方法及び程度により、前項の説明を行うよう努めなければならない。

（地方公共団体の措置）

第九条 地方公共団体は、動物の健康及び安全を保持するとともに、動物が人に迷惑を及ぼすことのないようにするため、条例で定めるところにより、動物の飼養及び保管について動物の所有者又は占有者に対する指導をすること、多数の動物の飼養及び保管に係る届出をさせることその他の必要な措置を講ずることができる。

第二節 第一種動物取扱業者

（第一種動物取扱業の登録）

第十条 動物（哺乳類、鳥類又は爬虫類に属するものに限り、畜産農業に係るもの及び試験研究用又は生物学的製剤の製造の用その他政令で定める用途に供するために飼養し、又は保管しているものを除く。以下この節から第四節までにおいて同じ。）の取扱業（動物の販売（その取次ぎ又は代理を含む。次項、第十二条第一項第六号及び第二十一条の四において同じ。）、保管、貸出し、訓練、展示（動物との触れ合いの機会の提供を含む。次項及び第二十四条の二において同じ。）その他政令で定める取扱いを業として行うことをいう。以下この節及び第四十六条第一号において「第一種動物取扱業」という。）を営もうとする者は、当該業を営もうとする事業所の所在地を管轄する都道府県知事（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市（以下「指定都市」という。）にあつては、その長とする。以下この節から第五節まで（第二十五条第四項を除く。）において同じ。）の登録を受けなければならない。

- 2 前項の登録を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書に環境省令で定める書類を添えて、これを都道府県知事に提出しなければならない。
 - 一 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては代表者の氏名
 - 二 事業所の名称及び所在地
 - 三 事業所ごとに置かれる動物取扱責任者（第二十二条第一項に規定する者をいう。）の氏名

- 四 その営もうとする第一種動物取扱業の種別（販売、保管、貸出し、訓練、展示又は前項の政令で定める取扱いの別をいう。以下この号において同じ。）並びにその種別に
 応じた業務の内容及び実施の方法
 - 五 主として取り扱う動物の種類及び数
 - 六 動物の飼養又は保管のための施設（以下この節及び次節において「飼養施設」とい
 う。）を設置しているときは、次に掲げる事項
 - イ 飼養施設の所在地
 - ロ 飼養施設の構造及び規模
 - ハ 飼養施設の管理の方法
 - 七 その他環境省令で定める事項
- 3 第一項の登録の申請をする者は、犬猫等販売業（犬猫等（犬又は猫その他環境省令で
 定める動物をいう。以下同じ。）の販売を業として行うことをいう。以下同じ。）を営
 もうとする場合には、前項各号に掲げる事項のほか、同項の申請書に次に掲げる事項を
 併せて記載しなければならない。
- 一 販売の用に供する犬猫等の繁殖を行うかどうかの別
 - 二 販売の用に供する幼齢の犬猫等（繁殖を併せて行う場合にあつては、幼齢の犬猫等
 及び繁殖の用に供し、又は供する目的で飼養する犬猫等。第十二条第一項において同
 じ。）の健康及び安全を保持するための体制の整備、販売の用に供することが困難と
 なつた犬猫等の取扱いその他環境省令で定める事項に関する計画（以下「犬猫等健康
 安全計画」という。）

（登録の実施）

第十一条 都道府県知事は、前条第二項の規定による登録の申請があつたときは、次条第
 一項の規定により登録を拒否する場合を除くほか、前条第二項第一号から第三号まで及
 び第五号に掲げる事項並びに登録年月日及び登録番号を第一種動物取扱業者登録簿に登
 録しなければならない。

2 都道府県知事は、前項の規定による登録をしたときは、遅滞なく、その旨を申請者に
 通知しなければならない。

（登録の拒否）

第十二条 都道府県知事は、第十条第一項の登録を受けようとする者が次の各号のいづれ
 かに該当するとき、同条第二項の規定による登録の申請に係る同項第四号に掲げる事項
 が動物の健康及び安全の保持その他動物の適正な取扱いを確保するため必要なものとし
 て環境省令で定める基準に適合していないと認めるとき、同項の規定による登録の申請
 に係る同項第六号ロ及びハに掲げる事項が環境省令で定める飼養施設の構造、規模及び
 管理に関する基準に適合していないと認めるとき、若しくは犬猫等販売業を営もうとす
 る場合にあつては、犬猫等健康安全計画が幼齢の犬猫等の健康及び安全の確保並びに犬
 猫等の終生飼養の確保を図るため適切なものとして環境省令で定める基準に適合してい
 ないと認めるとき、又は申請書若しくは添付書類のうちに重要な事項について虚偽の記
 載があり、若しくは重要な事実の記載が欠けているときは、その登録を拒否しなければ
 ならない。

- 一 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ないもの
- 二 第十九条第一項の規定により登録を取り消され、その処分の日から二年を経
 過しない者
- 三 第十条第一項の登録を受けた者（以下「第一種動物取扱業者」という。）で法人で
 あるものが第十九条第一項の規定により登録を取り消された場合において、その処分

のあつた日前三十日以内にその第一種動物取扱業者の役員であつた者でその処分があつた日から二年を経過しないもの

四 第十九条第一項の規定により業務の停止を命ぜられ、その停止の期間が経過しない者

五 この法律の規定、化製場等に関する法律（昭和二十三年法律第百四十号）第十条第二号（同法第九条第五項において準用する同法第七条に係る部分に限る。）若しくは第三号の規定又は狂犬病予防法（昭和二十五年法律第二百四十七号）第二十七条第一号若しくは第二号の規定により罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日から二年を経過しない者

六 動物の販売を業として営もうとする場合にあつては、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成四年法律第七十五号）第五十七条の二（同法第十二条第一項（希少野生動植物種の個体等である動物の個体の譲渡し又は引渡しに係る部分に限る。）に係る部分に限る。以下同じ。）、第五十八条第一号（同法第十八条（希少野生動植物種の個体等である動物の個体に係る部分に限る。以下同じ。）若しくは第二号（同法第十七条（希少野生動植物種の個体等である動物の個体に係る部分に限る。以下同じ。）に係る部分に限る。以下同じ。）、第六十三条第六号（同法第二十一条第一項（国際希少野生動植物種の個体等である動物の個体に係る部分に限る。）、第二項（国際希少野生動植物種の個体等である動物の個体に係る部分に限る。）又は第三項（国際希少野生動植物種の個体等である動物の個体の譲渡し又は引渡しに係る部分に限る。）に係る部分に限る。以下同じ。）若しくは第六十五条第一項（同法第五十七条の二、第五十八条第一号若しくは第二号又は第六十三条第六号に係る部分に限る。）の規定、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成十四年法律第八十八号）第八十四条第一項第五号（同法第二十条第一項（譲渡し又は引渡しに係る部分に限る。）、第二十三条（加工品又は卵に係る部分を除く。）、第二十六条第六項（譲渡し等のうち譲渡し又は引渡しに係る部分に限る。）又は第二十七条（譲渡し又は引渡しに係る部分に限る。）に係る部分に限る。以下同じ。）、第八十六条第一号（同法第二十四条第七項に係る部分に限る。以下同じ。）若しくは第八十八条（同法第八十四条第一項第五号又は第八十六条第一号に係る部分に限る。）の規定又は特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成十六年法律第七十八号）第三十二条第一号（特定外来生物である動物に係る部分に限る。以下同じ。）若しくは第四号（特定外来生物である動物に係る部分に限る。以下同じ。）、第三十三条第一号（同法第八条（特定外来生物である動物の譲渡し又は引渡しに係る部分に限る。以下同じ。）に係る部分に限る。以下同じ。）若しくは第三十六条（同法第三十二条第一号若しくは第四号又は第三十三条第一号に係る部分に限る。）の規定により罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日から二年を経過しない者

七 法人であつて、その役員のうち前各号のいずれかに該当する者があるもの

2 都道府県知事は、前項の規定により登録を拒否したときは、遅滞なく、その理由を示して、その旨を申請者に通知しなければならない。

（登録の更新）

第十三条 第十条第一項の登録は、五年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。

2 第十条第二項及び第三項並びに前二条の規定は、前項の更新について準用する。

3 第一項の更新の申請があつた場合において、同項の期間（以下この条において「登録の有効期間」という。）の満了の日までにその申請に対する処分がされないときは、従

前の登録は、登録の有効期間の満了後もその処分がされるまでの間は、なおその効力を有する。

- 4 前項の場合において、登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算するものとする。

(変更の届出)

第十四条 第一種動物取扱業者は、第十条第二項第四号若しくは第三項第一号に掲げる事項の変更（環境省令で定める軽微なものを除く。）をし、飼養施設を設置しようとし、又は犬猫等販売業を営もうとする場合には、あらかじめ、環境省令で定めるところにより、都道府県知事に届け出なければならない。

- 2 第一種動物取扱業者は、前項の環境省令で定める軽微な変更があつた場合又は第十条第二項各号（第四号を除く。）若しくは第三項第二号に掲げる事項に変更（環境省令で定める軽微なものを除く。）があつた場合には、前項の場合を除き、その日から三十日以内に、環境省令で定める書類を添えて、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

- 3 第十条第一項の登録を受けて犬猫等販売業を営む者（以下「犬猫等販売業者」という。）は、犬猫等販売業を営むことをやめた場合には、第十六条第一項に規定する場合を除き、その日から三十日以内に、環境省令で定める書類を添えて、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

- 4 第十一条及び第十二条の規定は、前三項の規定による届出があつた場合に準用する。

(第一種動物取扱業者登録簿の閲覧)

第十五条 都道府県知事は、第一種動物取扱業者登録簿を一般の閲覧に供しなければならない。

(廃業等の届出)

第十六条 第一種動物取扱業者が次の各号のいずれかに該当することとなつた場合においては、当該各号に定める者は、その日から三十日以内に、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

- 一 死亡した場合 その相続人
- 二 法人が合併により消滅した場合 その法人を代表する役員であつた者
- 三 法人が破産手続開始の決定により解散した場合 その破産管財人
- 四 法人が合併及び破産手続開始の決定以外の理由により解散した場合 その清算人
- 五 その登録に係る第一種動物取扱業を廃止した場合 第一種動物取扱業者であつた個人又は第一種動物取扱業者であつた法人を代表する役員

- 2 第一種動物取扱業者が前項各号のいずれかに該当するに至つたときは、第一種動物取扱業者の登録は、その効力を失う。

(登録の抹消)

第十七条 都道府県知事は、第十三条第一項若しくは前条第二項の規定により登録がその効力を失つたとき、又は第十九条第一項の規定により登録を取り消したときは、当該第一種動物取扱業者の登録を抹消しなければならない。

(標識の掲示)

第十八条 第一種動物取扱業者は、環境省令で定めるところにより、その事業所ごとに、公衆の見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の環境省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

(登録の取消し等)

第十九条 都道府県知事は、第一種動物取扱業者が次の各号のいずれかに該当するとき
は、その登録を取り消し、又は六月以内の期間を定めてその業務の全部若しくは一部の
停止を命ずることができる。

- 一 不正の手段により第一種動物取扱業者の登録を受けたとき。
- 二 その者が行う業務の内容及び実施の方法が第十二条第一項に規定する動物の健康及
び安全の保持その他動物の適正な取扱いを確保するため必要なものとして環境省令で
定める基準に適合しなくなつたとき。
- 三 飼養施設を設置している場合において、その者の飼養施設の構造、規模及び管理の
方法が第十二条第一項に規定する飼養施設の構造、規模及び管理に関する基準に適合
しなくなつたとき。
- 四 犬猫等販売業を営んでいる場合において、犬猫等健康安全計画が第十二条第一項に
規定する幼齢の犬猫等の健康及び安全の確保並びに犬猫等の終生飼養の確保を図るた
め適切なものとして環境省令で定める基準に適合しなくなつたとき。
- 五 第十二条第一項第一号、第三号又は第五号から第七号までのいずれかに該当するこ
ととなつたとき。
- 六 この法律若しくはこの法律に基づく命令又はこの法律に基づく処分違反したと
き。

2 第十二条第二項の規定は、前項の規定による処分をした場合に準用する。

(環境省令への委任)

第二十条 第十条から前条までに定めるもののほか、第一種動物取扱業者の登録に関し必
要な事項については、環境省令で定める。

(基準遵守義務)

第二十一条 第一種動物取扱業者は、動物の健康及び安全を保持するとともに、生活環境
の保全上の支障が生ずることを防止するため、その取り扱う動物の管理の方法等に関し
環境省令で定める基準を遵守しなければならない。

2 都道府県又は指定都市は、動物の健康及び安全を保持するとともに、生活環境の保全
上の支障が生ずることを防止するため、その自然的、社会的条件から判断して必要があ
ると認めるときは、条例で、前項の基準に代えて第一種動物取扱業者が遵守すべき基準
を定めることができる。

(感染性の疾病の予防)

第二十一条の二 第一種動物取扱業者は、その取り扱う動物の健康状態を日常的に確認す
ること、必要に応じて獣医師による診療を受けさせることその他のその取り扱う動物の
感染性の疾病の予防のために必要な措置を適切に実施するよう努めなければならない。

(動物を取り扱うことが困難になつた場合の譲渡し等)

第二十一条の三 第一種動物取扱業者は、第一種動物取扱業を廃止する場合その他の業と
して動物を取り扱うことが困難になつた場合には、当該動物の譲渡しその他の適切な措
置を講ずるよう努めなければならない。

(販売に際しての情報提供の方法等)

第二十一条の四 第一種動物取扱業者のうち犬、猫その他の環境省令で定める動物の販売
を業として営む者は、当該動物を販売する場合には、あらかじめ、当該動物を購入しよ
うとする者(第一種動物取扱業者を除く。)に対し、当該販売に係る動物の現在の状態
を直接見せるとともに、対面(対面によることが困難な場合として環境省令で定める場
合には、対面に相当する方法として環境省令で定めるものを含む。)により書面又は電
磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない
方式で作られる記録であつて、電子計算機による情報処理の用に供されるものをい

う。)を用いて当該動物の飼養又は保管の方法、生年月日、当該動物に係る繁殖を行つた者の氏名その他の適正な飼養又は保管のために必要な情報として環境省令で定めるものを提供しなければならない。

(動物取扱責任者)

第二十二條 第一種動物取扱業者は、事業所ごとに、環境省令で定めるところにより、当該事業所に係る業務を適正に実施するため、動物取扱責任者を選任しなければならない。

2 動物取扱責任者は、第十二條第一項第一号から第六号までに該当する者以外の者でなければならない。

3 第一種動物取扱業者は、環境省令で定めるところにより、動物取扱責任者に動物取扱責任者研修(都道府県知事が行う動物取扱責任者の業務に必要な知識及び能力に関する研修をいう。)を受けさせなければならない。

(犬猫等健康安全計画の遵守)

第二十二條の二 犬猫等販売業者は、犬猫等健康安全計画の定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

(獣医師等との連携の確保)

第二十二條の三 犬猫等販売業者は、その飼養又は保管をする犬猫等の健康及び安全を確保するため、獣医師等との適切な連携の確保を図らなければならない。

(終生飼養の確保)

第二十二條の四 犬猫等販売業者は、やむを得ない場合を除き、販売の用に供することが困難となつた犬猫等についても、引き続き、当該犬猫等の終生飼養の確保を図らなければならない。

(幼齢の犬又は猫に係る販売等の制限)

第二十二條の五 犬猫等販売業者(販売の用に供する犬又は猫の繁殖を行う者に限る。)は、その繁殖を行つた犬又は猫であつて出生後五十六日を経過しないものについて、販売のため又は販売の用に供するために引渡し又は展示をしてはならない。

(犬猫等の個体に関する帳簿の備付け等)

第二十二條の六 犬猫等販売業者は、環境省令で定めるところにより、帳簿を備え、その所有する犬猫等の個体ごとに、その所有するに至つた日、その販売若しくは引渡しをした日又は死亡した日その他の環境省令で定める事項を記載し、これを保存しなければならない。

2 犬猫等販売業者は、環境省令で定めるところにより、環境省令で定める期間ごとに、次に掲げる事項を都道府県知事に届け出なければならない。

- 一 当該期間が開始した日に所有していた犬猫等の種類ごとの数
- 二 当該期間中に新たに所有するに至つた犬猫等の種類ごとの数
- 三 当該期間中に販売若しくは引渡し又は死亡の事実が生じた犬猫等の当該区分ごと及び種類ごとの数
- 四 当該期間が終了した日に所有していた犬猫等の種類ごとの数
- 五 その他環境省令で定める事項

3 都道府県知事は、犬猫等販売業者の所有する犬猫等に係る死亡の事実の発生の状況に照らして必要があると認めるときは、環境省令で定めるところにより、犬猫等販売業者に対して、期間を指定して、当該指定期間内にその所有する犬猫等に係る死亡の事実が発生した場合には獣医師による診療中に死亡したときを除き獣医師による検案を受け、当該指定期間が満了した日から三十日以内に当該指定期間内に死亡の事実が発生した全ての犬猫等の検案書又は死亡診断書を提出すべきことを命ずることができる。

(勧告及び命令)

第二十三条 都道府県知事は、第一種動物取扱業者が第二十一条第一項又は第二項の基準を遵守していないと認めるときは、その者に対し、期限を定めて、その取り扱う動物の管理の方法等を改善すべきことを勧告することができる。

2 都道府県知事は、第一種動物取扱業者が第二十一条の四若しくは第二十二条第三項の規定を遵守していないと認めるとき、又は犬猫等販売業者が第二十二条の五の規定を遵守していないと認めるときは、その者に対し、期限を定めて、必要な措置をとるべきことを勧告することができる。

3 都道府県知事は、前二項の規定による勧告を受けた者がその勧告に従わないときは、その者に対し、期限を定めて、その勧告に係る措置をとるべきことを命ずることができる。

(報告及び検査)

第二十四条 都道府県知事は、第十条から第十九条まで及び第二十一条から前条までの規定の施行に必要な限度において、第一種動物取扱業者に対し、飼養施設の状況、その取り扱う動物の管理の方法その他必要な事項に関し報告を求め、又はその職員に、当該第一種動物取扱業者の事業所その他関係のある場所に立ち入り、飼養施設その他の物件を検査させることができる。

2 前項の規定により立入検査をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係人に提示しなければならない。

3 第一項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

第三節 第二種動物取扱業者

(第二種動物取扱業の届出)

第二十四条の二 飼養施設（環境省令で定めるものに限る。以下この節において同じ。）を設置して動物の取扱業（動物の譲渡し、保管、貸出し、訓練、展示その他第十条第一項の政令で定める取扱いに類する取扱いとして環境省令で定めるもの（以下この条において「その他の取扱い」という。）を業として行うことをいう。以下この条において「第二種動物取扱業」という。）を行おうとする者（第十条第一項の登録を受けるべき者及びその取り扱おうとする動物の数が環境省令で定める数に満たない者を除く。）は、第三十五条の規定に基づき同条第一項に規定する都道府県等が犬又は猫の取扱いを行う場合その他環境省令で定める場合を除き、飼養施設を設置する場所ごとに、環境省令で定めるところにより、環境省令で定める書類を添えて、次の事項を都道府県知事に届け出なければならない。

- 一 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては代表者の氏名
- 二 飼養施設の所在地
- 三 その行おうとする第二種動物取扱業の種別（譲渡し、保管、貸出し、訓練、展示又はその他の取扱いの別をいう。以下この号において同じ。）並びにその種別に応じた事業の内容及び実施の方法
- 四 主として取り扱う動物の種類及び数
- 五 飼養施設の構造及び規模
- 六 飼養施設の管理の方法
- 七 その他環境省令で定める事項

(変更の届出)

第二十四条の三 前条の規定による届出をした者（以下「第二種動物取扱業者」という。）は、同条第三号から第七号までに掲げる事項の変更をしようとするときは、環境

省令で定めるところにより、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。ただし、その変更が環境省令で定める軽微なものであるときは、この限りでない。

- 2 第二種動物取扱業者は、前条第一号若しくは第二号に掲げる事項に変更があつたとき、又は届出に係る飼養施設の使用を廃止したときは、その日から三十日以内に、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

(準用規定)

第二十四条の四 第十六条第一項（第五号に係る部分を除く。）、第二十条、第二十一条、第二十三条（第二項を除く。）及び第二十四条の規定は、第二種動物取扱業者について準用する。この場合において、第二十条中「第十条から前条まで」とあるのは「第二十四条の二、第二十四条の三及び第二十四条の四において準用する第十六条第一項（第五号に係る部分を除く。）」と、「登録」とあるのは「届出」と、第二十三条第一項中「第二十一条第一項又は第二項」とあるのは「第二十四条の四において準用する第二十一条第一項又は第二項」と、同条第三項中「前二項」とあるのは「第一項」と、第二十四条第一項中「第十条から第十九条まで及び第二十一条から前条まで」とあるのは「第二十四条の二、第二十四条の三並びに第二十四条の四において準用する第十六条第一項（第五号に係る部分を除く。）、第二十一条及び第二十三条（第二項を除く。）」と、「事業所」とあるのは「飼養施設を設置する場所」と読み替えるものとするほか、必要な技術的読替えは、政令で定める。

第四節 周辺の生活環境の保全等に係る措置

第二十五条 都道府県知事は、多数の動物の飼養又は保管に起因した騒音又は悪臭の発生、動物の毛の飛散、多数の昆虫の発生等によつて周辺の生活環境が損なわれている事態として環境省令で定める事態が生じていると認めるときは、当該事態を生じさせている者に対し、期限を定めて、その事態を除去するために必要な措置をとるべきことを勧告することができる。

- 2 都道府県知事は、前項の規定による勧告を受けた者がその勧告に係る措置をとらなかつた場合において、特に必要があると認めるときは、その者に対し、期限を定めて、その勧告に係る措置をとるべきことを命ずることができる。
- 3 都道府県知事は、多数の動物の飼養又は保管が適正でないことに起因して動物が衰弱する等の虐待を受けるおそれがある事態として環境省令で定める事態が生じていると認めるときは、当該事態を生じさせている者に対し、期限を定めて、当該事態を改善するために必要な措置をとるべきことを命じ、又は勧告することができる。
- 4 都道府県知事は、市町村（特別区を含む。）の長（指定都市の長を除く。）に対し、前三項の規定による勧告又は命令に関し、必要な協力を求めることができる。

第五節 動物による人の生命等に対する侵害を防止するための措置

(特定動物の飼養又は保管の許可)

第二十六条 人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれがある動物として政令で定める動物（以下「特定動物」という。）の飼養又は保管を行おうとする者は、環境省令で定めるところにより、特定動物の種類ごとに、特定動物の飼養又は保管のための施設（以下この節において「特定飼養施設」という。）の所在地を管轄する都道府県知事の許可を受けなければならない。ただし、診療施設（獣医療法（平成四年法律第四十六号）第三条第二項に規定する診療施設をいう。）において獣医師が診療のために特定動物を飼養又は保管する場合その他の環境省令で定める場合は、この限りでない。

- 2 前項の許可を受けようとする者は、環境省令で定めるところにより、次に掲げる事項を記載した申請書に環境省令で定める書類を添えて、これを都道府県知事に提出しなければならない。

- 一 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては代表者の氏名
 - 二 特定動物の種類及び数
 - 三 飼養又は保管の目的
 - 四 特定飼養施設の所在地
 - 五 特定飼養施設の構造及び規模
 - 六 特定動物の飼養又は保管の方法
 - 七 特定動物の飼養又は保管が困難になつた場合における措置に関する事項
 - 八 その他環境省令で定める事項
- (許可の基準)

第二十七条 都道府県知事は、前条第一項の許可の申請が次の各号に適合していると認めるときでなければ、同項の許可をしてはならない。

- 一 その申請に係る前条第二項第五号から第七号までに掲げる事項が、特定動物の性質に応じて環境省令で定める特定飼養施設の構造及び規模、特定動物の飼養又は保管の方法並びに特定動物の飼養又は保管が困難になつた場合における措置に関する基準に適合するものであること。
- 二 申請者が次のいずれにも該当しないこと。
 - イ この法律又はこの法律に基づく処分違反して罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日から二年を経過しない者
 - ロ 第二十九条の規定により許可を取り消され、その処分のあつた日から二年を経過しない者

ハ 法人であつて、その役員のうちイ又はロのいずれかに該当する者があるもの

- 2 都道府県知事は、前条第一項の許可をする場合において、特定動物による人の生命、身体又は財産に対する侵害の防止のため必要があると認めるときは、その必要の限度において、その許可に条件を付することができる。

(変更の許可等)

第二十八条 第二十六条第一項の許可（この項の規定による許可を含む。）を受けた者（以下「特定動物飼養者」という。）は、同条第二項第二号又は第四号から第七号までに掲げる事項を変更しようとするときは、環境省令で定めるところにより都道府県知事の許可を受けなければならない。ただし、その変更が環境省令で定める軽微なものであるときは、この限りでない。

2 前条の規定は、前項の許可について準用する。

- 3 特定動物飼養者は、第一項ただし書の環境省令で定める軽微な変更があつたとき、又は第二十六条第二項第一号若しくは第三号に掲げる事項その他環境省令で定める事項に変更があつたときは、その日から三十日以内に、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

(許可の取消し)

第二十九条 都道府県知事は、特定動物飼養者が次の各号のいずれかに該当するときは、その許可を取り消すことができる。

- 一 不正の手段により特定動物飼養者の許可を受けたとき。
- 二 その者の特定飼養施設の構造及び規模並びに特定動物の飼養又は保管の方法が第二十七条第一項第一号に規定する基準に適合しなくなつたとき。
- 三 第二十七条第一項第二号ハに該当することとなつたとき。
- 四 この法律若しくはこの法律に基づく命令又はこの法律に基づく処分違反したとき。

(環境省令への委任)

第三十条 第二十六条から前条までに定めるもののほか、特定動物の飼養又は保管の許可に関し必要な事項については、環境省令で定める。

(飼養又は保管の方法)

第三十一条 特定動物飼養者は、その許可に係る飼養又は保管をするには、当該特定動物に係る特定飼養施設の点検を定期的に行うこと、当該特定動物についてその許可を受けていることを明らかにすることその他の環境省令で定める方法によらなければならない。

(特定動物飼養者に対する措置命令等)

第三十二条 都道府県知事は、特定動物飼養者が前条の規定に違反し、又は第二十七条第二項（第二十八条第二項において準用する場合を含む。）の規定により付された条件に違反した場合において、特定動物による人の生命、身体又は財産に対する侵害の防止のため必要があると認めるときは、当該特定動物に係る飼養又は保管の方法の改善その他の必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

(報告及び検査)

第三十三条 都道府県知事は、第二十六条から第二十九条まで及び前二条の規定の施行に必要な限度において、特定動物飼養者に対し、特定飼養施設の状況、特定動物の飼養又は保管の方法その他必要な事項に関し報告を求め、又はその職員に、当該特定動物飼養者の特定飼養施設を設置する場所その他関係のある場所に立ち入り、特定飼養施設その他の物件を検査させることができる。

2 第二十四条第二項及び第三項の規定は、前項の規定による立入検査について準用する。

第六節 動物愛護担当職員

第三十四条 地方公共団体は、条例で定めるところにより、第二十四条第一項（第二十四条の四において読み替えて準用する場合を含む。）又は前条第一項の規定による立入検査その他の動物の愛護及び管理に関する事務を行わせるため、動物愛護管理員等の職名を有する職員（次項及び第四十一条の四において「動物愛護担当職員」という。）を置くことができる。

2 動物愛護担当職員は、当該地方公共団体の職員であつて獣医師等動物の適正な飼養及び保管に関し専門的な知識を有するものをもつて充てる。

第四章 都道府県等の措置等

(犬及び猫の引取り)

第三十五条 都道府県等（都道府県及び指定都市、地方自治法第二百五十二条の二十二第一項の中核市（以下「中核市」という。）その他政令で定める市（特別区を含む。以下同じ。）をいう。以下同じ。）は、犬又は猫の引取りをその所有者から求められたときは、これを引き取らなければならない。ただし、犬猫等販売業者から引取りを求められた場合その他の第七条第四項の規定の趣旨に照らして引取りを求める相当の事由がないと認められる場合として環境省令で定める場合には、その引取りを拒否することができる。

2 前項本文の規定により都道府県等が犬又は猫を引き取る場合には、都道府県知事等（都道府県等の長をいう。以下同じ。）は、その犬又は猫を引き取るべき場所を指定することができる。

3 第一項本文及び前項の規定は、都道府県等が所有者の判明しない犬又は猫の引取りをその拾得者その他の者から求められた場合に準用する。

4 都道府県知事等は、第一項本文（前項において準用する場合を含む。次項、第七項及び第八項において同じ。）の規定により引取りを行つた犬又は猫について、殺処分がな

くなることを目指して、所有者がいると推測されるものについてはその所有者を発見し、当該所有者に返還するよう努めるとともに、所有者がいないと推測されるもの、所有者から引取りを求められたもの又は所有者の発見ができないものについてはその飼養を希望する者を募集し、当該希望する者に譲り渡すよう努めるものとする。

- 5 都道府県知事は、市町村（特別区を含む。）の長（指定都市、中核市及び第一項の政令で定める市の長を除く。）に対し、第一項本文の規定による犬又は猫の引取りに関し、必要な協力を求めることができる。
- 6 都道府県知事等は、動物の愛護を目的とする団体その他の者に犬及び猫の引取り又は譲渡しを委託することができる。
- 7 環境大臣は、関係行政機関の長と協議して、第一項本文の規定により引き取る場合の措置に関し必要な事項を定めることができる。
- 8 国は、都道府県等に対し、予算の範囲内において、政令で定めるところにより、第一項本文の引取りに関し、費用の一部を補助することができる。

（負傷動物等の発見者の通報措置）

第三十六条 道路、公園、広場その他の公共の場所において、疾病にかかり、若しくは負傷した犬、猫等の動物又は犬、猫等の動物の死体を発見した者は、速やかに、その所有者が判明しているときは所有者に、その所有者が判明しないときは都道府県知事等に通報するように努めなければならない。

- 2 都道府県等は、前項の規定による通報があつたときは、その動物又はその動物の死体を収容しなければならない。
- 3 前条第七項の規定は、前項の規定により動物を収容する場合に準用する。

（犬及び猫の繁殖制限）

第三十七条 犬又は猫の所有者は、これらの動物がみだりに繁殖してこれに適正な飼養を受ける機会を与えることが困難となるようなおそれがあると認める場合には、その繁殖を防止するため、生殖を不能にする手術その他の措置をするように努めなければならない。

- 2 都道府県等は、第三十五条第一項本文の規定による犬又は猫の引取り等の際して、前項に規定する措置が適切になされるよう、必要な指導及び助言を行うように努めなければならない。

（動物愛護推進員）

第三十八条 都道府県知事等は、地域における犬、猫等の動物の愛護の推進に熱意と識見を有する者のうちから、動物愛護推進員を委嘱することができる。

- 2 動物愛護推進員は、次に掲げる活動を行う。
 - 一 犬、猫等の動物の愛護と適正な飼養の重要性について住民の理解を深めること。
 - 二 住民に対し、その求めに応じて、犬、猫等の動物がみだりに繁殖することを防止するための生殖を不能にする手術その他の措置に関する必要な助言をすること。
 - 三 犬、猫等の動物の所有者等に対し、その求めに応じて、これらの動物に適正な飼養を受ける機会を与えるために譲渡のあつせんその他の必要な支援をすること。
 - 四 犬、猫等の動物の愛護と適正な飼養の推進のために国又は都道府県等が行う施策に必要な協力をすること。
 - 五 災害時において、国又は都道府県等が行う犬、猫等の動物の避難、保護等に関する施策に必要な協力をすること。

（協議会）

第三十九条 都道府県等、動物の愛護を目的とする一般社団法人又は一般財団法人、獣医師の団体その他の動物の愛護と適正な飼養について普及啓発を行つている団体等は、当

該都道府県等における動物愛護推進員の委嘱の推進、動物愛護推進員の活動に対する支援等に関し必要な協議を行うための協議会を組織することができる。

第五章 雑則

(動物を殺す場合の方法)

第四十条 動物を殺さなければならない場合には、できる限りその動物に苦痛を与えない方法によつてしなければならない。

2 環境大臣は、関係行政機関の長と協議して、前項の方法に関し必要な事項を定めることができる。

(動物を科学上の利用に供する場合の方法、事後措置等)

第四十一条 動物を教育、試験研究又は生物学的製剤の製造の用その他の科学上の利用に供する場合には、科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用すること、できる限りその利用に供される動物の数を少なくすること等により動物を適切に利用することに配慮するものとする。

2 動物を科学上の利用に供する場合には、その利用に必要な限度において、できる限りその動物に苦痛を与えない方法によつてしなければならない。

3 動物が科学上の利用に供された後において回復の見込みのない状態に陥っている場合には、その科学上の利用に供した者は、直ちに、できる限り苦痛を与えない方法によつてその動物を処分しなければならない。

4 環境大臣は、関係行政機関の長と協議して、第二項の方法及び前項の措置に関しよるべき基準を定めることができる。

(獣医師による通報)

第四十一条の二 獣医師は、その業務を行うに当たり、みだりに殺されたと思われる動物の死体又はみだりに傷つけられ、若しくは虐待を受けたと思われる動物を発見したときは、都道府県知事その他の関係機関に通報するよう努めなければならない。

(表彰)

第四十一条の三 環境大臣は、動物の愛護及び適正な管理の推進に関し特に顕著な功績があると認められる者に対し、表彰を行うことができる。

(地方公共団体への情報提供等)

第四十一条の四 国は、動物の愛護及び管理に関する施策の適切かつ円滑な実施に資するよう、動物愛護担当職員の設置、動物愛護担当職員に対する動物の愛護及び管理に関する研修の実施、動物の愛護及び管理に関する業務を担当する地方公共団体の部局と都道府県警察の連携の強化、動物愛護推進員の委嘱及び資質の向上に資する研修の実施等に関し、地方公共団体に対する情報の提供、技術的な助言その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

(経過措置)

第四十二条 この法律の規定に基づき命令を制定し、又は改廃する場合には、その命令で、その制定又は改廃に伴い合理的に必要と判断される範囲内において、所要の経過措置（罰則に関する経過措置を含む。）を定めることができる。

(審議会の意見の聴取)

第四十三条 環境大臣は、基本指針の策定、第七条第七項、第十二条第一項、第二十一条第一項（第二十四条の四において準用する場合を含む。）、第二十七条第一項第一号若しくは第四十一条第四項の基準の設定、第二十五条第一項若しくは第三項の事態の設定又は第三十五条第七項（第三十六条第三項において準用する場合を含む。）若しくは第四十条第二項の定めをしようとするときは、中央環境審議会の意見を聴かなければなら

ない。これらの基本指針、基準、事態又は定めを変更し、又は廃止しようとするときも、同様とする。

第六章 罰則

第四十四条 愛護動物をみだりに殺し、又は傷つけた者は、二年以下の懲役又は二百万円以下の罰金に処する。

2 愛護動物に対し、みだりに、給餌若しくは給水をやめ、酷使し、又はその健康及び安全を保持することが困難な場所に拘束することにより衰弱させること、自己の飼養し、又は保管する愛護動物であつて疾病にかかり、又は負傷したものの適切な保護を行わないこと、排せつ物の堆積した施設又は他の愛護動物の死体が放置された施設であつて自己の管理するものにおいて飼養し、又は保管することその他の虐待を行つた者は、百万円以下の罰金に処する。

3 愛護動物を遺棄した者は、百万円以下の罰金に処する。

4 前三項において「愛護動物」とは、次の各号に掲げる動物をいう。

- 一 牛、馬、豚、めん羊、山羊、犬、猫、いえうさぎ、鶏、いばと及びあひる
- 二 前号に掲げるものを除くほか、人が占有している動物で哺乳類、鳥類又は爬虫類に属するもの

第四十五条 次の各号のいずれかに該当する者は、六月以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

- 一 第二十六条第一項の規定に違反して許可を受けないで特定動物を飼養し、又は保管した者
- 二 不正の手段によつて第二十六条第一項の許可を受けた者
- 三 第二十八条第一項の規定に違反して第二十六条第二項第二号又は第四号から第七号までに掲げる事項を変更した者

第四十六条 次の各号のいずれかに該当する者は、百万円以下の罰金に処する。

- 一 第十条第一項の規定に違反して登録を受けないで第一種動物取扱業を営んだ者
- 二 不正の手段によつて第十条第一項の登録（第十三条第一項の登録の更新を含む。）を受けた者
- 三 第十九条第一項の規定による業務の停止の命令に違反した者
- 四 第二十三条第三項又は第三十二条の規定による命令に違反した者

第四十六条の二 第二十五条第二項又は第三項の規定による命令に違反した者は、五十万円以下の罰金に処する。

第四十七条 次の各号のいずれかに該当する者は、三十万円以下の罰金に処する。

- 一 第十四条第一項から第三項まで、第二十四条の二、第二十四条の三第一項又は第二十八条第三項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした者
- 二 第二十二条の六第三項の規定による命令に違反して、検案書又は死亡診断書を提出しなかつた者
- 三 第二十四条第一項（第二十四条の四において読み替えて準用する場合を含む。）又は第三十三条第一項の規定による報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又はこれらの規定による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避した者
- 四 第二十四条の四において読み替えて準用する第二十三条第三項の規定による命令に違反した者

第四十八条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、第四十四条から前条までの違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人に対して次の各号に定める罰金刑を、その人に対して各本条の罰金刑を科する。

一 第四十五条 五千万円以下の罰金刑

二 第四十四条又は前三条 各本条の罰金刑

第四十九条 次の各号のいずれかに該当する者は、二十万円以下の過料に処する。

一 第十六条第一項（第二十四条の四において準用する場合を含む。）、第二十二条の六第二項又は第二十四条の三第二項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした者

二 第二十二条の六第一項の規定に違反して、帳簿を備えず、帳簿に記載せず、若しくは虚偽の記載をし、又は帳簿を保存しなかつた者

第五十条 第十八条の規定による標識を掲げない者は、十万円以下の過料に処する。

附 則 抄

（施行期日）

1 この法律は、公布の日から起算して六月を経過した日から施行する。

（罰則に関する経過措置）

5 この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則 （昭和五八年一月二日法律第八〇号） 抄

（施行期日）

1 この法律は、総務庁設置法（昭和五十八年法律第七十九号）の施行の日から施行する。

（経過措置）

6 この法律に定めるもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置は、政令で定めることができる。

附 則 （平成十一年七月一六日法律第八七号） 抄

（施行期日）

第一条 この法律は、平成十二年四月一日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 第一条中地方自治法第二百五十条の次に五条、節名並びに二款及び款名を加える改正規定（同法第二百五十条の九第一項に係る部分（両議院の同意を得ることに係る部分に限る。）に限る。）、第四十条中自然公園法附則第九項及び第十項の改正規定

（同法附則第十項に係る部分に限る。）、第二百四十四条の規定（農業改良助長法第十四条の三の改正規定に係る部分を除く。）並びに第四百七十二條の規定（市町村の合併の特例に関する法律第六条、第八条及び第十七条の改正規定に係る部分を除く。）並びに附則第七条、第十条、第十二条、第五十九条ただし書、第六十条第四項及び第五項、第七十三条、第七十七条、第一百五十七条第四項から第六項まで、第一百六十条、第一百六十三条、第一百六十四条並びに第二百二条の規定 公布の日

（国等の事務）

（国等の事務）

第百五十九条 この法律による改正前のそれぞれの法律に規定するもののほか、この法律の施行前において、地方公共団体の機関が法律又はこれに基づく政令により管理し又は執行する国、他の地方公共団体その他公共団体の事務（附則第百六十一条において「国等の事務」という。）は、この法律の施行後は、地方公共団体が法律又はこれに基づく政令により当該地方公共団体の事務として処理するものとする。

（不服申立てに関する経過措置）

第百六十一条 施行日前にされた国等の事務に係る処分であつて、当該処分をした行政庁（以下この条において「処分庁」という。）に施行日前に行政不服審査法に規定する上級行政庁（以下この条において「上級行政庁」という。）があつたものについての同法による不服申立てについては、施行日以後においても、当該処分庁に引き続き上級行政

庁があるものとみなして、行政不服審査法の規定を適用する。この場合において、当該処分庁の上級行政庁とみなされる行政庁は、施行日前に当該処分庁の上級行政庁であった行政庁とする。

- 2 前項の場合において、上級行政庁とみなされる行政庁が地方公共団体の機関であるときは、当該機関が行政不服審査法の規定により処理することとされる事務は、新地方自治法第二条第九項第一号に規定する第一号法定受託事務とする。

(手数料に関する経過措置)

第百六十二条 施行日前においてこの法律による改正前のそれぞれの法律（これに基づく命令を含む。）の規定により納付すべきであった手数料については、この法律及びこれに基づく政令に別段の定めがあるもののほか、なお従前の例による。

(罰則に関する経過措置)

第百六十三条 この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

(その他の経過措置の政令への委任)

第百六十四条 この附則に規定するもののほか、この法律の施行に伴い必要な経過措置（罰則に関する経過措置を含む。）は、政令で定める。

(検討)

第二百五十条 新地方自治法第二条第九項第一号に規定する第一号法定受託事務については、できる限り新たに設けることのないようにするとともに、新地方自治法別表第一に掲げるもの及び新地方自治法に基づく政令に示すものについては、地方分権を推進する観点から検討を加え、適宜、適切な見直しを行うものとする。

第二百五十一条 政府は、地方公共団体が事務及び事業を自主的かつ自立的に執行できるよう、国と地方公共団体との役割分担に応じた地方税財源の充実確保の方途について、経済情勢の推移等を勘案しつつ検討し、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

附 則 （平成十一年七月一六日法律第一〇二号） 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、内閣法の一部を改正する法律（平成十一年法律第八十八号）の施行の日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 略

二 附則第十条第一項及び第五項、第十四条第三項、第二十三条、第二十八条並びに第三十条の規定 公布の日

(委員等の任期に関する経過措置)

第二十八条 この法律の施行の日の前日において次に掲げる従前の審議会その他の機関の会長、委員その他の職員である者（任期の定めのない者を除く。）の任期は、当該会長、委員その他の職員の任期を定めたそれぞれの法律の規定にかかわらず、その日に満了する。

一から五十七 略

五十八 動物保護審議会

(別に定める経過措置)

第三十条 第二条から前条までに規定するもののほか、この法律の施行に伴い必要となる経過措置は、別に法律で定める。

附 則 （平成十一年一月二二日法律第一六〇号） 抄

(施行期日)

第一条 この法律（第二条及び第三条を除く。）は、平成十三年一月六日から施行する。

ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

- 一 第九百九十五条（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の一部を改正する法律附則の改正規定に係る部分に限る。）、第千三百五条、第千三百六条、第千三百二十四条第二項、第千三百二十六条第二項及び第千三百四十四条の規定 公布の日

附 則 （平成十一年一月二日法律第二二一号） 抄

（施行期日）

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、附則第三条の規定は、公布の日から施行する。

（検討）

第二条 政府は、この法律の施行後五年を目途として、国、地方公共団体等における動物の愛護及び管理に関する各種の取組の状況等を勘案して、改正後の動物の愛護及び管理に関する法律の施行の状況について検討を加え、動物の適正な飼養及び保管の観点から必要があると認めるときは、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

（施行前の準備）

第三条 改正後の第十一条第一項の基準の設定及び改正後の第十五条第一項の事態の設定については、内閣総理大臣は、この法律の施行前においても動物保護審議会に諮問することができる。

（経過措置）

第四条 この法律の施行の際現に改正後の第八条第一項に規定する飼養施設を設置して同項に規定する動物取扱業を営んでいる者は、当該飼養施設を設置する事業所ごとに、この法律の施行の日から六十日以内に、総理府令で定めるところにより、同条第二項に規定する書類を添付して、同条第一項各号に掲げる事項を都道府県知事（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市にあっては、その長とする。）に届け出なければならない。

- 2 前項の規定による届出をした者は、改正後の第八条第一項の規定による届出をした者とみなす。
- 3 第一項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした者は、二十万円以下の罰金に処する。
- 4 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、前項の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対して同項の刑を科する。

附 則 （平成一七年六月二日法律第六八号）

（施行期日）

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次条及び附則第三条の規定は、公布の日から施行する。

（施行前の準備）

第二条 環境大臣は、この法律の施行前においても、この法律による改正後の動物の愛護及び管理に関する法律（以下「新法」という。）第五条第一項から第三項まで及び第四十三条の規定の例により、動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針を定めることができる。

- 2 環境大臣は、前項の基本的な指針を定めたときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

- 3 第一項の規定により定められた基本的な指針は、この法律の施行の日（以下「施行日」という。）において新法第五条第一項及び第二項の規定により定められた基本指針とみなす。

第三条 新法第十二条第一項、第二十一条第一項及び第二十七条第一項第一号の基準の設定については、環境大臣は、この法律の施行前においても、中央環境審議会の意見を聴くことができる。

（経過措置）

第四条 この法律の施行の際現に新法第十条第一項に規定する動物取扱業（以下単に「動物取扱業」という。）を営んでいる者（次項に規定する者及びこの法律による改正前の動物の愛護及び管理に関する法律（以下「旧法」という。）第八条第一項の規定に違反して同項の規定による届出をしていない者（旧法第十四条の規定に基づく条例の規定に違反して同項の規定による届出に代わる措置をとっていない者を含む。）を除く。）

は、施行日から一年間（当該期間内に新法第十二条第一項の規定による登録を拒否する処分があったときは、当該処分のあった日までの間）は、新法第十条第一項の登録を受けなくても、引き続き当該業を営むことができる。その者がその期間内に当該登録の申請をした場合において、その期間を経過したときは、その申請について登録又は登録の拒否の処分があるまでの間も、同様とする。

- 2 前項の規定は、この法律の施行の際現に動物の飼養又は保管のための施設を設置することなく動物取扱業を営んでいる者について準用する。この場合において、同項中「引き続き当該業」とあるのは、「引き続き動物の飼養又は保管のための施設を設置することなく当該業」と読み替えるものとする。

- 3 第一項（前項において準用する場合を含む。）の規定により引き続き動物取扱業を営むことができる場合においては、その者を当該業を営もうとする事業所の所在地を管轄する都道府県知事（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市にあっては、その長とする。次条第三項において同じ。）の登録を受けた動物取扱業者とみなして、新法第十九条第一項（登録の取消しに係る部分を除く。）及び第二項、第二十一条、第二十三条第一項及び第三項並びに第二十四条の規定（これらの規定に係る罰則を含む。）を適用する。

第五条 この法律の施行の際現に旧法第十六条の規定に基づく条例の規定による許可を受けて新法第二十六条第一項に規定する特定動物（以下単に「特定動物」という。）の飼養又は保管を行っている者は、施行日から一年間（当該期間内に同項の許可に係る申請について不許可の処分があったときは、当該処分のあった日までの間）は、同項の許可を受けなくても、引き続き当該特定動物の飼養又は保管を行うことができる。その者がその期間内に当該許可の申請をした場合において、その期間を経過したときは、その申請について許可又は不許可の処分があるまでの間も、同様とする。

- 2 前項の規定は、同項の規定により引き続き特定動物の飼養又は保管を行うことができる者が当該特定動物の飼養又は保管のための施設の構造又は規模の変更（環境省令で定める軽微なものを除く。）をする場合その他環境省令で定める場合には、適用しない。

- 3 第一項の規定により引き続き特定動物の飼養又は保管を行うことができる場合においては、その者を当該特定動物の飼養又は保管のための施設の所在地を管轄する都道府県知事の許可を受けた者とみなして、新法第三十一条、第三十二条（第三十一条の規定に係る部分に限る。）及び第三十三条の規定（これらの規定に係る罰則を含む。）を適用する。

（罰則に関する経過措置）

第六条 この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

(政令への委任)

第七条 前三条に定めるもののほか、この法律の施行に関し必要となる経過措置は、政令で定める。

(条例との関係)

第八条 地方公共団体の条例の規定で、新法第三章第二節及び第四節で規制する行為で新法第六章で罰則が定められているものを処罰する旨を定めているものの当該行為に係る部分については、この法律の施行と同時に、その効力を失うものとする。

2 前項の規定により条例の規定がその効力を失う場合において、当該地方公共団体が条例で別段の定めをしないときは、その失効前にした違反行為の処罰については、その失効後も、なお従前の例による。

(検討)

第九条 政府は、この法律の施行後五年を目途として、新法の施行の状況について検討を加え、必要があると認めるときは、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

附 則 (平成一八年六月二日法律第五〇号) 抄

この法律は、一般社団・財団法人法の施行の日から施行する。

附 則 (平成二三年六月二四日法律第七四号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して二十日を経過した日から施行する。

附 則 (平成二三年八月三〇日法律第一〇五号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から施行する。

(罰則に関する経過措置)

第八十一条 この法律(附則第一条各号に掲げる規定にあつては、当該規定。以下この条において同じ。)の施行前にした行為及びこの附則の規定によりなお従前の例によることとされる場合におけるこの法律の施行後にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

(政令への委任)

第八十二条 この附則に規定するもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置(罰則に関する経過措置を含む。)は、政令で定める。

附 則 (平成二四年九月五日法律第七九号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次条及び附則第十二条の規定は、公布の日から施行する。

(施行前の準備)

第二条 この法律による改正後の動物の愛護及び管理に関する法律(以下「新法」という。)第十二条第一項及び第二十四条の四において準用する第二十一条第一項の基準の設定並びに第二十五条第三項の事態の設定については、環境大臣は、この法律の施行前においても、中央環境審議会の意見を聴くことができる。

(経過措置)

第三条 この法律の施行の際現にこの法律による改正前の動物の愛護及び管理に関する法律(以下「旧法」という。)第十条第一項の登録を受けている者は、当該登録に係る業

務の範囲内において、この法律の施行の日（以下「施行日」という。）に新法第十条第一項の登録を受けたものとみなす。

- 2 前項の規定により新法第十条第一項の登録を受けたものとみなされる者のうちこの法律の施行の際現に同条第三項に規定する犬猫等販売業を営んでいる者は、施行日から起算して三月以内に、環境省令で定めるところにより、同項各号に掲げる事項を記載した書類を都道府県知事（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市にあっては、その長とする。附則第八条第一項において同じ。）に届け出なければならない。
- 3 前項の規定による届出は、新法第十四条第一項の規定によりされたものとみなして、同条第四項の規定を適用する。
- 4 第二項の規定に違反した者は、新法第十四条第一項の規定に違反した者とみなして、新法第十九条第一項第六号の規定を適用する。

第四条 旧法第十条第一項の登録（旧法第十三条第一項の登録の更新を含む。）の申請をした者（登録の更新にあっては、この法律の施行後に旧法第十三条第三項に規定する登録の有効期間が満了する者を除く。）の当該申請に係る登録の基準については、なお従前の例による。

第五条 新法第十三条の規定の適用については、この法律の施行の際現に旧法第十条第一項の登録を受けている者は、附則第三条第一項の規定にかかわらず、その登録を受けた日において、新法第十条第一項の登録を受けたものとみなす。

第六条 この法律の施行の際現に旧法第十条第一項の登録を受けている者又はこの法律の施行前にした登録（旧法第十三条第一項の登録の更新を含む。）の申請に基づきこの法律の施行後に新法第十条第一項の登録を受けた者（登録の更新の場合にあっては、この法律の施行後に旧法第十三条第三項に規定する登録の有効期間が満了する者を除く。）に対する登録の取消しに関しては、この法律の施行前に生じた事由については、なお従前の例による。

第七条 施行日から起算して三年を経過する日までの間は、新法第二十二條の五中「五十六日」とあるのは、「四十五日」と読み替えるものとする。

- 2 前項に規定する期間を経過する日の翌日から別に法律で定める日までの間は、新法第二十二條の五中「五十六日」とあるのは、「四十九日」と読み替えるものとする。
- 3 前項の別に法律で定める日については、犬猫等販売業者（新法第十四条第三項に規定する犬猫等販売業者をいう。以下この項において同じ。）の業務の実態、マイクロチップを活用した調査研究の実施等による科学的知見の更なる充実を踏まえた犬や猫と人間が密接な社会的関係を構築するための親等から引き離す理想的な時期についての社会一般への定着の度合い及び犬猫等販売業者へのその科学的知見の浸透の状況、犬や猫の生年月日を証明させるための担保措置の充実の状況等を勘案してこの法律の施行後五年以内に検討するものとし、その結果に基づき、速やかに定めるものとする。

第八条 この法律の施行の際現に新法第十条第二項第六号に規定する飼養施設（新法第二十四条の二の環境省令で定めるものに限る。）を設置して新法第二十四条の二に規定する第二種動物取扱業を行っている者（新法第十条第一項の登録を受けるべき者及びこの法律の施行の際現に旧法第十条第一項の登録を受けている者並びにその取り扱っている動物の数が新法第二十四条の二の環境省令で定める数に満たない者を除く。）は、環境省令で定める場合を除き、当該飼養施設を設置している場所ごとに、施行日から六十日以内に、環境省令で定めるところにより、環境省令で定める書類を添えて、同条各号に掲げる事項を都道府県知事に届け出なければならない。

2 前項の規定による届出をした者は、新法第二十四条の二の規定による届出をした者とみなす。

第九条 附則第三条第二項又は前条第一項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした者は、三十万円以下の罰金に処する。

2 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、前項の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対して同項の刑を科する。

第十条 この法律の施行前に旧法又はこれに基づく命令の規定によりした処分、手続その他の行為は、この附則に別段の定めがあるものを除き、新法又はこれに基づく命令の相当の規定によりした処分、手続その他の行為とみなす。

第十一条 この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

第十二条 附則第二条から前条までに定めるもののほか、この法律の施行に関して必要な経過措置は、政令で定める。

(マイクロチップの装着等)

第十四条 国は、販売の用に供せられる犬、猫等にマイクロチップを装着することが当該犬、猫等の健康及び安全の保持に寄与するものであること等に鑑み、犬、猫等が装着すべきマイクロチップについて、その装着を義務付けることに向けて研究開発の推進及びその成果の普及、装着に関する啓発並びに識別に係る番号に関連付けられる情報を管理する体制の整備等のために必要な施策を講ずるものとする。

2 国は、販売の用に供せられる犬、猫等にマイクロチップを装着させるために必要な規制の在り方について、この法律の施行後五年を目途として、前項の規定により講じた施策の効果、マイクロチップの装着率の状況等を勘案し、その装着を義務付けることに向けて検討を加え、その結果に基づき、必要な措置を講ずるものとする。

(検討)

第十五条 政府は、この法律の施行後五年を目途として、新法の施行の状況について検討を加え、必要があると認めるときは、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

附 則 (平成二五年六月一二日法律第三七号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 第一条中絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律第一条、第二条第一項、第四十七条第二項及び第五十三条の改正規定並びに附則第五条、第六条及び第九条の規定 公布の日

附 則 (平成二五年六月一二日法律第三八号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

附 則 (平成二六年五月三〇日法律第四六号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

平成十四年法律第四十九号

身体障害者補助犬法

目次

第一章 総則（第一条・第二条）第二章 身体障害者補助犬の訓練（第三条—第五条）第三章 身体障害者補助犬の使用に係る適格性（第六条）第四章 施設等における身体障害者補助犬の同伴等（第七条—第十四条）第五章 身体障害者補助犬に関する認定等（第十五条—第二十条）第六章 身体障害者補助犬の衛生の確保等（第二十一条—第二十四条）第七章 雑則（第二十五条・第二十六条）第八章 罰則（第二十七条）

附則

第一章 総則

（目的）

第一条 この法律は、身体障害者補助犬を訓練する事業を行う者及び身体障害者補助犬を使用する身体障害者の義務等を定めるとともに、身体障害者が国等が管理する施設、公共交通機関等を利用する場合において身体障害者補助犬を同伴することができるようにするための措置を講ずること等により、身体障害者補助犬の育成及びこれを使用する身体障害者の施設等の利用の円滑化を図り、もって身体障害者の自立及び社会参加の促進に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「身体障害者補助犬」とは、盲導犬、介助犬及び聴導犬をいう。

2 この法律において「盲導犬」とは、道路交通法（昭和三十五年法律第百五号）第十四条第一項に規定する政令で定める盲導犬であって、第十六条第一項の認定を受けているものをいう。

3 この法律において「介助犬」とは、肢体不自由により日常生活に著しい支障がある身体障害者のために、物の拾い上げ及び運搬、着脱衣の補助、体位の変更、起立及び歩行の際の支持、扉の開閉、スイッチの操作、緊急の場合における救助の要請その他の肢体不自由を補う補助を行う犬であって、第十六条第一項の認定を受けているものをいう。

4 この法律において「聴導犬」とは、聴覚障害により日常生活に著しい支障がある身体障害者のために、ブザー音、電話の呼出音、その者と呼ぶ声、危険を意味する音等を聞き分け、その者に必要な情報を伝え、及び必要に応じ音源への誘導を行う犬であって、第十六条第一項の認定を受けているものをいう。

第二章 身体障害者補助犬の訓練

（訓練事業者の義務）

第三条 盲導犬訓練施設（身体障害者福祉法（昭和二十四年法律第二百八十三号）第三十三条に規定する盲導犬訓練施設をいう。）を営む事業を行う者、介助犬訓練事業（同法第四条の二第三項に規定する介助犬訓練事業をいう。）を行う者及び聴導犬訓練

事業（同項に規定する聴導犬訓練事業をいう。）を行う者（以下「訓練事業者」という。）は、身体障害者補助犬としての適性を有する犬を選択するとともに、必要に応じ医療を提供する者、獣医師等との連携を確保しつつ、これを使用しようとする各身体障害者に必要とされる補助を適確に把握し、その身体障害者の状況に応じた訓練を行うことにより、良質な身体障害者補助犬を育成しなければならない。

- 2 訓練事業者は、障害の程度の増進により必要とされる補助が変化することが予想される身体障害者のために前項の訓練を行うに当たっては、医療を提供する者との連携を確保することによりその身体障害者について将来必要となる補助を適確に把握しなければならない。

第四条 訓練事業者は、前条第二項に規定する身体障害者のために身体障害者補助犬を育成した場合には、その身体障害者補助犬の使用状況の調査を行い、必要に応じ再訓練を行わなければならない。

（厚生労働省令への委任）

第五条 前二条に規定する身体障害者補助犬の訓練に関し必要な事項は、厚生労働省令で定める。

第三章 身体障害者補助犬の使用に係る適格性

第六条 身体障害者補助犬を使用する身体障害者は、自ら身体障害者補助犬の行動を適切に管理することができる者でなければならない。

第四章 施設等における身体障害者補助犬の同伴等

（国等が管理する施設における身体障害者補助犬の同伴等）

第七条 国等（国及び地方公共団体並びに独立行政法人（独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三十三号）第二条第一項に規定する独立行政法人をいう。）、特殊法人（法律により直接に設立された法人又は特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であつて、総務省設置法（平成十一年法律第九十一号）第四条第一項第九号の規定の適用を受けるものをいう。）その他の政令で定める公共法人をいう。以下同じ。）は、その管理する施設を身体障害者が利用する場合において身体障害者補助犬（第十二条第一項に規定する表示をしたものに限る。以下この項及び次項並びに次条から第十条までにおいて同じ。）を同伴することを拒んではならない。ただし、身体障害者補助犬の同伴により当該施設に著しい損害が発生し、又は当該施設を利用する者が著しい損害を受けるおそれがある場合その他のやむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

- 2 前項の規定は、国等の事業所又は事務所に勤務する身体障害者が当該事業所又は事務所において身体障害者補助犬を使用する場合について準用する。この場合において、同項ただし書中「身体障害者補助犬の同伴により当該施設に著しい損害が発生し、又は当該施設を利用する者が著しい損害を受けるおそれがある場合」とあるのは、「身体障害者補助犬の使用により国等の事業の遂行に著しい支障が生ずるおそれがある場合」と読み替えるものとする。

- 3 第一項の規定は、国等が管理する住宅に居住する身体障害者が当該住宅において身体障害者補助犬を使用する場合について準用する。

（公共交通機関における身体障害者補助犬の同伴）

第八条 公共交通事業者等（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成十八年法律第九十一号）第二条第四号に規定する公共交通事業者等をいう。以下同じ。）は、その管理する旅客施設（同条第五号に規定する旅客施設をいう。以下同じ。）及び旅客の運送を行うためその事業の用に供する車両等（車両、自動車、船舶及び航空機をいう。以下同じ。）を身体障害者が利用する場合において身体障害者補助犬を同伴することを拒んではならない。ただし、身体障害者補助犬の同伴により当該旅客

施設若しくは当該車両等に著しい損害が発生し、又はこれらを利用する者が著しい損害を受けるおそれがある場合その他のやむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

(不特定かつ多数の者が利用する施設における身体障害者補助犬の同伴)

第九条 前二条に定めるもののほか、不特定かつ多数の者が利用する施設を管理する者は、当該施設を身体障害者が利用する場合において身体障害者補助犬を同伴することを拒んではならない。ただし、身体障害者補助犬の同伴により当該施設に著しい損害が発生し、又は当該施設を利用する者が著しい損害を受けるおそれがある場合その他のやむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

(事業所又は事務所における身体障害者補助犬の使用)

第十条 障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和三十五年法律第百二十三号）第四十三条第一項の規定により算定した同項に規定する法定雇用障害者数が一人以上である場合の同項の事業主が雇用する同項の労働者の数のうち最小の数を勘案して政令で定める数以上の同項の労働者を雇用している事業主（国等を除く。）並びに当該事業主が同法第四十四条第一項の親事業主である場合の同項の子会社及び当該事業主が同法第四十五条第一項に規定する親事業主である場合の同項の関係会社（以下「障害者雇用事業主」という。）は、その事業所又は事務所に勤務する身体障害者が当該事業所又は事務所において身体障害者補助犬を使用することを拒んではならない。ただし、身体障害者補助犬の使用により当該障害者雇用事業主の事業の遂行に著しい支障が生ずるおそれがある場合その他のやむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

2 障害者雇用事業主以外の事業主（国等を除く。）は、その事業所又は事務所に勤務する身体障害者が当該事業所又は事務所において身体障害者補助犬を使用することを拒まないよう努めなければならない。

(住宅における身体障害者補助犬の使用)

第十一条 住宅を管理する者（国等を除く。）は、その管理する住宅に居住する身体障害者が当該住宅において身体障害者補助犬を使用することを拒まないよう努めなければならない。

(身体障害者補助犬の表示等)

第十二条 この章に規定する施設等（住宅を除く。）の利用等を行う場合において身体障害者補助犬を同伴し、又は使用する身体障害者は、厚生労働省令で定めるところにより、その身体障害者補助犬に、その者のために訓練された身体障害者補助犬である旨を明らかにするための表示をしなければならない。

2 この章に規定する施設等の利用等を行う場合において身体障害者補助犬を同伴し、又は使用する身体障害者は、その身体障害者補助犬が公衆衛生上の危害を生じさせるおそれがない旨を明らかにするため必要な厚生労働省令で定める書類を所持し、関係者の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(身体障害者補助犬の行動の管理)

第十三条 この章に規定する施設等の利用等を行う場合において身体障害者補助犬を同伴し、又は使用する身体障害者は、その身体障害者補助犬が他人に迷惑を及ぼすことがないようにその行動を十分管理しなければならない。

(表示の制限)

第十四条 何人も、この章に規定する施設等の利用等を行う場合において身体障害者補助犬以外の犬を同伴し、又は使用するときは、その犬に第十二条第一項の表示又はこれと紛らわしい表示をしてはならない。ただし、身体障害者補助犬となるため訓練中である犬又は第十六条第一項の認定を受けるため試験中である犬であつて、その旨が明示されているものについては、この限りでない。

第五章 身体障害者補助犬に関する認定等

(法人の指定)

第十五条 厚生労働大臣は、厚生労働省令で定めるところにより、身体障害者補助犬の種類ごとに、身体障害者補助犬の訓練又は研究を目的とする一般社団法人若しくは一般財団法人又は社会福祉法（昭和二十六年法律第四十五号）第三十一条第一項の規定により設立された社会福祉法人であつて、次条に規定する認定の業務を適切かつ確実に行うことができるものと認められるものを、その申請により、当該業務を行う者として指定することができる。

- 2 厚生労働大臣は、前項の規定による指定をしたときは、当該指定を受けた者（以下「指定法人」という。）の名称及び主たる事務所の所在地を公示しなければならない。
- 3 指定法人は、その名称又は主たる事務所の所在地を変更しようとするときは、あらかじめ、その旨を厚生労働大臣に届け出なければならない。
- 4 厚生労働大臣は、前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る事項を公示しなければならない。

(同伴に係る身体障害者補助犬に必要な能力の認定)

第十六条 指定法人は、身体障害者補助犬とするために育成された犬（当該指定法人が訓練事業者として自ら育成した犬を含む。）であつて当該指定法人に申請があつたものについて、身体障害者がこれを同伴して不特定かつ多数の者が利用する施設等を利用する場合において他人に迷惑を及ぼさないことその他適切な行動をとる能力を有すると認める場合には、その旨の認定を行わなければならない。

- 2 指定法人は、前項の規定による認定をした身体障害者補助犬について、同項に規定する能力を欠くこととなつたと認める場合には、当該認定を取り消さなければならない。

(改善命令)

第十七条 厚生労働大臣は、指定法人の前条に規定する認定の業務の適正な運営を確保するため必要があると認めるときは、当該指定法人に対し、その改善のために必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

(指定の取消し等)

第十八条 厚生労働大臣は、指定法人が前条の規定による命令に違反したときは、その指定を取り消すことができる。

- 2 厚生労働大臣は、前項の規定により指定を取り消したときは、その旨を公示しなければならない。

(報告の徴収等)

第十九条 厚生労働大臣は、指定法人の第十六条に規定する認定の業務の適正な運営を確保するため必要があると認めるときは、当該指定法人に対し、その業務の状況に関し必要な報告を求め、又はその職員に、当該指定法人の事業所又は事務所に立ち入り、その業務の状況に関し必要な調査若しくは質問をさせることができる。

- 2 前項の規定により立入調査又は質問をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係者の請求があるときは、これを提示しなければならない。
- 3 第一項の規定による立入調査及び質問の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

(厚生労働省令への委任)

第二十条 この章に定めるもののほか、指定法人及び身体障害者補助犬に関する認定に関し必要な事項は、厚生労働省令で定める。

第六章 身体障害者補助犬の衛生の確保等

(身体障害者補助犬の取扱い)

第二十一条 訓練事業者及び身体障害者補助犬を使用する身体障害者は、犬の保健衛生に関し獣医師の行う指導を受けるとともに、犬を苦しめることなく愛情をもって接すること等により、これを適正に取り扱わなければならない。

(身体障害者補助犬の衛生の確保)

第二十二条 身体障害者補助犬を使用する身体障害者は、その身体障害者補助犬について、体を清潔に保つとともに、予防接種及び検診を受けさせることにより、公衆衛生上の危害を生じさせないように努めなければならない。

(国民の理解を深めるための措置)

第二十三条 国及び地方公共団体は、教育活動、広報活動等を通じて、身体障害者の自立及び社会参加の促進のために身体障害者補助犬が果たす役割の重要性について国民の理解を深めるよう努めなければならない。

(国民の協力)

第二十四条 国民は、身体障害者補助犬を使用する身体障害者に対し、必要な協力をするよう努めなければならない。

第七章 雑則

(苦情の申出等)

第二十五条 身体障害者又は第四章に規定する施設等を管理する者（事業所又は事務所にあっては当該事業所又は事務所の事業主とし、公共交通事業者等が旅客の運送を行うためその事業の用に供する車両等にあっては当該公共交通事業者等とする。以下同じ。）は、当該施設等の所在地（公共交通事業者等が旅客の運送を行うためその事業の用に供する車両等にあっては、当該公共交通事業者等の営業所の所在地）を管轄する都道府県知事に対し、当該施設等における当該身体障害者による身体障害者補助犬の同伴又は使用に関する苦情の申出をすることができる。

2 都道府県知事は、前項の苦情の申出があったときは、その相談に応ずるとともに、当該苦情に係る身体障害者又は第四章に規定する施設等を管理する者に対し、必要な助言、指導等を行うほか、必要に応じて、関係行政機関の紹介を行うものとする。

3 都道府県知事は、第一項の苦情の申出を受けた場合において当該苦情を適切に処理するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長若しくは関係地方公共団体の長又は訓練事業者若しくは指定法人に対し、必要な資料の送付、情報の提供その他の協力を求めることができる。

(大都市等の特例)

第二十六条 前条の規定により都道府県知事の権限に属するものとされている事務は、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市（以下「指定都市」という。）及び同法第二百五十二条の二十二第一項の中核市（以下「中核市」という。）においては、指定都市又は中核市（以下「指定都市等」という。）の長が行う。この場合においては、前条の規定中都道府県知事に関する規定は、指定都市等の長に関する規定として指定都市等の長に適用があるものとする。

第八章 罰則

第二十七条 第十九条第一項の規定による報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入調査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をした場合には、その違反行為をした指定法人の役員又は職員は、二十万円以下の罰金に処する。

附 則

(施行期日)

第一条 この法律は、平成十四年十月一日から施行する。ただし、第二章の規定（介助犬又は聴導犬の訓練に係る部分に限る。）は平成十五年四月一日から、第九条の規定は同年十月一日から施行する。

（経過措置）

第一条の二 第十条第一項の規定の適用については、当分の間、同項中「第四十三条第一項」とあるのは、「附則第三条第二項の規定により読み替えて適用される同法第四十三条第一項」とする。

第二条 道路交通法第十四条第一項の盲導犬に関しては、当分の間、第五章の規定は、適用しない。この場合において、第二条第二項中「政令で定める盲導犬であつて、第十六条第一項の認定を受けているもの」とあるのは、「政令で定める盲導犬」とする。

第三条 肢体不自由又は聴覚障害により日常生活に著しい支障がある身体障害者は、第四章に規定する施設等の利用等を行う場合において、その者の補助を行う犬であつて第十六条第一項の認定を受けていないものを同伴し、又は使用するときは、平成十六年九月三十日までの間に限り、第十四条の規定にかかわらず、厚生労働省令で定めるところにより、その犬に「介助犬」又は「聴導犬」と表示をすることができる。

第四条 前三条に定めるもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置は、政令で定める。

（新たに身体障害者補助犬が行う補助以外の補助を行う犬が使用されることとなった場合の措置）

第五条 日常生活に著しい支障がある身体障害者の補助を行うため、新たに身体障害者補助犬が行う補助以外の補助を行う犬が使用されることとなった場合には、その使用の状況等を勘案し、身体障害者補助犬の制度の対象を拡大するために必要な法制上の措置が講ぜられるものとする。

（検討）

第六条 この法律の施行後三年を経過した場合においては、身体障害者補助犬の育成の状況、第四章に規定する施設等における身体障害者補助犬の同伴又は使用の状況その他この法律の施行の状況について検討が加えられ、その結果に基づいて必要な措置が講ぜられるものとする。

附 則 （平成一七年一月七日法律第一二三号） 抄

（施行期日）

第一条 この法律は、平成十八年四月一日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 附則第二十四条、第四十四条、第百一条、第百三条、第百六条から第百八条まで及び第百二十二条の規定 公布の日

二 第五条第一項（居宅介護、行動援護、児童デイサービス、短期入所及び共同生活援助に係る部分を除く。）、第三項、第五項、第六項、第九項から第十五項まで、第十七項及び第十九項から第二十二項まで、第二章第一節（サービス利用計画作成費、特定障害者特別給付費、特例特定障害者特別給付費、療養介護医療費、基準該当療養介護医療費及び補装具費の支給に係る部分に限る。）、第二十八条第一項（第二号、第四号、第五号及び第八号から第十号までに係る部分に限る。）及び第二項（第一号から第三号までに係る部分に限る。）、第三十二条、第三十四条、第三十五条、第三十六条第四項（第三十七条第二項において準用する場合を含む。）、第三十八条から第四十条まで、第四十一条（指定障害者支援施設及び指定相談支援事業者の指定に係る部分に限る。）、第四十二条（指定障害者支援施設等の設置者及び指定相談支援事業者に係る部分に限る。）、第四十四条、第四十五条、第四十六条第一項（指定相談支

援事業者に係る部分に限る。)及び第二項、第四十七条、第四十八条第三項及び第四項、第四十九条第二項及び第三項並びに同条第四項から第七項まで(指定障害者支援施設等の設置者及び指定相談支援事業者に係る部分に限る。)、第五十条第三項及び第四項、第五十一条(指定障害者支援施設及び指定相談支援事業者に係る部分に限る。)、第七十条から第七十二条まで、第七十三条、第七十四条第二項及び第七十五条(療養介護医療及び基準該当療養介護医療に係る部分に限る。)、第二章第四節、第三章、第四章(障害福祉サービス事業に係る部分を除く。)、第五章、第九十二条第一号(サービス利用計画作成費、特定障害者特別給付費及び特例特定障害者特別給付費の支給に係る部分に限る。)、第二号(療養介護医療費及び基準該当療養介護医療費の支給に係る部分に限る。)、第三号及び第四号、第九十三条第二号、第九十四条第一項第二号(第九十二条第三号に係る部分に限る。))及び第二項、第九十五条第一項第二号(第九十二条第二号に係る部分を除く。))及び第二項第二号、第九十六条、第一百条(サービス利用計画作成費、特定障害者特別給付費、特例特定障害者特別給付費、療養介護医療費、基準該当療養介護医療費及び補装具費の支給に係る部分に限る。)、第一百一十一条及び第一百十二条(第四十八条第一項の規定を同条第三項及び第四項において準用する場合に係る部分に限る。)並びに第一百四十四条並びに第一百五十一条第一項及び第二項(サービス利用計画作成費、特定障害者特別給付費、特例特定障害者特別給付費、療養介護医療費、基準該当療養介護医療費及び補装具費の支給に係る部分に限る。)並びに附則第十八条から第二十三条まで、第二十六条、第三十条から第三十三条まで、第三十五条、第三十九条から第四十三条まで、第四十六条、第四十八条から第五十条まで、第五十二条、第五十六条から第六十条まで、第六十二条、第六十五条、第六十八条から第七十条まで、第七十二条から第七十七条まで、第七十九条、第八十一条、第八十三条、第八十五条から第九十条まで、第九十二条、第九十三条、第九十五条、第九十六条、第九十八条から第一百条まで、第一百五十一条、第一百八条、第一百条、第一百十二条、第一百三十三条及び第一百五十一条の規定 平成十八年十月一日(罰則の適用に関する経過措置)

第二百一十一条 この法律の施行前にした行為及びこの附則の規定によりなお従前の例によることとされる場合におけるこの法律の施行後にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

(その他の経過措置の政令への委任)

第二百二十二条 この附則に規定するもののほか、この法律の施行に伴い必要な経過措置は、政令で定める。

附 則 (平成一八年六月二日法律第五〇号) 抄

この法律は、一般社団・財団法人法の施行の日から施行する。

附 則 (平成一八年六月二日法律第九一号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して六月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

附 則 (平成一九年一二月五日法律第一二六号)

この法律は、平成二十年四月一日から施行する。ただし、第七条第二項に後段を加える改正規定、第十条を改め、同条を同条第二項とし、同条に第一項として一項を加える改正規定及び附則の改正規定は、平成二十年十月一日から施行する。

附 則 (平成二三年六月二四日法律第七四号) 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して二十日を経過した日から施行する。

附 則 （平成二七年九月一一日法律第六六号）

（施行期日）

第一条 この法律は、平成二十八年四月一日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 附則第七条の規定 公布の日

二 第二条の規定（内閣府設置法第四条第一項に一号を加える改正規定、同法第四十条第一項中「子ども・子育て本部」の下に「、総合海洋政策推進事務局」を加える改正規定及び同法第四十一条の二の次に一条を加える改正規定に限る。）及び第二十九条の規定 平成三十年四月一日

平成二十年法律第八十三号

愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律

目次

第一章 総則（第一条—第四条）第二章 愛がん動物用飼料の製造等に関する規制（第五条—第十条）第三章 雑則（第十一条—第十七条）第四章 罰則（第十八条—第二十三条）

附則

第一章 総則

（目的）

第一条 この法律は、愛がん動物用飼料の製造等に関する規制を行うことにより、愛がん動物用飼料の安全性の確保を図り、もって愛がん動物の健康を保護し、動物の愛護に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「愛がん動物」とは、愛がんすることを目的として飼養される動物であって政令で定めるものをいう。

2 この法律において「愛がん動物用飼料」とは、愛がん動物の栄養に供することを目的として使用される物をいう。

3 この法律において「製造業者」とは、愛がん動物用飼料の製造（配合及び加工を含む。以下同じ。）を業とする者をいい、「輸入業者」とは、愛がん動物用飼料の輸入を業とする者をいい、「販売業者」とは、愛がん動物用飼料の販売を業とする者で製造業者及び輸入業者以外のものをいう。

（事業者の責務）

第三条 製造業者、輸入業者又は販売業者は、その事業活動を行うに当たって、自らが愛がん動物用飼料の安全性の確保について第一義的責任を有していることを認識して、愛がん動物用飼料の安全性の確保に係る知識及び技術の習得、愛がん動物用飼料の原材料の安全性の確保、愛がん動物の健康が害されることを防止するための愛がん動物用飼料の回収その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（国の責務）

第四条 国は、愛がん動物用飼料の安全性に関する情報の収集、整理、分析及び提供を図るよう努めなければならない。

第二章 愛がん動物用飼料の製造等に関する規制

（基準及び規格）

第五条 農林水産大臣及び環境大臣は、愛がん動物用飼料の使用が原因となって、愛がん動物の健康が害されることを防止する見地から、農林水産省令・環境省令で、愛がん動物用飼料の製造の方法若しくは表示につき基準を定め、又は愛がん動物用飼料の成分につき規格を定めることができる。

2 農林水産大臣及び環境大臣は、前項の規定により基準又は規格を設定し、改正し、又は廃止しようとするときは、農業資材審議会及び中央環境審議会の意見を聴かなければならない。

（製造等の禁止）

第六条 前条第一項の規定により基準又は規格が定められたときは、何人も、次に掲げる行為をしてはならない。

- 一 当該基準に合わない方法により、愛がん動物用飼料を販売（不特定又は多数の者に対する販売以外の授与及びこれに準ずるものとして農林水産省令・環境省令で定める授与を含む。以下同じ。）の用に供するために製造すること。
- 二 当該基準に合わない方法により製造された愛がん動物用飼料を販売し、又は販売の用に供するために輸入すること。
- 三 当該基準に合う表示がない愛がん動物用飼料を販売すること。
- 四 当該規格に合わない愛がん動物用飼料を販売し、又は販売の用に供するために製造し、若しくは輸入すること。

（有害な物質を含む愛がん動物用飼料の製造等の禁止）

第七条 農林水産大臣及び環境大臣は、次に掲げる愛がん動物用飼料の使用が原因となって、愛がん動物の健康が害されることを防止するため必要があると認めるときは、農産資材審議会及び中央環境審議会の意見を聴いて、製造業者、輸入業者又は販売業者に対し、当該愛がん動物用飼料の製造、輸入又は販売を禁止することができる。

- 一 有害な物質を含み、又はその疑いがある愛がん動物用飼料
- 二 病原微生物により汚染され、又はその疑いがある愛がん動物用飼料

2 農林水産大臣及び環境大臣は、前項の規定による禁止をしたときは、その旨を官報に公示しなければならない。

（廃棄等の命令）

第八条 製造業者、輸入業者又は販売業者が次に掲げる愛がん動物用飼料を販売した場合又は販売の用に供するために保管している場合において、当該愛がん動物用飼料の使用が原因となって、愛がん動物の健康が害されることを防止するため特に必要があると認めるときは、必要な限度において、農林水産大臣及び環境大臣は、当該製造業者、輸入業者又は販売業者に対し、当該愛がん動物用飼料の廃棄又は回収を図ることその他必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

- 一 第六条第二号から第四号までに規定する愛がん動物用飼料
- 二 前条第一項の規定による禁止に係る愛がん動物用飼料

（製造業者等の届出）

第九条 第五条第一項の規定により基準又は規格が定められた愛がん動物用飼料の製造業者又は輸入業者（農林水産省令・環境省令で定める者を除く。）は、農林水産省令・環境省令で定めるところにより、その事業の開始前に、次に掲げる事項を農林水産大臣及び環境大臣に届け出なければならない。

- 一 氏名及び住所（法人にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）
- 二 製造業者にあつては、当該愛がん動物用飼料を製造する事業場の名称及び所在地
- 三 販売業務を行う事業場及び当該愛がん動物用飼料を保管する施設の所在地
- 四 その他農林水産省令・環境省令で定める事項

2 新たに第五条第一項の規定により基準又は規格が定められたため前項に規定する製造業者又は輸入業者となった者は、農林水産省令・環境省令で定めるところにより、その基準又は規格が定められた日から三十日以内に、同項各号に掲げる事項を農林水産大臣及び環境大臣に届け出なければならない。

3 前二項の規定による届出をした者（次項及び第五項において「届出事業者」という。）は、その届出事項に変更を生じたときは、農林水産省令・環境省令で定めるとこ

るにより、その変更の日から三十日以内に、その旨を農林水産大臣及び環境大臣に届け出なければならない。その事業を廃止したときも、同様とする。

- 4 届出事業者が第一項又は第二項の規定による届出に係る事業の全部を譲り渡し、又は届出事業者について相続、合併若しくは分割（当該届出に係る事業の全部を承継させるものに限る。）があったときは、その事業の全部を譲り受けた者又は相続人（相続人が二人以上ある場合において、その全員の同意により事業を承継すべき相続人を選定したときは、その者）、合併後存続する法人若しくは合併により設立した法人若しくは分割によりその事業の全部を承継した法人は、その届出事業者の地位を承継する。
- 5 前項の規定により届出事業者の地位を承継した者は、農林水産省令・環境省令で定めるところにより、その承継の日から三十日以内に、その事実を証する書面を添えて、その旨を農林水産大臣及び環境大臣に届け出なければならない。

（帳簿の備付け）

第十条 第五条第一項の規定により基準又は規格が定められた愛がん動物用飼料の製造業者又は輸入業者は、帳簿を備え、当該愛がん動物用飼料を製造し、又は輸入したときは、農林水産省令・環境省令で定めるところにより、その名称、数量その他農林水産省令・環境省令で定める事項を記載し、これを保存しなければならない。

- 2 第五条第一項の規定により基準又は規格が定められた愛がん動物用飼料の製造業者、輸入業者又は販売業者は、帳簿を備え、当該愛がん動物用飼料を製造業者、輸入業者又は販売業者に譲り渡したときは、農林水産省令・環境省令で定めるところにより、その名称、数量、相手方の氏名又は名称その他農林水産省令・環境省令で定める事項を記載し、これを保存しなければならない。

第三章 雑則

（報告の徴収）

第十一条 農林水産大臣又は環境大臣は、この法律の施行に必要な限度において、製造業者、輸入業者若しくは販売業者又は愛がん動物用飼料の運送業者若しくは倉庫業者に対し、その業務に関し必要な報告を求めることができる。

- 2 次の各号に掲げる大臣は、前項の規定による権限を単独で行使したときは、速やかに、その結果をそれぞれ当該各号に定める大臣に通知するものとする。

一 農林水産大臣 環境大臣

二 環境大臣 農林水産大臣

（立入検査等）

第十二条 農林水産大臣又は環境大臣は、この法律の施行に必要な限度において、その職員に、製造業者、輸入業者若しくは販売業者又は愛がん動物用飼料の運送業者若しくは倉庫業者の事業場、倉庫、船舶、車両その他愛がん動物用飼料の製造、輸入、販売、輸送又は保管の業務に関係がある場所に立ち入り、愛がん動物用飼料、その原材料若しくは業務に関する帳簿、書類その他の物件を検査させ、関係者に質問させ、又は検査に必要な限度において愛がん動物用飼料若しくはその原材料を集取させることができる。ただし、愛がん動物用飼料又はその原材料を集取させるときは、時価によってその対価を支払わなければならない。

- 2 前項の規定により立入検査、質問又は集取（以下「立入検査等」という。）をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示しなければならない。
- 3 第一項の規定による立入検査等の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。
- 4 次の各号に掲げる大臣は、第一項の規定による権限を単独で行使したときは、速やかに、その結果をそれぞれ当該各号に定める大臣に通知するものとする。

一 農林水産大臣 環境大臣

二 環境大臣 農林水産大臣

5 農林水産大臣又は環境大臣は、第一項の規定により愛がん動物用飼料又はその原材料を集取させたときは、当該愛がん動物用飼料又はその原材料の検査の結果の概要を公表しなければならない。

(センターによる立入検査等)

第十三条 農林水産大臣は、前条第一項の場合において必要があると認めるときは、独立行政法人農林水産消費安全技術センター（以下「センター」という。）に、同項に規定する者の事業場、倉庫、船舶、車両その他愛がん動物用飼料の製造、輸入、販売、輸送又は保管の業務に関係がある場所に立ち入り、愛がん動物用飼料、その原材料若しくは業務に関する帳簿、書類その他の物件を検査させ、関係者に質問させ、又は検査に必要な限度において愛がん動物用飼料若しくはその原材料を集取させることができる。ただし、愛がん動物用飼料又はその原材料を集取させるときは、時価によってその対価を支払わなければならない。

2 農林水産大臣は、前項の規定によりセンターに立入検査等を行わせる場合には、センターに対し、立入検査等を行う期日、場所その他必要な事項を示してこれを実施すべきことを指示するものとする。

3 センターは、前項の規定による指示に従って第一項の規定による立入検査等を行ったときは、農林水産省令で定めるところにより、その結果を農林水産大臣に報告しなければならない。

4 農林水産大臣は、前項の規定による報告を受けたときは、速やかに、その内容を環境大臣に通知するものとする。

5 前条第二項及び第三項の規定は第一項の規定による立入検査等について、同条第五項の規定は第一項の規定による集取について、それぞれ準用する。

(センターに対する命令)

第十四条 農林水産大臣は、前条第一項の規定による立入検査等の業務の適正な実施を確保するため必要があると認めるときは、センターに対し、当該業務に関し必要な命令をすることができる。

(輸出用愛がん動物用飼料に関する特例)

第十五条 輸出用の愛がん動物用飼料については、政令で、この法律の一部の適用を除外し、その他必要な特例を定めることができる。

(権限の委任)

第十六条 この法律に規定する農林水産大臣の権限は、農林水産省令で定めるところにより、地方農政局長に委任することができる。

2 この法律に規定する環境大臣の権限は、環境省令で定めるところにより、地方環境事務所長に委任することができる。

(経過措置)

第十七条 この法律の規定に基づき命令を制定し、又は改廃する場合においては、その命令で、その制定又は改廃に伴い合理的に必要と判断される範囲内において、所要の経過措置（罰則に関する経過措置を含む。）を定めることができる。

第四章 罰則

第十八条 次の各号のいずれかに該当する者は、一年以下の懲役若しくは百万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

一 第六条の規定に違反した者

二 第七条第一項の規定による禁止に違反した者

三 第八条の規定による命令に違反した者

第十九条 次の各号のいずれかに該当する者は、三十万円以下の罰金に処する。

- 一 第九条第一項又は第二項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした者
- 二 第十一条第一項の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をした者
- 三 第十二条第一項又は第十三条第一項の規定による検査若しくは集取を拒み、妨げ、若しくは忌避し、又はこれらの規定による質問に対して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をした者

第二十条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、次の各号に掲げる規定の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人に対して当該各号に定める罰金刑を、その人に対して各本条の罰金刑を科する。

- 一 第十八条 一億円以下の罰金刑
- 二 前条 同条の罰金刑

第二十一条 第九条第三項又は第五項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした者は、二十万円以下の過料に処する。

第二十二条 第十四条の規定による命令に違反した場合には、その違反行為をしたセンターの役員は、二十万円以下の過料に処する。

第二十三条 第十条第一項又は第二項の規定に違反して、帳簿を備えず、帳簿に記載せず、若しくは虚偽の記載をし、又は帳簿を保存しなかった者は、十万円以下の過料に処する。

附 則 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次条及び附則第三条の規定は、公布の日から施行する。

(施行のために必要な準備)

第二条 第五条第一項の規定による基準又は規格の設定については、農林水産大臣及び環境大臣は、この法律の施行前においても、農業資材審議会及び中央環境審議会の意見を聴くことができる。

(政令への委任)

第三条 前条に規定するもののほか、この法律の施行に関して必要な経過措置は、政令で定める。

(検討)

第四条 政府は、この法律の施行後五年を経過した場合において、この法律の施行の状況を勘察し、必要があると認めるときは、この法律の規定について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

専門職短期大学 カリキュラム概念図【全科目】

(選):選択科目 *:演習・実技

資料22

学年	基礎科目	職業専門科目			展開科目	総合科目	
		講義	学内実習	臨地実習・学外			
3年次		動物口腔ケア論(選) 1 動物リハビリテーション論(選) 2 動物人間関係学 2 動物愛護・福祉と関連法規 1 産業・実験動物学 2 動物トータルライフ演習*(選) 1 小計 9	動物口腔ケア実習(選) 1 小計 1	臨地実習6(選) 5 臨地実習5(選) 5 臨地実習4 4 動物実習短期留学(選) - 研修・ボランティア活動(選) - 小計 14	ジェロントロジー(選) 2 少子高齢社会と人口問題(選) 1 死生学 2 産業論(選) 2 起業論(選) 2 消費者行動分析学(選) 2 IT社会論(選) 1 情報機器管理論(選) 1 災害・危機管理論(選) 2 医療安全 2 小計 17	動物トータルケア総合演習2* 1 小計 1	
	英語Ⅱ(選)* 1 コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ*(選) 1 生活とアート(選) 2 小計 4	動物臨床看護学(外科) 2 訪問動物看護学 2 動物看護ソーシャルワーク 2 動物薬理学 2 動物臨床栄養学 2 野生動物学 1 環境生物学(選) 1 動物トータルライフ環境論 2 コンパニオンドッグトレーニング論 2 動物飼育管理論 2 小計 18	動物臨床看護学(外科)実習 2 コンパニオンアニマルケア実習(応用) 3 コンパニオンドッグトレーニング実習 3 小計 8	臨地実習1 臨地実習2 1 臨地実習3 4 動物実習短期留学(選) - 研修・ボランティア活動(選) - 小計 5	社会福祉学(選) 2 高齢者心理(選) 2 小計 4	動物トータルケア総合演習1* 1 小計 1	
2年次		動物看護学概論 2 動物形態機能学 2 動物形態機能組織学 2 動物臨床看護学(基礎・内科) 2 動物生理・繁殖学 2 動物病理学 1 公衆衛生学 2 動物感染症学 2 動物臨床検査学 2 動物行動学 2 伴侶動物学 2 コンパニオンアニマルケア論 2 小計 23	動物形態機能学・組織学実習 1 動物臨床看護学(基礎・内科)実習 2 動物臨床検査学実習 1 コンパニオンアニマルケア実習(基礎) 3 小計 7	臨地実習1 臨地実習2 1 動物実習短期留学(選) 3 研修・ボランティア活動(選) 1 小計 5			
	生命倫理学 2 心理学(選) 2 社会学(選) 2 キャリアマネジメント(選) 2 コミュニケーション論(選) 2 英語Ⅰ* 2 コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ* 1 小計 13						
1年次							
10科目 17		28科目 50	8科目 16	8科目 24	12科目 21	2科目 2	68科目 130

開講科目の授業形態ごとの単位数

	講義・演習	実習	合計
必修	52	25	77
選択	38	15	53
合計	90	40	130

卒業要件

	単位数
必修	77
選択	基礎科目から10
	職業専門科目から5
	展開科目から15
合計	107

科目名 単位数

ヤマザキ動物看護専門職短期大学カリキュラムマップ

建学の精神

「生命への畏敬」「職業人としての自立」

教育理念 いのち

「生命を生きる」

【養成する人材像】 1 動物愛護の精神に則り、動物病院および動物関連産業において実務家として社会に貢献する人材
2 基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を備えた人材
3 豊かな人間性とグローバルな視野を身に付け、実践的、応用的能力を備えた人材

【教育目標】 1 生命を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を養う
2 幅広い視野と創造性を養う
3 動物看護師にふさわしい使命感と職業観を養う
4 地域社会に貢献する社会性を養う
5 和を重んじ社会人としての礼節を養う

卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護学短期大学士(専門職)の学位を授与する。

アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	教育課程			ディプロマ・ポリシー	想定される進路・就職先
		1年	2年	3年		
1. 本学の建学の精神及び教育理念に共感する者 2. 動物に深い理解と愛情を持ち、人と動物の豊かな共生社会を目指す者 3. 動物看護学に必要な専門知識と技術を学ぶための基礎学力を持つ者 4. 国際的視野に立ち、コミュニケーションを大切にする者	1 基礎科目では、人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を身に付け、生涯にわたり、自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を養う。	生命倫理学 心理学 社会学 キャリアマネジメント コミュニケーション論 英語 I * コンピューターリテラシー(情報処理) I *	英語 II * コンピューターリテラシー(情報処理) II * 生活とアート		1 動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。	動物病院・動物関連産業
	2 職業専門科目では、動物看護師に必要とされる理論的、実践的な能力を養う。	動物看護学概論 動物形態機能学 動物形態機能組織学 動物形態機能学・組織学実習 動物臨床看護学(基礎・内科) 動物臨床看護学(基礎・内科)実習 動物生理・繁殖学 動物病理学 公衆衛生学 動物感染症学 動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 動物行動学 伴侶動物学 コンパニオンアニマルケア論 コンパニオンアニマルケア実習(基礎) 臨地実習1 臨地実習2 動物実習短期留学	動物臨床看護学(外科) 動物臨床看護学(外科)実習 訪問動物看護学 動物看護ソーシャルワーク 動物薬理学 動物臨床栄養学 野生動物学 環境生物学 動物トータルライフ環境論 コンパニオンアニマルケア実習(応用) コンパニオンドッグトレーニング論 コンパニオンドッグトレーニング実習 動物飼育管理論 臨地実習3 臨地実習4	動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習 動物リハビリテーション論 動物人間関係学 動物愛護・福祉と関連法規 産業・実験動物学 動物トータルライフ演習 * 臨地実習5 臨地実習6	2 動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。	
	3 展開科目では、関連する他分野において動物看護師として創造的な役割を果たすために必要な応用的能力を養う。		社会福祉学 高齢者心理	ジェロントロジー 少子高齢社会と人口問題 死生学 産業論 起業論 消費者行動分析学 IT社会論 情報危機管理論 災害・危機管理論 医療安全	3 動物の在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。	
	4 総合科目では、修得した知識・技術等を総合し、動物看護師として課題解決力・創造力を養う。		動物トータルケア総合演習1*	動物トータルケア総合演習2*	4 動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。	

- 基礎科目
- 職業専門科目
- 展開科目
- 総合科目
- *:演習科目

○（仮称）ヤマザキ動物看護専門職短期大学専任教員定年規程

平成31年4月1日

制定

（趣旨）

第1条 この規程は、学校法人ヤマザキ学園就業規則第38条第1項の規定に基づき、（仮称）ヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）の専任の教授、准教授、講師及び助教（以下「専任教員」という。）の定年に関する事項を定める。

（定年の年齢）

第2条 本学専任教員の定年は、満65歳とする。

（退職金の支給）

第3条 定年により退職する者には、別に定めるところにより、退職金を支給する。

（専任教員の雇用の更新）

第4条 第2条の規定にかかわらず、教育・研究上必要と認める専任教員については、理事長が学長と協議の上、定年により退職した後、引き続き1年ごとに雇を更新することができるものとする。ただし、原則として雇を更新して勤務する最高の年齢は、満70歳とする。

2 前項の規定にかかわらず、理事会において特に必要があると認められる場合は、雇を更新して勤務する最高の年齢を延長することができる。

第5条 第2条の規定にかかわらず、本学が必要と認めて専任教員として採用した場合の当該専任教員についても、前条に定めるところによる。

（特任教授等）

第6条 第2条の規定にかかわらず、専任教員について特定分野の教育及び研究上特に必要と認めるときは、定年により退職した後、引き続き1年ごとに雇を更新し、特任教授、特任准教授又は特任講師（以下「特任教授等」という。）として再任用することができる。

2 前項の規定にかかわらず、65歳を超えて新たに専任教員として採用した場合の当該専任教員についても、前項に定める特任教授等として任用することができる。

3 特任教授等の任用に関し必要な事項は、別に定める。

（定年退職の日）

第7条 定年による退職の日は、当該年度の3月31日とする。

（規程の改廃）

第8条 この規程の改正及び廃止は、理事会の議を経て理事長が行う。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成32年3月31日までに第4条に定める年齢に達する者で、(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学設立に際して採用される専任教員については、第4条及び第5条の規定にかかわらず、その雇用を平成34年3月31日まで延長するものとする。

モデル犬クラブ会員一覧

都県名	区・市名		人数
東京都	1	世田谷区	121 名
	2	江東区	1 名
	3	目黒区	42 名
	4	大田区	103 名
	5	渋谷区	23 名
	6	品川区	55 名
	7	杉並区	3 名
	8	新宿区	2 名
	9	中野区	1 名
	10	港区	19 名
	11	稲城市	3 名
	12	あきる野市	3 名
	13	立川市	3 名
	14	多摩市	16 名
	15	八王子市	121 名
	16	調布市	1 名
	17	日野市	12 名
	18	町田市	45 名
	19	府中市	4 名
神奈川県	1	横浜市	1 名
	2	川崎市	2 名
	3	鎌倉市	1 名
	4	相模原市	49 名
	5	綾瀬市	2 名
	6	厚木市	1 名
	7	海老名市	1 名
埼玉県	1	川口市	21 名
合計			656 名

平成29年10月30日現在

株式会社ヤマザキ教育サポートより

動物看護 履修モデル(動物病院へ就職)

	1年次						2年次						3年次						
	前期			後期			前期			後期			前期			後期			
	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	
基礎科目	生命倫理学	必	2	社会学	選	2				生活とアート	選	2							
	心理学	選	2	キャリアマネジメント	選	2													
	英語 I	必	0	英語 I	必	2													
	コミュニケーション論	選	2																
	コンピューターリテラシー(情報処理) I	必	1																
職業専門科目	講義	動物看護学概論	必	2	動物形態機能組織学	必	2	動物臨床看護学(外科)	必	2	動物看護ソーシャルワーク	必	2	動物人間関係学	必	2	動物愛護・福祉と関連法規	必	1
		動物形態機能学	必	2	動物病理学	必	1	訪問動物看護学	必	2	動物臨床栄養学	必	2	産業・実験動物学	必	2			
		動物臨床看護学(基礎・内科)	必	2	動物感染症学	必	2	動物薬理学	必	2	野生動物学	必	1						
		動物生理・繁殖学	必	2	動物臨床検査学	必	2	動物トータルライフ環境論	必	2									
		公衆衛生学	必	2	動物行動学	必	2	コンパニオンドッグトレーニング論	必	2									
	実習	伴侶動物学	必	2			動物飼育管理論	必	2										
		コンパニオンアニマルケア論	必	2															
		動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物形態機能学・組織学実習	必	1	動物臨床看護学(外科)実習	必	0	動物臨床看護学(外科)実習	必	2						
		動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	2	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	0	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	3						
		動物臨床検査学実習	必	1	動物臨床検査学実習	必	1	コンパニオンドッグトレーニング実習	必	0	コンパニオンドッグトレーニング実習	必	3						
コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	必	0	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	必	3	臨地実習1/臨地実習2	必	1	臨地実習1/臨地実習2	必	4	臨地実習4	必	4	臨地実習5	選	5		
展開科目							社会福祉学	選	2	高齢者心理	選	2	ジェロントロジー	選	2	少子高齢社会と人口問題	選	1	
													災害・危機管理論	選	2	死生学	選	2	
															起業論	選	2		
															医療安全	選	2		
総合科目						動物トータルケア総合演習1	必	0	動物トータルケア総合演習1	必	1	動物トータルケア総合演習2	必	0	動物トータルケア総合演習2	必	1	合計単位数	
小計	—	21	—	23	—	15	—	22	—	12	—	14	107						

: 卒業に必要な選択科目

動物産業 履修モデル(動物関連企業へ就職)

	1年次						2年次						3年次						
	前期			後期			前期			後期			前期			後期			
	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	
基礎科目	生命倫理学	必	2	社会学	選	2	英語Ⅱ	選	1										
	心理学	選	2	キャリアマネジメント	選	2	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ	選	1										
	コミュニケーション論	選	2	英語Ⅰ	必	2													
	英語Ⅰ	必	0																
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ	必	1																
職業専門科目	講義	動物看護学概論	必	2	動物形態機能組織学	必	2	動物臨床看護学(外科)	必	2	動物看護ソーシャルワーク	必	2	動物人間関係学	必	2	動物愛護・福祉と関連法規	必	1
		動物形態機能学	必	2	動物病理学	必	1	訪問動物看護学	必	2	動物臨床栄養学	必	2	産業・実験動物学	必	2			
		動物臨床看護学(基礎・内科)	必	2	動物感染症学	必	2	動物薬理学	必	2	野生動物学	必	1						
		動物生理・繁殖学	必	2	動物臨床検査学	必	2	動物トータルライフ環境論	必	2									
		公衆衛生学	必	2	動物行動学	必	2	コンパニオンドックトレーニング論	必	2									
	伴侶動物学	必	2			動物飼育管理論	必	2											
	コンパニオンアニマルケア論	必	2																
	実習	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物形態機能学・組織学実習	必	1	動物臨床看護学(外科)実習	必	0	動物臨床看護学(外科)実習	必	2						
		動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	2	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	0	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	3						
		動物臨床検査学実習	必	0	動物臨床検査学実習	必	1	コンパニオンドックトレーニング実習	必	0	コンパニオンドックトレーニング実習	必	3						
コンパニオンアニマルケア実習(基礎)		必	0	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	必	3													
				臨地実習1/臨地実習2	必	1	臨地実習1/臨地実習2	必	1	臨地実習3	必	4	臨地実習4	必	4	臨地実習6	選	5	
展開科目						社会福祉学	選	2	高齢者心理	選	2	産業論	選	2	少子高齢社会と人口問題	選	1		
												災害・危機管理論	選	2	起業論	選	2		
														消費者行動分析学	選	2			
														IT社会論	選	1			
総合科目					動物トータルケア総合演習1	必	0	動物トータルケア総合演習1	必	1	動物トータルケア総合演習2	必	0	動物トータルケア総合演習2	必	1	合計単位数	107	
小計	—	21	—	23	—	17	—	20	—	12	—	14							

卒業に必要な選択科目

ヤマザキ動物看護専門職短期大学教育課程連携協議会規程（案）

（趣旨）

第1条 この規程は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学学則第5条第2項に定めるヤマザキ動物看護専門職短期大学教育課程連携協議会（以下「協議会」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

（協議会の構成員）

第2条 協議会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) ヤマザキ動物看護専門職短期大学長（以下「学長」という。）が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）の教員その他の職員
- (2) 動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ又はその他の動物関連産業に係る職業に就いている者又はこれらの職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者
- (3) 地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者
- (4) 臨地実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者
- (5) 本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者

（任期）

第3条 前条各号に規定する者の任期は、1年とし、再任を妨げない。

（議長）

第4条 協議会に議長を置く。

- 2 議長は、構成員の互選により選出するものとする。
- 3 議長は、協議会を招集し、協議会を主宰する。

（審議事項）

第5条 協議会は、次の各号に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

- (1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- (2) 産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

（協議会の開催）

第6条 協議会の開催は、過半数の構成員の出席を必要とする。

- 2 議長が必要と認める場合、構成員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

（審議結果の報告）

第7条 協議会で審議した事項に関しては、その結果または経過を学長に報告するものとする。

（規程の改廃）

第8条 この規程の改正及び廃止は、協議会及び教授会の意見を聴いて、学長が行う。

附 則（平成30年 月 日教授会承認）

この規程は、平成31年4月1日から制定施行する。

機械・器具一覧

科目	品名	点数
動物臨床看護学(基礎・内科)実習 動物臨床看護学(外科)実習 動物形態機能学・組織学実習 動物臨床検査学実習 動物口腔ケア実習	移動式姿勢矯正鏡	1
	トレッドミル式	1
	遠心分離機	4
	器械棚	1
	教師用実験台	2
	顕微鏡	127
	シャーカステン	1
	スツール	108
	実験台	18
	データプロジェクター	2
	油圧式診察台(体重計付)	1
	グルーミングテーブル(中)	1
	光学顕微鏡	1
	サイド実験台	1
	ドッグキットワン(ボクサー)	5
	コンパクトシーラー	3
	犬用補助輪	1
	カート	1
	注射モデル(犬頭部)	5
	注射モデル(犬前肢)	10
	マネキン(犬胴体)	1
	マネキン(犬頭部)	3
	マネキン(小型犬)	1
	マネキン(前肢)	1
	歯科用ポリッシャー	3
	除細動器	1
	超音波スケーラー	3
	電子天秤	2
	冷蔵庫	3
	ステンレスケージ	1
	ベビースケール	3
	屈折計	20
	喉頭鏡セット	1
	耳鏡セット	11
	小動物用自動輸液装置	8
	小動物用自動輸液装置ガートル台	8
	シリンジポンプ	1
	オートクレーブ滅菌機	3
	ライフモニター一式	2
	心電計	1
超音波エコー装置	2	
自動分包器	2	
小動物用麻酔器	1	
イソフルラン気化器	1	
人工呼吸器ベンチレータ	1	
小動物用油圧式診察台	1	
小動物用油圧式手術台	1	
心肺蘇生モデル犬	4	
心肺蘇生モデル猫	2	

機械・器具一覧

科目	品名	点数
	自動血球計算装置	3
	血清・生化学検査装置	2
	犬猫尿比重計	5
	小動物用眼圧計	1
	小動物用血圧計	1
	イヌ骨格(カニケン)	8
	実体顕微鏡	9
	冷凍庫	1
	超音波診断装置	1
	デジタルX線画像診断システム	1
	パソコン(mac)	2
	EOG滅菌器	1
	フジドライケム	1
	防護エプロン	2
	線防護ネックガード	2
	防護衣ハンガー	4
	防護手袋	4
	X線ポケット線量計	2
	手術用手洗いオートディスペンサー(壁掛)	1
	手術用薬液ディスペンサー(壁掛)	1
	オートブラシケース(壁掛)	1
	インキュベーター	1
	分析天秤	1
	マグネチックスターラー	1
	pH測定機	1
	ガラスpH電極	1
	蒸留水作成装置	1
	蒸留水作成装置UVスターターキット	1
	恒温槽	1
	高性能マイクローム	1
	歯科ユニット	4
	黒板、収納庫、AV機器等	91
コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	グルーミングテーブル(小)	15
コンパニオンアニマルケア実習(応用)	グルーミングテーブル(中)	15
	グルーミングテーブル(大)	8
	グルーミングテーブル(特大)	1
	昇降式グルーミングテーブル	1
	油圧式グルーミングテーブル(大)	3
	診察台(体重計付)	1
	スタンドドライヤー	7
	丸イス	53
	エアードライヤー	5
	洗濯乾燥機	2
	洗濯機	2
	掃除機	2
	ケージ	13
	シザー	8
	マヌカン犬	25
	黒板、収納庫、AV機器等	38

機械・器具一覧

科目	品名	点数
コンパニオンドッグトレーニング実習	収納庫、AV機器等	59
	掲示板	1
	黒板(移動式)	1
	サークル	2
	ステンレスケージ	2
	洗濯機	2
	掃除機	1
	パイプイス(机付)	49
	丸イス(緑)	78
	むだ吠え防止装置	1
	ステンレスラック	1
	流し台	1
	簡易テント	2
	簡易物置一式	1
	体重計	1
	防音犬舎	5
動物トータルライフ演習	カロリーアンサー	1
	ジュース	3
	ステンレス鍋	5
	塩分計	2
	スロークッカー	5
	ハンドブレンダー	3
その他	テーブル、椅子、収納庫、OA機器等	1,434
合計		2,402

標本一覧

No	品名
1	イヌ耳模型(プラスチック)
2	イヌ耳模型(プラスチック)
3	目模型(プラスチック)
4	目模型(プラスチック)
5	心臓模型(プラスチック)
6	心臓模型(プラスチック)
7	腎臓模型
8	犬頭蓋標本
9	犬頭蓋標本
10	フィラリア猫心臓模型
11	フィラリア犬心臓模型
12	フィラリア犬心臓模型
13	脊椎模型(プラスチック)
14	脊椎模型(プラスチック)
15	肘模型(プラスチック)
16	肘模型(プラスチック)
17	腰模型(プラスチック)
18	腰模型(プラスチック)
19	膝模型(プラスチック)
20	膝模型(プラスチック)
21	イヌ耳疾患模型
22	イヌ耳疾患模型
23	イヌ耳疾患模型
24	犬標本
25	犬筋肉モデル
26	犬筋肉モデル
27	ビーバー頭蓋
28	ビーバー頭蓋
29	ネコ頭蓋
30	ネコ頭蓋
31	ウサギ頭蓋
32	ボルゾイ頭蓋
33	猫骨格標本
34	プレーリードッグ模型
35	マゼランペンギン頭蓋
36	ウサギ頭蓋
37	アメリカンビーバー頭蓋
38	イヌ頭蓋
39	イヌ頭蓋
40	イヌ頭蓋
41	イヌ頭蓋
42	イヌ頭蓋
43	イヌ頭蓋
44	イヌ頭蓋
45	イヌ頭蓋
46	イヌ頭蓋
47	イヌ頭蓋
48	イヌ頭蓋
49	イヌ頭蓋
50	イヌ頭蓋

No	品名
51	イヌ頭蓋
52	イヌ頭蓋
53	イヌ頭蓋
54	イヌ頭蓋
55	イヌ頭蓋
56	イヌ頭蓋
57	イヌ頭蓋
58	イヌ頭蓋
59	イヌ頭蓋
60	イヌ頭蓋
61	イヌ頭蓋
62	イヌ頭蓋
63	イヌ頭蓋
64	イヌ頭蓋
65	イヌ頭蓋
66	イヌ頭蓋
67	イヌ頭蓋
68	イヌ頭蓋
69	イヌ頭蓋
70	イヌ頭蓋
71	イヌ頭蓋
72	イヌ頭蓋
73	ネコ歯科模型(透明)
74	ネコ歯科模型(透明)
75	イヌ歯科疾患模型(プラスチック)
76	イヌ歯科疾患模型(プラスチック)
77	ネコ歯科疾患模型(プラスチック)
78	ネコ歯科疾患模型(プラスチック)
79	イヌ歯科模型(透明)
80	イヌ歯科模型(透明)
81	イヌ歯科模型(透明)
82	イヌ歯科疾患模型(プラスチック)
83	サメ口蓋
84	イヌ椎骨模型
85	イヌ椎骨模型
86	イヌ椎骨模型
87	イヌ椎骨模型
88	イヌ椎骨模型
89	イヌ椎骨模型
90	イヌ椎骨模型
91	イヌ椎骨模型

研究用機器備品 設置場所一覧(案)

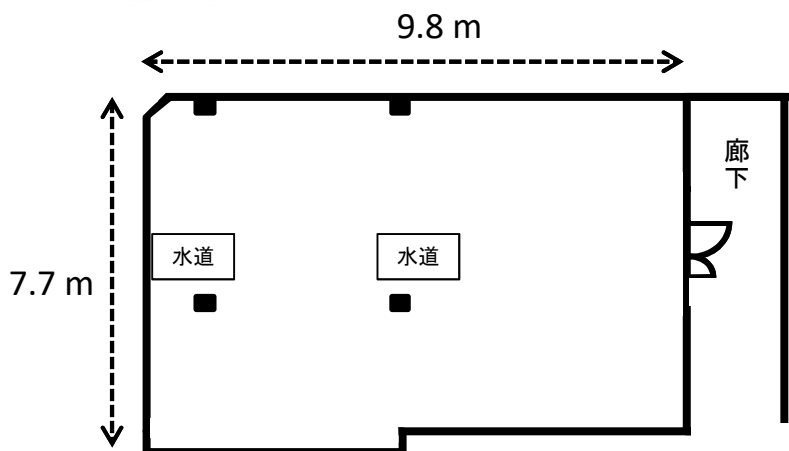
設置場所	研究分野	研究用機器備品
研究用実験室1	公衆衛生・防疫 動物臨床検査	高圧蒸気滅菌機
		インキュベーター
		薬用保冷库
		遠心分離機
		冷蔵保管庫
		実体顕微鏡
		卓上冷却遠心機
		耐震薬品庫薄型強化ガラス
		実験台
		ロッカー
		本棚
		キャビネット
		収納棚
		椅子
研究用実験室2	訪問動物看護 動物栄養	カロリーアンサー
		耐震薬品庫
		冷蔵ショーケース
		全自動製氷機
		小型超低温槽
		ヘマトクリット遠心分離機
		器具乾燥機
		セルタック
		生物顕微鏡
		血液生化学測定機器
		映像記録ビデオ
		三脚
		モニターテレビ
		実験台
		ロッカー
		本棚
		キャビネット
収納棚		
椅子		

レンタルラボ と 動物実験

- * 実験動物の専門機関である動物繁殖研究所が提供するレンタルラボです。
- * 動物の飼育を伴う実験(試験)にご利用ください。
- * 動物の飼育は当研究所がサポートすることも可能です。
- * レンタル期間や実験内容には柔軟に対応いたします。お気軽にご相談ください。



- ラットとマウスの実験が可能です。
- 動物の飼育は別棟のSPF飼育室になります。
- 当財団は(公社)日本実験動物協会の認証を取得しています。



住 所: 〒300-0134 茨城県かすみがうら市深谷1103

アクセス: JR常磐線神立駅よりタクシー10分(上野→神立 普通で1時間20分)
JR常磐線土浦駅よりタクシー30分(上野→土浦 特急で50分)

電 話: 029-897-0631

WEBサイト: <http://www.iar.or.jp>



技術受託サービス

- [▶ 系統維持・生産・供給](#)
- [▶ 各種動物実験\(non-GLP\)](#)
- [▶ 微生物クリーニング\(SPF化\)・発生工学技術](#)
- [▶ 無菌動物維持・作出](#)
- [▶ 施設クリーンアップ](#)
- [▶ レンタルラボ](#)**
 - [▶ 飼育環境](#)
 - [▶ レンタルラボの利用方法](#)
 - [▶ 充実のサポート体制](#)
- [▶ 微生物モニタリング](#)
- [▶ お問い合わせフォーム](#)

レンタルラボ



堅固なセキュリティと完璧な飼育環境により、お客様の貴重な実験動物および試験データをお守りすると共に信頼性の高い実験をお約束いたします。また、非常用発電の完備により、急な停電にも飼育環境を変化させることなく、維持することが可能となっています。

飼育環境

項目	基準値
温度	飼育室 : 20 ~ 26 °C (23±3°C)
湿度	飼育室 : 45 ~ 65 % (55±10 %)
差圧	5 Pa以上(飼育室内と廊下との差圧)
照度	130~325 Lx(ケージ内照度)
照明時間	点灯: 7:00 ~ 19:00 (12時間)
	消灯: 19:00 ~ 7:00 (12時間)
騒音	85dB以下
換気回数	10 回 / hr
塵埃	クラス10,000(動物が飼育されていない飼育室内)
臭気	アンモニア濃度20ppm以下

レンタルラボの利用方法



- お客様による動物実験の実施が可能となります。
- 各種測定機器等の弊社施設への持ち込みが可能となります。
- クリーンなエリアに飼育室5室を用意しております。
- 全飼育室で定期的な微生物モニタリング実施。

充実のサポート体制



- 専門スタッフ(実験動物技術者1級・2級)が以下の業務を全面的にサポートいたします。
- ケージ交換、給餌・給水、清掃消毒などの飼育管理業務全般をサポートいたします。
- 体重・摂餌・飲水量測定、一般状態観察、投与、剖検、手術など各種実験手技を代行いたします(実験手技に関しては別途費用が必要となります)。

▲このページのトップへ戻る

曜日	学年	クラス	1時限 9:10～10:40			2時限 10:50～12:20			3時限 13:10～14:40			4時限 14:50～16:20		
			科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員
月	1年	A 前半	英語 I	341	加藤剛	コンピューターリテラシー(情報処理) I	パソコン教室	近藤美保子	伴侶動物学	341	宮田淳嗣 早田由貴子 小嶋篤史	コミュニケーション論(選)	341	藤巻裕子
		A 後半	コンピューターリテラシー(情報処理) I	パソコン教室	近藤美保子	英語 I	341	加藤剛						
	2年	B	公衆衛生学	342	本田三緒子	伴侶動物学	342	富田淳嗣 早田由貴子 小嶋篤史	コミュニケーション論(選)	342	藤巻裕子			
		A	動物臨床看護学(外科)	351	高柳信子	動物飼育管理論	351	古川 力 堀井隆弘	訪問動物看護学	351	濱部有羽子			
	3年	B	動物飼育管理論	352	古川 力 堀井隆弘	動物臨床看護学(外科)	352	高柳信子				訪問動物看護学	352	濱部有羽子
		A				災害・危機管理論(選)	361 362	本田三緒子 福山貴昭	ジェロントロジー(選)	361 362	五十嵐靖博	産業論(選)	361 362	壘昭吉
B	災害・危機管理論(選)	361 362	本田三緒子 福山貴昭											
火	1年	A	動物臨床看護学(基礎・内科)実習				321 実習室②	花田道子 鈴木友子	動物生理・繁殖学	341	谷川力 鎌田壽彦			
		B				動物生理・繁殖学	342	谷川力 鎌田壽彦	動物臨床看護学(基礎・内科)実習			321 実習室②	花田道子 鈴木友子	
	2年	A	動物トータルライフ環境論	351	南村友紀 奥山健二 宮下めぐみ	コンピューターリテラシー(情報処理) II(選)	パソコン教室	近藤美保子	英語 II(選)	351	加藤剛	社会福祉学(選)	351	庄司拓也
		B	コンピューターリテラシー(情報処理) II(選)	パソコン教室	近藤美保子	動物トータルライフ環境論	352	南村友紀 奥山健二 宮下めぐみ	社会福祉学(選)	352	庄司拓也	英語 II(選)	352	加藤剛
	3年	A				動物人間関係学	341	山川伊津子	動物トータルケア総合演習2	361 362	藤村響男 井上留美			
		B				動物トータルケア総合演習2	361 362	藤村響男 井上留美	動物人間関係学	341	山川伊津子			
水	1年	A	公衆衛生学	341	本田三緒子	コンパニオンアニマルケア論	341	宮田淳嗣 高野八重子	生命倫理学	341	山北宣久			
		B 前半	英語 I	342	加藤剛	コンピューターリテラシー(情報処理) I	パソコン教室	近藤美保子	コンパニオンアニマルケア論	342	宮田淳嗣 高野八重子	342	山北宣久	
		B 後半	コンピューターリテラシー(情報処理) I	パソコン教室	近藤美保子	英語 I	342	加藤剛						
	2年	A				動物トータルケア総合演習1	351	山川伊津子 藤原恵利子	コンパニオンドッグトレーニング実習			体育館	山本央子	
		B	コンパニオンドッグトレーニング実習				体育館	山本央子	動物トータルケア総合演習1	351	山川伊津子 藤原恵利子			
	3年	A				動物リハビリテーション論(選)	352	本田三緒子 井上留美	動物口腔ケア論(選)	352	鈴木友子	産業・実験動物学	352	古川 力
B					動物口腔ケア論(選)	361 362	鈴木友子	産業・実験動物学	361 362	古川 力	動物リハビリテーション論(選)	361 362	本田三緒子 井上留美	
木	1年	A	動物形態機能学	341	本田三緒子	動物臨床看護学(基礎・内科)	341	花田道子	心理学(選)	341	加藤理絵	動物看護学概論	342	花田道子
		B	動物臨床看護学(基礎・内科)	342	花田道子	動物形態機能学	342	本田三緒子	動物看護学概論	342	花田道子	心理学(選)	342	加藤理絵
	2年	A	コンパニオンアニマルケア実習(応用)				301 実習室①	宮田淳嗣 早田由貴子	コンパニオンドッグトレーニング論	351	山本央子			
		B				コンパニオンドッグトレーニング論	352	山本央子	コンパニオンアニマルケア実習(応用)			301 実習室①	宮田淳嗣 早田由貴子	
	3年	A	動物トータルライフ演習(選)	351	荒木幸子 長岡恵									
		B				動物トータルライフ演習(選)	351	荒木幸子 長岡恵						
金	1年	A	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)				301 実習室①	宮田淳嗣						
		B							コンパニオンアニマルケア実習(基礎)			301 実習室①	宮田淳嗣	
	2年	A	動物臨床看護学(外科)実習				321 実習室②	高柳信子 井上留美				動物薬理学	351	藤村響男
		B	動物薬理学	351	藤村響男				動物臨床看護学(外科)実習			321 実習室②	高柳信子 井上留美	
	3年	A												
		B												

・「臨地実習1」/「臨地実習2」 1年 夏季休暇または春季休暇中に実施
 ・「臨地実習5」/「臨地実習6」(選) 3年 夏季休暇中に実施

・「臨地実習3」 2年 夏季休暇中に実施
 ・「動物実習短期留学」(選) 2・3年 通年開講

・「臨地実習4」 2年 春季休暇中実施
 ・「研修・ボランティア活動」(選) 1・2・3年 通年開講

平成33年度 ヤマザキ動物看護専門職短期大学 時間割(後期)

曜日	学年	クラス	1時限 9:10～10:40			2時限 10:50～12:20			3時限 13:10～14:40			4時限 14:50～16:20			
			科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	
月	1年	A 前半	英語 I	341	加藤剛				キャリアマネジメント	341	荒木幸子	動物行動学(選)	341	杉山尚子	
		A 後半				英語 I	341	加藤剛							
		B 前半	動物形態機能組織学	342	本田三緒子	キャリアマネジメント	342	荒木幸子	動物行動学(選)	342	杉山尚子				
		B 後半													
	2年	A	動物臨床栄養学	351	花田道子	動物トータルケア総合演習1	351	山川伊津子 藤原恵利子	生活とアート(選)	351	斎藤康介				
		B	動物トータルケア総合演習1	352	山川伊津子 藤原恵利子	動物臨床栄養学	352	花田道子				生活とアート(選)	352	斎藤康介	
3年	A							動物口腔ケア実習(選)			321 実習室②	鈴木友子			
	B	動物口腔ケア実習(選)					321 実習室②	鈴木友子							
火	1年	A	動物臨床看護学(基礎・内科)実習				321 実習室②	花田道子 鈴木友子	動物臨床検査学	341	藤原恵利子	動物形態機能組織学	341	本田三緒子	
		B	動物病理学	342	藤村響男	動物臨床検査学	342	藤原恵理子	動物臨床看護学(基礎・内科)実習			321 実習室②	花田道子 鈴木友子		
	2年	A	コンパニオンドッグトレーニング実習				体育館	山本央子							
		B							コンパニオンドッグトレーニング実習			体育館	山本央子		
	3年	A	起業論(選)	361 362	石渡浩	少子高齢社会と人口問題(選)	361 362	大西正行	死生学(選)	361 362	新島典子				
		B										死生学(選)	361 362	新島典子	
水	1年	A	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)				301 実習室①	宮田淳嗣	動物臨床検査学実習			371 実習室③	藤原恵利子 山村拓也		
		B	動物臨床検査学実習				371 実習室③	藤原恵利子 山村拓也	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)			301 実習室①	宮田淳嗣		
	2年	A							動物看護ソーシャルワーク	351	山川伊津子				
		B				動物看護ソーシャルワーク	352	山川伊津子							
	3年	A				情報危機管理論(選)	341	荒木幸子 近藤美保子	動物トータルケア総合演習2	361 362	藤村響男 井上留美				
		B				動物トータルケア総合演習2	361 362	藤村響男 井上留美	情報危機管理論(選)	341	荒木幸子 近藤美保子				
木	1年	A	動物形態機能学・組織学実習				371 実習室③	高柳信子 山村拓也							
		B							動物形態機能学・組織学実習			371 実習室③	高柳信子 山村拓也		
	2年	A	高齢者心理(選)	361 362	加藤理絵	野生動物学	351	天野卓				環境生物学(選)	361 362	谷川力	
		B				野生動物学	352	天野卓							
	3年	A				IT社会論(選)	361 362	竹田昌弘				医療安全(選)	361 362	今井達男	
		B							医療安全(選)	361 362	今井達男				
金	1年	A	動物病理学	341	藤村響男	動物感染症学	341	藤村響男	社会学(選)	341	新島典子				
		B 前半				英語 I	342	加藤剛	動物感染症学	342	藤村響男	社会学(選)	342	新島典子	
		B 後半	英語 I	342	加藤剛										
	2年	A	動物臨床看護学(外科)実習				321 実習室②	高柳信子 井上留美	コンパニオンアニマルケア実習(応用)			301 実習室①	宮田淳嗣 早田由貴子		
		B	コンパニオンアニマルケア実習(応用)				301 実習室①	宮田淳嗣 早田由貴子	動物臨床看護学(外科)実習			321 実習室②	高柳信子 井上留美		
	3年	A				消費者行動分析学(選)	361 362	杉山尚子				動物愛護・福祉と関連法規	361 362	菅野多恵	
B								動物愛護・福祉と関連法規	361 362	菅野多恵					

・「臨地実習1」/「臨地実習2」 1年 夏季休暇または春期休暇中に実施
 ・「臨地実習5」/「臨地実習6」(選) 3年 夏季休暇中に実施

・「臨地実習3」 2年 夏季休暇中に実施
 ・「動物実習短期留学」(選) 2・3年 通年開講

・「臨地実習4」 2年 春季休暇中実施
 ・「研修・ボランティア活動」(選) 1・2・3年 通年開講

ディプロマポリシー	能力	到達目標 (大項目)	到達目標 (小項目)	科目区分	該当科目	単位数	開講時期
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・動物看護師としての倫理を身に付ける。 ・潜在的・顕在的に疾病・障害をもつ動物の反応が理解できる。</p>	(1) 生命の尊さを学ぶ一方で、如何に判断し、行動すべきかを理解する。	<p>職業専門科目</p>	動物看護学概論	2	1前
			<p>(2) 生物学的構造や機能を知り、その面から対象動物を理解する。</p>		動物人間関係学	2	3前
					産業・実験動物学	2	
			<p>(3) 動物看護師は対象動物の観察から始まるため、動物の反応を正確および客観的に状況を理解する。</p>		動物愛護・福祉と関連法規	1	3後
					<p>(4) 動物看護師の目線で、ケアを前提として、疾病や障害や反応を客観的に把握する技量を持つ。</p>	動物形態機能学	2
動物生理・繁殖学	2						
<p>(5) 疾病の成り立ちを理解する。</p>	動物形態機能組織学	2	1後				
	動物形態機能学・組織学実習 (実習)	1					
<p>・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。 ・動物在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p>	<p>応用的能力</p>	<p>・修得した知識を応用して予測をふまえたケアプランが立てられる。 ・科学的なケア技術を修得し、工夫ができる。 ・飼い主への指導・相談技術を修得する。</p>	(1) 問題解決能力を持つ。	動物行動学	2	1前	
			<p>(2) 動物看護の創造力、今後の健康問題がどのように変化するかわからないかを理解する。</p>	伴侶動物学	2	1後	
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	動物飼育管理論	2	2前
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物臨床看護学 (基礎・内科)	2	1前
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	コンパニオンアニマルケア論	2	
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物臨床看護学 (基礎・内科) 実習	2	1通
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	動物臨床検査学	2	1後
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物臨床検査学実習	1	
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	動物病理学	1	1後
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物感染症学	2	
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	動物薬理学	2	2前
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物トータルライフ環境論	2	2前
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	訪問動物看護学	2	
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		コンパニオンドックトレーニング論	2	2後
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	動物看護ソーシャルワーク	2	
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		野生動物学	1	3前
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	環境生物学	1	
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物トータルライフ演習	2	1前
				<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	公衆衛生学	2	
			<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物臨床看護学 (外科)	2	2前
<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>	コンパニオンアニマルケア実習 (基礎)	3		1通			
	<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>	コンパニオンアニマルケア実習 (応用)	3				
<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>		動物臨床看護学 (外科) 実習	2	2通			
	<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>	動物臨床栄養学	2	2後			
<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>		動物リハビリテーション論	2	3前			
	<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>	動物口腔ケア論	1				
<p>(1) 科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術：再評価)</p>		コンパニオンドックトレーニング実習	3	2通			
	<p>(2) 合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>	動物口腔ケア実習	1	3後			

動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている科目（基礎科目・臨地実務実習・展開科目・総合科目編）

ディプロマポリシー	能力	目的	到達目標	科目区分	該当科目	単位数	開講時期		
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・社会的・職業的自立を図るために必要な能力に加え、生涯にわたり自らの資質を向上させるために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(1)生命の尊さを学ぶとともに、如何に判断し、行動すべきかを理解する。	<p>基礎科目</p>	生命倫理学	2	1前		
			心理学		2	1前			
			社会学		2	1後			
			キャリアマネジメント		2	1後			
			コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ		1	1前			
			コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ		1	2前			
			コミュニケーション論		2	1前			
			英語Ⅰ		2	1通			
			英語Ⅱ		1	2前			
			生活とアート		2	2後			
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・社会的・職業的自立を図るために必要な能力に加え、生涯にわたり自らの資質を向上させるために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(2)人生設計を行い、遂行する能力を身に付ける。	<p>基礎科目</p>	臨地実習1 シンパ・ドッグ・ビューティー	1	1後・2前		
			(3)現代社会に適応する能力を身に付ける。		臨地実習2 アニマル・メディカル・センター	1			
			(4)対人関係を円滑に行うために知識を身に付ける。		<p>臨地実務実習</p>	臨地実習3 動物病院	4	2後	
			(4)文化・教養を深める。			臨地実習4 動物関連企業	4	3前	
			(1)臨地実習1 1日の業務の流れを把握し、動物の取り扱い方、商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を習得する。			臨地実習5 動物病院（選択）	5	3後	
			臨地実習2 業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得する。			臨地実習6 動物関連企業（選択）	5	3後	
			(2)動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図る。			ジェロントロジー	2	3前	
			(3)スタッフとの適切なコミュニケーションを図る。また初任者レベルの顧客への対応をする。			社会福祉学	2	2前	
			(3)飼い主と市場をつなぐ動物看護師の役割を考える。			高齢者心理	2	2後	
			(4)これまでに学修した知識や実践力をもとに顧客への対応を学ぶ。			少子高齢社会と人口問題	1	3後	
<p>・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p> <p>・動物在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p> <p>・動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。</p>	<p>応用的能力</p>	<p>・特定の職業（職種）において必要とされる理論的かつ実践的能力に加え、当該職業の分野についてその分野全般にわたり必要な能力を育成することを目的とする。</p> <p>・専攻する特定の職業分野に関連する他分野の応用的能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(5)現代社会の高齢化に対応する。	<p>展開科目</p>		死生学	2	3後	
			(6)危機管理対策を考える。			IT社会論	1	3後	
			(7)動物関連産業の新たな分野を切り開く。		情報危機管理論	1	3後		
			<p>・修得した知識・技能等を総合し、実践的かつ応用的な、能力を総合的に高めることを目的とする。</p>		<p>総合科目</p>	<p>(8)知識・技能を総合し今後動物看護師に必要な能力を向上させる。</p>	災害・危機管理論	2	3前
							医療安全	2	3後
							産業論	2	3前
							起業論	2	3後
							消費者行動分析学	2	3前
							動物トータルケア総合演習1	2	2通
							動物トータルケア総合演習2	2	3通

80人クラスの担当者及び理由

- ・ 今般新たに設置する「**環境生物学**」担当者の専任実務家教員（研究・みなし教員）は、環境整備に関して日本で有数の企業において責任ある取締役の立場にある貴重な人材であり、授業内容には高い教育効果が認められることから、1クラス80人とする。
- ・ 「**ジェロントロジー**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得し、国際批判健康心理学会組織運営委員会委員等を務める傍ら、他の短期大学教授・図書館長等で活躍中の研究者である。この学問は新しい分野であり、研究者は日本では少数である。担当教員は学会の重鎮として第一人者である。
- ・ 「**少子高齢社会と人口問題**」担当者は、新聞社の経済部長、政治部長、社会部長、編集局次長を経て、取締役編集局長を務めた後、論説副主幹等を経て他大学の教授等として少子高齢化・人口減と絡めた地方創生等の講義を行い、名誉教授となった現在は日本自治創造学会会員としてメディア等で活躍している。学生に教育効果の高い講義である。
- ・ 「**高齢者心理**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得し、博士課程単位修得後に退学し、その後博士の学位を取得した。中学校・高等学校や大学のカウンセラーとして活躍する傍ら、大学の非常勤講師としてカウンセリング論等を講義してきた。「家族とライフサイクルの支援」等の研究業績がある。現在はヤマザキ動物看護大学の准教授であり、日本臨床心理学会、日本臨床死生学会等に所属して活躍中の研究者である。病院の緩和ケアチームで、傾聴ボランティアの経験を有する担当者が学生に講義する意義は大きなものがある。
- ・ 「**産業論**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得した後、研究機関の研究員を経て大学の学部・大学院の教授として産業経済論や中小企業論等の科目を担当し、中小企業や産業組織等の著書・論文・報告等を多数発表した。現在は研究所客員主幹研究員を務める傍ら、産業学会会員等として活躍している。産業の動向を考える上で教育効果の高い科目である。
- ・ 「**起業論**」担当者は、会社経営者である。修士課程において修士の学位取得後、直ちに、住宅関係の会社を起業し、その後は複数の企業を経営した経歴を持つ。不動産投資や企業のM&Aの実績を踏まえた著書があり、現在活躍中の経営者である。「起業論」担当の最適任者であり、本学の学生が講義を受けることの意義は大きなものがある。
- ・ 「**消費者行動分析学**」担当者は、修士課程を修了して学位を取得し、博士課程単位取得退学の後、他大学において准教授を経て教授となり、現在は大学院教授である。日本行動分析学会においては、理事、常任理事、事務局長等を歴任した、行動分析学の専門家であり、本学において講義をすることの意義は高い。
- ・ 「**IT 社会論**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得し、その前後に著名な民間企業に勤務した。他大学の助教授を経て教授に就任し、その間、海外の大学において客員研究員となる。現在は大学院の教授であり、コンピュータサイエンスと社会の関係を考える上で本学において講義をすることの意義は高い。

＜認定動物看護師のコアカリキュラム＞

認定動物看護師の受験資格は、動物看護師統一認定機構が推奨したコアカリキュラムに基づく「動物看護学」を教育する学科あるいはコースを有する専修学校専門課程あるいは大学において、認定動物看護師になるのに必要単位数または必要時間数を正規課程で修めた者に与えられる。

(一般財団法人 動物看護師統一認定機構 HP)

【動物認定看護師コアカリキュラム2018 対照表】									
認定動物看護師コアカリキュラム2018					ヤマザキ動物看護専門職短期大学科目				備考
分野	学修目標	授業科目(例)	時間数	機構準拠の 必要単位数	科目名	新 必/選	旧 必/選	単位数	
基礎 動物 看護 学	動物の体の構造と 機能を理解する	動物形態機能学	120	3	動物形態機能学	必		2	
		動物繁殖学	30	1	動物生理・繁殖学	必		2	
	疾病の成り立ちと 回復の促進に寄 与することを学ぶ	動物病理学	30	1	動物病理学	必		1	
		動物薬理学	60	1.5	動物薬理学	必		2	
		動物感染症学	90	2	動物感染症学	必		2	
応用 動物 看護 学	人と動物の調和に 関わることを学ぶ	動物看護学概論	60	1.5	動物看護学概論	必		2	
		動物医療関連法規	30	1	動物愛護・福祉と関連法規	必	選	1	
		公衆衛生学	60	1.5	公衆衛生学	必		2	
		人間動物関係学	30	1	動物人間関係学	必	選	2	
		動物福祉・倫理	30	1	生命倫理学	必		2	
		動物行動学	30	1	動物行動学	必	選	2	
	様々な動物の特 性と人との関わり を理解する	伴侶動物学	60	1.5	伴侶動物学	必	選	2	
		産業動物学	45	1	産業・実験動物学	必	選	2	
		実験動物学	15	0.5					
		野生動物学	30	1	野生動物学	必	選	1	
臨床 動物 看護 学	動物の臨床看護 に必要な知識を修 得する	動物内科看護学	30	1	動物臨床看護学(基礎・内科)	必		2	
		動物外科看護学	60	1.5	動物臨床看護学(外科)	必		2	
		動物臨床看護学総論	30	1	動物トータルライフ環境論 訪問動物看護学	必		2	
		動物臨床看護学各論	120	3	動物飼育管理論	必	選	2	
	動物病院業務に 必要な知識を修得 する	動物臨床栄養学	60	1.5	動物臨床栄養学	必		2	
		動物臨床検査学	60	1.5	動物臨床検査学	必		2	
		動物医療コミュニケーション	30	1	動物看護ソーシャルワーク	必	選	2	
実 習	修得した知識の実 践力を身に付ける	動物形態機能学実習	45	1	動物形態機能学・組織学実習	必		1	
		動物内科看護学実習	90	2	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必		2	
		動物臨床検査学実習	90	2	動物臨床検査学実習	必		1	
		動物外科看護学実習	90	2	動物臨床看護学(外科)実習	必		2	
		動物臨床看護学実習	45	1	臨地実習2	必		1	
		動物看護総合実習	180	4	臨地実習3	必		4	
計			1650	42				52	

①書類等の題名

資料 28-5. 「動物実習短期留学」及び「研修ボランティア活動」(1 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

Yamazaki Gakuen University 2017 動物実習短期留学 (パンフレット)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

【新】

授業科目	動物実習短期留学			担当教員	荒木幸子・加藤剛
科目英名	Short-term Animal Practical Training Abroad				
開講期間	2・3年次通年	選択科目 2 単位	科目区分	職業専門科目	
到達目標					
<p>早い時期に大陸として独立し、独自の生態系を有するに至ったオーストラリアは、近代においてヨーロッパ人の入植により広範で激的な生態系破壊とその対応と回復とを経験した国である。それゆえ、環境保護意識の非常に高い国であり、環境保護教育でも高い意識と実績を有している。オーストラリア最大規模の動物園である Australia Zoo は環境保護に大きな役割を果たしていることでも知られているが、この動物園が本学学生のために作るカスタム教育プログラムを中心として、現場で用いる実際的な英語によるレクチャー及び動物飼育体験の実習を通じて、動物の QOL に配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶ。</p>					
講義概要					
<p>事前学修として、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイングや動物実習短期留学体験者の講話により実習のポイント等を学んだ後、現地で多種多様な実習を体験する。渡航先では宿舎での共同生活等を通じ、学生や動物園スタッフらとの交流から多くを学ぶ。帰国後には事後学修として発表を行う。</p>					
授業計画					担当教員
1	事前学修 1 (国内) オリエンテーション (実習目的・内容と履修方法の理解)、英語テキストを用いて Australia Zoo について学ぶ				荒木・加藤
2	事前学修 2 (国内) Australia Zoo での動物実習短期留学体験者による講話、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイング				荒木・加藤
3	動物園実習 1 (海外) 施設案内と実習の概要説明等				荒木
4	動物園実習 2 (海外) 動物園付属野生動物病院見学、ワラビー、カンガルーの飼育管理実習				荒木
5	動物園実習 3 (海外) ハズバンドガリー訓練、サイ、キリン等の飼育管理実習				荒木
6	動物園実習 4 (海外) ワオキツネザル、ウォンバット等の飼育管理実習				荒木
7	動物園実習 5 (海外) オーストラリア動物園自然区における野生動物の観察実習				荒木
8	動物園実習 6 (海外) リクガメ、クロコダイル等の飼育管理実習				荒木
9	動物園演習 7 (海外) ディスカッションと実習総括				荒木
10	事後学修 1 (国内) 英語による実習報告書の作成 (グループワーク)				荒木・加藤
11	事後学修 2 (国内) 学生の代表による実習報告 (英語) 発表及び担当教員による講評				荒木・加藤
履修上の注意					
<p>海外での生活及び実習の受講に支障がない健康状態であること、定められた日程・実習先で求められる規律を遵守すること。社会情勢に応じて、また最低参加人数の充足により、開講が決定される。なお、本科目は海外での実習体験につき、旅費等を含めた別途費用が必要となる。午前・午後の授業計画は現地での状況により内容が変更になることがある。</p> <p>なお、動物園でのレクチャーや実習指導を理解できるレベルのリスニング、語彙力及び疑問点を質問するための英語表現力 (スピーキング等) は必要と言えるため、英語 I の成績が B 以上であり、かつ英語 II を履修することが本科目の履修の条件となる。また、夏季休業中にヤマザキ動物看護大学で実施される課外授業の英語集中事前講義 (ネイティブのゲストスピーカー) を原則全員が受講すること。留学前には「コミュニケーション論」、「動物臨床看護学 (基礎・内科)」、「動物生理・繁殖学」、「公衆衛生学」、「コンパニオンアニマルケア論」等を履修することとし、動物園での実習における衛生管理や動物の取り扱いに関する注意事項の事前指導を行う。</p>					
評価方法 (評価基準を含む)					
授業参加状況 70%、発表及びレポート 30%にて総合的に評価する。					
教科書					
適宜プリントおよび視聴覚教材を用いる。実習に関してはオリジナルテキストを配付する。					
参考書、教材等					
Rees 『動物園のつくり方ー入門動物園学』 (農林統計出版)、成島編 『大人のための動物園ガイド』 (養賢堂) ほか、適宜資料を配付する。					

①書類等の題名

資料 28-5. 「動物実習短期留学」及び「研修ボランティア活動」(3～4 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

Education Program Development Confirmation

教育プログラム開発契約書

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 28-5. 「動物実習短期留学」及び「研修ボランティア活動」(5 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

平成 29 年度 北海道国内研修 (パンフレット)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 28-5. 「動物実習短期留学」及び「研修ボランティア活動」(6 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

37th Yamazaki Gakuen U.S.A. Study Tour 2016 (パンフレット)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 28-5. 「動物実習短期留学」及び「研修ボランティア活動」(7 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

50 周年記念 38th Yamazaki Gakuen Australia Study Tour 2017 (パンフレット)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

【新】

授業科目	研修・ボランティア活動			担当教員	井上留美・山村拓也
科目英名	Volunteer Study & Activity				
開講期間	1・2・3年次	選択科目 1 単位	科目区分	総合科目	
到達目標					
<p>動物看護師は、飼い主がペットと安心して生活できる環境を提供する知識と能力を持つことが求められる。地域支援、高齢者支援、障害者支援、震災時支援、イヌやネコの譲渡会などで動物看護師としての活躍が求められている。この授業では、実際に研修（国内・国外）やボランティアに参加し、「飼い主と動物」を取り巻く環境に対して、専門職として介入する知識と能力を身に付けることを到達目標とする。</p>					
講義概要					
<p>本学が指定する研修とボランティアに参加することで、それらの意義や原則を理解することとする。主として「夏季休暇」等を利用した研修やボランティア活動を実践するとともに、事前授業のオリエンテーション及び事後授業でのディスカッションを含む報告会で成果をまとめる。レポートの提出をもって単位の認定を行うこととする。</p>					
授業計画					
<p>1 事前学修 1 オリエンテーション、「海外研修」「国内研修」の紹介と研修意義 2 事前学修 2 ボランティアの意義：ボランティア、地域づくり、活動の紹介① 3 事前学修 3 ボランティアの意義：ボランティア、地域づくり、活動の紹介② 4 事前学修 4 ボランティアの意義：ボランティア、地域づくり、活動の紹介③ 5 } 6 } 研修・ボランティア 下記予定地のいずれかで実施する（複数選択可） 7 } ・海外研修：海外における動物看護、飼育等の視察及びセミナー参加（実費） ・国内研修：産業動物における飼育・管理についての実習についての実習等（実費） ・災害時の防災救援ボランティア ・地域活動の支援 ・その他：科目担当が認めた研修やボランティア 8 事後学修 1 ディスカッションを含む報告会</p>					
履修上の注意					
<p>研修先との連絡を徹底し、事故のないように注意する。 「海外研修」および「国内研修」は別途費用が必要となる。詳しい内容は事前授業で説明する。 （「海外研修」および「国内研修」は、本授業を履修しなくても参加可能な研修である） 社会情勢によって研修先の変更、及び最低参加人数が充足されない場合等開講しないことがある。</p>					
評価方法（評価基準を含む）					
事前授業、事後授業及び、研修・ボランティアの参加度 70%、レポート 30%					
教科書					
必要に応じて資料を配布する					
参考書、教材等					
なし					

学術雑誌一覧

No	種別	雑誌名	出版社
1	和雑誌	AS	インターズー
2	和雑誌	WAN	ペットライフ社
3	和雑誌	いぬのきもち	ベネッセコーポレーション
4	和雑誌	どうぶつと動物園	東京動物園協会
5	和雑誌	National geographic	日経ナショナルジオグラフィック社
6	和雑誌	週刊朝日百科 動物たちの地球	朝日新聞社
7	和雑誌	愛犬の友	誠文堂新光社
8	和雑誌	週刊朝日百科 植物の世界	朝日新聞社
9	和雑誌	ねこのきもち	ベネッセコーポレーション
10	和雑誌	東獣ジャーナル	東京都獣医師会
11	和雑誌	週刊朝日百科 日本の歴史	朝日新聞社
12	和雑誌	Cats	ペットライフ社
13	和雑誌	WWF	世界自然保護基金
14	和雑誌	ペット経営(タイトル変更:Pet Shop Life)	野生社
15	和雑誌	ペットページ	動物の企画社
16	和雑誌	INFOVETS	アニマル・メディア社
17	和雑誌	CAP	チクサン出版
18	和雑誌	動物たち	日本動物愛護協会
19	和雑誌	marine diving	水中造形センター
20	和雑誌	PRO VET	インターズー
21	和雑誌	すばらしい野生の世界ワイルドライフ	財団法人日本科学協会
22	和雑誌	オールバード	遊々社
23	和雑誌	THE COMPANION DOG	社団法人ジャパンケネルクラブ
24	和雑誌	愛犬チャンプ	芸文社
25	和雑誌	私たちの自然	日本鳥類保護連盟
26	和雑誌	ペットワールド	ペットライフ社
27	和雑誌	フローリスト	誠文堂新光社
28	洋雑誌	JOURNAL OF THE AMERICAN VETERINARY MEDICAL ASSOCIATION	AMERICAN VETERINARY MEDICAL ASSOCIATION
29	洋雑誌	Ranger Rick	National Wildlife Federation
30	洋雑誌	VETERINARY TECHNICIAN	Veterinary Learning Systems

臨地実務実習の授業科目の概要

- (1) 「臨地実習 1」(1 単位) 1 年次夏期休暇若しくは春期休暇

ペットサロン実習

1 年次夏期又は 1 年次春期にキャンパス内に併設されているペットサロンにおいて 3 日間の実習を行う。臨地実務実習の導入部となることから、「臨地実習 4」につながるよう実習先の業務について 1 日の流れを学び、指導者のもとシャンプー等の基礎的技術を身に付ける。対象動物の取り扱い方、マナー、技術、ペットサロンの業務を把握し、受付、商品知識や販売・管理の補助に加え、開店から閉店までの業務を学び、職場でのコミュニケーション能力を身に付け、スタッフや飼い主との対応についても学ぶ。

- (2) 「臨地実習 2」(1 単位) 1 年次夏期休暇若しくは春期休暇

動物病院実習

1 年次夏期又は 1 年次春期にキャンパス内に併設されている動物病院において 3 日間の実習を行う。臨地実務実習の導入部となることから、「臨地実習 3」につながるよう動物病院の 1 日の業務について、開院前の準備、清掃から消毒法までの衛生管理、動物の逃走防止のためのドアの開閉、診察台からの転落防止など、動物病院で必要とされる基本的な事項の確認、動物看護師としての基礎を学ぶ。

- (3) 「臨地実習 3」(4 単位) 2 年次夏期休暇 動物病院実習

2 年次夏期に動物病院において、8 日間ずつ 2 か所で実習を行う。小規模、中規模の動物病院の業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。動物病院における動物看護師の業務の流れや分担を把握し、院内清掃、電話応対、診療準備、診療補助、検査、手術の準備及び補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学び、看護師のチーム作業を身に付ける。

事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。

- (4) 「臨地実習 4」(4 単位) 2 年次春期休暇 動物関連企業実習

2 年次春期に動物関連企業等での実習において「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の素養を活かしながら、動物関連企業等の現場(店舗等)での初任者としての必要な実務を学び、他のスタッフとチームで働くコミュニケーションを学ぶ。また、必ず 2 業種の臨地実務実習を行い、幅広い視野と実践力を培う

事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する

(5) 「**臨地実習 5**」(5単位) 3年次夏期休暇 **動物病院実習**

3年次夏期の臨地実務実習5は、動物病院への就職を希望する学生が選択する実習で、7日間ずつ3か所の施設で実習を行う。

職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会とのつながりを学修したことを通して、動物看護師として幅広い視野を養う。

事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。

(6) 「**臨地実習 6**」(5単位) 3年次夏期休暇 **動物関連企業実習**

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場(店舗等・団体等)で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を生かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し顧客対応できる従業員の役割を学ぶ。

事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。

臨地実務実習計画

<学内>
講義
実習 15単位 (450時間)

<臨地実務実習・学外> 15単位 (450時間)

臨地実務実習施設例

3年次

・動物口腔ケア論
・訪問動物看護学

・動物口腔ケア実習

「臨地実習6」

動物関連企業等での実習 21日間 (7日×3施設)
3施設で実施

1業種 ・ペットサロン ・ペットショップ	2業種 ・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴宿泊施設	3業種 ・その他のペット関連企業 ・動物関連団体
----------------------------	---	--------------------------------

「臨地実習5」

動物病院での実習 21日間 (7日×3施設)
3施設で実施

・動物病院

2年次

・動物臨床看護学 (外科)
・コンパニオンアニマルケア論 (1年次履修)
・コンパニオンドックトレーニング論

・動物臨床看護学 (外科) 実習
・コンパニオンアニマルケア実習 (応用)
・コンパニオンドックトレーニング実習

「臨地実習4」

動物関連企業実習 16日間 (8日×2施設)
・必ず動物関連企業のうち、2業種で実習を行う

1業種 ・ペットサロン ・ペットショップ	2業種 ・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴宿泊施設	3業種 ・その他のペット関連企業 ・動物関連団体
----------------------------	---	--------------------------------

「臨地実習3」

動物病院実習 16日間 (8日×2施設)
・小規模、中規模の動物病院の実習を行う

・動物病院

1年次

・動物臨床検査学
・動物臨床看護学 (基礎・内科)
・動物形態機能学
・動物形態機能組織学
・コンパニオンアニマルケア論

・動物臨床検査学実習
・動物臨床看護学 (基礎・内科) 実習
・動物形態機能学・組織学実習
・コンパニオンアニマルケア実習 (基礎)

「臨地実習2」

キャンパスに併設の動物病院 (3日)
・動物病院で必要となる基本的事項の確認、動物看護師としての基礎を学ぶ
・病院開院まえの準備、清掃から消毒までの衛生管理、動物の逃走防止のためのドアの開閉、診察台からの転倒防止などを学ぶ
・一日の業務の流れを学修する

・キャンパスに併設の動物病院

「臨地実習1」

キャンパスに併設のペットサロン (3日)
・対象動物の取り扱い方、マナー、技術、ペットサロンの業務を把握する
・受付、商品知識や販売・管理の補助
・職場でのコミュニケーション能力を身に付けスタッフや飼い主との対応を学ぶ
・一日の業務の流れを学修する

・キャンパスに併設のペットサロン

「臨地実習2」 評価書
 アニマル・メディカル・センター(動物病院)

動物病院名 _____ 実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____ 実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価	
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流れ業務の	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C	診療補助・動物の看護	ゲージからの出し入れ	A B C	
	時間厳守	A B C		保定	A B C	
コミュニケーション	協調性	A B C		健康チェック	A B C	
	指示内容の確認	A B C		看護処置・調剤業務把握	A B C	
	報告・連絡・相談	A B C		入院動物の看護観察	A B C	
				衛生管理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
				事務的管理	PC操作	A B C
					商品知識と管理	A B C
			備品の整理・整頓		A B C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習3」 評価書 (動物病院)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価	
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流れ業務の	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C	診療補助・動物の看護	カルテ整理補助	A B C	
	時間厳守	A B C		保定	A B C	
コミュニケーション	協調性	A B C		看護処置・調剤の準備補助	A B C	
	指示内容の確認	A B C		検体・画像検査の準備補助	A B C	
	報告・連絡・相談	A B C		手術の準備補助	A B C	
				入院動物の看護補助	A B C	
				往診時の看護補助	A B C	
				衛生管理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C	
				商品知識と管理	A B C	
				備品の整理・整頓	A B C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習5」 評価書 (動物病院)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	診療補助・動物の看護	カルテ整理及び準備	A B C
	時間厳守	A B C		看護処置	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		調剤の準備	A B C
	指示内容の確認	A B C		検体・画像検査の準備・実施	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		検査関連機器の操作補助	A B C
				特殊医療廃棄物の処理補助	A B C
				手術の準備補助	A B C
				入院動物の看護・観察記録の作成	A B C
				入院動物の食事・投薬補助	A B C
				往診時の看護補助	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習1」 評価書

シブヤ・ドッグ・ビューティアー (ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

貴企業 (店舗)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	動物の取扱・グルーミング	保定の観察	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		グルーミングツールの把握	A B C
	指示内容の確認	A B C		ブラッシング補助	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		品種の把握	A B C
				衛生管理	清掃
			器具洗浄・消毒		A B C
			各種廃棄物の処理		A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4」 評価書 (ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

貴企業 (店舗)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	動物の取扱・グルーミング	保定・ハンドリング	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		グルーミングツールの扱い	A B C
	指示内容の確認	A B C		グルーミング補助	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		預かり動物の安全管理	A B C
				食事の準備補助	A B C
			品種ごとの特性の把握	A B C	
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記入欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書(ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

貴企業 (店舗)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	動物の取扱・グルーミング	保定・ハンドリング	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		グルーミングツールの扱い	A B C
	指示内容の確認	A B C		グルーミング (ブラッシング)	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		グルーミング (シャンプー)	A B C
				グルーミング (仕上げ)	A B C
				預かり動物の安全管理	A B C
				食事の準備	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			管理運営	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記入欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4」 評価書(ペットホテル)

貴企業（店舗） _____

実習指導者名 _____ ⑤

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目（基礎能力）		評価			評価項目（実務能力）		評価		
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A	B	C	流業務の	1日の業務の流れを把握	A	B	C
	受付・電話対応	A	B	C		始業準備・終業作業	A	B	C
	身だしなみ	A	B	C	ペットホテルの業務	健康チェック	A	B	C
	時間厳守	A	B	C		食事の世話の補助	A	B	C
コミュニケーション	協調性	A	B	C		運動（散歩・遊び）の補助	A	B	C
	指示内容の確認	A	B	C		動物看護の知識・技術	A	B	C
	報告・連絡・相談	A	B	C		動物美容の知識・技術	A	B	C
						トレーニングの知識・技術	A	B	C
					品種ごとの特性の把握	A	B	C	
					衛生管理	清掃	A	B	C
						器具洗浄・消毒	A	B	C
						各種廃棄物の処理	A	B	C
					事務的管理	PC操作	A	B	C
						商品知識と管理	A	B	C
						備品の整理・整頓	A	B	C

総合評価		A（優れている）	B（普通）	C（努力を要する）
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書(ペットホテル)

貴企業（店舗） _____

実習指導者名 _____ ㊞

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目（基礎能力）		評価	評価項目（実務能力）		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	ペットホテルの業務	健康チェック	A B C
	時間厳守	A B C		食事の世話	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		運動（散歩・遊び）	A B C
	指示内容の確認	A B C		保定・ハンドリング	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		感染予防の知識・技術	A B C
				安全管理の知識・技術	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				トレーニングの知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A（優れている）	B（普通）	C（努力を要する）
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記入欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4」 評価書（訓練施設）

訓練施設名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目（基礎能力）		評価	評価項目（実務能力）		評価	
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C	訓練施設 の業務	保定・ハンドリング	A B C	
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C	
コミュニケーション	協調性	A B C		トレーニングの補助	A B C	
	指示内容の確認	A B C		動物行動の知識	A B C	
	報告・連絡・相談	A B C		動物看護の知識・技術	A B C	
				動物美容の知識・技術	A B C	
				品種の特性の把握	A B C	
				衛生管理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
			事務的 管理	PC操作	A B C	
				商品知識と管理	A B C	
				備品の整理・整頓	A B C	

総合評価		A（優れている）	B（普通）	C（努力を要する）
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書(訓練施設)

訓練施設名 _____

実習指導者名 _____ ⑤

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務 れの	1日の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・就業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	訓練施設 の業務	保定・ハンドリング	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		トレーニング	A B C
	指示内容の確認	A B C		トレーニングツールの扱い	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		安全管理の基礎知識	A B C
				動物行動の知識	A B C
				栄養指導の補助	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4」 評価書(老犬ホーム)

貴施設名 (店舗) _____

実習指導者名 _____ ⑤

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価			評価項目 (実務能力)		評価		
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A	B	C	流 業 務 の 流 れ	1日の業務の流れを把握	A	B	C
	受付・電話対応	A	B	C		始業準備・終業作業	A	B	C
	身だしなみ	A	B	C	老 犬 ホ ー ム の 業 務	健康チェック	A	B	C
	時間厳守	A	B	C		食事の世話の補助	A	B	C
ケ ー シ ョ ン コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	協調性	A	B	C		安全な投薬補助	A	B	C
	指示内容の確認	A	B	C		リハビリテーションの知識・技術	A	B	C
	報告・連絡・相談	A	B	C		褥瘡管理補助	A	B	C
						動物看護の知識・技術	A	B	C
					動物美容の知識・技術	A	B	C	
					衛 生 管 理	清掃	A	B	C
						器具洗浄・消毒	A	B	C
						各種廃棄物の処理	A	B	C
					事 務 的 管 理	PC操作	A	B	C
						商品知識と管理	A	B	C
						備品の整理・整頓	A	B	C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所 見 欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自 由 記 述 欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書(老犬ホーム)

貴施設名 (店舗) _____

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務の れ	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	老犬ホームの 業務	健康チェック	A B C
	時間厳守	A B C		食事の世話	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		安全な投薬	A B C
	指示内容の確認	A B C		リハビリテーションの知識・技術	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		褥瘡管理補助	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				活動・休息援助技術	A B C
				生体機能管理技術	A B C
				排泄技術	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価	A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)	
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4」 評価書 (ペット同伴宿泊施設)

貴企業 (店舗)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊞

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	ペット同伴宿泊施設の業務	利用者対応	A B C
	時間厳守	A B C		食事の世話	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		動物看護の知識・技術	A B C
	指示内容の確認	A B C		動物美容の知識・技術	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		トレーニングの知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の把握	A B C
			イベント企画の補助	A B C	
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書 (ペット同伴宿泊施設)

貴企業 (店舗) _____ 実習指導者名 _____ ⑩

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	ペット同伴宿泊施設の業務	利用者対応	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		感染予防	A B C
	指示内容の確認	A B C		疾病・怪我の予防	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		食事の世話	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				トレーニングの知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
				イベント企画の補助	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習4」評価書(その他の動物関連企業)

貴企業名 (店舗) _____ 実習指導者名 _____ ⑤

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価			評価項目 (実務能力)		評価			
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A	B	C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A	B	C	
	受付・電話対応	A	B	C		始業準備・終業作業	A	B	C	
	身だしなみ	A	B	C	店舗業務	動物関連法規の知識	A	B	C	
	時間厳守	A	B	C		安全管理	A	B	C	
コミュニケーション	協調性	A	B	C		営業活動の補助	A	B	C	
	指示内容の確認	A	B	C		消費者対応の補助	A	B	C	
	報告・連絡・相談	A	B	C		動物看護の知識・技術	A	B	C	
						動物美容の知識・技術	A	B	C	
						イベント企画の補助	A	B	C	
						衛生管理	清掃	A	B	C
							器具洗浄・消毒	A	B	C
							各種廃棄物の処理	A	B	C
					事務的管理	PC操作	A	B	C	
						商品知識と管理	A	B	C	
						備品の整理・整頓	A	B	C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習6」 評価書(その他の動物関連企業)

貴企業名 (店舗) _____ 実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務の	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	店舗業務	組織の理解	A B C
	時間厳守	A B C		動物関連法規の知識	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		安全管理	A B C
	指示内容の確認	A B C		営業活動の補助	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		消費者対応	A B C
				動物看護・美容の知識・技術	A B C
				商品開発の補助	A B C
				イベント企画の提案・補助	A B C
				広報媒体の編集補助	A B C
				情報管理	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価	A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)	
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4」 評価書 (動物関連団体)

貴団体名 _____

実習指導者名 _____ ㊞

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価	
接 遇 マ ナ ー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流 業 務 の 流 れ	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C	団 体 活 動	組織の理解	A B C	
	時間厳守	A B C		動物関連法規の知識	A B C	
ケ ー シ ョ ン コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	協調性	A B C		啓蒙活動補助	A B C	
	指示内容の確認	A B C		動物看護の知識・技術	A B C	
	報告・連絡・相談	A B C		動物美容の知識・技術	A B C	
				トレーニングの知識・技術	A B C	
				イベント準備	A B C	
				衛 生 管 理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
			事 務 的 管 理	PC操作	A B C	
				商品知識と管理	A B C	
				備品の整理・整頓	A B C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所 見 欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自 由 記 述 欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習6」 評価書(動物関連団体)

貴団体名 _____ 実習指導者名 _____ ⑩

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	団体活動	組織の理解	A B C
	時間遵守	A B C		動物関連法規の知識	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		啓蒙活動補助	A B C
	指示内容の確認	A B C		動物看護の知識・技術	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		動物美容の知識・技術	A B C
				トレーニングの知識・技術	A B C
				広報活動	A B C
				イベント企画	A B C
				イベント準備	A B C
				情報管理	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記入欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

臨地実務実習期間一覧表

月	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			
平成31年																	「臨地実習1」																								「臨地実習1」							
																	「臨地実習2」																								「臨地実習2」							
平成32年																	「臨地実習1」																								「臨地実習1」							
																	「臨地実習2」																								「臨地実習2」							
																	「臨地実習3」																								「臨地実習4」							
平成33年																	「臨地実習1」																								「臨地実習1」							
																	「臨地実習2」																								「臨地実習2」							
																	「臨地実習3」																								「臨地実習4」							
																	「臨地実習5」																															
																	「臨地実習6」																															

「臨地実習1」は、事前教育3時間、見学実習3時間、実習3日(1日7時間)、事後教育3時間 計30時間

「臨地実習2」は、事前教育3時間、見学実習3時間、実習3日(1日7時間)、事後教育3時間 計30時間

「臨地実習3」は、事前教育4時間、実習8日間(1日7時間)、事後教育4時間 計120時間

「臨地実習4」は、事前教育4時間、実習8日間(1日7時間)、事後教育4時間 計120時間

「臨地実習5」は、事前教育2時間、実習7日間(1日7時間)、事後教育1時間 計150時間

「臨地実習6」は、事前教育2時間、実習7日間(1日7時間)、事後教育1時間 計150時間

「臨地実習1」～「臨地実習4」は必修 「臨地実習5」及び「臨地実習6」はどちらかを選択

ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）

平成31年4月1日

制定

（目的）

第1条 この細則は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）教授規則第10条第2項の規定に基づき、臨地実務実習委員会（以下「委員会」という。）の運営に必要な事項を定めることを目的とする。

2 必要に応じて小委員会を置くことができる。

（構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 動物トータルケア学科長
- (2) 動物トータルケア副学科長
- (3) 教務部長
- (4) 学生部長
- (5) 教科担当の専任教員
- (6) 専任教職員の中から学長が指名した者

（任期）

第3条 第2条第1項第1号及至5号の委員の任期は、その在職期間とする。

2 第2条第1項第6号委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長等）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、学長が指名する。

3 副委員長は、委員の互選により決する。

4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

5 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

（開会）

第5条 委員会の開催は、委員の3分の2以上の出席を要するものとする。

2 委員会が必要と認めたときは、委員以外の関係者を出席させ、意見を聴くことができる。

（審議事項）

第6条 委員会は、次の事項を審議し、実施する。

- (1) 就職支援の研修指導に関する事項
- (2) 企業実習（インターンシップ）及び動物病院実習先の開拓、あっせん等に関する事項

(3) 企業実習（インターンシップ）及び動物病院実習実施に関する全般的な指導及び絡調整に関する事項

(4) その他企業実習（インターンシップ）及び動物病院実習に関する事項
（委員会の議決及び結果の報告）

第7条 委員会の議決は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決るところによる。

2 委員会で審議した事項に関しては、その結果又は経過を教授会に報告し、出席者の成を得て学長が決定する。

（事務）

第8条 委員会の事務は、本学事務局就職支援課及び教務・学生課において行う。

（細則の改廃）

第9条 この細則の改正及び廃止は、教授会の意見を聴いて、学長が行う。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から制定施行する。

臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	アニマルメディカルセンター	1		6		11
2	長津田ペットクリニック	2		7		12
3	アマノ動物病院	3		8		13
4	有限会社磯貝動物病院	4		9		14
5	安田獣医科医院	5		10		15
6	ハロー動物病院新鎌ヶ谷分院	6		11		16
7	ゼファー動物病院	7		12		17
8	木もれ陽動物病院	8		13		18
9	高木動物病院	9		14		19
10	カトウ獣医科クリニック	10		15		20
11	横浜青葉どうぶつ病院	11		16		21
12	アルフペットクリニック	12		17		22
13	よしだ動物病院	13		18		23
14	フローラル動物病院	14		19		24
15	さきがおか動物病院	15		20		25
16	いしじま動物病院	16		21		26
17	市原・山口動物病院	17		22		27
18	田中動物病院	18		23		28
19	アステール動物病院	19		24		29
20	戸田動物病院	20		25		30
21	美園どうぶつ病院	21		26		31
22	後藤動物病院	22		27		32
23	イーリスペットクリニック	23		28		33
24	東いわつき動物病院	24		29		34
25	みさと動物病院	25		30		35
26	どうぶつクリニックNEXT	26		31		36
27	けやき動物病院富士見	27		32		37
28	動物病院くまごろう	28		33		38
29	みねぎし動物病院	29		34		39
30	エルザ動物小鳥の病院	30		35		40
31	小動物診療所	31		36		41
32	株式会社ワイ・エイ・シーようが動物病院	32		37		42
33	本駒込動物病院	33		38		43
34	ひばり動物病院	34		39		44
35	赤羽ペットクリニック	35		40		45
36	梅島動物病院	36		41		46
37	駒沢どうぶつ病院	37		42		47
38	かいぬま動物病院	38		43		48
39	とりうみ動物病院	39		44		49
40	ふく動物病院	40		45		50
41	チコラ動物病院	41		46		51
42	みなみ小金井動物病院	42		47		52
43	ボウズ動物病院	43		48		53
44	ココ動物病院	44		49		54
45	動物病院 川越	45		50		55
46	株式会社T2コーポレーションたはら動物病院	46		51		56
47	有限会社国領動物病院	47		52		57
48	富士見台どうぶつ病院	48		53		58
49	株式会社船橋どうぶつ病院	49		54		59
50	岡部獣医科病院	50		55		60
51	ぬのかわ犬猫病院	51		56		61
52	吉田動物病院	52		57		62
53	本郷獣医科病院	53		58		63
54	ヴァンケット動物病院	54		59		64
55	ロイヤルペットクリニック 西馬込病院	55		60		65
56	サム動物病院	56		61		66
57	動物病院ヘルスパット	57		62		67
58	池田動物病院成城通り	58		63		68
59	溝の口犬猫病院	59		64		69
60	かのペットクリニック	60		65		70
61	仲野どうぶつ病院	61		66		71
62	ハリーペットクリニック	62		67		72
63	むかい猫と犬の病院	63		68		73
64	木村動物病院	64		69		74
65	松原ペットクリニック	65		70		75
66	セラピスト動物病院	66		71		76
67	有限会社 ませ動物病院	67		72		77
68	池田動物病院	68		73		78
69	古谷動物病院	69		74		79
70	湘南なぎさ動物病院	70		75		80
71	桜ヶ丘どうぶつ病院	71		76		
72	久米川みどり動物病院	72		77		
73	セキ動物病院	73		78		
74	辻堂犬猫病院	74		79		
75	広尾動物病院	75		80		
76	JOY動物病院	76			1	
77	株式会社フェイス1 竹原獣医科医院	77			2	
78	かぶくん動物病院	78			3	
79	アリーズ動物病院	79			4	
80	東京ウエスト動物病院	80			5	
81	野毛坂どうぶつ病院		1		6	
82	越谷動物医療センター		2		7	

臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
83	葉山どうぶつ病院		3		8	
84	とねり動物病院		4		9	
85	大泉動物病院		5		10	
86	ビジョン動物愛護病院(鳩ヶ谷院)		6		11	
87	ノブ動物病院		7		12	
88	中田動物病院		8		13	
89	アニマルクリニックこばやし		9		14	
90	みつわ台動物病院		10		15	
91	アン動物病院		11		16	
92	松本動物病院		12		17	
93	オアシス動物病院		13		18	
94	上田動物病院		14		19	
95	アニホスフォレスト株式会社 Pet Clinicアニホス		15		20	
96	西湘動物病院		16		21	
97	有限会社いちかわ動物病院		17		22	
98	マーブル動物医療センター		18		23	
99	野田動物病院		19		24	
100	指扇ペットクリニック		20		25	
101	リバーズ動物病院		21		26	
102	七光台どうぶつ病院		22		27	
103	有限会社サワムラベッツ 沢村獣医科病院		23		28	
104	谷口動物病院		24		29	
105	動物病院NORIKO		25		30	
106	ワシントン動物病院		26		31	
107	コトー動物病院		27		32	
108	井上動物病院		28		33	
109	かわはら動物病院		29		34	
110	一之江どうぶつ病院		30		35	
111	マリーナストリートおかだ動物病院		31		36	
112	水上犬猫鳥の病院		32		37	
113	てらぞの動物病院		33		38	
114	ベルノス動物病院		34		39	
115	新習志野どうぶつ病院		35		40	
116	千歳船橋あむ動物病院		36		41	
117	藤の花どうぶつ病院		37		42	
118	公益財団法人日本小動物医療センター		38		43	
119	海浜動物医療センター		39		44	
120	はやし動物病院		40		45	
121	城山通りどうぶつ病院		41		46	
122	つなしま動物病院		42		47	
123	吉祥寺どうぶつ病院		43		48	
124	株式会社日本動物高度医療センター		44		49	
125	石黒動物病院		45		50	
126	よしむら動物病院		46		51	
127	七里動物病院		47		52	
128	ワラビー動物病院		48		53	
129	やまなか動物病院		49		54	
130	モフ動物病院		50		55	
131	エルム動物病院		51		56	
132	多摩クラーク動物病院		52		57	
133	株式会社GRAND DESIGN明和動物愛護病院		53		58	
134	株式会社マイクレスト クレスト動物病院		54		59	
135	関水動物病院		55		60	
136	新浦安太田動物病院		56		61	
137	ハダ動物病院		57		62	
138	あさか台動物病院		58		63	
139	アニムペットクリニック		59		64	
140	西荻動物病院		60		65	
141	上石神井動物病院		61		66	
142	ワラビー動物病院グループ はとがや動物病院		62		67	
143	どうぶつ眼科 Eye Vet		63		68	
144	合同会社 ゆう動物クリニック		64		69	
145	株式会社港北どうぶつ病院		65		70	
146	くみ動物病院		66		71	
147	株式会社ZR オールペットクリニック		67		72	
148	タムどうぶつ病院		68		73	
149	山田動物病院		69		74	
150	湖畔どうぶつ病院		70		75	
151	山本どうぶつ病院		71		76	
152	有限会社さがみ中央動物医療センター		72		77	
153	ブライト動物病院		73		78	
154	向平動物病院		74		79	
155	株式会社Vets United アリサ動物病院		75		80	
156	高ヶ坂動物病院		76			1
157	株式会社FIELD 森の樹どうぶつ病院		77			2
158	高橋動物病院		78			3
159	Willどうぶつ病院		79			4
160	習志野動物医療センター りょう動物病院		80			5
161	グリーン動物病院			1		6
162	目黒洗足動物病院			2		7
163	畑沢動物病院			3		8
164	小鳥のセンター病院			4		9
165	どうぶつのセンター病院			5		10

臨地実習4・6 学生ローテーション表

(ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

	会社名	業種(詳細)	臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
			A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	株式会社サンリングペットサロンSIT	ペットサロン	1		12		
2	ペットサロン モグMOGU	ペットサロン	2		13		
3	ペットの保育園Will	ペットサロン	3		14		
4	トリミングスタジオ Oasis	ペットサロン	4		15		
5	Pet's Life	ペットサロン	5		16		
6	ドッグサロンLC	ペットサロン	6		17		
7	PET SALON KUMIKO	ペットサロン	7		18		
8	Supreme 舞浜スタジオ	ペットサロン	8		19		
9	株式会社 BELL-PET	ペットサロン	9		20		
10	株式会社ワイズドギー 渋谷西武モントウトウ	ペットサロン	10		21		
11	グルーミングサロングリム	ペットサロン	11		22		
12	ANIER -Dog Grooming Room-	ペットサロン	12		23		
13	Pet Salon Jupiter	ペットサロン	13		24		
14	Dog Grooming Salon cotaz	ペットサロン	14		25		
15	Dog Place Oasis	ペットサロン	15		26		
16	ペットサロンうちの仔	ペットサロン	16		27		
17	株式会社DLC DOGLIFE 川口店	ペットサロン	17		28		
18	株式会社DLC DOGLIFE 浦和店	ペットサロン	18		29		
19	シブヤ・ドッグ・ビューティー	ペットサロン	19		30		
20	アトリエモモワン	ペットサロン	20		31		
21	ペットショップジュニア池袋	ペットショップ	21		32		
22	株式会社オーグ うさぎのしっぽ 横浜店	ペットショップ	22		33		
23	株式会社モントウトウ	ペットショップ	23		34		
24	ペットの専門店コジマ新宿店	ペットショップ	24		35		
25	ペットの専門店コジマ八王子店	ペットショップ	25		36		
26	ペットの専門店コジマ松戸店	ペットショップ	26		37		
27	ペットの専門店コジマ竹ノ塚店	ペットショップ	27		38		
28	ペットの専門店コジマ青戸店	ペットショップ	28		39		
29	ペットの専門店コジマ浦和店	ペットショップ	29		40		
30	ペットの専門店コジマ花小金井店	ペットショップ	30		41		
31	ペットの専門店コジマ大宮店	ペットショップ	31		42		
32	ペットの専門店コジマ目黒店	ペットショップ	32		43		
33	ペットの専門店コジマ相模原店	ペットショップ	33		44		
34	ペットの専門店コジマ川越店	ペットショップ	34		45		
35	ペットの専門店コジマ洗足店	ペットショップ	35		46		
36	ペットの専門店コジマ足立店	ペットショップ	36		47		
37	ペットの専門店コジマ高井戸店	ペットショップ	37		48		
38	ペットの専門店コジマ中野店	ペットショップ	38		49		
39	ペットの専門店コジマ三軒茶屋店	ペットショップ	39		50		
40	ペットの専門店コジマ阿佐ヶ谷店	ペットショップ	40		51		
41	ペットの専門店コジマ新小岩店	ペットショップ	41		52		
42	ペットの専門店コジマ板橋店	ペットショップ	42		53		
43	ペットの専門店コジマ練馬店	ペットショップ	43		54		
44	ペットの専門店コジマ亀戸店	ペットショップ	44		55		
45	ペットの専門店コジマ三郷店	ペットショップ	45		56		
46	ペットの専門店コジマアリオ葛西店	ペットショップ	46		57		
47	ペットの専門店コジマベイタウン横浜本牧店	ペットショップ	47		58		
48	ペットの専門店コジマアリオ柏店	ペットショップ	48		59		
49	ペットの専門店コジマ西篠崎店	ペットショップ	49		60		
50	ペットの専門店コジマアリオ蘇我店	ペットショップ	50		61		
51	ペットの専門店コジマアリオ西新井店	ペットショップ	51		62		
52	ペットの専門店コジマアリオ市原店	ペットショップ	52		63		
53	ペットの専門店コジマフォルテ津田沼店	ペットショップ	53		64		
54	ペットの専門店コジマ六本木店	ペットショップ	54		65		
55	ペットの専門店コジマアリオ深谷店	ペットショップ	55		66		
56	ペットの専門店コジマアリオ橋本店	ペットショップ	56		67		
57	ペットの専門店コジマ国分寺店	ペットショップ	57		68		
58	ペットの専門店コジマ府中店	ペットショップ	58		69		
59	ペットの専門店コジマアリオ北砂店	ペットショップ	59		70		
60	ペットの専門店コジマモラージュ菖蒲店	ペットショップ	60		71		
61	ペットの専門店コジマイーアスつくば店	ペットショップ	61		72		
62	ペットの専門店コジマ田端店	ペットショップ	62		73		
63	ペットの専門店コジマアリオ亀有店	ペットショップ	63		74		
64	ペットの専門店コジマ蕨錦町店	ペットショップ	64		75		
65	ペットの専門店コジマ和光店	ペットショップ	65		76		
66	アサヒペット株式会社 都築店	ペットショップ	66		77		
67	アサヒペット株式会社 多摩店	ペットショップ	67		78		
68	アサヒペット株式会社 湘南店	ペットショップ	68		79		
69	アサヒペット株式会社 MARK IS みなとみらい店	ペットショップ	69		80		
70	アサヒペット株式会社 港北ニュータウン店	ペットショップ	70				
71	アサヒペット株式会社 トレッサ横浜店	ペットショップ	71				
72	アサヒペット株式会社 二俣川本店	ペットショップ	72				
73	DOG'S CARE JOKER 六本木ヒルズ店	ペットショップ	73				
74	DOG&CAT JOKER ららぽーと柏の葉店	ペットショップ	74				
75	DOG&CAT JOKER ららぽーと横浜店	ペットショップ	75				
76	DOG&CAT JOKER そごう横浜店	ペットショップ	76				
77	DOG&CAT JOKER そごう大宮店	ペットショップ	77				
78	JOKER DOG&CAT AVENUE 二子玉川店	ペットショップ	78				
79	DOG&CAT JOKER むさし村山店	ペットショップ	79				
80	ヨネヤマプランテーション本店	ペットショップ	80				

臨地実習4・6 学生ローテーション表

(ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

	会社名	業種(詳細)	臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
			A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
81	ペットエコ横浜 港北ニュータウン店	ペットショップ			1		
82	ペットエコ横浜 湘南店	ペットショップ			2		
83	ペットエコ横浜 都築店	ペットショップ			3		
84	ペットエコ横浜 多摩店	ペットショップ			4		
85	ペットエコ横浜 世田谷店	ペットショップ			5		
86	ペットエコDOP 元住吉店	ペットショップ			6		
87	ペットエコ トレッサ横浜店	ペットショップ			7		
88	ペットエコDOP 大口店	ペットショップ			8		
89	ペットエコ横浜 上大岡店	ペットショップ			9		
90	ペットエコ 多摩本店	ペットショップ			10		
91	吉田観賞魚販売(ヨンダ・フィッシュファームズ)	ペットショップ			11		
92	クラブケンケン 田園調布店	ペットホテル					1 24 47
93	株式会社ツルーサービス のんびーはうす	ペットホテル					2 25 48
94	大井警察犬訓練所	訓練施設					3 26 49
95	株式会社フロムパピー ファミリーナガーデン南青山	訓練施設					4 27 50
96	株式会社プレイボウ PLAYBOW 稲城店	訓練施設					5 28 51
97	株式会社プレイボウ PLAYBOW 向ヶ丘遊園店	訓練施設					6 29 52
98	株式会社プレイボウ PLAYBOW 中目黒店	訓練施設					7 30 53
99	株式会社 Animal Life Solutions スタディ・ドッグ・スクール	訓練施設					8 31 54
100	デイケアガーデングリーングラスロッジ	老犬ホーム					9 32 55
101	老犬ホームあしあと	老犬ホーム					10 33 56
102	DOG PARTNERS	老犬ホーム					11 34 57
103	東京ペットホーム	老犬ホーム					12 35 58
104	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート富士	宿泊施設					13 36 59 70
105	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート箱根雲外荘	宿泊施設					14 37 60 71
106	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート御影用水	宿泊施設					15 38 61 72
107	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート蓼科	宿泊施設					16 39 62 73
108	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート旧軽井沢	宿泊施設					17 40 63 74
109	株式会社ベリークルーズ しぶこえ館山	宿泊施設					18 41 64 75
110	株式会社ベリークルーズ しぶこえ御宿海岸	宿泊施設					19 42 65 76
111	株式会社ベリークルーズ 修善寺 絆	宿泊施設					20 43 66 77
112	株式会社ベリークルーズ 鬼怒川 絆	宿泊施設					21 44 67 78
113	株式会社ベリークルーズ フェニックスウイング白馬	宿泊施設					22 45 68 79
114	株式会社共立メンテナンス ルシアン旧軽井沢	宿泊施設					23 46 69 80
115	株式会社フリーステッチ	ペット用品開発		1 47		13 53	
116	ZOO JAPAN CO.,LTD.	ペット用品販売		2 48		14 54	
117	ZOO新大久保	ペット用品販売		3 49		15 55	
118	ZOO四ツ谷	ペット用品販売		4 50		16 56	
119	ZOO恵比寿	ペット用品販売		5 51		17 57	
120	ZOO六本木	ペット用品販売		6 52		18 58	
121	ZOO新宿	ペット用品販売		7 53		19 59	
122	ZOO渋谷サロン	ペット用品販売		8 54		20 60	
123	GREEN DOG SQUARE	ペット用品販売		9 55		21 61	
124	GREEN DOG 東京ミッドタウン	ペット用品販売		10 56		22 62	
125	GREEN DOG 代官山	ペット用品販売		11 57		23 63	
126	GREEN DOG 湘南	ペット用品販売		12 58		24 64	
127	ビューティプラステラスモール湘南	ペット用品販売		13 59		25 65	
128	イオンペット テラスモール湘南	ペット用品販売		14 60		26 66	
129	イオンペットしつけ教室 浦和美園	ペット用品販売		15 61		27 67	
130	イオンペットビューティサロン 浦和美園	ペット用品販売		16 62		28 68	
131	イオンペット 浦和美園	ペット用品販売		17 63		29 69	
132	イオンペットビューティサロンペコスレイクタウン	ペット用品販売		18 64		30 70	
133	PECOS レイクタウン	ペット用品販売		19 65		31 71	
134	ペテモ 与野	ペット用品販売		20 66		32 72	
135	ペテモビューティサロン 与野	ペット用品販売		21 67		33 73	
136	イオンペットビューティサロン 相模原	ペット用品販売		22 68		34 74	
137	イオンペット 相模原	ペット用品販売		23 69		35 75	
138	相模原どうぶつ医療センターしつけ教室	ペット用品販売		24 70		36 76	
139	ペットインロイヤル幕張新都心	ペット用品販売		25 71		37 77	
140	ドッグトレーニング ペコス幕張新都心店	ペット用品販売		26 72		38 78	
141	イオンペットビューティサロンペコス幕張新都心店	ペット用品販売		27 73		39 79	
142	イオン動物医療センター幕張新都心(介護)	ペット用品販売		28 74		40 80	
143	pecos 幕張新都心	ペット用品販売		29 75		41	
144	イオンペット 柏	ペット用品販売		30 76		42	
145	イオンペットビューティサロン 柏	ペット用品販売		31 77		43	
146	イオンペットビューティサロン 千葉ニュータウン	ペット用品販売		32 78		44	
147	イオンペット 千葉ニュータウン	ペット用品販売		33 79		45	
148	ペテモ 日の出	ペット用品販売		34 80		46	
149	イオンしつけ教室 日の出	ペット用品販売		35		1 47	
150	ペテモビューティサロン 日の出	ペット用品販売		36		2 48	
151	乗馬クラブクレイン東京	乗馬施設		37		3 49	
152	株式会社湘南動物プロダクション	動物レンタル		38		4 50	
153	アニコム損害保険株式会社	ペット保険		39		5 51	
154	ペットメディカルサポート株式会社	ペット保険		40		6 52	
155	公益財団法人日本動物愛護協会	ペット関連団体		41		7	
156	公益財団法人日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センター	ペット関連団体		42		8	
157	社会福祉法人日本介助犬協会	ペット関連団体		43		9	
158	特定非営利活動法人聴導犬育成の会	ペット関連団体		44		10	
159	特定非営利活動法人日本動物衛生看護師協会	ペット関連団体		45		11	
160	公益社団法人日本動物福祉協会 新東京支部	ペット関連団体		46		12	

基礎能力の段階的到達目標（共通項目）

評価項目（基礎能力）		到達目標		
		臨地実習 1・2	臨地実習 3・4	臨地実習 5・6
社会人マナー	挨拶 言葉づかい 接遇	礼儀正しい言葉づかい、 挨拶、態度を心掛ける	接遇マナーができる 顧客対応を学ぶ	接遇マナーができる 顧客対応を補助する
	受付・電話対応	受付・電話の取り次ぎ方法を 学び、適宜メモを取って担当 者へ連絡する	受付・電話の取り次ぎがで きる	受付・電話対応ができる
	身だしなみ	清潔な身だしなみを心掛け る	その場に応じた身だしなみ ができる	その場に応じた身だしなみ ができる
	時間厳守	時間管理に従う	業務に合わせた時間管理 ができる	1日のスケジュール管理がで きる
コミュニケーション	協調性	スタッフとの協調性を以て コミュニケーション能力を 養う	スタッフとの協調性を以て コミュニケーションを図る	スタッフに加え顧客とのコ ミュニケーションも図る
	指示内容の確認	指示の内容を確認し復唱 する	指示の内容に加えその意図 を把握する	指示の内容に加えその意図 を把握したうえで行動に移 す
	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の必要性を 理解し、スタッフの報告内容 を確認する	報告・連絡・相談を積極的 に心掛ける	状況を把握して報告・連絡・ 相談を積極的にできる

「臨地実習 2・3・5」(動物病院)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 2			臨地実習 3			臨地実習 5								
アニマルメディカルセンター(動物病院)			動物病院			動物病院								
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標						
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・流れに沿って事前準備する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・業務の流れの中で臨機応変な対応ができる						
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業を把握できる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる						
診療補助 ・動物の看護	ゲージからの出し入れ	・ゲージからの出し入れを把握する	診療補助 ・動物の看護	カルテ整理補助	・カルテ整理の補助ができる	診療補助 ・動物の看護	カルテ整理及び準備	・カルテ整理及び準備ができる						
	保定	・診療、検体採取時の保定を把握する		保定	・診療、検体採取時の保定ができる		看護処置	・診療・検体採取時の保定ができる						
	健康チェック	・基本的な(体温、体重、脈拍、呼吸等)健康チェックを把握する		看護処置、調剤の準備補助	・健康チェックの補助ができる		調剤の準備	・全身的な健康チェックができる						
	看護処置・調剤業務把握	・看護処置(口腔ケアを含む)を把握する ・調剤業務を把握する		・看護処置(介護・口腔ケアを含む)及び記録の補助ができる ・調剤の準備の補助ができる	検体・画像検査の準備補助		・検体検査の準備補助ができる ・画像検査の準備補助ができる	検体・画像検査の準備・実施	・検体検査の手順を理解し実施することができる ・画像検査の準備、実施ができる					
										入院動物の看護観察	・入院動物の看護観察、食事管理を把握する	手術の準備補助	・手術の準備の補助ができる	検査関連機器の操作補助
	衛生管理	清掃		・院内清掃、リネン類の洗濯ができる	衛生管理		清掃	・院内外の清掃ができる	衛生管理	清掃	・院内外の清掃ができる			
		器具洗浄・消毒		・器具洗浄、消毒方法を理解する			器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒、滅菌の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒、滅菌の実施ができる			
		各種廃棄物の処理		・各種廃棄物の処理について理解する			各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる			
		事務的管理		PC操作			・PCの基本的操作ができる	事務的管理		PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務的管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
				商品知識と管理			・商品知識と管理を把握する			商品知識と管理	・飼養関連商品の管理補助ができる		商品知識と管理	・飼養関連商品の管理ができる
備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		往診時の看護補助	・往診時の看護補助ができる	往診時の看護補助	・往診時の看護補助ができる								
事務的管理	入院動物の看護補助	・入院動物の看護補助ができる ・入退院時の準備補助ができる ・食事管理の補助ができる	往診時の看護補助	・往診時の看護補助ができる	手術の準備補助	・手術の準備の補助ができる	入院動物の看護・観察記録の作成	・入院動物の看護、観察記録が作成できる						
	往診時の看護補助	・往診時の看護補助ができる							特殊医療廃棄物の処理補助	・特殊医療廃棄物の処理補助ができる	入院動物の食事・投薬補助	・入院動物の食事、投薬補助ができる		

「臨地実習1・4・6」(ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習1			臨地実習4			臨地実習6		
シブヤ・ドッグ・ビューティ (ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)			ペットサロン(動物病院美容部門を含む)ペットショップ			ペットサロン(動物病院美容部門を含む)ペットショップ		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・流れに沿って事前準備する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・業務の流れの中で臨機応変な対応ができる
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業を把握する		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
動物の 取扱・ グルー ミング	保定の観察	・基本的な保定、ハンドリングの把握	動物の 取扱・ グルー ミング	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングの補助ができる	動物の 取扱・ グルー ミング	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングができる
	健康チェック	・基本的な(体温、体重、脈拍、呼吸等)健康チェックを把握する		健康チェック	・全身的な健康チェックの補助ができる		健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	グルーミングツールの把握	・グルーミングツールを把握する		グルーミングツールの扱い	・グルーミングツールの扱い(ハサミ等)ができる		グルーミングツールの扱い	・グルーミングツールの扱い(全般)ができる
	ブラッシング補助	・ブラッシングの補助ができる ・基礎的なグルーミングの知識、技術を把握する		グルーミング補助	・グルーミング(ブラッシング、シャンプー、カット等)の補助ができる ・基礎的なグルーミングの知識、技術がある		グルーミング(ブラッシング)	・グルーミング(ブラッシング)ができる
	品種の把握	・来店する犬・猫の品種を把握する		預かり動物の安全管理	・預かり動物の安全管理の補助ができる		グルーミング(シャンプー)	・グルーミング(シャンプー)ができる
			食事の準備補助	・食事の準備の補助ができる	グルーミング(仕上げ)	・グルーミング(仕上げ)ができる		
			品種ごとの特性の把握	・来店する犬・猫の品種ごとの知識、習性、特徴を覚える	預かり動物の安全管理	・預かり動物の安全管理ができる		
衛生 管理	清掃	・院内清掃、リネン類の洗濯ができる	衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃ができる	衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒方法を理解する		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒、消臭ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理について理解する		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務 的管理	PC操作	・PCの基本的操作ができる	事務 的管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務 的管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・商品知識と管理を把握する		商品知識と管理	・飼養関連商品の管理補助ができる		商品知識と管理	・飼養関連商品の管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・来店客の対応ができる ・商品説明をすることができる
							備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4・6」(ペットホテル)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
ペットホテル			ペットホテル		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 の 流れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 の 流れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
ペット ホテル の 業務	健康チェック	・全身的な健康チェックの補助ができる	ペット ホテル の 業務	健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	食事の世話の補助	・フードを準備し食事の世話の補助ができる		食事の世話	・フードを準備し食事の世話ができる
	運動(散歩・遊び)の補助	・運動(散歩・遊び)の補助ができる		運動(散歩・遊び)	・運動(散歩・遊び)をさせる
		・保定、ハンドリングの補助ができる			保定・ハンドリング
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		感染予防の知識・技術	・感染予防の知識、技術がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		安全管理の知識・技術	・安全管理の知識、技術がある
	トレーニングの知識・技術	・基礎的なトレーニングの知識、技術がある		動物看護の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある
品種ごとの特性の把握	・品種ごとの知識、習性、特徴を覚える	動物美容の知識・技術	・動物美容の知識、技術がある		
衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	事務 的 管理 衛生 管理	清掃	・施設内・外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄・消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務 的 管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務 的 管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・ペットホテルで取り扱う商品の仕様、用途を把握する		商品知識と管理	・ペットホテルで取り扱う商品の仕様・用途を修得している
		・商品知識に興味を持ち理解できる			・動物のライフステージに見合うペットフードや用品等について説明ができる
備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる	備品の整理・整頓	・商品知識と管理を修得している		
			備品の整理・整頓	・備品の整理・整頓ができる	

「臨地実習 4・6」(訓練施設)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
訓練施設			訓練施設		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流 業 務 の 流 れ	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流 業 務 の 流 れ	1日の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・就業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
訓 練 施 設 の 業 務	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングの補助ができる	訓 練 施 設 の 業 務	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングができる
	健康チェック	・全身的な健康チェックの補助ができる		健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	トレーニングの補助	・トレーニングの知識、技術を把握する ・トレーニングツールの扱い方を覚える		トレーニング	・トレーニングの補助ができる ・トレーニングの知識がある
	動物行動の知識	・基礎的な動物行動学の知識がある		トレーニングツールの扱い	・トレーニングツールの扱い方を修得する
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		安全管理の基礎知識	・安全管理の基礎知識がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物行動の知識	・動物行動の知識がある
	品種ごとの特性の把握	・品種ごとの知識、習性、特徴を覚える		栄養指導の補助	・栄養指導の補助ができる
衛 生 管 理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	衛 生 管 理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事 務 的 管 理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事 務 的 管 理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・訓練施設で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち理解できる		商品知識と管理	・訓練施設で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4・6」（老犬ホーム）における評価項目（実務能力）に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
老犬ホーム			老犬ホーム		
評価項目（実務能力）		到達目標	評価項目（実務能力）		到達目標
流 業 務 れ の	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流 業 務 れ の	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の作業補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
老 犬 ホ ー ム の 業 務	健康チェック	・全身的な健康チェックの補助ができる	老 犬 ホ ー ム の 業 務	健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	食事の世話の補助	・フードを準備し、食事の世話の補助ができる		食事の世話	・フードを準備し、食事の世話ができる
	安全な投薬の補助	・安全な投薬補助ができる		安全な投薬	・安全な投薬ができる
	リハビリテーションの知識・技術	・リハビリテーションの知識、技術がある		リハビリテーションの知識・技術	・リハビリテーションの知識、技術がある
	褥瘡管理補助	・褥瘡管理の補助ができる		褥瘡管理補助	・褥瘡管理の補助ができる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		動物看護の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物美容の知識・技術	・動物美容の知識、技術がある
衛 生 管 理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	衛 生 管 理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事 務 的 管 理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事 務 的 管 理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・老犬ホームで取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち、理解できる		商品知識と管理	・老犬ホームで取り扱う商品の仕様、用途を修得している ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4・6」(ペット同伴宿泊施設)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
ペット同伴宿泊施設			ペット同伴宿泊施設		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
ペット 同伴 宿泊 施設 の 業務	利用者対応	・利用者の対応補助ができる	ペット 同伴 宿泊 施設 の 業務	利用者対応	・利用者の対応ができる
	食事の世話	・フードを準備し食事の世話の補助ができる		健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		感染予防	・感染予防の知識がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		疾病・怪我の予防	・疾病、怪我の予防について修得している
	トレーニングの知識・技術	・基礎的なトレーニングの知識、技術がある		食事の世話	・フードを準備し食事の世話ができる
	品種ごとの特性の把握	・品種ごとの知識、習性、特徴を覚える		動物看護の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある
	イベント企画の補助	・イベント企画を理解し補助ができる		動物美容の知識・技術	・動物美容の知識、技術がある
衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務 的 管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務 的 管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・宿泊施設で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち理解できる		商品知識と管理	・宿泊施設で取り扱う商品の仕様、用途を修得している ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4・6」（その他の動物関連企業）における評価項目（実務能力）に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
その他の動物関連企業			その他の動物関連企業		
評価項目（実務能力）		到達目標	評価項目（実務能力）		到達目標
流 業 務 れ の	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流 業 務 れ の	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
店 舗 業 務	動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある	店 舗 業 務	組織の理解	・企業の組織の理解ができる
	安全管理	・安全管理を把握する		動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある
	営業活動の補助	・営業活動を理解し補助ができる		安全管理	・安全管理の補助ができる
	消費者対応の補助	・消費者対応の補助を把握する		営業活動の補助	・営業活動の補助ができる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		消費者対応	・消費者対応の補助ができる
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物看護・美容の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある ・動物美容の知識、技術がある
	イベント企画の補助	・イベント企画を理解し補助ができる ・広報媒体を理解し補助ができる ・情報管理を把握する		商品開発の補助	・商品開発の補助ができる
衛 生 管 理	清掃	・施設内外の清掃ができる	衛 生 管 理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事 務 的 管 理	PC 操作	・業務に応じて PC 操作ができる	事 務 的 管 理	PC 操作	・PC 操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・企業で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち、理解できる		商品知識と管理	・企業で取り扱う商品の仕様、用途を修得している ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4・6」(動物関連団体)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
動物関連諸団体			動物関連諸団体		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の業務流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
団体活動	組織の理解	・団体の組織を把握する	団体活動	組織の理解	・団体の組織を理解できる
	動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある		動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある
	啓蒙活動補助	・啓蒙活動の補助ができる		啓蒙活動補助	・啓蒙活動の補助ができる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		動物看護の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物美容の知識・技術	・動物美容の知識、技術がある
	トレーニングの知識・技術	・基礎的なトレーニングの知識、技術がある		トレーニングの知識・技術	・トレーニングの知識、技術がある
	イベント準備	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を把握する ・イベント企画について理解し補助ができる ・イベント準備の補助ができる ・情報管理を把握する 		<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の補助ができる ・イベント企画に参加、実施ができる ・イベント準備ができる ・イベント等の趣旨を理解し参加者に説明することができる 	広報活動
イベント企画			・イベント企画に参加、実施ができる		
衛生管理	清掃	・施設内外の清掃ができる	衛生管理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・適切な消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・適切な消毒をすることができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務的管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務的管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で使用する商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち、理解できる 		商品知識と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で使用する商品の仕様、用途を修得している ・商品についての正しい説明を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

学生の確保等の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
①学生の確保の見通し	1
ア 定員充足の見込み	1
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
ウ 学生納付金の設定の考え方	3
②学生確保に向けた具体的な取組状況	5
ア ヤマザキ動物専門学校で現在実施している取組	5
イ 既設の専門学校の同分野の学科の充足率が1.0倍未満の場合の、 原因分析の上学生確保ができる根拠	6
2. 人材需要の動向等社会の要請	8
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	8
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの 客観的な根拠	8
ア 社会人等の多様な学生の確保の見込み	10
イ 就職等の進路の確保	10
3. 専門職短期大学新設案件についての、学生確保の調査結果	13
①第三者調査機関によるアンケート調査	13
②教職員による高校訪問調査	14

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

学校法人ヤマザキ学園は、平成 22 年に 4 年制大学ヤマザキ学園大学を開学したが、この大学は高等教育機関として動物看護学を母体として出来た日本で初めての大学である。各高等学校の進路指導の方針が変更され、4 年制大学への進学率を上げる方向に向き始めているため、高校生も 4 年制大学への志向となっている。しかしながら、4 年間で大学における教育・研究を受けるよりも早く知識及び技術を修得して社会で活躍することを希望する階層も多数いることも事実である。ヤマザキ動物看護専門職短期大学は、専門職短期大学設置の趣旨に沿って、より高度な専門生を求めて 3 年制専門学校から 3 年制専門職短期大学に振り替えるのである。

ヤマザキ動物専門学校が有しているデータ及び公的機関による統計調査の公表データを用い、志願者倍率・18 歳人口の推移の観点から長期的かつ安定的に学生の確保を図ることができる見通しがあることを示している。

要旨については「ア 定員充足の見込み」にて記載し、説明に用いた客観的なデータの詳細については「イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要」に記載している。

ア 定員充足の見込み

定員設定の考え方

ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科の収容定員については、教育の質を今後も保証する上でヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科の受入れ水準を超えないことが重要である。一方で、評価された質の高い人材を数多く輩出していくことも重要である。そのため、申請する学科についてヤマザキ動物看護短期大学動物看護学科の平成 16 年度から平成 21 年度までの過去 6 年間の志願状況（資料 1）およびヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科の平成 25 年度から平成 29 年度までの過去 5 年間の入学者数を依拠として、教育上の諸条件に鑑みた上で定員 80 名を設定している。

ヤマザキ動物看護短期大学は、平成 16 年に入学定員 100 名で開学した。開学時より完成年度の 6 年間の志願動向（資料 1）は、初年度、志願者 512 人、受験者 485 人、合格者 133 人、入学者 129 人、志願倍率 5.12 であり、3 年制動物看護学科の定員は充足されていることから、ヤマザキ動物看護専門職短期大学 3 年制の学科新設に対しても期待される。

また、ヤマザキ動物専門学校と同水準の入学者選抜ができることを確認しており、定員充足の見込みが立っていることも定員設定の考え方の 1 つである。

（表 1）

【平成 16 年度から平成 21 年度までのヤマザキ動物看護短期大学の志願状況】

入試年度	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	定員充足率
平成16年度	100	512	—	133	129	5.12	—
平成17年度	100	386	—	151	129	3.86	—
平成18年度	100	321	—	158	129	3.21	129.0%
平成19年度	116	209	—	170	147	1.80	128.2%
平成20年度	116	198	—	170	149	1.71	128.0%
平成21年度	116	153	—	145	132	1.32	123.0%

定員を充足する見込み

(1) 志願者倍率（ヤマザキ動物専門学校志願動向）

ヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科の平成 25 年度から平成 29 年度までの過去 5 年間の志願状況（表 2）について調査した。

5 年間の志願倍率は、平成 25 年度 0.71 倍、平成 26 年度 0.71 倍、平成 27 年度 0.64 倍、平成 28 年度 0.96 倍、平成 29 年度 0.79 倍を確保している。平成 28 年度より入学定員を 120 名から 80 名に変更したため、過去 2 年間の志願倍率を算出すると 0.86 倍となり、安定的に受験者を確保することが可能であることを示している。

(2) 志願者倍率（地域的な志願動向）

入学定員に対する志願者数の倍率について、平成 29 年度調査結果として日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」短期大学に掲載されている「地域別の動向」における入学定員に対する志願者数の平成 27 年度から平成 29 年度の過去 3 年間の倍率（資料 2）を比較すると、通学圏である埼玉県が 1.03 倍、千葉県が 1.08 倍、東京都が 2.02 倍、神奈川県が 1.25 倍、関東地域合計 1.58 倍であり、いずれの地域に所在する短期大学の平均的な志願者倍率も上回っており、当時のヤマザキ動物看護短期大学の志願状況を鑑みると、受験者を確保することが可能と考える。

(3) 18 歳人口の推移

ヤマザキ動物看護専門職短期大学を受験する高校生等は、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県に所在する高等学校等からが多数を占めている。これらの都県について将来的な 18 歳人口を文部科学省の「学校基本調査」に掲載されている都道府県別在学者数の推移（資料 3）から推計すると、18 歳人口の減少傾向はあるものの、その減少率は全国平均に比べると緩やかであり、ヤマザキ動物看護専門職短期大学が所在する地域的な人口動態の観点からも、今後の学生の確保は十分に可能であること示している。

詳細については、「イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要」に記載している。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

前頁「ア 定員充足の見込み」で挙げた志願者倍率（ヤマザキ動物専門学校志願動向）・志願者倍率（地域的な志願動向）・18 歳人口の推移の 3 つの観点から、定員充足の見込みについて客観的根拠となるデータの詳細な内容を以下のとおり記載する。

(1) 志願者倍率（ヤマザキ動物専門学校志願動向）

ヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科の平成 25 年度から平成 29 年度までの過去 5 年間の志願動向の調査結果である。平成 25 年度の志願者は 85 人、入学者は 80、平成 26 年度の志願者は 85 人、入学者は 80、平成 27 年度の志願者は 77 人、入学者は 76、平成 28 年度の志願者は 77 人、入学者は 75、平成 29 年度の志願者は 63 人、入学者は 62 人を確保して安定的な学生確保を行っており、ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科に移行することにより、専門職短期大学の特色を生かした教育を実施するため定員充足の見込みはありと考える。

(表 2)

【平成 25 年度から平成 29 年度までのヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科の志願動向】

入試年度	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	定員充足率 E/A
平成 25 年	120	85	85	85	80	0.71	66.67%
平成 26 年	120	85	85	85	80	0.71	66.67%
平成 27 年	120	77	77	77	76	0.64	63.33%
平成 28 年	80	77	77	77	75	0.96	93.75%
平成 29 年	80	63	63	63	62	0.79	77.50%

(2)平成 29 年度ヤマザキ動物専門学校入学者出身地別分布

平成 29 年度ヤマザキ動物専門学校入学者出身地別の分布（資料 4）の調査結果である。

入学者数合計は 85 人で、その内訳は神奈川県 31 人（36.5%）、東京都 23 人（27.0%）、埼玉県 17 人（20.0%）、千葉県 4 人（4.7%）で、関東地域合計が 75 人（88.2%）で、ほぼ 90%を占めているのが分かる。

(表 3)

【平成 29 年度ヤマザキ動物専門学校入学者出身地別比率】

項目	福島県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	合計
入学者数	1	17	4	23	31	1	1	3	4	85
比率	1.2%	20.0%	4.7%	27.0%	36.5%	1.2%	1.2%	3.5%	4.7%	100.0%

(3) 志願倍率（全国動物保健看護系大学 8 大学の志願状況）

全国動物保健看護系大学 8 大学の平成 27 年度から平成 29 年度の過去 3 年間の志願動向（資料 5）の調査結果である。

3 年間の志願者の平均は 269.2 人、受験者の平均は 259.2 人、合格者の平均は 141.4 人で、志願倍率の平均は 3.17 であり、安定的に受験者を確保していることを示している。

(5) 競合校として挙げた大学等の妥当性について

全国動物保健看護系大学協会加盟 8 大学は、動物看護師統一認定機構の標準カリキュラムに基づき、3 年間で動物看護師統一認定機構による認定動物看護師の受験資格を得て受験している。ヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科も同様に、動物看護師統一認定機構の標準カリキュラムに基づき、3 年間で動物看護師統一認定機構による認定動物看護師の受験資格を得て受験している。

動物看護系の大学は全国に 8 大学、専門学校は 68 校あるが、3 年制の専門学校の数は少なく、ほとんどは 2 年制の専門学校である。そのため、既存の専門学校も考慮しているが、3 年制の新たな体制の専門職短期大学の設置を想定しているため、既存の全国動物保健看護系大学協会加盟 8 大学を対象とした。

ウ 学生納付金の設定の考え方

全国動物保健看護系大学協会加盟 8 大学における 3 年間の学生納付金（資料 6）の調査結果である。

8 大学平均の学生納付金の内訳は、入学金 226,250 円、授業料 2,651,625 円、施設費等 1,046,250 円、実習費 311,250 円、諸会費 84,675 円、合計 4,320,050 円である。

また、ヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科（3 年制）における平成 30 年度の学生納付金は以

下のとおりである。

(表 4)

【ヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科学生納付金（平成 30 年度）】 (単位：円)

年次	入学金	授業料	実習費	施設費	維持費	合計
1年次	150,000	520,000	280,000	196,000	136,000	1,282,000
2年次	—	520,000	280,000	196,000	136,000	1,132,000
3年次	—	520,000	280,000	196,000	136,000	1,132,000
合計	150,000	2,100,000	900,000	588,000	408,000	3,546,000

4年制動物看護系大学の3年間分の学生納付金の平均及び現行の専門学校の学生納付金を鑑み、ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科は、3年制の専門学校進学希望者が3年制専門職短期大学にスムーズに進学できるよう配慮して、入学金、授業料、実習費、施設費等の学生納付金の額を以下のとおり設定した。

また、既存の施設を有効利用するため、維持費は設定しないこととした。

(表 5)

【ヤマザキ動物看護専門職短期大学学生納付金設定額（平成 31 年度）】 (単位：円)

年次	入学金	授業料	実習費	施設費	維持費	合計
1年次	150,000	700,000	300,000	280,000	0	1,430,000
2年次	—	700,000	300,000	280,000	0	1,280,000
3年次	—	700,000	300,000	280,000	0	1,280,000
合計	150,000	2,100,000	900,000	840,000	0	3,990,000

②学生確保に向けた具体的な取組状況

ア ヤマザキ動物専門学校で現在実施している取組

(1) 情報公開

ヤマザキ動物専門学校では、現在、学校案内、ホームページ、進学媒体紙および進学情報サイトを中心に、授業内容、取得資格、入学試験、学費及び就職情報等について明示し、受験者および高等学校に周知している。

(2) 専門学校説明会

ヤマザキ動物専門学校では、受験生に専門学校を知ってもらう機会として専門学校説明会及び入試説明会（AO入試、推薦入試、）を開催しており、平成 28 年度は平成 29 年度・平成 30 年度・平成 31 年度入試の受験生向けに下記のとおり開催し、ガイダンス、入試説明、個別相談、キャンパス見学などを実施した。

来場者数は約 800 人おり、多くの受験生に専門学校を知ってもらう機会となっている。

(表 6)

【平成 28 年度 専門学校説明会・入試説明会】

開催月	開催回数	参加者数
3月	3回	217人
4月	1回	23人
5月	4回	83人
6月	9回	139人
7月	4回	95人
8月	7回	154人
9月	4回	25人
10月	2回	22人
11月	2回	10人
12月	1回	3人
1月	2回	10人
2月	1回	8人
合計	32回	789人

(3) 体験入学・お仕事体験・授業見学ツアー

受験生に専門学校の授業を体験して興味をもってもらえる機会として体験入学、お仕事体験及び授業見学ツアーを開催しており、平成 28 年度は平成 29 年度入試の受験生向けに下記のとおり開催した。

(表 7)

【平成 29 年度 専門学校体験入学・お仕事体験・授業見学ツアー】

開催月	開催回数	参加者数
3月	2回	92人
4月	—	—
5月	3回	100人
6月	2回	74人
7月	4回	95人

8月	8回	270人
9月	4回	15人
10月	3回	26人
11月	—	—
12月	—	—
1月	—	—
2月	—	—
合計	26回	672人

(4) キャンパス見学

受験者や高等学校から個別依頼のキャンパス見学においては、授業、施設見学を始め、参加者の質問に個別で答えるなど、個々人に対して詳細な説明を行っている。

(5) 高等学校訪問

高等学校へ教職員を派遣して進路指導教員に専門学校在校生の概要を説明している。高等学校や学年などの特性に応じて工夫しながら説明を行い、専門学校への関心を喚起している。平成28年度は200校を訪問した。

(6) 保護者対象説明会

受験者の保護者向けに保護者対象説明会を6月に1回開催し33人が参加した。

(7) 高等学校教員対象説明会

高等学校の進路指導教員向けに「高等学校教員対象専門学校説明会」を大学と合同で開催して、教育内容やAO入試制度及び昨年度との変更点などを伝え、進路指導の参考にしてもらっている。平成28年度は21校の参加があった。

(8) 進学説明会

学外で開催されている各種進学説明会へ積極的に参加している。多くの学生が、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県で占められているため、関東地域を中心に参加している。

イ 既設の専門学校の同分野の学科の充足率が1.0倍未満の場合の、原因分析の上学生確保ができる根拠

(1) 志願者減の背景

ヤマザキ動物専門学校動物看護・美容学科の定員充足状況(表2)をみると、平成25年度0.67、平成26年度0.67、平成27年度0.63、平成28年度0.94、平成29年度0.78である。平成25年度から平成27年度までは定員120人のため定員充足率が0.63と減少しているが、平成28年度より定員を80名に変更し、定員充足率を0.8台に上げる方策を講じたが定員充足には至っていない。

また、各高等学校の進路指導の方針が変更され、視点が大学進学率を上げる方向に向き始めている。募集活動で高校訪問の際、高等学校の進路担当教員から大学進学に力点を置くので専門学校等への推薦はしないことになった等の声も出ており、志願者数の減少の一因と考えられる。

(2) 定員確保に向けた対策

東京都内の10専門学校学科系統別学生数における、文化教養関係の動物の学生数(表8)を調

査した結果である。

一時期は減少したものの、平成 25 年度以降は 3,000 人前後の学生数を確保していることが分かる。

そのため、ヤマザキ動物看護専門職短期大学では、ヤマザキ動物専門学校が実施している様々な学生確保の取組を展開しつつ、複数存在する動物看護師養成校との差別化を図ることを推し進めるために、ヤマザキ動物看護専門職短期大学の養成する人材像である

1. 動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。
2. 訪問看護においてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミングケア、しつけ、食事と栄養指導など、疾病予防衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。
3. 産業界において飼い主と市場と繋ぐ役割を果たす人材を養成する。

を高校生はもちろん進路指導教員に積極的にアピールし理解を促す。

また、ホームページ等の情報公開内容を更に充実させ、高校生、保護者および進路指導教員が求める情報の提供に努める。教職員協働で危機感を持ちつつ積極的に募集活動に参画するするとともに、対応策を確実に実行することで定員充足率は改善できると考えている。

(表 8)

【平成 19 年度から平成 28 年度までの都内専門学校の学科系統別学生数（服飾・家政／文化・教養）】

文化教 養関係	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
動 物	2,767	2,683	2,380	2,300	2,197	2,455	3,368	2,911	3,150	3,001
増 減		-84	-303	-80	-103	+258	+913	-457	+239	-149

【註 1】平成 28 年度専修学校教育白書を基に算出している。

2. 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科の人材養成上の目的・教育目標は以下のとおりである。

学校法人ヤマザキ学園は「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を建学の精神に掲げており、人間は、地球上に存在する多種多様な生命に対し、尊敬の心を持ち、共に生きるものに限りない愛を注ぎ、調和のとれた平和な社会の建設に寄与する豊かな人間性と幅広い視野を持つ人間教育を行うことを目的としている。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学は、学園の建学の精神のもと「生命（いのち）を生きる」を教育理念とする。この教育理念は、「動物を愛することで自分自身も大自然のなかで生かされている生命であることを認識し、人間が自分たちよりも小さな弱い立場のものに思いやりの心を忘れずに、動物たちと豊かに共生すること」である。

動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を備えて、人とコンパニオンアニマルとの関係に求められる豊かな人間性と幅広い視野を養い、動物トータルケアに関わる基本的な理論・技術を身に付け、実践的、応用的能力を有することにより、訪問動物看護師を養成することに加え、動物看護の素養もって、飼い主と産業界を繋ぐ人材の養成を目的とする。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

動物看護師の職域として挙げられる動物病院は、個人経営から法人経営を含む 15,631 件が全国で開業し、また、最近の傾向としては、求人先の動物病院の約半数がコンパニオンアニマルケア（グルーミング）の業務を備えているため、その能力・技術における専門性も必要とされている。

また、動物看護師は、動物病院だけでなく、動物園、水族館、ペットショップ、グルーミングサロンや犬のしつけ教室など様々な職域で活躍している他、動物看護の素養を備えた人材は、動物医薬品を含む製薬会社、研究所に加え、ペットフードやサプリメント・消臭剤等を扱うドラッグストアからも需要もある。更にドッグ・リゾートの他、ネコカフェは日本の新しい文化として根付き始め、外国からの観光客に人気を得ている。

このように多様化する動物関連の職域では、動物看護の専門的な知識と技術を修得するだけでなく、幅広い視野と様々な事象に的確に対応できる能力を備えた、動物トータルケアができる動物看護師が要望されている。この度の専門職短期大学申請に際し、本学が所在する渋谷区の長谷部健区長を始め、動物病院やペット関連産業界より多数の賛同する意見をいただいている。

動物病院 204 病院を対象とした「臨地実習及び動物病院で活躍する動物看護師の人材採用意向等に関するアンケート」および動物関連企業 58 企業を対象とした「臨地実習及び産業界で活躍する人材採用意向等に関するアンケート」（資料 7 両面）の調査結果である。

設問は各々 6 問設定しているが、

問 1 動物医療の発展に寄与する人材の必要性について

問 2 臨地実習を経験した学生の魅力について

問 3 卒業生の採用の検討について

の集計結果を下記（表 9）および（表 10）のとおり取りまとめた。

問 1 動物医療の発展に寄与する人材の必要性については、動物病院が 99.0%、産業界が 98.3%と人材の必要性を示している。

問 2 臨地実習を経験した学生の魅力については、動物病院が 91.7%、産業界が 94.8%と学生の魅力を感じている。

問 3 卒業生の採用の検討については、動物病院が 81.9%、産業界が 72.5%と採用を検討している。

このように、動物病院および産業界において、ヤマザキ動物看護専門職短期大学が養成する質の高い、教養と専門性を備えた動物看護師の要望は高いことが分かる。

(表 9)

【臨地実習及び動物病院で活躍する動物看護師の人材採用意向等に関するアンケート集計結果】

問 1 動物病院において、動物看護（訪問・在宅を含む）、健康管理、グルーミングやしつけ等の知識と技術を備え飼い主（クライアント）とコミュニケーションをはかり、動物医療の発展に寄与する人材が必要だと思いますか。

区分項目	1. 極めて必要性が高い	2 まあまあ必要性がある	3 あまり必要性はない	4 必要性はない	5. わからない	6. その他
回答数	166	36	1	1	0	0
比率	81.4%	17.6%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%

問 2 専門職短期大学では、学内での実習 450 時間の他、産業界と連携して 450 時間以上の臨地実習（関連企業実習）が義務づけられています。本学を卒業し、長時間の関連企業実習を経験した学生に魅力を感じますか。

区分項目	1 極めて魅力的だと思う	2 まあまあ、魅力的だと思う	3 魅力的だと思う	4 わからない	5 その他
回答数	115	72	2	14	1
比率	56.4%	35.3%	1.0%	6.8%	0.5%

問 3 ヤマザキ動物看護専門職短期大学の卒業生の採用を検討していただけますか。

区分項目	1. 積極的に採用したい	2. 採用を検討したい	3. 状況によって採用を考える	4. 採用は考えない	5. わからない	6. その他
回答数	123	44	35	0	2	0
比率	60.3%	21.6%	17.1%	0.0%	1.0%	0.0%

(表 10)

【臨地実習及び産業界で活躍する人材採用意向等に関するアンケート集計結果】

問 1 動物関連企業において、動物看護（訪問・在宅看護）や健康管理、グルーミング、しつけ等の素養を持ち、産業界のさまざまな場面で飼い主（コンシューマー）とのコミュニケーションをはかり、業界の発展に寄与できる人材が必要だと思いますか。

区分項目	1. 極めて必要性が高い	2 まあまあ必要性がある	3 あまり必要性はない	4 必要性はない	5. わからない	6. その他
回答数	45	12	0	0	1	0
比率	77.6%	20.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%

問 2 ヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下、本学）では、学内での実習 450 時間の他、産業界と連携して 450 時間以上の臨地実習（関連企業実習）が義務づけられています。本学を卒業し、長時間の関連企業実習を経験した学生に魅力を感じますか。

区分項目	1 極めて魅力的だと思う	2 まあまあ、魅力的だと思う	3 魅力的だと思う	4 わからない	5 その他
回答数	38	17	0	3	0
比率	65.5%	29.3%	0.0%	5.2%	0.0%

問 3 本学の卒業生の採用を検討していただけますか。

区分項目	1. 積極的に採用したい	2. 採用を検討したい	3. 状況によって採用を考える	4. 採用は考えない	5. わからない	6. その他
回答数	19	23	12	2	2	0
比率	32.8%	39.7%	20.7%	3.4%	3.4%	0.0%

ア 社会人等の多様な学生の確保の見込み

「認定動物看護師」を認定・登録している一般財団法人動物看護師統一認定機構では、平成 25 (2013) 年度より文部科学省委託事業で取り組んできた「社会人の学び直し事業」を継承し、関連各機関の支援のもと、平成 28 (2016) 年度文部科学省委託事業の「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」を受託した。この事業では、職域の拡大を視野に入れた畜産学関連のプログラムに加え、コアカリキュラム教育開始以前の教育課程等で養成された動物看護職等に対する学び直しプログラムを策定し、機構では、コアカリキュラムでも特に重要と考えられている基礎及び応用獣医学、院内コミュニケーション、クライアントエデュケーションの各実証講座が受験資格を付与する制度として採用できると捉え、この学び直し事業を活用し、未取得者に対する「認定動物看護師」資格取得の道を新たに開くこととした。

平成 28 (2016) 年度は文部科学省委託事業の施行的実証講座を未取得者が受けてきた教育内容や勤務歴等により、高位平準化動物看護概論の 8 科目中複数の科目を 167 名が受講し、その理解力を確認するテストを受けた者に対し、平成 30 (2018) 年 3 月以降の統一認定試験の受験資格が付与された。

また、平成 29 (2017) 年 4 月以降の未取得者に対する統一認定試験の受験資格付与に関し、平成 28 (2016) 年度施行的学び直し受験制度に対する受講内容を基とする制度を新たに構築することとし、平成 29 (2017) 年 4 月以降の受験資格付与希望者 51 名には昨年度の学び直し講座で撮影した DVD を貸与し、またテキストや関連教科書等を参考に自宅学習をしてもらうと同時に、高位平準動物看護概論の 2 日間のスクーリングを行い、スクーリングの最後に行う修了確認テストに合格した者あるいは修了確認テストに不合格となり追加課題を提出した者に統一認定試験の受験資格付与を行うものである。昨年に引き続き実施している平成 29 年度学び直し実証講座（資料 8 両面）においては 230 名の受講を予定している。なお、この講座では、ヤマザキ学園大学の教員を講師として多数派遣している。

本学園の 1 万人を超える卒業生のうち、これらの講座を受講し認定動物看護師の資格取得を目指す者もあり、動物看護師として活躍している方以外も含め社会人が学び直しをする機会を広く求めている。これらの既卒者の学び直し支援のため、ヤマザキ動物看護専門職短期大学では科目等履修生及び聴講生を積極的に受け入れる。このような現状から、現職の動物看護師としての勤務を経てヤマザキ動物看護専門職短期大学への社会人入学は将来期待されるものと考えられる。

イ 就職等の進路の確保

学校法人ヤマザキ学園は、創立以来 50 年以上にわたる長い歴史に支えられた全国的なネットワークを有しているため、動物関連企業、動物病院、ペットサロン、動物関連団体からの求人が確保されている。

平成 24 年度から平成 28 年度までのヤマザキ動物専門学校および平成 25 年度から平成 28 年度までのヤマザキ学園大学卒業後の進路先の状況調査結果である。

平成 24 年度から平成 28 年度までのヤマザキ動物専門学校は動物関連企業への就職率は 40% 台後半を、動物病院就職率は 30%～40% 台を維持しており、卒業生の就職先は十分確保できる見通しである。

(表 11)

【平成 24 年度から平成 28 年度までのヤマザキ動物専門学校卒業後の進路先の状況】

項目	年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
動物関連企業 (ペットショップサロン含む)	65	61.3%	44	40.7%	56	46.7%	47	46.1%	53	47.3%		

動物病院	21	19.8%	37	34.3%	38	31.7%	35	34.3%	45	40.2%
その他就職	8	7.6%	9	8.3%	10	8.3%	5	4.9%	4	3.6%
就職者合計	94	88.7%	91	84.3%	104	86.7%	88	86.3%	102	91.1%
進学	—	—	—	—	—	—	2	2.0%	—	—
進学者合計	0	—	0	—	0	—	2	—	0	—
就職活動中	5	4.7%	5	4.6%	5	4.2%	5	4.9%	5	4.5%
就職希望なし	7	6.6%	12	11.1%	11	9.2%	7	6.9%	5	4.5%
卒業者合計	106	—	108	—	120	—	102	—	112	—

平成 24 年度から平成 28 年度までのヤマザキ学園大学は動物関連企業への就職率は 40%台を、動物病院就職率は 40%台を維持しており、卒業生の就職先は十分確保できる見通しである。

(表 12)

【平成 25 年度から平成 28 年度までのヤマザキ学園大学卒業後の進路先の状況】

項目	年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
動物関連企業 (ペットショップサロン含む)	—	—	72	45.3%	57	36.5%	89	50.3%	73	42.7%		
動物病院	—	—	48	34.2%	68	43.6%	58	32.8%	75	43.9%		
その他就職	—	—	9	5.7%	3	1.9%	7	4.0%	0	0.0%		
就職者合計	—	—	129	81.2%	128	82.0%	154	87.1%	148	86.6%		
進学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
進学者合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
就職活動中	—	—	4	2.5%	4	2.6%	4	2.2%	3	1.7%		
就職希望なし	—	—	26	16.3%	24	15.4%	19	10.7%	20	11.7%		
卒業者合計	—	—	159	—	156	—	177	—	171	—		

平成 24 年度から平成 28 年度までのヤマザキ動物専門学校および平成 25 年度から平成 28 年度までのヤマザキ学園大学の学科別の就職状況の調査結果である。

平成 24 年度から平成 28 年度までのヤマザキ動物専門学校の学科別の就職状況を見ると、動物看護・美容学科は 90%台、動物看護学科は 90%台、動物美容学科は 100%台を維持しており、卒業生の就職率は十分維持できる見通しである。

(表 13)

【平成 24 年度～平成 28 年度ヤマザキ動物専門学校学科別の就職状況】

学 科	平成 24 年度					平成 25 年度				
	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数
動物看護・美容学科	97	91	86	94.5%	1050	81	69	66	95.7%	1058
動物看護学科	4	4	4	100.0%		22	22	22	100.0%	

動物美容学科	5	4	4	100.0%		5	5	3	60.0%	
合 計	106	99	94	94.9%		108	96	91	94.8%	
学 科	平成 26 年度					平成 27 年度				
	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数
動物看護・美容学科	86	78	73	93.6%	1058	67	59	55	93.2%	1128
動物看護学科	23	22	22	100.0%		17	16	15	93.8%	
動物美容学科	11	9	9	100.0%		18	18	18	100.0%	
合 計	120	109	104	95.4%		102	93	88	94.6%	
学 科	平成 28 年度									
	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数					
動物看護・美容学科	74	70	68	97.1%	1190					
動物看護学科	30	29	26	89.7%						
動物美容学科	8	8	8	100.0%						
合 計	112	107	102	95.3%						

平成 25 年度から平成 28 年度までのヤマザキ学園大学の学科別の就職状況を見ると、動物看護学科は 97%～98%台を維持しており、卒業生の就職率は十分維持できる見通しである。

(表 14)

【平成 24 年度～平成 28 年度ヤマザキ動物専門学校学科別の就職状況】

学 科	平成 24 年度					平成 25 年度				
	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数
動物看護学科	—	—	—	—	—	159	133	129	97.0%	1190
合 計	—	—	—	—		159	133	129	97.0%	
学 科	平成 26 年度					平成 27 年度				
	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数
動物看護学科	156	132	128	97.0%	1221	177	158	154	97.5%	1144
合 計	156	132	128	97.0%		177	158	154	97.5%	
学 科	平成 28 年度									
	卒業 者数	就職希 望者数	就職 者数	就職率 (%)	求人 社数					
動物看護学科	171	151	148	98.0%	1257					
合 計	171	151	148	98.0%						

3. 専門職短期大学新設案件についての、学生確保の調査結果

①第三者調査機関によるアンケート調査

学生確保の見通しについては、第三者調査機関 一般財団法人日本開発構想研究所に委託して実施した。(資料 9) (資料 10) (資料 11) (資料 12)

(1)アンケート実施の目的

「(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」として調査票を作成し、高校生に対してヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを図ることを目的とした。

(2)調査実施

第一期調査：平成 29 年 10 月～11 月

第二期調査：平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月

(3)調査対象

平成 29 年度の高等学校 2 年生を対象に実施した。

第一期調査は、ヤマザキ学園大学及びヤマザキ動物専門学校に強い関心を示していると思われる資料請求者が多い高等学校 103 校をヤマザキ学園側が選定して実施した。

第二期調査は、過去のヤマザキ学園大学とヤマザキ動物専門学校の入学実績を中心に、指定校対象校も加えた高等学校をヤマザキ学園側が選定し、その内アンケート実施許可を得た 65 校に対して実施した。また、第一期実施分だけが期日後返送があった 2 校については、第 2 期分に合算して集計した。

(4)調査方法

各高等学校に郵送・手渡しによる配付・回収

(5)回収状況

(表 15)

項 目	有効回答票	回答高校数	回収率 (%) (回答高校/実施高校)
第一期調査	2,682 枚	24 校	23.8%
第二期調査	6,864 枚	55 校	82.1%
合 計	9,546 枚	79 校	47.0%

ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科 進学意向について

高校生を対象とした「(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」のヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学意向を問う問 5 の設問において、「1 進学を希望する」「2 進学先の候補の 1 つとして考える」を選択した回答の実数は以下のとおりである。

(表 16)

問 5 ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望	第一期	第二期	合 計
1 進学を希望する	21 人	97 人	118 人
2 進学先の候補の 1 つとして考える	111 人	224 人	335 人
合 計	132 人	321 人	453 人

※問5の設問は、高校卒業後の進路を問う問3の設問において「1～5」の高等教育機関への進学を選択した回答者(7,624人)を集計の対象とする。

問5の設問の結果、ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科へ「進学を希望する」と選択した回答は、第一期調査と第二期調査を合わせて118人入学定員(80人)の約1.48倍となり、入学定員を上回る結果となった。

②教職員による高校訪問調査

対象は違うが、第三者調査機関による高校生アンケートの分析結果だけでは学生確保の見通しとして不十分であると考え、学生募集に携わる10人の職員が、平成24年度から平成29年度までの期間において本学園の大学と専門学校に入学した実績のある高等学校104校を選定し、平成30年3月12日から4月13日の間で進路指導教員を実際に訪問の上、専門職短期大学について説明を行った。その結果、127人の専門職短期大学への進学希望者がいることの確認がとれ、学生確保を確保できる見通しを得ている。(資料13)(資料14)

資 料 目 次

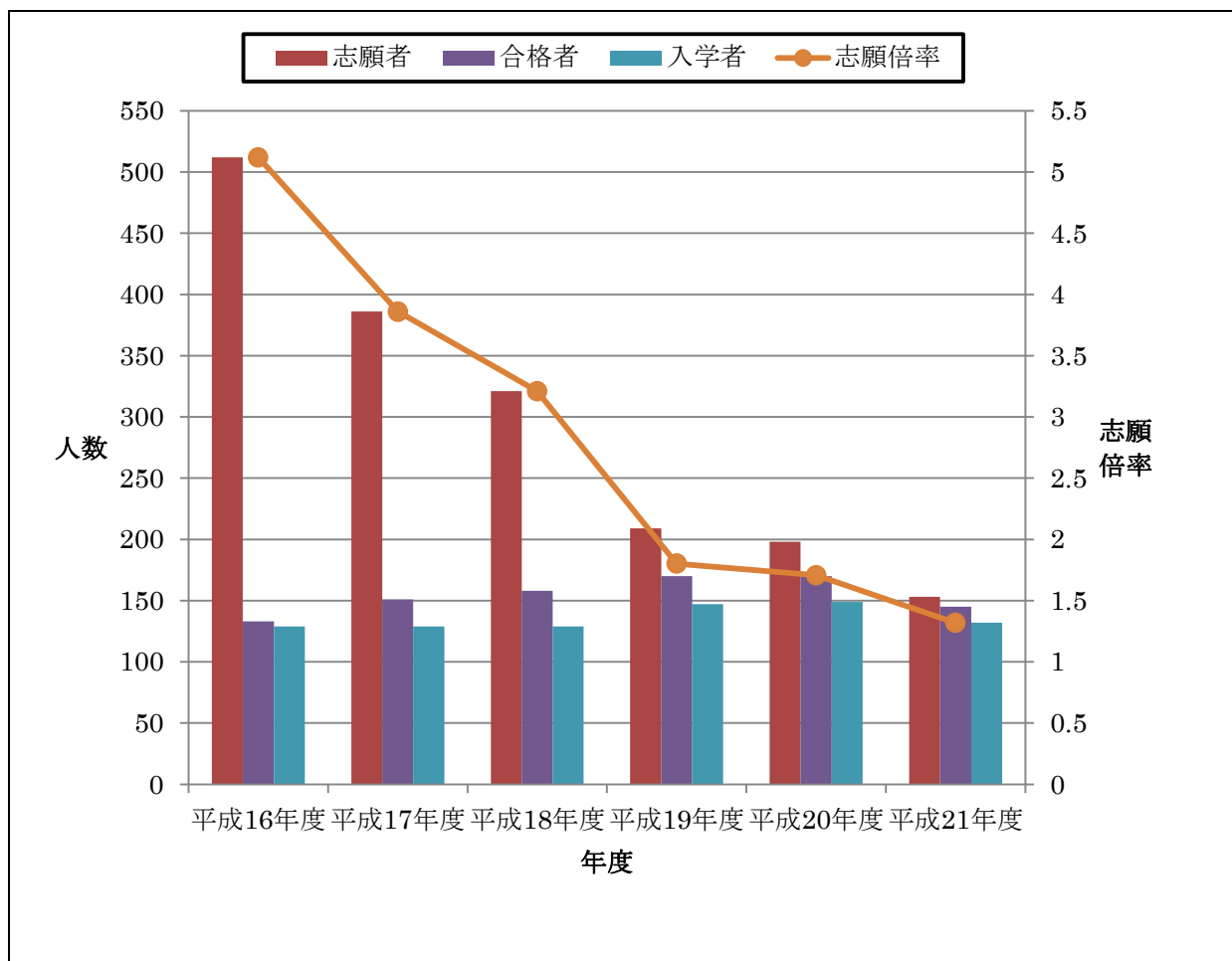
- 資料1. ヤマザキ動物看護短期大学の志願状況グラフ
- 資料2. 平成 27 年度から平成 29 年度までの私立大学・短期大学等入学志願動向
(日本私立学校振興・共済事業団)
- 資料3. 都道府県別在学者数の推移 (18 歳人口の推移予測表)
- 資料4. 平成 29 年度ヤマザキ動物専門学校入学者出身地別分布図
- 資料5. 平成 27 年度から平成 29 年度までの全国動物保健看護系大学 8 大学の志願動向
- 資料6. 平成 29 年度全国動物保健看護系大学協会加盟校の学生納付金調
- 資料7. 動物病院及び動物関連企業等へのアンケート
- 資料8. 平成 29 年度動物看護師及び動物系職業人向け学び直し講座について
- 資料9. (仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータル学科設置に関するアンケート調査報告書
- 資料10. 第一期調査に際して回答者に示した設置構想資料
- 資料11. 第二期調査に用いた調査票様式
- 資料12. 第二期調査に際して回答者に示した設置構想資料
- 資料13. 高校訪問による入学者想定者数調
- 資料14. 高校訪問報告書

「資料 1」

【平成 16 年度から平成 21 年度までのヤマザキ動物看護短期大学の志願状況】（再掲）

入試年度	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	定員充足率
平成16年度	100	512	—	133	129	5.12	—
平成17年度	100	386	—	151	129	3.86	—
平成18年度	100	321	—	158	129	3.21	129.0%
平成19年度	116	209	—	170	147	1.80	128.2%
平成20年度	116	198	—	170	149	1.71	128.0%
平成21年度	116	153	—	145	132	1.32	123.0%

【平成 16 年度から平成 21 年度までのヤマザキ動物看護短期大学の志願状況グラフ】



「資料 2」

【平成 27 年度から平成 29 年度までの私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）】短期大学

地域	年 度	集計 学校数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A
埼玉県	25	—	—	—	—	—	—	—
	26	—	—	—	—	—	—	—
	27	12	2,250	2,431	2,395	2,189	2,042	1.08
	28	12	2,250	2,290	2,241	2,089	1,959	1.02
	29	12	2,215	2,184	2,153	2,032	1,920	0.99
3年間平均		12	2,238	2,302	2,263	2,103	1,974	1.03
千葉県	25	—	—	—	—	—	—	—
	26	—	—	—	—	—	—	—
	27	8	1,770	2,056	2,042	1,808	1,621	1.16
	28	8	1,770	1,985	1,970	1,696	1,552	1.12
	29	8	1,830	1,747	1,734	1,577	1,417	0.95
3年間平均		8	1,790	1,929	1,915	1,694	1,530	1.08
東京都	25	38	8,389	18,037	17,594	11,208	8,244	2.15
	26	37	7,939	17,687	17,205	10,790	7,811	2.23
	27	37	7,124	15,622	15,226	10,400	7,476	2.19
	28	36	6,940	14,114	13,764	9,326	7,034	2.03
	29	36	6,670	12,068	11,773	8,361	6,580	1.81
3年間平均		36	6,911	13,935	13,588	9,362	7,030	2.02
神奈川県	25	—	—	—	—	—	—	—
	26	—	—	—	—	—	—	—
	27	13	2,850	3,796	3,727	3,314	3,085	1.33
	28	13	2,850	3,493	3,422	3,163	2,940	1.23
	29	13	2,850	3,412	3,350	3,068	2,886	1.20
3年間平均		13	2,850	3,567	3,500	3,182	2,970	1.25
関東地域 合 計	25	74	15,604	27,148	26,494	18,664	15,151	1.74
	26	73	15,194	26,258	25,566	18,148	14,515	1.73
	27	70	13,994	23,905	23,390	17,711	14,224	1.71
	28	69	13,810	21,882	21,397	16,274	13,485	1.58
	29	69	13,565	19,411	19,010	15,038	12,803	1.43
3年間平均		69	13,790	21,733	21,266	16,341	13,504	1.58
全 国 合 計	25	324	66,564	98,087	96,011	75,077	61,296	1.47
	26	320	64,664	93,379	91,399	72,673	58,561	1.44
	27	315	62,464	89,349	87,680	71,585	57,951	1.43
	28	311	61,251	83,116	80,684	67,381	55,171	1.36
	29	304	59,116	78,339	76,131	64,246	53,389	1.33
5年間平均		315	62,812	88,454	86,381	70,192	52,274	1.41

「資料3」

【都道府県別在学者数の推移】（18歳人口の推移予測表）

年度	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	関東合計	比率	全国合計	比率
31	57,392	49,664	101,368	67,010	275,434	—	1,060,900	—
32	58,859	50,342	102,649	67,871	279,721	101.6%	1,076,619	101.5%
33	64,459	54,754	102,210	77,556	298,879	108.5%	1,132,714	106.8%
34	63,409	53,661	101,908	76,927	295,905	107.4%	1,112,416	104.9%
35	62,314	53,085	100,081	75,158	290,638	105.5%	1,088,187	102.6%
36	61,729	52,235	95,043	75,420	284,427	103.3%	1,061,074	100.0%
37	63,382	53,598	98,900	77,557	293,437	106.5%	1,087,739	102.5%
38	63,178	53,556	100,881	78,107	295,722	107.4%	1,089,471	102.7%
39	62,348	53,203	101,360	77,437	294,348	106.9%	1,081,221	101.9%
40	62,024	52,125	102,381	76,414	292,944	106.4%	1,065,398	100.4%
41	61,458	51,724	102,848	76,618	292,648	106.2%	1,063,754	100.3%

【註1】平成31年度～平成32年度

平成29年5月現在、全日制高等学校2学年～1学年在籍生徒数

【註2】平成33年度～平成35年度

平成29年5月現在、中学校3学年～1学年在籍生徒数

【註3】平成36年度～平成41年度

平成29年5月現在、小学校6学年～1学年在籍児童数

【註4】数値は全て学校基本調査の当該年度数値より算出した。

「資料 4」

【平成 29 年度ヤマザキ動物専門学校入学者出身地別比率】

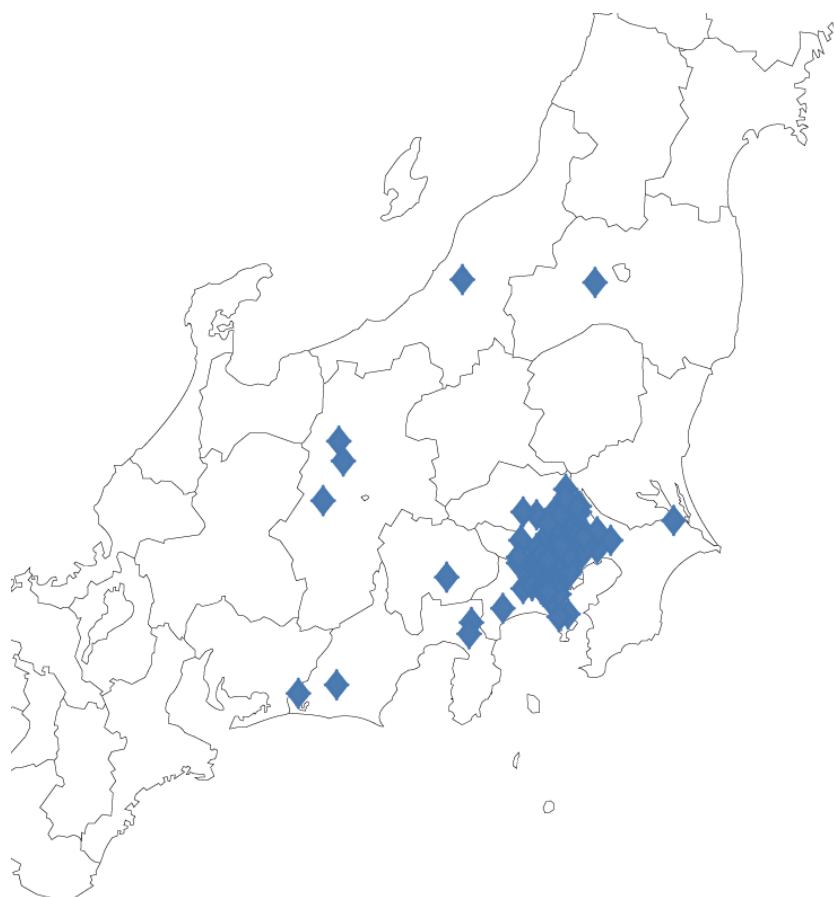
項目	福島県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	合計
入学者数	1	17	4	23	31	1	1	3	4	85
比率	1.2%	20.0%	4.7%	27.0%	36.5%	1.2%	1.2%	3.5%	4.7%	100.0%

(再掲)

【平成 29 年度ヤマザキ動物専門学校入学者出身地別分布図】

都道府県入学者数

福島県	1
埼玉県	17
千葉県	4
東京都	23
神奈川県	31
新潟県	1
山梨県	1
長野県	3
静岡県	4
<hr/>	85



「資料 5」

【平成 27 年度から平成 29 年度までの全国動物保健看護系大学 8 大学の志願動向】

	大学名 学部名 学科名	入 試 年 度	入 学 定 員 A	志 願 者 B	受 験 者 C	合 格 者 D	入 学 者 E	志 願 倍 率 B/A	定 員 充 足 率 E/A
1	九州保健福祉大学 薬学部 動物生命薬学科	27 年	40	91	88	62	未公開	2.28	—
		28 年	40	42	40	31	未公開	1.05	—
		29 年	40	49	47	36	未公開	1.23	—
2	倉敷芸術科学大学 生命科学部 動物生命科学科	27 年	60	81	75	68	未公開	1.35	—
		28 年	60	87	85	66	未公開	1.45	—
		29 年	60	89	87	55	未公開	1.48	—
3	千葉科学大学 危機管理学部 動物危機管理学科	27 年	40	145	142	107	未公開	3.63	—
		28 年	40	100	98	73	未公開	2.50	—
		29 年	40	88	85	84	未公開	2.20	—
4	帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科	27 年	140	579	557	216	未公開	4.14	—
		28 年	140	481	465	214	未公開	3.44	—
		29 年	140	462	452	206	未公開	3.30	—
5	東亜大学 医療学部医療工学科 動物看護学コース (入学定員は学部合計)	27 年	—	—	—	—	—	—	—
		28 年	—	—	—	—	—	—	—
		29 年	100	66	66	62	未公開	0.66	—
6	日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医保健看護学科	27 年	70	644	627	207	未公開	8.05	—
		28 年	70	567	496	224	未公開	7.09	—
		29 年	70	609	593	214	未公開	7.61	—
7	ヤマザキ学園大学 動物看護学部 動物看護学科	27 年	180	293	280	275	未公開	1.63	—
		28 年	180	302	300	290	未公開	1.68	—
		29 年	180	314	312	311	未公開	1.74	—
8	酪農学園大学 獣医学群 獣医保健看護学類	27 年	50	235	226	125	未公開	4.70	—
		28 年	50	307	300	73	未公開	6.14	—
		29 年	50	291	281	111	未公開	5.82	—
合 計		27 年	590	2068	1995	1060	未公開	3.51	—
		28 年	590	1886	1784	971	未公開	3.20	—
		29 年	690	1968	1923	1079	未公開	2.85	—
3 年間平均			85.0	269.2	259.2	141.4	未公開	3.17	—

【註 1】 河合塾 一般入試 入試結果（私立大学）を基に算出した。

【註 2】 一般公募推薦、指定校推薦及びAO入学試験は除外して算出した。

「資料 6」

【平成 29 年度全国動物保健看護系大学協会加盟校の学生納付金調】

大学名	学年	入学金	授業料	施設費等	実習費	諸会費等	合 計
九州保健福祉 大学	1 年次	300,000	1,146,000	350,000	0	0	1,796,000
	2 年次	—	1,146,000	350,000	0	0	1,496,000
	3 年次	—	1,146,000	350,000	0	0	1,496,000
	合 計	300,000	3,438,000	1,050,000	0	0	4,788,000
倉敷芸術科学 大学	1 年次	220,000	845,000	470,000	0	0	1,535,000
	2 年次	—	845,000	470,000	0	0	1,315,000
	3 年次	—	845,000	470,000	0	0	1,315,000
	合 計	220,000	2,535,000	1,410,000	0	0	4,165,000
千葉科学大学	1 年次	250,000	850,000	350,000	200,000	0	1,650,000
	2 年次	—	850,000	350,000	200,000	0	1,400,000
	3 年次	—	850,000	350,000	200,000	0	1,400,000
	合 計	250,000	2,550,000	1,050,000	600,000	0	4,450,000
帝京科学大学	1 年次	200,000	860,000	240,000	180,000	5,500	1,485,500
	2 年次	—	860,000	240,000	180,000	5,500	1,285,500
	3 年次	—	860,000	240,000	180,000	5,500	1,285,500
	合 計	200,000	2,580,000	720,000	540,000	16,500	4,056,500
東亜大学	1 年次	240,000	780,000	420,000	100,000	71,300	1,611,300
	2 年次	—	780,000	420,000	100,000	71,300	1,371,300
	3 年次	—	780,000	420,000	100,000	71,300	1,371,300
	合 計	240,000	2,340,000	1,260,000	300,000	213,900	4,353,900
日本獣医生命 科学大学	1 年次	250,000	750,000	500,000	100,000	105,000	1,725,000
	2 年次	—	750,000	500,000	100,000	105,000	1,455,000
	3 年次	—	750,000	500,000	100,000	105,000	1,455,000
	合 計	250,000	2,250,000	1,500,000	300,000	315,000	4,635,000
ヤマザキ学園 大学	1 年次	150,000	900,000	300,000	250,000	0	1,600,000
	2 年次	—	900,000	300,000	250,000	0	1,450,000
	3 年次	—	900,000	300,000	250,000	0	1,450,000
	合 計	150,000	2,700,000	900,000	750,000	0	4,500,000
酪農学園大学	1 年次	200,000	940,000	160,000	0	44,000	1,344,000
	2 年次	—	940,000	160,000	0	44,000	1,144,000
	3 年次	—	940,000	160,000	0	44,000	1,144,000
	合 計	200,000	2,820,000	480,000	0	132,000	3,632,000
3 年間合計の平均	合 計	226,250	2,651,625	1,046,250	311,250	84,675	4,320,050

「資料 7」

臨地実習及び動物病院で活躍する動物看護師の人材採用意向等に関するアンケート

学校法人 ヤマザキ学園

- 問 1 動物病院において、動物看護（訪問・在宅を含む）、健康管理、グルーミングやしつけ等の知識と技術を備え飼い主（クライアント）とコミュニケーションをはかり、動物医療の発展に寄与する人材が必要だと思いますか。該当する番号を1つ選び数字を○で囲んでください。
- 1 極めて必要性が高い 2 まあまあ必要性がある 3 あまり必要性はない
4 必要性はない 5 わからない 6 その他（ ）
- 問 2 専門職短期大学では、学内での実習 450 時間の他、産業界と連携して 450 時間以上の臨地実習（関連企業実習）が義務づけられています。本学を卒業し、長時間の関連企業実習を経験した学生に魅力を感じますか。該当する番号を1つ選び数字を○で囲んでください。
- 1 極めて魅力的だと思う 2 まあまあ、魅力的だと思う 3 魅力的だと思わない
4 わからない 5 その他（ ）
- 問 3 （仮称）ヤマザキ動物看護専門職短期大学の卒業生の採用を検討していただけますか。該当する番号を1つ選び数字を○で囲んでください。
- 1 積極的に採用したい 2 採用を検討したい 3 状況によって採用を考える
4 採用は考えない 5 わからない 6 その他（ ）
- 問 4 次のような教育内容は良いと思いますか。該当する数字を○で囲んでください。（複数回答可）
- 1 動物臨床看護学 2 口腔ケア 3 グルーミング 4 トレーニング
5 コミュニケーション能力 6 ビジネスマナー
7 その他、特に必要と思われる内容があれば、ご記入ください
（ ）
- 問 5 少子高齢化の中、家庭でイヌやネコを飼育する時飼い主をサポートし環境支援ができる人材の教育は、動物医療の分野からの要望に答えることになると思いますか。
- 1 そう思う 2 よくわからない 3 そう思わない
- 問 6 在学生の臨地実習を受け入れていただけますか。該当する数字を○で囲んでください。
- 1 はい 2 いいえ 3 検討する
→「1 はい」とお答えの場合は、同封の賛同書及び臨地実務実習施設使用承諾書を本紙と共にご返送下さい。

- 問 7 動物看護師の皆さんの学び直しとしてどのような内容を期待しますか。

[]

ご協力ありがとうございました。

動物病院名 _____

院 長 名 _____

平成29年度 文部科学省委託事業

動物看護師および 動物系職業人向け 学び直し 実証講座のご案内

9月2日(土)～12月21日(木)

受講料 無料!

会場: 札幌、東京、大阪、京都 ※詳細は裏面をご確認ください。

昨年引き続き、今年度も文部科学省委託事業
「地域の特性を活かした動物看護分野の学び直し体制構築事業の一つ」として、学び直し講座を開講します。
認定動物看護師および動物系職業人として活躍している皆さん、
知識の幅を広げて更なるスキルアップを目指しましょう!

受講対象 動物系職業人の皆様

認定動物看護師、認定動物看護師資格未取得の現動物看護師(休職・離職を含む)、
動物看護以外の動物系大学卒業者、実験動物関係者、動物看護以外の動物系大学生、
動物飼育員、トリマー、ドッグトレーナー

講座内容

動物疾病学
20回(対面学習:60時間 自律学習:30時間)

臨床の場で役に立つ更に充実した内容。昨年の受講者には、ステップアップ講座として特にお薦めです! チーム獣医療のスタッフとして活躍している動物看護師にとって日常に出会うことが多い病気の基礎的なことを振り返る時間を含め治療方針の理解度を高め、疾病別の動物看護に活かせるよう企画した授業です。器官別の代表的な疾患及び症状、特有な検査や観察事項などを知り、飼い主の指導にも活用できる知識を得る機会としてご活用ください。

臨床動物看護学
4回(対面学習:12時間 自律学習:3時間)

今回は、「動物看護学」で学んだ動物看護過程を復習する時間から始まり、動物の看護を症状別にみていきます。各症状を持つ動物の“今”を、観察する技術、そこから抽出された問題点と解決方法、これを実践する看護、そして結果を評価することまでを事例をあげて解説します。経験豊かな現役で頑張る動物看護師にお薦めです!

※受講の前には、推奨する参考図書及び事務局が提供するテキスト、シラバスによる自律学習をお薦めしています。詳細は、申し込み時にご確認ください。
※昼食は弁当持参、又は外出可。 ※受講後、若干項目の受講者アンケートのご協力をお願いします。

下記問い合わせ先へファックスにてお申し込みください。
FAX 011-511-0764

申込の流れにつきましては下記校のホームページにてご確認ください
<http://www.h-aiken.com/relearning.html>

学校法人工藤学園 愛犬美容看護専門学校
〒064-0809 北海道札幌市中央区南9条西7丁目1-31 学校代表電話番号 011-512-7744

申込期限) 開催7日前まで

「資料 8」

【平成 29 年度社会人の学び直し実証講座開催予定表】

東京会場開催日(会場：国際動物専門学校)					
		午前(10:00~13:00)		午後(14:00~17:00)	
		科目	講師	科目	講師
1	9/9 (土)	概論	山下真理子 (国際動物専門学校)	呼吸器	谷口明子 (ヤマザキ学園大学)
2	9/30 (土)	—	—	耳科	小方 宗次 (ヤマザキ学園大学)
3	10/1 (日)	内分泌	森谷直樹 (国際動物専門学校)	口腔関連①	藤田桂一 (フジタ動物病院)
4	10/7 (土)	脳神経系	森谷直樹 (国際動物専門学校)	口腔関連②	藤田桂一 (フジタ動物病院)
5	10/28 (土)	循環器	富田幸子 (ヤマザキ学園大学)	生殖、繁殖	丸尾幸嗣 (ヤマザキ学園大学)
6	10/29 (日)	血液・免疫 ①	川鍋美紀子 (国際動物専門学校)	血液・免疫 ②	川鍋美紀子 (国際動物専門学校)
7	11/4 (土)	皮膚①	川鍋美紀子 (国際動物専門学校)	皮膚②	川鍋美紀子 (国際動物専門学校)
8	11/11 (土)	消化器①	頼定大和 (中央動物専門学校)	消化器②	頼定大和 (中央動物専門学校)
9	11/18 (土)	眼科	飛高健太郎 (中央動物専門学校)	—	—
10	11/25 (土)	泌尿器	本田三緒子 (ヤマザキ学園大学)	肝臓・膵臓	花田道子 (ヤマザキ学園大学)
11	12/2 (土)	臨床動物看 護学①	山下真理子 (国際動物専門学校)	臨床動物看 護学②	栗島みゆき (国際動物専門学校)
12	12/3 (日)	整形外科①	小林孝之 (アニマルクリニックこ ばやし)	整形外科②	小林孝之 (アニマルクリニックこ ばやし)
13	12/9 (土)	臨床動物看 護学③	栗島みゆき (国際動物専門学校)	—	—
14	12/16 (土)	臨床動物看 護学④	栗島みゆき (国際動物専門学校)	—	—

「資料 9」

【(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータル学科設置に関するアンケート調査
報告書】

(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科
設置に関するアンケート調査報告書

【高校生対象】

平成 30 年 3 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科進学意向>	2
<アンケート回収表>	3
<アンケート集計結果>	8
<アンケート調査票>	18

<アンケート調査概要>

1. アンケート実施の目的

本調査は、「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」としてアンケート調査票を作成し、高校生に対して学校法人ヤマザキ学園が設置を検討しているヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを測ることを目的とする。

2. 調査実施

第一期調査：平成 29 年 10 月～11 月

第二期調査：平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月

3. 調査対象

平成 29 年度の高校 2 年生を対象に実施。

第一期調査は、ヤマザキ学園大学及びヤマザキ動物専門学校に強い関心を示していると思われる資料請求者が多い高校 103 校を、学園側が選定して実施。

第二期調査は、過去のヤマザキ学園大学とヤマザキ動物専門学校の入学実績を中心に指定校対象校も加えた高校を学園側が選定し、その内アンケート実施許可を得た 65 校に対して実施。また、第一期実施分だが期日後に返送があった 2 校については、第二期分に合算して集計している。

4. 調査方法

各高校に郵送・手渡しによる配布・回収

5. 回収状況

項目	有効回答票	回答高校数	回収率 (回答高校/実施高校)
第一期調査	2,682 枚	24 校	23.8%
第二期調査	6,864 枚	55 校	82.1%
合計	9,546 枚	79 校	47.0%

＜ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科 進学意向＞

高校生を対象とした「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」のヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学意向を問う問5の設問において、「1 進学を希望する」「2 進学先の候補の1つとして考える」を選択した回答の実数は以下の通りである。

問5 ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望	第一期	第二期	合計
1 進学を希望する	21人	97人	118人
2 進学先の候補の1つとして考える	111人	224人	335人
合計	132人	321人	453人

※問5の設問は、高校卒業後の進路を問う問3の設問において「1～5」の高等教育機関への進学を選択した回答者(7,624人)を集計の対象とする。

問5の設問の結果、ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科へ「進学を希望する」と選択した回答者は、第一期調査と第二期調査を合わせて118人と入学定員(80人)の約1.48倍となり、入学定員を上回る結果となった。

<アンケート回収表>

【第一期調査】

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
1	東京都	都立	瑞穂農芸高等学校	-	-	-	
2	静岡県	県立	田方農業高等学校	11/16	38	0	
3	東京都	都立	篠崎高等学校	-	-	-	
4	神奈川県	県立	中央農業高等学校	-	-	-	
5	静岡県	県立	富岳館高等学校	11/2	45	0	
6	東京都	私立	岩倉高等学校	※	0	0	※期日後の返送のため第二期分に合算して集計
7	長野県	県立	南安曇農業高等学校	-	-	-	
8	静岡県	私立	静岡女子高等学校	11/6	83	0	
9	長野県	県立	上伊那農業高等学校	-	-	-	
10	栃木県	県立	上三川高等学校	11/20	68	0	
11	栃木県	県立	栃木農業高等学校	11/16	138	1	
12	新潟県	県立	巻総合高等学校	-	-	-	
13	山梨県	県立	農林高等学校	-	-	-	
14	長野県	県立	松代高等学校	-	-	-	
15	静岡県	県立	焼津水産高等学校	※	0	0	※期日後の返送のため第二期分に合算して集計
16	群馬県	県立	勢多農林高等学校	11/2	37	0	
17	東京都	私立	自由ヶ丘学園高等学校	-	-	-	
18	埼玉県	県立	和光高等学校	-	-	-	
19	静岡県	県立	藤枝北高等学校	10/26	46	0	
20	茨城県	県立	高萩清松高等学校	-	-	-	
21	群馬県	県立	利根実業高等学校	11/6	80	0	
22	東京都	私立	安田学園高等学校	-	-	-	
23	新潟県	県立	加茂農林高等学校	-	-	-	
24	茨城県	県立	茨城東高等学校	-	-	-	
25	埼玉県	県立	三郷高等学校	-	-	-	
26	静岡県	私立	藤枝明誠高等学校	-	-	-	
27	栃木県	県立	黒磯南高等学校	-	-	-	
28	東京都	都立	農産高等学校	-	-	-	
29	千葉県	県立	小見川高等学校	-	-	-	
30	神奈川県	県立	大楠高等学校	-	-	-	
31	埼玉県	県立	大宮東高等学校	-	-	-	
32	群馬県	県立	高崎東高等学校	10/26	75	0	
33	神奈川県	県立	茅ヶ崎西浜高等学校	-	-	-	
34	長野県	県立	坂城高等学校	-	-	-	
35	愛知県	私立	桜花学園高等学校	-	-	-	
36	茨城県	県立	水戸農業高等学校	-	-	-	
37	群馬県	県立	前橋西高等学校	-	-	-	
38	東京都	都立	橘高等学校	-	-	-	
39	長野県	県立	辰野高等学校	-	-	-	
40	長野県	私立	飯田女子高等学校	-	-	-	
41	長野県	私立	伊那西高等学校	-	-	-	
42	静岡県	私立	飛龍高等学校	11/13	71	0	

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
43	茨城県	県立	中央高等学校	-	-	-	
44	栃木県	私立	文星芸術大学附属高等学校	11/9	75	2	
45	千葉県	私立	東京学館船橋高等学校	-	-	-	
46	東京都	都立	晴海総合高等学校	-	-	-	
47	新潟県	県立	見附高等学校	-	-	-	
48	静岡県	県立	裾野高等学校	11/13	104	0	
49	千葉県	県立	市原高等学校	-	-	-	
50	愛知県	私立	東邦高等学校	-	-	-	
51	茨城県	県立	石下紫峰高等学校	-	-	-	
52	群馬県	県立	富岡実業高等学校	11/8	117	0	
53	群馬県	県立	尾瀬高等学校	-	-	-	
54	群馬県	県立	藤岡北高等学校	11/6	94	1	
55	千葉県	県立	浦安高等学校	-	-	-	
56	山梨県	県立	韭崎高等学校	-	-	-	
57	山梨県	市立	甲府商業高等学校	11/6	96	2	
58	愛知県	私立	名古屋大谷高等学校	-	-	-	
59	大阪府	私立	羽衣学園高等学校	-	-	-	
60	大阪府	私立	常翔啓光学園高等学校	-	-	-	
61	栃木県	県立	黒羽高等学校	-	-	-	
62	埼玉県	県立	深谷高等学校	-	-	-	
63	東京都	都立	足立高等学校	-	-	-	
64	茨城県	県立	笠間高等学校	11/16	71	0	
65	茨城県	県立	波崎高等学校	11/13	75	0	
66	栃木県	県立	高根沢高等学校	-	-	-	
67	栃木県	県立	鹿沼南高等学校	-	-	-	
68	群馬県	県立	大間々高等学校	-	-	-	
69	群馬県	私立	桐生第一高等学校	-	-	-	
70	埼玉県	県立	所沢西高等学校	-	-	-	
71	埼玉県	県立	宮代高等学校	-	-	-	
72	千葉県	県立	大網高等学校	-	-	-	
73	新潟県	県立	柏崎総合高等学校	-	-	-	
74	岐阜県	県立	各務原高等学校	-	-	-	
75	岐阜県	私立	美濃加茂高等学校	-	-	-	
76	静岡県	県立	浜松大平台高等学校	-	-	-	
77	静岡県	県立	浜松湖北高等学校	11/8	82	1	
78	三重県	私立	学法津田学園高等学校	-	-	-	
79	沖縄県	私立	N高等学校	-	-	-	
80	茨城県	県立	竜ヶ崎第二高等学校	11/13	34	0	
81	栃木県	私立	足利短期大学附属高等学校	-	-	-	
82	神奈川県	県立	平塚農業高等学校	-	-	-	
83	新潟県	県立	長岡農業高等学校	-	-	-	
84	茨城県	県立	結城第一高等学校	-	-	-	
85	茨城県	県立	岩井高等学校	-	-	-	
86	茨城県	私立	水戸女子高等学校	11/6	85	0	
87	群馬県	私立	常磐高等学校	-	-	-	
88	埼玉県	県立	岩槻高等学校	-	-	-	

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
89	千葉県	私立	千葉学芸高等学校	-	-	-	
90	千葉県	私立	中央国際高等学校	-	-	-	
91	東京都	都立	大江戸高等学校	-	-	-	
92	長野県	県立	北部高等学校	-	-	-	
93	静岡県	県立	静岡西高等学校	-	-	-	
94	茨城県	県立	麻生高等学校	-	-	-	
95	千葉県	私立	あずさ第一高等学校	-	-	-	
96	東京都	都立	農芸高等学校	11/7	69	0	
97	茨城県	県立	日立商業高等学校	-	-	-	
98	茨城県	県立	土浦第三高等学校	-	-	-	
99	茨城県	県立	江戸崎総合高等学校	-	-	-	
100	茨城県	県立	磯原郷英高等学校	-	-	-	
101	神奈川県	県立	横浜桜陽高等学校	1/26※	163	3	※回収は学園が行ったためデータの入力日を記入
102	東京都	私立	堀越高等学校	1/26※	452	3	※回収は学園が行ったためデータの入力日を記入
103	埼玉県	私立	浦和実業高等学校	1/26※	484	8	※回収は学園が行ったためデータの入力日を記入
計				24校	2,682	21	

※「-」（ハイフン）は回答のなかった高校

【第二期調査】

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
1	東京都	私立	岩倉高等学校	12/19	203	5	第一期実施だが期日後の返送のため第二期に合算して集計
2	静岡県	県立	焼津水産高等学校	12/4	94	0	第一期実施だが期日後の返送のため第二期に合算して集計
3	東京都	私立	北豊島高等学校	12/21	72	1	
4	埼玉県	私立	埼玉栄高等学校	12/18	239	6	
5	東京都	私立	東京家政大学附属女子高等学校	12/21	242	0	
6	神奈川県	私立	湘南学院高等学校	12/21	75	1	
7	神奈川県	私立	立花学園高等学校	12/19	309	1	
8	神奈川県	私立	平塚学園高等学校	-	-	-	
9	神奈川県	私立	横浜学園高等学校	12/11	30	0	
10	東京都	都立	八王子桑志高等学校	-	-	-	
11	神奈川県	県立	有馬高等学校	12/18	290	9	
12	神奈川県	県立	秦野曾屋高等学校	12/18	49	0	
13	神奈川県	私立	横浜商科大学高等学校	12/25	255	3	
14	東京都	私立	品川エトワール女子高等学校	12/7	60	1	
15	東京都	私立	二松學舎大学附属高等学校	12/13	213	3	
16	神奈川県	私立	藤沢翔陵高等学校	12/21	83	0	
17	東京都	私立	文化学園大学杉並高等学校	12/6	185	0	
18	東京都	私立	八王子実践高等学校	12/11	114	4	
19	東京都	私立	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校	12/11	111	2	
20	神奈川県	県立	厚木清南高等学校	-	-	-	
21	東京都	私立	立川女子高等学校	12/18	25	0	
22	埼玉県	私立	国際学院高等学校	12/26	77	3	
23	東京都	都立	永山高等学校	-	-	-	
24	東京都	私立	科学技術学園高等学校	12/7	10	1	
25	千葉県	私立	敬愛学園高等学校	12/19	86	1	
26	千葉県	私立	昭和学院高等学校	12/13	316	2	
27	千葉県	私立	千葉商科大学付属高等学校	12/7	60	1	
28	千葉県	私立	和洋国府台女子高等学校	12/5	195	0	
29	神奈川県	県立	横浜旭陵高等学校	12/11	14	0	
30	東京都	私立	共栄学園高等学校	-	-	-	
31	神奈川県	私立	高木学園女子高等学校	12/8	36	1	
32	神奈川県	私立	武相高等学校	12/19	150	3	
33	神奈川県	県立	相原高等学校	12/26	221	2	
34	神奈川県	県立	愛川高等学校	12/18	30	0	
35	神奈川県	私立	自然学園高等学校 相模原キャンパス	-	-	-	
36	静岡県	私立	日本大学三島高等学校	12/14	116	1	
37	神奈川県	私立	八洲学園高等学校 横浜分校	-	-	-	
38	山梨県	私立	山梨学院高等学校	-	-	-	
39	東京都	私立	クラーク記念国際高等学校	12/6	148	1	
40	東京都	私立	駒沢学園女子高等学校	12/8	76	0	
41	神奈川県	県立	川崎高等学校	12/11	28	0	

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
42	神奈川県	県立	瀬谷高等学校	-	-	-	
43	三重県	私立	徳風高等学校	12/22	46	0	
44	埼玉県	私立	叡明高等学校	12/11	75	4	
45	神奈川県	私立	緑ヶ丘女子高等学校	12/21	96	1	
46	埼玉県	私立	浦和麗明高等学校	12/15	267	0	
47	千葉県	私立	中央学院高等学校	-	-	-	
48	静岡県	県立	駿河総合高等学校	-	-	-	
49	石川県	県立	小松商業高等学校	12/25	197	0	
50	長野県	県立	佐久平総合高等学校	12/21	34	0	
51	静岡県	私立	加藤学園高等学校	-	-	-	
52	千葉県	私立	千葉敬愛高等学校	12/18	104	1	
53	静岡県	市立	沼津市立沼津高等学校	1/11	28	1	
54	神奈川県	県立	座間総合高等学校	12/25	57	0	
55	静岡県	私立	誠恵高等学校	1/17	152	1	
56	東京都	私立	昭和第一高等学校	12/20	241	5	
57	東京都	私立	大成高等学校	12/20	367	7	
58	千葉県	私立	日本体育大学柏高等学校	12/27	35	1	
59	東京都	私立	東京家政学院高等学校	12/27	88	2	
60	東京都	私立	星美学園高等学校	12/27	97	2	
61	東京都	私立	日本体育大学荏原高等学校	12/27	178	9	
62	東京都	私立	日本女子体育大学附属二階堂高等学校	12/27	98	2	
63	東京都	私立	杉並学院高等学校	12/27	73	0	
64	東京都	私立	豊島学院高等学校	12/27	73	2	
65	東京都	私立	文華女子高等学校	12/27	94	1	
66	神奈川県	県立	綾瀬高等学校	12/27	106	1	
67	神奈川県	私立	相洋高等学校	1/18	146	5	
計				55 校	6,864	97	

※「-」（ハイフン）は回答のなかった高校

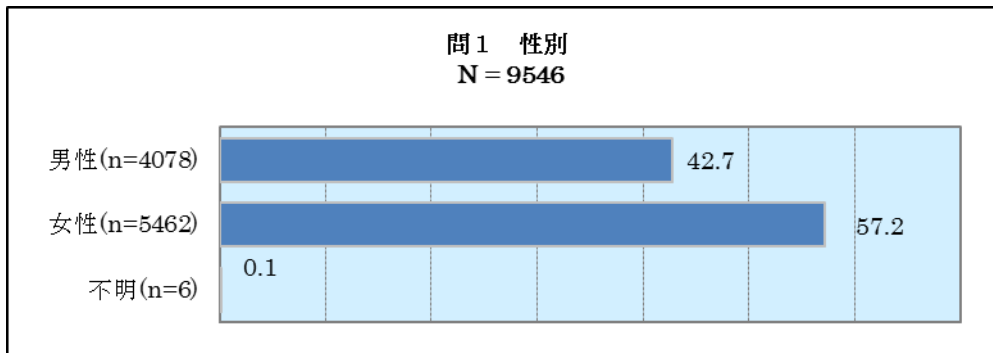
<アンケート集計結果>

[有効回答票：9,546票]

問1 あなたの性別についておたずねします。当てはまるもの1つを選んでください。

回答者の性別については、4,078人(42.7%)が「男性」、5,462人(57.2%)が「女性」である。

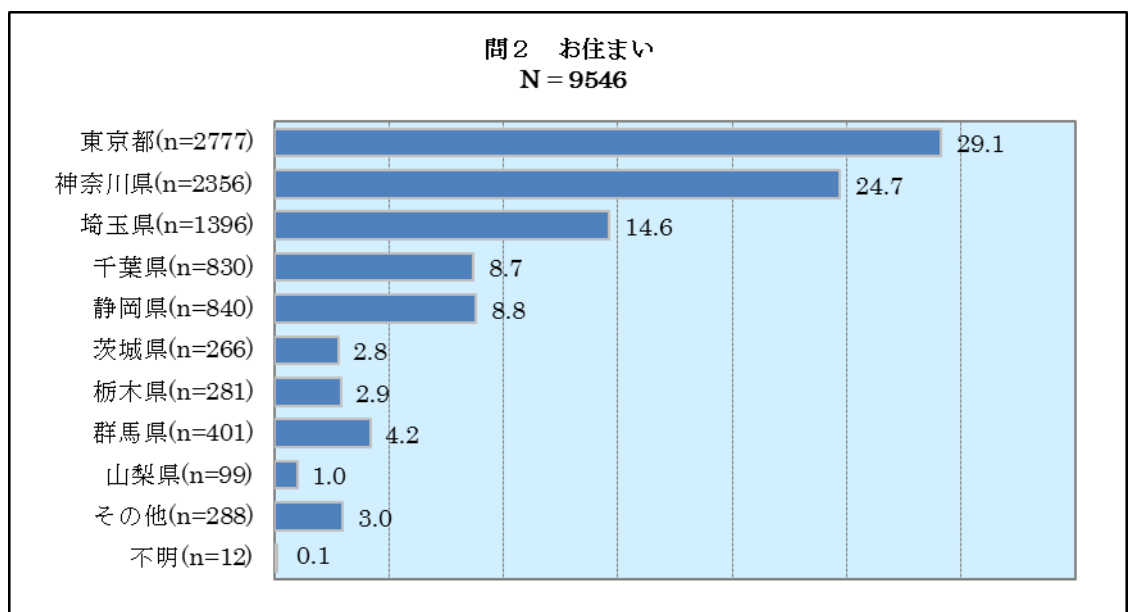
No.	カテゴリ	件数	%
1	男性	4,078	42.7
2	女性	5,462	57.2
	不明	6	0.1
	合計	9,546	100



問2 あなたのお住まいはどちらですか。当てはまるもの1つを選んでください。

回答者のうち、2,777人(29.1%)が東京都、2,356人(24.7%)が神奈川県、1,396人(14.6%)が埼玉県在住である。

No.		上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	東京都	2,777 29.1	2,777	1,173	1,603	1
2	神奈川県	2,356 24.7	2,356	1,172	1,183	1
3	埼玉県	1,396 14.6	1,396	541	854	1
4	千葉県	830 8.7	830	317	513	0
5	静岡県	840 8.8	840	397	443	0
6	茨城県	266 2.8	266	71	195	0
7	栃木県	281 2.9	281	159	121	1
8	群馬県	401 4.2	401	138	263	0
9	山梨県	99 1.0	99	37	62	0
10	その他	288 3.0	288	67	221	0
	不明	12 0.1	12	6	4	2
	合計	9,546 100.0	9,546	4,078	5,462	6
				100.0	100.0	100.0



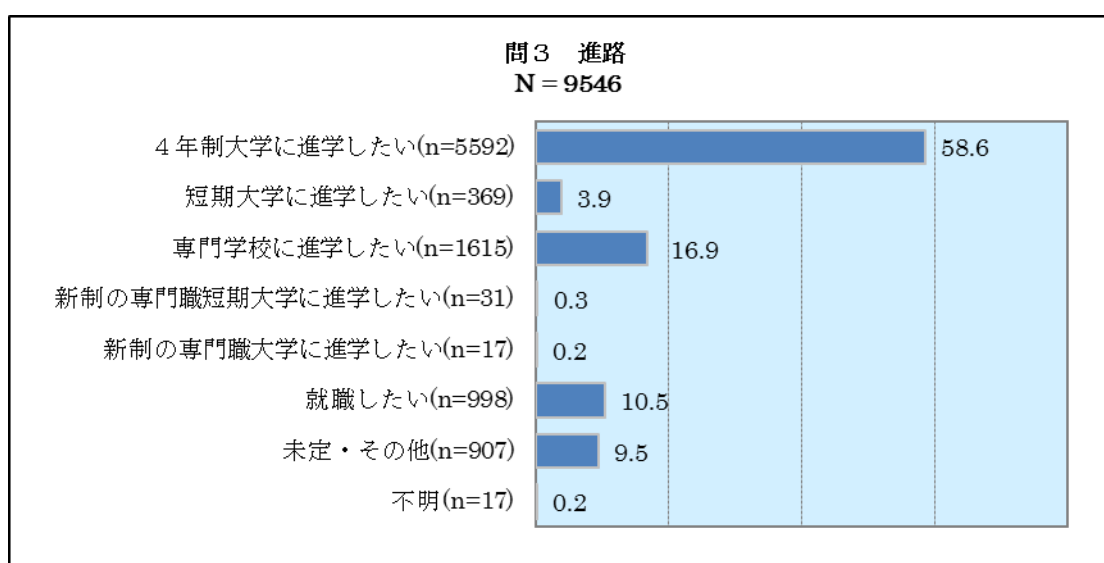
「10 その他」の主な回答

回答	件数
石川県	185
長野県	34
三重県	30
滋賀県	4
岐阜県	1
奈良県	1
愛知県	1

問3 あなたの進路の意識について、当てはまるもの1つを選んでください。

回答者の希望進路については、「4年制大学に進学したい」が5,592人(58.6%)、「専門学校に進学したい」が1,615人(16.9%)、「就職したい」が998人(10.5%)、「短期大学に進学したい」が369人(3.9%)となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	4年制大学に進学したい	5,592	2,728	2,860	4
		58.6	66.9	52.4	66.7
2	短期大学に進学したい	369	37	332	0
		3.9	0.9	6.1	-
3	専門学校に進学したい	1,615	443	1,172	0
		16.9	10.9	21.5	-
4	新制の専門職短期大学に進学したい	31	12	19	0
		0.3	0.3	0.3	-
5	新制の専門職大学に進学したい	17	8	9	0
		0.2	0.2	0.2	-
6	就職したい	998	422	576	0
		10.5	10.3	10.5	-
7	未定・その他	907	421	486	0
		9.5	10.3	8.9	-
	不明	17	7	8	2
		0.2	0.2	0.1	33.3
	合計	9,546	4,078	5,462	6
		100.0	100.0	100.0	100.0



【問4、問5は、問3で「1, 2, 3, 4, 5」のいずれかを選んだ7,624名を対象とする。】

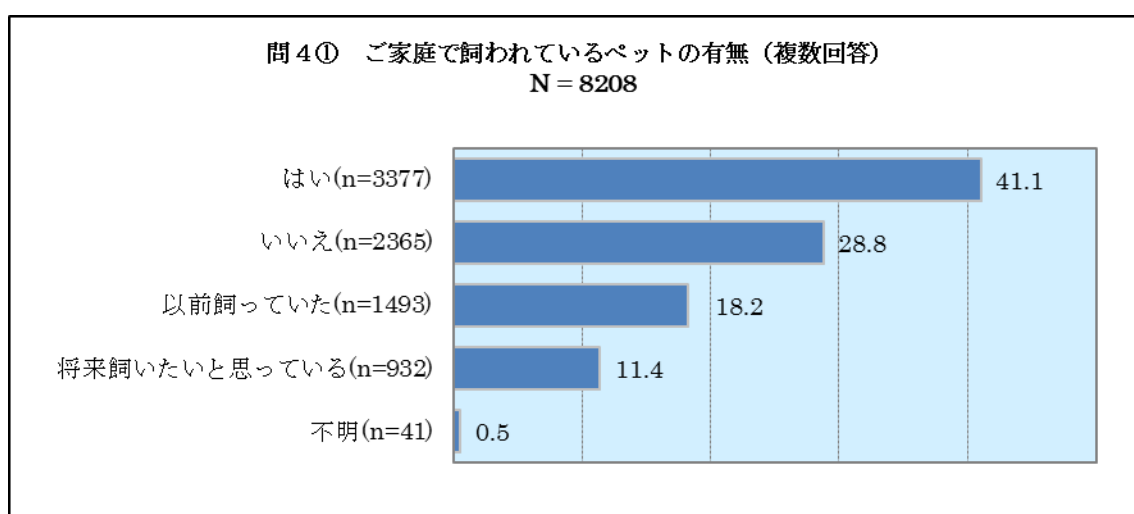
問4 ヤマザキ学園は「動物看護大学」「動物専門学校」を経営しており、現在「動物看護」の3年制の専門職短期大学の計画をしていますが、それらの分野に関してお聞きします。

- ① 現在、人と動物の共生が注目され、ペットは人生のパートナーと呼ばれています。あなたはご家庭で何らかの動物（イヌ、ネコ、うさぎ、とり、熱帯魚等）を飼われていますか？当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

回答者の家庭で飼っているペットの有無については、「はい」（現在飼っている）が3,377人（41.1%）、「いいえ」（現在飼っていない）が2,365人（28.8%）、「以前飼っていた」が1,493人（18.2%）、「将来飼いたいと思っている」が932人（11.4%）となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	はい	3,377	1,338	2,038	1
		41.1	39.2	42.5	25.0
2	いいえ	2,365	1,101	1,263	1
		28.8	32.3	26.4	25.0
3	以前飼っていた	1,493	592	900	1
		18.2	17.4	18.8	25.0
4	将来飼いたいと思っている	932	361	571	0
		11.4	10.6	11.9	-
	不明	41	20	20	1
		0.5	0.6	0.4	25.0
	合計	8,208	3,412	4,792	4
		100.0	100.0	100.0	100.0

※複数回答のため、合計=7,624にならない。

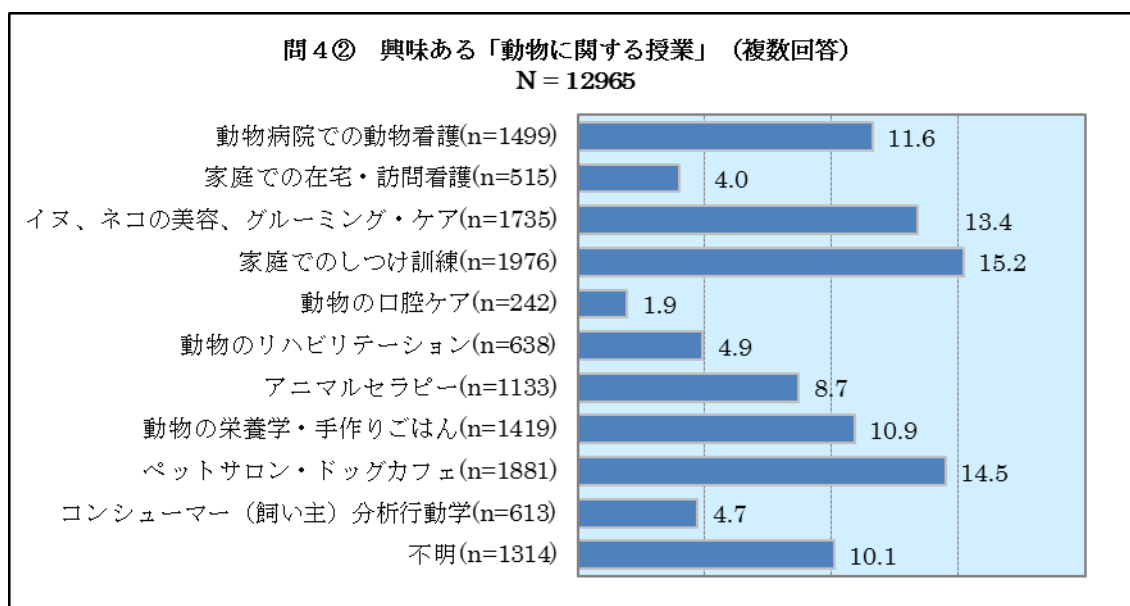


②下記に挙げた「動物に関する授業」で興味のあるものに○をつけて下さい。（複数回答可）

回答者の興味のある動物に関する授業は、「家庭でのしつけ訓練」が1,976人（15.2%）と最も多く、次いで「ペットサロン・ドッグカフェ」が1,881人（14.5%）、「イヌ、ネコの美容、グルーミング・ケア」が1,735人（13.4%）、「動物病院での動物看護」が1,499人（11.6%）となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	動物病院での動物看護	1,499 11.6	536 11.6	963 11.5	0 -
2	家庭での在宅・訪問看護	515 4.0	209 4.5	306 3.7	0 -
3	イヌ、ネコの美容、グルーミング・ケア	1,735 13.4	417 9.1	1,318 15.8	0 -
4	家庭でのしつけ訓練	1,976 15.2	817 17.8	1,157 13.8	2 50.0
5	動物の口腔ケア	242 1.9	90 2.0	152 1.8	0 -
6	動物のリハビリテーション	638 4.9	227 4.9	411 4.9	0 -
7	アニマルセラピー	1,133 8.7	378 8.2	755 9.0	0 -
8	動物の栄養学・手作りごはん	1,419 10.9	373 8.1	1,046 12.5	0 -
9	ペットサロン・ドッグカフェ	1,881 14.5	493 10.7	1,387 16.6	1 25.0
10	コンシューマー（飼い主）分析行動学	613 4.7	296 6.4	317 3.8	0 -
	不明	1,314 10.1	766 16.6	547 6.5	1 25.0
	合計	12,965 100.0	4,602 100.0	8,359 100.0	4 100.0

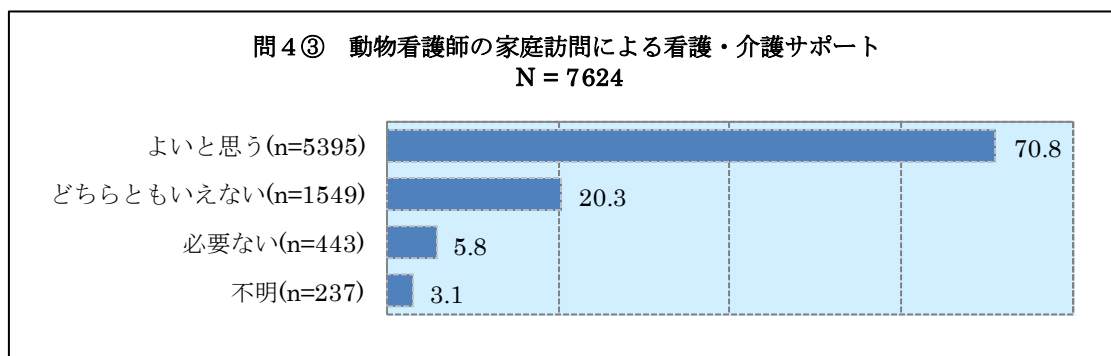
※複数回答のため、合計=7,624にならない。



③近年、人と動物の高齢化により、動物病院を訪れることは人のみならず動物にも、とても負担になっています。新しい専門職短期大学では、動物看護師が家庭訪問しての看護・介護サポートをする教育を充実させたいと思います。当てはまるもの1つを選んでください。

動物看護師が家庭訪問しての看護・介護サポートをする教育も充実については、「よいと思う」が5,395人(70.8%)、「どちらともいえない」が1,549人(20.3%)となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	よいと思う	5,395	1,990	3,404	1
		70.8	61.6	77.5	25.0
2	どちらともいえない	1,549	820	727	2
		20.3	25.4	16.6	50.0
3	必要ない	443	275	168	0
		5.8	8.5	3.8	-
	不明	237	143	93	1
		3.1	4.4	2.1	25.0
	合計	7,624	3,228	4,392	4
		100.0	100.0	100.0	100.0

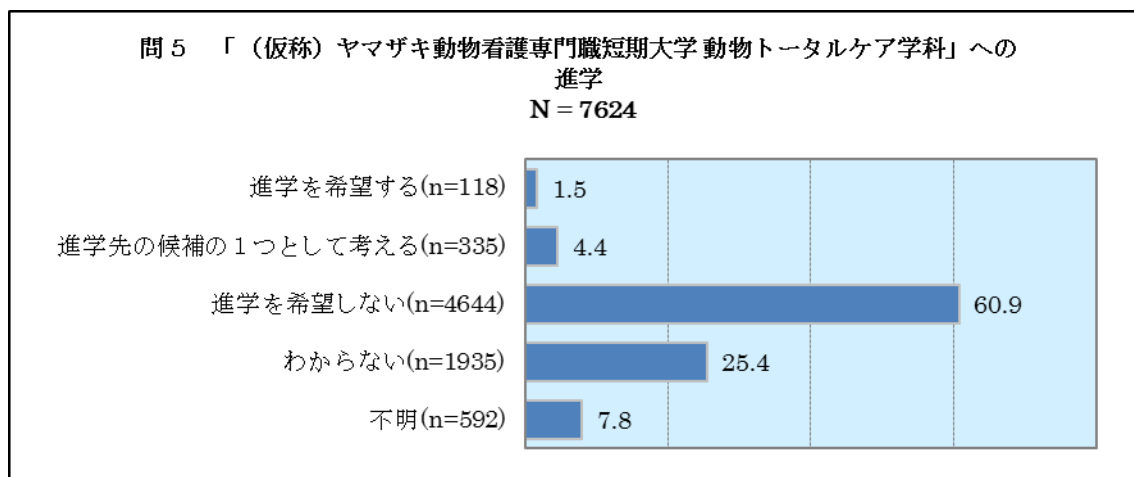


問5 現在、ヤマザキ学園では4年制のヤマザキ学園大学およびヤマザキ動物専門学校を設置していますが、その中でも新たに設置予定の3年制「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科」に進学したいと思いますか。当てはまるもの1つを選んでください。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科(仮称)への進学意向は、「進学を希望する」が118人(1.5%)、「進学先の候補の1つとして考える」が335人(4.4%)となっている。

また、「進学を希望する」と「進学先の候補の1つとして考える」の合計は453人(5.9%)となり、回答者のおよそ1割弱がヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科に対して何らかの進学意向を持っていることが明らかとなった。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	進学を希望する	118 1.5	73 2.3	45 1.0	0 -
2	進学先の候補の1つとして考える	335 4.4	137 4.2	198 4.5	0 -
3	進学を希望しない	4,644 60.9	1,839 57.0	2,802 63.8	3 75.0
4	わからない	1,935 25.4	871 27.0	1,064 24.2	0 -
	不明	592 7.8	308 9.5	283 6.4	1 25.0
	合計	7,624 100.0	3,228 100.0	4,392 100.0	4 100.0



問6 現在構想中の「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学」について、ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

問6に対する主な回答は以下の通りとなっている。

性別	ご意見・ご要望
女性	問4の②について、お金による。
女性	問4②に関してですが、家庭によっては複数の動物と暮らしている家庭もあると思います。その場合他の動物の負担になってしまうのではないのでしょうか。
男性	問4②に関して、学校を卒業し、就職し、仕事をするにあたって、人と犬の介護をすることについて、在学中に介護資格がとれるようなカリキュラムにしたほうが良いのかと思いました。
男性	問4②について、家庭訪問してのサポートは良いと思いますが、家庭訪問出来ない場合はどうするつもりでしょうか。
男性	訪問動物看護や在宅動物ケアなどの考えはとても良いと思った。
女性	必要になると思うからよいと思う。
女性	馬などの大型動物に関する学科をつくってほしい。
男性	入学定員をもう少し増やしたほうがいい。
女性	特待生制度、学費の免除はあるのかどうか。サークルの規模はどのくらいか。
男性	特待生を作るべきだと思う。
男性	動物病院やしつけの訓練などの将来に向けての看護の活動の場が増えるのはいいことだと思う。
女性	動物関係に進みたい人はいいと思う。4年制の人と就職率の差が出ないようにしなければいけないと思う。
女性	動物看護師を目指しています。人、動物の高齢化に対応したシステムはとてもいいと思いました。進学先の候補として考えたいです。
男性	動物看護に興味がない。
男性	動物を大切に思う気持ち、動物への思いが伝わる大学だと思う。いい大学だと思います。
女性	動物も人間も老いていくと病院が必要。
女性	動物はとても好きです。友達と見学させてもらいます。
男性	動物の看護が出来ればより多くの命を救えると思うので、いいと思う。
女性	動物のさまざまな知識や、動物について学びたいと思っている方々は専門学校が増えることで選択の幅が増えると思うのでいいと思います。
男性	動物のことをよく学べそうです。
女性	動物に関わりたいと思う人にとってはとても魅力的な学校であると感じました。
女性	動物に関しての大学は少しだけ興味がわいた。
女性	動物に関して、とても興味はありますが、4年生との違いを教えて欲しいです。(一番の利点)
男性	動物についての教育機関が増えることは良いことだと思う。
女性	動物と関わる仕事がしたいので、とても気になった。
男性	男の人が少なそう。
女性	短期大学でしかも実習が60日もあるのはいいと思う。
女性	短期間で学べるのはいいと思った。
女性	短期に行きたい人には向いているのではと考える。
女性	大学と専門学校あるのに、なんでまた短大を構想しようとしているか分からない。
男性	専門学校より授業料が高いのはなぜ？
女性	専門学校か短期大学がよくわからない。
女性	専門で短期なのは良いと思う。
男性	生き物を捨てる人とかいるので、しっかりとしっかりと指導しないといけないと思う。
男性	数少ない短大ならば、増加することもいいと思います。
女性	人の高齢化やペットの高齢化に対応する。
女性	人と同じでペットも負担があることを考えて、訪問看護の教育があることはいいことだと思いました。
男性	将来が期待されると思う。
女性	授業内容が充実していそう。
男性	授業の内容が気になる。
女性	捨てられた動物などにボランティアで何かできると良いと思います。
女性	実習が多いと社会に出て通用でき体験できていい。

性別	ご意見・ご要望
男性	質の高い教育を求める。
男性	自分もペットを飼っているので少し興味はある。
男性	自分は動物看護とかはあまり興味ないが、とてもいいと思う。入ってくる人も多いと思った。
男性	自分は動物が大好きなのでこういった仕事につけれる大学も視野に入れていきたい。
男性	自分の家は犬を飼っているので、そういう学科が増えて、先生が増えたらありがたいと思います。
女性	資格もとれていいと思います。
女性	私はヤマザキ動物看護大学（4年制）に進学する予定です。3年制の短期があつてすごくいいと思います。
女性	私はトリマーになりたいのでとても興味を持ってました。ぜひ見学に行きたいと思いました。
女性	高齢者が増える中で自宅に訪問することはとても良いと思いました。
男性	犬・ネコ以外にも、鳥やウサギ、ハムスターもペットとしてかう人がいるので、もっと幅を増やしてほしい。
女性	看護だけの学校じゃなく、どんな遊びをしたらとか、遊具の開発などはあってほしいです。
男性	看護・介護のサポートは、いいと思います。
女性	学費をもう少し安くしていただきたいです。
女性	学校名を何となく変えた方が良くと思います。
女性	学科がたくさんあるみたいなので今後もっと増えていけばいいかなと思います。
男性	家庭での在宅・訪問看護やリハビリテーションなどのシステムがとても良いと思います。
女性	ペットを飼う人が増えている現代でその専門知識を持っている人が増えればペットが飼いやすくなっていくと思うので、どのような人材が社会に出てくるか期待。
男性	ペットを飼っている人からしたら、動物に詳しい人が多いのは心強いと思うので、よいと思う。
女性	ペットショップにペットがつくまでの経路（ブリーダーとか）についてあるとおもしろい。
男性	ドッグトレーナーなどの事もした方がいいと思う。
女性	この大学に行けば、7種類の職業になれるのは、すごいと思いました。
女性	コース等が2つあっていいなと思った。
女性	オープンキャンパスなど行かせていただいて、とてもよかったです。
女性	いろいろな専門学校があるのだと思った。これから動物も住み良くなると思うので良いと思った。
女性	4年制があるのに、3年制にする必要ありますか？
女性	3年制は新しいことだし良いと思う。
女性	3年制はいいと思うし、動物関係の学校はあまりないと思うからよいと思う。
男性	3年次にインターンをして、実際に学ぶのは良いことと思う。家に訪問もいいが、家にきてほしくないなどあるため、地域ごとに定期的なケアをするイベントをもうけて、そこに派遣する形がいいと思う。
女性	3年ではなく4年制にすべきと思う。
男性	②はとてもいいことだと思う。
女性	「動物の想いを尊重」を教育方針にしてほしいです。
女性	名前が長いと思います。
男性	名称が少し固いと思う。あまり良さが伝わってこないです。

<アンケート調査票>

(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科設置に関するアンケート

学校法人ヤマザキ学園は動物看護のバイオニアとして大学と専門学校を経営し、創立 50 周年を迎えます。このたび産業界からの要望を受け、国会にて、これまでの大学・短大・専門学校に加え、新たに企業とともに作る「専門職短期大学」という学校種が誕生することが決まりました。現在、本学園においても専門職短期大学(3 年制)の新設を検討しています。3 年間の専門職短期大学では、旧来の大学・短大と異なり、学内 450 時間、学外の動物病院や動物関連企業などで 450 時間、合計 900 時間の実習が行われることが大きな特徴です。これまで各大学・短大が独自で企業実習を設けていた例はありますが、専門職短大では在学生全員が正規の必修カリキュラムとして行います。

特に 3 年次(卒業学年)には内定先等での実習も可能となりますので、社会からはペット産業の将来を担い、発展させていく即戦力となる人材として期待されます。

学校名：(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 3 年制

学 科：(仮称) 動物トータルケア学科

学 位：動物看護学短期大学士(専門職)

- ・ このアンケートは主に高校生の皆さんに対して、大学進学に関する意識をお聞きするアンケートです。
- ・ このアンケートは無記名式であり、回答は統計的に処理しますので、外部に回答内容が出ることはありません。またこのアンケートで得られた情報によって、進学を勧めるようなことはありませんので、安心してお答えください。

■ あなた自身に関するお聞きします。

問 1 あなたの性別についておたずねします。当てはまるもの 1 つを選んでください。

- 1 男性 2 女性

問 2 あなたのお住まいはどちらですか。当てはまるもの 1 つを選んでください。

1. 東京都 2. 神奈川県 3. 埼玉県 4. 千葉県 5. 静岡県 6. 茨城県
7. 栃木県 8. 群馬県 9. 山梨県 10. その他(具体的に)

■ 進路についてお聞きします。

問 3 あなたの進路の意識について、当てはまるもの 1 つを選んでください。

1. 4 年制大学に進学したい 2. 短期大学に進学したい 3. 専門学校に進学したい
4. 新制の専門職短期大学に進学したい 5. 新制の専門職大学に進学したい
6. 就職したい 7. 未定・その他

※問 3 で 1～5 を選択した方は問 4 に進んでください。

問 3 で 6～7 を選択した方は問 6 に進んでください。

問 4 ヤマザキ学園は「動物看護大学」「動物専門学校」を経営しており、現在「動物看護」の 3 年制の専門職短期大学の計画をしていますが、それらの分野に関するお聞きします。

- ① 現在、人と動物の共生が注目され、ペットは人生のパートナーと呼ばれています。あなたはご家庭で何らかの動物(イヌ、ネコ、うさぎ、とり、熱帯魚等)を飼われていますか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. はい 2. いいえ 3. 以前飼っていた 4. 将来飼いたいと思っている

<アンケート調査票>

下記に挙げた「動物に関する授業」で興味のあるものに○をつけて下さい。
(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 動物病院での動物看護 | 2. 家庭での在宅・訪問看護 |
| 3. イヌ、ネコの美容、グルーミング・ケア | 4. 家庭でのしつけ訓練 |
| 5. 動物の口腔ケア | 6. 動物のリハビリテーション |
| 7. アニマルセラピー | 8. 動物の栄養学・手作りごはん |
| 9. ペットサロン・ドックカフェ | 10. コンシューマー（飼い主）分析行動学 |

- ② 近年、人と動物の高齢化により、動物病院を訪れることは人のみならず動物にも、とても負担になっています。新しい専門職短期大学では、動物看護師が家庭訪問しての看護・介護のサポートをする教育を充実させたいと思います。当てはまるもの1つを選んでください。

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. よいと思う | 2. どちらともいえない | 3. 必要ない |
|----------|--------------|---------|

- 問5 現在、ヤマザキ学園では4年制のヤマザキ学園大学およびヤマザキ動物専門学校を設置していますが、その中でも新たに設置予定の3年制「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科」に進学したいと思いますか。当てはまるもの1つを選んでください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 進学を希望する | 2. 進学先の候補の1つとして考える |
| 3. 進学を希望しない | 4. わからない |

- 問6 現在構想中の「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学」について、ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください

以上で終了です。ありがとうございました。

【参考】(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学と同分野の学校の学費等

校名	学部学科	修業 年限	入学 定員	収容 定員	入学 金	授業 料	実習 費	施設 費	雑費	教育実習費	福利厚生 費	諸費用除く 各年次 納入金合計
(仮称)ヤマザキ動物 看護専門職短期大学	(仮称) 動物トータルケア 学科	3	80	240	150,000	700,000	300,000	260,000				1,430,000
						700,000	300,000	260,000				1,280,000
						700,000	300,000	260,000				1,280,000
ヤマザキ学園大学	動物看護学部 動物看護学科 (1~3年次)	4	180	720	150,000	800,000	250,000	300,000				1,600,000
						900,000	250,000	300,000				1,450,000
						900,000	250,000	300,000				1,450,000
ヤマザキ動物専門学校	動物看護・美容学科	3	80	240	150,000	520,000	280,000	186,000	136,000			1,282,000
						520,000	280,000	186,000	136,000			1,132,000
						520,000	280,000	186,000	136,000			1,132,000
日本獣医生命科学大学	獣医保健看護学科 (1~3年次)	4	100	400	250,000	750,000	100,000	300,000		200,000	20,000	1,620,000
						750,000	100,000	300,000		200,000		1,350,000
						750,000	100,000	300,000		200,000		1,350,000

「資料 10」

【第一期調査に際して回答者に示した設置構想資料】



学校法人ヤマザキ学園創立 50 周年を経て産業界・教育界と
一緒に作る新制度の専門職短期大学を設置します。

(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学

設置学科：動物トータルケア学科 3 年制入学定員：80 名（男女共学）

学 位：動物看護短期大学士（専門職）

企業・産業界からの教員による最新の技術と知識を学び学内 450 時間、
学外臨地実習 450 時間の実習を行い、産業界で活躍できる人材を養成します。

設置構想中
平成 31 年 4 月
開学予定



ゆるやかな 2 コース制

◆動物看護コース◆

動物病院（訪問看護、口腔ケアを含む）
ペットサロン etc

◆動物産業コース◆

ドックカフェ 保険会社
ドラッグストア ペットフード会社
リゾート施設 etc

動物病院はもちろん、ペット関連産業では
動物看護師の素養を持つ人材が求められています！

人とペットの豊かな共生社会をめざして

～新しい時代の動物看護師の職域～

人とペットの共生の歴史は、1 万 4000 年以上 前にさかのぼります。現在日本では、イヌは 990 万頭、ネコは 980 万頭を超えて飼育されています。ペットは家族の一員であり、人生のパートナーと呼ばれるようになりました。

この度の（仮称）ヤマザキ動物看護専門職短期大学では、次のような動物看護師を育成します。

1. 1 兆 5000 億円時代を迎える動物関連産業界の発展に対応し、市場における店頭等で飼い主（消費者）に向けた指導・アドバイスができる動物看護師
2. 人の高齢化やペットの高齢化に対応して、動物病院やグルーミングサロンだけではなく家庭での動物飼育・管理・看護・介護をサポートする動物看護師

🐾 (仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学の特色

●900時間の豊富な実習 ～3年間で450時間の学外臨地実習と450時間の学内実習～

学園創立50周年を誇る学校法人ヤマザキ学園では、動物業界における広いネットワークがあるため、多種多様な業種で学外臨地実習が可能です。

◆実習先の例

動物病院/犬の保育園/ペットシッター施設/グルーミング(トリミング)サロン/
老犬ホーム・デイケアサービス/ペットフード製造企業/ねこカフェ/ホームセンター/牧場/動物園 など

●即戦力となる動物看護師を育成 ～「訪問看護」と「トータルケア」の専門知識・技術の修得～

高齢社会を迎えた日本の将来を見据え、動物たちの生涯を通じたトータルケアをめざし特色ある教育を行います。

◆カリキュラムの例

動物臨床看護学・実習/在宅・訪問動物看護学・在宅動物看護実習/動物口腔ケア論・実習/
コンパニオンアニマルケア(グルーミング)論・実習/コンパニオンドッグトレーニング論・実習/
動物医療ソーシャルワーク/コンシューマーアドバイス論/動物臨床栄養学/
動物リハビリテーション/アニマルアシステッドセラピー論/アニマルトータルライフ など

家庭での支援サービス内容

ご自宅へ伺ってサポート&アドバイス

- ①飼育・管理 ②看護・介護(口腔ケアを含む)
- ③栄養指導 ④グルーミング
- ⑤しつけ・トレーニング

市場での支援サービス内容

店頭等で飼い主へのサポート&アドバイス

- ①家庭に合った犬種・猫種等の選び方
- ②ペット関連グッズの選び方と使い方
- ③フードやおやつを選び方と与え方

●産業界の現場で活躍する教員による最新の技術と知識



●50年の歴史が支える高い就職率

1967年に日本で初めて動物看護教育をはじめたバイオニアであるヤマザキ学園が新たに創設する専門職短期大学。業界との強いネットワークにより、50年間続く95%以上の就職率。

◆目指す職業

動物看護師、訪問動物看護師、ペットシッター、ペット美容師、トレーナー、ペットケア・アドバイザー 等

◆取得目標ライセンス

認定動物看護師/
アニマル・ヘルス・テクニシャン(動物衛生看護師)/ドッグ・グルーミング・スペシャリスト(イヌの美容師)/
キャット・グルーミング・スペシャリスト(ネコの美容師)/ケナイン・リハビリテーション・セラピスト(イヌの理学療法士)/コンパニオン・ドッグ・トレーナー(家庭犬のしつけ訓練師)等

◆想定される就職先

ペットフード販売会社/ペットホテル/ペット用品販売会社/ペット保険/動物病院/グルーミングサロン 等

専門職短期大学(2年制または3年制)とは

深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を育成することを目的とした高等教育機関です。専門職短期大学のカリキュラムは、分野の特性に応じ卒業単位のおおむね3～4割程度以上は、実習等の科目で構成されています。さらに分野の特性に応じ、適切な指導体制が確保された企業内実習等を3年間で450時間以上履修します。専門職短期大学を卒業した者に対して文部科学省の定めるところにより、短期大学士(専門職)の学位が授与されます。



学校法人ヤマザキ学園
(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学
設置準備室
〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-3-10
電話 03-3468-1100

設置構想中につき、変更となる場合があります。

「資料 11」

【第二期調査に用いた調査票様式】

(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学
動物トータルケア学科設置に関するアンケート

学校法人ヤマザキ学園は動物看護のパイオニアとして大学と専門学校を経営し、創立 50 周年を迎えます。このたび産業界からの要望を受け、国会にて、これまでの大学・短大・専門学校に加え、新たに企業とともに作る「専門職短期大学」という学校種が誕生することが決まりました。現在、本学園においても専門職短期大学(3 年制)の新設を検討しています。3 年間の専門職短期大学では、旧来の大学・短大と異なり、学内 450 時間、学外の動物病院や動物関連企業などで 450 時間、合計 900 時間の実習が行われることが大きな特徴です。これまで各大学・短大が独自で企業実習を設けていた例はありますが、専門職短大では在学生全員が正規の必修カリキュラムとして行います。

特に 3 年次(卒業学年)には内定先等での実習も可能となりますので、社会からはペット産業の将来を担い、発展させていく即戦力となる人材として期待されます。

学校名：(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 3 年制

学 科：(仮称) 動物トータルケア学科

学 位：専門職短期大学士

- ・ このアンケートは主に高校生の方々に對して、大学進学に關しての意識をお聞きするアンケートです。
- ・ このアンケートは無記名式であり、回答は統計的に処理しますので、外部に回答内容が出ることはありません。

またこのアンケートで得られた情報によって、進学を勧めるようなことはありませんので、安心してお答えください。

■ あなた自身に關してお聞きします。

問 1 あなたの性別についておたずねします。当てはまるもの 1 つを選んでください。

- 1 男性 2 女性

問 2 あなたのお住まいはどちらですか。当てはまるもの 1 つを選んでください。

1. 東京都 2. 神奈川県 3. 埼玉県 4. 千葉県 5. 静岡県 6. 茨城県
7. 栃木県 8. 群馬県 9. 山梨県 10. その他 (具体的に)

■ 進路についてお聞きします。

問 3 あなたの進路の意識について、当てはまるもの 1 つを選んでください。

1. 4 年制大学に進学したい 2. 短期大学に進学したい 3. 専門学校に進学したい
4. 新制の専門職短期大学に進学したい 5. 新制の専門職大学に進学したい
6. 就職したい 7. 未定・その他

※問 3 で 1～5 を選択した方は問 4 に進んでください。

問 3 で 6～7 を選択した方は問 6 に進んでください。

問 4 ヤマザキ学園は「動物看護大学」「動物専門学校」を經營しており、現在「動物看護」の 3 年制の専門職短期大学の計画をしていますが、それらの分野に關してお聞きします。

- ① 現在、人と動物の共生が注目され、ペットは人生のパートナーと呼ばれています。あなたはご家庭で何らかの動物 (イヌ、ネコ、うさぎ、とり、熱帯魚等) を飼われていますか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. はい 2. いいえ 3. 以前飼っていた 4. 将来飼いたいと思っている

下記に挙げた「動物に関する授業」で興味のあるものに○をつけて下さい。
(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 動物病院での動物看護 | 2. 家庭での在宅・訪問看護 |
| 3. イヌ、ネコの美容、グルーミング・ケア | 4. 家庭でのしつけ訓練 |
| 5. 動物の口腔ケア | 6. 動物のリハビリテーション |
| 7. アニマルセラピー | 8. 動物の栄養学・手作りごはん |
| 9. ペットサロン・ドックカフェ | 10. コンシューマー（飼い主）分析行動学 |

② 近年、人と動物の高齢化により、動物病院を訪れることは人のみならず動物にも、とても負担になっています。新しい専門職短期大学では、動物看護師が家庭訪問しての看護・介護のサポートをする教育を充実させたいと思います。当てはまるもの1つを選んでください。

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. よいと思う | 2. どちらともいえない | 3. 必要ない |
|----------|--------------|---------|

問 5 現在、ヤマザキ学園では4年制のヤマザキ学園大学およびヤマザキ動物専門学校を設置していますが、その中でも新たに設置予定の3年制「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科」に進学したいと思いますか。当てはまるもの1つを選んでください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 進学を希望する | 2. 進学先の候補の1つとして考える |
| 3. 進学を希望しない | 4. わからない |

問 6 現在構想中の「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学」について、ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください

以上で終了です。ありがとうございました。

【参考】(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学と同分野の学校の学費等

校名	学部学科	修業年限	入学定員	収容定員	入学金	授業料	実習費	施設費	維持費	教育充実費	福利厚生費	諸費用除く各年次納入金合計
(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学	(仮称)動物トータルケア学科	3	80	240	150,000	700,000	300,000	280,000				1,430,000
						700,000	300,000	280,000				1,280,000
						700,000	300,000	280,000				1,280,000
ヤマザキ学園大学	動物看護学部 動物看護学科 (1～3年次)	4	180	720	150,000	900,000	250,000	300,000				1,600,000
						900,000	250,000	300,000				1,450,000
						900,000	250,000	300,000				1,450,000
ヤマザキ動物専門学校	動物看護・美容学科	3	80	240	150,000	520,000	280,000	186,000	136,000			1,282,000
						520,000	280,000	186,000	136,000			1,132,000
						520,000	280,000	186,000	136,000			1,132,000
日本獣医生命科学大学	獣医保健看護学科	4	100	400	250,000	750,000	100,000	300,000		200,000	20,000	1,620,000
						750,000	100,000	300,000		200,000		1,350,000
						750,000	100,000	300,000		200,000		1,350,000

「資料 12」

【第二期調査に際して回答者に示した設置構想資料】



ヤマザキ学園創立 50 周年を経て
産業界・教育界と一緒に作る新制度の
「専門職短期大学」を申請します。



校 名:ヤマザキ動物看護専門職短期大学 (仮称)

設置学科:動物トータルケア学科 (仮称)

<3 年制 入学定員: 80 名 (男女共学)>

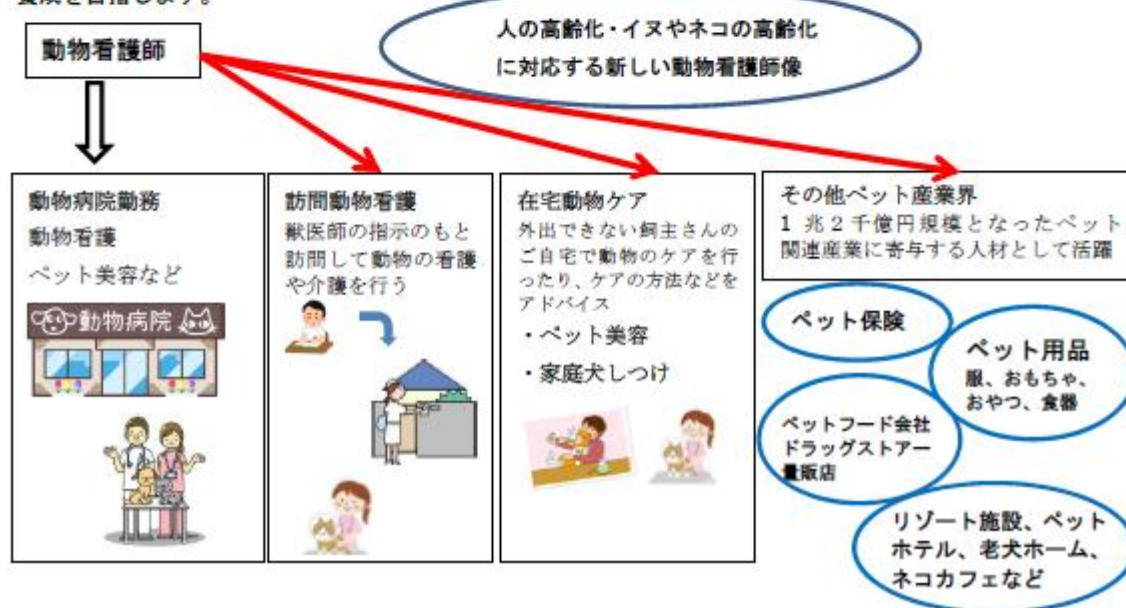
専門職短期大学とは

産業界からの要望を受け、これまでの大学・短期大学・専門学校に加え、企業とともに作る「専門職短期大学」という学校種が誕生することになりました。旧来の大学・短期大学・専門学校とは異なり、学内で 450 時間の実習、企業等において 60 日間に及ぶ 450 時間の学外実習(臨地実習)を行い、将来産業界で寄与する人材を養成する新たな短期大学です。

3 年次	臨地実習⑤ 就職を考えている企業でのインターン(12 日間)		臨地実習 60 日 (450 時間)
2 年次	臨地実習③ 進路選択のための多岐にわたるチャレンジ(12 日間)	臨地実習④ 進路の方向性を決める(12 日間)	
1 年次	臨地実習① 1. キャンパス内の動物病院(3 日間)・グルーミングサロン(3 日間)、2. 動物関連用品販売の現場(6 日間)	臨地実習② 動物病院(6 日間)+動物病院(6 日間)	

ヤマザキ動物看護専門職短期大学(仮称)の描く将来の動物看護師像とは

動物の「生から死まで」のトータルライフをサポートする動物看護師、ペット産業の将来を担う人材養成を目指します。



学校法人ヤマザキ学園の教育体制

学校種	区分	教育の特色	学位・称号	場所
大学	4年制	教育・研究	学士(動物看護学)	八王子市南大沢
専門職短期大学	3年制	動物病院・ペット関連企業で60日間の実習	動物看護学短期大学士(専門職)	渋谷区松濤
専門学校	2年制	即戦力の養成	専門士	渋谷区松濤

今後も続く高齢化社会で、ペットとともに楽しく健康で暮らすことを考える

ペットと共に暮らしたい、という高齢者は多いものの、現代の社会は必ずしも希望に答えているとは言い難い状況です。日本の高齢者の飼い主はペットが亡くなった後にまたペットを飼うことに不安を覚えます。しかし、もう一度ペットを迎え入れたいと考えている方はたくさんいます。

本学では、新たに求められるであろう「家庭での動物看護・在宅ケア」、「動物口腔ケア」「動物リハビリテーション」等を含めた、人の高齢化問題に付随したペットの様々なシチュエーションに即戦力として対応できる動物看護師を養成し、ペット関連産業を発展させていきます。

① 動物の訪問看護(在宅ケア)



(訪問動物看護)

イヌ・ネコの口腔ケア、自宅でできる簡単なグルーミング・トレーニング、動物との共生を考えた家づくり、子犬子猫の育て方、老犬・老猫の介護など、安心してペットを飼えるよう、動物看護師がご自宅へ伺ってケアを行います。



② 飼主と市場と動物をつなぐ動物看護師を養成

ペット保険会社やドラッグストアなどで商品説明の上、飼主(消費者)にアドバイスができる店員や、多種多様なペット用品の選定など消費者の悩みを解決するサポートができる人材が社会的に必要とされています。

◆カリキュラムの例

動物看護学概論/動物臨床看護学(内科・外科)/動物飼育管理論/伴侶動物学/実務英語/動物トータルライフ環境論/動物トータルケア総合演習/動物愛護・福祉と関連法規/動物臨床栄養学/野生動物学/動物口腔ケア実習/コンパニオンアニマルケア論/コンパニオンドッグトレーニング論/起業論/災害・危機管理論/少子高齢社会と人口問題/消費者行動分析学/IT社会論 など



●50年の歴史、10,000人以上の卒業生の伝統がつなぐ高い就職率

1967年に日本で初めて動物看護教育を創設したヤマザキ学園が新たに作る専門職短期大学。これまで培ってきた就職のノウハウは、業界に強い各種ライセンスと共にここにも引き継がれます。

◆取得目標資格

認定動物看護師/アニマル・ヘルス・テクニシャン/ドッグ・グルーミング・スペシャリスト/キャット・グルーミング・スペシャリスト/ケアーナイン・リハビリテーション・セラピスト-ベーシック/コンパニオン・ドッグ・トレーナー

学校法人ヤマザキ学園

ヤマザキ動物看護専門職短期大学(仮称)

設置準備室

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-3-10

電話)03-3468-1100

教育内容等は設置構想中であり、変更される可能性があります。

①書類等の題名

資料 13. 高校訪問による入学想定者数調 (1～3 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

高校訪問による入学想定者数調

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 14. 高校訪問報告書

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

専門職短期大学 高校訪問報告書（抜粋）

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
1	学長	ヤマキタ ノブヒサ 山北 宣久 <平成31年4月>		神学修士		ヤマザキ学園大学 学事顧問 (平成26.10) ヤマザキ動物専門学校 校長 (平成27.4)

(注) 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等													
(動物トータルケア学科)													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数	
1	専	教授 (学長)	ヤマキタ ノブヒサ 山北 宣久 <平成31年4月>		神学修士		生命倫理学	1前	2	2	ヤマザキ学 園大学 学 事顧問 (平 26.10) ヤマザキ動 物専門学校 校長(平 27.4)	5日	
1	専	教授	フジムラ タカオ 藤村 響男 <平成32年10月>		獣医学博 士		動物病理学	1後	1	2	北里大学大 学院 医療 系研究科 講師 (平 20.4)	5日	
							動物薬理学	2前	2	2			
							動物感染症学	1後	2	2			
							臨地実習3	2後	4	2			
							臨地実習5	3後	5	2			
							動物トータルケア総 合演習2	3通	1	2			
兼任	講師	フジムラ タカオ 藤村 響男 <平成31年10月>					動物病理学	1後	1	2		-	
							動物薬理学	2前	2	2			
							動物感染症学	1後	2	2			
2	専	教授	ホンダ ミオコ 本田 三緒子 <平成31年4月>		修士(危機 管理学)			動物形態機能学	1前	2	2	ヤマザキ学 園大学 動 物看護学部 准教授(平 22.4)	5日
								動物形態機能組織 学	1後	2	2		
								公衆衛生学	1前	2	2		
								動物リハビリテーショ ン論※	3前	0.7	2		
								臨地実習2	1 後・ 2前	1	2		
								臨地実習3	2後	4	2		
								臨地実習4	3前	4	2		
								災害・危機管理論※	3前	1	2		
3	専	准教授	ヤマカワ イツコ 山川 伊津子 <平成32年4月>		修士(社会 福祉学)			動物看護ソシヤ ルワーク	2後	2	2	ヤマザキ学 園大学 動 物看護学部 講 師(平20.4)	5日
								動物人間関係学	3前	2	2		
								臨地実習4	3前	4	2		
								臨地実習5	3後	5	2		
								臨地実習6	3後	5	2		
								動物トータルケア総 合演習1	2通	1	2		

教 員 の 氏 名 等												
(動物トータルケア学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
①	専	講師	カトウ ゴウ 加藤 剛 <平成31年4月>		文学修士 /The Degree of Master of Science in Education Curriculu m, Instructio n and Technolog y in Education (米国)		英語 I	1通	2	4	(株)市進 専任講師(平 12.4)	5日
							英語 II	2前	1	2		
							動物実習短期留学 ※	2・3 通	2	1		
5	専	助教	ミヤタ アツシ 宮田 淳嗣 <平成31年4月>		学士(動 物看護 学)		コンパニオンアニ マルケア論※	1前	1.6	2	ヤマザキ学 園大学 動 物看護学部 助教(平 28.4)	5日
							伴侶動物学※	1前	0.7	2		
							コンパニオンアニ マルケア実習(基礎)	1通	3	2		
							コンパニオンアニ マルケア実習(応用)※	2通	2.5	2		
							臨地実習1	1 後・ 2前	1	2		
							臨地実習3	2後	4	2		
臨地実習5	3後	5	2									
6	専	助教	ヤマムラ タクヤ 山村 拓也 <平成31年4月>		修士(医 科学)		動物形態機能学・ 組織学実習	1後	1	2	ヤマザキ学 園大学 動 物看護学部 助手(平 23.4)	5日
							動物臨床検査学実 習	1後	1	2		
							臨地実習3	2後	4	2		
							臨地実習4	3前	4	2		
							臨地実習6	3後	5	2		
							研修・ボランティア活 動	1・ 2・3 通	1	1		
7	実専	講師	ヤマモト ナカコ 山本 央子 <平成32年4月>		専修学校		コンパニオンドッ グトレーニング論	2前	2	2	自営業 フ リーランス通 訳・翻訳・家 庭犬インス トクター(平 13.10)	5日
							コンパニオンドッグト レーニンク実習	2通	3	2		
							臨地実習4	3前	4	2		
							臨地実習6	3後	5	2		

教 員 の 氏 名 等												
(動物トータルケア学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
8	実専	講師	イノウエ ルミ 井上 留美 <平成31年4月>		各種学校		動物臨床看護学(外科)実習	2通	2	2	ヤマザキ動物専門学校 副校長(平9.3) ヤマザキ学園大学 動物看護学部 非常勤講師 (平25.4)	5日
							動物リハビリテーション論※	3前	1.3	2		
							臨地実習1	1後・2前	1	2		
							臨地実習2	1後・2前	1	2		
							臨地実習3	2後	4	2		
							動物トータルケア総合演習2	3通	1	2		
研修・ボランティア活動	1・2・3通	1	1									
9	実専	講師	タカヤナギ ノブコ 高柳 信子 <平成31年4月>		学士(獣医学)		動物形態機能学・組織学実習	1後	1	2	ヤマザキ学園大学 動物看護学部 非常勤講師 (平25.10)	5日
							動物臨床看護学(外科)	2前	2	2		
							動物臨床看護学(外科)実習	2通	2	2		
							臨地実習1	1後・2前	1	2		
							臨地実習2	1後・2前	1	2		
10	実(研)	教授 (学科長)	ハナダ ミチコ 花田 道子 <平成31年4月>		博士(獣医学)		動物看護学概論	1前	2	2	ヤマザキ学園大学 動物看護学部 教授 (平23.4)	5日
							動物臨床看護学(基礎・内科)	1前	2	2		
							動物臨床看護学(基礎・内科)実習	1通	2	2		
							動物臨床栄養学	2後	2	2		
							臨地実習3	2後	4	2		
							臨地実習5	3後	5	2		
②	実(研)	講師	アラキ ユキコ 荒木 幸子 <平成31年4月>		学士(商学) /Associate in Applied Science (米国)		キャリアマネジメント	1後	2	2	自営業 小動物栄養管理士として コンサルタント・講師(平27.3)	5日
							動物トータルライフ演習※	3前	0.8	2		
							臨地実習2	1後・2前	1	2		
							臨地実習4	3前	4	2		
							臨地実習5	3後	5	2		
							動物実習短期留学※	2・3通	2	1		
							情報危機管理論※	3後	0.5	2		

教 員 の 氏 名 等												
(動物トータルケア学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
12	実(研)	講師	フジハラ エリコ 藤原 恵利子 <平成31年4月>		修士(医科学)		動物臨床検査学	1後	2	2	株式会社三 菱化学ビー シーエル 検 査第三部化 学療法検査 グループ真 菌フローラセ クション PL3(平 16.3)	5日
							動物臨床検査学実 習	1後	1	2		
							臨地実習1	1 後・ 2前	1	2		
							臨地実習4	3前	4	2		
							臨地実習6	3後	5	2		
							動物トータルケア総 合演習1	2通	1	2		
13	実み	教授	タニガワ ツトム 谷川 力 <平成32年4月>		博士(獣医 学)		動物生理・繁殖学※	1前	1	2	イカリ消毒株 式会社取締 役技術研究 所所長(昭 57.4)	1日
							環境生物学	2後	1	1		
							臨地実習6	3後	5	2	イカリ消毒株 式会社取締 役技術研究 所所長(昭 57.4)	4日
	兼任	講師	タニガワ ツトム 谷川 力 <平成31年4月>				動物生理・繁殖学※	1前	1	2	イカリ消毒株 式会社取締 役技術研究 所所長(昭 57.4)	-
△ 1	兼任	講師	コンドウ ミホコ 近藤 美保子 <平成31年4月>		準学士		コンピューターリテラ シー(情報処理)Ⅰ	1前	1	4	東京リハビリ テーション専 門学校 非 常勤講師(平 13.4)	-
							コンピューターリテラ シー(情報処理)Ⅱ	2前	1	2		
							情報危機管理論※	3後	0.5	2		
15	兼任	講師	フジマキ ヒロコ 藤巻 裕子 <平成31年4月>		法学士		コミュニケーション 論	1前	2	2	ヤマザキ動 物専門学校 非常勤講師 (平13.4)	-
17	兼任	講師	タカノ ヤエコ 高野 八重子 <平成31年4月>		高等学校 卒		コンパニオンアニ マルケア論※	1前	0.4	2	有限会社 キャットプ ランニング 代表取締役 (平5.10)	-
18	兼任	講師	スズキ トモコ 鈴木 友子 <平成31年4月>		学士(獣医 学)		動物臨床看護学 (基礎・内科)実 習	1通	2	2	ヤマザキ学 園大学 動物 看護学部 講 師(平 20.4)	-
							動物口腔ケア論	3前	1	2		
							動物口腔ケア実習	3後	1	2		
16	兼任	講師	ハマベ ユウコ 濱部 有羽子 <平成32年4月>		獣医学士		訪問動物看護学	2前	2	2	ヤマザキ動 物専門学校 非常勤講師 (平19.4)	-

教 員 の 氏 名 等												
(動物トータルケア学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
17	兼任	講師	アマノ タカシ 天野 卓 <平成32年10月>		農学博士		野生動物学	2後	1	1	ヤマザキ学 園大学 動物 看護学部 教授(平 25.3)	-
18	兼任	講師	スガノ タエ 菅野 多恵 <平成33年10月>		Applied Animal Behaviour and Animal Welfare (英国)		動物愛護・福祉と 関連法規	3後	1	2	群馬県食肉 衛生検査所 嘱託と畜検 査員(平 26.4)	-
19	兼任	講師	スギヤマ(サトウ) ナオコ 杉山(佐藤) 尚子 <平成31年10月>		文学修士		動物行動学	1後	2	2	星槎大学大 学院 社会 学研究科 教授(平 25.4)	-
							消費者行動分析学	3後	2	1		
20	兼任	講師	ハヤタ ユキコ 早田 由貴子 <平成31年4月>		獣医学士		伴侶動物学※	1前	0.6	2	エルムス ペットクリ ニック 杉 並 院長/獣 医師(平 14.10)	-
							コンパニオンアニマ ルケア実習(応用)※	2通	0.5	2		
21	兼任	講師	コジマ アツシ 小嶋 篤史 <平成31年4月>		獣医学士		伴侶動物学※	1前	0.6	2	鳥と小動物 の病院 リ トルバード 院長/獣医師 (平14.12)	-
26	兼任	講師	フルカワ ツトム 古川 力 <平成32年4月>		農学博士		動物飼育管理論※	2前	1	2	東京農業大 学 農学部 教授(平 25.4)	-
							産業・実験動物学	3前	2	2		
27	兼任	講師	ホリエ タカユキ 堀井 隆行 <平成32年4月>		修士(動物 応用科学)		動物飼育管理論※	2前	1	2	ヤマザキ学 園大学 動物 看護学部 講師(平 21.4)	-
22	兼任	講師	スズキ ユキ 鈴木 友紀 <平成32年4月>		芸術学士		動物トータルライ フ環境論※	2前	0.4	2	ダブルポー ション有限 会社 代表 取締役(平 13.3)	-

教 員 の 氏 名 等												
(動物トータルケア学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
23	兼任	講師	オクヤマ ケンジ 奥山 健二 <平成32年4月>		学術博士		動物トータルライ フ環境論※	2前	1	2	一級建築士 (昭46.4)	-
24	兼任	講師	ミヤシタ メグミ 宮下 めぐみ <平成32年4月>		学士(獣 医学)		動物トータルライ フ環境論※	2前	0.6	2	アニコム損 害保険株式 会社(平 17.10)	-
31	兼任	講師	ナガオカ メグミ 長岡 恵 <平成33年4月>		専修学校 卒		動物トータルライ フ演習※	3前	0.2	2	文化服装学 院 講師 (平16.5)	-
32	兼任	講師	イガラシ ヤスヒロ 五十嵐 靖博 <平成33年4月>		修士(文 学)		ジェロントロジー	3前	2	1	山野美容芸 術短期大学 美容総合学 科 教授(平 22.4)	-
25	兼任	講師	オオニシ マサユキ 大西 正行 <平成33年10月>		経済学士		少子高齢社会と人口 問題	3後	1	1	金城大学 社会福祉学 部 特任教 授(平29.4)	-
34	兼任	講師	モタイ ショウキチ 壘 昭吉 <平成33年4月>		経済学修 士		産業論	3前	2	1	一般財団法人 日本開発 構想研究所 客員主幹研 究員(平 29.4)	-
35	兼任	講師	タケダ マサヒロ 竹田 昌弘 <平成33年10月>		経営学修 士		IT社会論	3後	1	1	東京工科大 学 コン ピュータサイ エンス学部 教授(平 18.4)	-
36	兼任	講師	イシワタ ヒロシ 石渡 浩 <平成33年10月>		修士(経済 学)		起業論	3後	2	1	石渡ファイナ ンシャルプラ ンニング事務 所合同会社 代表社員(平 19.4)	-
26	兼任	講師	フクヤマ タカアキ 福山 貴昭 <平成33年4月>		修士(危 機管理 学)		災害・危機管理論 ※	3前	1	2	ヤマザキ学 園大学 動 物看護学部 講師(平 22.4)	-
④	兼任	講師	サイトウ コウスケ 斎藤 康介 <平成32年10月>		短期大学 士		生活とアート	2後	2	2	ヤマザキ学 園大学 動 物看護学部 非常勤講師 (平23.4)	-

教 員 の 氏 名 等												
(動物トータルケア学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
28	兼任	講師	カトウ リエ 加藤 理絵 <平成31年4月>		博士(教育学)		心理学	1前	2	2	ヤマザキ学 園大学 動物 看護学部 准教授(平 28.4)	-
							高齢者心理	2後	2	1		
⑤	兼任	講師	ニイジマ ノリコ 新島 典子 <平成31年10月>		修士(社会学)		社会学	1後	2	2	ヤマザキ学 園大学 動物 看護学部 准教授(平 20.4)	-
							死生学	3後	2	2		
30	兼任	講師	カマダ トシヒコ 鎌田 壽彦 <平成31年4月>		農学博士		動物生理・繁殖学※	1前	2	2	ヤマザキ学 園大学 動物 看護学部 非常勤講師 (平28.4)	-
31	兼任	講師	ショウジ ユウヤ 庄司 裕也 <平成32年4月>		修士(史学)		社会福祉学	2前	2	2	女子美術大 学 非常勤 講師(平 19.4)	-
⑥	兼任	講師	イマイ タツオ 今井 達男 <平成33年10月>		薬学士		医療安全	3後	2	2	東京薬科大 学 学長業 務顧問(平 29.7) 生活習慣病 研究所(平 30.5)	-

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	人	2人	人	1人	3人	
	修 士	人	人	人	人	人	1人	1人	2人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教授	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	1人	人	人	1人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	学 士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1人	1人	人	人	2人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	学 士	人	1人	人	人	人	人	人	1人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	人	人	2人	人	1人	3人	
	修 士	人	1人	2人	人	1人	1人	1人	6人	
	学 士	人	1人	1人	1人	人	人	人	3人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1人	1人	人	人	2人	

（注）

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。

審査意見への対応を記載した書類（10月）

（目次）動物トータルケア学科

【教育課程等】

1. 【第一次審査意見2の回答について】

<科目内容が不十分>

「コンピュータリテラシーⅠ」と「コンピュータリテラシーⅡ」の授業科目の内容が一定程度見直されたが、短期大学教育の水準にふさわしい内容としては未だ不十分であるため、シラバスを示した上で授業科目の内容を改めること。（是正事項）……………1

2. 【第一次審査意見5の回答について】

<書類の不備>

「学生ローテーション表」に記載されている臨地実務実習の施設の中に、実習先から除外した施設が一部記載されているため適切に改めること。（改善事項）……………6

3. 【第一次審査意見6の回答について】

<実習評価書の評価項目が不整合>

臨地実務実習で掲げられた到達目標と臨地実務実習評価表に記載されている評価項目に整合していない箇所があるので適切に改めること。（是正事項）……………16

【名称、その他】

4. 【施設設備の計画が不十分】

実地審査を行った結果、充実した教育研究活動に資する教育研究環境となっているか疑義があるため、次の点を明確にすること。

①共同研究室を整備する計画であるが、専任教員数に対して狭隘であるため、教育研究を適切に行い得るスペースと機能が備わっていることを図面で示した上で明確にすること。

②専任教員が取り組む研究を実施できる研究用実験室や機器の整備や研究で必要となる場合の動物の具体的な確保の方策を明確にすること。

③図書館が狭隘であるため、将来にわたって学生及び教員の教育研究活動に十分な図書館を整備すること。（是正事項）……………66

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

1. **【第一次審査意見2の回答について】**

<科目内容が不十分>

「コンピューターリテラシーⅠ」と「コンピューターリテラシーⅡ」の授業科目の内容が一定程度見直されたが、短期大学教育の水準にふさわしい内容としては未だ不十分であるため、シラバスを示した上で授業科目の内容を改めること。

(対応)

ご指摘に従い、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」と「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の授業科目の内容を専門職短期大学の教育水準としてふさわしい内容に改める。

「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」（表1）では、コンピューターの歴史、コンピューターやOSの動作原理を理解した上で、ファイルやファイルシステムの種類と操作方法、コンピューターやネットワークへの認証の重要性を学ぶ。

次にインターネットの原理とウェブブラウザの動作原理を理解した上で、情報検索やインターネット上で提供されている無料サービスの使用方法を学ぶ。さらにデータベースの種類や構造を理解した上で、データの整理方法を学ぶ。また、効果的なプレゼンテーションの方法やコンピューターのセキュリティ等を学ぶ内容に変更する。

「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」（表2）では、コンピューターのリテラシー（情報処理能力）をさらに高めるためにインターネットを利用したサービス、ウェブサイトの動作原理と構造を理解した上で、ウェブサイトの構築方法、マークアップ言語として有名なHTML、CSSの使用法、ウェブによる情報発信の活用事例、基礎的な作成方法について学ぶ。

また、社会に普及し始めているAI（人工知能）、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、仮想通貨などによって、社会がどのように変化してきているのか、さらに、これらの技術が発展すると、将来、社会はどのように変革していくのか等、最新技術の概要について学びながら、グループディスカッションを通してコンピューター社会について考察する内容に変更する。

なお、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」と「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」は、コンピューターを使用し、演習形式で授業を行う。

具体的な授業計画として、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」と「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」のシラバスを添付する（資料1）。

表1「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」の授業科目の概要

新	旧
<p>本演習では、コンピューターのリテラシー（情報処理能力）を高めるためにコンピューターの歴史、コンピューターやOSの動作原理を理解した上で、ファイルやファイルシステムの種類と操作方法、コンピューターやネットワークへの認証の重要性を学ぶ。</p> <p>次にインターネットの原理とウェブブラウザの動作原理を理解した上で、情報検索やインターネット上で提供されている無料サービスの使用方法を学ぶ。さらにデータベースの種類や構造を理解した上で、データの整理方法を学ぶ。また、効果的なプレゼンテーションの方法やコンピューターのセキュリティ等を学ぶ。</p>	<p>与えられた課題を解決するためにコンピューターを駆使する知識や技能を学ぶ。コンピューターの基礎的な動作原理、機能に対する理解から、キーボードやマウス、プリンタ・スキャナなど周辺機器の扱い方、OSやソフトウェアの仕組み、ファイル・フォルダの扱い方、ソフトウェアのインストール・アンインストール方法、ソフトウェアを用いてデータや情報を演算処理させる方法を身につける。</p> <p>文書や人の視覚に訴える見栄えの良い文書の作成、基本的な演算方法の修得から大量のデータを処理し、必要な情報を取り出す方法も学んでいく。</p>

表2「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の授業科目の概要

新	旧
<p>本演習では、コンピューターのリテラシー（情報処理能力）をさらに高めるためにインターネットを利用したサービス、ウェブサイトの動作原理と構造を理解した上で、ウェブサイトの構築方法、マークアップ言語として有名なHTML、CSSの使用法、ウェブによる情報発信の活用事例、基礎的な作成方法について学ぶ。</p> <p>また、社会に普及し始めているAI（人工知能）、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、仮想通貨などによって、社会がどのように変化してきているのか、さらに、これらの技術が発展すると、将来、社会はどのように変革していくのか等、最新技術の概要について学びながら、グループディスカッションを通してコンピューター社会について考察する。</p>	<p>ネットワーク利用の技能の習得を目指す。ネットワークの仕組みを理解し、情報の信頼性を把握するスキル、情報に関するセキュリティや倫理に関する知識を身につけ、ネットワークを賢く生きていく術を学んでいく。</p> <p>SNSなどに投稿する時やメール作成時に欠かせない知識を身につけ、倫理ある利用技術を修得していく。</p> <p>ファイルの圧縮・拡張子なども理解し、適切なファイル形式を理解し、円滑にファイルのやり取り等ができるよう知識を修得する。</p> <p>情報をまとめ、自分の考えを含めて相手にわかりやすく伝える技術もソフトウェアを用いて行うことも身につけていく。</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (17 ページ)

新	旧
<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (2)教員の配置 ①基礎科目について (略) 「コンピューターリテラシー (情報処理) I」は、コンピューターや OS の原理を理解した上でファイルの操作法、インターネットの動作原理と情報検索の方法、データの整理方法等を学ぶ。「コンピューターリテラシー (情報処理) II」は、ウェブサイトの動作原理と構造、HTML・CSS 使用法を学び、AI (人工知能)、VR (仮想現実)、AR(拡張現実)等の最新技術について学び、コンピューター社会について考察する。「コンピューターリテラシー (情報処理) I」、「コンピューターリテラシー (情報処理) II」は、近藤美保子兼任講師が担当する。 (略)</p>	<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (2)教員の配置 ①基礎科目について (略) 「コンピューターリテラシー (情報処理) I」は、与えられた課題を解決するためにコンピューターを駆使する知能や技能を学ぶこととし、「コンピューターリテラシー (情報処理) II」は、ネットワークの仕組みを理解し、情報の信頼性を把握するスキル、情報に関するセキュリティや倫理に関する知識を身につけ、ネットワークを賢く生きていく術を学ぶ科目とする。いずれも専門学校での教育歴や実務経験を活かし、近藤美保子兼任講師が担当する。 (略)</p>

授業科目	コンピューターリテラシー（情報処理） I			担当教員	近藤 美保子
科目英名	Computer Literacy (information processing)				
開講期間	1 年次前期	必修科目 1 単位	科目区分	基礎科目	
到達目標					
<p>本演習は、コンピューターに関するリテラシー（情報処理能力）を高める科目であることから、学生には、社会に普及しているインターネットやパーソナルコンピューター、オペレーティングシステムの動作原理や実社会で役立つデータの整理方法等を理解する。</p>					
講義概要					
<p>本演習では、コンピューターのリテラシー（情報処理能力）を高めるためにコンピューターの歴史、コンピューターや OS の動作原理を理解した上で、ファイルやファイルシステムの種類と操作方法、コンピューターやネットワークへの認証の重要性を学ぶ。</p> <p>次にインターネットの原理とウェブブラウザの動作原理を理解した上で、情報検索やインターネット上で提供されている無料サービスの使用方法を学ぶ。さらにデータベースの種類や構造を理解した上で、データの整理方法を学ぶ。また、効果的なプレゼンテーションの方法やコンピューターのセキュリティ等を学ぶ。</p>					
授業計画					
<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピューターの歴史と動作原理 2 オペレーティングシステムの種類と動作原理 3 ファイルシステムの種類と操作方法 4 コンピューターやネットワークへの認証の重要性 5 インターネットの歴史と原理（通信プロトコル等） 6 ウェブブラウザの動作原理と操作方法 7 ウェブブラウザによる情報検索 8 データベースの種類と構造 9 データの整理 1（Excel 使用） 10 データの整理 2（Excel 使用） 11 統計処理（Excel 使用） 12 Power Point による効果的なプレゼンテーションの方法 13 Power Point による効果的なプレゼンテーションの方法（グループによる発表） 14 Office アプリケーション間の連携等による活用法 15 コンピューターのセキュリティ及び総括 					
履修上の注意					
<p>専門用語がたくさん出てくるので必ず予習、復習をして授業に臨むこと。</p>					
評価方法（評価基準を含む）					
<p>授業への参加度（50%）、課題・小テスト（50%）を基に総合評価する。</p>					
教科書					
<p>情報リテラシー教科書 Windows10 Office 2016 対応版、プリント配布</p>					
参考書、教材等					
<p>なし</p>					

授業科目	コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ			担当教員 近藤 美保子
科目英名	Computer Literacy (information processing) Ⅱ			
開講期間	2年次前期	選択科目 1単位	科目区分	基礎科目
到達目標				
<p>本演習では、コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰで修得したリテラシー（情報処理能力）をさらに高めるために、ウェブサイトの動作原理と構造、ウェブサイトの構築方法、マークアップとして有名な HTML の基本的な使用法を学びウェブサイトによる情報発信、最新技術の動向について理解させる。</p>				
講義概要				
<p>本演習では、コンピューターのリテラシー（情報処理能力）をさらに高めるためにインターネットを利用したサービス、ウェブサイトの動作原理と構造を理解した上で、ウェブサイトの構築方法、マークアップ言語として有名な HTML、CSS の使用法、ウェブによる情報発信の活用事例、基礎的な作成方法について学ぶ。</p> <p>また、社会に普及し始めている AI（人工知能）、VR（仮想現実）、AR(拡張現実)、仮想通貨などによって、社会がどのように変化してきているのか、さらに、これらの技術が発展すると、将来、社会はどのように変革していくのか等、最新技術の概要について学びながら、グループディスカッションを通してコンピューター社会について考察する。</p>				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1 インターネットを利用したサービスについて 2 ウェブサイトや各種インターネットサービスの活用方法 3 ウェブサイトの動作原理と構造 4 ウェブサイトの構築方法 5 HTML の基礎 1（HTML のファイルの作り方や HTML の種類、基本的なタグ等） 6 HTML の基礎 2（リンク、画像の表示等） 7 HTML の基礎 3（段落、その他タグ等） 8 HTML と CSS の基礎 1（サイトの構造とスタイル等） 9 HTML と CSS の基礎 2（CSS の記述法等） 10 ウェブサイト作成の基礎 1（基本的なレイアウト） 11 ウェブサイト作成の基礎 2（レイアウトの変更） 12 ウェブサイト作成の基礎 3（デザインの変更や装飾） 13 AI（人工知能）について 14 VR（仮想現実）と AR(拡張現実)、仮想通貨について 15 コンピューター社会の未来についての考察（グループディスカッションを含む） 				
履修上の注意				
<p>専門用語がたくさん出てくるので必ず予習、復習をして授業に臨むこと。</p>				
評価方法（評価基準を含む）				
<p>授業への参加度（50%）、課題・小テスト（50%）を基に総合評価する。</p>				
教科書				
<p>プリント配布</p>				
参考書、教材等				
<p>なし</p>				

(改善事項) 動物トータルケア学科

2. 【第一次審査意見5の回答について】

<書類の不備>

「学生ローテーション表」に記載されている臨地実務実習の施設の中に、実習先から除外した施設が一部記載されているため適切に改めること。

(対応)

ご指摘に従い、「設置の趣旨等を記載した書類」の資料 30-3、「審査意見への対応を記載した書類(8月)」の資料 5-1の「臨地実習3・5 学生ローテーション表」の中に実習先から除外した施設が記載されているので削除し、実習先名称の記載漏れ、誤記入を修正する(表1)。また、「設置の趣旨等を記載した書類」の資料 30-4、「審査意見への対応を記載した書類(8月)」の資料 5-2の「臨地実習4・6 学生ローテーション表」の実習先名称の誤記入を修正する(表2)。なお、165ヶ所の実習施設数に変更はない。

表1 臨地実習3・5 学生ローテーション表の正誤表

「設置の趣旨等を記載した書類」の資料 30-3、「審査意見への対応を記載した書類(8月)」の資料 5-1

正	誤	備考
(削除)	コンパニオン・アニマル・センター	誤記入のため削除する。 【再補正時の学生ローテーション表番号「2」】
(削除)	一般社団法人 東京城南地域獣医療推進協会 TRVA 夜間救急動物医療センター	実習先から除外した施設のため削除する。 (動物看護師が不在のため、実習施設から削除したが、ローテーション表から削除していなかった) 【再補正時のローテーション表番号「129」】
(削除)	有限会社 福沢動物病院	実習先から除外した施設のため削除する。 (動物看護師が不在のため、実習施設から削除したが、ローテーション表から削除していなかった) 【再補正時の学生ローテーション表番号「135」】
長津田ペットクリニック	(追加)	記載漏れのため追加する。 【再補正時の臨地実務実習施設一覧・施設番号「2」】
安田獣医科病院	(追加)	記載漏れのため追加する。 【再補正時の臨地実務実習施設一覧・施設番号「5」】
やまなか動物病院	(追加)	記載漏れのため追加する。 【再補正時の臨地実務実習施設一覧・施設番号「129」】
動物病院ヘルスペット	動物病院ヘルペット	誤記入のため修正する。 【再補正時の学生ローテーション表番号「56」】 【再補正時の臨地実務実習施設一覧・施設番号「57」】

表2 臨地実習4・6 学生ローテーション表の正誤表

「設置の趣旨等を記載した書類」の資料30-4、「審査意見への対応を記載した書類(8月)」の資料5-2

正	誤	備考
スタディ・ドッグ・スクール	株式会社 <u>Animal Life Solutions</u>	誤記入のため修正する。(株式会社 Animal Life Solutions が経営する施設) 【再補正時の学生ローテーション表番号「99」】 【再補正時の臨地実務実習施設一覧・施設番号「264」】
ZOO 恵比寿	ZOO 恵比須	誤記入のため修正する。 【再補正時の学生ローテーション表番号「119」】 【再補正時の臨地実務実習施設一覧・施設番号「284」】
乗馬クラブクレイ ン東京	<u>東武乗馬クラブ</u> & クレイン	誤記入のため修正する。 【再補正時の学生ローテーション表番号「151」】 【再補正時の臨地実務実習施設一覧の施設番号「316」】

修正前及び修正後の「臨地実習3・5 学生ローテーション表」及び「臨地実習4・6 学生ローテーション表」は、資料2のとおりである。

【新】臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	アニマルメディカルセンター	1		6		11
2	長津田ペットクリニック	2		7		12
3	アマノ動物病院	3		8		13
4	有限会社磯貝動物病院	4		9		14
5	安田獣医科医院	5		10		15
6	ハロー動物病院新鎌ヶ谷分院	6		11		16
7	ゼファー動物病院	7		12		17
8	木もれ陽動物病院	8		13		18
9	高木動物病院	9		14		19
10	カトウ獣医科クリニック	10		15		20
11	横浜青葉どうぶつ病院	11		16		21
12	アルフペットクリニック	12		17		22
13	よしだ動物病院	13		18		23
14	フローラル動物病院	14		19		24
15	さきがおか動物病院	15		20		25
16	いしじま動物病院	16		21		26
17	市原・山口動物病院	17		22		27
18	田中動物病院	18		23		28
19	アステール動物病院	19		24		29
20	戸田動物病院	20		25		30
21	美園どうぶつ病院	21		26		31
22	後藤動物病院	22		27		32
23	イーリスペットクリニック	23		28		33
24	東いわつき動物病院	24		29		34
25	みさと動物病院	25		30		35
26	どうぶつクリニックNEXT	26		31		36
27	けやき動物病院富士見	27		32		37
28	動物病院くまごろう	28		33		38
29	みねぎし動物病院	29		34		39
30	エルザ動物小鳥の病院	30		35		40
31	小動物診療所	31		36		41
32	株式会社ワイ・エイ・シーようが動物病院	32		37		42
33	本駒込動物病院	33		38		43
34	ひばり動物病院	34		39		44
35	赤羽ペットクリニック	35		40		45
36	梅島動物病院	36		41		46
37	駒沢どうぶつ病院	37		42		47
38	かいぬま動物病院	38		43		48
39	とりうみ動物病院	39		44		49
40	ふく動物病院	40		45		50
41	チコラ動物病院	41		46		51
42	みなみ小金井動物病院	42		47		52
43	ボウズ動物病院	43		48		53
44	ココ動物病院	44		49		54
45	動物病院 川越	45		50		55
46	株式会社T2コーポレーションたはら動物病院	46		51		56
47	有限会社国領動物病院	47		52		57
48	富士見台どうぶつ病院	48		53		58
49	株式会社船橋どうぶつ病院	49		54		59
50	岡部獣医科病院	50		55		60
51	ぬのかわ犬猫病院	51		56		61
52	吉田動物病院	52		57		62
53	本郷獣医科病院	53		58		63
54	ヴァンケット動物病院	54		59		64
55	ロイヤルペットクリニック 西馬込病院	55		60		65
56	サム動物病院	56		61		66
57	動物病院ヘルスパット	57		62		67
58	池田動物病院成城通り	58		63		68
59	溝の口犬猫病院	59		64		69
60	かのペットクリニック	60		65		70
61	仲野どうぶつ病院	61		66		71
62	ハリーペットクリニック	62		67		72
63	むかい猫と犬の病院	63		68		73
64	木村動物病院	64		69		74
65	松原ペットクリニック	65		70		75
66	セラピスト動物病院	66		71		76
67	有限会社 ませ動物病院	67		72		77
68	池田動物病院	68		73		78
69	古谷動物病院	69		74		79
70	湘南なぎさ動物病院	70		75		80
71	桜ヶ丘どうぶつ病院	71		76		
72	久米川みどり動物病院	72		77		
73	セキ動物病院	73		78		
74	辻堂犬猫病院	74		79		
75	広尾動物病院	75		80		
76	JOY動物病院	76				
77	株式会社フェイス1 竹原獣医科医院	77			1	
78	かぶくん動物病院	78			2	
79	アリーズ動物病院	79			3	
80	東京ウエスト動物病院	80			4	
81	野毛坂どうぶつ病院		1		5	
82	越谷動物医療センター		2		6	

【新】臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
83	葉山どうぶつ病院		3		8	
84	とねり動物病院		4		9	
85	大泉動物病院		5		10	
86	ビジョン動物愛護病院(鳩ヶ谷院)		6		11	
87	ノブ動物病院		7		12	
88	中田動物病院		8		13	
89	アニマルクリニックこばやし		9		14	
90	みつわ台動物病院		10		15	
91	アン動物病院		11		16	
92	松本動物病院		12		17	
93	オアシス動物病院		13		18	
94	上田動物病院		14		19	
95	アニホスフォレスト株式会社 Pet Clinicアニホス		15		20	
96	西湘動物病院		16		21	
97	有限会社いちかわ動物病院		17		22	
98	マーブル動物医療センター		18		23	
99	野田動物病院		19		24	
100	指扇ペットクリニック		20		25	
101	リバーズ動物病院		21		26	
102	七光台どうぶつ病院		22		27	
103	有限会社サワムラベッツ 沢村獣医科病院		23		28	
104	谷口動物病院		24		29	
105	動物病院NORIKO		25		30	
106	ワシントン動物病院		26		31	
107	コトー動物病院		27		32	
108	井上動物病院		28		33	
109	かわはら動物病院		29		34	
110	一之江どうぶつ病院		30		35	
111	マリーナストリートおかだ動物病院		31		36	
112	水上犬猫鳥の病院		32		37	
113	てらぞの動物病院		33		38	
114	ベルノス動物病院		34		39	
115	新習志野どうぶつ病院		35		40	
116	千歳船橋あむ動物病院		36		41	
117	藤の花どうぶつ病院		37		42	
118	公益財団法人日本小動物医療センター		38		43	
119	海浜動物医療センター		39		44	
120	はやし動物病院		40		45	
121	城山通りどうぶつ病院		41		46	
122	つなしま動物病院		42		47	
123	吉祥寺どうぶつ病院		43		48	
124	株式会社日本動物高度医療センター		44		49	
125	石黒動物病院		45		50	
126	よしむら動物病院		46		51	
127	七里動物病院		47		52	
128	ワラビー動物病院		48		53	
129	やまなか動物病院		49		54	
130	モフ動物病院		50		55	
131	エルム動物病院		51		56	
132	多摩クラーク動物病院		52		57	
133	株式会社GRAND DESIGN明和動物愛護病院		53		58	
134	株式会社マイクレスト クレスト動物病院		54		59	
135	関水動物病院		55		60	
136	新浦安太田動物病院		56		61	
137	ハダ動物病院		57		62	
138	あさか台動物病院		58		63	
139	アニムペットクリニック		59		64	
140	西荻動物病院		60		65	
141	上石神井動物病院		61		66	
142	ワラビー動物病院グループ はとがや動物病院		62		67	
143	どうぶつ眼科 Eye Vet		63		68	
144	合同会社 ゆう動物クリニック		64		69	
145	株式会社港北どうぶつ病院		65		70	
146	くみ動物病院		66		71	
147	株式会社ZR オールペットクリニック		67		72	
148	タムどうぶつ病院		68		73	
149	山田動物病院		69		74	
150	湖畔どうぶつ病院		70		75	
151	山本どうぶつ病院		71		76	
152	有限会社さがみ中央動物医療センター		72		77	
153	ブライト動物病院		73		78	
154	向平動物病院		74		79	
155	株式会社Vets United アリサ動物病院		75		80	
156	高ヶ坂動物病院		76			1
157	株式会社FIELD 森の樹どうぶつ病院		77			2
158	高橋動物病院		78			3
159	Willどうぶつ病院		79			4
160	習志野動物医療センター りょう動物病院		80			5
161	グリーン動物病院			1		6
162	目黒洗足動物病院			2		7
163	畑沢動物病院			3		8
164	小鳥のセンター病院			4		9
165	どうぶつのセンター病院			5		10

【新】臨地実習4・6 学生ローテーション表

(ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

			臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
	会社名	業種(詳細)	A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	株式会社サンリングペットサロンSIT	ペットサロン	1		12		
2	ペットサロン モグMOGU	ペットサロン	2		13		
3	ペットの保育園Will	ペットサロン	3		14		
4	トリミングスタジオ Oasis	ペットサロン	4		15		
5	Pet's Life	ペットサロン	5		16		
6	ドッグサロンLC	ペットサロン	6		17		
7	PET SALON KUMIKO	ペットサロン	7		18		
8	Supreme 舞浜スタジオ	ペットサロン	8		19		
9	株式会社 BELL-PET	ペットサロン	9		20		
10	株式会社ワイズドギー 渋谷西武モントウトウ	ペットサロン	10		21		
11	グルーミングサロングリム	ペットサロン	11		22		
12	ANIER -Dog Grooming Room-	ペットサロン	12		23		
13	Pet Salon Jupiter	ペットサロン	13		24		
14	Dog Grooming Salon cotaz	ペットサロン	14		25		
15	Dog Place Oasis	ペットサロン	15		26		
16	ペットサロンうちの仔	ペットサロン	16		27		
17	株式会社DLC DOGLIFE 川口店	ペットサロン	17		28		
18	株式会社DLC DOGLIFE 浦和店	ペットサロン	18		29		
19	シブヤ・ドッグ・ビューティー	ペットサロン	19		30		
20	アトリエモモワン	ペットサロン	20		31		
21	ペットショップジュニア池袋	ペットショップ	21		32		
22	株式会社オーグ うさぎのしっぽ 横浜店	ペットショップ	22		33		
23	株式会社モントウトウ	ペットショップ	23		34		
24	ペットの専門店コジマ新宿店	ペットショップ	24		35		
25	ペットの専門店コジマ八王子店	ペットショップ	25		36		
26	ペットの専門店コジマ松戸店	ペットショップ	26		37		
27	ペットの専門店コジマ竹ノ塚店	ペットショップ	27		38		
28	ペットの専門店コジマ青戸店	ペットショップ	28		39		
29	ペットの専門店コジマ浦和店	ペットショップ	29		40		
30	ペットの専門店コジマ花小金井店	ペットショップ	30		41		
31	ペットの専門店コジマ大宮店	ペットショップ	31		42		
32	ペットの専門店コジマ目黒店	ペットショップ	32		43		
33	ペットの専門店コジマ相模原店	ペットショップ	33		44		
34	ペットの専門店コジマ川越店	ペットショップ	34		45		
35	ペットの専門店コジマ洗足店	ペットショップ	35		46		
36	ペットの専門店コジマ足立店	ペットショップ	36		47		
37	ペットの専門店コジマ高井戸店	ペットショップ	37		48		
38	ペットの専門店コジマ中野店	ペットショップ	38		49		
39	ペットの専門店コジマ三軒茶屋店	ペットショップ	39		50		
40	ペットの専門店コジマ阿佐ヶ谷店	ペットショップ	40		51		
41	ペットの専門店コジマ新小岩店	ペットショップ	41		52		
42	ペットの専門店コジマ板橋店	ペットショップ	42		53		
43	ペットの専門店コジマ練馬店	ペットショップ	43		54		
44	ペットの専門店コジマ亀戸店	ペットショップ	44		55		
45	ペットの専門店コジマ三郷店	ペットショップ	45		56		
46	ペットの専門店コジマアリオ葛西店	ペットショップ	46		57		
47	ペットの専門店コジマベイタウン横浜本牧店	ペットショップ	47		58		
48	ペットの専門店コジマアリオ柏店	ペットショップ	48		59		
49	ペットの専門店コジマ西篠崎店	ペットショップ	49		60		
50	ペットの専門店コジマアリオ蘇我店	ペットショップ	50		61		
51	ペットの専門店コジマアリオ西新井店	ペットショップ	51		62		
52	ペットの専門店コジマアリオ市原店	ペットショップ	52		63		
53	ペットの専門店コジマフォルテ津田沼店	ペットショップ	53		64		
54	ペットの専門店コジマ六本木店	ペットショップ	54		65		
55	ペットの専門店コジマアリオ深谷店	ペットショップ	55		66		
56	ペットの専門店コジマアリオ橋本店	ペットショップ	56		67		
57	ペットの専門店コジマ国分寺店	ペットショップ	57		68		
58	ペットの専門店コジマ府中店	ペットショップ	58		69		
59	ペットの専門店コジマアリオ北砂店	ペットショップ	59		70		
60	ペットの専門店コジマモラージュ菖蒲店	ペットショップ	60		71		
61	ペットの専門店コジマイーアスつくば店	ペットショップ	61		72		
62	ペットの専門店コジマ田端店	ペットショップ	62		73		
63	ペットの専門店コジマアリオ亀有店	ペットショップ	63		74		
64	ペットの専門店コジマ蕨錦町店	ペットショップ	64		75		
65	ペットの専門店コジマ和光店	ペットショップ	65		76		
66	アサヒペット株式会社 都築店	ペットショップ	66		77		
67	アサヒペット株式会社 多摩店	ペットショップ	67		78		
68	アサヒペット株式会社 湘南店	ペットショップ	68		79		
69	アサヒペット株式会社 MARK IS みなとみらい店	ペットショップ	69		80		
70	アサヒペット株式会社 港北ニュータウン店	ペットショップ	70				
71	アサヒペット株式会社 トレッサ横浜店	ペットショップ	71				
72	アサヒペット株式会社 二俣川本店	ペットショップ	72				
73	DOG'S CARE JOKER 六本木ヒルズ店	ペットショップ	73				
74	DOG&CAT JOKER ららぽーと柏の葉店	ペットショップ	74				
75	DOG&CAT JOKER ららぽーと横浜店	ペットショップ	75				
76	DOG&CAT JOKER そごう横浜店	ペットショップ	76				
77	DOG&CAT JOKER そごう大宮店	ペットショップ	77				
78	JOKER DOG&CAT AVENUE 二子玉川店	ペットショップ	78				
79	DOG&CAT JOKER むさし村山店	ペットショップ	79				
80	ヨネヤマプランテーション本店	ペットショップ	80				

【新】臨地実習4・6 学生ローテーション表
 (ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

	会社名	業種(詳細)	臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
			A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
81	ペットエコ横浜 港北ニュータウン店	ペットショップ			1		
82	ペットエコ横浜 湘南店	ペットショップ			2		
83	ペットエコ横浜 都築店	ペットショップ			3		
84	ペットエコ横浜 多摩店	ペットショップ			4		
85	ペットエコ横浜 世田谷店	ペットショップ			5		
86	ペットエコDOP 元住吉店	ペットショップ			6		
87	ペットエコ トレッサ横浜店	ペットショップ			7		
88	ペットエコDOP 大口店	ペットショップ			8		
89	ペットエコ横浜 上大岡店	ペットショップ			9		
90	ペットエコ 多摩本店	ペットショップ			10		
91	吉田観賞魚販売(ヨシダ・フィッシュファームズ)	ペットショップ			11		
92	クラブケンケン 田園調布店	ペットホテル					1 24 47
93	株式会社ツルーサービス のんびーはうす	ペットホテル					2 25 48
94	大井警察犬訓練所	訓練施設					3 26 49
95	株式会社フロムパピー ファミリーナガーデン南青山	訓練施設					4 27 50
96	株式会社プレイボウ PLAYBOW 稲城店	訓練施設					5 28 51
97	株式会社プレイボウ PLAYBOW 向ヶ丘遊園店	訓練施設					6 29 52
98	株式会社プレイボウ PLAYBOW 中目黒店	訓練施設					7 30 53
99	株式会社 Animal Life Solutions スタディ・ドッグ・スクール	訓練施設					8 31 54
100	デイケアガーデングリーングラスロッジ	老犬ホーム					9 32 55
101	老犬ホームあしあと	老犬ホーム					10 33 56
102	DOG PARTNERS	老犬ホーム					11 34 57
103	東京ペットホーム	老犬ホーム					12 35 58
104	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート富士	宿泊施設					13 36 59 70
105	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート箱根雲外荘	宿泊施設					14 37 60 71
106	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート御影用水	宿泊施設					15 38 61 72
107	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート蓼科	宿泊施設					16 39 62 73
108	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート旧軽井沢	宿泊施設					17 40 63 74
109	株式会社ベリークルーズ しぶこえ館山	宿泊施設					18 41 64 75
110	株式会社ベリークルーズ しぶこえ御宿海岸	宿泊施設					19 42 65 76
111	株式会社ベリークルーズ 修善寺 絆	宿泊施設					20 43 66 77
112	株式会社ベリークルーズ 鬼怒川 絆	宿泊施設					21 44 67 78
113	株式会社ベリークルーズ フェニックスウイング白馬	宿泊施設					22 45 68 79
114	株式会社共立メンテナンス ルシアン旧軽井沢	宿泊施設					23 46 69 80
115	株式会社フリーステッチ	ペット用品開発		1 47		13 53	
116	ZOO JAPAN CO.,LTD.	ペット用品販売		2 48		14 54	
117	ZOO新大久保	ペット用品販売		3 49		15 55	
118	ZOO四ツ谷	ペット用品販売		4 50		16 56	
119	ZOO恵比寿	ペット用品販売		5 51		17 57	
120	ZOO六本木	ペット用品販売		6 52		18 58	
121	ZOO新宿	ペット用品販売		7 53		19 59	
122	ZOO渋谷サロン	ペット用品販売		8 54		20 60	
123	GREEN DOG SQUARE	ペット用品販売		9 55		21 61	
124	GREEN DOG 東京ミッドタウン	ペット用品販売		10 56		22 62	
125	GREEN DOG 代官山	ペット用品販売		11 57		23 63	
126	GREEN DOG 湘南	ペット用品販売		12 58		24 64	
127	ビューティプラステラスモール湘南	ペット用品販売		13 59		25 65	
128	イオンペット テラスモール湘南	ペット用品販売		14 60		26 66	
129	イオンペットしつけ教室 浦和美園	ペット用品販売		15 61		27 67	
130	イオンペットビューティサロン 浦和美園	ペット用品販売		16 62		28 68	
131	イオンペット 浦和美園	ペット用品販売		17 63		29 69	
132	イオンペットビューティサロンペコスレイクタウン	ペット用品販売		18 64		30 70	
133	PECOS レイクタウン	ペット用品販売		19 65		31 71	
134	ペテモ 与野	ペット用品販売		20 66		32 72	
135	ペテモビューティサロン 与野	ペット用品販売		21 67		33 73	
136	イオンペットビューティサロン 相模原	ペット用品販売		22 68		34 74	
137	イオンペット 相模原	ペット用品販売		23 69		35 75	
138	相模原どうぶつ医療センターしつけ教室	ペット用品販売		24 70		36 76	
139	ペットインロイヤル幕張新都心	ペット用品販売		25 71		37 77	
140	ドッグトレーニング ペコス幕張新都心店	ペット用品販売		26 72		38 78	
141	イオンペットビューティサロンペコス幕張新都心店	ペット用品販売		27 73		39 79	
142	イオン動物医療センター幕張新都心(介護)	ペット用品販売		28 74		40 80	
143	pecos 幕張新都心	ペット用品販売		29 75		41	
144	イオンペット 柏	ペット用品販売		30 76		42	
145	イオンペットビューティサロン 柏	ペット用品販売		31 77		43	
146	イオンペットビューティサロン 千葉ニュータウン	ペット用品販売		32 78		44	
147	イオンペット 千葉ニュータウン	ペット用品販売		33 79		45	
148	ペテモ 日の出	ペット用品販売		34 80		46	
149	イオンしつけ教室 日の出	ペット用品販売		35		1 47	
150	ペテモビューティサロン 日の出	ペット用品販売		36		2 48	
151	乗馬クラブクレイン東京	乗馬施設		37		3 49	
152	株式会社湘南動物プロダクション	動物レンタル		38		4 50	
153	アニコム損害保険株式会社	ペット保険		39		5 51	
154	ペットメディカルサポート株式会社	ペット保険		40		6 52	
155	公益財団法人日本動物愛護協会	ペット関連団体		41		7	
156	公益財団法人日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センター	ペット関連団体		42		8	
157	社会福祉法人日本介助犬協会	ペット関連団体		43		9	
158	特定非営利活動法人聴導犬育成の会	ペット関連団体		44		10	
159	特定非営利活動法人日本動物衛生看護師協会	ペット関連団体		45		11	
160	公益社団法人日本動物福祉協会 新東京支部	ペット関連団体		46		12	

【旧】臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	アニマルメディカルセンター	1		6		11
2	コンパニオン・アニマル・センター	2		7		12
3	アマノ動物病院	3		8		13
4	有限会社磯貝動物病院	4		9		14
5	ハロー動物病院新鎌ヶ谷分院	5		10		15
6	ゼファー動物病院	6		11		16
7	木もれ陽動物病院	7		12		17
8	高木動物病院	8		13		18
9	カトウ獣医科クリニック	9		14		19
10	横浜青葉どうぶつ病院	10		15		20
11	アルフベッククリニック	11		16		21
12	よしだ動物病院	12		17		22
13	フローラル動物病院	13		18		23
14	さきがおか動物病院	14		19		24
15	いしじま動物病院	15		20		25
16	市原・山口動物病院	16		21		26
17	田中動物病院	17		22		27
18	アステール動物病院	18		23		28
19	戸田動物病院	19		24		29
20	美園どうぶつ病院	20		25		30
21	後藤動物病院	21		26		31
22	イーリスベッククリニック	22		27		32
23	東いわつき動物病院	23		28		33
24	みさと動物病院	24		29		34
25	どうぶつクリニックNEXT	25		30		35
26	けやき動物病院富士見	26		31		36
27	動物病院くまごろう	27		32		37
28	みねぎし動物病院	28		33		38
29	エルザ動物小鳥の病院	29		34		39
30	小動物診療所	30		35		40
31	株式会社ワイ・エイ・シーようが動物病院	31		36		41
32	本駒込動物病院	32		37		42
33	ひばり動物病院	33		38		43
34	赤羽ベッククリニック	34		39		44
35	梅島動物病院	35		40		45
36	駒沢どうぶつ病院	36		41		46
37	かいぬま動物病院	37		42		47
38	とりうみ動物病院	38		43		48
39	ふく動物病院	39		44		49
40	チコラ動物病院	40		45		50
41	みなみ小金井動物病院	41		46		51
42	ボウズ動物病院	42		47		52
43	ココ動物病院	43		48		53
44	動物病院 川越	44		49		54
45	株式会社T2コーポレーションたはら動物病院	45		50		55
46	有限会社国領動物病院	46		51		56
47	富士見台どうぶつ病院	47		52		57
48	株式会社船橋どうぶつ病院	48		53		58
49	岡部獣医科病院	49		54		59
50	ぬのかわ犬猫病院	50		55		60
51	吉田動物病院	51		56		61
52	本郷獣医科病院	52		57		62
53	ヴァンケット動物病院	53		58		63
54	ロイヤルペットクリニック 西馬込病院	54		59		64
55	サム動物病院	55		60		65
56	動物病院ヘルペット	56		61		66
57	池田動物病院成城通り	57		62		67
58	溝の口犬猫病院	58		63		68
59	かのベッククリニック	59		64		69
60	仲野どうぶつ病院	60		65		70
61	ハリーベッククリニック	61		66		71
62	むかい猫と犬の病院	62		67		72
63	木村動物病院	63		68		73
64	松原ベッククリニック	64		69		74
65	セラピスト動物病院	65		70		75
66	有限会社 ませ動物病院	66		71		76
67	池田動物病院	67		72		77
68	古谷動物病院	68		73		78
69	湘南なぎさ動物病院	69		74		79
70	桜ヶ丘どうぶつ病院	70		75		80
71	久米川みどり動物病院	71		76		
72	セキ動物病院	72		77		
73	辻堂犬猫病院	73		78		
74	広尾動物病院	74		79		
75	JOY動物病院	75		80		
76	株式会社フェイス1 竹原獣医科医院	76			1	
77	かぶくん動物病院	77			2	
78	アリーズ動物病院	78			3	
79	東京ウエスト動物病院	79			4	
80	野毛坂どうぶつ病院	80			5	
81	越谷動物医療センター		1		6	
82	葉山どうぶつ病院		2		7	

【旧】臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
83	とねり動物病院		3		8	
84	大泉動物病院		4		9	
85	ビジョン動物愛護病院(鳩ヶ谷院)		5		10	
86	ノブ動物病院		6		11	
87	中田動物病院		7		12	
88	アニマルクリニックこばやし		8		13	
89	みつわ台動物病院		9		14	
90	アン動物病院		10		15	
91	松本動物病院		11		16	
92	オアシス動物病院		12		17	
93	上田動物病院		13		18	
94	アニホスフォレスト株式会社 Pet Clinicアニホス		14		19	
95	西湘動物病院		15		20	
96	有限会社いちかわ動物病院		16		21	
97	マーブル動物医療センター		17		22	
98	野田動物病院		18		23	
99	指扇ペットクリニック		19		24	
100	リバーズ動物病院		20		25	
101	七光台どうぶつ病院		21		26	
102	有限会社サワムラベッツ 沢村獣医科病院		22		27	
103	谷口動物病院		23		28	
104	動物病院NORIKO		24		29	
105	ワシントン動物病院		25		30	
106	コトー動物病院		26		31	
107	井上動物病院		27		32	
108	かわはら動物病院		28		33	
109	一之江どうぶつ病院		29		34	
110	マリーナストリートおかだ動物病院		30		35	
111	水上犬猫鳥の病院		31		36	
112	てらぞの動物病院		32		37	
113	ベルノス動物病院		33		38	
114	新習志野どうぶつ病院		34		39	
115	千歳船橋あむ動物病院		35		40	
116	藤の花どうぶつ病院		36		41	
117	公益財団法人日本小動物医療センター		37		42	
118	海浜動物医療センター		38		43	
119	はやし動物病院		39		44	
120	城山通りどうぶつ病院		40		45	
121	つなしま動物病院		41		46	
122	吉祥寺どうぶつ病院		42		47	
123	株式会社日本動物高度医療センター		43		48	
124	石黒動物病院		44		49	
125	よしむら動物病院		45		50	
126	七里動物病院		46		51	
127	ワラビー動物病院		47		52	
128	モフ動物病院		48		53	
129	一般社団法人 東京城南地域獣医療推進協会 TRVA夜間救急動物医療センター		49		54	
130	エルム動物病院		50		55	
131	多摩クラーク動物病院		51		56	
132	株式会社GRAND DESIGN明和動物愛護病院		52		57	
133	株式会社マイクレスト クレスト動物病院		53		58	
134	関水動物病院		54		59	
135	有限会社 福沢動物病院		55		60	
136	新浦安太田動物病院		56		61	
137	ハダ動物病院		57		62	
138	あさか台動物病院		58		63	
139	アニムペットクリニック		59		64	
140	西荻動物病院		60		65	
141	上石神井動物病院		61		66	
142	ワラビー動物病院グループ はとがや動物病院		62		67	
143	どうぶつ眼科 Eye Vet		63		68	
144	合同会社 ゆう動物クリニック		64		69	
145	株式会社港北どうぶつ病院		65		70	
146	くみ動物病院		66		71	
147	株式会社ZR オールペットクリニック		67		72	
148	タムどうぶつ病院		68		73	
149	山田動物病院		69		74	
150	湖畔どうぶつ病院		70		75	
151	山本どうぶつ病院		71		76	
152	有限会社さがみ中央動物医療センター		72		77	
153	ブライト動物病院		73		78	
154	向平動物病院		74		79	
155	株式会社Vets United アリサ動物病院		75		80	
156	高ヶ坂動物病院		76			1
157	株式会社FIELD 森の樹どうぶつ病院		77			2
158	高橋動物病院		78			3
159	Willどうぶつ病院		79			4
160	習志野動物医療センター りょう動物病院		80			5
161	グリーン動物病院			1		6
162	目黒洗足動物病院			2		7
163	畑沢動物病院			3		8
164	小鳥のセンター病院			4		9
165	どうぶつのセンター病院			5		10

【旧】臨地実習4・6 学生ローテーション表

(ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

			臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
	会社名	業種(詳細)	A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	株式会社サンリングペットサロンSIT	ペットサロン	1		12		
2	ペットサロン モグMOGU	ペットサロン	2		13		
3	ペットの保育園Will	ペットサロン	3		14		
4	トリミングスタジオ Oasis	ペットサロン	4		15		
5	Pet's Life	ペットサロン	5		16		
6	ドッグサロンLC	ペットサロン	6		17		
7	PET SALON KUMIKO	ペットサロン	7		18		
8	Supreme 舞浜スタジオ	ペットサロン	8		19		
9	株式会社 BELL-PET	ペットサロン	9		20		
10	株式会社ワイズドギー 渋谷西武モントウトウ	ペットサロン	10		21		
11	グルーミングサロングリム	ペットサロン	11		22		
12	Anier -Dog Grooming Room-	ペットサロン	12		23		
13	Pet Salon Jupiter	ペットサロン	13		24		
14	Dog Grooming Salon cotaz	ペットサロン	14		25		
15	DogPlaceOasis	ペットサロン	15		26		
16	ペットサロンうちの仔	ペットサロン	16		27		
17	株式会社DLC DOGLIFE 川口店	ペットサロン	17		28		
18	株式会社DLC DOGLIFE 浦和店	ペットサロン	18		29		
19	シブヤ・ドッグ・ビューティー	ペットサロン	19		30		
20	アトリエモモワン	ペットサロン	20		31		
21	ペットショップジュニア池袋	ペットショップ	21		32		
22	株式会社オーグ うさぎのしっぽ 横浜店	ペットショップ	22		33		
23	株式会社モントウトウ	ペットショップ	23		34		
24	ペットの専門店コジマ新宿店	ペットショップ	24		35		
25	ペットの専門店コジマ八王子店	ペットショップ	25		36		
26	ペットの専門店コジマ松戸店	ペットショップ	26		37		
27	ペットの専門店コジマ竹ノ塚店	ペットショップ	27		38		
28	ペットの専門店コジマ青戸店	ペットショップ	28		39		
29	ペットの専門店コジマ浦和店	ペットショップ	29		40		
30	ペットの専門店コジマ花小金井店	ペットショップ	30		41		
31	ペットの専門店コジマ大宮店	ペットショップ	31		42		
32	ペットの専門店コジマ目黒店	ペットショップ	32		43		
33	ペットの専門店コジマ相模原店	ペットショップ	33		44		
34	ペットの専門店コジマ川越店	ペットショップ	34		45		
35	ペットの専門店コジマ洗足店	ペットショップ	35		46		
36	ペットの専門店コジマ足立店	ペットショップ	36		47		
37	ペットの専門店コジマ高井戸店	ペットショップ	37		48		
38	ペットの専門店コジマ中野店	ペットショップ	38		49		
39	ペットの専門店コジマ三軒茶屋店	ペットショップ	39		50		
40	ペットの専門店コジマ阿佐ヶ谷店	ペットショップ	40		51		
41	ペットの専門店コジマ新小岩店	ペットショップ	41		52		
42	ペットの専門店コジマ板橋店	ペットショップ	42		53		
43	ペットの専門店コジマ練馬店	ペットショップ	43		54		
44	ペットの専門店コジマ亀戸店	ペットショップ	44		55		
45	ペットの専門店コジマ三郷店	ペットショップ	45		56		
46	ペットの専門店コジマアリオ葛西店	ペットショップ	46		57		
47	ペットの専門店コジマベイタウン横浜本牧店	ペットショップ	47		58		
48	ペットの専門店コジマアリオ柏店	ペットショップ	48		59		
49	ペットの専門店コジマ西篠崎店	ペットショップ	49		60		
50	ペットの専門店コジマアリオ蘇我店	ペットショップ	50		61		
51	ペットの専門店コジマアリオ西新井店	ペットショップ	51		62		
52	ペットの専門店コジマアリオ市原店	ペットショップ	52		63		
53	ペットの専門店コジマフォルテ津田沼店	ペットショップ	53		64		
54	ペットの専門店コジマ六本木店	ペットショップ	54		65		
55	ペットの専門店コジマアリオ深谷店	ペットショップ	55		66		
56	ペットの専門店コジマアリオ橋本店	ペットショップ	56		67		
57	ペットの専門店コジマ国分寺店	ペットショップ	57		68		
58	ペットの専門店コジマ府中店	ペットショップ	58		69		
59	ペットの専門店コジマアリオ北砂店	ペットショップ	59		70		
60	ペットの専門店コジマモラージュ菖蒲店	ペットショップ	60		71		
61	ペットの専門店コジマイーアスつくば店	ペットショップ	61		72		
62	ペットの専門店コジマ田端店	ペットショップ	62		73		
63	ペットの専門店コジマアリオ亀有店	ペットショップ	63		74		
64	ペットの専門店コジマ蕨錦町店	ペットショップ	64		75		
65	ペットの専門店コジマ和光店	ペットショップ	65		76		
66	アサヒペット株式会社 都築店	ペットショップ	66		77		
67	アサヒペット株式会社 多摩店	ペットショップ	67		78		
68	アサヒペット株式会社 湘南店	ペットショップ	68		79		
69	アサヒペット株式会社 MARK IS みなとみらい店	ペットショップ	69		80		
70	アサヒペット株式会社 港北ニュータウン店	ペットショップ	70				
71	アサヒペット株式会社 トレッサ横浜店	ペットショップ	71				
72	アサヒペット株式会社 二俣川本店	ペットショップ	72				
73	DOG'S CARE JOKER 六本木ヒルズ店	ペットショップ	73				
74	DOG&CAT JOKER ららぽーと柏の葉店	ペットショップ	74				
75	DOG&CAT JOKER ららぽーと横浜店	ペットショップ	75				
76	DOG&CAT JOKER そごう横浜店	ペットショップ	76				
77	DOG&CAT JOKER そごう大宮店	ペットショップ	77				
78	JOKER DOG&CAT AVENUE 二子玉川店	ペットショップ	78				
79	DOG&CAT JOKER むさし村山店	ペットショップ	79				
80	ヨネヤマプランテーション本店	ペットショップ	80				

【旧】臨地実習4・6 学生ローテーション表
 (ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

	会社名	業種(詳細)	臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
			A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
81	ペットエコ横浜 港北ニュータウン店	ペットショップ			1		
82	ペットエコ横浜 湘南店	ペットショップ			2		
83	ペットエコ横浜 都築店	ペットショップ			3		
84	ペットエコ横浜 多摩店	ペットショップ			4		
85	ペットエコ横浜 世田谷店	ペットショップ			5		
86	ペットエコDOP 元住吉店	ペットショップ			6		
87	ペットエコ トレッサ横浜店	ペットショップ			7		
88	ペットエコDOP 大口店	ペットショップ			8		
89	ペットエコ横浜 上大岡店	ペットショップ			9		
90	ペットエコ 多摩本店	ペットショップ			10		
91	吉田観賞魚販売(ヨシダ・フィッシュファームズ)	ペットショップ			11		
92	クラブケンケン 田園調布店	ペットホテル					1 24 47
93	株式会社ツルーサービス のんびーはうす	ペットホテル					2 25 48
94	大井警察犬訓練所	訓練施設					3 26 49
95	株式会社フロムパピー ファミリーナガーデン南青山	訓練施設					4 27 50
96	株式会社プレイボウ PLAYBOW 稲城店	訓練施設					5 28 51
97	株式会社プレイボウ PLAYBOW 向ヶ丘遊園店	訓練施設					6 29 52
98	株式会社プレイボウ PLAYBOW 中目黒店	訓練施設					7 30 53
99	株式会社 Animal Life Solutions	訓練施設					8 31 54
100	デイケアガーデングリーンガラスロッジ	老犬ホーム					9 32 55
101	老犬ホームあしあと	老犬ホーム					10 33 56
102	DOG PARTNERS	老犬ホーム					11 34 57
103	東京ペットホーム	老犬ホーム					12 35 58
104	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート富士	宿泊施設					13 36 59 70
105	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート箱根雲外荘	宿泊施設					14 37 60 71
106	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート御影用水	宿泊施設					15 38 61 72
107	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート蓼科	宿泊施設					16 39 62 73
108	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート旧軽井沢	宿泊施設					17 40 63 74
109	株式会社ベリークルーズ しぶこえ館山	宿泊施設					18 41 64 75
110	株式会社ベリークルーズ 御宿海岸	宿泊施設					19 42 65 76
111	株式会社ベリークルーズ 修善寺 絆	宿泊施設					20 43 66 77
112	株式会社ベリークルーズ 鬼怒川 絆	宿泊施設					21 44 67 78
113	株式会社ベリークルーズ フェニックスウイング白馬	宿泊施設					22 45 68 79
114	株式会社共立メンテナンス ルシアン旧軽井沢	宿泊施設					23 46 69 80
115	フリーステッチ	ペット用品開発		1 47		13 53	
116	ZOO JAPAN CO.,LTD.	ペット用品販売		2 48		14 54	
117	ZOO新大久保	ペット用品販売		3 49		15 55	
118	ZOO四ツ谷	ペット用品販売		4 50		16 56	
119	ZOO恵比須	ペット用品販売		5 51		17 57	
120	ZOO六本木	ペット用品販売		6 52		18 58	
121	ZOO新宿	ペット用品販売		7 53		19 59	
122	ZOO渋谷サロン	ペット用品販売		8 54		20 60	
123	GREEN DOG SQUARE	ペット用品販売		9 55		21 61	
124	GREEN DOG 東京ミッドタウン	ペット用品販売		10 56		22 62	
125	GREEN DOG 代官山	ペット用品販売		11 57		23 63	
126	GREEN DOG 湘南	ペット用品販売		12 58		24 64	
127	ビューティプラステラスモール湘南	ペット用品販売		13 59		25 65	
128	イオンペット テラスモール湘南	ペット用品販売		14 60		26 66	
129	イオンしつけ教室 浦和美園	ペット用品販売		15 61		27 67	
130	イオンペットビューティサロン 浦和美園	ペット用品販売		16 62		28 68	
131	イオンペット 浦和美園	ペット用品販売		17 63		29 69	
132	イオンペットビューティサロンペコスレイクタウン	ペット用品販売		18 64		30 70	
133	PECOS レイクタウン	ペット用品販売		19 65		31 71	
134	ペテモ 与野	ペット用品販売		20 66		32 72	
135	ペテモビューティサロン 与野	ペット用品販売		21 67		33 73	
136	イオンペットビューティサロン 相模原	ペット用品販売		22 68		34 74	
137	イオンペット 相模原	ペット用品販売		23 69		35 75	
138	相模原どうぶつ医療センターしつけ教室	ペット用品販売		24 70		36 76	
139	ペットインロイヤル幕張新都心	ペット用品販売		25 71		37 77	
140	ドッグトレーニング ペコス幕張新都心店	ペット用品販売		26 72		38 78	
141	イオンペットビューティサロンペコス幕張新都心店	ペット用品販売		27 73		39 79	
142	イオン動物医療センター幕張新都心(介護)	ペット用品販売		28 74		40 80	
143	pecos 幕張新都心	ペット用品販売		29 75		41	
144	イオンペット 柏	ペット用品販売		30 76		42	
145	イオンペットビューティサロン 柏	ペット用品販売		31 77		43	
146	イオンペットビューティサロン 千葉ニュータウン	ペット用品販売		32 78		44	
147	イオンペット 千葉ニュータウン	ペット用品販売		33 79		45	
148	ペテモ 日の出	ペット用品販売		34 80		46	
149	イオンしつけ教室 日の出	ペット用品販売		35		1 47	
150	ペテモビューティサロン 日の出	ペット用品販売		36		2 48	
151	東武乗馬クラブ&クレイン	乗馬施設		37		3 49	
152	株式会社湘南動物プロダクション	動物レンタル		38		4 50	
153	アニコム損害保険株式会社	ペット保険		39		5 51	
154	ペットメディカルサポート株式会社	ペット保険		40		6 52	
155	公益財団法人日本動物愛護協会	ペット関連団体		41		7	
156	公益財団法人日本盲導犬協会	ペット関連団体		42		8	
157	社会福祉法人日本介助犬協会	ペット関連団体		43		9	
158	特定非営利活動法人聴導犬育成の会	ペット関連団体		44		10	
159	特定非営利活動法人日本動物衛生看護師協会	ペット関連団体		45		11	
160	公益社団法人日本動物福祉協会 新東京支部	ペット関連団体		46		12	

(是正事項) 動物トータルケア学科

3. 【第一次審査意見6の回答について】

<実習評価書の評価項目が不整合>

臨地実務実習で掲げられた到達目標と臨地実務実習評価表に記載されている評価項目に整合していない箇所があるので適切に改めること。

(対応)

ご指摘に従い、臨地実務実習で掲げられた到達目標と臨地実習評価書に記載されている評価項目に整合していない箇所があるため、以下のとおり適切に改める。

【養成する人材像】

本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護・在宅ケアにおいてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防、衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。また、動物関連産業界において飼い主（消費者）と市場を結ぶ役割を果たす人材を養成する。

【教育目標】

本学の教育研究目的を達成するために、以下の教育目標を設定する。

- ①生命を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を養う
- ②幅広い視野と創造性を養う
- ③動物看護師にふさわしい使命感と職業観を養う
- ④地域社会に貢献する社会性を養う
- ⑤和を重んじ社会人としての礼節を養う

【到達目標】

養成する人材像及び教育目標に基づき、臨地実務実習において学生が修得すべき到達目標を臨地実習評価書の評価項目に挙げることにより修得する到達目標を明確にした。

「臨地実習1～6」の臨地実習評価書とその項目を全面的に改正し、臨地実習評価書の項目を「基礎能力」と「実務能力」に分け、到達目標を段階的に整理した。なお、実習先を8分野に分け、臨地実習評価書を動物病院3種類、ペットサロン（動物病院美容部門を含む）・ペットショップ3種類、その他の動物関連企業2種類、動物関連団体2種類の計10種類からペットホテル2種類、訓練施設2種類、老犬ホーム2種類、ペット同伴宿泊施設2種類を加え、合計18種類とし、臨地実習評価書の内容を充実させた。

特に臨地実習評価書の評価項目（実務能力）については、資料3-1-2から資料3-8-2まで作成し、評価項目（実務能力）と到達目標を並列し、段階的に整理した。

○「基礎能力」の段階的到達目標

「臨地実習1～6」の「基礎能力」は共通項目とし、社会人として必要な「社会人マナー」、「コミュニケーション」の2項目を設定した。

- 1) 「社会人マナー」は、「挨拶・言葉づかい・接遇」、「受付・電話対応」、「身だしなみ」、「時間厳守」の項目を設定した。

2) 「コミュニケーション」は、「協調性」、「指示内容の確認」、「報告・連絡・相談」の項目を設定した。

共通項目とした評価項目（基礎能力）の到達目標は、次のとおり段階的に整理の上設定した。

基礎能力の段階的到達目標（共通項目）

評価項目（基礎能力）		到達目標		
		臨地実習 1・2	臨地実習 3・4	臨地実習 5・6
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	礼儀正しい言葉づかい、挨拶、態度を心掛ける	接遇マナーができる顧客対応を学ぶ	接遇マナーができる顧客対応を補助する
	受付・電話対応	受付・電話の取次ぎ方法を学び、適宜メモを取って担当者へ連絡する	受付・電話の取り次ぎができる	受付・電話対応ができる
	身だしなみ	清潔な身だしなみを心掛ける	その場に応じた身だしなみができる	その場に応じた身だしなみができる
	時間厳守	時間管理に従う	業務に合わせた時間管理ができる	スケジュール管理ができる
コミュニケーション	協調性	スタッフとの協調性を以てコミュニケーション能力を養う	スタッフとの協調性を以てコミュニケーションを図る	スタッフに加え顧客とのコミュニケーションも図る
	指示内容の確認	指示の内容を確認し復唱する	指示の内容に加えその意図を把握する	指示の内容に加え、その意図を把握した上で行動に移る
	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の必要性を理解し、スタッフの報告内容を確認する	報告・連絡・相談を積極的に心掛ける	状況を把握して報告・連絡・相談を積極的にできる

○「実務能力」の段階的到達目標

「実務能力」では、「業務の流れ」、「衛生管理」、「事務的管理」を各臨地実務実習先においても共通して求められる能力であることから、共通項目とした。

- 1) 「業務の流れ」は、「1日の業務の流れを把握」、「始業準備・終業作業」の項目を配置した。
- 2) 「衛生管理」は、「清掃」、「器具洗浄・消毒」、「各種廃棄物の処理」の項目を配置した。
- 3) 「事務的管理」は、「PC操作」、「商品知識と管理」、「備品の整理・整頓」の項目を配置した。

この共通項目の段階的到達目標は、資料 3-1-2 から資料 3-8-2 までのとおりである。

なお、臨地実務実習先（①動物病院、②ペットサロン（動物病院美容部門含む）・ペットショップ③ペットホテル、④訓練施設、⑤老犬ホーム、⑥ペット同伴宿泊施設、⑦その他の動物関連企業、⑧動物関連団体）の8分野に分けていることから、それぞれの実習先の特色をいかした評価項目及び到達目標を設定した。また、8分野においては、それぞれの到達目標を表1～表8のとおり段階的に整理した。評価書は、資料 3-1-1 から資料 3-8-1、評価項目及び到達目標は、資料 3-1-2 から資料 3-8-2 のとおりである。

- 1) 実習先が「臨地実習 2・3・5」（動物病院）の場合は、項目を「診療補助・動物の看護」とした（表1）。
- 2) 実習先が「臨地実習 1・4・6」（ペットサロン（動物病院美容部門含む）・ペットショップ）

の場合は、項目を「動物の取扱・グルーミング」とした（表2）。

- 3) 実習先が「臨地実習 4・6」（ペットホテル）の場合は、項目を「ペットホテルの業務」とした（表3）。
- 4) 実習先が「臨地実習 4・6」（訓練施設）の場合は、項目を「訓練施設の業務」とした（表4）。
- 5) 実習先が「臨地実習 4・6」（老犬ホーム）の場合は、項目を「老犬ホームの業務」とした（表5）。
- 6) 実習先が「臨地実習 4・6」（ペット同伴宿泊施設）の場合、は項目を「ペット同伴宿泊施設の業務」とした（表6）。
- 7) 実習先が「臨地実習 4・6」（その他の動物関連企業）の場合は、項目を「店舗業務」とした（表7）。
- 8) 実習先が「臨地実習 4・6」（動物関連団体）の場合は、項目を「団体活動」とした（表8）。

表1 ①動物病院における「診療補助・動物の看護」の段階的到達目標の項目

評価項目	臨地実習 2	臨地実習 3	臨地実習 5
診療補助・動物の看護	ケージからの出し入れ	カルテ整理補助	カルテ整理及び準備
	保定	保定	看護処置
	健康チェック	看護処置、調剤の準備補助	調剤の準備
	看護処置・調剤業務把握	検体・画像検査の準備補助	検体・画像検査の準備・実施
	入院動物の看護観察	手術の準備補助	検査関連機器の操作補助
		入院動物の看護補助	特殊医療廃棄物の処理補助
		往診時の看護補助	手術の準備補助
			入院動物の看護・観察記録の作成
			入院動物の食事・投薬補助
			往診時の看護補助

評価書は、資料 3-1-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-1-2 のとおりである。

表2 ②ペットサロン（動物病院美容部門含む）・ペットショップにおける「動物の取扱・グルーミング」の段階的到達目標の項目

評価項目	臨地実習 1	臨地実習 4	臨地実習 6
動物の取扱・グルーミング	保定の観察	保定・ハンドリング	保定・ハンドリング
	健康チェック	健康チェック	健康チェック
	グルーミングツールの把握	グルーミングツールの扱い	グルーミングツールの扱い
	ブラッシング補助	グルーミング補助	グルーミング（ブラッシング）
	品種の把握	預かり動物の安全管理	グルーミング（シャンプー）
		食事の準備補助	グルーミング（仕上げ）

		品種ごとの特性の把握	預かり動物の安全管理
			食事の準備
			品種ごとの特性の修得
			動物看護の知識・技術

評価書は、資料 3-2-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-2-2 のとおりである。

表 3 ③ペットホテルにおける「ペットホテルの業務」の段階的到達目標の項目

評価項目		臨地実習 4	臨地実習 6
ペットホテルの業務		健康チェック	健康チェック
		食事の世話の補助	食事の世話
		運動（散歩・遊び）の補助	運動（散歩・遊び）
		動物看護の知識・技術	保定・ハンドリング
		動物美容の知識・技術	感染予防の知識・技術
		トレーニングの知識・技術	安全管理の知識・技術
		品種ごとの特性の把握	動物看護の知識・技術
			動物美容の知識・技術
	トレーニングの知識・技術		
	品種ごとの特性の修得		

評価書は、資料 3-3-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-3-2 のとおりである。

表 4 ④訓練施設における「訓練施設の業務」の段階的到達目標の項目

評価項目		臨地実習 4	臨地実習 6
訓練施設の業務		保定・ハンドリング	保定・ハンドリング
		健康チェック	健康チェック
		トレーニングの補助	トレーニング
		動物行動の知識	トレーニングツールの扱い
		動物看護の知識・技術	安全管理の基礎知識
		動物美容の知識・技術	動物行動の知識
		品種ごとの特性の把握	栄養指導の補助
			動物看護の知識・技術
	動物美容の知識・技術		
	品種ごとの特性の修得		

評価書は、資料 3-4-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-4-2 のとおり

である。

表 5 ⑤老犬ホームにおける「老犬ホームの業務」の段階的到達目標の項目

評価項目		臨地実習 4	臨地実習 6
老犬ホームの業務		健康チェック	健康チェック
		食事の世話の補助	食事の世話
		安全な投薬の補助	安全な投薬
		リハビリテーションの知識・技術	リハビリテーションの知識・技術
		褥瘡管理補助	褥瘡管理補助
		動物看護の知識・技術	動物看護の知識・技術
		動物美容の知識・技術	動物美容の知識・技術
			活動・休息援助技術
			生体機能管理技術
	排泄技術		

評価書は、資料 3-5-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-5-2 のとおりである。

表 6 ⑥ペット同伴宿泊施設における「ペット同伴宿泊施設の業務」の段階的到達目標の項目

評価項目		臨地実習 4	臨地実習 6
ペット同伴宿泊施設の業務		利用者対応	利用者対応
		食事の世話	健康チェック
		動物看護の知識・技術	感染予防
		動物美容の知識・技術	疾病・怪我の予防
		トレーニングの知識・技術	食事の世話
		品種ごとの特性の把握	動物看護の知識・技術
		イベント企画の補助	動物美容の知識・技術
			トレーニングの知識・技術
			品種ごとの特性の修得
	イベント企画の補助		

評価書は、資料 3-6-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-6-2 のとおりである。

表7 ⑦その他の動物関連企業における「店舗業務」の段階的到達目標の項目

評価項目		臨地実習 4	臨地実習 6
店舗業務		動物関連法規の知識	組織の理解
		安全管理	動物関連法規の知識
		営業活動の補助	安全管理
		消費者対応の補助	営業活動の補助
		動物看護の知識・技術	消費者対応
		動物美容の知識・技術	動物看護・美容の知識・技術
		イベント企画の補助	商品開発の補助
			イベント企画の提案・補助
			広報媒体の編集補助
			情報管理

評価書は、資料 3-7-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-7-2 のとおりである。

表8 ⑧動物関連団体における「団体活動」の段階的到達目標の項目

評価項目		臨地実習 4	臨地実習 6
団体活動		組織の理解	組織の理解
		動物関連法規の知識	動物関連法規の知識
		啓蒙活動補助	啓蒙活動補助
		動物看護の知識・技術	動物看護の知識・技術
		動物美容の知識・技術	動物美容の知識・技術
		トレーニングの知識・技術	トレーニングの知識・技術
		イベント準備	広報活動
			イベント企画
			イベント準備
			情報管理

評価書は、資料 3-8-1 のとおりである。また、評価項目及び到達目標は、資料 3-8-2 のとおりである。

【臨地実務実習の成績評価】

養成する人材像及び教育目標に基づき、臨地実務実習において学生が修得すべき到達目標を臨地実習評価書の評価項目に挙げることにより修得する到達目標を明確にした。臨地実務実習における教育の到達目標は、「基礎能力」と「実務能力」からなる。

「臨地実習 1～6」の「基礎能力」は共通項目とし、社会人として必要な「社会人マナー」、「コミュニケーション」の 2 項目を設定した。また、「臨地実習 1～6」の「実務能力」では、「業務の流

れ、「衛生管理」、「事務的管理」は各臨地実務実習先においても共通して求められる能力であることから、共通項目とした。成績評価は、臨地実務実習先 8 分野の臨地実習評価書による。

成績評価について、以下のとおり説明する。

臨地実習評価書 (①動物病院) は「臨地実習 2、3、5」の 3 種類、臨地実習評価書 (②ペットサロン (動物病院美容部門含む)・ペットショップ) は「臨地実習 1、4、6」の 3 種類、臨地実習評価書 (③ペットホテル) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (④訓練施設) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (⑤老犬ホーム) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (⑥ペット同伴宿泊施設) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (⑦その他の動物関連企業) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (⑧動物関連団体) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、計 18 種類の臨地実習評価書により成績評価を行う。

なお、臨地実務実習の成績評価は、実習先の実習指導担当者 (動物病院における実習指導者要件：臨床経験 5 年以上の獣医師、動物看護経験 3 年以上の動物看護師。動物関連企業等における実習指導者要件：実務経験 3 年以上の社員・職員) が臨地実習評価書の項目に従い、「基礎能力」と「実務能力」をそれぞれの項目ごとに A (優れている)・B (普通)・C (努力を要する) の 3 段階評価とし、総合評価にまとめる。

(新旧対照表) 【設置の趣旨を記載した書類】 (14～15 ページ、42～48 ページ、53～56 ページ)

新	旧																
<p>4.教育課程の編成の考え方及び特色 (1)教育課程の編成方針 ②教育課程の編成 (略) 「臨地実習 4」 (略)</p> <p>表 5</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">業 種 別 分 類 番 号</th> <th style="text-align: center;">業 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>ペットサロン (動物病院美容部門を含む)・ペットショップ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>その他のペット関連企業、動物関連団体</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>「臨地実習 6」 学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に 3 か所の動物関連企業等の現場 (店舗等・団体等) で 7 日間のローテ</p>	業 種 別 分 類 番 号	業 種	1	ペットサロン (動物病院美容部門を含む)・ペットショップ	2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設	3	その他のペット関連企業、動物関連団体	<p>4.教育課程の編成の考え方及び特色 (1)教育課程の編成方針 ②教育課程の編成 (略) 「臨地実習 4」 (略)</p> <p>表 7</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">業 種 別 分 類 番 号</th> <th style="text-align: center;">業 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>ペットサロン・ペットショップ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>その他のペット関連企業、動物関連団体</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>「臨地実習 6」 学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に 3 か所の動物関連企業等の現場 (店舗等・団体等) で 7 日間のローテーションでの臨地実務実習を行</p>	業 種 別 分 類 番 号	業 種	1	ペットサロン・ペットショップ	2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設	3	その他のペット関連企業、動物関連団体
業 種 別 分 類 番 号	業 種																
1	ペットサロン (動物病院美容部門を含む)・ペットショップ																
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設																
3	その他のペット関連企業、動物関連団体																
業 種 別 分 類 番 号	業 種																
1	ペットサロン・ペットショップ																
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設																
3	その他のペット関連企業、動物関連団体																

ーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他ペット関連企業、動物関連諸団体等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

(略)

11. 臨地実務実習の具体的な計画

(1)臨地実務実習の目的

臨地実務実習は、専門職短期大学設置基準第26条第4号に定める「臨地実務実習（企業その他の事業者の事業所またはこれに類する場所において、当該事業者の実務に従事することにより行う実習）」に基づき、産業界と連携し、トータルケアのできる動物看護師として飼い主と産業界を繋ぐ実務能力を養成するとともに、就業意識を高め、実習後の学習意欲の向上を図り、職業選択における自らの適性理解を促し、就職先での定着率を高める。

3年間を通して、動物関連企業等での臨地実務実習を450時間行う。実習先として、①動物病院、②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップ、動物病院美容部門、③ペットホテル、④訓練施設、⑤老犬ホーム、⑥ペット同伴宿泊施設、⑦その他のペット関連企業、⑧動物関連団体等において実施する。臨地実務実習は、1年次夏季休暇期間、1年次春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、2年次春季休暇期間、3年次夏季休暇期間に実施する。それまでに学修した知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。なお、臨地実務実習の計画案は資料30のとおりである。

う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

(略)

11. 臨地実務実習の具体的な計画

(1)臨地実務実習の目的

臨地実務実習は、専門職短期大学設置基準第26条第4号に定める「臨地実務実習（企業その他の事業者の事業所またはこれに類する場所において、当該事業者の実務に従事することにより行う実習）」に基づき、産業界と連携し、トータルケアのできる動物看護師として飼い主と産業界を繋ぐ実務能力を養成するとともに、就業意識を高め、実習後の学習意欲の向上を図り、職業選択における自らの適性理解を促し、就職先での定着率を高める。

3年間を通して、動物関連企業等での臨地実務実習を450時間行う。実習先として、ペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物関連団体等において実施する。臨地実務実習は、1年次夏季休暇期間、1年次春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、2年次春季休暇期間、3年次夏季休暇期間に実施する。それまでに学修した知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。なお、臨地実務実習の計画案は資料30のとおりである。

＜臨地実務実習の教育内容及び到達目標＞

養成する人材像及び教育目標に基づき、臨地実務実習において学生が修得すべき到達目標を臨地実習評価書の評価項目に挙げることにより修得する到達目標を明確にした。臨地実務実習における教育の到達目標は、「基礎能力」と「実務能力」からなる。

「臨地実習 1～6」の「基礎能力」は共通項目とし、社会人として必要な「社会人マナー」、「コミュニケーション」の2項目を設定した。

また、「臨地実習 1～6」の「実務能力」では、「業務の流れ」、「衛生管理」、「事務的管理」は各臨地実務実習先においても共通して求められる能力であることから、共通項目とした。成績評価は、実習先8分野の臨地実習評価書による。

実習先の業種を8分野に分けていることから、それぞれの業種の特色をいかした到達目標及び評価項目を設定した。

- 1)実習先が「臨地実習 2・3・5」(動物病院)の場合は、項目を「診療補助・動物の看護」とした。
- 2)実習先が「臨地実習 1・4・6」(ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)の場合は、項目を「動物の取扱・グルーミング」とした。
- 3)実習先が「臨地実習 4・6」(ペットホテル)の場合は、項目を「ペットホテルの業務」とした。
- 4)実習先が「臨地実習 4・6」(訓練施設)の場合は、項目を「訓練施設の業務」とした。
- 5)実習先が「臨地実習 4・6」(老犬ホーム)の場合は、項目を「老犬ホームの業務」とした。
- 6)実習先が「臨地実習 4・6」(ペット同伴宿泊施設)の場合、は項目を「ペット同伴宿泊施設の業務」とした。
- 7)実習先が「臨地実習 4・6」(その他の動物関連企業)の場合は、項目を「店舗業務」とした。

＜臨地実務実習の教育内容＞

各施設で具体的にどのような臨地実務実習の教育内容について、臨地実務実習の科目ごとに説明する。

8)実習先が「臨地実習 4・6」(動物関連団体)の場合は、項目を「団体活動」とした。

さらに、8分野においては、それぞれの到達目標を段階的に資料 30 のとおり整理した。

「臨地実習 1」(②ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

1年次夏季休暇または1年次春季休暇に校舎(1号館)に併設されているペットサロン(動物病院美容部門を含む)で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

動物の取り扱い方、マナー、ペットサロン(動物病院美容部門を含む)の業務を把握し、1日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン(動物病院美容部門を含む)及びペットショップの1日の業務の流れを把握する。「基礎能力」の到達目標接客マナーと受付、電話対応に加え、「実務能力」の到達目標動物の取り扱い方、衛生管理の実践、商品知識と管理を習得することを到達目標とする(資料 3-2-1、資料 3-2-2)。

「臨地実習 2」(①動物病院)

1年次夏季休暇または春季休暇に校舎(1号館)に併設されている動物病院(アニマルメディカルセンター)で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

「臨地実習 1」

1年次夏季休暇または1年次春季休暇に校舎(1号館)に併設されているペットサロンで3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの1日の業務の流れを把握し、動物の取り扱い方、商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を習得することを到達目標とする。

「臨地実習 2」

1年次夏季休暇または春季休暇に校舎(1号館)に併設されている動物病院(アニマルメディカルセンター)で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習 2」は、臨地実務実習の導入として、業務の流れを把握する。「基礎能力」の到達目標電話対応、飼い主対応に加え、「実務能力」の到達目標入院動物看護等の診察補助、主な処置法、調剤受付、手術見学、衛生管理、院内清掃等の動物看護技術を修得させることを到達目標とする（資料 3-1-1、資料 3-1-2）。

「臨地実習 3」（①動物病院）

動物病院において、8日間ずつ2か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。院内清掃、電話対応、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日×2病院（1日7時間）の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

【到達目標】

「臨地実習 3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを理解する。「基礎能力」の到達目標電話対応に加え、「実務能力」の到達目標検査、手術の準備の補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、院内清掃等動物看護師に必要な業務全般を修得することを到達目標とする（資料 3-31、資料 3-3-2）。

「臨地実習 4」（②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）・ペットショップ、③ペットホテル、④訓練施設、⑤老犬ホーム、⑥ペット同伴宿泊施設、⑦その他の動物関連企業、⑧動物関連団体）

動物関連企業等で8日間ずつ、2か所の企

【到達目標】

「臨地実習 2」は、臨地実務実習の導入として、業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得させる。

「臨地実習 3」

動物病院において、8日間ずつ2か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。

院内清掃、電話対応、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日×2病院（1日7時間）の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

【到達目標】

「臨地実習 3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図り、院内清掃、電話対応、診療準備、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務等動物看護師に必要な業務全般を修得することを到達目標とする。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で8日間ずつ、2か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。補正申請時の是正事項7の（1）でも説明したとおり、表5の動物関連企業等の中か

業・店舗等での臨地実務実習を行う。補正申請時の是正事項 7 の (1) でも説明したとおり、表 11 の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる 2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日間×2 社 (1 日 7 時間) の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

なお、業種別分類番号 1 のペットサロン (動物病院美容部門を含む) と業種別分類番号 2 のペットホテルは併設されている場合があることから、ペットホテルが併設されている業種別分類番号 1 のペットサロンに配属した場合は、もう一つの配属先は、業種別分類番号 2 のペットホテル以外の施設、もしくは業種別分類番号 3 に配属することとする。

表 11 (再掲)

業種別 分類番 号	業 種
1	ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

【到達目標】

「臨地実習 4」は「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図り必要な業務全般を修得することを到達目標とする。

上記の到達目標に、さらに業種別に以下の到達目標を加える。

ら、業種分類が異なる 2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日間×2 社 (1 日 7 時間) の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

なお、業種別分類番号 1 のペットサロンと業種別分類番号 2 のペットホテルは併設されている場合があることから、ペットホテルが併設されている業種別分類番号 1 のペットサロンに配属した場合は、もう一つの配属先は、業種別分類番号 2 のペットホテル以外の施設、もしくは業種別分類番号 3 に配属することとする。

表 5 (再掲)

業種別 分類番 号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

【到達目標】

「臨地実習 4」は「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図り必要な業務全般を修得することを到達目標とする。

<p>②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップにおいては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「動物の取扱」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。</p> <p>③ペットホテルにおいては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「ペットホテルの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。</p> <p>④訓練施設においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「訓練施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。</p> <p>⑤老犬ホームにおいては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「老犬ホームの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。</p> <p>⑥ペット同伴宿泊施設においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「ペット同伴宿泊施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。</p> <p>⑦その他の動物関連企業においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「店舗業務」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。</p> <p>⑧動物関連団体においては、「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「団体活動」、「衛生管理」、「事務的管理」を到達目標とする。</p> <p>(資料 3-4-1、資料 3-4-2)、(資料 3-5-1、資料 3-5-2)、(資料 3-6-1、資料 3-6-2)、(資料 3-7-1、資料 3-7-2)、(資料 3-8-1、資料</p>	<p>上記の到達目標に、さらに業種別に以下の到達目標を加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットサロン、ペットショップにおいては、店の開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。 ・訓練施設においては、しつけの方法、開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。 ・老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な実務を学ぶ。 ・ペット同伴宿泊施設においては、ペット向けサービス提供の実務を学ぶ。 ・その他のペット関連企業においては、店の開店準備、商品知識、閉店作業等の実務を学ぶ。 ・動物関連団体においては、イベント等の準備、補助事務等の実務を学ぶ。
--	--

3-8-2)

「臨地実習 4」の分野ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表 12)

表 12

番号	実習先 (分野別)	「臨地実習 4」の内容
2	・ペットサロン(動物病院美容部門を含む) ・ペットショップ	ペットサロン(動物病院美容部門を含む)においては、開店準備、清掃、犬具の手入れ、商品知識や販売、閉店作業を学ぶ。 ペットショップにおいては、開店作業、消毒、清掃、閉店作業等の実務を学ぶ。
3	ペットホテル	ペットホテルにおいては、開店準備作業、清掃等の環境整備、ペットの健康状態を保ちながら預かるためのノウハウ、閉店作業を通じて実務を学ぶ。
4	訓練施設	訓練施設においては、ペットの「無駄吠え」「散歩の引張癖」「甘噛み」等を治すしつけの方法、開店準備、閉店作業等を通じて実務を学ぶ。
5	老犬ホーム	老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ等の実務を学ぶ。
6	ペット同伴宿泊施設	ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。
7	その他の動物関連企業	その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品

「臨地実習 4」の業種ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表 6)

表 6

業種別 分類 番号	業 種	「臨地実習 4」の内容
1	・ペットサロン ・ペットショップ	ペットサロンにおいては、開店準備、清掃、犬具の手入れ、商品知識や販売、閉店作業を学ぶ。 ペットショップにおいては、開店作業、消毒、清掃、閉店作業等の実務を学ぶ。
2	・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴宿泊施設	ペットホテルにおいては、開店準備作業、清掃等の環境整備、ペットの健康状態を保ちながら預かるためのノウハウ、閉店作業を通じて実務を学ぶ。 訓練施設においては、ペットの「無駄吠え」「散歩の引張癖」「甘噛み」等を治すしつけの方法、開店準備、閉店作業等を通じて実務を学ぶ。 老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ等の実務を学ぶ。 ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。
3	・その他のペット関連	その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を行う店舗等にお

		の販売等を行う店舗等において、開店準備、商品知識、閉店作業、清掃、陳列等の実務を学ぶ。		企業 ・動物 関連団 体	いて、開店準備、商品知識、閉店作業、清掃、陳列等の実務を学ぶ。 動物関係の公益団体の事務所において、公益団体が提供している動物に関連するイベントの準備作業、公益団体関連法規の知識修得、団体が主催する検定試験準備補助事務等の実務を学ぶ。
8	動物関連団体	動物関係の公益団体の事務所において、公益団体が提供している動物に関連するイベントの準備作業、公益団体関連法規の知識修得、団体が主催する検定試験準備補助事務等の実務を学ぶ。			

「臨地実習 5」 (①動物病院)

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3病院（1日7時間）の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

「臨地実習 5」は、職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋が

「臨地実習 5」

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3病院（1日7時間）の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

「臨地実習 5」は、職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして動物看

りを学修したことをとおして動物看護師として幅広い視野を養う。「基礎能力」の到達目標「社会人マナー」、「コミュニケーション」に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「診療補助・動物の看護」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。

「臨地実習 6」 (②ペットサロン (動物病院美容部門を含む)・ペットショップ、③ペットホテル、④訓練施設、⑤老犬ホーム、⑥ペット同伴宿泊施設、⑦その他の動物関連企業、⑧動物関連団体)

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場 (店舗等・団体等) で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン (動物病院美容部門を含む)、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3社 (1日7時間) の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして、顧客のニーズを把握し、通常業務における顧客への対応を学ぶことを到達目標とする。

上記の到達目標に、さらに業種別に以下の到

護師として幅広い視野を養うことを到達目標とする。

「臨地実習 6」

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場 (店舗等・団体等) で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3社 (1日7時間) の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして、顧客のニーズを把握し、通常業務における顧客への対応を学ぶ。

達目標を加える。

- ②ペットサロン（動物病院美容部門を含む）、ペットショップにおいては、「基礎能力」の到達目標に加え、「業務の流れ」、「動物の取扱」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ③ペットホテルにおいては、「基礎能力」の到達目標に加え、「業務の流れ」、「ペットホテルの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ④訓練施設においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「訓練施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ⑤老犬ホームにおいては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「老犬ホームの業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ⑥ペット同伴宿泊施設においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「ペット同伴宿泊施設の業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ⑦その他の動物関連企業においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「店舗業務」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。
- ⑧動物関連団体においては、「基礎能力」の到達目標に加え、「実務能力」の到達目標「業務の流れ」、「団体活動」、「衛生管理」、「事務的管理」の4項目を到達目標とする。

「臨地実習 6」の分野ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表 13)

表 13

番号	実習先 (分野別)	「臨地実習 4」の内容

「臨地実習 6」の業種ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表 7)

表 7

業種	業種	「臨地実習 6」の内容

2	ペットサロン（動物病院美容部門を含む） ・ペットサロン（動物病院美容部門を含む） ・ペットショップ	ペットサロン（動物病院美容部門を含む）においては、開店準備、清掃、犬具の手入れ、商品知識や販売、閉店作業を学ぶ。 ペットショップにおいては、開店作業、消毒、清掃、閉店作業等の実務を学ぶ。	別 分類 番号	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットサロン ・ペットショップ 	<p>ペットサロンにおいては、開店準備、受付等の顧客対応、環境整備、閉店における事務作業を学ぶ。</p> <p>ペットショップにおいては、顧客対応、開店準備、消毒、清掃、給餌、閉店作業、事務作業を学び、実務能力を高める。</p>
	3	ペットホテル				<p>ペットホテルにおいては、開店準備作業、清掃等の環境整備、ペットの健康状態を保ちながら預かるためのノウハウ、閉店作業を通じて実務を学ぶ。</p>
	4	訓練施設	<p>訓練施設においては、ペットの「無駄吠え」「散歩の引張癖」「甘噛み」等を治すしつけの方法、開店準備、閉店作業等を通じて実務を学ぶ。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴宿泊施設 	<p>ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。</p>
	5	老犬ホーム	<p>老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ等の実務を学ぶ。</p>			<p>ペット同伴宿泊施設においては、宿泊客を迎えるための準備や片づけ、宿泊客への対応、ペットへのイベントサービスの提供、宿泊客の見送り、事務作業等を学び実務能力を高める。</p>
	6	ペット同伴宿泊施設	<p>ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。</p>			<p>ペット同伴宿泊施設においては、宿泊客を迎えるための準備や片づけ、宿泊客への対応、ペットへのイベントサービスの提供、宿泊客の見送り、事務作業等を学び実務能力を高める。</p>
	7	その他の動物関連企業	<p>その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を行う店舗等において、開店準備、商品知識、閉店作業、清掃、陳列等の実務を学ぶ。</p>			<p>動物関係の公益団体の事務所において、公益団体が提供している動物に関連する</p>
	8	動物関連団体	<p>動物関係の公益団体の事務所において、公益団体が提供している動物に関連する</p>			

	<p>イベントの準備作業、公益団体関連法規の知識修得、団体が主催する検定試験準備補助事務等の実務を学ぶ。</p>	<p>3</p>	<p>・その他のペット 関連企業 ・動物関連団体</p> <p>ペットフード・ペット用品販売等のその他のペット関連企業の店舗等においては、顧客対応、開店準備、商品知識、閉店作業、事務作業等を学び実務能力を高める。 動物関係の公益団体の事務所においては、来客者への対応、公益団体が提供している動物に関連する公益サービスの事務作業、イベントの準備作業、機関誌の作成補助等を学び実務能力を高める。</p>
(略)		(略)	
(3)臨地実務実習水準の確保の方策		(3)臨地実務実習水準の確保の方策	
(略)		(略)	
<p><動物関連企業等></p> <p>本学園の卒業生が就職している企業・店舗を含み、経営が安定している動物関連企業等で、3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる企業・店舗等を基本的に対象とした。</p> <p>また、学生の利便性を考慮し、概ね <u>1都6</u> 県の動物関連企業を対象とした。</p> <p>2年次春季に実施される「臨地実習4」は、教育効果を考慮し、以下の(表16)の3分類の業種の中から、2分類の動物関連企業等において8日間ごとのローテーションにより2か所において臨地実務実習を行う。</p> <p>3年次夏季に実施される「臨地実習6」においては、学生の進路希望先や関連する動物関連企業において7日間のローテーションにより、基本的に3か所において臨地実務実習を行う。</p> <p><u>3分類の業種ごとにそれぞれの基準(表16)を以下のとおり説明する。</u></p>		<p><動物関連企業等></p> <p>本学園の卒業生が就職している企業・店舗を含み、経営が安定している動物関連企業等で、3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる企業・店舗等を基本的に対象とした。</p> <p>また、学生の利便性を考慮し、概ね <u>1都6</u> 県の動物関連企業を対象とした。</p> <p>2年次春季に実施される「臨地実習4」は、教育効果を考慮し、以下の(表10)の3分類の業種の中から、2分類の動物関連企業等において8日間ごとのローテーションにより2か所において臨地実務実習を行う。</p> <p>3年次夏季に実施される「臨地実習6」においては、学生の進路希望先や関連する動物関連企業において7日間のローテーションにより、基本的に3か所において臨地実務実習を行う。</p> <p><u>3分類の業種ごとにそれぞれの基準(表</u></p>	

表 16			10) を以下のとおり説明する。		
番号	実習先(分野別)	基準	業 種 別 分 類 番 号	業 種	基 準
2	ペットサロン(動物病院美容部門を含む) ペットショップ	ペットのグルーミング等の知識や飼育・健康管理等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している店舗等	1	・ペットサロン ・ペットショップ	ペットのグルーミング等の知識や飼育・健康管理等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している店舗等
3	ペットホテル	ペットホテル・訓練施設・老犬ホームは、ペットを宿泊で預かる際の動物の飼育・健康管理等が学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等			
4	訓練施設				
5	老犬ホーム				
6	ペット同伴宿泊施設	ペット同伴宿泊施設は、宿泊客が同伴してきたペットへの対応等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業しているホテル等	2	・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴宿泊施設	ペットホテル・訓練施設・老犬ホームは、ペットを宿泊で預かる際の動物の飼育・健康管理等が学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等
7	その他の動物関連企業	その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等			ペット同伴宿泊施設は、宿泊客が同伴してきたペットへの対応等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業しているホテル等
8	動物関連団体	動物に関する公益団体等で公益的な活動を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している事務所等	3	・その他のペット関連企業 ・動物愛護団体	その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等
					動物に関する公益団体等で公益的な活動を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している事務所等

(略)

<臨地実務実習の成績評価>

養成する人材像及び教育目標に基づき、臨地実務実習において学生が修得すべき到達目標を臨地実習評価書の評価項目に挙げることに より修得する到達目標を明確にした。臨地実務実習における教育の到達目標は、「基礎能力」と「実務能力」からなる。

「臨地実習 1～6」の「基礎能力」は共通項目とし、社会人として必要な「社会人マナー」、「コミュニケーション」の 2 項目を設定した。また、「臨地実習 1～6」の「実務能力」では、「業務の流れ」、「衛生管理」、「事務的管理」は各臨地実務実習先においても共通して求められる能力であることから、共通項目とした。成績評価は、臨地実務実習先 8 分野の臨地実習評価書による。

成績評価について、以下のとおり説明する。

臨地実習評価書 (①動物病院) は「臨地実習 2、3、5」の 3 種類、臨地実習評価書 (②ペットサロン (動物病院美容部門を含む)、ペットショップ) は「臨地実習 1、4、6」の 3 種類、臨地実習評価書 (③ペットホテル) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (④訓練施設) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (⑤老犬ホーム) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (⑥ペット同伴宿泊施設) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実習評価書 (⑦その他の動物関連企業) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、臨地実務実習評価書 (⑧動物関連団体) は「臨地実習 4、6」の 2 種類、計 18 種類の臨地実習評価書により成績評価を行う (資料 30)。

なお、臨地実務実習の成績評価は、実習先の実習指導担当者 (動物病院における実習指導者要件：臨床経験 5 年以上の獣医師、動物看護経験 3 年以上の動物看護師。動物関連企業等における実習指導者要件：実務経験 3 年以上の社員・職員) が臨地実習評価書の項目に従い、「基

(略)

<臨地実務実習の成績評価>

臨地実務実習における成績評価について、以下のとおり説明する。

「臨地実務実習評価書 (動物病院)」は 3 種類、「臨地実務実習評価書 (ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)」は 3 種類、「臨地実務実習評価書 (その他の動物関連企業)」は 2 種類、「臨地実務実習評価書 (動物関連諸団体)」は 2 種類、計 10 種類の臨地実務実習評価書により成績評価を行う (資料 30)。

①「臨地実務実習評価書 (動物病院)」は、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。

対象とする実習は、「臨地実習 2」、「臨地実習 3」、「臨地実習 5」とした。

研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「看護技術」の 2 つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。

「臨地実習 2」においては、

- ・「基本行動」の項目の習得に重点を置き評価する。
- ・「看護技術」は、衛生管理の項目を評価する。

「臨地実習 3」においては、

- ・「基本行動」の項目の修得を評価する。
- ・「看護技術」は、衛生管理及び診察補助の項目を評価する。

「臨地実習 5」においては、

- ・「基本行動」の項目の修得を評価する。
- ・「看護技術」は、衛生管理、診察補助、検査補助及び入院の項目を評価する。

②「臨地実務実習評価書 (ペットサロン、

<p>礎能力」と「実務能力」をそれぞれの項目ごとに A（優れている）・B（普通）・C（努力を要する）の 3 段階評価とし、総合評価にまとめる。</p>	<p>ペットショップ、動物病院美容部門）」は、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、「臨地実習 1」、「臨地実習 4」、「臨地実習 6」とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「動物美容技術」の 2 つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <p>「臨地実習 1」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の習得に重点を置き評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理の項目を評価する。 <p>「臨地実習 4」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得に重点を置き評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理及びグルーミングの項目を評価する。 <p>「臨地実習 6」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理、グルーミング、接客・営業及びお預かりの項目を評価する。 <p>③「臨地実務実習評価書（その他の動物関連企業）」は、(1)商品管理業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)商品知識のサービス実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、「臨地実習 4」、「臨地実習 6」とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を「基本行動」と「実務能力」の 2 つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <p>「臨地実習 4」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理の項目を評
---	--

<p>また、本学が実施する臨地実務実習は、臨地実務実習先により実習内容が異なるため、臨地実務実習先との事前打合せの際に、次の事項を確認し合い、連携して指導体制を構築する。</p> <p>①臨地実務実習の内容・目的及び到達目標を提示する。</p> <p>②臨地実務実習の内容に関する要望・提案等の意見交換を行う。</p> <p>③本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。</p>	<p>価する。</p> <p>「臨地実習 6」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理、クライアントエデュケーション及び商品知識の項目を評価する。 <p>④「臨地実務実習評価書（動物関連諸団体）」は、(1)商品管理業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)知識のサービス実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、「臨地実習 4」、「臨地実習 6」とした。</p> <p>研修評価基準をABCの3段階評価とし、評価項目を「基本行動」と「実務能力」の2つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABCの3段階評価とする。</p> <p>「臨地実習 4」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理の項目を評価する。 <p>「臨地実習 6」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理及び知識の項目を評価する。 <p>また、本学が実施する臨地実務実習は、臨地実務実習先の動物病院により実習内容が異なるため、臨地実務実習先の動物病院との事前打合せの際に、次の事項を確認し合い、連携して指導体制を構築する。</p> <p>①臨地実務実習の内容・目的及び到達目標を提示する。</p> <p>②臨地実務実習の内容に関する要望・提案等の意見交換を行う。</p> <p>③本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。</p>
--	--

目次

実習先分野・臨地実習評価書・到達目標 資料一覧

資料3-1-1 ～ 資料3-8-2

番号	実習先分野	臨地実習評価書			到達目標
1	動物病院	「臨地実習 2」	「臨地実習 3」	「臨地実習 5」	資料3-1-2
		資料3-1-1			
2	ペットサロン ペットショップ 動物病院美容部門	「臨地実習 1」	「臨地実習 4」	「臨地実習 6」	資料3-2-2
		資料3-2-1			
3	ペットホテル	/	「臨地実習 4」	「臨地実習 6」	資料3-3-2
			資料3-3-1		
4	訓練施設	/	「臨地実習 4」	「臨地実習 6」	資料3-4-2
			資料3-4-1		
5	老犬ホーム	/	「臨地実習 4」	「臨地実習 6」	資料3-5-2
			資料3-5-1		
6	ペット同伴宿泊施設	/	「臨地実習 4」	「臨地実習 6」	資料3-6-2
			資料3-6-1		
7	その他動物関連企業	/	「臨地実習 4」	「臨地実習 6」	資料3-7-2
			資料3-7-1		
8	動物関連団体	/	「臨地実習 4」	「臨地実習 6」	資料3-8-2
			資料3-8-1		

「臨地実習 2」 評価書
アニマル・メディカル・センター(動物病院)

動物病院名 _____ 実習指導者名 _____ ㊦

動物病院名 _____ 実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流れ業務の	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	診療補助・動物の看護	ゲージからの出し入れ	A B C
	時間厳守	A B C		保定	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		健康チェック	A B C
	指示内容の確認	A B C		看護処置・調剤業務把握	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		入院動物の看護観察	A B C
				衛生管理	清掃
			器具洗浄・消毒		A B C
			各種廃棄物の処理		A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習3」 評価書 (動物病院)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価	
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流れ業務の	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C		診療補助・動物の看護	カルテ整理補助	A B C
	時間厳守	A B C	保定		A B C	
コミュニケーション	協調性	A B C	看護処置・調剤の準備補助		A B C	
	指示内容の確認	A B C	検体・画像検査の準備補助		A B C	
	報告・連絡・相談	A B C	手術の準備補助		A B C	
コミュニケーション					入院動物の看護補助	A B C
					往診時の看護補助	A B C
				衛生管理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
				事務的管理	PC操作	A B C
商品知識と管理	A B C					
備品の整理・整頓	A B C					

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習5」 評価書 (動物病院)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	診療補助・動物の看護	カルテ整理及び準備	A B C
	時間厳守	A B C		看護処置	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		調剤の準備	A B C
	指示内容の確認	A B C		検体・画像検査の準備・実施	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		検査関連機器の操作補助	A B C
				特殊医療廃棄物の処理補助	A B C
				手術の準備補助	A B C
				入院動物の看護・観察記録の作成	A B C
				入院動物の食事・投薬補助	A B C
				往診時の看護補助	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 2・3・5」(動物病院)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 2			臨地実習 3			臨地実習 5			
アニマルメディカルセンター(動物病院)			動物病院			動物病院			
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標	
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・流れに沿って事前準備する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・業務の流れの中で臨機応変な対応ができる	
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業を把握できる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる	
診療補助・動物の看護	ケージからの出し入れ	・ケージからの出し入れを把握する	診療補助・動物の看護	カルテ整理補助	・カルテ整理の補助ができる	診療補助・動物の看護	カルテ整理及び準備	・カルテ整理及び準備ができる	
	保定	・診療、検体採取時の保定を把握する		保定	・診療、検体採取時の保定ができる		看護処置	・診療・検体採取時の保定ができる	
	健康チェック	・基本的な(体温、体重、脈拍、呼吸等)健康チェックを把握する		看護処置、調剤の準備補助	・健康チェックの補助ができる		調剤の準備	・全身的な健康チェックができる	
	看護処置・調剤業務把握	・看護処置(口腔ケアを含む)を把握する ・調剤業務を把握する		検体・画像検査の準備補助	・看護処置(介護・口腔ケアを含む)及び記録の補助ができる ・調剤の準備の補助ができる		検体・画像検査の準備・実施	・看護処置(介護・口腔ケアを含む)及び記録ができる	
	入院動物の看護観察	・手術を見学し、準備の補助を把握する ・入院動物の看護観察、食事管理を把握する		手術の準備補助	・検体検査の準備補助ができる ・画像検査の準備補助ができる		検査関連機器の操作補助	・検体検査の手順を理解し実施することができる ・画像検査の準備、実施ができる	
				入院動物の看護補助	・手術の準備の補助ができる		特殊医療廃棄物の処理補助	・検査関連機器を操作補助ができる	
				往診時の看護補助	・入院動物の看護補助ができる ・入退院時の準備補助ができる ・食事管理の補助ができる		手術の準備補助	・特殊医療廃棄物の処理補助ができる	
					往診時の看護補助		・往診時の看護補助ができる	入院動物の看護・観察記録の作成	・手術の準備の補助ができる
								入院動物の食事・投薬補助	・入院動物の看護、観察記録が作成できる
								往診時の看護補助	・入院動物の食事、投薬補助ができる
衛生管理	清掃	・院内清掃、リネン類の洗濯ができる	衛生管理	清掃	・院内外の清掃ができる	衛生管理	清掃	・院内外の清掃ができる	
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒方法を理解する		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒、滅菌の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒、滅菌の実施ができる	
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理について理解する		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる	
事務的管理	PC操作	・PCの基本的操作ができる	事務的管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務的管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる	
	商品知識と管理	・商品知識と管理を把握する		商品知識と管理	・飼養関連商品の管理補助ができる		商品知識と管理	・飼養関連商品の管理ができる	
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理・整頓ができる	

「臨地実習1」 評価書

シブヤ・ドッグ・ビューティアー (ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

貴企業 (店舗)

動物病院名 _____ 実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____ 実習生氏名 _____

実習期間 平成 年 月 日() ~ 月 日() 計 日間

勤務時間 午前 時 ~ 午後 時 休憩時間含む

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	動物の取扱・グルーミング	保定の観察	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		グルーミングツールの把握	A B C
	指示内容の確認	A B C		ブラッシング補助	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		品種の把握	A B C
				衛生管理	清掃
			器具洗浄・消毒		A B C
			各種廃棄物の処理		A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4」 評価書(ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

貴企業(店舗)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊞

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目(基礎能力)		評価	評価項目(実務能力)		評価				
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C				
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C				
	身だしなみ	A B C	動物の取扱・グルーミング	保定・ハンドリング	A B C				
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C				
コミュニケーション	協調性	A B C		グルーミングツールの扱い	A B C				
	指示内容の確認	A B C		グルーミング補助	A B C				
	報告・連絡・相談	A B C		預かり動物の安全管理	A B C				
ケイ	コ	ミ		ニ	ョ	ン	動物の取扱・グルーミング	食事の準備補助	A B C
			品種ごとの特性の把握					A B C	
			衛生管理					清掃	A B C
								器具洗浄・消毒	A B C
								各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理					PC操作	A B C
商品知識と管理	A B C								
備品の整理・整頓	A B C								

総合評価		A(優れている)	B(普通)	C(努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記入欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

臨地実習 6 評価書(ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)

貴企業(店舗)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

動物病院名 _____

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目(基礎能力)		評価	評価項目(実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	動物の取扱・グルーミング	保定・ハンドリング	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		グルーミングツールの扱い	A B C
	指示内容の確認	A B C		グルーミング(ブラッシング)	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		グルーミング(シャンプー)	A B C
				グルーミング(仕上げ)	A B C
				預かり動物の安全管理	A B C
				食事の準備	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			管理運営	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A(優れている)	B(普通)	C(努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記入欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 1・4・6」(ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 1			臨地実習 4			臨地実習 6		
シブヤ・ドッグ・ビューティ (ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ)			ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ			ペットサロン(動物病院美容部門を含む)・ペットショップ		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 の れ	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 の れ	1日の業務の流れを把握	・流れに沿って事前準備する	流業務 の れ	1日の業務の流れを把握	・業務の流れの中で臨機応変な対応ができる
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業を把握する		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
動物の 取扱・ グルー ミング	保定の観察	・基本的な保定、ハンドリングの把握	動物の 取扱・ グルー ミング	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングの補助ができる	動物の 取扱・ グルー ミング	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングができる
	健康チェック	・基本的な(体温、体重、脈拍、呼吸等)健康チェックを把握する		健康チェック	・全身的な健康チェックの補助ができる		健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	グルーミングツールの把握	・グルーミングツールを把握する		グルーミングツールの扱い	・グルーミングツールの扱い(ハサミ等)ができる		グルーミングツールの扱い	・グルーミングツールの扱い(全般)ができる
	ブラッシング補助	・ブラッシングの補助ができる ・基礎的なグルーミングの知識、技術を把握する		グルーミング補助	・グルーミング(ブラッシング、シャンプー、カット等)の補助ができる ・基礎的なグルーミングの知識、技術がある		グルーミング(ブラッシング)	・グルーミング(ブラッシング)ができる
	品種の把握	・来店する犬・猫の品種を把握する		預かり動物の安全管理	・預かり動物の安全管理の補助ができる		グルーミング(シャンプー)	・グルーミング(シャンプー)ができる
			食事の準備補助	・食事の準備の補助ができる	グルーミング(仕上げ)	・グルーミング(仕上げ)ができる		
			品種ごとの特性の把握	・来店する犬・猫の品種ごとの知識、習性、特徴を覚える	預かり動物の安全管理	・預かり動物の安全管理ができる		
衛生 管理	清掃	・院内清掃、リネン類の洗濯ができる	衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃ができる	衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒方法を理解する		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒、消臭ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理について理解する		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務 的管理	PC操作	・PCの基本的操作ができる	事務 的管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務 的管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・商品知識と管理を把握する		商品知識と管理	・飼養関連商品の管理補助ができる		商品知識と管理	・飼養関連商品の管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・来店客の対応ができる ・商品説明をすることができる
							備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4」 評価書(ペットホテル)

貴企業（店舗） _____

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目（基礎能力）		評価			評価項目（実務能力）		評価		
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A	B	C	流業務の	1日の業務の流れを把握	A	B	C
	受付・電話対応	A	B	C		始業準備・終業作業	A	B	C
	身だしなみ	A	B	C	ペットホテルの業務	健康チェック	A	B	C
	時間厳守	A	B	C		食事の世話の補助	A	B	C
コミュニケーション	協調性	A	B	C		運動（散歩・遊び）の補助	A	B	C
	指示内容の確認	A	B	C		動物看護の知識・技術	A	B	C
	報告・連絡・相談	A	B	C		動物美容の知識・技術	A	B	C
衛生管理						トレーニングの知識・技術	A	B	C
					品種ごとの特性の把握	A	B	C	
					清掃	A	B	C	
事務的管理					器具洗淨・消毒	A	B	C	
					各種廃棄物の処理	A	B	C	
					PC操作	A	B	C	
					商品知識と管理	A	B	C	
					備品の整理・整頓	A	B	C	

総合評価		A（優れている）	B（普通）	C（努力を要する）
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書(ペットホテル)

貴企業 (店舗) _____

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人 マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流 業 務 の 流 れ	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	ペ ツ ト ホ テ ル の 業 務	健康チェック	A B C
	時間厳守	A B C		食事の世話	A B C
ケー シ ョ ン コ ミ ュ ニ	協調性	A B C		運動 (散歩・遊び)	A B C
	指示内容の確認	A B C		保定・ハンドリング	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		感染予防の知識・技術	A B C
				安全管理の知識・技術	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				トレーニングの知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
			衛 生 管 理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事 務 的 管 理	PC 操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所 見 欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由 記入 欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4・6」(ペットホテル)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
ペットホテル			ペットホテル		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 の 流れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 の 流れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
ペット ホテル の 業務	健康チェック	・全身的な健康チェックの補助ができる	ペット ホテル の 業務	健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	食事の世話の補助	・フードを準備し食事の世話の補助ができる		食事の世話	・フードを準備し食事の世話ができる
	運動(散歩・遊び)の補助	・運動(散歩・遊び)の補助ができる ・保定、ハンドリングの補助ができる		運動(散歩・遊び)	・運動(散歩・遊び)をさせる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングができる
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		感染予防の知識・技術	・感染予防の知識、技術がある
	トレーニングの知識・技術	・基礎的なトレーニングの知識、技術がある		安全管理の知識・技術	・安全管理の知識、技術がある
	品種ごとの特性の把握	・品種ごとの知識、習性、特徴を覚える		動物看護の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある
衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	事務的 管理 衛生 管理	清掃	・施設内・外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄・消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務的 管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務的 管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・ペットホテルで取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち理解できる		商品知識と管理	・ペットホテルで取り扱う商品の仕様・用途を修得している ・動物のライフステージに見合うペットフードや用品等について説明ができる ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理・整頓ができる

「臨地実習 4」 評価書 (訓練施設)

訓練施設名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価	
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C	訓練施設 の業務	保定・ハンドリング	A B C	
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C	
コミュニケーション	協調性	A B C		トレーニングの補助	A B C	
	指示内容の確認	A B C		動物行動の知識	A B C	
	報告・連絡・相談	A B C		動物看護の知識・技術	A B C	
				動物美容の知識・技術	A B C	
				品種の特性の把握	A B C	
				衛生管理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
			事務的 管理	PC操作	A B C	
				商品知識と管理	A B C	
				備品の整理・整頓	A B C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書(訓練施設)

訓練施設名 _____

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務 れの	1日の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・就業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	訓練施設 の業務	保定・ハンドリング	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		トレーニング	A B C
	指示内容の確認	A B C		トレーニングツールの扱い	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		安全管理の基礎知識	A B C
				動物行動の知識	A B C
				栄養指導の補助	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4・6」(訓練施設)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
訓練施設			訓練施設		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・就業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
訓練施設 の業務	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングの補助ができる	訓練施設 の業務	保定・ハンドリング	・保定、ハンドリングができる
	健康チェック	・全身的な健康チェックの補助ができる		健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	トレーニングの補助	・トレーニングの知識、技術を把握する ・トレーニングツールの扱い方を覚える		トレーニング	・トレーニングの補助ができる ・トレーニングの知識がある
	動物行動の知識	・基礎的な動物行動学の知識がある		トレーニングツールの扱い	・トレーニングツールの扱い方を修得する
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		安全管理の基礎知識	・安全管理の基礎知識がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物行動の知識	・動物行動の知識がある
	品種ごとの特性の把握	・品種ごとの知識、習性、特徴を覚える		栄養指導の補助	・栄養指導の補助ができる
衛生管理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	衛生管理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務的 管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務的 管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・訓練施設で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち理解できる		商品知識と管理	・訓練施設で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4」 評価書(老犬ホーム)

貴施設名 (店舗) _____

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価			評価項目 (実務能力)		評価		
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A	B	C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A	B	C
	受付・電話対応	A	B	C		始業準備・終業作業	A	B	C
	身だしなみ	A	B	C	老犬ホームの業務	健康チェック	A	B	C
	時間厳守	A	B	C		食事の世話の補助	A	B	C
コミュニケーション	協調性	A	B	C		安全な投薬補助	A	B	C
	指示内容の確認	A	B	C		リハビリテーションの知識・技術	A	B	C
	報告・連絡・相談	A	B	C		褥瘡管理補助	A	B	C
衛生管理						動物看護の知識・技術	A	B	C
					動物美容の知識・技術	A	B	C	
					清掃	A	B	C	
事務的管理					器具洗淨・消毒	A	B	C	
					各種廃棄物の処理	A	B	C	
					PC操作	A	B	C	
					商品知識と管理	A	B	C	
					備品の整理・整頓	A	B	C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書(老犬ホーム)

貴施設名 (店舗) _____ 実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務の	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	老犬ホームの業務	健康チェック	A B C
	時間厳守	A B C		食事の世話	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		安全な投薬	A B C
	指示内容の確認	A B C		リハビリテーションの知識・技術	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		褥瘡管理補助	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				活動・休息援助技術	A B C
				生体機能管理技術	A B C
				排泄技術	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4・6」（老犬ホーム）における評価項目（実務能力）に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
老犬ホーム			老犬ホーム		
評価項目（実務能力）		到達目標	評価項目（実務能力）		到達目標
流 業 務 の れ	1 日の業務の流れを把握	・ 1 日の業務の流れを把握する	流 業 務 の れ	1 日の業務の流れを把握	・ 1 日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・ 始業準備、終業作業の作業補助ができる		始業準備・終業作業	・ 始業準備、終業作業が実施できる
老 犬 ホ ー ム の 業 務	健康チェック	・ 全身的な健康チェックの補助ができる	老 犬 ホ ー ム の 業 務	健康チェック	・ 全身的な健康チェックができる
	食事の世話の補助	・ フードを準備し、食事の世話の補助ができる		食事の世話	・ フードを準備し、食事の世話ができる
	安全な投薬の補助	・ 安全な投薬補助ができる		安全な投薬	・ 安全な投薬ができる
	リハビリテーションの知識・技術	・ リハビリテーションの知識、技術がある		リハビリテーションの知識・技術	・ リハビリテーションの知識、技術がある
	褥瘡管理補助	・ 褥瘡管理の補助ができる		褥瘡管理補助	・ 褥瘡管理の補助ができる
	動物看護の知識・技術	・ 基礎的な動物看護の知識、技術がある		動物看護の知識・技術	・ 動物看護の知識、技術がある
	動物美容の知識・技術	・ 基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物美容の知識・技術	・ 動物美容の知識、技術がある
衛 生 管 理	清掃	・ 施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	衛 生 管 理	清掃	・ 施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・ 器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・ 器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・ 各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・ 各種廃棄物の処理ができる
事 務 的 管 理	PC 操作	・ 業務に応じて PC 操作ができる	事 務 的 管 理	PC 操作	・ PC 操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・ 老犬ホームで取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・ 商品知識に興味を持ち、理解できる		商品知識と管理	・ 老犬ホームで取り扱う商品の仕様、用途を修得している ・ 商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・ 備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・ 備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4」 評価書 (ペット同伴宿泊施設)

貴企業 (店舗)

動物病院名 _____

実習指導者名 _____ ㊞

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れの	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	ペット同伴宿泊施設の業務	利用者対応	A B C
	時間厳守	A B C		食事の世話	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		動物看護の知識・技術	A B C
	指示内容の確認	A B C		動物美容の知識・技術	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		トレーニングの知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の把握	A B C
			イベント企画の補助	A B C	
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 6」 評価書 (ペット同伴宿泊施設)

貴企業 (店舗) _____ 実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流業務の	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	ペット同伴宿泊施設の業務	利用者対応	A B C
	時間厳守	A B C		健康チェック	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		感染予防	A B C
	指示内容の確認	A B C		疾病・怪我の予防	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		食事の世話	A B C
				動物看護の知識・技術	A B C
				動物美容の知識・技術	A B C
				トレーニングの知識・技術	A B C
				品種ごとの特性の修得	A B C
				イベント企画の補助	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4・6」(ペット同伴宿泊施設)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
ペット同伴宿泊施設			ペット同伴宿泊施設		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
ペット 同伴 宿泊 施設 の 業務	利用者対応	・利用者の対応補助ができる	ペット 同伴 宿泊 施設 の 業務	利用者対応	・利用者の対応ができる
	食事の世話	・フードを準備し食事の世話の補助ができる		健康チェック	・全身的な健康チェックができる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		感染予防	・感染予防の知識がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		疾病・怪我の予防	・疾病、怪我の予防について修得している
	トレーニングの知識・技術	・基礎的なトレーニングの知識、技術がある		食事の世話	・フードを準備し食事の世話ができる
	品種ごとの特性の把握	・品種ごとの知識、習性、特徴を覚える		動物看護の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある
	イベント企画の補助	・イベント企画を理解し補助ができる		動物美容の知識・技術	・動物美容の知識、技術がある
衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる	衛生 管理	清掃	・施設内外の清掃、リネン類の洗濯ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務 的 管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務 的 管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・宿泊施設で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち理解できる		商品知識と管理	・宿泊施設で取り扱う商品の仕様、用途を修得している ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4」 評価書(その他の動物関連企業)

貴企業名 (店舗) _____ 実習指導者名 _____ ⑤

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価	
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C	店舗業務	動物関連法規の知識	A B C	
	時間厳守	A B C		安全管理	A B C	
コミュニケーション	協調性	A B C		営業活動の補助	A B C	
	指示内容の確認	A B C		消費者対応の補助	A B C	
	報告・連絡・相談	A B C		動物看護の知識・技術	A B C	
				動物美容の知識・技術	A B C	
				イベント企画の補助	A B C	
				衛生管理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C	
				商品知識と管理	A B C	
				備品の整理・整頓	A B C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習6」 評価書(その他の動物関連企業)

貴企業名(店舗) _____ 実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目(基礎能力)		評価	評価項目(実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務の流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	店舗業務	組織の理解	A B C
	時間厳守	A B C		動物関連法規の知識	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		安全管理	A B C
	指示内容の確認	A B C		営業活動の補助	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		消費者対応	A B C
				動物看護・美容の知識・技術	A B C
				商品開発の補助	A B C
				イベント企画の提案・補助	A B C
				広報媒体の編集補助	A B C
				情報管理	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A(優れている)	B(普通)	C(努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4・6」(その他の動物関連企業)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
その他の動物関連企業			その他の動物関連企業		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 務の	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 務の	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
店舗業務	動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある	店舗業務	組織の理解	・企業の組織の理解ができる
	安全管理	・安全管理を把握する		動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある
	営業活動の補助	・営業活動を理解し補助ができる		安全管理	・安全管理の補助ができる
	消費者対応の補助	・消費者対応の補助を把握する		営業活動の補助	・営業活動の補助ができる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		消費者対応	・消費者対応の補助ができる
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物看護・美容の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある ・動物美容の知識、技術がある
	イベント企画の補助	・イベント企画を理解し補助ができる ・広報媒体を理解し補助ができる ・情報管理を把握する		商品開発の補助	・商品開発の補助ができる
衛生管理	清掃	・施設内外の清掃ができる	衛生管理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・器具洗浄、消毒ができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理の補助ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務的管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務的管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	・企業で取り扱う商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち、理解できる		商品知識と管理	・企業で取り扱う商品の仕様、用途を修得している ・商品知識と管理を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

「臨地実習 4」 評価書 (動物関連団体)

貴団体名 _____

実習指導者名 _____ ㊞

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価	
接 遇 マ ナ ー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	流 業 務 の 流 れ	1日の業務の流れを把握	A B C	
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C	
	身だしなみ	A B C	団 体 活 動	組織の理解	A B C	
	時間厳守	A B C		動物関連法規の知識	A B C	
ケ ー シ ョ ン コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	協調性	A B C		啓蒙活動補助	A B C	
	指示内容の確認	A B C		動物看護の知識・技術	A B C	
	報告・連絡・相談	A B C		動物美容の知識・技術	A B C	
				トレーニングの知識・技術	A B C	
				イベント準備	A B C	
				衛 生 管 理	清掃	A B C
					器具洗浄・消毒	A B C
					各種廃棄物の処理	A B C
			事 務 的 管 理	PC操作	A B C	
				商品知識と管理	A B C	
				備品の整理・整頓	A B C	

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所 見 欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記述欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習6」 評価書(動物関連団体)

貴団体名 _____ 実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

評価項目 (基礎能力)		評価	評価項目 (実務能力)		評価
社会人マナー	挨拶・言葉づかい・接遇	A B C	業務の流れ	1日の業務流れを把握	A B C
	受付・電話対応	A B C		始業準備・終業作業	A B C
	身だしなみ	A B C	団体活動	組織の理解	A B C
	時間遵守	A B C		動物関連法規の知識	A B C
コミュニケーション	協調性	A B C		啓蒙活動補助	A B C
	指示内容の確認	A B C		動物看護の知識・技術	A B C
	報告・連絡・相談	A B C		動物美容の知識・技術	A B C
				トレーニングの知識・技術	A B C
				広報活動	A B C
				イベント企画	A B C
				イベント準備	A B C
				情報管理	A B C
			衛生管理	清掃	A B C
				器具洗浄・消毒	A B C
				各種廃棄物の処理	A B C
			事務的管理	PC操作	A B C
				商品知識と管理	A B C
				備品の整理・整頓	A B C

総合評価		A (優れている)	B (普通)	C (努力を要する)
所見欄	基礎能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
	実務能力	実習を通じてお気づきの点があればご記入ください。		
自由記入欄	お気づきになった点など、ご自由にご記入ください。			

「臨地実習 4・6」(動物関連団体)における評価項目(実務能力)に対する段階的到達目標

臨地実習 4			臨地実習 6		
動物関連諸団体			動物関連諸団体		
評価項目(実務能力)		到達目標	評価項目(実務能力)		到達目標
流業務 れの	1日の業務の流れを把握	・1日の業務の流れを把握する	流業務 れの	1日の業務流れを把握	・1日の業務の流れを把握する
	始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業の補助ができる		始業準備・終業作業	・始業準備、終業作業が実施できる
団体活動	組織の理解	・団体の組織を把握する	団体活動	組織の理解	・団体の組織を理解できる
	動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある		動物関連法規の知識	・動物関連法規の知識がある
	啓蒙活動補助	・啓蒙活動の補助ができる		啓蒙活動補助	・啓蒙活動の補助ができる
	動物看護の知識・技術	・基礎的な動物看護の知識、技術がある		動物看護の知識・技術	・動物看護の知識、技術がある
	動物美容の知識・技術	・基礎的な動物美容の知識、技術がある		動物美容の知識・技術	・動物美容の知識、技術がある
	トレーニングの知識・技術	・基礎的なトレーニングの知識、技術がある		トレーニングの知識・技術	・トレーニングの知識、技術がある
	イベント準備	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を把握する ・イベント企画について理解し補助ができる ・イベント準備の補助ができる ・情報管理を把握する 		<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を把握する ・イベント企画に参加、実施ができる ・イベント準備ができる ・イベント等の趣旨を理解し参加者に説明することができる 	広報活動
イベント企画			・イベント企画に参加、実施ができる		
衛生管理	清掃	・施設内外の清掃ができる	衛生管理	清掃	・施設内外の清掃ができる
	器具洗浄・消毒	・適切な消毒の補助ができる		器具洗浄・消毒	・適切な消毒をすることができる
	各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる		各種廃棄物の処理	・各種廃棄物の処理ができる
事務的管理	PC操作	・業務に応じてPC操作ができる	事務的管理	PC操作	・PC操作を業務に活かせる
	商品知識と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で使用する商品の仕様、用途を把握する ・商品知識に興味を持ち、理解できる 		商品知識と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で使用する商品の仕様、用途を修得している ・商品についての正しい説明を修得している
	備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる		備品の整理・整頓	・備品の整理、整頓ができる

【名称、その他】

4. 【施設設備の計画が不十分】

実地審査を行った結果、充実した教育研究活動に資する教育研究環境となっているか疑義があるため、次の点を明確にすること。

- ①共同研究室を整備する計画であるが、専任教員数に対して狭隘であるため、教育研究を適切に行い得るスペースと機能が備わっていることを図面で示した上で明確にすること。
- ②専任教員が取り組む研究を実施できる研究用実験室や機器の整備や研究で必要となる場合の動物の具体的な確保の方策を明確にすること。
- ③図書館が狭隘であるため、将来にわたって学生及び教員の教育研究活動に十分な図書館を整備すること。

(対応)

ご指摘に従い、教育研究環境を充実させるため、整備計画を図面で示し、以下のとおり変更する。

- ① 教育研究を適切に行い得る研究室の整備について、以下のとおり明確にする。

専任教員の研究室については、教育研究環境を充実させるため、設置認可申請時の共同研究室 2 室と予備室 3 室を 2 号館の研究室 1～15 (5 室各 3 名) に変更する (表 1) (資料 4-1 P90～91)。このことにより、専任教員の研究室は、1 人当たりの利用スペースが広がり、室内をパーテーションで 3 区画に区切ること、専任教員のプライバシーを守り、学生の成績管理等を機能的に行える。なお、研究領域の近い専任教員を同室に配置することで、教育研究の効果を上げることに配慮している。

研究室については、年次進行で整備し、平成 30 年度末 (開設時) までに、平成 31 年度就任の専任教員 10 名のうち、学長室は研究室を兼用するため (資料 4-3P106)、学長を除く 9 名分の研究室を配置する (資料 4-3 P110)。さらに、平成 31 年度末 (第一年次) までに、平成 32 年度就任の専任教員 4 名に加え、将来の専任教員の増加に鑑み、計 6 名分の研究室を配置し、合計 15 名分の研究室を用意する。

研究室 1～15 には、机、椅子、電話機、コンピューター、成績や重要書類を保管できる鍵付きの本棚の他、ミーティング用のテーブル等を配置する。

学生の個人面談については、設置認可申請時の 1 号館 1 階のドッグルーム、キャットルーム、3 階の応接室及び学長室を面談室に用途変更し、1 号館 7 階のミーティングルームをミーティングルーム・面談室に用途変更する (資料 4-2 P93,95,99)。1 号館 1 階のドッグルーム、キャットルームにおける保護犬、保護猫の対応については、専門職短期大学の教育に支障がないことから、基準外面積に算入されている本学併設のコンパニオン・アニマル・センター内に移動する。さらに年次進行で平成 31 年 4 月完成予定の新図書館内に面談室 2 室を配置し、教員と学生がアクティブ・ラーニング等にも活用する (資料 4-4 P115)。面談室 6 室と兼用面談室 1 室の合計 7 室を整備することにより、面談者のプライバシーが保護される。なお、面談室はオフィスアワー、カウンセリング等にも活用する。

各専任教員は、1 週間 (月～金曜日) 当たり 2 コマ (1 コマ 90 分) の学生相談にあたる。

学長室の用途変更に伴い、新たに学長室を確保するため、2号館2階の応接室（共用）を学長室（専用）に用途変更する（表2）。

以上の整備により、教育研究を適切に行い得るスペースと機能を確保できると考える。

表1 研究室の整備

号館	階数	旧用途	専用・共用 の区分	新用途	専用・共用 の区分	面積	整備時期
2	6階	共同研究室②	専用	研究室1	専用	19.77 m ²	平成30年度末 (開設時)
				研究室2		15.13 m ²	
				研究室3		15.07 m ²	
		共同研究室①	専用	研究室4	専用	16.41 m ²	平成30年度末 (開設時)
				研究室5		15.12 m ²	
				研究室6		15.10 m ²	
		予備室4	専用	研究室7	専用	20.14 m ²	平成30年度末 (開設時)
				研究室8		15.27 m ²	
				研究室9		15.06 m ²	
	7階	予備室7	専用	研究室10	専用	19.77 m ²	平成31年度末 (第一年次)
				研究室11		15.13 m ²	
				研究室12		15.07 m ²	
		予備室5	専用	研究室13	専用	20.14 m ²	平成31年度末 (第一年次)
				研究室14		15.27 m ²	
				研究室15		15.06 m ²	

(備考) 学長は、学長室を研究室として兼用する。

表2 面談室と学長室の整備

号館	階数	旧用途	専用・共用 の区分	新用途	専用・共用 の区分	面積	整備時期
1	1階	ドッグルーム	専用	面談室1	専用	9.84 m ²	平成30年度末 (開設時)
		キャットルーム	専用	面談室2	専用	7.90 m ²	平成30年度末 (開設時)
	3階	応接室	専用	面談室3	専用	7.48 m ²	平成30年度末 (開設時)
		学長室	専用	面談室4	専用	18.21 m ²	平成30年度末 (開設時)
	7階	ミーティング ルーム	専用	ミーティングル ーム・面談室5	専用	40.42 m ²	平成30年度末 (開設時)
2	2階	応接室	共用	学長室	専用	23.11 m ²	平成30年度末 (開設時)
新図書館		運動場	専用	面談室6 (注)	専用	5.75 m ²	平成31年4月末 (第一年次)
				面談室7 (注)	専用	5.29 m ²	平成31年4月末 (第一年次)

(注) 面談室6・面談室7は、是正事項4-③で説明する新図書館内に整備する。

- ② 専任教員が取り組む研究を実施できる研究用実験室や機器の整備、研究で必要となる場合の動物の具体的な確保の方策について以下のとおり明確にする。

<専任教員が取り組む研究を実施できる研究用実験室や機器の整備>

本学では、動物看護学を基盤とした動物トータルケアの教育研究のために、訪問動物看護、動物栄養、公衆衛生・防疫、動物臨床検査、動物介在福祉の 5 つの研究を行う。例を挙げると、訪問動物看護では、ヘマトクリット遠心分離機、セルタック、血液生化学測定機器等の機器を使用し、高齢の犬・猫の補食における健康維持及び疾病からの治癒力の向上の研究を行う。なお、この研究にはアニマル・メディカル・センターの診療対象（高齢の犬・猫）を飼い主の承諾を得て使用する。動物栄養では、カロリーアンサー、冷蔵ショーケース、小型超低温槽等の機器を使用し、犬・猫のライフステージに合わせた食事内容の研究を行う。なお、この研究には、市販の総合栄養食、動物病院からの療法食及び食材（肉・魚・野菜・穀物等）を使用する。この 2 つの研究は、研究者が検証方法について協力し合うことができ、研究の進展が図られることから研究用実験室 2 で行う（資料 4-1 P87）。

また、公衆衛生・防疫では、高圧蒸気滅菌機、インキュベーター、冷蔵保管庫等の機器を使用し、動物病院の院内感染予防の観点から汚染要因について研究する。なお、この研究にはコンパニオン・アニマル・センター内コンパニオン・アニマル・センターの落下細菌等を採取し、使用する。

動物臨床検査では、高圧蒸気滅菌機、インキュベーター、遠心分離機、卓上冷却遠心機等の機器を使用し、犬・猫の生活習慣病（肥満等）に関する臨床検査法の研究を行う。なお、この研究はアニマル・メディカル・センターの診療対象（肥満等の生活習慣病をもつ犬・猫）を飼い主の承諾を得て使用する。この 2 つの研究は、公衆衛生・防疫の研究で採取した検体を動物臨床検査で分析し、その結果をフィードバックすることができ、相互に研究の進展が図られることから研究用実験室 1 で行う（資料 4-1 P83）。

動物介在福祉では、身体障がい者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の使用者（視覚障がい者、肢体不自由者、聴覚障がい者）が、補助犬の健康管理のために動物病院を訪れる際に発生する一般のクライアントとは異なるニーズに対応する動物看護師の支援方法について研究する。研究のための調査は、補助犬訓練施設、補助犬使用者の指定する場所や動物病院において行うため研究用実験室は使用しない。

整備計画では、まず平成 30 年度末（開設時）までに予備室 5 を研究用実験室 1（資料 4-3P111）に整備し、予備室 6 を研究用実験室 2（資料 4-3 P111）に整備して研究・実験を行う（表 3）。その後新図書館の完成（平成 31 年 4 月 20 日竣工予定）をまって、平成 31 年 5 月以降は 1 階図書館を研究用実験室 1（資料 4-4 P113）に、3 階図書閲覧室を研究用実験室 2（資料 4-4 P116）に用途変更し、専任教員が取り組む研究環境を整備する（表 4）。

研究用実験室 1 は、主に検体を取り扱う研究を行うため感染予防に配慮し、通常の生物の実験室としての構造及び設備を有する P1 レベルに準じた研究実験を行い、研究用実験室 2 は、訪問動物看護、動物栄養の実験を行うため非汚染エリアとして管理する。

なお、本学の開設時において整備する研究用機器は、資料 4-5 のとおりである。

表 3 研究用実験室の配置と年次進行による整備（平成 31 年度開設時）

号館	階数	旧用途	専用・共用の 区分	新用途	専用・共用の 区分	面積	整備時期
2	7 階	予備室 5	専用	研究用実験室 1	専用	60.51 m ²	平成 30 年度末 (開設時)
		予備室 6	専用	研究用実験室 2	専用	60.03 m ²	平成 30 年度末 (開設時)

表 4 研究用実験室の配置と年次進行による整備（平成 31 年度 4 月末）

号館	階数	旧用途	専用・共用の 区分	新用途	専用・共用の 区分	面積	整備時期
2	1 階	図書館	共用	研究用実験室 1	専用	60.32 m ²	平成 31 年 4 月末 (第一年次)
	3 階	図書閲覧室	専用	研究用実験室 2	専用	61.65 m ²	平成 31 年 4 月末 (第一年次)

<研究で必要となる場合の動物の具体的な確保の方策>

研究で必要となる場合の動物の具体的な確保の方策は、以下のとおりである。

本学の動物看護等に関する研究対象は、コンパニオンアニマル（伴侶動物）の犬・猫が中心であり、本学の研究は、動物実験に関する倫理規程に基づき、計画書を提出し、動物実験倫理委員会によって審査を受け許可された動物等が対象となる。なお、採材サンプルは、コンパニオン・アニマル・センターに診療、検査、グルーミングのために来院した犬・猫より、尿、糞便、血液、血清等の分与を受けて研究に使用する。また、グルーミング等で来院した犬・猫の被毛サンプルや皮膚スタンプなどは飼い主の同意のうえ、侵襲性の低い方法で採取し、研究試料とする。

現状では、本学の研究において、専任教員による実験動物（マウス・ラット等）を使用し、研究・実験は行われないことから、実験動物は学内で飼育しない。ただし、マウス・ラットを使用する研究を行う場合には、レンタルラボを活用する（資料 4-6）。実験動物（マウス・ラット等）については、動物愛護・福祉に関する国際的な考え方から、代替実験の検討がなされ、実習や実験が行われている。社会や産業界のニーズにより、動物看護学分野において研究対象を産業動物、野生動物、実験動物に拡大する必要がある場合には研究委員会及び産業界と協議のうえ、十分な検討を重ねる。

なお、本学の動物介在福祉に関する研究は、主に身体障がい者補助犬の使用者を対象とする。人に関するアンケート調査等については、厚生労働省の指導方針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」に基づくものとし、実験計画書、アンケート内容、集積・解析方法については、研究調査倫理規程により、個人情報等の取り扱いに十分対応でき

る研究が許可対象となる。また、ポニー等を使用する場合は、必要に応じて乗馬クラブよりレンタルする。

③ 将来にわたって学生及び教員の教育研究活動に十分な図書館を整備する。

新たな整備計画において、現在の体育館に隣接した運動場 509.01 m²に新図書館 186.24 m²を建設する(資料 4-4 P115)。この図書館は設置認可申請時に計画していた 2 号館 1 階図書館 69.20 m²より 117.04 m² (約 1.7 倍) 広がる。閲覧スペースは、開設時において図書館内に 28 席配置する。

設置認可申請時の図書館は、図書数が 8,226 冊であったが、今回の新図書館には図書 2,000 冊を増やし 10,226 冊とする。申請時の計画では収納可能図書数 9,088 冊であったが、新図書館では 4,662 冊増え、合計 13,750 冊となり、将来にわたる図書の増加に対応できる。なお、開設時から動物関係の和書ならびに洋書の電子ジャーナルとデータベースを整備している。

また、この新図書館の整備計画は、年次進行で行う。平成 30 年度 3 月末(開設時)までは申請時の計画のとおり、2 号館 1 階に図書館(資料 4-3 P103)、2 号館 3 階に自習室を兼ねる図書閲覧室(資料 4-3 P107)を整備する。その後、平成 31 年 4 月 20 日に新図書館が竣工予定であるため、竣工・整備完了後に申請時の図書館と図書閲覧室は、表 4 のとおり、研究用実験室 1 と研究用実験室 2 に用途変更する(資料 4-4 P113、P116)。

さらに完成年度以降に整備する予定の自習室については、学生及び教員の教育研究活動に資するため、平成 32 年度末(第二年度)までに整備し、2 号館 4 階の予備室 3 を自習・閲覧室に用途変更する(表 5)(資料 4-1 P88)。自習・閲覧室には、新図書館から閲覧席 12 席を移動するほか、新たに自習席 12 席を加えた計 24 席を配置する。それにより、新図書館には書架が追加され、収容可能図書数はさらに 3,000 冊増え、合計 16,750 冊収納可能となり、将来にわたる図書の増加に十分対応できる。

また、本学はヤマザキ動物看護大学図書館(図書: 25,910 冊、雑誌: 64 種類ほか)との連携を図る。平成 22 年度より、渋谷キャンパスと南大沢キャンパス(ヤマザキ動物看護大学)間を運行している定期交換便を利用して学生及び教員の図書の貸出と返却を行う。さらに南大沢キャンパスの運動場、体育館等の施設を利用して、学生の利便性を図り、スポーツデーやサークル活動等による交流も行う予定である。

表 5 閲覧室の整備

号館	階数	旧用途	専用・共用の区分	新用途	専用・共用の区分	面積	整備時期
2	4 階	予備室 3	専用	自習・閲覧室	専用	61.65 m ²	平成 32 年度末 (第二年度)

1. 「①共同研究室を整備する計画であるが、専任教員数に対して狭隘であるため、教育研究を適切に行い得るスペースと機能が備わっていることを図面で示した上で明確にすること。」の回答に関する新旧対照表

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (24 ページ)

新	旧
<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (4) 中心となる研究分野及び研究体制</p> <p>①研究分野 動物看護学を基盤とした動物トータルケアの教育研究のために、以下の①～⑤までの分野を関連機関・施設と連携して、これらに関する研究の進展に努める。</p> <p>本学における中心的な研究分野と研究体制等を次の通りとし、それぞれの研究分野において、産業界との関連を追求する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 訪問動物看護に関する研究 2) 公衆衛生・防疫に関する研究 3) 動物臨床検査に関する研究 4) 動物栄養に関する研究 5) 動物介在福祉に関する研究 <p>②研究における動物等確保の方策 本学の動物看護等に関する研究対象は、コンパニオンアニマル（伴侶動物）の犬・猫が中心であり、本学の研究は、動物実験に関する倫理規程に基づき、計画書を提出し、動物実験倫理委員会によって審査を受け許可された動物等が対象となる。なお、採材サンプルは、コンパニオン・アニマル・センターに診療、検査、グルーミングのために来院した犬・猫より、尿、糞便、血液、血清等の分与を受けて研究に使用する。また、グルーミング等で来院した犬・猫の被毛サンプルや皮膚スタンプなどは飼い主の同意のうえ、侵襲性の低い方法で採取し、研究試料とする。</p> <p>現状では、本学の研究において、専任教員による実験動物（マウス・ラット等）を使用している研究・実験は行われないことから、実験動物は学内で飼育しない。ただし、マウス・ラットを使用する研究を行う場合には、</p>	<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (4)中心となる研究分野及び研究体制</p> <p>動物看護学を基盤とした動物トータルケアの教育研究のために、以下の①～⑤までの分野を関連機関・施設と連携して、これらに関する研究の進展に努める。</p> <p>本学における中心的な研究分野と研究体制等を次の通りとし、それぞれの研究分野において、産業界との関連を追求する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①訪問動物看護に関する研究 ②公衆衛生・防疫に関する研究 ③動物臨床検査に関する研究 ④動物栄養に関する研究 ⑤動物介在福祉に関する研究

<p>レンタルラボを活用する（資料 27-3）。実験動物（マウス・ラット等）については、動物愛護・福祉に関する国際的な考え方から、代替実験の検討がなされ、実習や実験が行われている。社会や産業界のニーズにより、動物看護学分野において研究対象を産業動物、野生動物、実験動物に拡大する必要性が生じた場合には研究委員会及び産業界と協議のうえ、十分な検討を重ねる。</p> <p>なお、本学の動物介在福祉に関する研究は、主に身体障がい者補助犬の使用者を対象とする。人に関するアンケート調査等については、厚生労働省の指導方針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」に基づくものとし、実験計画書、アンケート内容、集積・解析方法については、研究調査倫理規程により、個人情報等の取り扱いに十分対応できる研究が許可対象となる。また、ポニー等を使用する場合は、必要に応じて乗馬クラブよりレンタルする。</p> <p>③研究体制</p> <p>5分野の研究をするために、学内委員会のひとつである研究委員会が中心となって、本学における主要な研究テーマの検討及び設定、共同研究者の指名、共同研究費の配分等を行う他、ヤマザキ動物看護大学や他大学等の研究機関や諸団体との連携を推進する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>これらの研究をするために、学内委員会のひとつである研究委員会が中心となって、本学における主要な研究テーマの検討及び設定、共同研究者の指名、共同研究費の配分等を行う他、ヤマザキ動物看護大学や他大学等の研究機関や諸団体との連携を推進する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>
---	---

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (28 ページ)

新	旧
<p>6.教育方法、履修指導方法及び卒業要件 (4)履修指導方法 ④オフィスアワーによる学生の個人指導・支援</p> <p>専任教員は、学生の相談等に応じる時間として、毎週授業 2 コマ分に相当する時間をオフィスアワーとして設定し、年度当初に学生</p>	<p>6.教育方法、履修指導方法及び卒業要件 (4)履修指導方法 ④オフィスアワーによる学生の個人指導・支援</p> <p>専任教員は、学生の相談等に応じる時間として、毎週授業 2 コマ分に相当する時間をオフィスアワーとして設定し、年度当初に学生に</p>

に周知する。教員が学生とコミュニケーションをとることができる時間を明確にすることで、学生が教員と接しやすい環境を作り、支援の充実を図る。学生の個人指導・支援には、面談室（専用 6 室、兼用 1 室）を利用する。	周知する。教員が学生とコミュニケーションをとることができる時間を明確にすることで、学生が教員と接しやすい環境を作り、支援の充実を図る。
---	---

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（30 ページ）

新	旧
<p>8. 施設、設備等の整備計画 (1)校地、運動場の整備計画 ①校地</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>校地面積は 2401.22 m²で、学生定員 240 人に対する設置基準には若干不足している。校舎は既設の大学及び専門学校として使用していたものを転用する。キャンパスは 1 号館と 2 号館で構成され、1 号館には、講義室、実習室、事務局、ミーティングルーム・面談室、学生ラウンジを、2 号館には図書館（第一年次に新図書館を整備）、PC 教室を設置する。限られたスペースを活かして、教室使用を効果的に実施し、かつ学生生活の場を整備する。1 号館と 2 号館との距離は約 400m、徒歩約 5 分の距離であり、校舎間の移動は、授業間の休み時間（10 分）で十分可能である。</p> <p>②運動場</p> <p>2 号館に隣接して運動場（152.19 m²）と体育館（242.32 m²）がある。また、南大沢キャンパスの運動場、体育館等の施設を利用して、学生の利便性を図り、スポーツデーやサークル活動等による交流も行う予定である。なお、学生の福利厚生として、体育館内での運動に使用する用具を整備する。</p>	<p>8. 施設、設備等の整備計画 (1)校地、運動場の整備計画 ①校地</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>校地面積は 2401.22 m²で、学生定員 240 人に対する設置基準には若干不足している。校舎は既設の大学及び専門学校として使用していたものを転用する。キャンパスは 1 号館と 2 号館で構成され、1 号館には、講義室、実習室、事務局、ミーティングルーム、学生ラウンジを、2 号館には図書館、PC 教室を設置する。限られたスペースを活かして、教室使用を効果的に実施し、かつ学生生活の場を整備する。1 号館と 2 号館との距離は約 400m、徒歩約 5 分の距離であり、校舎間の移動は、授業間の休み時間（10 分）で十分可能である。</p> <p>②運動場</p> <p>2 号館に隣接して運動場（509.01 m²）と体育館（242.32 m²）がある。なお、学生の福利厚生として、体育館内での運動に使用する用具を整備する。</p>

新	旧
<p>8. 施設、設備等の整備計画 (2)校舎等設備の整備計画 ①専門職短期大学の校舎等の設備 (略)</p> <p>専任教員の研究室については、教育研究環境を充実させるため、設置認可申請時の共同研究室 2 室と予備室 3 室を 2 号館の研究室 1～15 (5 室各 3 名) に変更する (表 6)。このことにより、専任教員の研究室は、1 人当たりの利用スペースが広がり、室内をパーティションで 3 区画に区切ること、専任教員のプライバシーを守り、学生の成績管理等を機能的に行える。なお、研究領域の近い専任教員を同室に配置することで、教育研究の効果を上げることに配慮している。</p> <p>研究室については、年次進行で整備し、平成 30 年度末 (開設時) までに、平成 31 年度就任の専任教員 10 名のうち、学長室は研究室を兼用するため、学長を除く 9 名分の研究室を配置する。さらに、平成 31 年度末 (第一年次) までに、平成 32 年度就任の専任教員 4 名に加え、将来の専任教員の増加に鑑み、計 6 名分の研究室を配置し、合計 15 名分の研究室を用意する。</p> <p>研究室 1～15 には、机、椅子、電話機、コンピューター、成績や重要書類を保管できる鍵付きの本棚の他、ミーティング用のテーブル等を配置する。</p> <p>学生の個人面談については、設置認可申請時の 1 号館 1 階のドッグルーム、キャットルーム、3 階の応接室及び学長室を面談室に用途変更し、1 号館 7 階のミーティングルームをミーティングルーム・面談室に用途変更する。1 号館 1 階のドッグルーム、キャットルームにおける保護犬、保護猫の対応については、専門職短期大学の教育に支障がないことから、基準外面積に算入されているコンパニオン・アニマル・センター内に移動する。さらに年次進行で平成 31 年 4 月完成予定の新</p>	<p>8. 施設、設備等の整備計画 (2)校舎等設備の整備計画 ①専門職短期大学の校舎等の設備 (略)</p> <p>研究室は、本学が新しい研究分野を対象とし、かつ小規模の大学であることに鑑み、教員同士の活発な意見交換を可能とするために共同研究室とする。専任教員は、それぞれ学年主任、クラスアドバイザーとして学生指導にあたるので、研究室は教員相互の情報共有の場となる。</p> <p>(略)</p>

図書館内に面談室 2 室を配置し、教員と学生がアクティブ・ラーニング等にも活用する。面談室 6 室と兼用面談室 1 室の合計 7 室を整備することにより、面談者のプライバシーが保護される。なお、面談室はオフィスアワー、カウンセリング等にも活用する。

各専任教員は、1 週間（月～金曜日）当たり 2 コマ（1 コマ 90 分）の学生相談にあたる。

学長室の用途変更に伴い、新たに学長室を確保するため、2 号館 2 階の応接室（共用）を学長室（専用）に用途変更する（表 7）。以上の整備により、教育研究を適切に行い得るスペースと機能を確保できると考える。

表 6 研究室の整備

階	種別	用途	専任・共用 の区分	研究室 の区分	面積	整備時期
2 階	共同研究室①	専用	専任	研究室 1	19.77 m ²	平成 30 年度末 (1 階 2 階)
				研究室 2	11.19 m ²	
				研究室 3	11.07 m ²	
	共同研究室②	専用	専任	研究室 4	16.41 m ²	平成 30 年度末 (1 階 2 階)
				研究室 5	11.12 m ²	
				研究室 6	11.10 m ²	
	予備室 4	専用	専任	研究室 7	20.14 m ²	平成 30 年度末 (1 階 2 階)
				研究室 8	11.27 m ²	
				研究室 9	11.06 m ²	
予備室 7	専用	専任	研究室 10	19.77 m ²	平成 31 年度末 (第一学次)	
			研究室 11	11.19 m ²		
			研究室 12	11.07 m ²		
予備室 6	専用	専任	研究室 13	20.14 m ²	平成 31 年度末 (第一学次)	
			研究室 14	11.27 m ²		
			研究室 15	11.06 m ²		

（備考）学長は、学長室を研究室として兼用する。

表 7 面談室と学長室の整備

階数	用途	出用法	資料・共有 の区分	取付途	資料・共有 の区分	面積	整備時期
1	1階	ラジアルーム	専用	面談室 1	専用	0.64 ㎡	平成 30 年度末 (予定)
		キヤットルーム	専用	面談室 2	専用	7.90 ㎡	平成 30 年度末 (予定)
	2階	応接室	専用	面談室 3	専用	7.48 ㎡	平成 30 年度末 (予定)
		学長室	専用	面談室 4	専用	10.22 ㎡	平成 30 年度末 (予定)
	3階	ミーティング ルーム	専用	ミーティングル ーム(面談室 5)	専用	60.42 ㎡	平成 30 年度末 (予定)
2	2階	応接室	共有	学長室	専用	22.13 ㎡	平成 30 年度末 (予定)
3	3階	運動場	専用	面談室 6 (G)	専用	0.78 ㎡	平成 31 年 4 月半 (第 1 年度)
				面談室 7 (G)	専用	0.29 ㎡	平成 31 年 4 月半 (第 1 年度)

(注) 面談室 6・面談室 7 は、是正事項 4-③で説明する新図書館内に整備する。

本学では、動物看護学を基盤とした動物トータルケアの教育研究のために、訪問動物看護、動物栄養、公衆衛生・防疫、動物臨床検査、動物介在福祉の 5 つの研究を行う。例を挙げると、訪問動物看護では、ヘマトクリット遠心分離機、セルタック、血液生化学測定機器等の機器を使用し、高齢の犬・猫の補食における健康維持及び疾病からの治癒力の向上の研究を行う。なお、この研究にはコンパニオン・アニマル・メディカルセンター内アニマル・メディカル・センターの診療対象(高齢の犬・猫)を飼い主の承諾を得て使用する。動物栄養では、カロリーアンサー、冷蔵ショーケース、小型超低温槽等の機器を使用し、犬・猫のライフステージに合わせた食事内容の研究を行う。なお、この研究には、市販の総合栄養食、動物病院からの療法食及び食材(肉・魚・野菜・穀物等)を使用する。この 2 つの研究は、研究者が検証方法について協力し合うことができ、研究の進展が図られることから研究用実験室 2 で行う。

また、公衆衛生・防疫では、高圧蒸気滅菌機、インキュベーター、冷蔵保管庫等の機器を使用し、動物病院の院内感染予防の観点から汚染要因について研究する。なお、この研究にはコンパニオン・アニマル・センターの落下細菌等を採取し、使用する。

動物臨床検査では、高圧蒸気滅菌機、インキュベーター、遠心分離機、卓上冷却遠心機等の機器を使用し、犬・猫の生活習慣病（肥満等）に関する臨床検査法の研究を行う。なお、この研究はアニマル・メディカル・センターの診療対象（肥満等の生活習慣病をもつ犬・猫）を飼い主の承諾を得て使用する。この2つの研究は、公衆衛生・防疫の研究で採取した検体を動物臨床検査で分析し、その結果をフィードバックすることができ、相互に研究の進展が図られることから研究用実験室1で行う。

動物介在福祉では、身体障がい者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の使用者（視覚障害者、肢体不自由者、聴覚障害者）が、補助犬の健康管理のために動物病院を訪れる際に発生する一般のクライアントとは異なるニーズに対応する動物看護師の支援方法について研究する。研究のための調査は、補助犬訓練施設、補助犬使用者の指定する場所や動物病院において行うため研究用実験室は使用しない。

整備計画では、まず平成30年度末（開設時）までに予備室5を研究用実験室1に整備し、予備室6を研究用実験室2に整備して研究・実験を行う（表8）。その後新図書館（平成31年4月20日竣工予定）の完成をまって、平成31年5月以降は1階図書館を研究用実験室1に、3階図書閲覧室を研究用実験室2に用途変更し、専任教員が取り組む研究環境を整備する（表9）。

研究用実験室1は、主に検体を取り扱う研究を行うため感染予防に配慮し、通常の生物の実験室としての構造及び設備を有するP1レベルに準じた研究実験を行い、研究用実験室2は、訪問動物看護、動物栄養の実験を行うため非汚染エリアとして管理する。

なお、本学の開設時において整備する研究用機器は、資料27-2のとおりである。

表8 研究用実験室の配置と年次進行による

整備（平成 31 年度開設時）

号数	階数	旧用途	専用・共用の 区分	新用途	専用・共用の 区分	面積	整備時期
2	7階	予備室5	専用	研究用実験室1	専用	60.51㎡	平成30年度末 (開設時)
		予備室6	専用	研究用実験室2	専用	60.03㎡	平成30年度末 (開設時)

表9 研究用実験室の配置と年次進行による整備（平成 31 年度 4 月末）

号数	階数	旧用途	専用・共用の 区分	新用途	専用・共用の 区分	面積	整備時期
2	1階	図書棟	共用	研究用実験室1	専用	60.51㎡	平成31年 4月末 (第一年度)
	3階	図書棟	専用	研究用実験室2	専用	61.65㎡	平成31年 4月末 (第一年度)

(略)

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (36～37 ページ)

新	旧
<p>8. 施設、設備等の整備計画</p> <p>(3)図書等の資料及び図書館の整備計画</p> <p>本学の図書館には、人文科学系 4,832 冊、自然科学系 3,192 冊、畜産学系 137 冊、獣医学系 830 冊、動物看護学系 1,235 冊、合計 10,226 冊を備える。雑誌は、30 種である(資料 29)。電子ジャーナルについては、既設の大学で導入している「Animal Health Research Review」「Journal of Small Animal Practice」等 20 種(データベースを含む)を専門職短期大学においても閲覧ができるよう整備をする。</p> <p>図書館の整備については、現在の体育館に隣接した運動場 509.01 ㎡に新図書館 186.24 ㎡を建設する。この図書館は設置認可申請時に計画していた 2 号館 1 階図書館 69.20 ㎡よ</p>	<p>8. 施設、設備等の整備計画</p> <p>(3)図書等の資料及び図書館の整備計画</p> <p>本学の図書館には、人文科学系 2,832 冊、自然科学系 3,192 冊、畜産学系 137 冊、獣医学系 830 冊、動物看護学系 1,235 冊、合計 8,226 冊を備える。雑誌は、30 種である(資料 29)。電子ジャーナルについては、既設の大学で導入している「Animal Health Research Review」「Journal of Small Animal Practice」等 20 種(データベースを含む)を専門職短期大学においても閲覧ができるよう整備をする。</p>

り 117.04 m² (約 1.7 倍) 広くなる。閲覧スペースは、開設時において図書館内に 28 席配置する。

設置認可申請時の図書館は、図書数が 8,226 冊であったが、今回の新図書館には図書 2,000 冊を増やし 10,226 冊とする。申請時の計画では収納可能図書数 9,088 冊であったが、新図書館では 4,662 冊増え、合計 13,750 冊となり、将来にわたる図書の増加に対応できる。なお、開設時から動物関係の和書ならびに洋書の電子ジャーナルとデータベースを整備している。

また、この新図書館の整備計画は、年次進行で行う。平成 30 年度 3 月末 (開設時) までは申請時の計画のとおり、2 号館 1 階に図書館、2 号館 3 階に自習室を兼ねる図書閲覧室を整備する。その後、平成 31 年 4 月 20 日に新図書館が竣工予定であるため、竣工・整備完了後に申請時の図書館と図書閲覧室は、表 9 のとおり、研究用実験室 1 と研究用実験室 2 に用途変更する。

さらに完成年度以降に整備する予定の自習室については、学生及び教員の教育研究活動に資するため、平成 32 年度末 (第二年次) までに整備し、2 号館 4 階の予備室 3 を自習・閲覧室 (表 10) に用途変更する。自習・閲覧室には、新図書館から閲覧席 12 席を移動するほか、新たに自習席 12 席を加えた計 24 席を配置する。それにより、新図書館には書架が追加され、収容可能図書数はさらに 3,000 冊増え、合計 16,750 冊収納可能となり、将来にわたる図書の増加に十分対応できる。

また、本学はヤマザキ動物看護大学図書館 (図書 : 25,910 冊、雑誌 : 64 種類ほか) との連携を図る。平成 22 年度より、渋谷キャンパスと南大沢キャンパス (ヤマザキ動物看護大学) 間を運行している定期交換便を利用して学生及び教員の図書の貸出と返却を行う。

新図書館には、レファレンスコーナー、図

2 号館 1 階の図書館を整備充実して活用す

書閲覧室を設け、閲覧席、検索端末席を備える。図書館には、専門職員を置き、資料収集、整理及び提供を行う。開学後には、他の大学の図書館や地域の公共図書館、国立国会図書館等との協力を努める。

る。1階にレファレンスコーナー、3階に図書閲覧室を設け、閲覧席、検索端末席を備える。図書館には、専門職員を置き、資料収集、整理及び提供を行う。開学後には、他の大学の図書館や地域の公共図書館、国立国会図書館等との協力を努める。

(表 10) 閲覧室の整備

階数	階数	旧用途	専用・共用の 区分	新用途	専用・共用 の区分	面積	整備時期
2	4階	予備室	専用	図書・閲覧室	専用	61.65㎡	平成31年度末 (第二年次)

①書類等の題名

資料 4-1. 校舎図面（平成 33 年度（完成年度）2 号館）（82～91 ページ）

②出典

株式会社野生司環境設計

③書類等の利用範囲

完成年度における 2 号館各フロアの平面図

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 4-2. 校舎図面（平成 33 年度（完成年度）1 号館）（92～101 ページ）

②出典

株式会社野生司環境設計

③書類等の利用範囲

完成年度における 1 号館各フロアの平面図

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし

①書類等の題名

資料 4-3. 校舎図面（平成 31 年度開設時 2 号館）（102～111 ページ）

②出典

株式会社野生司環境設計

③書類等の利用範囲

開設時における 2 号館の平面図

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 4-4. 校舎図面（平成 31 年度 5 月 1 日 2 号館）（112～117 ページ）

②出典

株式会社野生司環境設計

③書類等の利用範囲

平成 31 年度 5 月 1 日現在の 2 号館の平面図

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

研究用機器備品 設置場所一覧(案)

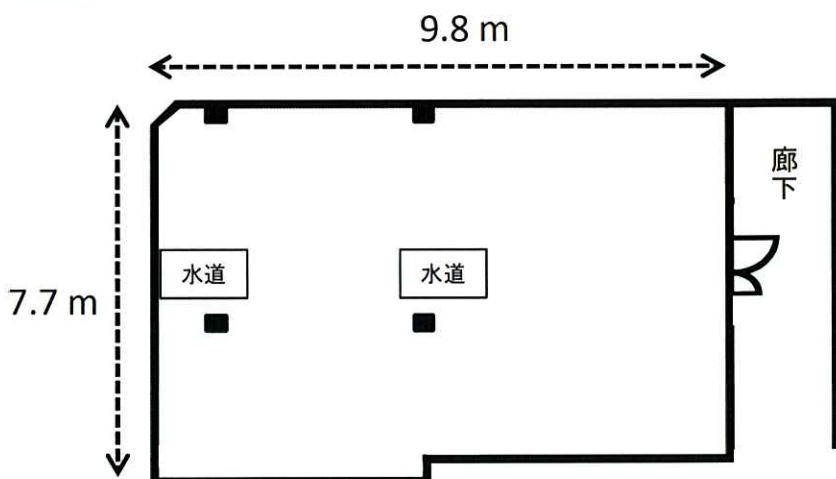
設置場所	研究分野	研究用機器備品
研究用実験室1	公衆衛生・防疫 動物臨床検査	高圧蒸気滅菌機
		インキュベーター
		薬用保冷库
		遠心分離機
		冷蔵保管庫
		実体顕微鏡
		卓上冷却遠心機
		耐震薬品庫薄型強化ガラス
		実験台
		ロッカー
		本棚
		キャビネット
		収納棚
		椅子
研究用実験室2	訪問動物看護 動物栄養	カロリーアンサー
		耐震薬品庫
		冷蔵ショーケース
		全自動製氷機
		小型超低温槽
		ヘマトクリット遠心分離機
		器具乾燥機
		セルタック
		生物顕微鏡
		血液生化学測定機器
		映像記録ビデオ
		三脚
		モニターテレビ
		実験台
		ロッカー
		本棚
キャビネット		
収納棚		
椅子		

レンタルラボ と 動物実験

- * 実験動物の専門機関である動物繁殖研究所が提供するレンタルラボです。
- * 動物の飼育を伴う実験(試験)にご利用ください。
- * 動物の飼育は当研究所がサポートすることも可能です。
- * レンタル期間や実験内容には柔軟に対応いたします。お気軽にご相談ください。



- ラットとマウスの実験が可能です。
- 動物の飼育は別棟のSPF飼育室になります。
- 当財団は(公社)日本実験動物協会の認証を取得しています。



住 所: 〒300-0134 茨城県かすみがうら市深谷1103

アクセス: JR常磐線神立駅よりタクシー10分(上野→神立 普通で1時間20分)
JR常磐線土浦駅よりタクシー30分(上野→土浦 特急で50分)

電 話: 029-897-0631

WEBサイト: <http://www.iar.or.jp>



技術受託サービス

- ▶ 系統維持・生産・供給
- ▶ 各種動物実験(non-GLP)
- ▶ 微生物クリーニング(SPF化)・発生工学技術
- ▶ 無菌動物維持・作出
- ▶ 施設クリーンアップ
- ▶ **レンタルラボ**
 - ▶ 飼育環境
 - ▶ レンタルラボの利用方法
 - ▶ 充実のサポート体制
- ▶ 微生物モニタリング
- ▶ お問い合わせフォーム

レンタルラボ



堅固なセキュリティと完璧な飼育環境により、お客様の貴重な実験動物および試験データをお守りすると共に信頼性の高い実験をお約束いたします。また、非常用発電の完備により、急な停電にも飼育環境を変化させることなく、維持することが可能となっています。

飼育環境

項目	基準値
温度	飼育室 : 20 ~ 26 °C (23±3°C)
湿度	飼育室 : 45 ~ 65 % (55±10 %)
差圧	5 Pa以上(飼育室内と廊下との差圧)
照度	130~325 Lx(ケージ内照度)
照明時間	点灯: 7:00 ~ 19:00 (12時間)
	消灯: 19:00 ~ 7:00 (12時間)
騒音	85dB以下
換気回数	10 回 / hr
塵埃	クラス10,000(動物が飼育されていない飼育室内)
臭気	アンモニア濃度20ppm以下

レンタルラボの利用方法



- ・ お客様による動物実験の実施が可能となります。
- ・ 各種測定機器等の弊社施設への持ち込みが可能となります。
- ・ クリーンなエリアに飼育室5室を用意しております。
- ・ 全飼育室で定期的な微生物モニタリング実施。

充実のサポート体制



- ・ 専門スタッフ(実験動物技術者1級・2級)が以下の業務を全面的にサポートいたします。
- ・ ケージ交換、給餌・給水、清掃消毒などの飼育管理業務全般をサポートいたします。
- ・ 体重・摂餌・飲水量測定、一般状態観察、投与、剖検、手術など各種実験手技を代行いたします(実験手技に関しては別途費用が必要となります)。

▲このページのトップへ戻る

審査意見への対応を記載した書類（8月）

（目次）動物トータルケア学科

【大学等の設置の趣旨・必要性】

1. 【全体計画審査意見1の回答について】

＜需要変化への対応が不明確＞

設置の趣旨等を記載した書類において、今後、ペット関連産業の市場規模が拡充していく旨の指摘がなされているが、他方で犬の頭数が減少傾向にあるとの調査結果が公表されており、今後、ペットに対する需要の変化が見込まれることを踏まえ、本設置計画の必要性を明確にすること。また、今後、ペット需要の変化があった場合にどのように教育課程に反映させていくのかを明確にすること。（是正事項） ……………1

【教育課程等】

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

＜科目内容と科目区分が不適切＞

「コンピュータリテラシーⅠ」と「コンピュータリテラシーⅡ」は、短期大学教育の水準としてふさわしい内容となっていないため、適切に改めること。また、基礎科目である「生活とアート」の授業科目の概要には、「職業専門科目において人と住環境について建築家から学ぶことを受け、デザイン力造形力を養い豊かな人間性を身に付ける」との説明となっているが、本科目に関連する職業専門科目が不明確なため明確にするとともに、本授業科目の概要では、専門職業科目の準備教育に相当する内容とも読み取れるため、本科目を基礎科目に配置することが適切なのかを説明するか、適切に改めること。（是正事項） ……………18

3. 【全体計画審査意見5の回答について】

＜展開科目の配置の考え方が不明確＞

専門職短期大学設置基準第26条第2項第2号の規定では展開科目から15単位以上の修得が求められているところ、展開科目の科目配置が見直された結果、当初の10科目18単位から10科目17単位に変更されたが選択性が限定的となっている。明確なコース制をとらない計画であるものの、「動物看護」と「動物産業」の2つの進路選択が想定されているにも関わらず選択科目を限定して展開科目を配置している意義を明確にすること。なお、資料5-3の「動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている科目」において、「一日の業務の流れを把握する」と記載されており、基礎科目としてはふさわしくない到達目標が記載されているので改めること。（是正事項）

……………22

4. 【全体計画審査意見7（2）の回答について】

＜臨地実務実習の運用方針が不明確＞

臨地実務実習を業種別に3区分に整理されているが、例えば、業種別分類番号1のペットサロンと業種別分類番号2のペットホテルは1施設で併設している場合があると考えられる。このため業種別分類番号の1～3の施設を学生の実習先として振り分けを行ったとしても類似の実習先となることが懸念される。このため、学生が多様な実習を経験できるよう、実質的に複数の異なる施設で実習が可能となるよう運用方針を明確にすること。また、「臨地実習1」、「臨地実習3」、「臨地実習4」に掲げる到達目標として、実習施設の「一日の業務の流れを把握する」などとなっており、専門職短期大学の臨地実務実習の水準として適切と言えないため改めること。その際、到達目標は、履修年次や同じ業務区分であっても実習施設の業種が異なれば到達目標も異なると考えられるため改めること。なお、関東圏以外の遠方の実習施設を確保する必要性と、学生の負担が過度なものでないことや教員の巡回指導が可能であるかを説明すること。（是正事項）……………32

5. 【全体計画審査意見7（3）の回答について】

＜実習指導体制が不十分＞

実習指導者について、「経験年数が1～2年の者の実習先は削除した」としているが、「臨地実務実習施設の概要」の書類では、いまだに実務経験年数が2年の者が含まれ、また、実習指導者の記載がないものがあるため改めること。また、「臨地実務実習施設の概要」の実習施設の「その他のペット関連企業」として記載されている施設の中には、ペット関連業務を専門に行っていないと考えられる施設があるため改めること。また、養成する人材像に鑑みれば、動物病院の実習指導者には動物看護師が必要であるが、記載がない施設があるため改めること。（是正事項）……………43

6. 【全体計画審査意見7（4）の回答について】

＜実習評価書が不十分＞

実習評価書の評価基準は、履修する学生の年次によって異なるものと考えられるため改めること。また、「動物病院」、「ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門」、「その他のペット関連企業、諸団体」として3種類の実習評価書を使用する計画となっており、例えば、「その他のペット関連企業、諸団体」では同じ実習評価書を使用することとしているが、ペット関連企業と、いわゆる訓練施設などの諸団体での実習で同じ実習評価書を使用できるのか疑義があるため改めること。（是正事項）……………55

7. 【全体計画審査意見9の回答について】

＜科目配当年次等が不十分＞

配当年次が「1・2・3年次通年」と設定されている「動物実習短期留学」のシラバスの「履修上の注意」には、履修の前提の授業科目として、「コミュニケーション論」等が示されているが、これらの授業科目の配当年次が同じ1年次に設定されており、「動物実習短期留学」の配当年次の設定が適切ではないため改めること。また、学生には一定の英語能力が求められると考えられるが、教育課程では「英語Ⅰ」（必修2単位）、「英語Ⅱ」（選択1単位）が設定されているのみであり、どのように学生の英語能力を担保するのか明確にすること。なお、「動物実習短期留学」が3単位となっているが教育内容に照らして適切な設定であることを説明するか、改めること。（是正事項） …… 70

8. 【全体計画審査意見15の回答について】

＜教育課程連携協議会の構成が不十分＞

教育課程連携協議会の構成員区分「職業」には職能団体の関係者を想定しているところに、ペット産業の関係者が記載されており、区分を改めること。また、実習先の関係者である構成員区分「協力」の者が1名となっているが、多数の実習先を確保する計画であることから、多様な意見を聴取することが可能となるよう改めること。さらに、構成員区分「地域」に職能団体の者が記載されており区分が適切ではないため改めること。なお、教育課程連携協議会の構成員として、「地域」区分の地方公共団体の関係者が含まれておらず、また、動物産業に係る職業団体も含まれていないため適切に改めること。（是正事項） …………… 76

9. 【審査意見以外の対応について】

＜学生自習室の整備＞

実地調査における安部恵美子委員の意見「学生が自ら学ぶ自習スペースを確保することが望まれる。」への対応について。 …………… 80

(是正事項) 動物トータルケア学科

【大学等の設置の趣旨・必要性】

1. 【全体計画審査意見1の回答について】

<需要変化への対応が不明確>

設置の趣旨等を記載した書類において、今後、ペット関連産業の市場規模が拡充していく旨の指摘がなされているが、他方で犬の頭数が減少傾向にあるとの調査結果が公表されており、今後、ペットに対する需要の変化が見込まれることを踏まえ、本設置計画の必要性を明確にすること。また、今後、ペット需要の変化があった場合にどのように教育課程に反映させていくのかを明確にすること。

(対応)

この度のヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科（仮称）の申請については、平成26年よりヤマザキ学園の中長期計画の中で検討を開始し、日本の少子高齢社会の現状を踏まえ、50年に渡る動物看護教育のパイオニアとしての本学園の使命と役割を考察、検証してきた。

特にコンパニオンアニマル（伴侶動物）の代表である犬の飼育頭数や動物医療を含む動物関連産業の市場等については、推移と現状及び将来展望を明確にすることに努め、専門職短期大学という新しい教育制度において、動物の生から死までのトータルケアを行い、高齢者の犬の飼育をサポートする訪問看護・在宅ケアの動物看護師、及び飼い主（消費者）と動物関連産業を繋ぎ、時代に対応して将来の産業を担う動物看護師の必要性から申請に至った。

ご指摘のペットの飼育頭数が減少傾向にあることについては、次のとおり検証した。一般社団法人ペットフード協会が公表している全国犬猫飼育実態調査（以下、同調査）によると、犬の飼育頭数については、平成24年（2012年）に1,153.4万頭だったものが平成28年（2016年）には、987.8万頭へと165.6万頭減少している（資料1-1）。

しかし、同調査による飼育頭数と犬の年齢構成から高齢犬の飼育頭数を計算すると10歳以上の高齢犬の飼育頭数は平成24年（2012年）に304.5万頭であったものが、平成28年（2016年）の352.6万頭へと高齢犬が48.1万頭増加し、今後も高齢犬の増加が想定される（表1）。

表1 犬の年齢構成

暦年	0~6歳	7~9歳	10~12歳	13歳以上	不明	総数
平成24年 (2012年)	47.7%	23.9%	16.7%	9.7%	1.9%	1,153.4万頭
	71.6% (825.8万頭)		26.4%(304.5万頭)		1.9% (21.9万頭)	
平成28年 (2016年)	41.0%	21.1%	20.0%	15.7%	2.3%	987.8万頭
	62.1% (613.4万頭)		35.7% (352.6万頭)		2.3% (22.7万頭)	

(出典：一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査)

なお、ペットを家族の一員ととらえる傾向が強まり、犬の高齢化が進む中で、動物診療

施設は平成 23 年（2011 年）の 10,551 施設に対し平成 28 年（2016 年）には 11,675 施設と 1,124 施設が増設している（資料 1-2）。その理由としては、人の高齢化と同じようにペットの高齢化による動物医療の多様化に付随する医療の必要性の増加等によるものと推察される。また、東京都の飼育動物診療施設届出数（表 2）によると、往診専門の診療施設は、平成 24 年（2012 年）の 111 施設から平成 29 年の 163 施設へと 52 施設、46.8%も増加している。

表 2 東京都の飼育動物診療施設届出数

年度	往診専門診療施設数
平成 24 年（2011 年）	111
平成 29 年（2017 年）	163（46.8%増）

注）（ ）内は平成 24 年対比の増加割合 （出典：東京都産業労働局農林水産部食料安全課）

このことから近年、往診の需要が増加していることが伺える。一般の動物病院においても、幼齢の時から診療に携わっていた犬が高齢化した場合、往診診療の要望が増えていることが想定され、訪問看護・在宅ケアの動物看護師が期待されるところが大きい。

このように動物関連産業の市場は犬の飼育頭数の減少を受けても、動物病院を含む、ペット保険市場、ペット同伴宿泊施設、ペット葬儀社など、コンパニオンアニマル（伴侶動物）に関する市場が拡大を続けている（資料 1-3、1-4、1-5）。矢野経済研究所の推計では、平成 30 年度（2018 年度）のペット関連総市場は、1 兆 5,136 億円に届くと推定され、平成 23 年度（2011 年度）の 1 兆 4,052 億円から 1,084 億円増加している（資料 1-6）。

本学は、上記の調査から犬の飼育頭数が減少傾向にあるにもかかわらず、ペット関連産業が成長していることに注目した。加えて犬の飼い主の年齢構成について検証したところ、50 代～60 代の犬の飼い主が一番多く、平成 25 年（2013 年）には 50 代～70 代の犬の飼育者の合計は、47.1%を占める。しかし、平成 28 年（2016 年）には 41.6%へと減少しているが（表 3）、訪問看護・在宅ケアの動物看護師が飼育をサポートすることにより、この減少を食い止める一助になると考える。

表 3 犬 現在の飼育状況_年代別構成比 (単位：%)

暦年	20代	30代	40代	50代	60代	70代	50～70代の合計
平成 24 年（2012 年）	14.8	13.3	16.1	21.4	18.2	—	39.6
平成 25 年（2013 年）	15.1	12.7	15.1	20.0	16.4	10.7	47.1
平成 26 年（2014 年）	14.3	12.4	13.9	18.2	16.5	10.3	45.0
平成 27 年（2015 年）	14.1	12.2	12.9	17.5	15.6	10.7	43.8
平成 28 年（2016 年）	13.4	12.0	13.9	16.7	14.7	10.2	41.6

（出典：一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査）

さらに同調査によると、50代、60代、70代世代の飼育のきっかけは「生活に癒し・安らぎが欲しかったから」、「家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから」という回答が多く、子育てが一段落したところで犬の飼育を開始する傾向もみられる。飼育の阻害要因としては、「十分に世話ができないから」、「最後まで世話をする自信がないから」といった回答が多かった。また、あったらいいと思う飼育サービスとしては「旅行中や外出中の世話代行サービス」、「高齢で飼育不可能な場合の受入施設提供サービス」、「飼育が継続不可能な場合の引き取り手斡旋サービス」といった意見が多く出ている（表4）。

表4 犬の飼育阻害要因など年代別にみる特徴一覧（50代～70代）

年代	阻害要因 (犬)	あったらいいと思う 飼育サービス	飼育のきっかけ (犬飼育者)
50代	①「 <u>十分に世話ができないから</u> 」：28.5% ②「死ぬとかわいそうだから」：23.8% ③「別れがっらいから」：23.1%	①「 <u>旅行中や外出中の世話代行サービス</u> 」：44.3% ②「 <u>飼育が継続不可能な場合の引き取り手斡旋サービス</u> 」：25.9% ③「健康保険料、生命保険料などが減額になるサービス」：25.4%	①「 <u>生活に癒し・安らぎが欲しかったから</u> 」：28.6% ②「以前飼っていたペットが亡くなったから」：21.6% ③「子供にせがまれたから」：19.5%
60代	①「 <u>最後まで世話をする自信がないから</u> 」：28.0% ②「別れがっらいから」：27.3% ③「 <u>十分に世話ができないから</u> 」：26.5% ④「死ぬとかわいそうだから」：26.5%	①「旅行中や外出中の世話代行サービス」：35.5% ②「 <u>高齢で飼育不可能な場合の受入施設提供サービス</u> 」：30.6% ③「 <u>飼育が継続不可能な場合の引き取り手斡旋サービス</u> 」：27.9%	①「以前飼っていたペットが亡くなったから」：35.5% ②「 <u>生活に癒し・安らぎが欲しかったから</u> 」：26.6% ③「 <u>家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから</u> 」：18.2%
70代	①「 <u>最後まで世話をする自信がないから</u> 」：42.1% ②「別れがっらいから」：32.4% ③「死ぬとかわいそうだから」：31.2%	①「 <u>高齢で飼育不可能な場合の受入施設提供サービス</u> 」：48.8% ②「 <u>旅行中や外出中の世話代行サービス</u> 」：40.7% ③「 <u>飼育が継続不可能な場合の引き取り手斡旋サービス</u> 」：39.9%	①「以前飼っていたペットが亡くなったから」：42.6% ②「 <u>生活に癒し・安らぎが欲しかったから</u> 」：34.9% ③「 <u>家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから</u> 」：23.7%

（出典：一般社団法人ペットフード協会 平成28年全国犬猫飼育実態調査）

また、平成29年、スペインのマドリードにおいて人と動物双方の健康と環境の保全のために「One Health(ワンヘルス)」の理念のもと、人間の医師と獣医師を中心とした世界会

議が開催され、人と動物の共生社会の重要性が説かれたことにより、共生するための環境整備を行うことにも動物看護師の専門性が活かされる。これについては、日本においてペットとの共生は健康寿命を延伸する（表 5）という調査結果が出ている。

表 5 ペットとの共生は健康寿命を延伸する

性別	ペットの飼育経験	健康寿命（歳）	差（歳）
男	犬飼育者でペットを散歩に連れて行く	69.40	0.44
	ペット飼育経験なし	68.96	
女	犬飼育者でペットを散歩に連れて行く	76.70	2.79
	ペット飼育経験なし	73.91	

出典：一般社団法人ペットフード協会 インタージェの調査

現在、人生 100 歳時代を迎え、50 代～70 代のペット飼育者が 20 年後に 70 代、80 代、90 代になっても伴侶動物との豊かな共生に癒しと安らぎを得て、生涯にわたり終生飼養ができるようなサポートが急務であり、今後、高齢者と高齢犬への飼育に関するサポートの重要性が増すと考えている。

本学では、往診治療時に獣医師の診療補助、獣医師が行う検体採取（採血・採尿・採便）の補助、動物の保定、飼い主への薬の投与状況の確認や指導、獣医師と飼い主の関係調整、バイタルチェックや動物の観察、給餌、運動、休養等の助言や栄養指導（手作り食を含む）、給餌の補助、口腔ケア、グルーミング、排泄のしつけや補助、飼育環境の整備、床ずれ予防、さらに、介助マット、ペットシート、おむつ等手配の助言、終末期ケア及びグリーフケア等の訪問看護・在宅ケアができる動物看護師の必要性に着目した。

本学では、訪問看護・在宅ケアに関する授業科目として職業専門科目に「訪問動物看護学」、「動物看護ソーシャルワーク」、「動物トータルライフ環境論」、「動物トータルライフ演習」等の授業科目を配置し、飼い主に寄り添う訪問看護や在宅ケアのできる動物看護師と、犬のデイケアサービスや老犬ホームなどの新しい分野を開拓し飼い主（消費者）と動物関連産業とを繋ぐ動物看護師の養成が必要であることから、専門職短期大学設置の申請に至った。

ペット需要の変化に対応して、本学園は創立 50 年の歴史において、ヤマザキ動物専門学校やヤマザキ動物看護大学では、ペット需要の変化を柔軟に教育課程に反映させてきた。例えば、近年、ペットフードの充実やペット用おやつを与える飼い主が多くなり、歯石や歯槽膿漏などの歯周病（口腔疾患）に罹患するペットが増加傾向にあることから、口腔ケアの授業科目と実習授業を始めた。ペットにとって口腔環境を整えることは、健康を維持するためにも重要である。また、犬種によっては好発しやすい疾患がある。例えば、人気犬種であるダックスフントは椎間板ヘルニアになりやすいため人間と同様にヘルニアの術後ケアとしてリハビリテーションを行う。さらに創傷治癒や浮腫等の循環障害の緩和にも効果をもたらすペットの QOL 向上に繋がるため、本学園ではいち早く動物リハビリテーシ

ョンを教育課程に反映させてきた。

また、大型犬の飼育頭数が減り小型犬の飼育頭数が増加した時期には、犬のトレーニングについて飼い主に家庭でのしつけを指導する等の授業内容や実習を充実させ教育課程に反映させてきた。そのほか栄養学においても老犬の手作りごはんの実習科目を追加した。今回申請の専門職短期大学においても、ペットの需要の変化にあわせ教育課程を柔軟に改変し発展を続ける動物関連産業に貢献する人材を養成することが、この度の新制度における教育であり、本学の使命であると考えている。

なお、日本の将来における人口減少を考えると犬の飼育頭数は減少するであろうが、人に代わるロボットの活用のみならず、障害者の自立や社会参画の増加を考えると、国内の補助犬（盲導犬：950頭、介助犬：70頭、聴導犬：73頭[厚生労働省の補助犬の実働頭数：平成29年6月1日現在]）では不足であるため、さらに普及、増加に努めなければならない。については動物看護師がどのように高齢者、障害者、補助犬をサポートしていくかを検討し教育課程に反映させるか等、需要の変化に対応する教育課程を展開させ、ペット関連産業と社会の発展に貢献したい。

また、今回の再補正申請においては、特に飼い主の生活及び地域に深くかかわる動物病院への進路を考えている学生に対応して展開科目に人の「死生学」（選択科目）を新たに加え、人と動物の死をみつめ、豊かな想像力を養い生命と死をとらえることのできる教育を目指す。

また、人の「医療安全」も展開科目（選択科目）に追加することで、まだ歴史の浅い職種である動物看護師が、その創造的能力をもって、人と動物の医療安全という領域を動物看護の現場で発展させていくことに期待する。

さらに教育課程連携協議会には、動物病院の動向に詳しい公益社団法人東京都獣医師会の理事・副会長の天野芳二氏、ペットサロン・ペット用品・ペットフード販売などの動向に詳しいイオンペット株式会社の寺本健太郎氏（補正申請時に追加）のほかに、今回新たに動物看護職の動向に詳しい一般社団法人日本動物看護職協会顧問、日本獣医生命科学大学名誉学長池本卯典氏、今後さらなる発展が予想されるペット同伴宿泊施設の東京建物リゾート株式会社取締役常務執行役員、ホテル事業本部長の藤田修一氏、地域の代表として渋谷区（地方公共団体）の危機管理対策部長の山中昌彦氏を加えることとし、本学では、教育課程連携協議会による意見をもとに、学内の教授会や教務委員会で教育課程を議論した上、業界の動向に対応した教育課程の具現化に努めることとする。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (1 ページ)

新	旧
(略)	(略)
<p>現在、日本において超少子高齢社会を迎え、動物飼育環境の改善はイヌ、ネコの長寿をもたらし、イヌ 987.8 万頭、ネコ 984.7 万頭が飼育されていると推定される (資料 1)。</p>	<p>現在、日本において超少子高齢社会を迎え、動物飼育環境の改善はイヌ、ネコの長寿をもたらし、イヌ 990 万頭超、ネコ 980 万頭超が飼育されていると推定される (資料 1)。</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (5～8 ページ)

新	旧														
(略)	(略)														
<p>③ペット需要の変化と設置の必要性</p> <p>一般社団法人ペットフード協会が公表している全国犬猫飼育実態調査 (以下、同調査) によると、犬の飼育頭数については、平成 24 年 (2012 年) に 1,153.4 万頭だったものが平成 28 年 (2016 年) には、987.8 万頭へと 165.6 万頭減少している (資料 1)。</p> <p>しかし、同調査による飼育頭数と犬の年齢構成から高齢犬の飼育頭数を計算すると 10 歳以上の高齢犬の飼育頭数は平成 24 年 (2012 年) に 304.5 万頭であったものが、平成 28 年 (2016 年) の 352.6 万頭へと高齢犬が 48.1 万頭増加し、今後も高齢犬の増加が想定される (表 1)。</p> <p>表 1 犬の年齢構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>暦年</th> <th>0~6 歳</th> <th>7~9 歳</th> <th>10~12 歳</th> <th>13 歳以上</th> <th>不明</th> <th>総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 24 年</td> <td>47.7%</td> <td>23.9%</td> <td>16.7%</td> <td>9.7%</td> <td>1.9%</td> <td>1,153.4</td> </tr> </tbody> </table>	暦年	0~6 歳	7~9 歳	10~12 歳	13 歳以上	不明	総数	平成 24 年	47.7%	23.9%	16.7%	9.7%	1.9%	1,153.4	(追加)
暦年	0~6 歳	7~9 歳	10~12 歳	13 歳以上	不明	総数									
平成 24 年	47.7%	23.9%	16.7%	9.7%	1.9%	1,153.4									

(2012年)	71.6% (825.8万頭)		26.4%(304.5万頭)		1.9% (21.9万頭)	万頭
平成28年(2016年)	41.0%	21.1%	20.0%	15.7%	2.3%	987.8万頭
	62.1% (613.4万頭)		35.7% (352.6万頭)		2.3% (22.7万頭)	

(出典：一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査)

なお、ペットを家族の一員ととらえる傾向が強まり、犬の高齢化が進む中で、前述した動物診療施設の増加については、平成23年(2011年)の10,551施設に対し平成28年(2016年)には11,675施設と1,124施設が増設している(資料4)。その理由としては、人の高齢化と同じようにペットの高齢化による動物医療の多様化に付随する医療費の増加等によるものと推察される。また、東京都の飼育動物診療施設届出数(表2)によると、往診専門の診療施設は、平成24年(2012年)の111施設から平成29年の163施設へと52施設、46.8%も増加している。このことから近年、往診の需要が増加していることが伺える。一般の動物病院においても、幼齢の時から診療に携わっていた犬が高齢化した場合、往診診療の要望が増えていることが想定され、訪問看護・在宅ケアの動物看護師が期待されるところが大きい。

このように動物関連産業の市場は犬の飼育頭数の減少を受けても、「①設置の趣旨」(P1)で述べたとおり、動物病院を含む、ペット保険市場、ペット同伴宿泊施設、ペット葬儀社など、コンパニオンアニマル(伴侶動物)に関する市場が拡大を続けている(資料5-2、5-3、5-4)。

表2 東京都の飼育動物診療施設届出数

年度	往診専門診療施設数
平成24年(2012年)	111
平成29年(2017年)	163 (46.8%増)

注) () 内は平成24年対比の増加割合 (出典：東京都産業労働局農林水産部食料安全課)

本学は、上記の調査から犬の飼育頭数が減少傾向にあるにもかかわらず、ペット関連産業が成長していることに注目した。加えて犬の飼い主の年齢構成について検証したところ、50代～60代の犬の飼い主が一番多く、平成25年（2013年）には50代～70代の犬の飼育者の合計は、47.1%を占める。しかし、平成28年（2016年）には41.6%へと減少しているが（表3）、訪問看護・在宅ケアの動物看護師が飼育をサポートすることにより、この減少を食い止める一助になると考える。

表3 犬 現在の飼育状況_年代別構成比 （単位：％）

暦年	20代	30代	40代	50代	60代	70代	50代～70代の合計
平成24年（2012年）	14.8	13.3	16.1	21.4	18.2	—	39.6
平成25年（2013年）	15.1	12.7	15.1	20.0	16.4	10.7	47.1
平成26年（2014年）	14.3	12.4	13.9	18.2	16.5	10.3	45.0
平成27年（2015年）	14.1	12.2	12.9	17.5	15.6	10.7	43.8
平成28年（2016年）	13.4	12.0	13.9	16.7	14.7	10.2	41.6

（出典：一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査）

さらに同調査によると、50代～70代世代の飼育のきっかけは「生活に癒し・安らぎが欲しかったから」、「家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから」という回答が多く、子育てが一段落したところで犬の飼育を開始する傾向もみられる。飼育の阻害要因としては、「十分に世話ができないから」、「最後まで世話をする自信がないから」といった回答が多かった。また、あったらいいと思う飼育サービスとしては「旅行中や外出中の世話代行サービス」、「高齢で飼育不可能な場合の受入施設提供

サービス」、「飼育が継続不可能な場合の引き取り手
斡旋サービス」といった意見が多く出ている(表4)。

表4 犬の飼育阻害要因など年代別にみる特徴一覧(50代~70代)

年代	阻害要因 (犬)	あったらいいと思 う 飼育サービス	飼育のきっかけ (犬飼育者)
50代	①「十分に世話が できないから」: 28.5% ②「死ぬとかわい そうだから」: 23.8% ③「別れがづらい から」: 23.1%	①「旅行中や外出 中の世話代行 サービス」: 44.3% ②「飼育が継続不 可能な場合の 引き取り手斡 旋サービス」: 25.9% ③「健康保険料、 生命保険料など が減額になるサ ービス」:25.4%	①「生活に癒し・安 らぎが欲しかった から」:28.6% ②「以前飼っていた ペットが亡くな ったから」:21.6% ③「子供にせがまれ たから」:19.5%
60代	①「最後まで世話 をする自信がな いから」:28.0% ②「別れがづらい から」:27.3% ③「十分に世話が できないから」: 26.5% ④「死ぬとかわい そうだから」: 26.5%	①「旅行中や外出 中の世話代行サ ービス」:35.5% ②「高齢で飼育不 可能な場合の 受入施設提供 サービス」: 30.6% ③「飼育が継続不 可能な場合の 引き取り手斡 旋サービス」: 27.9%	①「以前飼っていた ペットが亡くな ったから」:35.5% ②「生活に癒し・安 らぎが欲しかった から」:26.6% ③「家族や夫婦間の コミュニケーション に役立つと思 ったから」: 18.2%
70代	①「最後まで世話 をする自信がな いから」: 42.1% ②「別れがづらい から」:32.4% ③「死ぬとかわい そうだから」: 31.2%	①「高齢で飼育不 可能な場合の 受入施設提供 サービス」: 48.8% ②「旅行中や外出 中の世話代行 サービス」: 40.7% ③「飼育が継続不 可能な場合の引 き取り手斡旋サ ービス」:39.9%	①「以前飼っていた ペットが亡くな ったから」:42.6% ②「生活に癒し・安 らぎが欲しかった から」:34.9% ③「家族や夫婦間の コミュニケーション に役立つと思 ったから」: 23.7%

(出典：一般社団法人ペットフード協会 平成28年全国犬猫飼育実態調査)

現在、人生100歳時代を迎え、50代~70代のペ
ット飼育者が20年後に70代、80代、90代になっ
ても伴侶動物との豊かな共生に癒しと安らぎを得
て、生涯にわたり終生飼養ができるようなサポート
が急務であり、今後、高齢者と高齢犬への飼育に関
するサポートの重要性が増すと考えている。

本学では、「(2)専門職短期大学教育研究と卒業後
の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育
研究と実習の充実」(P8)で記載した訪問看護・在
宅ケアができる動物看護師の必要性に着目した。

そのため、教育課程に訪問看護・在宅ケアを学修
する授業科目を配置し、飼い主に寄り添う訪問看護

や在宅ケアのできる動物看護師と、犬のデイケアサービスや老犬ホームなどの新しい分野を開拓し消費者（飼い主）と動物関連産業とを繋ぐ動物看護師を養成する教育機関が必要であるとの結論に至った。

また、本学園では、これまでもペット需要に対応し教育課程を柔軟に変更してきたが、専門職短期大学においても、ペットの需要の変化や業界の動向の変化を教育課程に反映させるため、教育課程連携協議会に動物病院の動向に詳しい構成員、ペットサロン・ペット用品・ペットフード販売などの動向に詳しい構成員、動物看護職の動向に詳しい構成員、今後さらなる発展が予想されるペット同伴宿泊施設に詳しい構成員、地域の代表となる地方公共団体の構成員を含めた。

本学では、教育課程連携協議会による意見をもとに、学内の教授会や教務委員会で教育課程を議論した上、業界の動向に対応した教育課程の具現化に努めることとする。

①書類等の題名

資料 1-1. 犬猫飼育頭数の推移

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

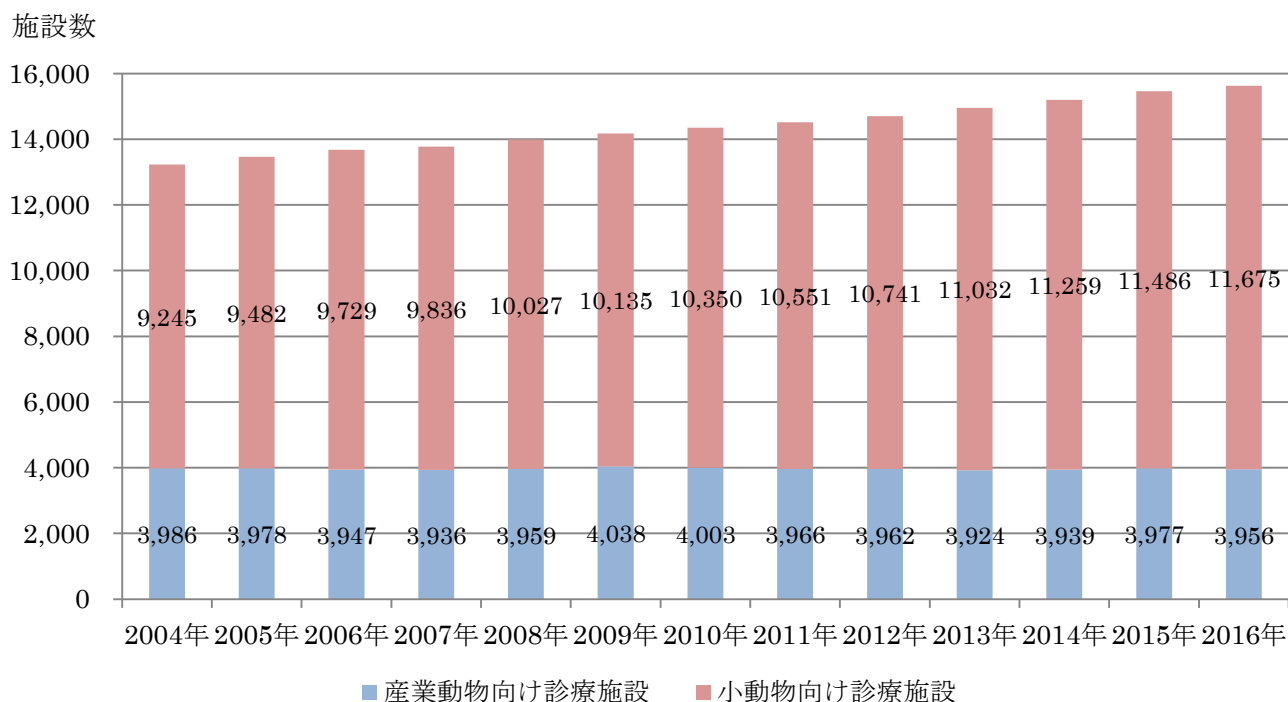
ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 21 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

- ・グラフの 2016 年度 犬・猫の数字を赤枠で囲んだ。
- ・表の 2016 年度 飼育頭数の数字を赤枠で囲んだ。

動物診療施設の推移状況について

動物診療施設数の推移



参考資料：農林水産省統計情報 飼育動物診療施設の開設届出状況（診療施設数）

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/animal/>（平成 29 年 11 月 14 日閲覧）

平成 28 年飼育動物診療施設の開設届出状況（診療施設数）は、産業動物向け診療施設 3,956 施設、小動物向け診療施設 11,675 施設で、合計 15,631 施設であり、特に小動物向け診療施設は年々増加傾向にある。

①書類等の題名

資料 1-3. ペット保険の市場規模推移と予想

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 177 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 1-4. ペット同伴宿泊施設の整備実態と利用者のニーズ

②出典

東海林 克彦 著

③書類等の利用範囲

「ペット・ツーリズムの適正推進方策に関する考察」

観光学研究 第 14 号 (2015 年 3 月発行) 39～49 ページのうち 44～45 ページを抜粋

https://toyo.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=7315&item_no=1&page_id=13&block_id=17

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

- ・「4. ペット同伴宿泊施設の整備実態と利用者ニーズ」「(1) 施設の整備状況」の上から 7 行目から 9 行目をピンク色で着色した。

①書類等の題名

資料 1-5. ペット葬送ビジネスの市場規模推移と予想

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 195 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 1-6. ペットビジネス市場の動向

②出典

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版

発行日：2017 年 3 月 6 日

発行所：株式会社矢野経済研究所

③書類等の利用範囲

ペットビジネスマーケティング総覧 2017 年版 15 ページ

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

<科目内容と科目区分が不適切>

「コンピューターリテラシーⅠ」と「コンピューターリテラシーⅡ」は、短期大学教育の水準としてふさわしい内容となっていないため、適切に改めること。また、基礎科目である「生活とアート」の授業科目の概要には、「職業専門科目において人と住環境について建築家から学ぶことを受け、デザイン力造形力を養い豊かな人間性を身に付ける」との説明となっているが、本科目に関連する職業専門科目が不明確なため明確にするとともに、本授業科目の概要では、専門職業科目の準備教育に相当する内容とも読み取れるため、本科目を基礎科目に配置することが適切なのかを説明するか、適切に改めること。

(対応)

ご指摘に従い、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」と「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の授業科目の概要を専門職短期大学の教育水準としてふさわしい内容に改める。

「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」（表1）では、与えられた課題を解決するためにコンピューターを駆使する知能や技能を学ぶこととし、コンピューターの動作原理、OSやソフトウェアの仕組み、ソフトウェアのインストール、アンインストール方法、文書や人の視覚に訴える見栄えの良い文書の作成、基本的な演算方法の修得から大量のデータを処理し必要な情報を取り出す方法などを学ぶこととする。

「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」（表2）では、ネットワークの仕組みを理解し、情報の信頼性を把握するスキル、情報に関するセキュリティや倫理に関する知識を身につけ、ネットワークを賢く生きていく術を学んでいく。また、ファイルの圧縮・拡張なども理解し円滑にファイルのやり取り等ができるよう知識を修得する。加えて情報をまとめ、自分の考えを含めて相手にわかりやすく伝える技術もソフトウェアを用いて行うこととする。

表1「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」の授業科目の概要

新	旧
与えられた課題を解決するためにコンピューターを駆使する知識や技能を学ぶ。コンピューターの基礎的な動作原理、機能に対する理解から、キーボードやマウス、プリンタ・スキャナなど周辺機器の扱い方、OSやソフトウェアの仕組み、ファイル・フォルダの扱い方、ソフトウェアのインストール・アンインストール方法、ソフトウェアを用いてデータや情報を演算	社会人としての基本スキルであるパソコン操作を身につける。 ビジネス文書の作成を文書作成ソフト Microsoft Word で表すことができるようにする。 データの集計等を行う知識を身につけるために表計算ソフト Microsoft Excel を使用できるようにする。

<p>処理させる方法を身につける。</p> <p>文書や人の視覚に訴える見栄えの良い文書の作成、基本的な演算方法の修得から大量のデータを処理し、必要な情報を取り出す方法も学んでいく。</p>	
---	--

表 2 「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の授業科目の概要

新	旧
<p>ネットワーク利用の技能の習得を目指す。ネットワークの仕組みを理解し、情報の信頼性を把握するスキル、情報に関するセキュリティや倫理に関する知識を身につけ、ネットワークを賢く生きていく術を学んでいく。</p> <p>SNS などに投稿する時やメール作成時に欠かせない知識を身につけ、倫理ある利用技術を修得していく。</p> <p>ファイルの圧縮・拡張子なども理解し、適切なファイル形式を理解し、円滑にファイルのやり取り等ができるよう知識を修得する。</p> <p>情報をまとめ、自分の考えを含めて相手にわかりやすく伝える技術もソフトウェアを用いて行うことも身につけていく。</p>	<p>社会人としてのネット利用時のマナーやビジネスメールの書き方を学ぶ。</p> <p>自分の知識や経験を発表することができるようプレゼンテーション用ソフト Microsoft PowerPoint で資料を作成し、プレゼンテーション力を身につける。</p>

「生活とアート」（表 3）については、補正申請において、展開科目から基礎科目へと科目区分を変更したが、授業科目の概要の見直しが不十分であった。

「本学の職業専門科目において人と住環境について建築家から学ぶ」という記載は、補正申請前の展開科目であった際に想定した内容であった。しかし、基礎科目へと科目区分を変更した後は、「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するための授業科目」という基礎科目の趣旨に鑑み、「生活とアート」に対応する職業専門科目は設けていない。

従って「生活とアート」は、職業専門科目を前提とした準備科目ではないため「生活とアート」の授業科目の概要を改め、人間がどのようにして生活の中で芸術作品を生み出してきたかを考察することで、芸術が人間生活に果たす役割を学習するという生涯にわたる教養を備えるための基礎科目に相応しい内容とする。

授業科目の概要を以下に示す。

表3 「生活とアート」の授業科目の概要

新	旧
<p>人間がどのようにして生活の中で芸術作品を生み出してきたかを考察することで、芸術が人間生活に果たす役割を学修する。そのために美術を中心に、古代から現代までのモニュメンタルな芸術作品や芸術家を取り上げ、美術史学の観点から講義をする。また通史が自然と理解できるよう、年代順に講義内容を構成している。</p> <p>芸術は人間の生活や精神を豊かにするものである。この講義を通して美術の見方や芸術への興味・関心を養うとともに、生涯にわたる教養を身につけることを目的とする。</p>	<p>アートは生活と職場を通して文化の一端をなし、本学の職業専門科目において人と住環境について建築家から学ぶこと等を受け、デザイン力造形力を養い豊かな人間性を身に付ける。</p> <p>卒業後は、動物病院やペット関連産業の分野で創造的な役割を果たせるよう学修する。</p> <p>また、動物看護は観察から始まるため、確かな観察眼と、事象を正確に伝達する表現力を育むことを狙いとする。</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (17 ページ)

新	旧
<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (2)教員の配置 ①基礎科目について (略)</p> <p>「コンピューターリテラシー (情報処理 I)」は、与えられた課題を解決するためにコンピューターを駆使する知能や技能を学ぶこととし、「コンピューターリテラシー (情報処理) II」は、ネットワークの仕組みを理解し、情報の信頼性を把握するスキル、情報に関するセキュリティや倫理に関する知識を身につけ、ネットワークを賢く生きていく術を学ぶ科目とする。いずれも専門学校での教育歴や実務経験を活かし、近藤美保子兼任講師が担当する。</p> <p>「生活とアート」は、人間がどのようにして生活の中で芸術作品を生み出してきたかを考察することで、芸術が人間生活に果たす役割を学修する科目として、ヤマザキ動物看</p>	<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (2)教員の配置 ①基礎科目について (略)</p> <p>「コンピューターリテラシー (情報処理 I)」、「コンピューターリテラシー (情報処理) II」は、専門学校での教育歴や実務経験を活かし、近藤美保子兼任講師が担当する。</p> <p>「生活とアート」は、事象を正確に伝達する表現力を育むことを養う科目として、ヤマザキ動物看護大学の斎藤康介氏が兼任講師として担当する。</p> <p>(略)</p>

護大学の斎藤康介兼任講師が担当する。	
--------------------	--

(略)

(是正事項) 動物トータルケア学科

3. 【全体計画審査意見5の回答について】

<展開科目の配置の考え方が不明確>

専門職短期大学設置基準第26条第2項第2号の規定では展開科目から15単位以上の修得が求められているところ、展開科目の科目配置が見直された結果、当初の10科目18単位から10科目17単位に変更されたが選択性が限定的となっている。明確なコース制をとらない計画であるものの、「動物看護」と「動物産業」の2つの進路選択が想定されているにも関わらず選択科目を限定して展開科目を配置している意義を明確にすること。なお、資料5-3の「動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている科目」において、「一日の業務の流れを把握する」と記載されており、基礎科目としてはふさわしくない到達目標が記載されているので改めること。

(対応)

ご指摘のとおり、展開科目の開講科目が10科目17単位と卒業要件として必要な15単位に比較して少ないので「死生学」、「医療安全」の2科目を追加し、12科目21単位(表1)とした。「死生学」では、人と動物の死を見つめ、死の視点から、生を考え、生きることの大切さについての認識を深める。社会科学的な観点から生と死に関する様々な知識を理解し、事例検討を重ねて豊かな想像力を養う。

人の「医療安全」では、まだ歴史の浅い職種である動物看護師が、人の病院内組織における医療の安全管理と医療に携わる者としての責任、医療現場におけるリスクマネジメントの基本的な原理、原則、予防対策、事故発生要因とメカニズムの分析、予防・対策の決定、事故発生後の対処行動・報告、記録方法、説明の仕方などを学習し、その創造的能力をもって「人と動物の医療安全」という領域を動物看護の現場で発展させていくことを目指す(表2)。

表1 専門職短期大学 展開科目の新旧一覧表

新		旧	
「ジェロントロジー」	2単位	「ジェロントロジー」	2単位
「社会福祉学」	2単位	「社会福祉学」	2単位
「少子高齢社会と人口問題」	1単位	「少子高齢社会と人口問題」	1単位
「高齢者心理」	2単位	「高齢者心理」	2単位
「死生学」(追加)	2単位		
「産業論」	2単位	「産業論」	2単位
「起業論」	2単位	「起業論」	2単位
「消費者行動分析学」	2単位	「消費者行動分析学」	2単位
「IT社会論」	1単位	「IT社会論」	1単位
「情報機器管理論」	1単位	「情報機器管理論」	1単位
「災害・危機管理論」	2単位	「災害・危機管理論」	2単位
「医療安全」(追加)	2単位		
合計 12科目	21単位	合計 10科目	17単位

表2 授業科目の概要

「死生学」	「医療安全」
<p>人と動物の死を見つめ、死の視点から、生を考え、生きることの大切さについての認識を深める。また、社会科学的な観点から生と死に関する様々な知識を理解し、事例検討を重ねて豊かな想像力を養う。人間にとって永遠のテーマである生と死の問題についてどう立ち向かうかを考え、死生観を学ぶことにより、問題対応能力を修得する。生と死を多様な価値観からとらえることのできる専門性を学び、変化に富む社会において長期的な活躍に資する応用力をより一層高めてゆくことを目的とする。</p>	<p>医療安全保障システムとしての人の病院内組織における医療の安全管理と医療に携わる者としての責任を学修する。医療現場におけるリスクマネジメントの基本的な原理、原則を学んだ上で、予防対策、事故発生要因とメカニズムの分析、予防・対策の決定、事故発生後の対処行動・報告、記録方法、説明の仕方など、ヒトの病院で実際にあった事故と実践例を交えて分かりやすく講義する。医療人あるいは医療現場にとって必要となる医療安全の考え方と危機管理対策について理解する。</p> <p>人間の医療現場での医療安全を学ぶことで動物医療現場において働く際の創造的能力を養うことを目的とする。</p>

また「動物看護」と「動物産業」の進路選択において、履修モデルにおける展開科目にほとんど差異が無かったため改めた。

「動物看護」の履修モデルでは、展開科目として「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」、「死生学」、「起業論」、「災害・危機管理論」、「医療安全」の8科目15単位を履修する。

「動物産業」の履修モデルでは、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」、「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」、「IT社会論」、「情報機器管理論」、「災害・危機管理論」の9科目15単位を履修する。

「動物看護」と「動物産業」の進路別履修モデルについては、資料3-1に示す。

補正申請の審査意見への対応資料5-3の「動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている科目」において、「一日の業務の流れを把握する」と記載しているが、ご指摘のとおり、「臨地実習1」と「臨地実習2」の到達目標としてはふさわしくないため、臨地実務実習における到達目標を以下のとおり改める。

補正申請の審査意見への対応資料5-3の「動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている科目」における「臨地実習1」の到達目標を、「1日の業務の流れを把握し、動物の取り扱い方、商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接遇マナーと受付、電話対応等を習得する。」に変更する。

「臨地実習2」の到達目標を、「業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得する。」に変更する（資料3-2）。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（12ページ）

新	旧
<p>2. 専門職短期大学及び学科の特色</p> <p>(1) 学科の特色</p> <p>動物トータルケア学科は動物看護学を基盤として、コンパニオンアニマルの訪問看護・在宅ケア及び飼い主と産業界を繋ぐ実践力を有する動物看護学教育に重点を置いている。また、本学科の大きな特色として、関連する他分野の展開科目があげられる。今まで動物看護教育ではあまり取り上げられてこなかった「ジェロントロジー」、「死生学」、「産業論」、「起業論」「消費者行動分析学」等の科目を配置し、職業専門科目で修得した動物看護の知識、技術をもってペットサロ</p>	<p>2. 専門職短期大学及び学科の特色</p> <p>(1) 学科の特色</p> <p>動物トータルケア学科は動物看護学を基盤として、コンパニオンアニマルの訪問看護・在宅ケア及び飼い主と産業界を繋ぐ実践力を有する動物看護学教育に重点を置いている。また、本学科の大きな特色として、関連する他分野の展開科目があげられる。今まで動物看護教育ではあまり取り上げられてこなかった「ジェロントロジー」、「産業論」、「起業論」「消費者行動分析学」等の科目を配置し、職業専門科目で修得した動物看護の知識、技術をもってペットサロン、ペットシ</p>

ン、ペットショップの開業の他、在宅ケアや動物関連企業での新たな事業展開を図り、将来の動物関連産業界を担い、発展させる人材に求められる能力を培う。	ョップの開業の他、在宅ケアや動物関連企業での新たな事業展開を図り、将来の動物関連産業界を担い、発展させる人材に求められる能力を培う。
--	--

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (15 ページ)

新	旧
<p>②教育課程の編成</p> <p>(略)</p> <p>・「展開科目」には、<u>動物看護師の自立と職域拡大をめざし</u>、現代社会の高齢化に対応する「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「高齢者心理」、「死生学」、「少子高齢社会と人口問題」、「医療安全」の科目を配置した。また、IT 社会や情報危機管理に対応するために「IT 社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置した。さらに、<u>動物関連産業の新たな分野を切り開くため</u>に「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」の科目を配置した。</p> <p>(略)</p>	<p>②教育課程の編成</p> <p>(略)</p> <p>・「展開科目」には、<u>動物看護師の自立と職域拡大をめざし</u>、現代社会の高齢化に対応する「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「高齢者心理」、「少子高齢社会と人口問題」の科目を配置した。また、IT 社会や情報危機管理に対応するために「IT 社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置した。さらに、<u>動物関連産業の新たな分野を切り開くため</u>に「産業論」、「企業論」、「消費者行動分析学」の科目を配置した。</p> <p>(略)</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (16 ページ)

新	旧
<p>(2)科目構成及び区分</p> <p>(略)</p> <p>・「展開科目」では、<u>訪問看護・在宅ケアを行う動物看護師</u>として職域を広げ、また、将来産業界を担い、産業界の発展に繋がる他分野の応用的な能力を養成することを目指して「少子高齢社会と人口問題」、「医療安全」、「IT 社会論」等の科目を配置する。</p> <p>(略)</p>	<p>(2)科目構成及び区分</p> <p>(略)</p> <p>・「展開科目」では、<u>訪問看護・在宅ケアを行う動物看護師</u>として職域を広げ、また、将来産業界を担い、産業界の発展に繋がる他分野の応用的な能力を養成することを目指して「少子高齢社会と人口問題」、「IT 社会論」等の科目を配置する。</p> <p>(略)</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (20 ページ)

新	旧
<p>(2)教員の配置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>③展開科目について</p> <p>「高齢者心理」は、高齢者の心理を理解するとともにアニマルセラピーの活用等も想定し、ヤマザキ動物看護大学 加藤理絵准教授が担当する。</p> <p>「死生学」は、人と動物の死を見つめ、死の視点から、生を考え、社会科学的な観点から生と死に関する様々な知識を理解し、事例検討を重ねて豊かな想像力を養うことを目指し、ヤマザキ動物看護大学 新島典子准教授が兼任として担当する。</p> <p>「医療安全」は、人の医療安全を学ぶことにより、動物看護師が創造的能力をもって「人と動物の医療安全」という領域を動物看護の現場で発展させていくことを目指し、東京薬科大学 今井達男氏が担当する。</p> <p>「産業論」は、長年に渡る産業経済論、中小起業論等の教育・研究歴が動物関連サービス業に繋がる本講義の構築に鑑み、実践女子大学人間社会学部 壘昭吉元教授が担当する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>(2)教員の配置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>③展開科目について</p> <p>「高齢者心理」は、高齢者の心理を理解するとともにアニマルセラピーの活用等も想定し、ヤマザキ動物看護大学 加藤理絵准教授が担当する。</p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <p>「産業論」は、長年に渡る産業経済論、中小起業論等の教育・研究歴が動物関連サービス業に繋がる本講義の構築に鑑み、実践女子大学人間社会学部 壘昭吉元教授が担当する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (56 ページ)

新	旧
<p>16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制</p> <p>(1)教育課程内の取組について</p> <p>①展開科目</p> <p>本学では職業専門科目において動物看護を基盤とした学修を行っている。主に3年次の展開科目(全科目選択)には関連する他分</p>	<p>16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制</p> <p>(1)教育課程内の取組について</p> <p>①展開科目</p> <p>本学では職業専門科目において動物看護を基盤とした学修を行っている。主に3年次の展開科目(全科目選択)には関連する他分</p>

<p>野の科目を配置することで動物看護師の職域を拡大する目的をもって社会的、職業的自立を目指す教育体制をとる。</p> <p>超高齢社会でペット産業の発展の一端を担う動物看護師は、「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」、「死生学」、「医療安全」の科目をとおして、<u>少子高齢化が進む社会を理解し、問題を解決する創造的能力を修得すること</u>を目指す。</p> <p>(略)</p>	<p>野の科目を配置することで動物看護師の職域を拡大する目的をもって社会的、職業的自立を目指す教育体制をとる。</p> <p>超高齢社会でペット産業の発展の一端を担う動物看護師は、「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」の科目をとおして、<u>少子高齢化が進む社会を理解し、問題を解決する創造的能力を修得すること</u>を目指す。</p> <p>(略)</p>
---	--

動物看護 履修モデル(動物病院へ就職)

	1年次						2年次						3年次						
	前期			後期			前期			後期			前期			後期			
	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	
基礎科目	生命倫理学	必	2	社会学	選	2				生活とアート	選	2							
	心理学	選	2	キャリアマネジメント	選	2													
	英語 I	必	0	英語 I	必	2													
	コミュニケーション論	選	2																
	コンピューターリテラシー(情報処理) I	必	1																
職業専門科目	講義	動物看護学概論	必	2	動物形態機能組織学	必	2	動物臨床看護学(外科)	必	2	動物看護ソーシャルワーク	必	2	動物人間関係学	必	2	動物愛護・福祉と関連法規	必	1
		動物形態機能学	必	2	動物病理学	必	1	訪問動物看護学	必	2	動物臨床栄養学	必	2	産業・実験動物学	必	2			
		動物臨床看護学(基礎・内科)	必	2	動物感染症学	必	2	動物薬理学	必	2	野生動物学	必	1						
		動物生理・繁殖学	必	2	動物臨床検査学	必	2	動物トータルライフ環境論	必	2									
		公衆衛生学	必	2	動物行動学	必	2	コンパニオンドックトレーニング論	必	2									
	伴侶動物学	必	2			動物飼育管理論	必	2											
	コンパニオンアニマルケア論	必	2																
	実習	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物形態機能学・組織学実習	必	1	動物臨床看護学(外科)実習	必	0	動物臨床看護学(外科)実習	必	2						
		動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	2	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	0	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	3						
		動物臨床検査学実習	必	1	動物臨床検査学実習	必	1	コンパニオンドックトレーニング実習	必	0	コンパニオンドックトレーニング実習	必	3						
コンパニオンアニマルケア実習(基礎)		必	0	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	必	3													
				臨地実習1/臨地実習2	必	1	臨地実習1/臨地実習2	必	1	臨地実習3	必	4	臨地実習4	必	4	臨地実習5	選	5	
展開科目							社会福祉学	選	2	高齢者心理	選	2	ジェロントロジー	選	2	少子高齢社会と人口問題	選	1	
												災害・危機管理論	選	2	死生学	選	2		
														起業論	選	2			
														医療安全	選	2			
総合科目						動物トータルケア総合演習1	必	0	動物トータルケア総合演習1	必	1	動物トータルケア総合演習2	必	0	動物トータルケア総合演習2	必	1	合計単位数	
小計	—	21	—	23	—	15	—	22	—	12	—	14	107						

: 卒業に必要な選択科目

動物産業 履修モデル(動物関連企業へ就職)

	1年次						2年次						3年次						
	前期			後期			前期			後期			前期			後期			
	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	科目名	必・選	単位数	
基礎科目	生命倫理学	必	2	社会学	選	2	英語Ⅱ	選	1										
	心理学	選	2	キャリアマネジメント	選	2	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ	選	1										
	コミュニケーション論	選	2	英語Ⅰ	必	2													
	英語Ⅰ	必	0																
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ	必	1																
職業専門科目	講義	動物看護学概論	必	2	動物形態機能組織学	必	2	動物臨床看護学(外科)	必	2	動物看護ソーシャルワーク	必	2	動物人間関係学	必	2	動物愛護・福祉と関連法規	必	1
		動物形態機能学	必	2	動物病理学	必	1	訪問動物看護学	必	2	動物臨床栄養学	必	2	産業・実験動物学	必	2			
		動物臨床看護学(基礎・内科)	必	2	動物感染症学	必	2	動物薬理学	必	2	野生動物学	必	1						
		動物生理・繁殖学	必	2	動物臨床検査学	必	2	動物トータルライフ環境論	必	2									
		公衆衛生学	必	2	動物行動学	必	2	コンパニオンドックトレーニング論	必	2									
	伴侶動物学	必	2				動物飼育管理論	必	2										
	コンパニオンアニマルケア論	必	2																
	実習	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物形態機能学・組織学実習	必	1	動物臨床看護学(外科)実習	必	0	動物臨床看護学(外科)実習	必	2						
		動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	0	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必	2	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	0	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	必	3						
		動物臨床検査学実習	必	0	動物臨床検査学実習	必	1	コンパニオンドックトレーニング実習	必	0	コンパニオンドックトレーニング実習	必	3						
コンパニオンアニマルケア実習(基礎)		必	0	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	必	3													
臨地実習1/臨地実習2		必	1	臨地実習1/臨地実習2	必	1	臨地実習3	必	1	臨地実習4	必	4	臨地実習6	選	5				
展開科目							社会福祉学	選	2	高齢者心理	選	2	産業論	選	2	少子高齢社会と人口問題	選	1	
												災害・危機管理論	選	2	起業論	選	2		
													消費者行動分析学	選	2	IT社会論	選	1	
														情報危機管理論	選	1			
総合科目						動物トータルケア総合演習1	必	0	動物トータルケア総合演習1	必	1	動物トータルケア総合演習2	必	0	動物トータルケア総合演習2	必	1	合計単位数	
小計	—	21	—	23	—	—	17	—	—	20	—	—	12	—	—	14	107		

緑色: 卒業に必要な選択科目

ディプロマポリシー	能力	到達目標 (大項目)	到達目標 (小項目)	科目区分	該当科目	単位数	開講時期
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・動物看護師としての倫理を身に付ける。 ・潜在的・顕在的に疾病・障害をもつ動物の反応が理解できる。</p>	(1)生命の尊さを学ぶ一方で、如何に判断し、行動すべきかを理解する。	<p>職業専門科目</p>	動物看護学概論	2	1前
			<p>(2)生物学的構造や機能を知り、その面から対象動物を理解する。</p>		動物人間関係学	2	3前
					産業・実験動物学	2	
			<p>(3)動物看護師は対象動物の観察から始まるため、動物の反応を正確および客観的に状況を理解する。</p>		動物愛護・福祉と関連法規	1	3後
					<p>(4)動物看護師の目線で、ケアを前提として、疾病や障害や反応を客観的に把握する技量を持つ。</p>	動物形態機能学	2
動物生理・繁殖学	2						
<p>(5)疾病の成り立ちを理解する。</p>	動物形態機能組織学	2	1後				
	動物形態機能学・組織学実習(実習)	1					
<p>・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。 ・動物在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p>	<p>応用的能力</p>	<p>・修得した知識を応用して予測をふまえたケアプランが立てられる。 ・科学的なケア技術を修得し、工夫ができる。 ・飼い主への指導・相談技術を修得する。</p>	(1)問題解決能力を持つ。		動物行動学	2	1前
			<p>(2)動物看護の創造力、今後の健康問題がどのように変化するかしないかを理解する。</p>		伴侶動物学	2	1後
					動物飼育管理論	2	2前
			<p>(1)科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術:再評価)</p>		動物臨床看護学(基礎・内科)	2	1前
					コンパニオンアニマルケア論	2	
			<p>(2)合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物臨床看護学(基礎・内科)実習	2	1通
					動物臨床検査学	2	1後
			<p>飼い主自身が個別にケア出来るように具体的な指導を可能にする。</p>	動物臨床検査学実習	1		
				動物病理学	1	1後	
			動物感染症学	2			
			<p>動物トータルライフ環境論</p>	動物薬理学	2	2前	
				動物トータルライフ環境論	2	2前	
				訪問動物看護学	2		
				コンパニオンドックトレーニング論	2		
				動物看護ソーシャルワーク	2	2後	
野生動物学	1						
環境生物学	1						
動物トータルライフ演習	2	3前					
公衆衛生学	2	1前					
動物臨床看護学(外科)	2	2前					
コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	3	1通					
コンパニオンアニマルケア実習(応用)	3	2通					
動物臨床看護学(外科)実習	2	2後					
動物臨床栄養学	2						
動物リハビリテーション論	2	3前					
動物口腔ケア論	1						
コンパニオンドックトレーニング実習	3	2通					
動物口腔ケア実習	1	3後					

動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている科目（基礎科目・臨地実務実習・展開科目・総合科目編）

ディプロマポリシー	能力	目的	到達目標	科目区分	該当科目	単位数	開講時期								
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・社会的・職業的自立を図るために必要な能力に加え、生涯にわたり自らの資質を向上させるために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(1)生命の尊さを学ぶとともに、如何に判断し、行動すべきかを理解する。	<p>基礎科目</p>	生命倫理学	2	1前								
			心理学		2	1前									
			社会学		2	1後									
			キャリアマネジメント		2	1後									
			コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ		1	1前									
			コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ		1	2前									
			コミュニケーション論		2	1前									
			英語Ⅰ		2	1通									
			英語Ⅱ		1	2前									
			生活とアート		2	2後									
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・社会的・職業的自立を図るために必要な能力に加え、生涯にわたり自らの資質を向上させるために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(1) 臨地実習1 1日の業務の流れを把握し、動物の取り扱い方、商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接遇マナーと受付、電話対応等を習得する。 臨地実習2 業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得する。	<p>臨地実務実習</p>	臨地実習1 シンヤ・ドッグ・ビューティー	1	1後・2前								
			臨地実習2 アニマル・メディカル・センター		1										
			<p>・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p>		<p>応用的能力</p>	<p>・特定の職業（職種）において必要とされる理論的かつ実践的能力に加え、当該職業の分野についてその分野全般にわたり必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(2)動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図る。	<p>臨地実務実習</p>	臨地実習3 動物病院	4	2後				
							(3)スタッフとの適切なコミュニケーションを図る。また初任者レベルの顧客への対応をする。		臨地実習4 動物関連企業	4	3前				
							(3)飼い主と市場をつなぐ動物看護師の役割を考える。		臨地実習5 動物病院（選択）	5	3後				
							(4)これまでに学修した知識や実践力をもとに顧客への対応を学ぶ。		臨地実習6 動物関連企業（選択）	5	3後				
							<p>・動物在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p>		<p>応用的能力</p>	<p>・専攻する特定の職業分野に関連する他分野の応用的能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(5)現代社会の高齢化に対応する。	<p>展開科目</p>	ジェロントロジー	2	3前
											<p>(7)動物関連産業の新たな分野を切り開く。</p>		社会福祉学	2	2前
			高齢者心理		2	2後									
			少子高齢社会と人口問題		1	3後									
死生学	2	3後													
IT社会論	1	3後													
情報危機管理論	1	3後													
災害・危機管理論	2	3前													
医療安全	2	3後													
産業論	2	3前													
起業論	2	3後													
消費者行動分析学	2	3前													
<p>・修得した知識・技能等を総合し、実践的かつ応用的な、能力を総合的に高めることを目的とする。</p>	<p>総合科目</p>	<p>(8)知識・技能を総合し今後動物看護師に必要な能力を向上させる。</p>	動物トータルケア総合演習1	2	2通										
			動物トータルケア総合演習2	2	3通										

(是正事項) 動物トータルケア学科

4. 【全体計画審査意見7(2)の回答について】

<臨地実務実習の運用方針が不明確>

臨地実務実習を業種別に3区分に整理されているが、例えば、業種別分類番号1のペットサロンと業種別分類番号2のペットホテルは1施設で併設している場合があると考えられる。このため業種別分類番号の1～3の施設を学生の実習先として振り分けを行ったとしても類似の実習先となることが懸念される。このため、学生が多様な実習を経験できるよう、実質的に複数の異なる施設で実習が可能となるよう運用方針を明確にすること。また、「臨地実習1」、「臨地実習3」、「臨地実習4」に掲げる到達目標として、実習施設の「一日の業務の流れを把握する」などとなっており、専門職短期大学の臨地実務実習の水準として適切と言えないため改めること。その際、到達目標は、履修年次や同じ業務区分であっても実習施設の業種が異なれば到達目標も異なると考えられるため改めること。なお、関東圏以外の遠方の実習施設を確保する必要性と、学生の負担が過度なものでないことや教員の巡回指導が可能であることを説明すること。

(対応)

ご指摘のとおり、「臨地実習4」における実習先の振り分けに係る運用方法を以下のとおり明確にする。

以下の業種別分類番号1のペットサロンと業種別分類番号2のペットホテルは併設されている場合があることから、ペットホテルが併設されている業種別分類番号1のペットサロンに配属した場合は、もう一つの配属先は、業種別分類番号2のペットホテル以外の施設、もしくは業種別分類番号3に配属することとする。

業 種 別 分 類 番 号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

ご指摘の「臨地実習1」、「臨地実習3」、「臨地実習4」に掲げる到達目標を以下のとおり改める(表1)。

【臨地実務実習の教育内容】

「臨地実習1」

【到達目標】

「臨地実習1」では、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの1日の業務の流れを把握し、動物の取り扱い方、商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接遇マナーと受付、電話対応等を習得することを到達目標とする、に修正した。

「臨地実習 3」

【到達目標】

「臨地実習 3」では、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図り、院内清掃、電話対応、診療準備、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務等動物看護師に必要な業務全般を修得することを到達目標とする、に修正した。

「臨地実習 4」

【到達目標】

「臨地実習 4」では「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図り必要な業務全般を修得することを到達目標とする。

上記の到達目標の上に、さらに業種別に以下の到達目標を加える。

- ・ペットサロン、ペットショップにおいては、店の開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。
- ・訓練施設においては、しつけの方法、開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。
- ・老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な実務を学ぶ。
- ・ペット同伴宿泊施設においては、ペット向けサービス提供の実務を学ぶ。
- ・その他のペット関連企業においては、店の開店準備、商品知識、閉店作業等の実務を学ぶ。
- ・動物関連団体においては、イベント等の準備、補助事務等の実務を学ぶに修正した。

表 1 「臨地実習 1・3・4」の到達目標

新	旧
<p>「臨地実習 1」 【到達目標】</p> <p>「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの1日の業務の流れを把握し、<u>動物の取り扱い方、商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接遇マナーと受付、電話対応等を習得することを到達目標とする。</u></p>	<p>「臨地実習 1」 【到達目標】</p> <p>「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの1日の業務の流れを把握することを到達目標とする。</p>
<p>「臨地実習 3」 【到達目標】</p>	<p>「臨地実習 3」 【到達目標】</p>

<p>「臨地実習 3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図り、<u>院内清掃、電話対応、診療準備、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務等動物看護師に必要な業務全般を修得することを到達目標とする。</u></p>	<p>「臨地実習 3」では、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。</p>
<p>「臨地実習 4」 【到達目標】 「臨地実習 4」は「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図り<u>必要な業務全般を修得することを到達目標とする。</u> 上記の到達目標に、さらに業種別に以下の到達目標を加える。 ・<u>ペットサロン、ペットショップにおいて、店の開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。</u> ・<u>訓練施設においては、しつけの方法、開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。</u> ・<u>老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な実務を学ぶ。</u> ・<u>ペット同伴宿泊施設においては、ペット向けサービス提供の実務を学ぶ。</u> ・<u>その他のペット関連企業においては、店の開店準備、商品知識、閉店作業等の実務を学ぶ。</u> ・<u>動物関連団体においては、イベント等の準備、補助事務等の実務を学ぶ。</u></p>	<p>「臨地実習 4」 【到達目標】 「臨地実習 4」では「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。</p>

関東圏（1都6県）以外の臨地実務実習先については、学生の負担を考慮し、原則として臨地実務実習先から除外する（表 2）。ただし、リゾート地にあるペット同伴宿泊施設及び公益財団法人日本盲導犬協会日本盲導犬総合センター（以下、日本盲導犬総合センター）は例外的に関東圏以外でも実習先として残すこととする（表 3）。従って、1都6県外として臨地実務実習先から除外する施設は表 2 のとおり、10 施設である。

実習先として残す理由は、ペット同伴宿泊施設については、今後さらに発展が予想される業種であり、ペットと人との共生に繋がる、ペットと人が共に癒される環境づくりや対

応を学ぶことができる上に、動物看護師に必要なホスピタリティを学ぶことができる重要な実習施設だと考えているからである。また、動物関連団体の日本盲導犬総合センターについては、盲導犬の視覚障がい者への普及啓発、繁殖・出産、盲導犬育成、共同訓練、引退した犬のケアなどを学べる日本でも数少ない貴重な実習先だからである。

しかし、遠距離にある実習先のため、学生に過度な負担をかけないようにできるだけ配慮を行う。具体的にはペット同伴宿泊施設と日本盲導犬総合センターについては、両施設とも宿泊を伴うため、宿泊先の手配については教職員が行うこととする。なお、両施設とも、臨地実務実習中は無料の宿泊施設が提供されることから、学生の宿泊費に関する負担はない。また、学生が実習期間に自宅に帰れないことによるストレスも考えられるので、実習指導担当者と電話やメールで相談できるような体制をとる。

巡回指導については、ペット同伴宿泊施設は、全 11 施設のうち関東圏以外（静岡、山梨、長野）に位置するのは 7 施設（表 3）と全実習施設数のうち少数である。また、日本盲導犬総合センターについては、1 施設で比較的関東圏から近い静岡県である。これらの実習施設への巡回指導については、特定の教員に偏らないようにし、教員が負担を感じないように配慮する。

表 2 1 都 6 県外の実習施設のため臨地実務実習先から除外する動物関連企業一覧

業種	NO	補正申請 施設番号	会社名	所在地	削除理由	
(1) ペットサロン・ ペットショップ	ペットサロン	1	244	株式会社ワンダードック	北海道札幌市	1都6県外
	ペットショップ	2	319	ペットエコ 中山店	宮城県仙台市	
	ペットショップ	3	320	ペットエコ仙台 松森店	宮城県仙台市	
	ペットショップ	4	321	ペットエコ泉パークタウン タビオ店	宮城県仙台市	
	ペットショップ	5	322	ペットエコ ザ・モール長町店	宮城県仙台市	
	小計	5施設				
(2) ペットホテル・ 訓練施設・老犬 ホーム・ペット同伴 施設	訓練施設	6	328	株式会社プレイボウ PLAYBOW 大阪松屋町店	大阪府大阪市	1都6県外
	訓練施設	7	333	有限会社ドッグライフ	北海道札幌市	
	老犬ホーム	8	337	株式会社老犬ホームトップ ※	熊本県菊池市	
	小計	3施設				
(3) その他ペット 関連企業・動物愛 護団体	ペットフード販売	9	351	ディスワン小牧店	愛知県小牧市	1都6県外
	ペット用品販売	10	360	GREEN DOG 牧方	大阪府枚方市	
	小計	2施設				
合計	10施設					
※実習指導者の記載がない						

表3 例外的に臨地実務実習先から除外しない1都6県外の動物関連企業一覧

業種	NO	補正申請 施設番号	会社名	所在地	
(2) ペットホテル・ 訓練施設・老犬 ホーム・ペット同伴 宿泊施設	ペット同伴宿泊施設	1	339	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート富士	山梨県南都留郡富士河口湖町
	ペット同伴宿泊施設	2	341	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート御影用水	長野県北佐久郡軽井沢町
	ペット同伴宿泊施設	3	342	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート蓼科	長野県茅野市
	ペット同伴宿泊施設	4	343	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート旧軽井沢	長野県北佐久郡軽井沢町
	ペット同伴宿泊施設	5	346	株式会社ペリークルーズ 修善寺 絆	静岡県伊豆市
	ペット同伴宿泊施設	6	348	株式会社ペリークルーズ フェニックススウィング白馬	長野県北安曇郡白馬村
	ペット同伴宿泊施設	7	349	株式会社共立メンテナンス(ルシアン旧軽井沢)	長野県北佐久郡軽井沢町
	小計	7施設			
(3) その他ペット 関連企業・ 動物関連団体	動物関連団体	1	412	公益財団法人日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センター	静岡県富士宮市
	小計	1施設			
合計	8施設				

なお、是正事項4で除外した1都6県以外の10施設、是正事項5で除外した動物看護師の指導者がいない施設や経験年数が3年未満の62施設、ペット関連業務を専門に行っていない19施設を合計すると91施設を除外することになる。しかし、(表4)のとおり動物病院165施設、動物関連企業等は160施設あり、再補正申請時においても十分な実習先を確保している。

表4 再補正申請時の臨地実務実習先

分野	実習先	施設数		
		補正 申請時	除外分	再補正 申請時
動物病院	動物病院	227	62	165
動物関連企業等	(1) ペットサロン・ペットショップ	96	5	91
	(2) ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設	26	3	23
	(3) その他のペット関連企業・動物関連団体	67	21	46
	動物関連企業等小計	189	29	160
合計		416	91	325

新	旧
<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画(1)学科の特色</p> <p>(1) 臨地実務実習の目的</p> <p>(略)</p> <p>「臨地実習 1」</p> <p>1 年次夏季休暇または 1 年次春季休暇に校舎 (1 号館) に併設されているペットサロンで 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。</p> <p>動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1 日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。</p> <p>臨地実務実習時間は 3 日間 (1 日 7 時間) の他に、事前教育 3 時間、見学実習 3 時間、事後教育 3 時間、計 30 時間である。</p> <p>【到達目標】</p> <p>「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの 1 日の業務の流れを把握し、動物の取り扱い方、商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を習得することを到達目標とする。</p> <p>(略)</p> <p>「臨地実習 3」</p> <p>動物病院において、8 日間ずつ 2 か所の動物病院で臨地実務実習を行う。</p> <p>小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。</p> <p>院内清掃、電話対応、診療準備、診療補</p>	<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画(1)学科の特色</p> <p>(1) 臨地実務実習の目的</p> <p>(略)</p> <p>「臨地実習 1」</p> <p>1 年次夏季休暇または 1 年次春季休暇に校舎 (1 号館) に併設されているペットサロンで 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。</p> <p>動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1 日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。</p> <p>臨地実務実習時間は 3 日間 (1 日 7 時間) の他に、事前教育 3 時間、見学実習 3 時間、事後教育 3 時間、計 30 時間である。</p> <p>【到達目標】</p> <p>「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの 1 日の業務の流れを把握することを到達目標とする。</p> <p>(略)</p> <p>「臨地実習 3」</p> <p>動物病院において、8 日間ずつ 2 か所の動物病院で臨地実務実習を行う。</p> <p>小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。</p> <p>院内清掃、電話対応、診療準備、診療補</p>

助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日×2 病院（1 日 7 時間）の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

【到達目標】

「臨地実習 3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図り、院内清掃、電話対応、診療準備、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務等動物看護師に必要な業務全般を修得することを到達目標とする。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で 8 日間ずつ、2 か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。補正申請時の是正事項 7 の (1) でも説明したとおり、表 5 の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる 2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適性等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日間×2 社（1 日 7 時間）の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

なお、業種別分類番号 1 のペットサロンと業種別分類番号 2 のペットホテルは併設されている場合があることから、ペットホテルが併設されている業種別分類番号 1 の

助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日×2 病院（1 日 7 時間）の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

【到達目標】

「臨地実習 3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で 8 日間ずつ、2 か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。是正事項 7 の (1) でも説明したとおり、(表 3) の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる 2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日間×2 社（1 日 7 時間）の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

ペットサロンに配属した場合は、もう一つの配属先は、業種別分類番号2のペットホテル以外の施設、もしくは業種別分類番号3に配属することとする。

表5 (再掲)

業 種 別 分 類 番 号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

【到達目標】

「臨地実習4」は「臨地実習1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図り必要な業務全般を修得することを到達目標とする。

上記の到達目標に、さらに業種別に以下の到達目標を加える。

- ・ペットサロン、ペットショップにおいては、店の開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。
- ・訓練施設においては、しつけの方法、開店準備から閉店作業等の実務を学ぶ。
- ・老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な実務を学ぶ。
- ・ペット同伴宿泊施設においては、ペット向けサービス提供の実務を学ぶ。
- ・その他のペット関連企業においては、店の開店準備、商品知識、閉店作業等の実務を学ぶ。
- ・動物関連団体においては、イベント等の準備、補助事務等の実務を学ぶ。

表3

業 種 別 分 類 番 号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

【到達目標】

「臨地実習4」では「臨地実習1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。

(略)

(2)臨地実務実習先の確保の状況

本学園は、日本ではじめて動物看護及びケアという領域の職業を確立し、以来 50 年にわたり動物関連産業及び多数の動物関連団体と深い絆を結んできた。とりわけ、山崎薫理事長は、環境省中央環境審議会 動物愛護部会委員や公益財団法人日本動物愛護協会理事、一般財団法人動物看護師統一認定機構理事、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン顧問等を務め、公益社団法人日本動物福祉協会新東京支部を拝命する他、一般社団法人日本ペットフード協会、一般財団法人日本ヘルスケア協会等の動物関連団体と信頼できる就職のネットワークを築いている。動物病院及び動物関連企業と長年にわたる交流があり、その結果、臨地実務実習先として全国 325 施設（表 8）、全学生 240 人分の承諾を得ている。なお、1 都 6 県からの進学者が見込まれることや教員の巡回指導及び学生の移動方法に鑑み、原則として 1・2 年次は 1 都 6 県を中心に臨地実務実習に参加することとする。1 都 6 県の臨地実務実習先は 193 件であるため、実習先は十分に確保されている。

表 8 再補正申請時の臨地実務実習先

分野	実習先	施設数		
		補正申請時	除分	再補正申請時
動物病院	動物病院	227	62	165
動物関連企業等	(1) ペットサロン・ペットショップ	36	5	31
	(2) ペットホテル・訓練施設・犬犬ホーム・ペット同伴宿泊施設	26	3	23
	(3) その他のペット関連企業・動物関連団体	67	21	46
	動物関連企業等小計	129	29	100
合計		416	91	325

実習中は、臨地実務実習委員会の立案した計画に従い、専任教員全員が担当地域を効率的に巡回する。1 学年 80 人の学生を対象に教員 1 人あたりが 6～7 名のローテーションとなる。完成年度は 240 人の学生が夏季と春季に

(略)

(2)臨地実務実習先の確保の状況

本学園は、日本ではじめて動物看護及びケアという領域の職業を確立し、以来 50 年にわたり動物関連産業及び多数の動物関連団体と深い絆を結んできた。とりわけ、山崎薫理事長は、環境省中央環境審議会 動物愛護部会委員や公益財団法人日本動物愛護協会理事、一般財団法人動物看護師統一認定機構理事、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン顧問等を務め、公益社団法人日本動物福祉協会新東京支部を拝命する他、一般社団法人日本ペットフード協会、一般財団法人日本ヘルスケア協会等の動物関連団体と信頼できる就職のネットワークを築いている。動物病院及び動物関連企業と長年にわたる交流があり、その結果、臨地実務実習先として全国 434 施設、全学生 240 人分の承諾を得ている。なお、1 都 6 県からの進学者が見込まれることや教員の巡回指導及び学生の移動方法に鑑み、原則として 1・2 年次は 1 都 6 県を中心に臨地実務実習に参加することとする。1 都 6 県の臨地実務実習先は 193 件であるため、実習先は十分に確保されている。

実習中は、臨地実務実習委員会の立案した計画に従い、専任教員全員が担当地域を効率的に巡回する。1 学年 80 人の学生を対象に教員 1 人あたりが 6～7 名のローテーションとなる。完成年度は 240 人の学生が夏季と春季に

それぞれ実習することとなるが、実際には 1 施設に数人の学生が実習を行う。教員 1 人当たり 20 人の学生を担当するため、綿密な巡回計画を立案することで教員の負担を軽減する。

なお、関東圏以外のペット同伴宿泊施設と日本盲導犬総合センター（表 9）については、両施設とも宿泊を伴う実習先ため、宿泊先の手配については教職員が行うこととする。両施設とも、臨地実務実習中は無料の宿泊施設が提供されることから、学生の宿泊費に関する負担はない。また、学生が実習期間に自宅に帰れないことによるストレスも考えられるので、実習指導担当者と電話やメールで相談できるような体制をとる。

巡回指導については、ペット同伴宿泊施設は、全 11 施設のうち関東圏以外（静岡、山梨、長野）に位置するのは 7 施設（表 9）と全実習施設数のうち少数である。また、日本盲導犬総合センターについては、1 施設で比較的関東圏から近い静岡県である。これらの実習施設への巡回指導については、特定の教員に偏らないようにし、教員が負担を感じないように配慮する。

表 9 例外的に臨地実務実習先から除外しない 1 都 6 県外の動物関連企業一覧

それぞれ実習することとなるが、実際には 1 施設に数人の学生が実習を行う。教員 1 人当たり 20 人の学生を担当するため、綿密な巡回計画を立案することで教員の負担を軽減する。

業種	NO	修正申請 項目番号	会社名	所在地
建設業 （建設業） （建設業）	1	336	東京建設ビルド株式会社（シーアジール）富士	山梨県東御市富士西之郷町
	2	340	東京建設ビルド株式会社（シーアジール）御前町	長野県北佐久郡軽井沢町
	3	342	東京建設ビルド株式会社（シーアジール）豊秋	長野県豊秋町
	4	343	東京建設ビルド株式会社（シーアジール）志保林沢	長野県北佐久郡軽井沢町
	5	346	株式会社（リバーローズ）浅草町 2 組	神奈川県宮崎
	6	348	株式会社（リバーローズ）フェニックスフェイヴル台馬	長野県北佐久郡軽井沢町
	7	349	株式会社（英五）シチズンズ（リバーローズ）浅草町 2 組	長野県北佐久郡軽井沢町
			1 棟計	
建設業 （建設業） （建設業）	1	412	公益財団法人日本建築士協会 日本建築士協会センター	神奈川県横浜市
			1 棟計	
			6 棟計	

5. 【全体計画審査意見7 (3) の回答について】

＜実習指導体制が不十分＞

実習指導者について、「経験年数が1～2年の者の実習先は削除した」としているが、「臨地実務実習施設の概要」の書類では、いまだに実務経験年数が2年の者が含まれ、また、実習指導者の記載がないものがあるため改めること。また、「臨地実務実習施設の概要」の実習施設の「その他のペット関連企業」として記載されている施設の中には、ペット関連業務を専門に行っていないと考えられる施設があるため改めること。また、養成する人材像に鑑みれば、動物病院の実習指導者には動物看護師が必要であるが、記載がない施設があるため改めること。

(対応)

ご指摘のとおり、実務経験年数3年未満の指導者が含まれている動物病院が2施設(表1)、また、動物看護師の指導者がいない動物病院60施設(表2)について実習先から除外する。なお、動物看護師の実習指導者が複数おり、指導者の一部が経験年数3年未満の動物看護師がいる動物病院及び動物関連企業の合計7施設に関しては3年未満の動物看護師を実習指導者から除外した上、実習先として残す(表3)。

また、実習指導者の記載のない実習先「株式会社老犬ホームトップ」については、熊本県の施設のため、1都6県以外の施設として、是正事項4で除外している。

なお、これらを除外すると臨地実務実習先の動物病院は、合計165施設となるが、資料5-1の臨地実務実習ローテーション表(1か所につき1人)のとおり、臨地実務実習を円滑に運用することができる。運用方法として、「臨地実習3」(8日間ずつ2か所)を例にすると、80人の学生が8日間ずつ1か所目(オレンジ)及び2か所目(グリーン)で実習したとしても165施設内で終了する。「臨地実習5」(7日間ずつ3か所)を例にすると、80人の学生が7日間ずつ1か所目(イエロー)、2か所目(ブルー)及び3か所目(グリーン)で実習したとしても165施設内で終了する。「臨地実習3」及び「臨地実習5」を同時に実施した場合も円滑に運用することができる。

また、29施設を除外すると臨地実務実習先の動物関連企業等は、合計160施設となるが、資料5-2の臨地実務実習ローテーション表のとおり、臨地実務実習を円滑に運用することができる。運用方法として、「臨地実習4」(8日間ずつ2か所)を例にすると、80人の学生が8日間ずつ1か所目のペットショップ・ペットサロンは1名(オレンジ)及び2か所目のペット用品販売は2名(グリーン)で実習したとしても160施設内で終了する。「臨地実習6」(7日間ずつ3か所)を例にすると、80人の学生が7日間ずつ1か所目のペットショップ・ペットサロンは1名(イエロー)、2か所目のペット用品販売は2名(グリーン)及び3か所目の動物関連施設は4名(イエロー)で実習したとしても160施設内で終了する。「臨地実習4」及び「臨地実習6」を同時に実施した場合も円滑に運用することができる。

動物看護師の実務経験が3年以下のため、臨地実務実習先から除外した動物病院一覧				
表1				
業種	NO	補正申請 施設番号	動物病院名	除外理由
動物病院	1	27	結城チロロ動物病院	実務経験が3年以下
	2	193	ヴィアーレ動物病院	実務経験が3年以下
合計			2施設	

表2 動物看護師の指導者が不在のため、臨地実務実習先から除外した動物病院一覧

業種	NO	補正申請 施設番号	動物病院名	除外理由	業種	NO	補正申請 施設番号	動物病院名	除外理由
動物病院	1	4	森下動物病院	動物看護師の指導者が不在	動物病院	31	104	オアシス動物病院	動物看護師の指導者が不在
	2	6	土田動物病院			32	116	本間動物病院世田谷病院	
	3	8	砧愛犬病院			33	120	ナガイ動物病院	
	4	10	キロロ動物病院			34	129	ピア動物医療センター	
	5	14	ごんた動物病院			35	141	フォレスト動物病院	
	6	16	コトブキ獣医科医院			36	142	かむい動物病院	
	7	18	おくだ動物病院			37	143	バンダ動物病院	
	8	19	可愛動物病院			38	145	有限会社松本動物病院	
	9	24	緑ヶ丘動物病院			39	155	成城こぼやし動物病院	
	10	28	ライオン動物病院			40	162	高野動物病院	
	11	37	高橋動物病院			41	165	マスタガ動物病院	
	12	47	夜間救急動物病院目黒			42	173	品川性原どうぶつ病院	
	13	50	アルト動物病院			43	174	一歩性原 動物医療センター 動物医療センター 動物医療センター	
	14	51	あきやま動物病院			44	176	ねもと犬猫病院	
	15	52	有限会社 川口動物医療センター			45	181	ハルベッククリニック	
	16	55	網代動物病院			46	182	有限会社 福沢動物病院	
	17	58	府中ウィリアム動物病院			47	183	ヘイタウンベッククリニック	
	18	60	けやき動物病院			48	190	モリヤ動物病院 中町センター病院	
	19	64	保田動物病院			49	203	ながいき動物病院	
	20	66	くさか動物病院			50	204	モリヤ動物病院 つきみ野病院	
	21	70	おのた動物病院			51	212	有限会社ブルーム のかみ動物病院	
	22	72	朝陽動物病院			52	217	あずさわ動物病院	
	23	77	やまと動物病院			53	220	イオン動物病院 日の出	
	24	80	有限会社 みなみ野動物病院			54	221	アテナ動物病院 テラスモール湘南	
	25	83	葉山動物病院			55	222	イオン動物病院 与野	
	26	85	アニーマどうぶつ病院			56	223	相模原どうぶつ医療センター	
	27	86	さくら動物病院			57	224	ベッククリニック サービスmom-one	
	28	90	松尾犬猫病院			58	225	イオン動物病院 柏	
	29	95	みつはし動物病院			59	226	イオン動物病院 柏	
	30	96	聖母坂どうぶつ病院			60	227	イオン動物病院 千葉ニュータウン	
					合計 60施設				

表3 実習指導者の一部に実務経験3年未満の指導者が含まれる臨地実務実習施設一覧

業種	No	補正申請 施設番号	病院名・企業名	全指導者数	実務経験3年未満 の指導者数	
動物病院	1	171	やまなか動物病院	3	1	
動物関連企業	(1)	2	242	Dog Place Oasis	2	1
		3	310	ペットエコ横浜 湘南店	3	1
		4	325	株式会社ツルサービスのんびーはうす	3	1
	(2)	5	329	PLAYBOW 稲城店	3	1
		6	330	PLAYBOW 向ヶ丘遊園店	2	1
	(3)	7	362	GREEN DOG 代官山	2	1
	合計			7施設		

ご指摘に従い、一部にペット関連業務を行っているが、専門には行ってはいないと考えられるドラッグストア、建設企業、消毒薬製造企業の19施設については、臨地実務実習先から除外する(表4)。

業種	NO	補正申請 施設番号	会社名	所在地	除外理由	
(3) その他 ペット関連企業・ 動物愛護団体	ドラッグストア	1	388	マツモトキヨシ王子店	東京都北区	ペット関連業務を 専門としていない
	ドラッグストア	2	389	マツモトキヨシ大袋駅西口店	埼玉県越谷市	
	ドラッグストア	3	390	マツモトキヨシ上尾ショーサン通り店	埼玉県上尾市	
	ドラッグストア	4	391	マツモトキヨシ綾瀬店	東京都足立区	
	ドラッグストア	5	392	マツモトキヨシ荒川南千住店	東京都荒川区	
	ドラッグストア	6	393	マツモトキヨシ与野本町店	埼玉県さいたま市	
	ドラッグストア	7	394	マツモトキヨシ新松戸駅前店	千葉県松戸市	
	ドラッグストア	8	395	マツモトキヨシハケ崎店	千葉県松戸市	
	ドラッグストア	9	396	マツモトキヨシ北習志野駅前店	千葉県船橋市	
	ドラッグストア	10	397	マツモトキヨシ小金原店	千葉県松戸市	
	ドラッグストア	11	398	マツモトキヨシ西船橋店	千葉県船橋市	
	ドラッグストア	12	399	マツモトキヨシフルフルガーデン八千代店	千葉県八千代市	
	ドラッグストア	13	400	マツモトキヨシパーク千城台店	千葉県千葉市	
	ドラッグストア	14	401	マツモトキヨシペリエ西千葉店	千葉県千葉市	
	ドラッグストア	15	402	マツモトキヨシ佃二丁目店	東京都中央区	
	ドラッグストア	16	403	マツモトキヨシ南青山店	東京都港区	
	ドラッグストア	17	404	マツモトキヨシ仲宿店	東京都板橋区	
	建設	18	407	株式会社佐藤秀	東京都新宿区	
	消毒薬	19	408	イカリ消毒(株)	千葉県習志野市	
合計	19施設					

是正事項4で除外した1都6県以外の10施設、是正事項5で除外した動物看護師の経験年数が3年未満の2施設、動物看護師の指導者がいない60施設、ペット関連業務を専門に行っていない19施設を合計すると91施設を除外することになる。しかし、表5のとおり動物病院165施設、動物関連企業等は160施設あり、再補正申請時においても十分な実習先を確保している。

表 5 再補正申請時の臨地実務実習先

分野	実習先		施設数		
			補正申請時	除外分	再補正申請時
動物病院	動物病院		227	62	165
動物関連企業等	(1)	ペットサロン・ペットショップ	96	5	91
	(2)	ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設	26	3	23
	(3)	その他のペット関連企業・動物関連団体	67	21	46
	動物関連企業等小計		189	29	160
合計			416	91	325

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (46～47 ページ)

新	旧
<p>(略)</p> <p>臨地実務実習先の動物病院は、合計 165 施設となるが、資料 30-3 の臨地実務実習ローテーション表 (1 か所につき 1 人) のとおり、臨地実務実習を円滑に運用することができる。運用方法として、「臨地実習 3」(8 日間ずつ 2 か所) を例にすると、80 人の学生が 8 日間ずつ 1 か所目 (オレンジ) 及び 2 か所目 (グリーン) で実習したとしても 165 施設内で終了する。「臨地実習 5」(7 日間ずつ 3 か所) を例にすると、80 人の学生が 7 日間ずつ 1 か所目 (イエロー)、2 か所目 (ブルー) 及び 3 か所目 (グリーン) で実習したとしても 165 施設内で終了する。「臨地実習 3」及び「臨地実習 5」を同時に実施した場合も円滑に運用することができる。</p> <p>また、臨地実務実習先の動物関連企業等は、合計 160 施設となるが、資料 30-4 の臨地実務実習ローテーション表のとおり、臨地実務実習を円滑に運用することができ</p>	<p>(略)</p> <p>(追加)</p>

<p>る。運用方法として、「臨地実習 4」（8日間ずつ2か所）を例にすると、80人の学生が8日間ずつ1か所目のペットショップ・ペットサロンは1名（オレンジ）及び2か所目のペット用品販売は2名（グリーン）で実習したとしても160施設内で終了する。「臨地実習 6」（7日間ずつ3か所）を例にすると、80人の学生が7日間ずつ1か所目のペットショップ・ペットサロンは1名（イエロー）、2か所目のペット用品販売は2名（グリーン）及び3か所目の動物関連施設は4名（イエロー）で実習したとしても160施設内で終了する。「臨地実習 4」及び「臨地実習 6」を同時に実施した場合も円滑に運用することができる。</p>	
---	--

（新旧対照表）臨地実務実習施設の確保状況説明書

新	旧
<p>臨地実習 1 1施設 施設番号 184</p>	<p>臨地実習 1 1施設 施設番号 247</p>
<p>臨地実習 3 165施設 旧施設番号 4、6、8、10、14、16、 18、19、24、27、28、37、47、50、51、52、55、 58、60、64、66、70、 72、77、80、83、85、86、90、95、 96、104、116、120、129、141、142、 143、145、155、162、165、173、174、176、181、 182、183、190、193、203、204、212、217、220、 221、222、223、224、225、226、227 を削除 施設番号 1～165</p>	<p>臨地実習 3 227施設 施設番号 1～227</p>
<p>臨地実習 4 160 旧施設番号 244、319、320、321、322、328、333、 337、351、360、388、389、390、391、392、393、 394、395、396、397、398、399、400、401、402、 403、404、407、408 を削除 施設番号 166～325</p>	<p>臨地実習 4 189 施設番号 228～416</p>

<p>臨地実習 5 165</p> <p>旧施設番号 4、6、8、10、14、16、 18、19、24、27、28、37、47、50、51、52、55、 58、60、64、66、70、 72、77、80、83、85、86、90、95、 96、104、116、120、129、141、142、 143、145、155、162、165、173、174、176、181、 182、183、190、193、203、204、212、217、220、 221、222、223、224、225、226、227 を削除</p> <p>施設番号 1～165</p> <p>臨地実習 6 160</p> <p>旧施設番号 244、319、320、321、322、328、333、 337、351、360、388、389、390、391、392、393、 394、395、396、397、398、399、400、401、402、 403、404、407、408 を削除</p> <p>施設番号 166～325</p>	<p>臨地実習 5 227</p> <p>施設番号 1～227</p> <p>臨地実習 6 189</p> <p>施設番号 228～416</p>
<p>受入学生・時間数 小計</p> <p>臨地実習 3 57,344 人・時間</p> <p>臨地実習 4 63,056 人・時間</p> <p>臨地実習 5 75,264 人・時間</p> <p>臨地実習 6 73,500 人・時間</p>	<p>受入学生・時間数 小計</p> <p>臨地実習 3 80,192 人・時間</p> <p>臨地実習 4 69,328 人・時間</p> <p>臨地実習 5 105,252 人・時間</p> <p>臨地実習 6 81,291 人・時間</p>
<p>受入予定学生・時間数計</p> <p>必修 124,240 人・時間</p> <p>選択 148,764 人・時間</p> <p>自由 0 人・時間</p> <p>合計 273,004 人・時間</p>	<p>受入予定学生・時間数計</p> <p>必修 153,360 人・時間</p> <p>選択 186,543 人・時間</p> <p>自由 0 人・時間</p> <p>合計 339,903 人・時間</p>

(新旧対照表) 隣地実務実習施設一覧

新	旧
<p>旧施設番号 4、6、8、10、14、16、 18、19、24、27、28、37、47、50、51、52、55、 58、60、64、66、70、 72、77、80、83、85、86、90、95、 96、104、116、120、129、141、142、 143、145、155、162、165、173、174、176、181、 182、183、190、193、203、204、212、217、220、 221、222、223、224、225、226、227、244、319、</p>	<p>施設番号 1～416</p>

320、321、322、328、333、337、351、360、388、 389、390、391、392、393、394、395、396、397、 398、399、400、401、402、403、404、407、408 を削除 施設番号 1～325	
受入れ予定学生・時間数の合計 273,004 人・時間 うち必修科目分 124,240 人・時間 うち選択科目分 148,764 人・時間 うち自由科目分 0 人・時間	受入れ予定学生・時間数の合計 339,903 人・時間 うち必修科目分 153,360 人・時間 うち選択科目分 186,543 人・時間 うち自由科目分 0 人・時間
主な実習場所の面積の合計 175,510 m ² うち必修科目分 175,510 m ² うち選択科目分 175,510 m ² うち自由科目分 0 m ²	主な実習場所の面積の合計 199,965 m ² うち必修科目分 199,965 m ² うち選択科目分 199,965 m ² うち自由科目分 0 m ²

(新旧対照表) 臨地実務実習施設の概要

新	旧
施設数 325 やまなか動物病院 (削除) 小南真耶 井上美佳 Dog Place Oasis (削除) 山崎舞子 ペットエコ横浜 湘南店 工藤昌弘 菊地芳彦 (削除) 株式会社ツルサービス のんぴーはうす 石橋亮太 高梨美千代 (削除)	施設数 416 やまなか動物病院 岩永今日子 小南真耶 井上美佳 Dog Place Oasis 五十嵐朱里 山崎舞子 ペットエコ横浜 湘南店 工藤昌弘 菊地芳彦 川口丈人 株式会社ツルサービス のんぴーはうす 石橋亮太 高梨美千代 櫻井直哉

<p>PLAYBOW 稲城店</p> <p>景山絵梨</p> <p>清水正人</p> <p>(削除)</p>	<p>PLAYBOW 稲城店</p> <p>景山絵梨</p> <p>清水正人</p> <p>佐藤瑠海</p>
<p>PLAYBOW 向ヶ丘遊園店</p> <p>(削除)</p> <p>古閑真子</p>	<p>PLAYBOW 向ヶ丘遊園店</p> <p>景山絵梨</p> <p>古閑真子</p>
<p>GREENDOG 代官山</p> <p>(削除)</p> <p>山口加奈子</p>	<p>GREENDOG 代官山</p> <p>壺谷美和</p> <p>山口加奈子</p>

臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	アニマルメディカルセンター	1		6		11
2	コンパニオン・アニマル・センター	2		7		12
3	アマノ動物病院	3		8		13
4	有限会社磯貝動物病院	4		9		14
5	ハロー動物病院新鎌ヶ谷分院	5		10		15
6	ゼファー動物病院	6		11		16
7	木もれ陽動物病院	7		12		17
8	高木動物病院	8		13		18
9	カトウ獣医科クリニック	9		14		19
10	横浜青葉どうぶつ病院	10		15		20
11	アルフベッククリニック	11		16		21
12	よしだ動物病院	12		17		22
13	フローラル動物病院	13		18		23
14	さきがおか動物病院	14		19		24
15	いしじま動物病院	15		20		25
16	市原・山口動物病院	16		21		26
17	田中動物病院	17		22		27
18	アステール動物病院	18		23		28
19	戸田動物病院	19		24		29
20	美園どうぶつ病院	20		25		30
21	後藤動物病院	21		26		31
22	イーリスベッククリニック	22		27		32
23	東いわつき動物病院	23		28		33
24	みさと動物病院	24		29		34
25	どうぶつクリニックNEXT	25		30		35
26	けやき動物病院富士見	26		31		36
27	動物病院くまごろう	27		32		37
28	みねぎし動物病院	28		33		38
29	エルザ動物小鳥の病院	29		34		39
30	小動物診療所	30		35		40
31	株式会社ワイ・エイ・シーようが動物病院	31		36		41
32	本駒込動物病院	32		37		42
33	ひばり動物病院	33		38		43
34	赤羽ベッククリニック	34		39		44
35	梅島動物病院	35		40		45
36	駒沢どうぶつ病院	36		41		46
37	かいぬま動物病院	37		42		47
38	とりうみ動物病院	38		43		48
39	ふく動物病院	39		44		49
40	チコラ動物病院	40		45		50
41	みなみ小金井動物病院	41		46		51
42	ボウズ動物病院	42		47		52
43	ココ動物病院	43		48		53
44	動物病院 川越	44		49		54
45	株式会社T2コーポレーションたはら動物病院	45		50		55
46	有限会社国領動物病院	46		51		56
47	富士見台どうぶつ病院	47		52		57
48	株式会社船橋どうぶつ病院	48		53		58
49	岡部獣医科病院	49		54		59
50	ぬのかわ犬猫病院	50		55		60
51	吉田動物病院	51		56		61
52	本郷獣医科病院	52		57		62
53	ヴァンケット動物病院	53		58		63
54	ロイヤルペットクリニック 西馬込病院	54		59		64
55	サム動物病院	55		60		65
56	動物病院ヘルペット	56		61		66
57	池田動物病院成城通り	57		62		67
58	溝の口犬猫病院	58		63		68
59	かのベッククリニック	59		64		69
60	仲野どうぶつ病院	60		65		70
61	ハリーベッククリニック	61		66		71
62	むかい猫と犬の病院	62		67		72
63	木村動物病院	63		68		73
64	松原ベッククリニック	64		69		74
65	セラピスト動物病院	65		70		75
66	有限会社 ませ動物病院	66		71		76
67	池田動物病院	67		72		77
68	有限会社古谷動物病院	68		73		78
69	湘南なぎさ動物病院	69		74		79
70	桜ヶ丘どうぶつ病院	70		75		80
71	久米川みどり動物病院	71		76		
72	セキ動物病院	72		77		
73	辻堂犬猫病院	73		78		
74	広尾動物病院	74		79		
75	JOY動物病院	75		80		
76	株式会社フェイス1 竹原獣医科医院	76			1	
77	かぶくん動物病院	77			2	
78	アリーズ動物病院	78			3	
79	東京ウエスト動物病院	79			4	
80	野毛坂どうぶつ病院	80			5	
81	越谷動物医療センター		1		6	
82	葉山どうぶつ病院		2		7	

臨地実習3・5 学生ローテーション表

No.	研修場所	臨地実習3(8日間ずつ2か所)		臨地実習5(7日間ずつ3か所)		
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
83	とねり動物病院		3		8	
84	大泉動物病院		4		9	
85	ビジョン動物愛護病院(鳩ヶ谷院)		5		10	
86	ノブ動物病院		6		11	
87	中田動物病院		7		12	
88	アニマルクリニックこばやし		8		13	
89	みつわ台動物病院		9		14	
90	アン動物病院		10		15	
91	松本動物病院		11		16	
92	オアシス動物病院		12		17	
93	上田動物病院		13		18	
94	アニホスフォレスト株式会社 Pet Clinicアニホス		14		19	
95	西湘動物病院		15		20	
96	有限会社いちかわ動物病院		16		21	
97	マーブル動物医療センター		17		22	
98	野田動物病院		18		23	
99	指扇ペットクリニック		19		24	
100	リバーズ動物病院		20		25	
101	七光台どうぶつ病院		21		26	
102	有限会社サワムラベッツ 沢村獣医科病院		22		27	
103	谷口動物病院		23		28	
104	動物病院NORIKO		24		29	
105	ワシントン動物病院		25		30	
106	コトー動物病院		26		31	
107	井上動物病院		27		32	
108	かわはら動物病院		28		33	
109	一之江どうぶつ病院		29		34	
110	マリーナストリートおかだ動物病院		30		35	
111	水上犬猫鳥の病院		31		36	
112	てらぞの動物病院		32		37	
113	ベルノス動物病院		33		38	
114	新習志野どうぶつ病院		34		39	
115	千歳船橋あむ動物病院		35		40	
116	藤の花どうぶつ病院		36		41	
117	公益財団法人日本小動物医療センター		37		42	
118	海浜動物医療センター		38		43	
119	はやし動物病院		39		44	
120	城山通りどうぶつ病院		40		45	
121	つなしま動物病院		41		46	
122	吉祥寺どうぶつ病院		42		47	
123	株式会社日本動物医療センター		43		48	
124	石黒動物病院		44		49	
125	よしむら動物病院		45		50	
126	七里動物病院		46		51	
127	ワラビー動物病院		47		52	
128	モフ動物病院		48		53	
129	一般社団法人 東京城南地域獣医療推進協会 TRVA夜間救急動物医療センター		49		54	
130	エルム動物病院		50		55	
131	多摩クラーク動物病院		51		56	
132	株式会社GRAND DESIGN明和動物愛護病院		52		57	
133	株式会社マイクレスト クレスト動物病院		53		58	
134	関水動物病院		54		59	
135	有限会社 福沢動物病院		55		60	
136	新浦安太田動物病院		56		61	
137	ハダ動物病院		57		62	
138	あさか台動物病院		58		63	
139	アニムペットクリニック		59		64	
140	西荻動物病院		60		65	
141	上石神井動物病院		61		66	
142	ワラビー動物病院グループ はとがや動物病院		62		67	
143	どうぶつ眼科 Eye Vet		63		68	
144	合同会社 ゆう動物クリニック		64		69	
145	株式会社港北どうぶつ病院		65		70	
146	くみ動物病院		66		71	
147	株式会社ZR オールペットクリニック		67		72	
148	タムどうぶつ病院		68		73	
149	山田動物病院		69		74	
150	湖畔どうぶつ病院		70		75	
151	山本どうぶつ病院		71		76	
152	有限会社さがみ中央動物医療センター		72		77	
153	ブライト動物病院		73		78	
154	向平動物病院		74		79	
155	株式会社Vets United アリサ動物病院		75		80	
156	高ヶ坂動物病院		76			1
157	株式会社FIELD 森の樹どうぶつ病院		77			2
158	高橋動物病院		78			3
159	Willどうぶつ病院		79			4
160	習志野動物医療センター りょう動物病院		80			5
161	グリーン動物病院 グリーン鳥の病院			1		6
162	目黒洗足動物病院			2		7
163	畑沢動物病院			3		8
164	小鳥のセンター病院			4		9
165	動物のセンター病院			5		10

臨地実習4・6 学生ローテーション表

(ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

			臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
	会社名	業種(詳細)	A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
1	株式会社サンリングペットサロンSIT	ペットサロン	1		12		
2	ペットサロン モグMOGU	ペットサロン	2		13		
3	ペットの保育園Will	ペットサロン	3		14		
4	トリミングスタジオ Oasis	ペットサロン	4		15		
5	Pet's Life	ペットサロン	5		16		
6	ドッグサロンLC	ペットサロン	6		17		
7	PET SALON KUMIKO	ペットサロン	7		18		
8	Supreme maihama studio(シュプリーム舞浜スタジオ)	ペットサロン	8		19		
9	株式会社 BELL-PET(ベルペット)	ペットサロン	9		20		
10	株式会社ワイズドギー 渋谷西武モントウトウ	ペットサロン	10		21		
11	グルーミングサロングリム	ペットサロン	11		22		
12	Anier(アニエル)	ペットサロン	12		23		
13	Pet Salon Jupiter(ペットサロンジュピター)	ペットサロン	13		24		
14	Dog Grooming Salon cotaz(コタズ)	ペットサロン	14		25		
15	DogPlaceOasis(ドッグプレイスオアシス)	ペットサロン	15		26		
16	ペットサロンうちの仔	ペットサロン	16		27		
17	株式会社DLC DOGLIFE(川口店)	ペットサロン	17		28		
18	株式会社DLC DOGLIFE(浦和店)	ペットサロン	18		29		
19	シブヤ・ドッグ・ビューティー	ペットサロン	19		30		
20	アトリエモモワン	ペットサロン	20		31		
21	ペットショップジュニア池袋	ペットショップ	21		32		
22	株式会社オーグ・うさぎのしっぽ横浜店	ペットショップ	22		33		
23	株式会社モントウトウ	ペットショップ	23		34		
24	ペットの専門店コジマ新宿店	ペットショップ	24		35		
25	ペットの専門店コジマ八王子店	ペットショップ	25		36		
26	ペットの専門店コジマ松戸店	ペットショップ	26		37		
27	ペットの専門店コジマ竹ノ塚店	ペットショップ	27		38		
28	ペットの専門店コジマ青戸店	ペットショップ	28		39		
29	ペットの専門店コジマ浦和店	ペットショップ	29		40		
30	ペットの専門店コジマ花小金井店	ペットショップ	30		41		
31	ペットの専門店コジマ大宮店	ペットショップ	31		42		
32	ペットの専門店コジマ目黒店	ペットショップ	32		43		
33	ペットの専門店コジマ相模原店	ペットショップ	33		44		
34	ペットの専門店コジマ川越店	ペットショップ	34		45		
35	ペットの専門店コジマ洗足店	ペットショップ	35		46		
36	ペットの専門店コジマ足立店	ペットショップ	36		47		
37	ペットの専門店コジマ高井戸店	ペットショップ	37		48		
38	ペットの専門店コジマ中野店	ペットショップ	38		49		
39	ペットの専門店コジマ三軒茶屋店	ペットショップ	39		50		
40	ペットの専門店コジマ阿佐ヶ谷店	ペットショップ	40		51		
41	ペットの専門店コジマ新小岩店	ペットショップ	41		52		
42	ペットの専門店コジマ板橋店	ペットショップ	42		53		
43	ペットの専門店コジマ練馬店	ペットショップ	43		54		
44	ペットの専門店コジマ亀戸店	ペットショップ	44		55		
45	ペットの専門店コジマ三郷店	ペットショップ	45		56		
46	ペットの専門店コジマアリオ葛西店	ペットショップ	46		57		
47	ペットの専門店コジマベイタウン横浜本牧店	ペットショップ	47		58		
48	ペットの専門店コジマアリオ柏店	ペットショップ	48		59		
49	ペットの専門店コジマ西篠崎店	ペットショップ	49		60		
50	ペットの専門店コジマアリオ蘇我店	ペットショップ	50		61		
51	ペットの専門店コジマアリオ西新井店	ペットショップ	51		62		
52	ペットの専門店コジマアリオ市原店	ペットショップ	52		63		
53	ペットの専門店コジマフォルテ津田沼店	ペットショップ	53		64		
54	ペットの専門店コジマ六本木店	ペットショップ	54		65		
55	ペットの専門店コジマアリオ深谷店	ペットショップ	55		66		
56	ペットの専門店コジマアリオ橋本店	ペットショップ	56		67		
57	ペットの専門店コジマ国分寺店	ペットショップ	57		68		
58	ペットの専門店コジマ府中店	ペットショップ	58		69		
59	ペットの専門店コジマアリオ北砂店	ペットショップ	59		70		
60	ペットの専門店コジマモラージュ菖蒲店	ペットショップ	60		71		
61	ペットの専門店コジマイアスつくば店	ペットショップ	61		72		
62	ペットの専門店コジマ田端店	ペットショップ	62		73		
63	ペットの専門店コジマアリオ亀有店	ペットショップ	63		74		
64	ペットの専門店コジマ蕨錦町店	ペットショップ	64		75		
65	ペットの専門店コジマ和光店	ペットショップ	65		76		
66	アサヒペット株式会社 都築店	ペットショップ	66		77		
67	アサヒペット株式会社 多摩店	ペットショップ	67		78		
68	アサヒペット株式会社 湘南店	ペットショップ	68		79		
69	アサヒペット株式会社 MARK IS みなとみらい店	ペットショップ	69		80		
70	アサヒペット株式会社 港北ニュータウン店	ペットショップ	70				
71	アサヒペット株式会社 トレッサ横浜店	ペットショップ	71				
72	アサヒペット株式会社 二俣川本店	ペットショップ	72				
73	DOG'S CARE JOKER 六本木ヒルズ店	ペットショップ	73				
74	DOG&CAT JOKER ららぽーと柏の葉店	ペットショップ	74				
75	DOG&CAT JOKER ららぽーと横浜店	ペットショップ	75				
76	ジョーカー そごう横浜店	ペットショップ	76				
77	DOG&CAT JOKER そごう大宮店	ペットショップ	77				
78	JOKER DOG&CAT AVENUE 二子玉川店	ペットショップ	78				
79	DOG&CAT JOKER むさし村山店	ペットショップ	79				
80	ヨネヤマプランテーション本店	ペットショップ	80				

臨地実習4・6 学生ローテーション表

(ペットショップ・サロンは1名、ペット用品販売は2名、動物関連施設は4名で設定)

	会社名	業種(詳細)	臨地実習4 (8日間ずつ2か所)		臨地実習6 (7日間ずつ3か所)		
			A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
81	ペットエコ横浜 港北ニュータウン店	ペットショップ			1		
82	ペットエコ横浜 湘南店	ペットショップ			2		
83	ペットエコ横浜 都築店	ペットショップ			3		
84	ペットエコ横浜 多摩店	ペットショップ			4		
85	ペットエコ横浜 世田谷店	ペットショップ			5		
86	ペットエコDOP 元住吉店	ペットショップ			6		
87	ペットエコ トレッサ横浜店	ペットショップ			7		
88	ペットエコDOP 大口店	ペットショップ			8		
89	ペットエコ横浜 上大岡店	ペットショップ			9		
90	ペットエコ 多摩本店	ペットショップ			10		
91	吉田観賞魚販売(ヨンダ・フィッシュファームズ)	ペットショップ			11		
92	クラブケンケン 田園調布店	ペットホテル					1 24 47
93	株式会社ツルーサービス	ペットホテル					2 25 48
94	大井警察犬訓練所	訓練施設					3 26 49
95	株式会社フロムパピー ファミリーナガーデン南青山	訓練施設					4 27 50
96	株式会社プレイボウ PLAYBOW 稲城店	訓練施設					5 28 51
97	株式会社プレイボウ PLAYBOW 向ヶ丘遊園店	訓練施設					6 29 52
98	株式会社プレイボウ PLAYBOW 中目黒店	訓練施設					7 30 53
99	株式会社 Animal Life Solutions	訓練施設					8 31 54
100	デイケアガーデングリーングラスロッジ	老犬ホーム					9 32 55
101	老犬ホームあしあと	老犬ホーム					10 33 56
102	DOG PARTNERS	老犬ホーム					11 34 57
103	東京ペットホーム	老犬ホーム					12 35 58
104	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート富士	宿泊施設					13 36 59 70
105	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート箱根雲外荘	宿泊施設					14 37 60 71
106	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート御影用水	宿泊施設					15 38 61 72
107	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート蓼科	宿泊施設					16 39 62 73
108	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート旧軽井沢	宿泊施設					17 40 63 74
109	株式会社ベリークルーズ しぶこえ館山	宿泊施設					18 41 64 75
110	株式会社ベリークルーズ 御宿海岸	宿泊施設					19 42 65 76
111	株式会社ベリークルーズ 修善寺 絆	宿泊施設					20 43 66 77
112	株式会社ベリークルーズ 鬼怒川 絆	宿泊施設					21 44 67 78
113	株式会社ベリークルーズ フェニックスウイング白馬	宿泊施設					22 45 68 79
114	株式会社共立メンテナンス(ルシアン旧軽井沢)	宿泊施設					23 46 69 80
115	フリーステッチ	ペット用品開発		1 47		13 53	
116	ZOO JAPAN CO.,LTD.	ペット用品販売		2 48		14 54	
117	ZOO新大久保	ペット用品販売		3 49		15 55	
118	ZOO四ツ谷	ペット用品販売		4 50		16 56	
119	ZOO恵比須	ペット用品販売		5 51		17 57	
120	ZOO六本木	ペット用品販売		6 52		18 58	
121	ZOO新宿	ペット用品販売		7 53		19 59	
122	ZOO渋谷サロン	ペット用品販売		8 54		20 60	
123	GREEN DOG SQUARE	ペット用品販売		9 55		21 61	
124	GREEN DOG 東京ミッドタウン	ペット用品販売		10 56		22 62	
125	GREEN DOG 代官山	ペット用品販売		11 57		23 63	
126	GREEN DOG 湘南	ペット用品販売		12 58		24 64	
127	ビューティプラステラスモール湘南	ペット用品販売		13 59		25 65	
128	イオンペット テラスモール湘南	ペット用品販売		14 60		26 66	
129	イオンしつけ教室 浦和美園	ペット用品販売		15 61		27 67	
130	イオンペットビューティサロン 浦和美園	ペット用品販売		16 62		28 68	
131	イオンペット 浦和美園	ペット用品販売		17 63		29 69	
132	イオンペットビューティサロンペコスレイクタウン	ペット用品販売		18 64		30 70	
133	PECOS レイクタウン	ペット用品販売		19 65		31 71	
134	ペテモ 与野	ペット用品販売		20 66		32 72	
135	ペテモビューティサロン 与野	ペット用品販売		21 67		33 73	
136	イオンペットビューティサロン 相模原	ペット用品販売		22 68		34 74	
137	イオンペット 相模原	ペット用品販売		23 69		35 75	
138	相模原どうぶつ医療センターしつけ教室	ペット用品販売		24 70		36 76	
139	ペットインロイヤル幕張新都心	ペット用品販売		25 71		37 77	
140	ドッグトレーニング ペコス幕張新都心店	ペット用品販売		26 72		38 78	
141	イオンペットビューティサロンペコス幕張新都心店	ペット用品販売		27 73		39 79	
142	イオン動物医療センター幕張新都心(介護)	ペット用品販売		28 74		40 80	
143	pecos 幕張新都心	ペット用品販売		29 75		41	
144	イオンペット 柏	ペット用品販売		30 76		42	
145	イオンペットビューティサロン 柏	ペット用品販売		31 77		43	
146	イオンペットビューティサロン 千葉ニュータウン	ペット用品販売		32 78		44	
147	イオンペット 千葉ニュータウン	ペット用品販売		33 79		45	
148	ペテモ 日の出	ペット用品販売		34 80		46	
149	イオンしつけ教室 日の出	ペット用品販売		35		1 47	
150	ペテモビューティサロン 日の出	ペット用品販売		36		2 48	
151	東武乗馬クラブ&クレイン	乗馬施設		37		3 49	
152	株式会社湘南動物プロダクション	動物レンタル		38		4 50	
153	アニコム損害保険株式会社	ペット保険		39		5 51	
154	ペットメディカルサポート株式会社	ペット保険		40		6 52	
155	公益財団法人日本動物愛護協会	ペット関連団体		41		7	
156	公益財団法人日本盲導犬協会	ペット関連団体		42		8	
157	社会福祉法人日本介助犬協会	ペット関連団体		43		9	
158	特定非営利活動法人聴導犬育成の会	ペット関連団体		44		10	
159	特定非営利活動法人日本動物衛生看護師協会	ペット関連団体		45		11	
160	公益社団法人日本動物福祉協会 新東京支部	ペット関連団体		46		12	

(是正事項) 動物トータルケア学科

6. 【全体計画審査意見7(4)の回答について】

＜実習評価書が不十分＞

実習評価書の評価基準は、履修する学生の年次によって異なるものと考えられるため改めること。また、「動物病院」、「ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門」、「その他のペット関連企業、諸団体」として3種類の実習評価書を使用する計画となっており、例えば、「その他のペット関連企業、諸団体」では同じ実習評価書を使用することとしているが、ペット関連企業と、いわゆる訓練施設などの諸団体での実習で同じ実習評価書を使用できるのか疑義があるため改めること。

(対応)

ご指摘のとおり、実習評価書の評価基準は、履修する学生の年次によって異なるものと考えられるため、以下のとおり改める。

「臨地実務実習評価書(動物病院)」(5月補正申請時資料7-1)は、「臨地実習2」、「臨地実習3」、「臨地実習5」を対象として作成したが、年次により異なる評価書に改めることと指摘されたため、改めて「基本行動」及び「看護技術」の評価項目の見直しを行い、実習別の「臨地実務実習評価書(動物病院)」を作成した。

「臨地実習2」においては、「臨地実務実習評価書(動物病院)」(資料6-1)を基に、「基本行動」の項目の習得評価に重点を置き、「看護技術」の項目は衛生管理を評価することとした。

「臨地実習3」においては、「臨地実務実習評価書(動物病院)」(資料6-2)を基に、「基本行動」の項目の修得評価、「看護技術」の項目は衛生管理及び診察補助を評価することとした。

「臨地実習5」においては、「臨地実務実習評価書(動物病院)」(資料6-3)を基に、「基本行動」の項目の修得評価、「看護技術」の項目は衛生管理、診察補助、検査補助及び入院を評価することとした。

「臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)」(5月補正申請時資料7-2)は、「臨地実習1」、「臨地実習3」、「臨地実習5」を対象として作成したが、年次により異なる評価書に改めることと指摘されたため、改めて「基本行動」及び「看護技術」の評価項目の見直しを行い、実習別の「臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)」を作成した。

「臨地実習1」においては、「臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)」(資料6-4)を基に、「基本行動」の項目の習得評価に重点を置き、「動物美容技術」の項目は衛生管理を評価することとした。

「臨地実習4」においては、「臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)」(資料6-5)を基に、「基本行動」の項目の修得評価、「動物美容技術」の

項目は衛生管理及びグルーミングを評価することとした。

「臨地実習 6」においては、「臨地実務実習評価書（ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門）」（資料 6-6）を基に、「基本行動」の項目の修得評価、「動物美容技術」の項目は衛生管理、グルーミング、接客・営業及びお預かりの項目を評価することとした。

また、ご指摘のとおり、「動物病院」、「ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門」、「その他の動物関連企業、諸団体」として 3 種類の実習評価書を使用する計画となっており、例えば、「その他の動物関連企業、諸団体」では同じ実習評価書を使用することとしているが、動物関連企業と、いわゆる訓練施設などの諸団体での実習での実習評価書を以下のとおり改める。

「臨地実務実習評価書（その他の動物関連企業、諸団体）」（5 月補正申請時資料 7-3）は、「臨地実習 4」、「臨地実習 6」を対象として作成したが、年次により異なる評価書に改めることと指摘されたため、改めて「基本行動」及び「看護技術」の評価項目の見直しを行い、実習別の臨地実務実習評価書を作成した。

「臨地実習 4」においては、「臨地実務実習評価書（その他の動物関連企業）」（資料 6-7）を基に、「基本行動」の項目の習得評価に重点を置き、「実務能力」の項目は衛生管理を評価することとした。

「臨地実習 6」においては、「臨地実務実習評価書（その他の動物関連企業）」（資料 6-8）を基に、「基本行動」の項目の修得評価、「実務能力」の項目は衛生管理、クライアントエデュケーション及び商品知識を評価することとした。

「臨地実習 4」においては、「臨地実務実習評価書（動物関連諸団体）」（資料 6-9）を基に、「基本行動」の項目の修得評価に重点を置き、「実務能力」の項目は衛生管理を評価することとした。

「臨地実習 6」においては、「臨地実務実習評価書（動物関連諸団体）」（資料 6-10）を基に、「基本行動」の項目の修得評価、「実務能力」の項目は衛生管理及び知識を評価することとした。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（48~49 ページ）

新	旧
<p><臨地実務実習の成績評価> 臨地実務実習における成績評価について、以下のとおり説明する。 「臨地実務実習評価書（動物病院）」は 3 種類、「臨地実務実習評価書（ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門）」は 3 種類、「臨地実務実習評価書（その他の動物</p>	<p><臨地実務実習の成績評価> 臨地実務実習における成績評価について、以下のとおり説明する。 「臨地実務実習評価書（動物病院）」、「臨地実務実習評価書（ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門）」、「臨地実務実習評価書（その他のペット関連企</p>

<p>関連企業)」は 2 種類、「臨地実務実習評価書（動物関連諸団体）」は 2 種類、計 10 種類の臨地実務実習評価書により成績評価を行う（資料 30）。</p> <p>①「臨地実務実習評価書（動物病院）」は、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、「臨地実習 2」、「臨地実習 3」、「臨地実習 5」とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「看護技術」の 2 つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <p>「臨地実習 2」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の習得に重点を置き評価する。 ・「看護技術」は、衛生管理の項目を評価する。 <p>「臨地実習 3」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「看護技術」は、衛生管理及び診察補助の項目を評価する。 <p>「臨地実習 5」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「看護技術」は、衛生管理、診察補助、検査補助及び入院の項目を評価する。 <p>②「臨地実務実習評価書（ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門）」は、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、「臨地実習 1」、「臨</p>	<p>業、諸団体)」の 3 種類の臨地実務実習評価書により成績評価を行う（資料 30）。</p> <p>①「臨地実務実習評価書（動物病院）」は、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、臨地実習 1、臨地実習 3、臨地実習 5 とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「看護技術」の 2 つに分け、主に「看護技術」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。 ・「看護技術」は、衛生管理、診察補助、検査補助、入院の項目から評価する。 <p>②「臨地実務実習評価書（ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門）」は、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、臨地実習 2、臨</p>
--	--

<p>地実習 4」、「臨地実習 6」とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「動物美容技術」の 2 つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <p>「臨地実習 1」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の習得に重点を置き評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理の項目を評価する。 <p>「臨地実習 4」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得に重点を置き評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理及びグルーミングの項目を評価する。 <p>「臨地実習 6」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理、グルーミング、接客・営業及びお預かりの項目を評価する。 <p>③「臨地実務実習評価書（その他の動物関連企業）」は、(1)商品管理業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)商品知識のサービス実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、「臨地実習 4」、「臨地実習 6」とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を「基本行動」と「実務能力」の 2 つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <p>「臨地実習 4」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理の項目を評価する。 <p>「臨地実習 6」においては、</p>	<p>地実習 3、臨地実習 5」とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「動物美容技術」の 2 つに分け、主に「動物美容技術」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理、グルーミング、接客・営業、お預かりの項目から評価する。 <p>③「臨地実務実習評価書（その他のペット関連企業、諸団体）」は、(1)商品管理業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)商品知識のサービス実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、臨地実習 4、臨地実習 6」とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を「基本行動」と「実務能力」の 2 つに分け、主に「実務能力」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理、クライ
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理、クライアントエデュケーション及び商品知識の項目を評価する。 <p>④「臨地実務実習評価書（動物関連諸団体）」は、(1)商品管理業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)知識のサービス実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、「臨地実習 4」、「臨地実習 6」とした。</p> <p>研修評価基準をABCの3段階評価とし、評価項目を「基本行動」と「実務能力」の2つの観点に分けて評価する。総合評価は、ABCの3段階評価とする。</p> <p>「臨地実習 4」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理の項目を評価する。 <p>「臨地実習 6」においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」の項目の修得を評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理及び知識の項目を評価する。 	<p>アントエデュケーション、商品知識の項目から評価する。</p>
---	-----------------------------------

臨地実務実習評価書(動物病院)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

動物病院名	実習生氏名
-------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	看護技術		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる				
気質	返事ができる				
	よく気がつく(積極性がある)				
	周囲への配慮ができる				
	周りとのコミュニケーションがとれる				
リテラシ	語学力がある(表現力がある)				
	語学力がある(読解力がある)				
	基礎的な PC 操作ができる				
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(動物病院)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

動物病院名	実習生氏名
-------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	看護技術		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる			適切に滅菌・消毒ができる	
気質	返事ができる		診察補助	保定ができる(診療・検体採取補助)	
	よく気がつく(積極性がある)			検体検査の準備ができる	
	周囲への配慮ができる			画像検査の準備ができる	
	周りとのコミュニケーションがとれる			調剤の補助ができる	
リテラシ	語学力がある(表現力がある)				
	語学力がある(読解力がある)				
	基礎的な PC 操作ができる				
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(動物病院)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

動物病院名	実習生氏名
-------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	看護技術		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる			適切に滅菌・消毒ができる	
気質	返事ができる		診察補助	保定ができる(診療・検体採取補助)	
	よく気がつく(積極性がある)			検体検査の準備ができる	
	周囲への配慮ができる			画像検査の準備ができる	
	周りとのコミュニケーションがとれる			調剤の補助ができる	
リテラシ	語学力がある(表現力がある)		検査補助	検査関連機器を適切に操作することができる	
	語学力がある(読解力がある)			検体検査の手順を理解し実施することができる	
	基礎的な PC 操作ができる			医療廃棄物を適切に処理することができる	
	計算・統計能力がある		入院	入院動物の観察が的確にできる	
業務遂行	報告・連絡・相談ができる			入院動物の食事の準備及び管理・観察ができる	
	看護記録を作成することができる			投薬方法の安全性を理解できる	
	備品・消耗品を適切に扱える		周術期の動物の観察を理解することができる		

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴企業(店舗)・動物病院名	実習生氏名
---------------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	動物美容技術		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる				
気質	返事ができる				
	よく気がつく(積極性がある)				
	周囲への配慮ができる				
	周りとのコミュニケーションがとれる				
リテラシ	語学力がある(表現力がある)				
	語学力がある(読解力がある)				
	基礎的な PC 操作ができる				
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴企業 (店舗)・動物病院名	実習生氏名
----------------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	動物美容技術		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる		グルーミング	健康チェックができる	
気質	返事ができる			基礎的なグルーミングの知識・技術を備えている	
	よく気がつく(積極性がある)			接客対応のマナーを理解している	
質	周囲への配慮ができる				
	周りとのコミュニケーションがとれる				
リテラシ	語学力がある(表現力がある)				
	語学力がある(読解力がある)				
	基礎的な PC 操作ができる				
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴企業(店舗)・動物病院名	実習生氏名
---------------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	動物美容技術		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる		グルーミング	健康チェックができる	
気質	返事ができる			基礎的なグルーミングの知識・技術を備えている	
	よく気がつく(積極性がある)			接客対応のマナーを理解している	
質	周囲への配慮ができる		接客・営業	来店客の対応ができる	
	周りとのコミュニケーションがとれる			着電時の対応ができる(予約含む)	
リテラシ	語学力がある(表現力がある)		お預かり	ダイレクトメール等の営業活動を理解している	
	語学力がある(読解力がある)			動物の観察対応ができる	
	基礎的な PC 操作ができる			フードを準備し、食事の世話ができる	
	計算・統計能力がある			入退時の飼い主対応ができる	
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(その他の動物関連企業)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴企業 (店舗)	実習生氏名
----------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	実務能力		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる				
気質	返事ができる				
	よく気がつく(積極性がある)				
	周囲への配慮ができる				
	周りとのコミュニケーションがとれる				
リテラシ	語学力がある(表現力がある)				
	語学力がある(読解力がある)				
	基礎的な PC 操作ができる				
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(その他の動物関連企業)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴企業 (店舗)	実習生氏名
----------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	実務能力		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる			飼養管理・食事についてアドバイスする知識を学ぶ	
気質	返事ができる		エデュシオン	疾病・ケガの予防について理解している	
	よく気がつく(積極性がある)			日常管理について指導することができる知識を学ぶ	
	周囲への配慮ができる			外部寄生虫について正しい説明知識を学ぶ	
	周りとのコミュニケーションがとれる			投薬方法・療法食について正しい説明知識を学ぶ	
リテラシ	語学力がある(表現力がある)		商品知識	商品・サービスについて正しい説明知識を学ぶ	
	語学力がある(読解力がある)			健康なペットの状態維持・増進や衛生管理等正しい説明知識を学ぶ	
	基礎的な PC 操作ができる			ペットフード・ペット用品等をライフステージに合った説明方法を学ぶ	
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

臨地実務実習評価書(動物関連諸団体)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴団体名	実習生氏名
------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	実務能力		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる				
気質	返事ができる				
	よく気がつく(積極性がある)				
	周囲への配慮ができる				
	周りとのコミュニケーションがとれる				
リテラシ	語学力がある(表現力がある)				
	語学力がある(読解力がある)				
	基礎的な PC 操作ができる				
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)		
A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)		
評価日時	平成	年 月 日
実習指導担当者名	役職	氏名

臨地実務実習評価書(動物関連諸団体)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴団体名	実習生氏名
------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	実務能力		評価
一般常識	時間を守ることができる		衛生管理	整理・整頓ができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切な消毒をすることができる	
	清潔な身だしなみで研修できる			各種廃棄物の処理について理解している	
	電話対応ができる		知識	イベント等の趣旨を理解し説明することができる	
気質	返事ができる			相談者への助言の内容を理解することができる	
	よく気がつく(積極性がある)			最後まで任された業務を遂行できる	
質	周囲への配慮ができる				
	周りとのコミュニケーションがとれる				
リテラシ	語学力がある(表現力がある)				
	語学力がある(読解力がある)				
	基礎的な PC 操作ができる				
	計算・統計能力がある				
業務遂行	報告・連絡・相談ができる				
	看護記録を作成することができる				
	備品・消耗品を適切に扱える				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分できている	B 改善点有	C 不十分である
-----------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

評価日時 : 平成 年 月 日
実習指導担当者名 : 役職 氏名

(是正事項) 動物トータルケア学科

7. 【全体計画審査意見9の回答について】

<科目配当年次等が不十分>

配当年次が「1・2・3年次通年」と設定されている「動物実習短期留学」のシラバスの「履修上の注意」には、履修の前提の授業科目として、「コミュニケーション論」等が示されているが、これらの授業科目の配当年次が同じ1年次に設定されており、「動物実習短期留学」の配当年次の設定が適切ではないため改めること。また、学生には一定の英語能力が求められると考えられるが、教育課程では「英語Ⅰ」(必修2単位)、「英語Ⅱ」(選択1単位)が設定されているのみであり、どのように学生の英語能力を担保するのか明確にすること。なお、「動物実習短期留学」が3単位となっているが教育内容に照らして適切な設定であることを説明するか、改めること。

(対応)

ご指摘のとおり、「動物実習短期留学」の前提科目である1年次配当の「コミュニケーション論」、「動物臨床看護学(基礎・内科)」、「動物生理・繁殖学」、「公衆衛生学」、「コンパニオンアニマルケア論」等の知識を得てから「動物実習短期留学」を履修できるよう、配当年次を1・2・3年次から「2・3年次通年」に改める。

「動物実習短期留学」では Australia Zoo での動物飼育体験実習をとおして、動物飼育や自然環境保護における動物園の役割などを学ぶ。実習に必要な専門英語能力、つまり、動物園でのレクチャーや実習指導を理解できるレベルのリスニング、語彙力及び疑問点を質問するための英語表現力(スピーキング等)は必要と考える。そのため、英語Ⅰの成績がB以上であり、かつ英語Ⅱを履修することを「動物実習短期留学」の履修の条件とする。英語表現能力及び英語運用能力に不足があると認められた場合は、科目担当教員による補習授業を行い、動物実習短期留学に必要な能力があると認められた場合に履修を可とする。

また、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で一般英語力を学修する以外に、夏季休業中にヤマザキ動物看護大学で実施される課外授業の英語集中事前講義(ネイティブのゲストスピーカー)を原則全員に受講させる。なお、留学期間中は動物園での実習効果を高めるために、現地の動物実習コーディネーター(ネイティブスピーカー)が毎日、その日の学生の質問事項に答え、翌日の実習に必要な英語表現能力の指導を行う。

単位数についてはご指摘のとおり、実習科目であることに照らして、資料7-1のとおり、以前計画していた事前学修の旅行英語、動物園関連の英語学修を授業から除外し、Australia Zooでの動物実習短期留学体験者による講話、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイングなど、動物園実習に関する事前知識を深める学修に変更する。Australia Zooが取り組んでいる動物のQOLに配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などの予備知識を得たうえで、より動物園実習での学修がスムーズに進められるようにシラバス(資料7-1)の内容を改める。また、オーストラリアでの動物園実習についても、学生が余裕をもって実習に取り組めるよう実習時間を1日4時間から4~8時間に変更し、動物飼育体験実習という内容に変更がない範囲で、シラバス(資料7-1)の内容を改める。これらの事前学修、事後学修の回数及びオーストラリアでの動物園実習時間数の変更をもって、単位数を3単位から2単位に改める。なお、2単位の根拠は(表1)のとおりであり、授業時間は60時間あり2単位分となるた

め、適切な単位設定であると考え。

表 1 授業計画と授業時間数

授業計画	授業時間数
1 事前学修 1 (国内) オリエンテーション (実習目的・内容と履修方法の理解)、英語テキストを用いて Australia Zoo について学ぶ	2 時間
2 事前学修 2 (国内) Australia Zoo での動物実習短期留学体験者による講話、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイング	2 時間
3 動物園実習 1 (海外) 施設案内と実習の概要説明等	4 時間
4 動物園実習 2 (海外) 動物園付属野生動物病院見学、ワラビー、カンガルーの飼育管理実習	8 時間
5 動物園実習 3 (海外) ハズバンドアリー訓練、サイ、キリン等の飼育管理実習	8 時間
6 動物園実習 4 (海外) ワオキツネザル、ウォンバット等の飼育管理実習	8 時間
7 動物園実習 5 (海外) オーストラリア動物園自然区における野生動物の観察実習	8 時間
8 動物園実習 6 (海外) リクガメ、クロコダイル等の飼育管理実習	8 時間
9 動物園実習 7 (海外) ディスカッションと実習総括	8 時間
10 事後学修 1 (国内) 英語による実習報告書の作成 (グループワーク)	2 時間
11 事後学修 2 (国内) 学生の代表による実習報告 (英語) 発表及び担当教員による講評	2 時間
合計	60 時間

*動物園実習は Australia Zoo のズーキーパーが同行し、指導する。

表 2 授業科目の概要

新	旧
<p>オーストラリア最大規模の動物園である Australia Zoo は、オーストラリアの環境保護に大きな役割を果たしていることでも知られている。本実習は、この動物園が本学学生のために作るカスタム教育プログラムを中心として行われる。動物飼育体験の実習においては、動物の QOL に配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶ。</p> <p>受講者は事前学修として、実習目的や実習のポイント等を理解した上で、現地で多種多様な動物園実習を体験する。さらに渡航先では、宿舎での共同生活等を通じて、多くを学ぶことになる。帰国後には事後学修として、英語の実習報告書の作成と発表を行う。</p> <p>(オムニバス方式/全 11 回)</p>	<p>オーストラリア最大規模の動物園である Australia Zoo は、オーストラリアの環境保護に大きな役割を果たしていることでも知られている。本実習は、この動物園が本学学生のために作るカスタム教育プログラムを中心として行われる。現場で用いる実際的な英語による事前講義、および動物飼育体験の実習において、動物の QOL に配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶ。</p> <p>受講者は事前学修として夏季集中英語の授業を受け、さらに渡航先では、宿舎での共同生活等を通じて、多くを学ぶことになる。帰国後には事後学修として発表を行う。</p> <p>(オムニバス方式/全 15 回)</p>

<p>(② 荒木 幸子／7回)</p> <p>Australia Zooでは、1日4～8時間の実習を行い、最後にまとめのディスカッションを行う。動物園の担当者による説明等をもとに、動物飼育体験の実習にて、動物の QOL に配慮した動物飼育方法等を学ぶ。本学教員は学生に付き添い、必要な助言を行い、学生の受講態度等を指導確認する。</p> <p>(② 荒木 幸子・① 加藤剛／4回) (共同)</p> <p>事前学修は、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイングや動物実習短期留学体験者の講話等により実習のポイント等を学修する。事後学修はグループワークによる英語の実習報告書の作成と代表学生による成果発表を行う。事前学修2回分及び事後学修2回分は共同で担当する。</p>	<p>(11 荒木 幸子／8回)</p> <p>オーストラリア動物園では、午前・午後に分けて1日計4時間の実習を行い、最後にまとめのディスカッションを行う。動物園の担当者による説明等をもとに、動物飼育体験の実習にて、動物の QOL に配慮した動物飼育方法等を学ぶ。本学教員は学生に付き添い、必要な助言を行い、学生の受講態度等を指導確認し、英語の指導等も行う。</p> <p>(11 荒木 幸子・4 加藤剛／7回) (共同)</p> <p>本実習の全課程の内、事前学修5回分および事後学修2回分を共同で講義し、報告書作成の指導と成果発表の評価にあたる。</p>
---	---

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (56 ページ)

新	旧
<p>②「動物実習短期留学」及び「研修・ボランティア活動」</p> <p>総合科目に含まれる「動物実習短期留学」、「研修・ボランティア活動」は、総合科目の趣旨を踏まえ、総合科目から削除し、職業専門科目に配置する。</p> <p>「動物実習短期留学」(配当年次2・3年次、選択科目2単位)は、Australia Zoo (オーストラリアズー)での動物飼育実習を通じて、多文化共生社会における動物関連学問領域のあり方を学び、グローバルな視野を身に付けることを目的とする。その内容は、Australia Zoo (オーストラリアズー)において、動物園の担当者による説明等をもとに、実習を行い、動物の QOL に配慮した動物飼育方法等を学ぶ。実習の最後には、現地での総括としてディスカッションを行う。事前学修では、オリエンテーション、Australia Zooでの動物実習短期留学体験者による講話、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイングなどを通して、実習目的や内容、注意事項等、動物</p>	<p>②「動物実習短期留学」及び「研修・ボランティア活動」</p> <p>総合科目に含まれる「動物実習短期留学」「研修・ボランティア活動」は、総合科目の趣旨を踏まえ、総合科目から削除し、職業専門科目に配置する。</p> <p>「動物実習短期留学」は、Australia Zoo (オーストラリアズー)における英語及び動物飼育実習を通じて、多文化共生社会における動物関連学問領域のあり方を学び、グローバルな視野を身に付けることを目的とする。その内容は、Australia Zoo (オーストラリアズー)における実習及び実用英語の実践である。なお、留学前には「コミュニケーション論」、「動物臨床看護学(基礎・内科)」、「動物生理・繁殖学」、「公衆衛生学」、「コンパニオンアニマルケア論」等を履修し、Australia Zoo (オーストラリアズー)の実習において衛生管理や動物の取り扱いに関する注意事項の事前指導を行う。</p>

<p>園実習に関する事前知識を深める。帰国後の事後学修では、英語による実習報告書の作成や実習報告の発表を行う。</p>	
---	--

授業科目	動物実習短期留学			担当教員	荒木幸子・加藤剛
科目英名	Short-term Animal Practical Training Abroad				
開講期間	2・3年次通年	選択科目 2 単位	科目区分	職業専門科目	
到達目標					
<p>早い時期に大陸として独立し、独自の生態系を有するに至ったオーストラリアは、近代においてヨーロッパ人の入植により広範で激的な生態系破壊とその対応と回復とを経験した国である。それゆえ、環境保護意識の非常に高い国であり、環境保護教育でも高い意識と実績を有している。オーストラリア最大規模の動物園である Australia Zoo は環境保護に大きな役割を果たしていることでも知られているが、この動物園が本学学生のために作るカスタム教育プログラムを中心として、現場で用いる実際的な英語によるレクチャー及び動物飼育体験の実習を通じて、動物の QOL に配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶ。</p>					
講義概要					
<p>事前学修として、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイングや動物実習短期留学体験者の講話により実習のポイント等を学んだ後、現地で多種多様な実習を体験する。渡航先では宿舎での共同生活等を通じ、学生や動物園スタッフらとの交流から多くを学ぶ。帰国後には事後学修として発表を行う。</p>					
授業計画					担当教員
1	事前学修 1 (国内) オリエンテーション (実習目的・内容と履修方法の理解)、英語テキストを用いて Australia Zoo について学ぶ				荒木・加藤
2	事前学修 2 (国内) Australia Zoo での動物実習短期留学体験者による講話、動物園実習での対応にかかわる英語でのロールプレイング				荒木・加藤
3	動物園実習 1 (海外) 施設案内と実習の概要説明等				荒木
4	動物園実習 2 (海外) 動物園付属野生動物病院見学、ワラビー、カンガルーの飼育管理実習				荒木
5	動物園実習 3 (海外) ハズバンドガリー訓練、サイ、キリン等の飼育管理実習				荒木
6	動物園実習 4 (海外) ワオキツネザル、ウォンバット等の飼育管理実習				荒木
7	動物園実習 5 (海外) オーストラリア動物園自然区における野生動物の観察実習				荒木
8	動物園実習 6 (海外) リクガメ、クロコダイル等の飼育管理実習				荒木
9	動物園演習 7 (海外) ディスカッションと実習総括				荒木
10	事後学修 1 (国内) 英語による実習報告書の作成 (グループワーク)				荒木・加藤
11	事後学修 2 (国内) 学生の代表による実習報告 (英語) 発表及び担当教員による講評				荒木・加藤
履修上の注意					
<p>海外での生活及び実習の受講に支障がない健康状態であること、定められた日程・実習先で求められる規律を遵守すること。社会情勢に応じて、また最低参加人数の充足により、開講が決定される。なお、本科目は海外での実習体験につき、旅費等を含めた別途費用が必要となる。午前・午後の授業計画は現地での状況により内容が変更になることがある。</p> <p>なお、動物園でのレクチャーや実習指導を理解できるレベルのリスニング、語彙力及び疑問点を質問するための英語表現力 (スピーキング等) は必要と言えるため、英語 I の成績が B 以上であり、かつ英語 II を履修することが本科目の履修の条件となる。また、夏季休業中にヤマザキ動物看護大学で実施される課外授業の英語集中事前講義 (ネイティブのゲストスピーカー) を原則全員が受講すること。留学前には「コミュニケーション論」、「動物臨床看護学 (基礎・内科)」、「動物生理・繁殖学」、「公衆衛生学」、「コンパニオンアニマルケア論」等を履修することとし、動物園での実習における衛生管理や動物の取り扱いに関する注意事項の事前指導を行う。</p>					
評価方法 (評価基準を含む)					
授業参加状況 70%、発表及びレポート 30%にて総合的に評価する。					
教科書					
適宜プリントおよび視聴覚教材を用いる。実習に関してはオリジナルテキストを配付する。					
参考書、教材等					
Rees 『動物園のつくり方—入門動物園学』 (農林統計出版)、成島編 『大人のための動物園ガイド』 (養賢堂) ほか、適宜資料を配付する。					

【旧】

授業科目	動物実習短期留学			担当教員	荒木幸子・加藤剛
科目英名	Short-term Animal Practical Training Abroad				
開講期間	1・2・3年次通年	選択科目3単位	科目区分	職業専門科目	
到達目標					
<p>早い時期に大陸として独立し、独自の生態系を有するに至ったオーストラリアは、近代においてヨーロッパ人の入植により広範で激しい生態系破壊とその対応と回復とを経験した国であり、環境保護意識の非常に高い国であり、環境保護教育でも高い意識と実績を有している。オーストラリア最大規模の動物園である Australia Zoo は、環境保護に大きな役割を果たしていることでも知られているが、この動物園が本学学生のために作るカスタム教育プログラムを中心として、現場で用いる実際的な英語による講義、及び動物飼育体験の実習を通じて、動物の QOL に配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶ。</p>					
講義概要					
<p>事前学修として、ネイティブの英語教員による夏季集中英語講座を受講し、その後、現地で多種多様な動物実習を体験する。渡航先では、宿舎での共同生活等を通じ、学生や研修先スタッフらとの交流から多くを学ぶ。帰国後には事後学修として発表を行う。</p>					
授業計画					担当教員
1	事前学修1	オリエンテーション（講義目的・内容と履修方法の理解）			荒木・加藤
2	事前学修2	旅行英語（空港・市内での一般的実用英語）			荒木・加藤
3	事前学修3	動物園英語（動物園関連の英語）			荒木・加藤
4	事前学修4	動物園英語（動物園関連の英語）			荒木・加藤
5	事前学修5	アカデミック英語（環境保護、動物学などに関わる英語）			荒木・加藤
6	動物園実習1	実習の概要説明とディスカッション			荒木
7	動物園実習2	動物園付属野生動物病院見学、リクガメ管理見学と実習			荒木
8	動物園実習3	ズーキーパー同行実習1			荒木
9	動物園実習4	ズーキーパーによる担当動物の説明、質疑応答(ウォンバット等)			荒木
10	動物園実習5	ズーキーパー同行実習2			荒木
11	動物園実習6	グループタスク1（キーパーによる解説を聞き仕事を手伝う）			荒木
12	動物園演習	Stive Irwin Wildlife Reserve に関する講義と質疑応答			荒木
13	動物園実習7	グループタスク2（動物園付属野生動物病院見学と手伝い）			荒木
14	事後学修1	学生による実習報告発表及び担当教員による講評			荒木・加藤
15	事後学修2	学生による実習報告発表及び担当教員による講評			荒木・加藤
履修上の注意					
<p>海外での生活及び実習の受講に支障がない健康状態であること、定められた日程・実習先で求められる規律を遵守することを履修の条件とする。社会情勢や最低参加人数の充足により開講する。なお、本科目は海外での実習体験につき、旅費等を含めた別途費用が必要となる。午前・午後の授業計画は変更になることもある。4月に説明会を行い、留学の申し込みをもって履修登録を行う。</p> <p>なお、留学前には「コミュニケーション論」、「動物臨床看護学（基礎・内科）」、「動物生理・繁殖学」、「公衆衛生学」、「コンパニオンアニマルケア論」等を履修し、Australia Zoo（オーストラリアズー）の実習において衛生管理や動物の取り扱いに関する注意事項の事前指導を行う。</p>					
評価方法（評価基準を含む）					
授業参加状況 70%、発表及びレポート 30%にて総合的に評価する。					
教科書					
未定					
参考書、教材等					
未定					

(是正事項) 動物トータルケア学科

8. 【全体計画審査意見 15 の回答について】

＜教育課程連携協議会の構成が不十分＞

教育課程連携協議会の構成員区分「職業」には職能団体の関係者を想定しているところに、ペット産業の関係者が記載されており、区分を改めること。また、実習先の関係者である構成員区分「協力」の者が1名となっているが、多数のさらに、構成員区分「地域」に職能団体の者が記載されており区分が適切ではないため改めること。実習先を確保する計画であることから、多様な意見を聴取することが可能となるよう改めること。なお、教育課程連携協議会の構成員として、「地域」区分の地方公共団体の関係者が含まれておらず、また、動物産業に係る職業団体も含まれていないため適切に改めること。

(対応)

ご指摘のとおり、教育課程連携協議会の構成員を以下のように変更し充実させる。

構成員区分「職業」の区分であった、イオンペット株式会社事業部長の寺本健太郎氏を「協力」の区分の構成員に変更する。なお、イオンペット株式会社から14件分の臨地実務実習施設使用承諾書を提出いただいているため、「協力」として適切である。

構成員区分「地域」の区分であった、公益社団法人東京都獣医師会理事・副会長の天野芳二氏を「職業」の区分の構成員に変更する。構成員区分「職業」の構成員に、動物看護職の動向に詳しい一般社団法人日本動物看護職協会顧問、日本獣医生命科学大学名誉学長の池本卯典氏を加える。また、構成員区分「地域」の構成員に、地域との連携を図るとともに災害時におけるペット動物への対応等について意見を聞くため、地方公共団体職員の渋谷区役所危機管理対策部危機管理対策部長の山中昌彦氏、「協力」の区分に臨地実習先であり、今後さらなる発展が予想されるペット同伴宿泊施設の東京建物リゾート株式会社取締役常務執行役員兼ホテル事業本部長の藤田秀一氏を追加する(資料 8-1)。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (29 ページ)

新	旧
(略)	(略)
なお、「職業」区分に学生の卒業後の進路と想定される動物産業界からの意見を聴くため、動物産業界で活躍するイオンペット株式会社の事業部長、寺本健太郎氏を構成員とする。「職業」区分として、動物看護職の動向に詳しい一般社団法人日本動物看護職協会顧問、日本獣医生命科学大学名誉学長の池本卯典氏、「地域」区分として、地域との連携を図るとともに災害時におけるペット動物	また、学生の卒業後の進路と想定される動物産業界からの意見を聴くため、動物産業界で活躍するイオンペット株式会社の事業部長、寺本健太郎氏を構成員に加える。

への対応等について意見を聞くため、地方公共
団体職員の渋谷区役所危機管理対策部危機
管理対策部長の山中昌彦氏、「協力」区分と
して、臨地実習先であり、今後さらなる発展
が予想されるペット同伴宿泊施設の東京建
物リゾート株式会社取締役常務執行役員兼
ホテル事業本部長の藤田秀一氏を構成員と
する。

①書類等の題名

資料 8-1. 教育課程連携協議会構成員名簿 (78～79 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

教育課程連携協議会構成員名簿

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

【審査意見以外の対応】

動物トータルケア学科

【学生自習室の整備】

実地調査における安部恵美子委員の意見「学生が自ら学ぶ自習スペースを確保することが望まれる。」への対応について。

(対応)

安部恵美子委員の意見に関して、次のとおり対応する。

学生の自主的な学習に配慮し、完成年度以降に 2 号館 4 階、143 教室（予備室）に学生自習室を整備する。それまでは 2 号館の図書閲覧室を自習室として併用する。（資料 9-1）

①書類等の題名

資料 9-1. 校舎図面 2号館 4F

②出典

株式会社野生司環境設計

③書類等の利用範囲

完成年度における 2号館 4階の平面図

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

- ・ヤマザキ動物看護専門職短期大学専用部分をピンク色枠で囲んだ。
- ・ヤマザキ動物看護専門職短期大学とヤマザキ動物専門学校共用部分を黄色枠で囲んだ。

審査意見への対応を記載した書類（5月）

（目次）動物トータルケア学科

【大学等の設置の趣旨・必要性】

1. <設置の趣旨、人材像が不明確>

大学、専門学校を存続させつつ専門職短期大学を設置する計画であることについて、専門職短期大学で養成する人材が、他の学校種で養成する人材とどのような違いがあるのか不明確である。他の学校種で養成する人材との違いについて、修得する能力、就職等の出口の観点で明確にし、専門職短期大学として設置する必要性を明らかにすること。その際、専門学校の教育課程と専門職短期大学の教育課程の比較を明示し、具体的に説明すること。（是正事項）……………1

2. <設置の趣旨と教育課程の整合性が不明確>

「動物看護コース」と「動物産業コース」を設けコース制を導入する計画であるが、その具体的な内容が明らかでない。コースごとの人材像や想定される進路を明示し、それぞれ必要な能力を修得できる教育課程となっていることを説明するか、教育課程を改めること。その際、臨地実務実習の実習先として、「動物産業コース」の教育目的に合致した実習施設が確保されていることを明らかにすること。また、コース制について、どの時点で学生がコース選択をするのか、一方に偏った場合の対応などの具体的な方策についても説明すること。（是正事項）……………20

【教育課程等】

3. <教育課程の充実・改善>

「動物生理・繁殖学」「動物病理学」「動物感染症学」「動物薬理学」等の科目が3年次に配当されているが、これらの理論系の科目は病院での臨地実務実習の前に履修しておくことが望ましいため、教育効果を踏まえて科目の配当年次を再考すること。（改善事項）……………35

4. <基礎科目の配置、内容が不適切>

基礎科目に配置している科目の中に、動物看護師としての基礎や専門を学修すると見受けられる科目が複数配置されている。基礎科目は「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」ための授業科目であることに鑑み、区分の変更や新たな科目の設定により制度の趣旨を踏まえた適切な基礎科目とすること。さらに「実務コンピューター」「ビジネスマナー」「ビジネス文書」については、科目名、科目内容が単なる就職対策に見受けられ短期大学の教育にふさわしくないため、これらの科目名や科目内容の見直しも行うこと。（是正事項）……………38

……………38

5. <人材像と展開科目の関係が不明確>

ディプロマ・ポリシーに「応用的能力」と記載されているが、具体的に動物看護師に必要な「応用的能力」がどのようなものであるか不明確であるため、「応用的能力」を修得できる教育課程になっているか不明確である。特に応用的な能力を修得するための展開科目は「専攻する特定の職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」ことを目的としているが、本学の展開科目には基礎科目に配置することが適当な科目も含まれているなど展開科目として適切な科目配置となっていない。これらを踏まえ、本学における展開科目はどのような能力の修得を目的としているかについて、ディプロマポリシーとの関係を踏まえ説明し、展開科目の科目配置を見直すこと。(是正事項) ……………47

6. <人材像と教育課程の整合性が不明確>

設置の趣旨等において、「在宅ケア」「訪問看護」という点を掲げているが、動物看護師が行う「在宅ケア」「訪問看護」がどのような内容のものか、さらに、これらの能力を修得した場合にどのような機関でどのような職業に就くことを想定しているかを具体的に説明すること。また、教育課程において「在宅ケア」等に必要能力が修得できるとは見受けられないことから、「在宅ケア」等を行うために必要な科目配置や臨地実務実習先の確保を行うこと。その際には「福祉」の観点も必要となることに配慮すること。(是正事項) ……………64

7. <臨地実務実習の教育の質の確保が不適切>

200 施設の臨地実務実習機関を確保しているが、これらの機関の選定理由や選定の基準、また、各機関で行う具体的な実習内容が不明確である。以下の点を説明し、本学の養成する人材にとって十分に教育効果をあげられる臨地実務実習であることを明らかにしつつ、必要に応じて実習先の見直し、追加を行うこと。その際、「動物看護コース」「動物産業コース」のコースごとに説明し、両コースに必要な実習先を確保していることを明らかにすること。(是正事項) ……………72

- (1) 実習施設を選定する際に、どのような基準で選定したのか。選定の基準を明確にした上で、教育効果という点から全ての実習施設が基準に見合った実習先であることを説明すること。その際、病院、宿泊施設、ペット産業関係企業等の業種ごとに説明すること。……………72

- (2) 臨地実務実習の教育目的や教育内容が不明確である。多くの実習施設で共通の目的で実施するに当たり、十分な内容の実習ができるのか疑義がある。科目ごとに教育の目的を明確にし、各施設でどのような実習を行うのか具体的に明らかにすること。その際、病院、宿泊施設、ペット産業関係企業等の業種ごとに説明すること。また、病院での実習は、病院によって看護師の職務範囲が異なることが考えられるため、学生が行う業務の範囲の基準を設けているのか。基準がある場合はその基準を説明し、病院ごとに異なる場合は、どのように業務範囲を把握し十分な教育が行えると判断したのか説明すること。…………… 87
- (3) 実習先によって指導者の職種や経験年数が異なり、経験年数が1～2年の者や、実習先の指導者が未記載の施設もある。実習の質を確保するという点で、実習先の指導者の要件について、教育内容や教育効果の観点から説明すること。また、指導者の質をどのように確保するかという取組や方策についても説明すること。…………… 101
- (4) 臨地実務実習における成績評価の方法が不明確である。添付されている実習評価票の項目では十分な評価ができるとは考えられない。どのような評価基準を周知し、適切な評価を行うかを説明し、実習評価票も修正すること。その際、「臨地実習委員会」の役割、協議事項も明確にし、全ての施設で一定の水準の評価が行える仕組みを説明すること。…………… 106
- (5) 添付資料では、「臨地実習5」の実習施設の例として「動物シェルター」や「検疫所」との記載があるが、実習施設一覧では当該施設は見当たらない。養成する人材像等に照らして「動物シェルター」や「検疫所」が必要であるかを明確にし、必要であれば、具体的な実習施設を明らかにすること。…………… 111

8. <教育課程の不断の見直しの体制が不明確>

教育課程の不断の見直しが適切に行われる体制が整備されているか不明確であるため、教育課程連携協議会の意見や指摘を適切に教育課程に反映させる仕組みを含め、適切に不断の見直しを行える体制を構築することを説明すること。併せて、学生の就職先と想定される産業界等のニーズや意見が適切に反映されることについても説明すること。(是正事項) …………… 118

9. <総合科目が不適切>

総合科目に含まれる「動物実習短期留学」「研修・ボランティア活動」は科目の具体的な内容や教育目的が不明確であり、かつ、いずれの科目も1年次から履修が可能であり、総合科目の趣旨を踏まえた科目とは見受けられない。各科目の具体的な内容と教育目的を明らかにし、配当年次等も踏まえて適切な科目区分に改めること。また、「動物実習短期留学」については、オーストラリア動物園でどのような実習を行うのか、そのことを先方機関から確約されているかについても説明すること。
(是正事項) 121

10. <書類の記載誤り>

申請書の実習科目一覧に演習科目が含まれているため、適切に修正すること。(是正事項) ...134

11. <授業時間の確保が不明確>

「臨地実務実習の確保状況説明書」では実習科目3単位に対して実習時間が84時間と記載されている。基準上は90時間を求められる実習に必要な授業時間が確保されていることを説明すること。(是正事項)139

12. <卒業要件と資格取得の関係が不明確>

卒業要件についての説明が不十分であり、卒業要件を満たせば動物看護師の受験資格を得られることが判然としない。また、本学の教育課程が「認定動物看護師新コアカリキュラム」対応しているかも不明確である。コアカリキュラムとの対比表を示した上で、卒業要件と受験資格の関係を明らかにすること。(是正事項)146

13. <科目の実施体制が不明確>

40人以上の学生が同時に受講することとしている科目について、教育上その必要があり、かつ十分な教育効果をあげることができることを、教員の配置等授業の実施体制を含めて示すこと。(是正事項)150

【教員組織等】

14. <教員の年齢構成の偏り>

教員の年齢構成として、定年を超える教員が一定数以上に偏っており、多くの実習等を行うことを考慮すると十分な教育体制であるか疑義があるため、教員の年齢構成について、若手教員の採用等をどのように考え、どのように偏りを解消するのか説明すること。(改善事項)152

15. <教育課程連携協議会の構成が不適切>

教育課程連携協議会の構成として、コースを設定している「動物産業」に関する者が含まれていない。2コースのうちの1コースである「動物産業」の知識・経験を有す者を構成員に含めること。(是正事項) …………… 154

16. <専任教員数が設置基準を満たしていない>

専任教員数について、専門職短期大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。(是正事項) …………… 157

【名称、その他】

17. <アドミッション・ポリシーと入学者選抜が不整合>

AO入試で50名を募集することとなっているが、AO入試の選抜方法に一般入試で実施する生物や化学を課していないことから、アドミッション・ポリシーに掲げる「基礎学力を持つ者」を選抜できることを説明すること。また、AO入試や推薦入試等で生物や化学の試験を課さない者に対して、入学後に適切に指導が行えることを説明すること。(是正事項) …………… 159

18. <学生確保の見込みが不十分>

学生確保の見通しが示されているが、既設の専門学校の志願状況では本学の定員を満たしておらず、学生が確保できる客観的な根拠に基づく説明が不足している。客観的な根拠や分析に基づき、学生を確保できることを改めて説明すること。また、社会的ニーズについても、特に動物産業関連への就職の見通しの説明も不十分であるため、説明を補足し、動物産業界への就職が確実に見込まれることを説明すること。(是正事項) …………… 164

19. <大学名の英語表記が不適切>

大学名の英語表記については、専門職大学であることがわかるように professional 又は vocational の語(若しくはこれらに類する語)を用いて、適切に改めること。(是正事項) …………… 200

20. <学位名称が不適切>

学位名称を「動物看護学短期大学士」としているが、専門職短期大学の学位については、学問分野ではなく職業・産業分野の名称を付すことが求められていることから不適切であるので、学位名称を改めること。(是正事項) …………… 201

(是正事項) 動物トータルケア学科

【大学等の設置の趣旨・必要性】

1. <設置の趣旨、人材像が不明確>

大学、専門学校を存続させつつ専門職短期大学を設置する計画であることについて、専門職短期大学で養成する人材が、他の学校種で養成する人材とどのような違いがあるのか不明確である。他の学校種で養成する人材との違いについて、修得する能力、就職等の出口の観点で明確にし、専門職短期大学として設置する必要性を明らかにすること。その際、専門学校の教育課程と専門職短期大学の教育課程の比較を明示し、具体的に説明すること。

(対応)

本学が3年制専門学校を、3年制専門職短期大学へ改組することをもって、専門職短期大学を設置する計画において、不明確な点について見出しを付けて以下のとおり説明する。

<1. 専門学校と専門職短期大学の教育課程の違い>

<2. 実習の違い>

<3. 教員組織の違い>

<4. 就職先の違い>

<5. 養成する人材像の違い>

<6. 専門職短期大学として設置する必要性>

<1. 専門学校と専門職短期大学の教育課程の違い>

専門学校の教育課程は、即戦力を養成するため、教育課程において講義と実習の割合が約半々であり、実習授業に多くの時間を割いている。また、実習授業では、技術修得のために何度も繰り返すリピート授業を行うことが、社会に出た時の確実な即戦力となる。専門学校の卒業生の8割強が動物病院に就職し、その半数がイヌやネコのグルーミング（美容）業務を行っていることから、獣医師の補助をするための看護、保定及び検査の実習に加え、グルーミング（美容）技術習得のための実習時間が多い。特に明文化されたカリキュラムポリシーはない。

専門職短期大学の教育課程は、ご指摘のとおり是正事項5でカリキュラムポリシーを改正し、教育課程において修得した知識・技術をとおり、動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力を修得する。

専門学校と専門職短期大学の教育課程の違いを明確にするため、「専門職短期大学と専門学校の教育課程対照表」（資料1-1）を作成して、その比較を明示した。しかしながら、専門職短期大学は単位制で専門学校は時限数制であることから、90分授業を1回と換算して対照表を作成したが、専門職短期大学は合計1516回で専門学校は1700回であることから、回数を比較すると、大きな違いは見られない。

そこで、対照表の中から例を挙げて、講義科目と実習科目について比較の上、教育内容

と質の違いについて次のとおり説明する。

例えば「動物看護学概論」では、専任教授（博士）が 90 分授業 15 回の講義において、動物看護師による動物看護の必要性を理解した上で、看護に伴う社会的責任について、倫理的及び法的根拠を基に動物看護という職域、立場を理解することを掲げ幅広く奥の深い教育を行う。講義では、動物看護学はまだ新しい分野の学問であるため、動物看護学と人の看護学の共通性と相違を比較することから始まり、動物看護学の重要性と特殊性を認識させるとともに、臨床における必要性等を学修する。

さらに、“疾病と予防に関する看護”等を教授する。教育計画では、壮年期動物の看護、高齢動物の看護、終末期動物医療と動物看護、動物福祉とヘルスケアの他に、実験動物と動物看護、産業動物臨床と動物看護に至る幅広い教育が行われる。しかるに、専門学校では「動物看護学概論」90分5回の講義で、動物看護師としての行動規範、職業倫理観、併せて動物看護の意義や動物看護師を取り巻く他者との関係について学修するが、とてもここまで及ばない。

もう一つ例を挙げれば、専門職短期大学における「動物形態機能学」は90分講義15回、「動物形態機能組織学」は90分講義15回に加え、「動物形態機能学・組織学実習」は20回の合計50回を配置しているのに対し、専門学校では「動物形態機能学」90分10回の講義で、犬と猫の体の構造と機能を理解することに主眼を置いて、形態機能学の総論と骨格系から泌尿・生殖器系までの解剖と生理を系統的に学修する。

専門職短期大学の「動物形態機能学」の講義では、動物の形態を肉眼的（マクロ）な解剖学の知識を基礎として、器官が担う生理的な役割を理解した上で、正常と疾病により起こりうる問題点について、必要な名称やチェックポイントを理解することを到達目標に 1.体の部位、2.頭部、3.前肢、後肢、4.口腔、歯、消化管、5.消化腺、6.呼吸器、7.泌尿器、8.生殖器、9.リンパ系、10.内分泌、11.心臓、12.感覚器官、13.外皮、14.中枢神経、15.ショックとストレスを体系的に学修する。「動物形態機能組織学」では、生物体の正常な形態と構造を理解した上で細胞の機能を学び、細胞学とその組織を形態学的に学ぶことにより、狭義の組織学を理解し、「動物形態機能学・組織学実習」を履修することから、動物の形態、機能、組織を体系的学問として広く深く学修するのに対し、専門学校ではそこまで至らない。

さらに、専門職短期大学の教育の特色は、専門学校にはない次の科目を配置している。訪問看護・在宅ケアの出来る動物看護師の養成を目的としていることから、職業専門科目では「訪問動物看護学」、「動物口腔ケア論」、「動物口腔ケア実習」、「動物トータルライフ環境論」、「動物トータルライフ演習」、「動物ソーシャルワーク」の科目を配置した。また、教育の質と幅を広げるために「産業・実験動物学」、「動物飼育管理論」、「野生動物学」を配置した。

なお、専門学校では、動物種別の授業が特色であり、「イヌ学・飼養管理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「イヌの品種概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「ネコの臨床学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「鳥類学Ⅰ・Ⅱ」、「馬学」、「エキゾチックアニマル」、「ネコ学・審査とグルーミングⅠ・Ⅱ」を配置している。

＜2. 実習の違い＞

専門学校では、学問を深く追求するより実習授業で技術修得のため、「AHT 実習（動物看護）」、「臨床検査実習」、「グルーミング実習」、「講義実習・犬」、「講義実習・猫」、「ジャッジング」、「トレーニング実習」、「就職演習」等を何度も繰り返して学修することにより、修得した技術に自信を持って即戦力として社会で活躍することを目的に授業の半分を学内の実習に充てている。

専門職短期大学は、産業界と共につくる学校種であることから、学内での 450 時間の実習に加えて学外での 450 時間の臨地実務実習を課し、飼い主（消費者）とペット関連の産業界（動物医療を含む）を繋ぐ実務能力を養成する。さらに、この臨地実務実習をとおして就業意識を高め、実習後の学修意欲の向上を図る。また、職業選択における自らの適性理解を促し、就職先での定着率を高める。この学外での臨地実務実習が本学の大きな特色であることを臨地実務実習計画書（資料 1-2）で説明する。

この臨地実務実習は、専門学校及び大学では今までになかった教育である。1 年次に夏季若しくは春季に履修する「臨地実習 1」（必修）、「臨地実習 2」（必修）は、校舎（1 号館）に併設されているペットサロン「シブヤ・ドッグ・ビューティー」と動物病院「アニマル・メディカル・センター」でそれぞれ 3 日間（1 日 7 時間）の実習を行う。特に入学年次であることから、学内で学修することは新入生及び指導に当たる専任教員 4 名にとっても、教育効果を考えると恵まれた環境と言える。

2 年次に必修授業として配置されている「臨地実習 3」（必修）、3 年次に選択必修授業として配置されている「臨地実習 5」の動物病院と、「臨地実習 4」（必修）及び選択必修授業の「臨地実習 6」により動物関連企業へと繋がる実習を体験できる。それぞれ 1 日の業務の流れを知ることから始まり、飼い主と動物にどのように対応すべきか、職場の環境整備（消毒を含む）をどう行うか等を導入部として位置付けてある。

2 年次夏季に履修する「臨地実習 3」（必修）の動物病院では、基本的に 8 日間ずつ 2 か所の動物病院で実習することにより、地域差によって来院する患畜の違いがあること、動物病院、獣医師の特色により症例の内容や数に違いが出ること、動物看護師が勤務年数や経験により、どのような業務を行っているか等を知り、自分の適性と合わせて、将来自分がどのような動物看護師を目指すかの指針を得ることに繋がる。

「臨地実習 3」は初めての学外実習であることから専任教員 6 名により巡回指導を行う。

この臨地実務実習では、事前教育 4 時間、事後教育 4 時間を実施する。

2 年次春季に履修する「臨地実習 4」（必修）では、専門学校や大学では全く行ってこなかった企業での学外実習を 8 日間ずつ 2 か所の動物関連企業で実習することは、動物関連産業を支える人材教育として画期的なものである。更に、動物看護師を目指す学生が全員必修科目として履修することは、動物関連産業界の将来にとっても期待の大きいところである。

「臨地実習 4」は企業における初めての学外実習であり、専任教員 6 名により巡回指導を行う。なお、事前教育 4 時間、事後教育 4 時間を実施する。

動物関連企業は多岐に亘ることから、大きく3つの分野（1.ペットサロン・ペットショップ、2.ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設、3.その他のペット関連企業・動物愛護団体）に分けて、学生たちに貴重な実習をさせることになるため、巡回指導に当たる専任教員は6名を配置し、他の専任教員達にも業界を知ることが教育上必要とされることから巡回指導に参加させる。

3年次夏季に履修する「臨地実習5」と「臨地実習6」を選択必修科目としたのは、卒業後の進路を明確にし、就職を想定して実習先を決定する等を配慮しているためである。

「臨地実習5」は動物病院への就職を想定し、基本的に7日間ずつ3か所の動物病院で実習を行う。専門職短期大学では、訪問看護・在宅ケアのできる動物看護師を養成すること及び豊かな想像力をもって産業界を担う人材養成を目指していることから、最後となるこの実習が単なる業務体験で終わることなく、動物病院の役割や将来の動物看護師の姿に新しい価値を生み出すために、病院長及びスタッフとのコミュニケーションから、あるいは飼い主から様々な要望を情報として捉え、それに自分の考えを加えて、総合科目で発表する。巡回指導は専任教員5名で行う。なお、事前教育1.5時間、事後教育1.5時間を実施する。

「臨地実習6」は動物関連企業等の就職を想定し、同じく基本的に7日間ずつ3か所の企業ないし店舗等で実習を行い、卒業後の進路に繋がるよう配慮して実習先の選定を行う。最後となるこの実習が単なる業務体験で終わることなく、産業界の将来を見据え、単なる販売員、職員に留まることなく、動物看護師として職域拡大に繋がるよう指導者及びスタッフとのコミュニケーションから、あるいは飼い主から様々な要望を情報として捉え、それに自分の考えを加えて、総合科目で発表する。巡回指導は専任教員5名で行う。なお、事前教育1.5時間、事後教育1.5時間を実施する。

< 3. 教員組織の違い >

大学の専任教員は、教授16名、准教授4名、講師10名、助教4名の合計34名（博士20人、修士10人、学士4人）であり、非常勤講師は31名、教育助手は19名である（平成29年度）。

専門職短期大学は、認可申請中につき予定数となっているが、教授5名、准教授1名、講師6名、助教2名の合計14名（博士3人、修士6人、学士3人、専修学校・各種学校卒2人）を予定している（平成32年度末の予定数）。なお、実務家教員は7名を予定しており、そのうち3名は実務家教員（研究）である。また、非常勤講師は27名となっている。

専門学校の専任教員は、講師21名（学士3人、専修学校・各種学校卒17人）であり、非常勤講師は49名である（平成29年度）。

< 4. 就職先の違い >

就職等の出口の観点から説明すると、ヤマザキ動物看護大学の就職率は97.4%（平成28年度）であり、就職先は、動物病院49.6%、動物関連産業等50.4%である。それに対し、

ヤマザキ動物専門学校就職率は95.0%（平成28年度）であり、就職先は、動物病院83.0%（43.0%はグルーミングを含む）、その他（サロンショップを含む）17.0%という結果であった。

主な就職先である動物病院の半数はグルーミング（イヌ・ネコの美容）業務を行っていることから、専門学校では教育課程の半分を学内での実習に要し、多くの実習授業をとおして看護と美容の即戦力となる技術を備えた動物看護師を動物病院に送り出している（全体の8割強）。動物関連企業は2割弱に留まる。

専門職短期大学の就職先は、動物病院及び動物関連企業の3分野（①ペットサロン・ペットショップ、②ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設、③その他のペット関連企業・動物愛護団体を想定し、臨地実務実習先での知識と経験を活かし、動物関連企業への就職領域の拡大が見込まれる。

< 5. 養成する人材像の違い >

学校法人ヤマザキ学園のヤマザキ動物看護大学、ヤマザキ動物専門学校及びヤマザキ動物看護専門職短期大学の養成する人材像の違いは以下のとおりである。

大学は、動物看護学の教育と研究の双方を目的に、学術研究の発展という目標を掲げ、動物看護学の科学的体系作りを進めてきた。そのため、「動物看護学部 動物看護学科」の教育において動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を持ち、動物愛護に関わる基本的な理論・技術を身に付けた動物看護の高度化と専門分化に対応する良質な動物看護師を養成する。

専門学校は、動物愛護の精神に基づき、地域に根差し、現場に必要な即戦力として活躍する知識と技術を身に付けた動物のスペシャリストを養成してきた。専門学校の「動物看護・美容学科」の教育においては、深く真理を追究する大学や専門職短期大学とは異なり、学内実習に重きを置き、社会で即戦力として活躍する人材を養成する。

専門職短期大学は、「動物トータルケア学科」において、動物の生から死までを看取る動物看護師の養成及びペット関連産業界で職域を拡大した動物看護師の養成を目指している。そのことからキャリア教育・職業教育を充実・強化し、産業構造の変化や技術革新、グローバル化等の社会状況の変化に直面しても、職業を通じた社会との関わりを継続することができる高度な実践力と豊かな創造力をもつ職業人としての動物看護師を養成する。

専門職短期大学では、動物病院に勤務する動物看護師が獣医師の補助職にとどまらず、動物看護師がチームをつくり、動物医療と協働の上、在宅ケアを充実していくなど、動物看護師の職域を拡大するためのアイデアから、社会的意義のある新しい動物看護師の役割を創造できる人材の養成を目指している。

また、ペットを飼育可能なマンションの内装計画やリフォームへの参画、高齢犬等に優しい居住空間を整備するためのアドバイス等の実施等、新しい事業を起業するなど、積極的に動物関連産業の発展に寄与する人材の養成を目指している。

＜ 6. 専門職短期大学として設置する必要性＞

第 1 に専門職短期大学を設置する必要性としては、ペット産業がコンパニオンアニマルの飼育数の増加により、飛躍的成長をとげ、1兆5,000億円に届こうとしている現状において、市場を支える人材の養成が急務となっている。その内訳は、ペット関連サービス等7,480億円（ペット医療3,009億円を含む）、ペットフード市場4,735億円、ペット用品市場2,505億円となっている。なお、ペット関連サービスのうち、ペット保険の市場は現在430億円であり、国内加入率は5%となっているが、将来、イギリスの犬猫の加入率45%と同様になった場合はその市場規模は1,500～2,000億円程度になると予想される（資料1-3）。

ペット医療が3,009億円に対し、その他のペット関連産業は1兆2,127億円であることから、ペット関連産業から飼い主（消費者）と市場を結び、産業界の発展に寄与する動物看護師を養成する専門職短期大学が望まれる。

第 2 に、本学が訪問看護・在宅ケアができる動物看護師の養成を目的としていることから、動物医療（ペット医療）においても訪問医療に同行する動物看護師の要望が高まっている。

近年になり飼い主の高齢化と飼育されているイヌやネコの高齢化に伴い、高齢犬等の健康維持をサポートする訪問看護・在宅ケアの要望が高まっている。臨地実務実習で多くの経験を重ね、実践力を兼ね備えた動物看護師が訪問先で飼い主に行うアドバイスは、飼い主（消費者）と市場を結び、産業界の発展に寄与するものといえる。自宅での飼育やケア、商品の選択や保険等に関するアドバイスは産業界においても付加価値を生み出す。

第 3 に、日本の将来を見据えて産業界のイノベーションが問われている経済状況に鑑み、動物関連産業界においても、動物医療を支え、動物関連企業では新たな創造力を持って、職域を拡大し、動物関連産業界の一角を担う動物看護師が期待されている。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (3~8 ページ)

新	旧
<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (1)設置の趣旨及び必要性 ②専門職短期大学設置の経緯と必要性</p> <p>(略)</p> <p>日本で唯一の動物看護学部を擁するヤマザキ学園大学 (動物看護学科動物看護学科：入学定員 180 名) (平成 30 年 4 月 1 日ヤマザキ学園大学からヤマザキ看護動物大学に校名変更した。以下同様とする。)を開学し、今日に至っている。</p> <p>(略)</p> <p>現在、九州保健福祉大学、倉敷芸術科学大学、帝京科学大学、日本獣医生命科学大学、ヤマザキ看護動物大学、酪農学園大学、東亜大学、千葉科学大学の 8 校が受験認定を受け、専修学校 68 校 (資料 12) を加え、全国で 76 校が受験している。</p> <p>(略)</p> <p><u>このような状況の中で、臨地実務実習 (臨地実習を正式名称臨地実務実習に変更した。ただし、科目名は除く。以下同様とする。)で多くの経験を重ね、実践力を兼ね備え、産業界の職場で飼い主に飼育やケアの他、商品や保険に関してアドバイスのできる人材の養成が要望されている。それらの要望に応えるため、ヤマザキ看護動物大学の特色ある教育・研究と、ヤマザキ動物専門学校の実学教育の経験を踏まえ、3 年制</u></p>	<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (1)設置の趣旨及び必要性 ②専門職短期大学設置の経緯と必要性</p> <p>(略)</p> <p>日本で唯一の動物看護学部を擁するヤマザキ学園大学 (動物看護学科：入学定員 180 名)を開学し、今日に至っている。</p> <p>(略)</p> <p>現在、九州保健福祉大学、倉敷芸術科学大学、帝京科学大学、日本獣医生命科学大学、ヤマザキ学園大学、酪農学園大学、東亜大学、千葉科学大学の 8 校が受験認定を受け、専修学校 68 校 (資料 12) を加え、全国で 76 校が受験している。</p> <p>(略)</p> <p><u>このような状況の中で、臨地実習で多くの経験を重ね、実践力を兼ね備え、産業界の職場で飼い主に飼育やケアの他、商品や保険に関してアドバイスのできる人材の養成が要望されている。それらの要望に応えるため、ヤマザキ学園大学の特色ある教育・研究と、ヤマザキ動物専門学校の実学教育の経験を踏まえ、3 年制の専門職短期大学を平成 31 年 4 月、渋谷区松濤に設置する。</u></p>

<p>の専門職短期大学を平成 31 年 4 月、渋谷区松濤に設置する。</p> <p>(略)</p> <p>日本の将来を見据えて産業界のイノベーションが問われている経済状況に鑑み、<u>動物関連産業界においても、動物医療を支え、動物関連企業では新たな創造力を持って、職域を拡大し、動物関連産業界の一角を担う動物看護師が期待されている。</u></p> <p>(略)</p> <p>設置する学校種を 3 年制の専門職短期大学とする理由は、昭和 42 年以来、動物看護や動物美容の教育に携わり、昭和 60 年以降は圧倒的に 3 年制の学科が支持され、その結果、専門学校では就職率 95%を保持してきたことによる。また、4 年制大学に入学し、教育・研究に進むより実務力を身に付け、社会で活躍することを希望する高校生の層が見受けられる。特に動物と接することの多い実習授業や臨地実務実習を好む学生には新制度の専門職短期大学への期待が大きい。また、就職等の出口の観点から説明すると、ヤマザキ動物看護大学の就職率は 97.4% (平成 28 年度) であり、就職先は、動物病院 49.6%、動物関連産業等 50.4%である。それに対し、ヤマザキ動物専門学校の就職率は 95.0% (平成 28 年度) であり、就職先は、動物病院 83.0% (43.0% はグルーミングを含む)、その他 (サロンショップを含む) 17.0%という結果であった。主な就職先である動物病院の半数はグルーミング (イヌ・ネコの美容) 業務を行っていることから、<u>専門学校では教育課程の半</u></p>	<p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>設置する学校種を 3 年制の専門職短期大学とする理由は、昭和 42 年以来、動物看護や動物美容の教育に携わり、昭和 60 年以降は圧倒的に 3 年制の学科が支持され、その結果、専門学校では就職率 95%を保持してきたことによる。また、4 年制大学に入学し、教育・研究に進むより実務力を身に付け、社会で活躍することを希望する高校生の層が見受けられる。特に動物と接することの多い実習授業や臨地実習を好む学生には新制度の専門職短期大学への期待が大きい。なお、ヤマザキ学園大学の就職率は 97.4% (平成 28 年度) であり、動物病院 49.6%、動物関連産業等 50.4%であることから、3 年制の専門職短期大学の卒業生の進路は動物関連産業に移行していく傾向が予想される (資料 14)。</p> <p>なお、450 時間の臨地実習を履修しつつ、一般財団法人動物看護師統一認定機構主催の動物看護師統一認定試験の受験資格となるコアカリキュラムを履修して、同認定試験に対応するためにも、3 年間の教育期間が必要とされる。ヤマザキ学園大学においては、教養科目から卒業論文に至る授業科目の体系をもって 4 年</p>
---	--

<p><u>分を学内での実習に要し、多くの実習授業をとおして看護と美容の即戦力となる技術を備えた動物看護師を動物病院に送り出している（全体の8割強）。動物関連企業は2割弱に留まる。</u></p> <p>3年制のヤマザキ動物看護専門職短期大学の就職先は、動物病院及び動物関連企業の3分野（①ペットサロン・ペットショップ、②ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設、③その他のペット関連企業・動物愛護団体を想定し、<u>臨地実務実習先での知識と経験を活かし、動物関連企業への就職領域の拡大が見込まれる</u>（資料14）。</p>	<p>間の履修を行い、動物看護学の科学的体系を構築するための教育・研究機関として、ヤマザキ動物看護専門職短期大学とは異なる役割を果たすものである。</p>
<p style="text-align: center;">(略)</p>	<p style="text-align: center;">(略)</p>
<p>また、ヤマザキ動物専門学校¹の教育課程は、技術の即戦力を養成するため学内実習を中心に、講義と実習の割合が約半々であり、実習授業に多くの時間を割いている。また、実習授業では、技術修得のために何度も繰り返すリピート授業を行うことが、社会に出た時の確実な即戦力となる。新制度の専門職短期大学のように関連する他分野の展開科目等は配置していない。</p>	<p>また、ヤマザキ動物専門学校¹の教育は、技術の即戦力を養成するため学内実習を中心にしており新制度の専門職短期大学のように関連する他分野の展開科目等は配置されていない。</p>
<p>ヤマザキ動物看護専門職短期大学の教育課程は、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに沿って、教育課程において修得した知識・技術をとおし、<u>動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力を修得する。</u></p>	<p>(追加)</p>
<p style="text-align: center;">(略)</p>	<p style="text-align: center;">(略)</p>
<p>この度、新たに学校教育法の改正により制定された専門職短期大学は、深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職</p>	<p>この度、新たに学校教育法の改正により制定された専門職短期大学は、深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うため</p>

<p>業を担うための実践的かつ応用的な能力を養成することを目的とするものであり、450時間の臨地実務実習を行うことを特色とする。</p> <p>なお、<u>専門職短期大学は、キャリア教育・職業教育を充実・強化し、産業構造の変化や技術革新、グローバル化等の社会状況の変化に直面しても、職業を通じた社会との関わりを持ち続けることができる高度な実践力と豊かな創造力をもつ職業人としての動物看護師を養成する。</u></p>	<p>の実践的かつ応用的な能力を養成することを目的とするものであり、450時間の臨地実習を行うことを特色とする。</p> <p>(追加)</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>新たに設立されるヤマザキ動物看護専門職短期大学においては、<u>動物看護師として訪問看護・在宅ケアの要望に応えるとともに、同時に動物看護の素養を備えて臨地実務実習で多くの経験を重ね実践力を備えた、飼い主と市場を結び産業界の発展に寄与する人材を養成するものである。ヤマザキ動物看護専門職短期大学、ヤマザキ動物看護大学、ヤマザキ動物専門学校は、それぞれの役割をもって、社会に必要な人材を養成する。</u></p>	<p>新たに設立されるヤマザキ動物看護専門職短期大学においては、<u>動物看護師として訪問看護・在宅ケアの要望に応えるとともに、同時に動物看護の素養を備えて臨地実習で多くの経験を重ね実践力を備えた、飼い主と市場を結び産業界の発展に寄与する人材を養成するものである。ヤマザキ動物看護専門職短期大学、ヤマザキ学園大学、ヤマザキ動物専門学校は、それぞれの役割をもって、社会に必要な人材を養成する。</u></p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>(2)専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実</p>	<p>(2)専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実</p>
<p>(略)</p> <p>したがって、本学の動物看護師養成には、訪問看護・在宅ケアに関する知識と技術の教</p>	<p>(略)</p> <p>したがって、本学の動物看護師養成には、訪問看護・在宅ケアに関する知識と技術の教育が</p>

<p>育が必要とされる。加えて、高齢犬のリハビリテーションや口腔ケアを修得することも大切である。</p> <p>本学が養成する動物看護師は獣医師の指示の下、往診に同行して行う業務と<u>獣医師とは別に独自に行う行為がある</u>。「在宅ケア」は「訪問看護」で行われる内容と重なる部分もあるが、獣医師の同行が必要とされない動物看護師独自の業務があり、必要に応じては主治医（獣医師）との連携も図る。必要な能力は本学の教育課程で修得できる。「在宅ケア」は「訪問看護」の内容と重なる部分が多いが、それぞれに分けて説明すると次のとおりである。</p> <p>「在宅ケア」とは、<u>家庭において幼齢動物から高齢動物のライフステージに対応し、様々な場面で飼い主のサポートを行うトータルケア</u>である。例えば、幼齢動物に対しては家庭の飼育環境を整備し、トイレトレーニングや乳歯から永久歯に生え変わる際の口腔ケアを行う。また、高齢動物に対して、移動の負担を減らし自宅でシャンプー、カットを行う他、補食のサポートも行う。犬のグルーマー（美容師）と同じにシャンプー、カットを行う場合の他、動物看護師として立ち上がることの出来ない高齢犬や障害犬の体調を見ながらシャンプーを行うこと等を含む。</p> <p>なお、<u>終末期ケア及びグリーフケア</u>も「在宅ケア」に含まれる。</p> <p>「訪問看護」とは、<u>動物看護師が病気や障害を抱えながら自宅療養中の動物を対象に、往診治療の際、獣医師の指示のもとチーム医療の一員として治療の補助を行うこと</u>である。</p> <p>具体的な内容は、病気治療のための獣医師の補助としての動物看護であり、往診治</p>	<p>必要とされる。加えて、高齢犬のリハビリテーションや口腔ケアを修得することも大切である。</p>
--	--

<p>療時に獣医師の治療の補助や獣医師が行う検体採取（採血・採尿・採便等）の補助、動物の保定、飼い主への薬の投与状況の確認や指導を行う。また、獣医師と飼い主の関係調整として、双方のコミュニケーションが円滑に進むよう動物看護師は飼い主の意思や希望が主治医に正確に伝わるようにサポートし、対象動物のQOLを維持する等が挙げられる。</p> <p>更に、獣医師が医学的見地も含めて選択肢の一つとして挙げる<u>安楽死について、悩む飼い主を支える</u>のも動物看護師の役割と言える。</p> <p>また、人と動物の共生において、公衆衛生学は動物看護師にとって重要な科目である。動物の医療が進み、動物臨床検査学及び実習の授業は動物の健康管理に欠くことのできない領域である。イヌやネコの高齢化に対応し、動物臨床栄養学に加え、動物トータルライフ演習では、自然食、手作り食、肥満管理に至る授業内容を展開する。動物人間関係学では、動物が介在する人の福祉についても学修する。この分野を学修し、動物病院にとどまらず、ペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物関連団体などへの職域拡大を図る。</p> <p>これらの教育研究を行う専門職短期大学を設置する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>②動物看護師の職域の拡大と措置行後の進路</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>また、人と動物の共生において、公衆衛生学は動物看護師にとって重要な科目である。動物の医療が進み、動物臨床検査学及び実習の授業は動物の健康管理に欠くことのできない領域である。イヌやネコの高齢化に対応し、動物臨床栄養学に加え、動物トータルライフ演習では、自然食、手作り食、肥満管理に至る授業内容を展開する。動物人間関係学では、動物が介在する人の福祉についても学修する。この分野は、動物看護師の職域を広げるものである。</p> <p>これらの教育研究を行う専門職短期大学を設置する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>②動物看護師の職域の拡大と措置行後の進路</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>
--	--

<p>この度の専門職短期大学設置認可申請に際し、本学が所在する渋谷区の長谷部健区長をはじめ、動物病院や動物関連産業界より多数の賛同意見をいただいている（資料18）。</p>	<p>この度の専門職短期大学申請に際し、本学が所在する渋谷区の長谷部健区長をはじめ、動物病院や動物関連産業界より多数の賛同意見をいただいている（資料18）。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>補助犬の育成については、動物看護師がその職域の一端を担い、補助犬の増加に貢献することができる。</p>	<p>補助犬の養成については、動物看護師がその職域の一端を担い、補助犬の増加に貢献することができる。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>(4)養成する人材像</p>	<p>(4)養成する人材像</p>
<p>①養成する人材像</p>	<p>①養成する人材像</p>
<p>本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護・在宅ケアにおいてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防、衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。また、動物関連産業界において飼い主（消費者）と市場を結ぶ役割を果たす人材を養成する。</p>	<p>本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護においてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。また、産業界において飼い主と市場と結ぶ役割を果たす人材を養成する。</p>
<p>本学が養成する人材像は次のとおりである。</p>	<p>(追加)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連産業において実務家として社会に貢献する人材 	<p>ア 動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連産業において実務家として社会に貢献する人材</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を備えた人材 	<p>イ 基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を備えた人材</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性とグローバルな視野を身に 	<p>ウ 豊かな人間性とグローバルな視野を身に</p>

<p>付け、実践的、応用的能力を備えた人材</p> <p>専門職短期大学では、動物病院に勤務する動物看護師が獣医師の補助職にとどまらず、<u>動物看護師がチームをつくり、動物医療と協働の上、在宅ケアを充実していく</u>など、動物看護師の職域を拡大するためのアイデアから、社会的意義のある新しい動物看護師の役割を創造できる人材の養成を目指している。</p> <p>(略)</p>	<p>付け、実践的、応用的能力を備えた人材</p> <p>(略)</p>
<p>②ディプロマポリシー</p> <p>卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護短期大学士（専門職）の学位を授与する。</p> <p>本学のディプロマポリシーは次のとおりである。</p> <p>(略)</p> <p>本学のディプロマポリシーに述べられている動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力とは、教育課程の中で修得する知識・技術をとおして、<u>病気や障害を抱えながら自宅療養中の動物や家庭における幼齢動物や高齢動物のライフステージに対応し、健康問題がどのように変化するかを理解した上で、ケアプランを立て、問題を解決するための能力である。また、飼い主自身が飼育動物のケアができるように指導し、飼い主の相談に対応するための能力である。</u></p>	<p>②ディプロマポリシー</p> <p>卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護学短期大学士（専門職）の学位を授与する。</p> <p>(略)</p>

(新旧対照表) 授業科目の概要

新	旧
<p>(1) 臨地実習 1 (1単位)</p> <p>1年次夏季又は1年次春季にキャンパス内に併設されているペットサロンにおいて3日間の実習を行う。臨地実務実習の導入部となることから、学外実習につながるよう実習先の業務について1日の流れを学び、指導者のもとシャンプー等の基礎的技術を身に付ける。対象動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、受付、商品知識や販売・管理の補助に加え、開店から閉店までの業務を学び、職場でのコミュニケーション能力を身に付け、スタッフや飼い主との対応についても学ぶ。</p>	<p>(1) 臨地実習 1 (3単位)</p> <p>1年次夏季休暇 実習の First Step</p> <p>入学後初めての夏季休暇に行われる First Step の臨地実習であるため、動物病院とグルーミングサロンの一日の業務の流れを把握することを目指す。</p> <p>① 併設の動物病院とグルーミングサロンで3日ずつ合計6日間の実習を行う。臨地実習の導入としてグループに分かれて業務の流れを把握し、衛生管理を学ぶ。</p> <p>② ペットショップ又はグルーミングサロンにおいて6日間、受付、顧客対応、商品管理等に加え、職場のコミュニケーション能力を身に付ける。</p>
<p>(2) 臨地実習 2 (1単位)</p> <p>1年次夏季又は1年次春季にキャンパス内に併設されている動物病院において3日間の実習を行う。臨地実務実習の導入部となることから、学外実習につながるよう動物病院の1日の業務について、開院前の準備、清掃から消毒法までの衛生管理、動物の逃走防止のためのドアの開閉、診察台からの転落防止など、動物病院で必要とされる基本的な事項の確認、動物看護師としての基礎を学ぶ。</p>	<p>(2) 臨地実習 2 (3単位)</p> <p>1年次春季休暇 動物病院実習</p> <p>動物病院において実習を行う。2か所の病院で各6日間、合計12日間実施する。病院の業務分担と流れを把握し、院内環境整備のほか、病院受付、臨床検査、薬品管理、カルテ整理等の動物看護業務の補助にあたる。職場でスタッフとのコミュニケーションを図るように努める。</p>
<p>(3) 臨地実習 3 (4単位)</p> <p>2年次夏季に動物病院において、8日間ずつ2か所で実習を行う。小規模、中規模の動物病院の業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。動物病院における動物看護師の業務の流れや分担を把握し、院内清掃、電話応対、診療準備、診療補助、検査、手術の準備及び補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学び、看護師のチーム作業を身に付ける。</p>	<p>(3) 臨地実習 3 (3単位)</p> <p>2年次夏季休暇 進路選択に向けたチャレンジ実習</p> <p>多岐にわたる分野の複数の企業等での実習にチャレンジすることにより、今後の進路を選択するための実習である。合計12日間行う。実習先の指導者の指示のもと、各企業における業務の流れを把握し、幅広い視野を養う。実習先は、動物病院、動物関連企業、動物関連各種団体等である。</p>

<p>事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。</p>	
<p>(4) 臨地実習 4 (4単位)</p> <p>2年次春季に動物関連企業等において8日間ずつ2か所で実習を行う。「臨地実習1～3」で学んだ動物看護の素養を活かしながら、動物関連企業等の現場(店舗等)での初任者としての必要な実務を学び、他のスタッフとチームで働くコミュニケーションを学ぶ。また、必ず2業種の臨地実務実習を行い、幅広い視野と実践力を培う。</p> <p>事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。</p>	<p>(4) 臨地実習 4 (3単位)</p> <p>2年次春季休暇 進路の方向性を決める</p> <p>これまでの臨地実習を踏まえ、卒業後の進路の方向性を定めるため、これまでの実習先又は新たな実習先の各企業1か所ないし2か所の施設において、合計12日間の実習を行う。飼い主と企業で必要とされる課題にも目を向けるよう努め、情報を整理する。</p>
<p>(5) 臨地実習 5 (5単位)</p> <p>3年次夏季の「臨地実習5」は、動物病院への就職を希望する学生が選択する実習で、7日間ずつ3か所の施設で実習を行う。</p> <p>職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会とのつながりを学修したことを通して、動物看護師として幅広い視野を養う。</p> <p>事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。</p>	<p>(5) 臨地実習 5 (3単位)</p> <p>3年次夏季休暇 進路決定</p> <p>就職に繋がる臨地実習として、1か所又は2か所の実習先において合計12日間の実習を行う。これまでの実習内容をさらに深めて、臨地実習の総仕上げとする。</p> <p>職業専門科目において学修した内容に加え、展開科目で産業と社会との繋がりを学修したことを通して、飼い主(コンシューマー)と市場を繋ぐ動物看護師の役割を考える。</p>
<p>(6) 臨地実習 6 (5単位)</p> <p>学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場(店舗等・団体等)で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を生かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し顧客対応できる従業員の役割を学ぶ。</p> <p>事前事後に、それぞれ事前教育、事後教育を実施する。</p>	<p>(追加)</p>

(新旧対照表) 教育課程等の概要

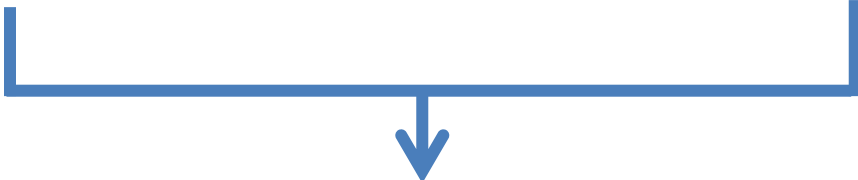
新											旧								
授業科目 の名称	新										旧								
	配当 年次	単数数		授業 形態	専任教員等の配置					備考	配当 年次	単数数		授業 形態	専任教員等の配置				
		必修	選択	実験 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手			必修	選択	実験 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手
臨地実習 1	1後・2 前	1		[臨]			3	1		共同	1前	3		[臨]		1	2		
臨地実習 2	1後・2 前	1		[臨]	1		3			共同	1後	3		[臨]	1			1	
臨地実習 3	2後	4		[臨]	3		1	2		共同	2前	3		[臨]	1		1		
臨地実習 4	3前	4		[臨]	1	1	3	1		共同	2後	3		[臨]			1	1	
臨地実習 5	3後		5	[臨]	2	1	1	1		共同	3前	3		[臨]	1	1			
臨地実習 6	3後		5	[臨]	1	1	2	1		共同									

「臨地実習1」 1単位 必修

実習時期:1年夏季休暇 or 1年春季休暇
 実習場所:シブヤ・ドッグ・ビューティー
 実習時間:30時間 実習3日(1日7時間)
 事前教育3時間 見学実習3時間 事後教育3時間

「臨地実習2」 1単位 必修

実習時期:1年夏季休暇 or 1年春季休暇
 実習場所:アニマル・メディカル・センター
 実習時間:30時間 実習3日(1日7時間)
 事前教育3時間 見学実習3時間 事後教育3時間



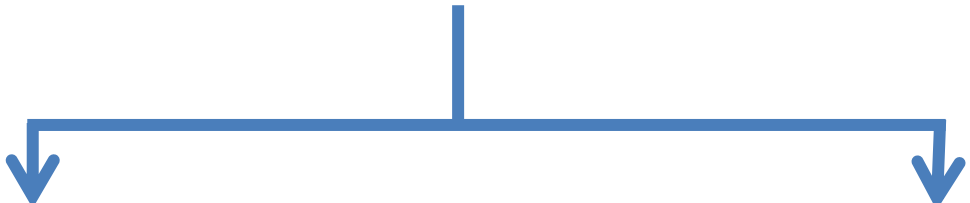
「臨地実習3」 4単位 必修

実習時期:2年夏季休暇
 実習場所:動物病院
 実習時間:120時間 8日×2病院(1日7時間) 事前教育4時間 事後教育4時間



「臨地実習4」 4単位 必修

実習時期:2年春季休暇
 実習場所:動物関連企業等
 実習時間:120時間 8日×2社(1日7時間) 事前教育4時間 事後教育4時間



「臨地実習5」 5単位 選択必修

実習時期:3年夏季休暇
 実習場所:動物病院
 実習時間:150時間 7日×3病院(1日7時間)
 事前教育2時間 事後教育1時間

「臨地実習6」 5単位 選択必修

実習時期:3年夏季休暇
 実習場所:動物関連企業等
 実習時間:150時間 7日×3社(1日7時間)
 事前教育2時間 事後教育1時間

「臨地実習1」および「臨地実習2」は学生によって履修時期が前後します。
 「臨地実習5」と「臨地実習6」はどちらかを選択履修し、単位を修得します。

【大学等の設置の趣旨・必要性】

2. <設置の趣旨と教育課程の整合性が不明確>

「動物看護コース」と「動物産業コース」を設けコース制を導入する計画であるが、その具体的な内容が明らかでない。コースごとの人材像や想定される進路を明示し、それぞれ必要な能力を修得できる教育課程となっていることを説明するか、教育課程を改めること。その際、臨地実務実習の実習先として、「動物産業コース」の教育目的に合致した実習施設が確保されていることを明らかにすること。また、コース制について、どの時点で学生がコース選択をするのか、一方に偏った場合の対応などの具体的な方策についても説明すること。

(対応)

ご指摘されたコース制や人材像、教育課程、臨地実務実習先の確保等について、以下のとおり説明する。

<コース制導入計画の廃止>

本学のゆるやかな2コース制「動物看護コース」、「動物産業コース」は、卒業後の進路を決定する「進路選択の道しるべ」として設定したものであり、教育課程上において、大きく異なる2つのコースを設定したものではなかった。

したがって今回の補正申請書においてコース制は廃止するが、「動物看護」と「動物産業」という2つの進路選択の考え方や設置認可申請書の「専門職短期大学設置の趣旨及び必要性」において説明した人材像を維持しながら、進路選択をより分かりやすくするため、動物病院への進路選択の名称を「動物病院」、動物関連企業等への進路選択の名称を「動物関連企業等」に名称変更し、それぞれの人材像を説明する。

これらの変更に伴い、展開科目と職業専門科目の臨地実務実習を見直すことにした。これについては後述の<教育課程の見直し>の項目で説明する。

<進路別の人材像と想定される進路>

専門職短期大学設置認可申請書の「専門職短期大学設置の趣旨及び必要性」において人材養成について次のように述べた。

「本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護・在宅ケアにおいてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防衛生管理を含むトータルケアを担当する人材を養成する。また、産業界において飼い主と市場と結ぶ役割を果たす人材を養成する。」(設置認可申請書 設置の趣旨等を記載した書類 P6)

以上に述べているとおり、新たに設置する専門職短期大学では、コンパニオンアニマルへの

看護教育を主体とした訪問看護・在宅ケア（是正事項 6 で説明）ができる動物看護師の養成が教育課程の中心として組み込まれている。

従来の専門学校では動物看護師の多くは、動物病院に就職していたが、今回設置する専門職短期大学では、「臨地実習 4」において、すべての学生に動物病院以外の動物関連企業等での実習を義務付け、幅広く動物産業の現場を学び、広い視野を身に付けた飼い主と市場とを結ぶ役割を果たす人材を養成することを目指している。

専門職短期大学設置認可申請書の「専門職短期大学設置の趣旨及び必要性」の「(4) 養成する人材像の①」（P 7～8）では、以下の 3 つの人材像を説明した。

- 動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連企業等において実務家として社会に貢献する人材
- 基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を備えた人材
- 豊かな人間性とグローバルな視野を身に付け、実践的、応用的能力を備えた人材

上記の人材像では「動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連企業等において実務家として社会に貢献する人材」と明文化し、学生は 3 年次に卒業後の進路を明確に見据え、「臨地実習 5」と「臨地実習 6」のいずれかの科目を選択必修科目として履修する。動物病院の進路を目指す者は「臨地実習 5」を選択し、動物関連企業等を目指す者は「臨地実習 6」を選択することになる。

「動物病院」を目指す人材は、動物の訪問看護・在宅ケアを学修し、高齢化が進むペットや飼い主への対応ができる動物看護師である。

「動物関連企業等」を目指す人材は、動物の訪問看護・在宅ケアを含む動物看護師の知識や技術を生かし、動物病院以外のペット関連産業で多様な顧客のニーズに応えられる人材である。

なお、進路選択にあたっては、動物病院への就職を希望する学生を対象に「臨地実習 5」を配置し、7 日間ずつ 3 か所の施設で実習を行う。また、動物関連企業等に就職を希望する学生を対象に「臨地実習 6」を配置し、3 か所の動物関連企業等の現場で 7 日間のローテーションで実習を行い、飼い主のニーズを適切に把握し顧客対応できる従業員の役割を学ぶ。

それぞれの想定される進路については、後述の臨地実務実習先確保とも関連するが、「動物病院」は、その言葉のとおり動物病院を想定し、「動物関連企業等」については、ペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業（ペット用品販売、ドラッグストアほか）を想定している。

<教育課程の見直し>

是正事項 5 で詳しく説明する展開科目では、専攻する特定の職業の分野において創造的な役

割を果たすために必要なものを育成することに寄与する科目を配置している。展開科目については、人材像やディプロマポリシーとの関係を踏まえ、表 1 のとおり新たな科目の追加と科目区分の変更を行った。

表 1 専門職短期大学 展開科目の新旧一覧表

展開科目	新	旧
	「ジェロントロジー」	「ジェロントロジー」
	「社会福祉学」	(追加)
	「少子高齢社会と人口問題」	「少子高齢社会と人口問題」
	「高齢者心理」	「高齢者心理」
	「産業論」	「産業論」
	(基礎科目へ科目区分変更)	「キャリアマネジメント」
	「起業論」	「起業論」
	「消費者行動分析学」	「消費者行動分析学」
	「IT 社会論」	「IT 社会論」
	「情報危機管理論」	(追加)
	「災害・危機管理論」	「災害・危機管理論」
	(基礎科目へ科目区分変更)	「生活とアート」

これらの展開科目では「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」、「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」、「IT 社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置し、少子高齢化が進む社会や急速に変化する現代社会などを理解し、高齢化した動物への訪問看護・在宅ケアの現場や多様化する動物関連企業等の現場において、応用的能力を身につけ、卒業後、創造的な役割が發揮できる人材の養成を目指している。

表 1 の展開科目を以下のとおり人材像ごとに説明する。

「動物病院」の進路選択では、「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」などの科目において、少子高齢化が進む社会を理解し、高齢動物に対応した訪問看護・在宅ケアにおける問題を解決する応用的能力の獲得に寄与する科目を学修し、動物病院で活躍する動物看護師を養成することを目指している。

「動物関連企業等」の進路選択を行う場合は、動物病院以外の動物関連企業等での応用的能力を發揮するための「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」、「IT 社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」などの科目を学修することにより、多様化する社会を理解し、動物関連企

業等の発展に寄与するための知識を身に付けた人材の養成を目指している。

これらの進路別の科目選択は、履修指導により学生が適切な科目を履修登録するようにガイダンスや個人相談によって指導を徹底する。

さらに職業専門科目に含まれる臨地実務実習先を（資料 2-1）のとおり見直した。

「動物病院」への進路を選択した学生は、動物病院で行う「臨地実習 5」を選択し、「動物関連企業等」への進路を選択した学生は、動物関連企業等で行う「臨地実習 6」（選択必修）を選択することにした。

また、動物看護師の職域を広げるために、日本商工会議所が検定試験を行う「販売士」や一般社団法人日本ペット用品工業会の認定資格「ペット用品取扱士」を課外で取得できる「その他の資格」（P33）に加え、キャリアガイダンスにおいて資格の内容や取得方法など説明し、資格取得を指導する。

<教育目的に合った臨地実務実習先の確保>

臨地実務実習先としては、表 2 のとおり、新たに実習先の開拓を行い「動物病院」と「動物関連企業等」の進路やその教育目的に合致した臨地実務実習先を十分に確保している。

具体的には「動物病院」の臨地実務実習先は、227 施設、「動物産業」の臨地実務実習先は、動物病院以外の動物関連企業等（ペットサロン・ペットショップ、ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業（ペット用品販売、ドラッグストアほか）、動物愛護団体を合わせて、189 の店舗等を確保している（表 2）。

特に店舗数を増加させたり、新規開拓したりした企業分野としては、ペット用品販売店とドラッグストアがあり、ペット用品販売店は 0 店舗から 36 店舗へ、ドラッグストアも 0 店舗から 17 店舗へと増加させた。

<進路選択が一方に偏った場合の対応>

上記のように十分な臨地実務実習先を確保しているため、「動物病院」の「臨地実習 5」（選択必修）と「動物関連企業等」の「臨地実習 6」（選択必修）いずれかに選択が偏った場合でも、支障なく臨地実務実習を実施できる。

表 2 設置認可申請時以降に新しく追加された臨地実務実習先の数

分野	実習先	施設（店舗等）数		
		設置認可 申請時	増加分	補正 申請時
動物病院	動物病院	169	58	227
動物関連企業等	(1) ペットサロン・ペットショップ	12	84	96
	(2) ペットホテル・訓練施設・老犬 ホーム・ペット同伴宿泊施設	12	14	26
	(3) その他のペット関連企業・動物 愛護団体	7	60	67
	動物産業小計	31	158	189
合計		200	216	416

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (10～12 ページ)

新	旧
<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1) 教育課程の編成方針</p> <p>②教育課程の編成</p> <p>本学の教育課程は、「<u>生命を生きる</u>」という教育理念のもと、カリキュラムポリシーを踏まえ、以下のように体系的に編成した。</p> <p>・ 「基礎科目」には、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するため「生命倫理学」を配置する。「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目である。なお、「生命倫理学」に「社会学」と「心理学」を加えたこの 3 科目は、展開科目の「ジェロントロジー」、「社会福祉学」「少子高齢化と人口問題」、「高齢者心理」への関係性を持たせ、体系的な学修を目指す。</p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1) 教育課程の編成方針</p> <p>②教育課程の編成</p> <p>本学のカリキュラムの概念図は資料 22 のとおりである。</p> <p>動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するための科目を配置する。その中核となる「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目であり、本学において重要な科目である。</p> <p>また、「生命を生きる」という教育理念のもとに、すべてのカリキュラムが構成され、動物看護師としての基礎的な知識を修得するための「基礎科目」を配置する。</p>

つけるために「動物トータルライフ環境論」、「訪問動物看護学」、「動物看護ソーシャルワーク」の科目を配置した。併せて、動物の健康問題の変化について理解するために「公衆衛生学」の科目を配置した。

また、動物看護の基礎を修得した上で、独自に工夫を行うために「動物臨床看護学(外科)」、「動物臨床栄養学」、「動物リハビリテーション論」、「動物口腔ケア論」の科目を配置した。動物の訪問看護や在宅ケアを行うにあたり、基礎科目の「コミュニケーション論」で学修したことを活かし、飼い主への指導・相談技術を修得するために「コンパニオンドッグトレーニング実習」、「動物口腔ケア実習」の科目を配置した。(資料 28-2)

また、卒業後の進路を決定するための動物病院における臨地実務実習及び動物関連企業における臨地実務実習を次のとおり配置した。

「臨地実習 1」

1年次夏季休暇または1年次春季休暇に校舎(1号館)に併設されているペットサロンで3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接遇マナーと受付、電話対応等を修得させる。

「臨地実習 2」

1年次夏季休暇または1年次春季休暇に校舎(1号館)に併設されている動物病院(アニマルメディカルセンター)で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

「臨地実習 3」

動物病院において、8日間ずつ2か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。院内清掃、電話応対、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で8日間ずつ、2か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。表1の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる2か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

表 1

業種別 分類番号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、 老犬ホーム、ペット同伴宿泊 施設
3	その他のペット関連企業、 動物関連団体

「臨地実習 5」

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師

の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

「臨地実習 6」

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場（店舗等・団体等）で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

- ・「展開科目」には、動物看護師の自立と職域拡大をめざし、現代社会の高齢化に対応する「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「高齢者心理」「少子高齢社会と人口問題」の科目を配置した。また、IT社会や情報危機管理に対応するために「IT社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置した。さらに、動物関連産業の新たな分野を切り開くために「産業論」、「企業論」、「消費者行動分析学」の科目を配置した。

以上のことから、「職業専門科目」において、ディプロマポリシーに掲げる動物看護師に必要な、動物の訪問看護及び、動物の在宅ケアに関する

理論的かつ実践的な応用的能力を身に付ける。さらに、動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を備えるため「展開科目」に発展させ、他分野における創造的な役割を果たすことの出来る人材養成に努める。

- ・「総合科目」には、各年次で今までに学んだ知識・技術等を総合し、臨地実務実習での体験を踏まえて、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を養う「動物トータルケア総合演習 1」、「動物トータルケア総合演習 2」を配置した。

なお、講義と実習においては段階的な教育を行い、科目編成の見直しと実施状況の評価等については、産業界等と密接な連携を図りつつ、教育課程連携協議会の意見を聴き、教育課程の開発に努める。

本学のカリキュラムの概念図は資料 22 のとおりである。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (33 ページ)

新		旧	
10. 資格取得可能な資格		10. 資格取得可能な資格	
(4) その他の資格		(4) その他の資格	
資格の名称等	資格付与団体	資格の名称等	資格付与団体
動物取扱責任者	各都道府県 (登録)	動物取扱責任者	各都道府県 (登録)
介助犬デモンストレーター	社会福祉法人 日本介助犬協会	介助犬デモンストレーター	社会福祉法人 日本介助犬協会
救命技能認定	東京消防庁	救命技能認定	東京消防庁
販売士	日本商工会議所		
ペット用品取扱士	一般社団法人日本ペット用品工業会		
		(追加)	

臨地実務実習先企業一覧

資料2-1

	会社名	業種
1	株式会社サンリングペットサロンSIT	ペットサロン
2	ペットサロン モグMOGU	ペットサロン
3	ペットの保育園Will	ペットサロン
4	トリミングスタジオ Oasis	ペットサロン
5	Pet's Life	ペットサロン
6	ドッグサロンLC	ペットサロン
7	PET SALON KUMIKO	ペットサロン
8	Supreme maihama studio(シュプリーム舞浜スタジオ)	ペットサロン
9	株式会社 BELL-PET(ベルペット)	ペットサロン
10	株式会社ワイズドギー 渋谷西武モントウトウ	ペットサロン
11	グルーミングサロングリム	ペットサロン
12	Anier(アニエル)	ペットサロン
13	Pet Salon Jupiter(ペットサロンジュピター)	ペットサロン
14	Dog Grooming Salon cotaz(コタズ)	ペットサロン
15	DogPlaceOasis(ドッグプレイスオアシス)	ペットサロン
16	ペットサロンうちの仔	ペットサロン
17	株式会社ワンダードック	ペットサロン
18	株式会社DLC DOGLIFE(川口店)	ペットサロン
19	株式会社DLC DOGLIFE(浦和店)	ペットサロン
20	シブヤ・ドッグ・ビューティー	ペットサロン
21	アトリエモモワン	ペットサロン
22	ペットショップジュニア池袋	ペットショップ
23	株式会社オーグ・うさぎのしっぽ横浜店	ペットショップ
24	株式会社モントウトウ	ペットショップ
25	ペットの専門店コジマ新宿店	ペットショップ
26	ペットの専門店コジマ八王子店	ペットショップ
27	ペットの専門店コジマ松戸店	ペットショップ
28	ペットの専門店コジマ竹ノ塚店	ペットショップ
29	ペットの専門店コジマ青戸店	ペットショップ
30	ペットの専門店コジマ浦和店	ペットショップ
31	ペットの専門店コジマ花小金井店	ペットショップ
32	ペットの専門店コジマ大宮店	ペットショップ
33	ペットの専門店コジマ目黒店	ペットショップ
34	ペットの専門店コジマ相模原店	ペットショップ
35	ペットの専門店コジマ川越店	ペットショップ
36	ペットの専門店コジマ洗足店	ペットショップ
37	ペットの専門店コジマ足立店	ペットショップ
38	ペットの専門店コジマ高井戸店	ペットショップ
39	ペットの専門店コジマ中野店	ペットショップ
40	ペットの専門店コジマ三軒茶屋店	ペットショップ
41	ペットの専門店コジマ阿佐ヶ谷店	ペットショップ
42	ペットの専門店コジマ新小岩店	ペットショップ
43	ペットの専門店コジマ板橋店	ペットショップ
44	ペットの専門店コジマ練馬店	ペットショップ
45	ペットの専門店コジマ亀戸店	ペットショップ
46	ペットの専門店コジマ三郷店	ペットショップ
47	ペットの専門店コジマアリオ葛西店	ペットショップ
48	ペットの専門店コジマベイタウン横浜本牧店	ペットショップ
49	ペットの専門店コジマアリオ柏店	ペットショップ
50	ペットの専門店コジマ西篠崎店	ペットショップ
51	ペットの専門店コジマアリオ蘇我店	ペットショップ
52	ペットの専門店コジマアリオ西新井店	ペットショップ

(1) ペットサロン・ペットショップ

(1) ペット サロン・ ペット ショップ	53	ペットの専門店コジマアリオ市原店	ペットショップ
	54	ペットの専門店コジマフォルテ津田沼店	ペットショップ
	55	ペットの専門店コジマ六本木店	ペットショップ
	56	ペットの専門店コジマアリオ深谷店	ペットショップ
	57	ペットの専門店コジマアリオ橋本店	ペットショップ
	58	ペットの専門店コジマ国分寺店	ペットショップ
	59	ペットの専門店コジマ府中店	ペットショップ
	60	ペットの専門店コジマアリオ北砂店	ペットショップ
	61	ペットの専門店コジマモラージュ菖蒲店	ペットショップ
	62	ペットの専門店コジマイーアスつくば店	ペットショップ
	63	ペットの専門店コジマ田端店	ペットショップ
	64	ペットの専門店コジマアリオ亀有店	ペットショップ
	65	ペットの専門店コジマ蕨錦町店	ペットショップ
	66	ペットの専門店コジマ和光店	ペットショップ
	67	アサヒペット株式会社 都築店	ペットショップ
	68	アサヒペット株式会社 多摩店	ペットショップ
	69	アサヒペット株式会社 湘南店	ペットショップ
	70	アサヒペット株式会社 MARK IS みなとみらい店	ペットショップ
	71	アサヒペット株式会社 港北ニュータウン店	ペットショップ
	72	アサヒペット株式会社 トレッサ横浜店	ペットショップ
	73	アサヒペット株式会社 二俣川本店	ペットショップ
	74	DOG'S CARE JOKER 六本木ヒルズ店	ペットショップ
	75	DOG&CAT JOKER ららぽーと柏の葉店	ペットショップ
	76	DOG&CAT JOKER ららぽーと横浜店	ペットショップ
	77	ジョーカー そごう横浜店	ペットショップ
	78	DOG&CAT JOKER そごう大宮店	ペットショップ
	79	JOKER DOG&CAT AVENUE 二子玉川店	ペットショップ
	80	DOG&CAT JOKER むさし村山店	ペットショップ
	81	ヨネヤマプランテーション本店	ペットショップ
	82	ペットエコ横浜 港北ニュータウン店	ペットショップ
	83	ペットエコ横浜 湘南店	ペットショップ
84	ペットエコ横浜 都築店	ペットショップ	
85	ペットエコ横浜 多摩店	ペットショップ	
86	ペットエコ横浜 世田谷店	ペットショップ	
87	ペットエコDOP 元住吉店	ペットショップ	
88	ペットエコ トレッサ横浜店	ペットショップ	
89	ペットエコDOP 大口店	ペットショップ	
90	ペットエコ横浜 上大岡店	ペットショップ	
91	ペットエコ 多摩本店	ペットショップ	
92	ペットエコ 中山店	ペットショップ	
93	ペットエコ仙台 松森店	ペットショップ	
94	ペットエコ泉パークタウン タピオ店	ペットショップ	
95	ペットエコ ザ・モール長町店	ペットショップ	
96	吉田観賞魚販売(ヨシダ・フィッシュファームズ)	ペットショップ	
		小計	96ヶ所
(2) ホーム・ ペット ホテル・ 訓練 施設・ 老犬	1	クラブケンケン 田園調布店	ペットホテル
	2	株式会社ツルーサービス	ペットホテル
	3	大井警察犬訓練所	訓練施設
	4	株式会社フロムパピー ファミリーナガーデン南青山	訓練施設
	5	株式会社プレイボウ PLAYBOW 大阪松屋町店	訓練施設
	6	株式会社プレイボウ PLAYBOW 稲城店	訓練施設
	7	株式会社プレイボウ PLAYBOW 向ヶ丘遊園店	訓練施設
	8	株式会社プレイボウ PLAYBOW 中目黒店	訓練施設
	9	株式会社 Animal Life Solutions	訓練施設
	10	有限会社ドッグライフ	訓練施設
	11	デイケアガーデングリーングラスロッジ	老犬ホーム
	12	老犬ホームあしあと	老犬ホーム
	13	DOG PARTNERS	老犬ホーム
	14	株式会社老犬ホームトップ	老犬ホーム

(2) ホーム・ペット ・ホテル ・訓練施設 ・老犬	15	東京ペットホーム	老犬ホーム
	16	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート富士	宿泊施設
	17	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート箱根雲外荘	宿泊施設
	18	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート御影用水	宿泊施設
	19	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート蓼科	宿泊施設
	20	東京建物リゾート株式会社レジャーリゾート旧軽井沢	宿泊施設
	21	株式会社ベリークルーズ しぶこえ館山	宿泊施設
	22	株式会社ベリークルーズ 御宿海岸	宿泊施設
	23	株式会社ベリークルーズ 修善寺 絆	宿泊施設
	24	株式会社ベリークルーズ 鬼怒川 絆	宿泊施設
25	株式会社ベリークルーズ フェニックスウイング白馬	宿泊施設	
26	株式会社共立メンテナンス(ルシアン旧軽井沢)	宿泊施設	
		小計	26ヶ所
(3) その他 ペット 関連企業 ・動物 愛護 団体	1	フリーステッチ	ペット用品開発
	2	ディスワン小牧店	ペットフード販売
	3	ZOO JAPAN CO.;LTD.	ペット用品販売
	4	ZOO新大久保	ペット用品販売
	5	ZOO四ツ谷	ペット用品販売
	6	ZOO恵比須	ペット用品販売
	7	ZOO六本木	ペット用品販売
	8	ZOO新宿	ペット用品販売
	9	ZOO渋谷サロン	ペット用品販売
	10	GREEN DOG SQUARE	ペット用品販売
	11	GREEN DOG 牧方	ペット用品販売
	12	GREEN DOG 東京ミッドタウン	ペット用品販売
	13	GREEN DOG 代官山	ペット用品販売
	14	GREEN DOG 湘南	ペット用品販売
	15	ビューティプラステラスモール湘南	ペット用品販売
	16	イオンペット テラスモール湘南	ペット用品販売
	17	イオンしつけ教室 浦和美園	ペット用品販売
	18	イオンペットビューティサロン 浦和美園	ペット用品販売
	19	イオンペット 浦和美園	ペット用品販売
	20	イオンペットビューティサロンペコスレイクタウン	ペット用品販売
	21	PECOS レイクタウン	ペット用品販売
	22	ペテモ 与野	ペット用品販売
	23	ペテモビューティサロン 与野	ペット用品販売
	24	イオンペットビューティサロン 相模原	ペット用品販売
	25	イオンペット 相模原	ペット用品販売
	26	相模原どうぶつ医療センターしつけ教室	ペット用品販売
	27	ペットインロイヤル幕張新都心	ペット用品販売
	28	ドッグトレーニング ペコス幕張新都心店	ペット用品販売
	29	イオンペットビューティサロンペコス幕張新都心店	ペット用品販売
	30	イオン動物医療センター幕張新都心(介護)	ペット用品販売
	31	pecos 幕張新都心	ペット用品販売
	32	イオンペット 柏	ペット用品販売
	33	イオンペットビューティサロン 柏	ペット用品販売
	34	イオンペットビューティサロン 千葉ニュータウン	ペット用品販売
35	イオンペット 千葉ニュータウン	ペット用品販売	
36	ペテモ 日の出	ペット用品販売	
37	イオンしつけ教室 日の出	ペット用品販売	
38	ペテモビューティサロン 日の出	ペット用品販売	
39	マツモトキヨシ王子店	ドラッグストア	
40	マツモトキヨシ大袋駅西口店	ドラッグストア	
41	マツモトキヨシ上尾ショーサン通り店	ドラッグストア	
42	マツモトキヨシ綾瀬店	ドラッグストア	
43	マツモトキヨシ荒川南千住店	ドラッグストア	
44	マツモトキヨシ与野本町店	ドラッグストア	
45	マツモトキヨシ新松戸駅前店	ドラッグストア	
46	マツモトキヨシ八ヶ崎店	ドラッグストア	

(3) その他 ペット 関連 企業・ 動物 愛護 団体	47	マツモトキヨシ北習志野駅前店	ドラッグストア
	48	マツモトキヨシ小金原店	ドラッグストア
	49	マツモトキヨシ西船橋店	ドラッグストア
	50	マツモトキヨシフルルガーデン八千代店	ドラッグストア
	51	マツモトキヨシラパーク千城台店	ドラッグストア
	52	マツモトキヨシペリエ西千葉店	ドラッグストア
	53	マツモトキヨシ佃二丁目店	ドラッグストア
	54	マツモトキヨシ南青山店	ドラッグストア
	55	マツモトキヨシ仲宿店	ドラッグストア
	56	東武乗馬クラブ&クレイン	乗馬施設
	57	株式会社湘南動物プロダクション	動物レンタル
	58	株式会社佐藤秀	建設
	59	イカリ消毒(株)	消毒薬
	60	アニコム損害保険株式会社	ペット保険
	61	ペットメディカルサポート株式会社	ペット保険
	62	公益財団法人日本動物愛護協会	ペット関連団体
	63	公益財団法人日本盲導犬協会	ペット関連団体
64	社会福祉法人日本介助犬協会	ペット関連団体	
65	特定非営利活動法人聴導犬育成の会	ペット関連団体	
66	特定非営利活動法人日本動物衛生看護師協会	ペット関連団体	
67	公益社団法人日本動物福祉協会 新東京支部	ペット関連団体	
		小計	67ヶ所
		合計	189ヶ所

(改善事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

3. <教育課程の充実・改善>

「動物生理・繁殖学」「動物病理学」「動物感染症学」「動物薬理学」等の科目が3年次に配当されているが、これらの理論系の科目は病院での臨地実務実習の前に履修しておくことが望ましいため、教育効果を踏まえて科目の配当年次を再考すること。

(対応)

「動物生理・繁殖学」、「動物病理学」、「動物感染症学」、「動物薬理学」は、3年次に配置されているが、ご指摘のとおり、これらの理論系の科目は動物病院での臨地実務実習の前に履修しておくことが望ましいため、教育効果を踏まえて科目の配当年次を動物病院での「臨地実習3」までに「動物生理・繁殖学」、「動物病理学」、「動物薬理学」、「動物感染症学」の履修を終えるよう、履修年次を表1のとおり「動物生理・繁殖学」は1年次前期、「動物病理学」は1年次後期、「動物薬理学」は2年次前期、「動物感染症学」は1年次後期に変更した。

表1 配当年次の変更表

新			旧		
科目区分	科目名称	開講時期	科目区分	科目名称	開講時期
職業専門科目	動物生理・繁殖学	1前	職業専門科目	動物生理・繁殖学	3前
	動物病理学	1後		動物病理学	3前
	動物薬理学	2前		動物薬理学	3前
	動物感染症学	1後		動物感染症学	3前

(新旧対照表) 別記様式第2号 (その2の1) 教育課程の概要

新	旧																																								
③職業専門科目 (略)	③職業専門科目 (略)																																								
<table border="1"> <tr><td>動物口腔ケア論</td><td>3 前</td></tr> <tr><td>動物口腔ケア実習</td><td>3 後</td></tr> <tr><td>訪問動物看護学</td><td>2 前</td></tr> <tr><td>動物看護ソーシャルワーク</td><td>2 後</td></tr> <tr><td>動物生理・繁殖学</td><td>1 前</td></tr> <tr><td>動物病理学</td><td>1 後</td></tr> <tr><td>動物薬理学</td><td>2 前</td></tr> <tr><td>公衆衛生学</td><td>1 前</td></tr> <tr><td>動物感染症学</td><td>1 後</td></tr> <tr><td>動物臨床検査学</td><td>1 後</td></tr> </table>	動物口腔ケア論	3 前	動物口腔ケア実習	3 後	訪問動物看護学	2 前	動物看護ソーシャルワーク	2 後	動物生理・繁殖学	1 前	動物病理学	1 後	動物薬理学	2 前	公衆衛生学	1 前	動物感染症学	1 後	動物臨床検査学	1 後	<table border="1"> <tr><td>動物形態機能学・組織学実習</td><td>1 後</td></tr> <tr><td>動物生理・繁殖学</td><td>3 前</td></tr> <tr><td>動物病理学</td><td>3 前</td></tr> <tr><td>動物薬理学</td><td>3 前</td></tr> <tr><td>公衆衛生学</td><td>2 前</td></tr> <tr><td>動物感染症学</td><td>3 前</td></tr> <tr><td>動物臨床検査学</td><td>1 前</td></tr> <tr><td>動物臨床検査学実習</td><td>2 通</td></tr> <tr><td>動物臨床栄養学</td><td>2 後</td></tr> <tr><td>動物行動学</td><td>2 前</td></tr> </table>	動物形態機能学・組織学実習	1 後	動物生理・繁殖学	3 前	動物病理学	3 前	動物薬理学	3 前	公衆衛生学	2 前	動物感染症学	3 前	動物臨床検査学	1 前	動物臨床検査学実習	2 通	動物臨床栄養学	2 後	動物行動学	2 前
動物口腔ケア論	3 前																																								
動物口腔ケア実習	3 後																																								
訪問動物看護学	2 前																																								
動物看護ソーシャルワーク	2 後																																								
動物生理・繁殖学	1 前																																								
動物病理学	1 後																																								
動物薬理学	2 前																																								
公衆衛生学	1 前																																								
動物感染症学	1 後																																								
動物臨床検査学	1 後																																								
動物形態機能学・組織学実習	1 後																																								
動物生理・繁殖学	3 前																																								
動物病理学	3 前																																								
動物薬理学	3 前																																								
公衆衛生学	2 前																																								
動物感染症学	3 前																																								
動物臨床検査学	1 前																																								
動物臨床検査学実習	2 通																																								
動物臨床栄養学	2 後																																								
動物行動学	2 前																																								
(略)	(略)																																								

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (12～13 ページ)

新	旧
<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(2)科目構成及び区分</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>「職業専門科目」では、職業に繋がる「動物看護学概論」、「動物形態機能学」、「動物行動学」、「動物臨床看護学(基礎・内科)」、「動物病理学」、「動物トータルライフ環境論」、「公衆衛生学」、「動物臨床看護学(外科)」、「コンパニオンアニマルケア実習(基礎)」、「コンパニオンドッグトレーニング実習」等の専門的な科目を配置する。なお、臨地実務実習に関しては「臨地実習 1」、「臨地実習 2」、「臨地実習 3」、「臨地実習 4」、「臨地実習 5」、「臨地実習 6」を配置する。また、「動</p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(2)科目構成及び区分</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>②「職業専門科目」では、「基礎科目」での学修を土台として、職業に繋がる「訪問動物看護学」や「動物トータルライフ環境論」、「動物トータルライフ演習」等の専門的な科目を配置する。</p> <p>(追加)</p>

物生理・繁殖学」、「動物病理学」、「動物感染症学」、「動物薬理学」の理論系の科目は動物病院での臨地実務実習の前に履修しておくことが望ましいため、履修年次を「動物生理・繁殖学」は1年次前期、「動物病理学」は1年次後期、「動物薬理学」は2年次前期、「動物感染症学」は1年次後期に変更した。なお、教育内容をさらに充実させるため、「環境生物学」を配置した。

「展開科目」では、訪問看護・在宅ケアを行う動物看護師として職域を広げ、また、将来産業界を担い、産業界の発展に繋がる他分野の応用的な能力を養成することを目指して「少子高齢社会と人口問題」、「IT社会論」等の科目を配置する。

「総合科目」では、修得した知識・技術等を総合し、臨地実務実習の体験を活かした実践的、応用的な能力を総合的に高める内容の科目を配置し、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を育成することを目指して「動物トータルケア総合演習1」及び「動物トータルケア総合演習2」を配置する。

③「展開科目」では、動物看護師として職域を広げ、将来産業界を担い、産業界の発展に繋がる他分野の応用的な能力を養成することを目指して「少子高齢社会と人口問題」、「IT社会論」等の科目を配置する。

④「総合科目」では、修得した知識・技術等を総合し、臨地実習の体験を活かした実践的、応用的な能力を総合的に高める内容の科目を配置し、飼い主と産業界と動物を繋ぐ。

【教育課程等】

4. <基礎科目の配置、内容が不適切>

基礎科目に配置している科目の中に、動物看護師としての基礎や専門を学修すると見受けられる科目が複数配置されている。基礎科目は「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」ための授業科目であることに鑑み、区分の変更や新たな科目の設定により制度の趣旨を踏まえた適切な基礎科目とすること。

さらに「実務コンピューター」「ビジネスマナー」「ビジネス文書」については、科目名、科目内容が単なる就職対策に見受けられ短期大学の教育にふさわしくないため、これらの科目名や科目内容の見直しも行うこと。

(対応)

ご指摘のとおり、基礎科目に配置している科目の中に、動物看護師としての基礎や専門を学修すると見受けられる科目が複数配置している。基礎科目は「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する」ための授業科目であることに鑑み、基礎科目と展開科目について、ディプロマポリシーとの関係を踏まえ、制度の趣旨を踏まえた新たな科目の追加と科目区分を編成し直した(表1・表2)。

本学では基礎科目での学修が展開科目へとつながるように、基礎科目の「生命倫理学」、「社会学」、「心理学」から展開科目の「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」へ、基礎科目の「キャリアマネジメント」から展開科目の「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」へ、基礎科目の「コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ」、「コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ」から展開科目の「IT社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」へと教育効果が繋がるよう科目編成を改変した(資料4-1)。

本学の展開科目は、特定の職業分野に関連する他分野の応用的な能力を養成するために、日本の現況を踏まえ、「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」の科目をとおして少子高齢化が進む社会を理解し、問題を解決する創造的能力を修得することを目的とする。また、ディプロマポリシーを踏まえ、産業界の発展に寄与する人材養成のために「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」の他、将来に鑑み「IT社会論」の科目をとおして多様化する産業界を理解し、問題を解決する創造的能力を修得することを目的とする。なお、「情報危機管理論」の科目をとおして、文書の保管・管理等を踏まえ、情報の危機管理について教授する。更に「災害・危機管理論」では、人と動物が共生する社会における災害対応を学修し、同行避難等の問題を解決するための創造的能力を修得することを目的とする。

科目名等の変更について次のとおり説明する。

「実務英語」は科目名を「英語Ⅰ」に変更し、科目内容を改めるとともに、英語教育充実のた

め新たに「英語Ⅱ」を設置した。

「動物看護学概論」、「動物形態機能学」、「動物形態機能組織学」、「コンパニオンアニマルケア論」は、基礎科目から職業専門科目へ科目区分を変更した。

また、新規に「心理学」、「社会学」、「コミュニケーション論」を基礎科目に配置した。展開科目に配置した「高齢者心理」の理解を深めるため、基礎科目に「心理学」を配置した。是正事項6のご指摘に従い、本学の教育に福祉の観点も必要であることを配慮し、展開科目に「社会福祉学」を配置し、基礎科目に「社会学」を新たに追加した。

さらにご指摘に従い、「実務コンピューター」「ビジネスマナー」「ビジネス文書」については、科目名、科目内容の見直しを行った。「実務コンピューター」は「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」に変更し、科目内容を改めるとともに、コンピューター教育の充実を図り新たに「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」を配置した。「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の授業はレベル分けの上、20人程度を1クラスとして教育する。「ビジネスマナー」は削除し、生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するため、新たに「コミュニケーション論」を基礎科目に配置した。「ビジネス文書」を削除し、展開科目に「情報危機管理論」を配置し、文書の保管・管理等を踏まえ、情報の危機管理について教授することとした。

また、職業専門教育の充実のために「環境生物学」と「臨地実習6」を職業専門科目に追加した。

「環境生物学」は、ヒトという生物を中心にした環境を学ぶことで、基本的には自然界や野生動物の環境とは異なる人工的な環境内の生物の生き方、またそのために害虫獣化した生き物の生態や防除方法を学ぶ学問であり、動物の飼育環境を保全する知識を学修するために重要な科目である。

「臨地実習6」は、学生のキャリアにつながる重要な臨地実務実習であり、内容については是正事項7の(1)及び(2)で詳しく説明する。

表1 基礎科目 新旧対照表

科目 区分	科目名	
	新	旧
基礎 科目	「英語Ⅰ」	「実務英語」
	「英語Ⅱ」	(追加)
	「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」	「実務コンピューター」
	「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」	(追加)
	(削除)	「ビジネスマナー」

	(削除)	「ビジネス文書」
	「コミュニケーション論」	(追加)
	「生命倫理学」	「生命倫理学」
	(職業専門科目へ科目区分変更)	「動物看護学概論」
	(職業専門科目へ科目区分変更)	「動物形態機能学」
	(職業専門科目へ科目区分変更)	「動物形態機能組織学」
	(職業専門科目へ科目区分変更)	「コンパニオンアニマルケア論」
	「心理学」	(追加)
	「社会学」	(追加)
	「キャリアマネジメント」	(展開科目から科目区分変更)
	「生活とアート」	(展開科目から科目区分変更)

表 2 展開科目 新旧対照表

	新	旧
展開科目	「ジェロントロジー」	「ジェロントロジー」
	「社会福祉学」	(追加)
	「高齢者心理」	「高齢者心理」
	「少子高齢社会と人口問題」	「少子高齢社会と人口問題」
	「産業論」	「産業論」
	(基礎科目へ科目区分変更)	「キャリアマネジメント」
	「起業論」	「起業論」
	「消費者行動分析学」	「消費者行動分析学」
	「IT 社会論」	「IT 社会論」
	「情報機器管理論」	(追加)
	「災害・危機管理論」	「災害・危機管理論」
	(基礎科目へ科目区分変更)	「生活とアート」

新	旧
<p>4. 教育課程の編成の考え方の特色</p> <p>(1)教育課程の編成方針</p> <p>②教育課程の編成</p> <p>(略)</p> <p>「基礎科目」には、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するため「生命倫理学」を配置する。「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目である。なお、「生命倫理学」に「社会学」と「心理学」を加えたこの 3 科目は、展開科目の「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢化と人口問題」、「高齢者心理」への関係性を持たせ、体系的な学修を目指す。</p> <p>(略)</p> <p>「展開科目」には、<u>動物看護師の自立と職域拡大をめざし</u>、現代社会の高齢化に対応する「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「高齢者心理」、「少子高齢社会と人口問題」の科目を配置した。また、IT 社会や情報危機管理に対応するために「IT 社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置した。さらに、<u>動物関連産業の新たな分野を切り開く</u>ために「産業論」、「企業論」、「消費者行動分析学」の科目を配置した。</p> <p>以上のことから、「職業専門科目」において、ディプロマポリシーに掲げる動物看護師に必要な、動物の訪問看護及び、動物の在宅ケアに関する理論的かつ実践的な応用的能力を身に付け</p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方の特色</p> <p>(1)教育課程の編成方針</p> <p>②教育課程の編成</p> <p>(略)</p> <p>動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するための科目を配置する。その中核となる「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目であり、本学において重要な科目である。</p> <p>また、「生命を生きる」という教育理念のもとに、すべてのカリキュラムが構成され、動物看護師としての基礎的な知識を修得するための「基礎科目」を配置する。</p> <p>(略)</p> <p>「展開科目」には、関連する他分野の科目を配置し、動物関連産業との繋がりを通して、創造的能力を学修する。また、「総合科目」では、各年次で今までに学んだ知識・技術等を総合し、臨地実習での体験を踏まえて、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を養う。なお、講義と実習においては段階的な教育を行う。</p>

<p>る。さらに、動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を備えるため「展開科目」に発展させ、他分野における創造的な役割を果たすことの出来る人材養成に努める。</p> <p>(略)</p>	<p>(追加)</p> <p>(略)</p>
<p>(3) 教養教育の実施方針と教育課程編成上の具体的工夫</p> <p>本学の基礎科目では<u>人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を養い、生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する。</u>そのために「生命倫理学」、「英語Ⅰ」、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」を必修科目とし、「心理学」、「社会学」、「キャリアマネジメント」、「コミュニケーション論」、「英語Ⅱ」、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」および「生活とアート」を選択科目として配置する。</p>	<p>(3) 教養教育の実施方針と教育課程編成上の具体的工夫</p> <p>本学の基礎科目は動物看護師にとって職業専門科目を履修するための基礎となる科目である。動物看護学を段階的に基礎科目から学修することにより、職業専門科目の理解を深める。また、「実務英語」や「実務コンピューター」は、動物看護師として必要な職場での外国人対応やパソコンを使用したカルテ・在庫の管理等、就職を見据えた教育内容により編成されている。</p>

(新旧対照表) 別記様式第2号 (その2の1) 教育課程

新		旧				
①基礎科目	科目 区分	授業科目の名称	科目 区分	授業科目の名称		
		生命倫理学	①基礎科目	実務英語		
		心理学		実務コンピューター		
		社会学		ビジネスマナー		
		キャリアマネジメント		ビジネス文書		
		コミュニケーション論		生命倫理学		
		英語 I		動物看護学概論		
		英語 II		動物形態機能学		
		コンピューターリテラシー (情報処理) I		動物形態機能組織学		
		コンピューターリテラシー (情報処理) II		コンパニオンアニマルケア論		
		生活とアート		小計 (9科目)		
		小計 (10科目)		動物臨床看護学 (基礎・内科)		
	②職業専門科目			動物看護学概論	②職業専門科目	動物臨床看護学 (基礎・内科) 実習
				動物形態機能学		動物臨床看護学 (外科)
		動物形態機能組織学	動物臨床看護学 (外科) 実習			
		動物形態機能学・組織学実習	動物口腔ケア論			
		動物臨床看護学 (基礎・内科)	動物口腔ケア実習			
		動物臨床看護学 (基礎・内科) 実習	訪問動物看護学			
		動物臨床看護学 (外科)	動物看護ソーシャルワーク			
		動物臨床看護学 (外科) 実習	動物形態機能学・組織学実習			
		動物口腔ケア論	動物生理・繁殖学			
		動物口腔ケア実習	動物病理学			
		訪問動物看護学	動物薬理学			
		動物看護ソーシャルワーク	公衆衛生学			
		動物生理・繁殖学	動物感染症学			
		動物病理学	動物臨床検査学			
	動物薬理学	動物臨床検査学実習				
	公衆衛生学	動物臨床栄養学				

② 職業専門科目	動物感染症学	② 職業専門科目	動物行動学	
	環境生物学		動物リハビリテーション論	
	動物臨床検査学		動物人間関係学	
	動物臨床検査学実習		動物愛護・福祉と関連法規	
	動物臨床栄養学		伴侶動物学	
	動物行動学		野生動物学	
	動物リハビリテーション論		産業・実験動物学	
	動物人間関係学		動物トータルライフ環境論	
	動物愛護・福祉と関連法規		動物トータルライフ演習	
	伴侶動物学		コンパニオンアニマルケア実習（基礎）	
	動物飼育管理論		コンパニオンアニマルケア実習（応用）	
	野生動物学		コンパニオンドッグトレーニング論	
	産業・実験動物学		コンパニオンドッグトレーニング実習	
	動物トータルライフ環境論		動物飼育管理論	
	動物トータルライフ演習		臨地実習 1	
	コンパニオンアニマルケア論		臨地実習 2	
	コンパニオンアニマルケア実習（基礎）		臨地実習 3	
	コンパニオンアニマルケア実習（応用）		臨地実習 4	
	コンパニオンドッグトレーニング論		臨地実習 5	
	コンパニオンドッグトレーニング実習		小計（36 科目）	
	臨地実習 1		③ 展開科目	ジェロントロジー
	臨地実習 2			少子高齢社会と人口問題
	臨地実習 3			産業論
	臨地実習 4			キャリアマネジメント
	臨地実習 5			消費者行動分析学
	臨地実習 6			I T 社会論
動物実習短期留学	起業論			
研修・ボランティア活動	災害・危機管理論			
小計（44 科目）	生活とアート			
展	高齢者心理			
開	小計（10 科目）			
科				
目				

③ 展開科目	産業論	
	起業論	
	消費者行動分析学	
	IT 社会論	
	情報危機管理論	
	災害・危機管理論	
	小計 (10 科目)	

基礎科目から展開科目へのつながり

基礎科目

展開科目

生命倫理学
社会学
心理学

ジェロントロジー
社会福祉学
少子高齢社会と人口問題
高齢者心理

キャリアマネジメント

産業論
起業論
消費者行動分析学

コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ
コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ

IT社会論
情報危機管理論
災害・危機管理論

英語Ⅰ
英語Ⅱ
コミュニケーション論
生活とアート

46

【教育課程等】

5. <人材像と展開科目の関係が不明確>

ディプロマ・ポリシーに「応用的能力」と記載されているが、具体的に動物看護師に必要な「応用的能力」がどのようなものであるか不明確であるため、

「応用的能力」を修得できる教育課程になっているか不明確である。

特に応用的な能力を修得するための展開科目は「専攻する特定の職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成する」ことを目的としているが、本学の展開科目には基礎科目に配置することが適当な科目も含まれているなど展開科目として適切な科目配置となっていない。これらを踏まえ、本学における展開科目はどのような能力の修得を目的としているかについて、ディプロマポリシーとの関係を踏まえ説明し、展開科目の科目配置を見直すこと。

(対応)

本学のディプロマポリシーに述べられている動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力とは、教育課程の中で修得する知識・技術をとおして、病気や障害を抱えながら自宅療養中の動物や家庭における幼齢動物や高齢動物のライフステージに対応し、健康問題がどのように変化するかを理解した上で、ケアプランを立て、問題を解決するための能力である。

また、飼い主自身が飼育動物のケアができるように指導し、飼い主の相談に対応するための能力である。

<ディプロマポリシーで述べている訪問看護と在宅ケアについて>

本学のディプロマポリシーには、以下のとおり 4 点をあげている。「設置の趣旨等を記載した書類」(P8)

- ・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。
- ・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。
- ・動物の在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。
- ・動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。

ディプロマポリシーに掲げる動物の訪問看護および動物の在宅ケアについては、是正事項 6 において次のように説明している。

訪問看護については『「訪問看護」とは、動物看護師が病気や障害を抱えながら自宅療養中の動物を対象に、往診治療の際、獣医師の指示のもとチーム医療の一員として治療の補助を行くことである。』と説明し、動物の在宅ケアは、『「在宅ケア」とは、家庭において幼齢動物から高齢動物のライフステージに対応し、様々な場面で飼い主のサポートを行うトータルケアである。』と説明している。

ディプロマポリシーの「動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている」と「動物の在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている」の2つに分けて明文化した理由は、「訪問看護」が高齢社会に対応した往診医療において、動物看護師が獣医師に同行して行う獣医師の補助職（アシスタント）であることに対し、「在宅ケア」は動物看護師が、補助職という立場から独立して行うトータルケア業務であり、この度の本学設置申請は、動物看護師が成長を続ける動物関連産業界へ動物看護師の能力を持って深く参画し、将来を担う動物関連産業界の発展に寄与する人材養成にある。

ただし、是正事項6で述べたように「訪問看護」と「在宅ケア」において動物看護師に必要な能力は共通する部分が多いことから、動物看護師に必要とされる応用的能力は一つのものとして説明する。

<職業専門科目で学修する応用的能力>

本学で養成する人材像は、特に現代の人と動物との高齢社会に対応し、訪問看護・在宅ケアの要望に応える動物看護師であり、さらに拡大化を続ける動物関連産業界において、飼い主（消費者）と市場を結び産業界の発展に寄与する動物看護師であることから、ディプロマポリシーを基本として教育課程を構築した。また、教育課程により、動物看護師に必要な応用的能力を修得できることを具体的に説明する。（資料5-1）

職業専門科目において応用的能力を身に付けるために、（資料5-1）「動物看護師に必要な基礎的能力と応用的能力及び配置されている科目（職業専門科目編）」において到達目標を（大項目）（小項目）に分けて説明し、該当科目を配置した。

・大項目「修得した知識を応用して、予測を踏まえたケアプランが立てられる」小項目(1)「問題解決能力を持つ」を達成するために、「動物トータルライフ環境論」「訪問動物看護学」「コンパニオンドッグトレーニング論」「動物看護ソーシャルワーク」「野生動物学」「環境生物学」「動物トータルライフ演習」の科目を配置した。小項目(2)「動物看護の創造力、今後の健康問題がどのように変化するかしないかを理解する」を達成するために「公衆衛生学」の科目を配置した。

・大項目「科学的なケア技術を習得し、工夫ができる」小項目(1)「科学的で正確さを持つ」を達成するために、「動物臨床看護学（外科）」の科目を配置した。小項目(2)「合理的知識に裏付けられた技術を基礎から展開する仕方を理解する」を達成するために、「コンパニオンアニマルケア実習（基礎）」「コンパニオンアニマルケア実習（応用）」「動物臨床看護学（外科）実習」「動物臨床栄養学」「動物リハビリテーション論」「動物口腔ケア論」を配置した。

・大項目「飼い主への指導・相談技術を習得する」小項目「飼い主自身が個別にケア出来るように具体的な指導を可能にする」を達成するために、「コンパニオンドッグトレーニング実習」「動物口

腔ケア実習」の科目を配置した。

<展開科目で学修する応用的能力>

展開科目について、ディプロマポリシーの「動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている」との関係を踏まえ、新たな科目の追加と科目区分の変更により、表1のように見直した。

さらに、是正事項4で述べたとおり、検討を重ねた結果、以下のように基礎科目から展開科目へのつながりを見直した（資料5-2）。

展開科目は、動物看護の分野において必要とされる理論的かつ実践的な応用的な能力であって、動物看護の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成することを目的としていることから、以下のように編成を見直した。（資料5-3）

日本の高齢社会で、人と動物が豊かに共生するためには、生命観、倫理観を有する動物看護師が必要とされ、動物の生命を尊重することに加え、関連する他分野である「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」、の科目をとおして少子高齢化がますます進む社会を理解し、ディプロマポリシーを踏まえ、将来、動物看護師が獣医師の補助職にとどまらず、高齢者がコンパニオンアニマルを家庭で家族の一員として飼育することをサポートするために、あらたに動物看護師がチームをつくり、動物医療と協働の上、在宅ケアを充実していくなど、動物看護師の職域を拡大するためのアイデアから社会的意義がある新しい動物看護師の役割を創造し、動物関連産業界に変化をもたらすような意欲を身につける。

また、「IT社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置し、人の仕事がコンピューターに変わり、イヌのロボットまで出現したIT社会において、人と動物の共生が急スピードで進んでいる状況に鑑み、ディプロマポリシーを踏まえ、訪問看護・在宅ケアの動物看護師がどのような役割を担うか、社会の仕組みをどう変えるか等、また情報や災害の危機管理対策を考案する等、将来の動物産業界の発展に寄与する意欲を身につける。

産業界の発展に寄与する人材養成のために「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」を配置し、動物看護師として、ペットサロン・ペットショップ・ペットホテル・老犬ホーム・リゾート等の現場で飼い主（消費者）の質問や相談に対応するとどまらず、職場から家庭に出向して飼育環境の整備に必要な商品を届けることのほか、ネコカフェや鳥カフェにとどまらず、新しく起業したり、新しい取組みをもって自発的な職域の拡大を図る。

さらに、ペットを飼育可能なマンションの内装計画やリフォーム等に参加し、高齢犬等に優しい居住空間を整備するためのアドバイス等を行う新しいコンサルタント業を起業するなど、積極的に動物関連産業の発展に寄与する意欲を身につける。

以上のことから、職業専門科目において、ディプロマポリシーに掲げる動物看護師に必要な、動物の訪問看護及び、動物の在宅ケアに関する理論的かつ実践的な応用的能力を身に付ける。さらに、

動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を備えるため展開科目に発展させ、他分野における創造的な役割を果たすことの出来る人材養成に努める。

なお、ご指摘のとおり、応用的能力を修得できる教育課程になっているかを見直した結果、専門職短期大学の新制度の特色を踏まえ、教育内容及び教育課程を整備のうえ、次のようにカリキュラムポリシーを改正するに至った。

- ・ 基礎科目では、人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を身に付け、生涯にわたり、自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を養う。
- ・ 職業専門科目では、動物看護師に必要とされる理論的、実践的な能力を養う。
- ・ 展開科目では、関連する他分野において動物看護師として創造的な役割を果たすために必要な応用的能力を養う。
- ・ 総合科目では、修得した知識・技術等を総合し、動物看護師として課題解決力・創造力を養う。

新しいカリキュラムポリシーに沿って、動物看護師に必要な応用的能力を修得する。

表 1 専門職短期大学 展開科目の新旧一覧表

	新	旧
展開科目	「ジェロントロジー」	「ジェロントロジー」
	「社会福祉学」(追加)	
	「少子高齢社会と人口問題」	「少子高齢社会と人口問題」
	「高齢者心理」	「高齢者心理」
	「産業論」	「産業論」
	(基礎科目へ科目区分変更)	「キャリアマネジメント」
	「起業論」	「起業論」
	「消費者行動分析学」	「消費者行動分析学」
	「IT 社会論」	「IT 社会論」
	「情報機器管理論」(追加)	
	「災害・危機管理論」	「災害・危機管理論」
	(基礎科目へ科目区分変更)	「生活とアート」

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (4 ページ)

新	旧
<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性</p> <p>(1) 設置の趣旨及び必要性</p> <p>② 専門職短期大学設置の経緯と必要性</p> <p>(略)</p> <p>ヤマザキ動物看護大学の教育課程は、教養科目から卒業論文に至る授業科目の体系をもって4年間学修し、動物看護学の科学的体系を構築するための教育・研究機関であることから、ヤマザキ動物看護専門職短期大学とは異なる役割を果たす。</p> <p>また、ヤマザキ動物専門学校<small>の</small>教育課程は、技術の即戦力を養成するため学内実習を中心に、講義と実習の割合が約半々であり、実習授業に多くの時間を割いている。また、実習授業では、技術修得のために何度も繰り返すリピート授業を行うことが、社会に出た時の確実な即戦力となる。新制度の専門職短期大学のように関連する他分野の展開科目等は配置していない。</p> <p>ヤマザキ動物看護専門職短期大学の教育課程は、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに沿って、教育課程において修得した知識・技術をとおり、<u>動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力を修得する。</u></p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1) 設置の趣旨及び必要性</p> <p>② 専門職短期大学設置の経緯と必要性</p> <p>(略)</p> <p>ヤマザキ学園大学においては、教養科目から卒業論文に至る授業科目の体系をもって4年間の履修を行い、動物看護学の科学的体系を構築するための教育・研究機関として、ヤマザキ動物看護専門職短期大学とは異なる役割を果たすものである。</p> <p>また、ヤマザキ動物専門学校<small>の</small>教育は、技術の即戦力を養成するため学内実習を中心にしており新制度の専門職短期大学のように関連する他分野の展開科目等は配置されていない。</p> <p>(追加)</p>

新	旧
<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性</p> <p>(1) 養成する人材像</p> <p>(略)</p> <p>②ディプロマポリシー</p> <p>卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護短期大学士（専門職）の学位を授与する。</p> <p>本学のディプロマポリシーは次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。 ・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。 ・動物の在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。 ・動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。 <p>本学のディプロマポリシーに述べられている動物の訪問看護及び動物の在宅ケアに必要な応用的能力とは、教育課程の中で修得する知識・技術をとおして、病気や障害を抱えながら自宅療養中の動物や家庭における幼齢動物や高齢動物のライフステージに対応し、健康問題がどのように変化するかを理解した上で、ケアプランを立て、問題を解決するための能力</p>	<p>・専門職短期大学設置の趣旨及び必要性</p> <p>(1) 養成する人材像</p> <p>(略)</p> <p>②ディプロマポリシー</p> <p>卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護短期大学士（専門職）の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。 ・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。 ・動物の在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。 ・動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。 <p>(追加)</p>

<p>である。</p> <p>また、飼い主自身が飼育動物のケアができるように指導し、飼い主の相談に対応するための能力である。</p>	
--	--

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (9 ページ)

新	旧
<p>2. 専門職短期大学及び学科の特色</p> <p>(1) 学科の特色</p> <p>動物トータルケア学科は動物看護学を基盤として、コンパニオンアニマルの訪問看護・在宅ケア及び飼い主と産業界を繋ぐ実践力を有する動物看護学教育に重点を置いている。また、本学科の大きな特色として、関連する他分野の展開科目があげられる。今まで動物看護教育ではあまり取り上げられてこなかった「ジェロントロジー」、「産業論」、「起業論」「消費者行動分析学」等の科目を配置し、職業専門科目で修得した動物看護の知識、技術をもってペットサロン、ペットショップの開業の他、在宅ケアや動物関連企業での新たな事業展開を図り、将来の動物関連産業界を担い、発展させる人材に求められる能力を培う。</p>	<p>2. 専門職短期大学及び学科の特色</p> <p>(1) 学科の特色</p> <p>動物トータルケア学科は動物看護学を基盤として、コンパニオンアニマルの訪問看護・在宅ケア及び飼い主と産業界を繋ぐ実践力を有する動物看護学教育に重点を置いている。また、本学科の大きな特色として、関連する他分野の展開科目があげられる。今まで動物看護教育ではあまり取り上げられてこなかった「ジェロントロジー」、「産業論」、「消費者行動分析学」、「企業論」等の科目を配置し、職業専門科目で修得した動物看護の知識、技術をもって動物病院の開業や新たな事業展開を図り、将来の産業界を担い、発展させる人材に求められる能力を培う。</p>

新	旧
<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程の編成方針</p> <p>①カリキュラムポリシー</p> <p>動物愛護の精神に則り人と動物の共生の思想と倫理観を身に付け、以下のような教養教育及び職業専門教育を編成し実施する。</p> <p>カリキュラムポリシーは、教育課程を整備し次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎科目では、人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を身に付け、生涯にわたり、自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を養う。 ・職業専門科目では、動物看護師に必要とされる理論的、実践的な能力を養う。 <p>以上の課程の修得により、課題解決能力等の涵養及び社会人としての基礎力の構築に努める。</p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程の編成方針</p> <p>①カリキュラムポリシー</p> <p>動物愛護の精神に則り人と動物の共生の思想と倫理観を身に付け、以下のような教養教育及び職業専門教育を編成し実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎科目では、人と動物の共生に求められる豊かな人間性と幅広い視野を養い、動物看護学の基礎を学修する。 ・職業専門科目では、講義に連動した実習を通して、臨地実習 1・2 に参加して、動物病院とグルーミングサロンの業務の流れを把握し、衛生管理・整備を修得の上、職場のコミュニケーション能力を身に付ける。次いで、動物看護学の応用分野を体系的に学修し、臨地実習 3~5 に参加する。進路選択に向けて、動物病院において動物看護業務の補佐にあたり、企業では業務の流れを把握し幅広い視野を養う。 ・展開科目では、関連する他分野と動物関連産業の繋がりを通して、創造的能力を学修し、臨地実習 5 までに修得した経験を活かし、飼い主と市場を結ぶ動物看護師の役割を考える。 ・総合科目では、各年次で学んだ知識・技術等を総合し、臨地実習での体験を踏まえて飼い主と動物と産業界を繋ぐ能力を養う。 <p>以上の課程の修得により、課題解決能力等の</p>

<p>②教育課程の編成</p> <p>本学の教育課程は、「<u>生命<small>いのち</small>を生きる</u>」という教育理念のもと、カリキュラムポリシーを踏まえ、以下のように体系的に編成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎科目」には、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するため「生命倫理学」を配置する。「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目である。なお、「生命倫理学」に「社会学」と「心理学」を加えたこの 3 科目は、展開科目の「ジェロントロジー」、「社会福祉学」「少子高齢化と人口問題」、「高齢者心理」への関係性を持たせ、体系的な学修を目指す。 <p>(削除)</p>	<p>涵養及び社会人としての基礎力の構築に努める。</p> <p>②教育課程の編成</p> <p>本学のカリキュラムの概念図は資料 22 のとおりである。</p> <p>動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するための科目を配置する。その中核となる「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目であり、本学において重要な科目である。</p> <p>また、「生命を生きる」という教育理念のもとに、すべてのカリキュラムが構成され、動物看護師としての基礎的な知識を修得するための「基礎科目」を配置する。</p> <p>さらに、動物看護師としての技術の定着と実践力の強化を図り、訪問看護等のトータルケアが可能な動物看護師に必要な、発展的な知識と技術を修得するための「職業専門科目」を配置する。なお、動物看護技術の習得のために、1 年次から 3 年次まで、学内で行われる実習科目及び学外で行われる臨地実習を配置することを特色とする。</p> <p>「展開科目」には、関連する他分野の科目を配置し、動物関連産業との繋がりを通して、創造的能力を学修する。</p> <p>また、「総合科目」では、各年次で今までに学んだ知識・技術等を総合し、臨地実習での体験を踏まえて、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を養う。なお、講義と実習においては段階的な</p>
--	---

<p>・「職業専門科目」には修得した<u>知識を応用しケアプランを立て、あわせて問題解決能力を身につける</u>ために「動物トータルライフ環境論」「訪問動物看護学」「動物看護ソーシャルワーク」の科目を配置した。併せて、動物の健康問題の変化について理解するために「公衆衛生学」の科目を配置した。また、動物看護の基礎を修得した上で、独自に工夫を行うために「動物臨床看護学（外科）」「動物臨床栄養学」「動物リハビリテーション論」「動物口腔ケア論」の科目を配置した。動物の訪問看護や在宅ケアを行うにあたり、基礎科目の「コミュニケ</p>	<p>教育を行う。</p> <p>動物トータルケア学科においては、ゆるやかな2コース制を置く。</p> <p>動物看護コースでは、動物病院への進路を踏まえ、動物看護の必修科目を履修した上で、職業専門科目の「動物看護ソーシャルワーク」や「動物口腔ケア論」等の他、展開科目で、「ジェロントロジー」、「災害・危機管理論」等の科目を履修して動物看護師の応用的な能力を養成する。</p> <p>動物産業コースにおいては、動物看護の必修科目を履修した上で、産業界への進路を踏まえ、「動物行動学」や「動物トータルライフ演習」等の他、展開科目は、「産業論」や「起業論」、「消費者行動分析学」等の科目を履修して産業界で役立つ人材を養成する。</p> <p>なお、科目編成の見直しと実施状況の評価等については、産業界等と密接な連携を図りつつ、教育課程連携協議会の意見を聴き、教育課程の開発に努める。</p> <p>(追加)</p>
--	---

ーション論」で学修したことを活かし、飼い主への指導・相談技術を修得するために「コンパニオンドッグトレーニング実習」「動物口腔ケア実習」の科目を配置した。
(資料 28-③)

(略)

・「展開科目」には、動物看護師の自立と職域拡大をめざし、現代社会の高齢化に対応する「ジェロントロジー」「社会福祉学」「高齢者心理」「少子高齢社会と人口問題」の科目を配置した。また、IT 社会や情報危機管理に対応するために「IT 社会論」「情報危機管理論」「災害・危機管理論」の科目を配置した。さらに、動物関連産業の新たな分野を切り開くために「産業論」「企業論」「消費者行動分析学」の科目を配置した。

以上のことから、「職業専門科目」において、ディプロマポリシーに掲げる動物看護師に必要な、動物の訪問看護及び、動物の在宅ケアに関する理論的かつ実践的な応用的能力を身に付ける。さらに、動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を備えるため「展開科目」に発展させ、他分野における創造的な役割を果たすことの出来る人材養成に努める。

・「総合科目」には、各年次で今までに学んだ知識・技術等を総合し、臨地実務実習での体験を踏まえて、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を養う「動物トータルケア総合演習 1」、「動物トータルケア総合演習 2」を配置した。

なお、講義と実習においては段階的な教育を行い、科目編成の見直しと実施状況の評価等については、産業界等と密接な連携を図りつつ、教育課程連携協議会の意見を聴き、教育課程の開発に努める。

本学のカリキュラムの概念図は資料 22 のとおりである。

新	旧
<p>16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制</p> <p>(1)教育課程の取組について</p> <p>①展開科目</p> <p>本学では職業専門科目において動物看護を基盤とした学修を行っている。主に3年次の展開科目(全科目選択)には関連する他分野の科目を配置することで動物看護師の職域を拡大する目的をもって社会的、職業的自立を目指す教育体制をとる。</p> <p>超高齢社会でペット産業の発展の一端を担う動物看護師は、「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢社会と人口問題」、「高齢者心理」の科目をとおして、少子高齢化が進む社会を理解し、問題を解決する応用的能力を修得することを目指す。また、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、産業界の発展を寄与する人材養成のために「産業論」、「起業論」、「消費者行動分析学」、「IT社会論」の科目をとおして多様化する産業界を理解し、問題を解決する応用的能力を修得することを目指す。さらに、人口知能が発達していく社会において、新しい技術を動物飼育環境整備にどう活用していくかの応用的能力を養成することをもって職業的自立を目指す。なお、「情報危機管理論」の科目をとおして文書の保管・管理等を踏まえ、情報の危機管理について教授し、「災害・危機管理論」では、人と動物が共生する社会における災害対応を学修し、同行避難等の問題を解決するための応用的能力を修得することを目指す。</p>	<p>16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制</p> <p>(1)教育課程の取組について</p> <p>①展開科目</p> <p>本学では職業専門科目において動物看護を基盤とした学修を行っている。主に3年次の展開科目(全科目選択)には関連する他分野の科目を配置することで動物看護師の職域を拡大する目的をもって社会的、職業的自立を目指す教育体制をとる。</p> <p>超高齢社会でペット産業の発展の一端を担う動物看護師には「ジェロントロジー」や「少子高齢社会と人口問題」、「産業論」等の科目を通して、自らの役割を認識することをもって職業的自立を目指す。</p> <p>(追加)</p> <p>また、人口知能が発達していく社会において、新しい技術を動物飼育環境整備にどう活用していくかの応用的能力を養成することをもって職業的自立を目指す。「災害・危機管理論」では、リスクコントロールやリスクマネジメントを学修することから、動物看護師としてペットとの同伴避難等の場面にどう対処するか、自ら何ができるかを考察し、指導的立場をもって動物看護職の自立した職域を広げることを目指す。</p>

(新旧対照表) 別記様式第2号 (その2の1) 教育課程の概要

新		旧	
③展開科目		③展開科目	
授業科目の名称	配当年次	授業科目の名称	配当年次
ジェロントロジー	3前	ジェロントロジー	3前
社会福祉学	2前	少子高齢社会と人口問題	3前
少子高齢社会と人口問題	3後	産業論	3前
高齢者心理	2後	キャリアマネジメント	2後
産業論	3前	消費者行動分析学	3後
起業論	3後	IT社会論	3後
消費者行動分析学	3後	起業論	3後
IT社会論	3後	災害・危機管理論	3後
情報危機管理論	3後	生活とアート	3後
災害・危機管理論	3前	高齢者心理	3後
小計 (10科目)		小計 (10科目)	

ディプロマポリシー	能力	到達目標 (大項目)	到達目標 (小項目)	科目区分	該当科目	単位数	開講時期
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・動物看護師としての倫理を身に付ける。 ・潜在的・顕在的に疾病・障害をもつ動物の反応が理解できる。</p>	(1)生命の尊さを学ぶ一方で、如何に判断し、行動すべきかを理解する。	<p>職業専門科目</p>	動物看護学概論	2	1前
			<p>(2)生物学的構造や機能を知り、その面から対象動物を理解する。</p>		動物人間関係学	2	3前
					産業・実験動物学	2	
			<p>(3)動物看護師は対象動物の観察から始まるため、動物の反応を正確および客観的に状況を理解する。</p>		動物愛護・福祉と関連法規	1	3後
					<p>(4)動物看護師の目線で、ケアを前提として、疾病や障害や反応を客観的に把握する技量を持つ。</p>	動物形態機能学	2
動物生理・繁殖学	2						
<p>(5)疾病の成り立ちを理解する。</p>	動物形態機能組織学	2	1後				
	動物形態機能学・組織学実習(実習)	1					
<p>・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。 ・動物在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p>	<p>応用的能力</p>	<p>・修得した知識を応用して予測をふまえたケアプランが立てられる。 ・科学的なケア技術を修得し、独自に工夫ができる。 ・飼い主への指導・相談技術を修得する。</p>	(1)問題解決能力を持つ。		動物行動学	2	1後
			<p>(2)動物看護の創造力、今後の健康問題がどのように変化するかを理解する。</p>		伴侶動物学	2	1後
					動物飼育管理論	2	2前
			<p>(1)科学的で正確さを持つ。(以前に実施したケア技術:再評価)</p>		動物臨床看護学(基礎・内科)	2	1前
					コンパニオンアニマルケア論	2	
			<p>(2)合理的知識に裏付けされた技術を基礎から展開する仕方を理解する。</p>		動物臨床看護学(基礎・内科)実習	2	1通
					動物臨床検査学	2	1後
			<p>飼い主自身が個別にケア出来るように具体的な指導を可能にする。</p>	動物臨床検査学実習	1		
				動物病理学	1	1後	
			動物感染症学	2			
			<p>動物トータルライフ環境論</p>	動物薬理学	2	2前	
				動物トータルライフ環境論	2	2前	
				訪問動物看護学	2		
				コンパニオンドックトレーニング論	2		
				動物看護ソーシャルワーク	2	2後	
野生動物学	1						
環境生物学	1						
動物トータルライフ演習	2	3前					
公衆衛生学	2	1前					
動物臨床看護学(外科)	2	2前					
コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	3	1通					
コンパニオンアニマルケア実習(応用)	3	2通					
動物臨床看護学(外科)実習	2	2後					
動物臨床栄養学	2						
動物リハビリテーション論	2	3前					
動物口腔ケア論	1						
コンパニオンドックトレーニング実習	3	2通					
動物口腔ケア実習	1	3後					

基礎科目から展開科目へのつながり

基礎科目

展開科目

生命倫理学
社会学
心理学



ジェロントロジー
社会福祉学
少子高齢社会と人口問題
高齢者心理

キャリアマネジメント



産業論
起業論
消費者行動分析学

コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ
コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ



IT社会論
情報危機管理論
災害・危機管理論

英語Ⅰ
英語Ⅱ
コミュニケーション論
生活とアート

ディプロマポリシー	能力	目的	到達目標	科目区分	該当科目	単位数	開講時期					
<p>・動物看護に必要な倫理観を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>基礎的能力</p>	<p>・社会的・職業的自立を図るために必要な能力に加え、生涯にわたり自らの資質を向上させるために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(1) 生命の尊さを学ぶとともに、如何に判断し、行動すべきかを理解する。	<p>基礎科目</p>	生命倫理学	2	1前					
					心理学	2	1前					
					社会学	2	1後					
					キャリアマネジメント	2	1後					
					コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ	1	1前					
					コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ	1	2前					
					コミュニケーション論	2	1前					
					英語Ⅰ	2	1通					
					英語Ⅱ	1	2前					
					生活とアート	2	2後					
<p>・動物の訪問看護に必要な使命感を有し、基礎的な知識と技術を身に付けている。</p> <p>・動物在宅ケアに必要な使命感を有し、応用的能力を備え、専門知識と技術を身に付けている。</p> <p>・動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。</p>	<p>応用的能力</p>	<p>・特定の職業(職種)において必要とされる理論的かつ実践的能力に加え、当該職業の分野についてその分野全般にわたり必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(1) 一日の業務の流れを把握する。	<p>臨地実務実習</p>	臨地実習1 シンバ・ドッグ・ビューティー	1	1後・2前					
					臨地実習2 アニマル・メディカル・センター	1						
					(2) 動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図る。	<p>臨地実務実習</p>	臨地実習3 【動物病院】	4	2後			
					(3) スタッフとの適切なコミュニケーションを図る。また初任者レベルの顧客への対応をする。		臨地実習4 【動物関連企業】	4	3前			
					(3) 飼い主と市場をつなぐ動物看護師の役割を考える。		臨地実習5 【動物病院(選択)】	5	3後			
					(4) これまでに学修した知識や実践力をもとに顧客への対応を学ぶ。		臨地実習6 【動物関連企業(選択)】	5	3後			
			<p>・動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身に付けている。</p>		<p>展開科目</p>	<p>・専攻する特定の職業分野に関連する他分野の応用的能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要な能力を育成することを目的とする。</p>	(5) 現代社会の高齢化に対応する。	<p>展開科目</p>	ジェロントロジー	2	3前	
										社会福祉学	2	2前
										高齢者心理	2	2後
										少子高齢社会と人口問題	1	3後
		IT社会論		1			3後					
		情報危機管理論		1			3後					
		災害・危機管理論		2			3前					
		産業論		2			3前					
		起業論		2			3後					
		消費者行動分析学		2			3後					
<p>・修得した知識・技能等を総合し、実践的かつ応用的な、能力を総合的に高めることを目的とする。</p>	<p>総合科目</p>	<p>(8) 知識・技能を総合し今後動物看護師に必要な能力を向上させる。</p>	動物トータルケア総合演習1	2	2通							
			動物トータルケア総合演習2	2	3通							

【教育課程等】

6. <人材像と教育課程の整合性が不明確>

設置の趣旨等において、「在宅ケア」「訪問看護」という点を掲げているが、動物看護師が行う「在宅ケア」「訪問看護」がどのような内容のものか、さらに、これらの能力を修得した場合にどのような機関でどのような職業に就くことを想定しているかを具体的に説明すること。また、教育課程において「在宅ケア」等に必要な能力が修得できるとは見受けられないことから、「在宅ケア」等を行うために必要な科目配置や臨地実務実習先の確保を行うこと。その際には「福祉」の観点も必要となることに配慮すること。

(対応)

<「在宅ケア」「訪問看護」の内容>

本学の動物トータルケア学科では、訪問看護・在宅ケアのできる動物看護師の養成を目的としていることから、「在宅ケア」「訪問看護」について説明する。本学が養成する動物看護師は獣医師の指示の下、往診に同行して行う業務と獣医師とは別に独自に行う行為がある。「在宅ケア」は「訪問看護」で行われる内容と重なる部分もあるが、獣医師の同行が必要とされない動物看護師独自の業務があり、必要に応じては主治医（獣医師）との連携も図る。

必要な能力は本学の教育課程で修得できる。「在宅ケア」の内容は「訪問看護」の内容と重なる部分が多いが、それぞれに分けて説明すると次のとおりである。

「在宅ケア」とは、家庭において幼齢動物から高齢動物のライフステージに対応し、様々な場面で飼い主のサポートを行うトータルケアである。例えば、幼齢動物に対しては家庭の飼育環境を整備し、トイレトレーニングや乳歯から永久歯に生え変わる際の口腔ケアを行う。また、高齢動物に対して、移動の負担を減らし自宅でシャンプー、カットを行う他、補食のサポートも行う。犬のグルーマー（美容師）と同じにシャンプー、カットを行う場合の他、動物看護師として立ち上がることの出来ない高齢犬や障害犬の体調を見ながらシャンプーを行うこと等を含む。

具体的な内容は、バイタルチェック（体温、心拍数、脈拍数、呼吸数等）や動物の観察、給餌、運動、休養等の助言を行う。また、栄養指導（手作り食を含む）、給餌の手伝い、口腔ケア、グルーミング（皮膚・被毛の手入れ、シャンプー、爪切り等）、排泄のしつけや補助と消臭等の清潔ケア、飼育環境の整備、床ずれ予防（体圧分散・除圧・減圧、皮膚の保護と清潔ケア等）を行い、さらに、介助マット、ペットシーツ、おむつ等手配の助言を行う。なお、終末期ケア及びグリーフケアも「在宅ケア」に含まれる。

「訪問看護」とは、動物看護師が病気や障害を抱えながら自宅療養中の動物を対象に、往診治療の際、獣医師の指示のもとチーム医療の一員として治療の補助を行うことである。

具体的な内容は、往診治療時に獣医師の治療の補助や獣医師が行う検体採取（採血・採尿・採便）の補助、動物の保定、飼い主への薬の投与状況の確認や指導を行う。また、獣医師と飼い主

の関係調整として、双方のコミュニケーションが円滑に進むよう動物看護師が飼い主の意思や希望が主治医に正確に伝わるようにサポートし、対象動物のQOLを維持する等が挙げられる。

「在宅ケア」「訪問看護」で重なる部分は、バイタルチェック（体温、心拍数、脈拍数、呼吸数等）や動物の観察、給餌・運動・休養等の助言、栄養指導（手作り食を含む）、給餌の手伝い、口腔ケア、排泄のしつけや補助と消臭等の清潔ケア、飼育環境の整備、床ずれ予防（体圧分散・除圧・減圧・皮膚の保護と清潔ケア等）、介助マット・ペットシート・おむつ等手配の助言、終末期ケア及びグリーフケアである。

以上の職務内容を踏まえ、「在宅ケア」「訪問看護」における動物看護師の職務や役割を終末期ケア及び飼い主へのグリーフケアを例に挙げ、以下のとおり説明する。

動物看護師は、終末期のペットのケアとして流動食の給餌やシリンジでの水分補給、薬の投薬、排泄補助、床ずれ予防等の他、体温や心拍数、脈拍数、呼吸数等のバイタルサインの確認と飼い主への指導を行う。なお、ペットの死亡時には、死後処置（排泄物処理等を含む全身清拭、身体各腔への詰め物、遺体冷却）や遺体安置（棺、ペットシート、タオル等の用意）、葬儀方法の説明、葬儀場の紹介を行う他、飼い主へのグリーフケアを行うことも動物看護師の重要な役割である。

更に、獣医師が医学的見地も含めて選択肢の一つとして挙げる安楽死について、悩む飼い主を支えるのも動物看護師の役割と言える。

<「在宅ケア」等に必要とされる能力を修得するための科目配置、臨地実務実習の確保>

①バイタルチェック（体温、心拍数、呼吸数、脈拍数等）、観察（看護記録の報告）

「動物形態機能学」で生体の恒常性維持と生命現象について学び、「動物臨床看護学（基礎・内科）」で動物の形態、機能および動物の観察の仕方に次いで、症状別、緊急時の看護を学修する。「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」で保定法や一般身体検査の看護手法を修得する。

②運動、休養の助言

「コンパニオンドッグトレーニング論」で犬の行動特性を学び、犬種別の必要な運動量を理解する。「コンパニオンドッグトレーニング実習」でハンドリング&トレーニングを通して飼い主へしつけの方法を指導する能力を培う。

③ライフステージ別栄養指導（手作り食を含む）給餌の手伝い

「動物臨床栄養学」で食の栄養バランスを学び、「動物トータルライフ環境論」ではライフステージや肥満に対応した補食について学修し、「動物トータルライフ演習」では実際に手作り食のレシピを作成し調理を行う。

④口腔ケア

「動物口腔ケア論」、「動物口腔ケア実習」で予防歯科学的観点から動物看護師が行う口腔

ケアの知識や看護技術を修得し、また飼い主へ日々の口腔ケアの仕方を指導する。

- ⑤グルーミング（皮膚・被毛の手入れ、シャンプー、爪切り等）排泄の補助と消臭等の清潔ケア
「コンパニオンアニマルケア論」でライフステージや飼育環境、飼育目的、健康状態等を考慮した、家庭内飼育における健康管理に必要なグルーミング手技を学修する。また、「コンパニオンアニマルケア実習（基礎）」では、動物の健康管理を重視したケアの技術を身に付ける。

⑥飼育環境の整備

「公衆衛生学」「環境生物学」で人と動物の共生に必要な公衆衛生の知識と技術を修得する。
更に「動物感染症学」で感染症の予防や制御法に関しても学修する。

⑦床ずれ予防（体圧分散、除圧・減圧、皮膚の保護と清潔ケア等）

「訪問動物看護学」で動物看護や介護に必要な分野を幅広く学修する。

⑧介助マット、ペットシート、おむつ等手配の助言

「訪問動物看護学」で動物看護や介護に必要な分野を幅広く学修する。

⑨往診診療時の獣医師の補助・保定

「動物臨床看護学（基礎・内科）」で動物の臨床看護を学ぶ上で必要な基本的な知識と技術理論を学修し、「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」では衛生管理に始まり、犬の保定法や一般身体検査、内科的疾患に対する看護手法を修得する。

⑩飼い主への薬の投与状況の確認や指導

「動物臨床看護学（基礎・応用）実習」で薬剤を用いた調剤、投薬を学修する。

⑪獣医師と飼い主の関係調整

「訪問動物看護学」で動物看護や介護に必要な分野を幅広く学び、家族が直面する不安やストレスの軽減に目を向け、常に動物とその家族に寄り添うことを学ぶ。「コミュニケーション論」で対人コミュニケーションの基本が相手の話をよく聴くことにあることから、傾聴について学び、効果的なコミュニケーション能力の向上を図る。

⑫終末期及びグリーフケア

「生命倫理学」で生命への畏敬を学び、「動物人間関係学」でペットロス、愛する動物との別れについての理解を深める。

さらに、「在宅ケア」等に必要な能力を修得するため、十分な臨地実務実習先を次のように確保した。このような臨地実務実習を通して、実習指導者や獣医師、動物看護師から「在宅ケア」等に必要な知識や技術を修得する。

申請時には動物病院合計 169 件が現在は 227 件、動物関連企業（1）ペットサロン・ペットショップ 12 件が現在 96 件、（2）ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット同伴宿泊施設 12 件が現在 26 件、（3）その他のペット関連企業・動物愛護団体 7 件が現在 67 件、合計で申請時 31 件が現在は 189 件で総計 200 件が現在は 416 件と増え、十分確保されている（表 1）。

表1 申請時以降、新しく追加された臨地実務実習先の数

分野	実習先	施設（店舗等）数		
		設置認可 申請時	増加分	補正 申請時
動物病院	動物病院	169	58	227
動物関連企業等	(1) ペットサロン・ペットショップ	12	84	96
	(2) ペットホテル・訓練施設・老犬 ホーム・ペット同伴宿泊施設	12	14	26
	(3) その他のペット関連企業・動物 愛護団体	7	60	67
	動物産業小計	31	158	189
合計		200	216	416

<「在宅ケア」等の際に必要な「福祉」の観点>

ご指摘のとおり、「在宅ケア」や臨地実務実習先において福祉の観点も必要となることから、基礎科目に「社会学」、職業専門科目に「動物人間関係学」、「動物看護ソーシャルワーク」、展開科目に「社会福祉学」を配置した。

「社会学」では、グローバル化による多面的な変化や、少子高齢化の進む現代日本社会の現状を理解する。さまざまな社会問題の事例検討を通じたマクロ的視点、また、多様な人間関係やコミュニケーションのあり方を通じたミクロ的視点により、現代社会を多面的に捉えることを通じて、飼い主をはじめとする動物に関わる全ての人々に対し、配慮あるかかわりのできる職業人の養成を目的とする。

「動物人間関係学」、「動物看護ソーシャルワーク」では人の福祉のための、盲導犬、聴導犬、介助犬の役割等を学修することに加え、アニマルセラピーのボランティア活動等の福祉をとおして動物看護師が社会貢献していくことを目指す。

「社会福祉学」では、社会福祉に関する基本的な知識を理解し、社会的な実践に繋がることを目標に講義を展開する。具体的には、社会福祉の諸分野、法制度、理論、歴史、援助技術などを解説する。また、人口の高齢化や少子化のなかでの介護問題や待機児童問題等といった現代の日本社会が抱える問題を解説、検討し、具体的な支援のあり方を考察することで、理解を深め、社会的な実践に繋げる。

以上の福祉に関わる教育課程を学修することで、人と動物の豊かな共生社会を目指す。

<想定する職業>

「在宅ケア」等に必要とされる能力を修得した場合上記に説明したとおり、どのような機関で

どのような職業に就くか次のとおり説明する。動物病院、ペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物愛護関連団体等に就職することを想定している。

ペットサロン・ペットショップでは、ペットが高齢となり来店が難しくなった場合、自宅に訪問してシャンプーやカット、商品配達を行う。その際に、バイタルチェック、飼育環境の整備、商品アドバイスや販売なども行う。ペットホテル・訓練施設・老犬ホームの分野では、動物を預かった際、主治医（獣医師）と連携を取りながら対応し、また、家庭環境を離れ食事を拒否するなどのストレスを感じた場合に、ストレスの軽減を考え飼育環境を整えるなど、動物看護師として在宅ケアの能力を活かし、職域の幅を広げることができる。ペット同伴宿泊施設（リゾート宿泊施設）においても動物飼育、健康管理のアドバイスの他、実際にグルーミングや口腔ケア等を実施し、顧客のニーズに合わせ、動物を同伴してのレジャー・リゾート産業にも活かすことができる。特にペットフード・ペット用品販売、ドラッグストア等の市場においては、商品の流通量の増大化からペットに合った栄養指導や健康管理のアドバイス、適切な商品の紹介を飼い主にすることが産業の発展に繋がる。また、ペット保険では、犬や猫の飼育頭数から見てもペット市場発展の可能性があり、健康管理の能力を活かして多様化する保険の紹介や選択のアドバイスをすることができる。動物関連団体でも動物の飼育管理の相談に対応する他、補助犬としての役割を終えた犬達の看護、介護を含め動物の生から死までのトータルケアのできる動物看護師へのニーズが高まっている。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（5～8 ページ）

(新)	(旧)
<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (2) 専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実</p> <p>現在、小動物及びその他の動物を対象とする動物病院数は、全国で11,675施設、1都6県で4,681施設ある（資料15）。近年、人とコンパニオンアニマルの高齢化が進み、在宅のままで受けられる訪問サービスを望む声が多くなってきている。また、動物病院での動物看護師の業務は獣医師とのチーム医療が中心であり、今後も、獣医師の指導のもと行われる訪問看護の他、在宅ケアでは動物看護師の職業的自立を目指し、職域を広げてい</p>	<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (2) 専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実</p> <p>現在、小動物及びその他の動物を対象とする動物病院数は、全国で11,675施設、1都6県で4,681施設ある（資料15）。近年、人とコンパニオンアニマルの高齢化が進み、在宅のままで受けられる訪問サービスを望む声が多くなってきている。また、動物病院での動物看護師の業務は獣医師とのチーム医療が中心であり、今後も、獣医師の指導のもと行われる訪問看護の他、在宅ケアでは動物看護師の職業的自立を目指し、職域を広げてい</p>

く。

したがって、本学の動物看護師養成には、訪問看護・在宅ケアに関する知識と技術の教育が必要とされる。加えて、高齢犬のリハビリテーションや口腔ケアを修得することも大切である。本学が養成する動物看護師は獣医師の指示の下、往診に同行して行う業務と獣医師とは別に独自に行う行為がある。在宅ケアは訪問看護で行われる内容と重なる部分もあるが、獣医師の同行が必要とされない動物看護師独自の業務があり、必要に応じては主治医（獣医師）との連携も図る。在宅ケアの内容は訪問看護の内容と重なる部分が多いが、それぞれに分けて説明すると次のとおりである。

在宅ケアとは、家庭において幼齢動物から高齢動物のライフステージに対応し、様々な場面で飼い主のサポートを行うトータルケアである。例えば、幼齢動物に対しては家庭の飼育環境を整備し、トイレトレーニングや乳歯から永久歯に生え変わる際の口腔ケアを行う。また、高齢動物に対して、移動の負担を減らし自宅でシャンプー、カットを行う他、補食のサポートも行う。なお、終末期ケア及びグリーフケアも在宅ケアに含まれる。

訪問看護とは、動物看護師が病気や障害を抱えながら自宅療養中の動物を対象に、往診治療の際、獣医師の指示のもとチーム医療の一員として治療の補助を行うことである。

具体的な内容は、往診治療時に獣医師の治療の補助や獣医師が行う検体採取（採血・採尿・採便等）の補助、動物の保定、飼い主への薬の投与状況の確認や指導を行う。また、獣医師と飼い主の関係調整として、双方のコミュニケーションが円滑に進むよう動物看護師は飼い主の意思や希望が主治医に正確に伝わるようにサポ

く。

したがって、本学の動物看護師養成には、訪問看護・在宅ケアに関する知識と技術の教育が必要とされる。加えて、高齢犬のリハビリテーションや口腔ケアを修得することも大切である。

（追加）

ートし、対象動物のQOLを維持する等が挙げられる。

更に、獣医師が医学的見地も含めて選択肢の一つとして挙げる安楽死について、悩む飼い主を支えるのも動物看護師の役割と言える。

(略)

(4) 養成する人材像

①養成する人材像

本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護・在宅ケアにおいてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防、衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。また、動物関連産業において飼い主（消費者）と市場を結ぶ役割を果たす人材を養成する。

本学が養成する人材像は次のとおりである。

- ・ 動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連産業において実務家として社会に貢献する人材
- ・ 基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を備えた人材
- ・ 豊かな人間性とグローバルな視野を身に付け、実践的、応用的能力を備えた人材

専門職短期大学では、動物病院に勤務する動物看護師が獣医師の補助職にとどまらず、動物看護師がチームをつくり、動物医療と協働の上、在宅ケアを充実していくなど、動物看護師の職

(略)

(4) 養成する人材像

①養成する人材像

本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護においてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。また、産業界において飼い主と市場と結ぶ役割を果たす人材を養成する。

ア 動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連産業において実務家として社会に貢献する人材

イ 基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を備えた人材

ウ 豊かな人間性とグローバルな視野を身に付け、実践的、応用的能力を備えた人材

(追加)

域を拡大するためのアイデアから、社会的意義のある新しい動物看護師の役割を創造できる人材の養成を目指している。

(略)

(略)

【教育課程等】

7. <臨地実務実習の教育の質の確保が不適切>

200 施設の臨地実務実習機関を確保しているが、これらの機関の選定理由や選定の基準、また、各機関で行う具体的な実習内容が不明確である。以下の点を説明し、本学の養成する人材にとって十分に教育効果をあげられる臨地実務実習であることを明らかにしつつ、必要に応じて実習先の見直し、追加を行うこと。その際、「動物看護コース」「動物産業コース」のコースごとに説明し、両コースに必要な実習先を確保していることを明らかにすること。

(1) 実習施設を選定する際に、どのような基準で選定したのか。選定の基準を明確にした上で、教育効果という点から全ての実習施設が基準に見合った実習先であることを説明すること。その際、病院、宿泊施設、ペット産業関係企業等の業種ごとに説明すること。

(対応)

今般、指摘を受けて臨地実務実習を見直すにあたり、これまで「臨地実習」と表現していた「臨地実務実習」を、正式名称の「臨地実務実習」に表記を統一するとともに、従来の「臨地実習1～5」を「臨地実習1～6」までとした。また、「臨地実習5」及び「臨地実習6」は卒業後の進路を決定するための臨地実務実習として位置付け、選択とし、「臨地実習5」は動物病院における臨地実務実習、「臨地実習6」は動物関連企業における臨地実務実習とした。

各機関で行う具体的な実習内容は、以下のとおりである。

「臨地実習 1」

1 年次夏季休暇または春季休暇に校舎（1 号館）に併設されているペットサロンで 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1 日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。

「臨地実習 2」

1 年次夏季休暇または春季休暇に校舎（1 号館）に併設されている動物病院（アニマルメディカルセンター）で 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

「臨地実習 3」

動物病院において、8 日間ずつ 2 か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。院内清掃、電話対応、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で 8 日間ずつ、2 か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。(表 1) の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる 2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本

人の希望・適正等を考慮して配属する。

表 1

業 種 別 分 類 番 号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

「臨地実習 5」

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

「臨地実習 6」

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場（店舗等・団体等）で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他ペット関連企業、動物関連団体等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

なお、是正事項2において説明したとおり、「動物看護コース」・「動物産業コース」は、教育課程のコース制を設定したものではないことから、コース制は取り止め削除しているため、実習先のコースごとの説明は省略する。

また、平成30年11月30日現在、実習先の確保の状況に記載した臨地実務実習先として全国200施設（内訳 動物病院：169施設、動物関連企業：31施設）の承諾を得ていたが、必要に応じて実習先の見直し、追加を行った結果、平成30年5月10日現在、臨地実務実習先として全国416施設（+216施設）（内訳 動物病院：227施設（+58施設）、動物関連企業：189施設（+158施設））の承諾を得ている。

ご指摘のとおり、臨地実務実習施設を選定する基準について、以下のとおり動物病院と動物関連企業の業種ごとに説明する。

<動物病院>

動物病院の選定理由は、「設置の趣旨等を記載した書類」P7 養成する人材像に記したとお

り、「動物愛護の精神に則り、動物病院において実務家として社会に貢献する人材」を育成するため、臨地実務実習先動物病院もこれに則した動物病院が必要と考えたため、中規模動物病院、小規模動物病院、高度医療・二次診療を行う動物病院、専門科診療を行う動物病院、往診を実施している動物病院等を選んだのが選定理由である。

また、本学の臨地実務実習病院若しくは本学園の卒業生が就職している動物病院で、臨床経験5年以上の獣医師、動物看護の経験が3年以上の動物看護師がいる動物病院を基本的に対象とした。

都道府県は、学生が臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮して、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県の1都6県の動物病院を対象とした。

2年次夏季に実施される「臨地実習3」の臨地実務実習の動物病院としては、8日間ごとのローテーションにより2か所において臨地実務実習を行う。臨地実務実習先の動物病院は一次診療施設で従業員5名以下の小規模動物病院と従業員100名以下の中規模動物病院（往診を実施している動物病院を含む。）を対象とした研修を行う。

3年次夏季の「臨地実習5」の臨地実務実習先としては、動物病院で、7日間ごとのローテーションにより3か所において臨地実務実習を行う。研修先の動物病院は5グループに設定した。一次診療施設で従業員数10名以上、4～9名、1～3名の3つのタイプの動物病院（往診を実施している動物病院を含む。）、高度医療・二次診療を行う動物病院、専門科診療を行う動物病院の計5グループから3か所での臨地実務実習を行う。

<診療施設の設備構造基準>

動物病院の施設設備基準については、獣医療法第4条に次のとおり規定されており、構造基準は表2のとおりである。

（診療施設の構造設備の基準）

第4条 診療施設の構造設備は、農林水産省令で定める基準に適合したものでなければならない。

表2【獣医療法第4条に定める診療施設の構造基準】

飼育動物の逸走を防止するために必要な設備を設けること
伝染病の疑いのある動物の収容施設は、他の動物への感染を防止する設備を設けること
消毒設備を設けること
調剤を行う施設にあっては、次のとおり (1) 採光、照明及び換気が充分で、清潔なこと (2) 冷暗貯蔵のための設備を設けること (3) 調剤に必要な器具を備えること
手術を行う施設は、その内壁及び床が耐水性のもので、清潔に保つことが出来る構造であること
(1) エックス線診療室は、人が常時立ち入る場所での実効線量が1週間に1mSv以下のなるように遮へい物を設けること (2) エックス線診療室である旨を示す標識を付すること (3) 放射線に関する構造設備の基準は、獣医療法施行規則第六条から第六条の十一まで

に定めるところによる

上記のとおり、動物病院の施設設備基準は明確に規定されていないため、「公益社団法人日本動物病院協会 認定動物病院基準」を基に、本学では次のとおり臨地実務実習先動物病院の基準を設定した。

小規模動物病院は、施設として待合室（受付）、診察室、処置室を備え、設備として滅菌（オートクレーブ）、薬品管理等を備え、診察に必要な器具を有する。

中規模動物病院は、施設として待合室（受付）、診察室、処置室、手術室、入院室、X線検査室を備え、設備として検査機器、救急（人口蘇生機器）、滅菌（オートクレーブ）薬品管理等を備え、診察に必要な器具を有する。

小規模動物病院と中規模動物病院では、施設設備における違い及び診療科数等の違いはあるが、小規模動物病院では診療可能な動物種に特化している動物病院及び専門診療科に特化している動物病院もあるため、多様な動物病院における実習を経験させることを目的として、小規模動物病院及び中規模動物病院の両方を臨地実務実習先とした。

<動物関連企業等>

本学園の卒業生が就職している企業・店舗を含み、経営が安定している動物関連企業等で、3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる企業・店舗等を基本的に対象とした。

また、学生の利便性を考慮し、概ね1都6県の動物関連企業を対象とした。

2年次春季に実施される「臨地実習4」は、教育効果を考慮し、以下の表3の3分類の業種の中から、2分類の動物関連企業等において8日間ごとのローテーションにより2か所において臨地実務実習を行う。

3年次夏季に実施される「臨地実習6」においては、学生の進路希望先や関連する動物関連企業において7日間のローテーションにより、基本的に3か所において臨地実務実習を行う。

表3

業種別 分類番号	業種	基準
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットサロン ・ペットショップ 	<p>ペットのグルーミング等の知識や飼育・健康管理等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している店舗等</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴宿泊施設 	<p>ペットホテル・訓練施設・老犬ホームは、ペットを宿泊で預かる際の動物の飼育・健康管理等が学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等</p> <p>ペット同伴宿泊施設は、宿泊客が同伴してきたペットへの対応等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業しているホテル等</p>

3	<ul style="list-style-type: none"> ・その他のペット関連企業 ・動物愛護団体 	<p>その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等</p> <p>動物に関する公益団体等で公益的な活動を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している事務所等</p>
---	---	---

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (6 ページ)

新	旧
<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (2)専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>この分野を学修し、動物病院にとどまらず、ペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物関連団体などへの職域拡大を図る。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (2)専門職短期大学教育研究と卒業後の進路等 ①訪問看護及び在宅ケアに関する教育研究と実習の充実</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>この分野は、動物看護師の職域を広げるものである。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (23 ページ)

新	旧
<p>6.教育方法、履修指導方法及び卒業要件 (1)特色とする教育方法 ④動物関連企業等での臨地実務実習</p> <p>3年間を通して、動物関連企業等での臨地実務実習を450時間行う。実習先として、ペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物関連団体等において実施する。臨地実務実習の科目は、1年次夏季休暇期間、1年次春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、2年次春季休暇期間、3年次夏季休暇期間に実施する。それまでに学修した</p>	<p>11. 臨地実習の具体的な計画 (3)実習水準確保の方策</p> <p>3年間を通して、動物関連企業等での臨地実習を450時間行う。実習先として、動物病院の他、動物関連企業、動物関連団体、動物介護施設、ペットショップ、グルーミングサロン、イヌのしつけ教室、動物愛護センター、動物園、水族館、ペット保険会社、リゾート施設等において実施する。臨地実習の科目は、1年次夏季休業期間、1年次春季休業期間、2年次夏季休業期間、2年次春季休業期間、3年次夏季休業期間に実施する。それまでに学修</p>

<p>知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。段階的に臨地実務実習を行うことにより、知識と技術の定着と、実践力の強化が見込まれる。臨地実務実習の計画と実施については、臨地実務実習担当教員等により組織される臨地実務実習委員会が担当する。なお、臨地実務実習先として 416 施設のご承諾を得ている。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>した知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。段階的に臨地実習を行うことにより、知識と技術の定着と、実践力の強化が見込まれる。臨地実習の計画と実施については、臨地実習担当教員等により組織される臨地実習委員会が担当する。なお、臨地実習先として 200 施設、全学生 240 人分のご承諾を得ている。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>
---	--

新	旧
<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1) 教育課程の編成方針</p> <p>②教育課程の編成</p> <p>本学の教育課程は、「<u>生命を生きる</u>」という教育理念のもと、カリキュラムポリシーを踏まえ、以下のように体系的に編成した。</p> <p>・「基礎科目」には、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するため「生命倫理学」を配置する。「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目である。なお、「生命倫理学」に「社会学」と「心理学」を加えたこの 3 科目は、展開科目の「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「少子高齢化と人口問題」、「高齢者心理」への関係性を持たせ、体系的な学修を目指す。</p> <p>(削除)</p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1) 教育課程の編成方針</p> <p>②教育課程の編成</p> <p>本学のカリキュラムの概念図は資料 22 のとおりである。</p> <p>動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を学修するための科目を配置する。その中核となる「生命倫理学」は本学園において昭和 42 年の創立以来、今日まで継承されてきた科目であり、本学において重要な科目である。</p> <p>また、「生命を生きる」という教育理念のもとに、すべてのカリキュラムが構成され、動物看護師としての基礎的な知識を修得するための「基礎科目」を配置する。</p> <p>さらに、動物看護師としての技術の定着と実践力の強化を図り、訪問看護等のトータルケアが可能な動物看護師に必要な、発展的な知識と技術を修得するための「職業専門科目」を配置する。なお、動物看護技術の習得のために、1 年次から 3 年次まで、学内で行われる実習科目及び学外で行われる臨地実習を配置することを特色とする。</p> <p>「展開科目」には、関連する他分野の科目を配置し、動物関連産業との繋がりを通して、創造的能力を学修する。</p> <p>また、「総合科目」では、各年次で今までに学んだ知識・技術等を総合し、臨地実習での体験を踏まえて、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を養う。なお、講義と実習においては段階的な教育を行う。</p> <p>動物トータルケア学科においては、ゆるやかな 2 コース制を置く。</p> <p>動物看護コースでは、動物病院への進路を踏まえ、動物看護の必修科目を履修した上で、</p>

<p>「職業専門科目」には修得した知識を応用しケアプランを立て、あわせて問題解決能力を身につけるために「動物トータルライフ環境論」、「訪問動物看護学」、「動物看護ソーシャルワーク」の科目を配置した。併せて、動物の健康問題の変化について理解するために「公衆衛生学」の科目を配置した。</p> <p>また、動物看護の基礎を修得した上で、独自に工夫を行うために「動物臨床看護学(外科)」、「動物臨床栄養学」、「動物リハビリテーション論」、「動物口腔ケア論」の科目を配置した。動物の訪問看護や在宅ケアを行うにあたり、基礎科目の「コミュニケーション論」で学修したことを活かし、飼い主への指導・相談技術を修得するために「コンパニオンドッグトレーニング実習」、「動物口腔ケア実習」の科目を配置した。(資料 28-2)</p> <p>また、卒業後の進路を決定するための動物病院における臨地実務実習及び動物関連企業における臨地実務実習を次のとおり配置した。</p> <p>「臨地実習 1」</p> <p>1 年次夏季休暇または春季休暇に校舎(1 号館)に併設されているペットサロンで 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。</p> <p>動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1 日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接遇マナーと受付、</p>	<p>職業専門科目の「動物看護ソーシャルワーク」や「動物口腔ケア論」等の他、展開科目で、「ジェロントロジー」、「災害・危機管理論」等の科目を履修して動物看護師の応用的な能力を養成する。</p> <p>動物産業コースにおいては、動物看護の必修科目を履修した上で、産業界への進路を踏まえ、「動物行動学」や「動物トータルライフ演習」等の他、展開科目は、「産業論」や「起業論」、「消費者行動分析学」等の科目を履修して産業界で役立つ人材を養成する。</p> <p>(追加)</p>
--	---

電話対応等を修得させる。

「臨地実習 2」

1 年次夏季休暇または春季休暇に校舎(1 号館)に併設されている動物病院(アニマルメディカルセンター)で3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

「臨地実習 3」

動物病院において、8 日間ずつ2 か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。院内清掃、電話応対、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で8 日間ずつ、2 か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。表1 の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

表 1

業種別 分類番号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、 老犬ホーム、ペット同伴宿泊 施設
3	その他のペット関連企業、 動物関連団体

「臨地実習 5」

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7 日間ずつ基本的に3 か所

(追加)

の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

「臨地実習6」

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場（店舗等・団体等）で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

・「展開科目」には、動物看護師の自立と職域拡大をめざし、現代社会の高齢化に対応する「ジェロントロジー」、「社会福祉学」、「高齢者心理」、「少子高齢社会と人口問題」の科目を配置した。また、IT社会や情報危機管理に対応するために「IT社会論」、「情報危機管理論」、「災害・危機管理論」の科目を配置した。さらに、動物関連産業の新たな分野を切り開くために「産業論」、「企業論」、「消費者行動分析学」の科目を配置した。

以上のことから、「職業専門科目」において、ディプロマポリシーに掲げる動物看護師に必要な、動物の訪問看護及び、動物の在宅ケアに関する理論的かつ実践的な応用的能力を身に付ける。さ

(追加)

<p>らに、動物看護の素養を備え、幅広い視野を有し、動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を備えるため「展開科目」に発展させ、他分野における創造的な役割を果たすことの出来る人材養成に努める。</p> <p>・「総合科目」には、各年次で今までに学んだ知識・技術等を総合し、臨地実務実習での体験を踏まえて、飼い主と産業界と動物を繋ぐ能力を養う「動物トータルケア総合演習1」、「動物トータルケア総合演習2」を配置した。</p> <p>なお、講義と実習においては段階的な教育を行い、科目編成の見直しと実施状況の評価等については、産業界等と密接な連携を図りつつ、教育課程連携協議会の意見を聴き、教育課程の開発に努める。</p> <p>本学のカリキュラムの概念図は資料 22 のとおりである。</p>	<p>(追加)</p>
--	-------------

新	旧
<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画 (3)臨地実務実習水準の確保の方策</p> <p>臨地実務実習のため「臨地実務実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。</p> <p>実習に際しては、専任教員による事前教育、事後教育を行う他、専任教員の分担による訪問を実施する。実習施設において実習指導担当者を選任していただき、実習指導者と事前の打ち合わせを行う。実習後の学生からの実習ノートによる報告、実習先の評価表に基づき、実習担当の専任教員により成績を評価する。</p> <p>臨地実務実習施設を選定する基準について、以下のとおり動物病院と動物関連企業の業種ごとに説明する。</p> <p><動物病院></p> <p>動物病院の選定理由は、「設置の趣旨等を記載した書類」P7 養成する人材像に記したとおり、「動物愛護の精神に則り、動物病院において実務家として社会に貢献する人材」を育成するため、<u>臨地実務実習先動物病院もこれに則した動物病院が必要と考えたため、中規模動物病院、小規模動物病院、高度医療・二次診療を行う動物病院、専門科診療を行う動物病院、往診を実施している動物病院等を選んだのが選定理由である。</u></p> <p>また、本学の臨地実務実習病院若しくは卒業生が就職している動物病院で、臨床経験 5 年以上の獣医師、動物看護の経験が 3 年以上の動物看護師がいる動物病院を基本的に対象とした。</p> <p>都道府県は、学生が臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮して、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、茨城県、群馬県の 1 都 6 県の動物病院を対象とした。</p>	<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画 (3)臨地実務実習水準の確保の方策</p> <p>臨地実習のため「臨地実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。</p> <p>実習に際しては、専任教員による事前教育、事後教育を行う他、専任教員の分担による訪問を実施する。実習施設において実習指導担当者を選任していただき、実習指導者と事前の打ち合わせを行う。実習後の学生からの実習ノートによる報告、実習先の評価表に基づき、実習担当の専任教員により成績を評価する。</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p>

2年次夏季に実施される「臨地実習3」の臨地実務実習の動物病院としては、8日間ごとのローテーションにより2か所において臨地実務実習を行う。臨地実務実習先の動物病院は一次診療施設で従業員5名以下の小規模動物病院と従業員100名以下の中規模動物病院（往診を実施している動物病院を含む。）を対象とした研修を行う。

3年次夏季の「臨地実習5」の臨地実務実習先としては、動物病院で、7日間ごとのローテーションにより3か所において臨地実務実習を行う。研修先の動物病院は5グループに設定した。一次診療施設で従業員数10名以上、4～9名、1～3名の3つのタイプの動物病院（往診を実施している動物病院を含む。）、高度医療・二次診療を行う動物病院、専門科診療を行う動物病院の計5グループから3か所での臨地実務実習を行う。

また、動物病院の施設設備基準は明確に規定されていないため、本学では次のとおり動物病院の基準を設定した。

小規模動物病院は、施設として待合室（受付）、診察室、処置室を備え、設備として滅菌（オートクレーブ）、薬品管理等を備え、診察に必要な器具を有する。

中規模動物病院は、施設として待合室（受付）、診察室、処置室、手術室、入院室、X線検査室を備え、設備として検査機器、救急（人口蘇生機器）、滅菌（オートクレーブ）薬品管理等を備え、診察に必要な器具を有する。

小規模動物病院と中規模動物病院では、施設設備における違い及び診療科数等の違いはあるが、小規模動物病院では診療可能な動物種に特化している動物病院及び専門診療科に特化している動物病院もあるため、小規模・中規模両方の動物病院を実習先としている。

<動物関連企業等>

本学園の卒業生が就職している企業・店舗を含み、経営が安定している動物関連企業等で、3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる企

(追加)

業・店舗等を基本的に対象とした。

また、学生の利便性を考慮し、概ね 1 都 6 県の動物関連企業を対象とした。

2 年次春季に実施される「臨地実習 4」は、教育効果を考慮し、以下の（表 3）の 3 分類の業種の中から、2 分類の動物関連企業等において 8 日間ごとのローテーションにより 2 か所において臨地実務実習を行う。

3 年次夏季に実施される「臨地実習 6」においては、学生の進路希望先や関連する動物関連企業において 7 日間のローテーションにより、基本的に 3 か所において臨地実務実習を行う。

3 分類の業種ごとにそれぞれの基準（表 3）を以下のとおり説明する。

表 3

業種別分類番号	業 種	基 準
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットサロン ・ ペットショップ 	ペットのグルーミング等の知識や飼育・健康管理等を学ぶことができ、3 年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している店舗等
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットホテル ・ 訓練施設 ・ 老犬ホーム ・ ペット同伴宿泊施設 	ペットホテル・訓練施設・老犬ホームは、ペットを宿泊で預かる際の動物の飼育・健康管理等が学ぶことができ、3 年以上の実務経験者による指導が受けられ、3 年以上継続的に営業している店舗等 ペット同伴宿泊施設は、宿泊客が同伴してきたペットへの対応等を学ぶことができ、3 年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業しているホテル等

(追加)

3	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他のペット関連企業 ・ 動物愛護団体 	<p>その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等</p> <p>動物に関する公益団体等で公益的な活動を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している事務所等</p>	
---	---	---	--

(是正事項) 動物トータルケア学科

(2) 臨地実務実習の教育目的や教育内容が不明確である。多くの実習施設で共通の目的で実施するに当たり、十分な内容の実習ができるのか疑義がある。科目ごとに教育の目的を明確にし、各施設でどのような実習を行うのか具体的に明らかにすること。その際、病院、宿泊施設、ペット産業関係企業等の業種ごとに説明すること。

また、病院での実習は、病院によって看護師の職務範囲が異なることが考えられるため、学生が行う業務の範囲の基準を設けているのか。基準がある場合はその基準を説明し、病院ごとに異なる場合は、どのように業務範囲を把握し十分な教育が行えると判断したのか説明すること。

(対応)

ご指摘のとおり、各施設で具体的にどのような臨地実務実習を行うかについて、以下のとおり臨地実務実習の科目ごとに説明する。

<臨地実務実習の教育内容>

「臨地実習 1」

1 年次夏季休暇または春季休暇に校舎（1 号館）に併設されているペットサロンで 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1 日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。

臨地実務実習時間は 3 日間（1 日 7 時間）の他に、事前教育 3 時間、見学実習 3 時間、事後教育 3 時間、計 30 時間である。

【到達目標】

「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの 1 日の業務の流れを把握することを到達目標とする。

「臨地実習 2」

1 年次夏季休暇または春季休暇に校舎（1 号館）に併設されている動物病院（アニマルメディカルセンター）で 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

臨地実務実習時間は 3 日間（1 日 7 時間）の他に、事前教育 3 時間、見学実習 3 時間、事後教育 3 時間、計 30 時間である。

【到達目標】

「臨地実習 2」は、臨地実務実習の導入として、業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得させる。

「臨地実習 3」

動物病院において、8 日間ずつ 2 か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。院内清掃、電話対応、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日×2病院（1日7時間）の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

【到達目標】

「臨地実習3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。

「臨地実習4」

動物関連企業等で8日間ずつ、2か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。是正事項7の(1)でも説明したとおり、(表3)の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる2か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日間×2社（1日7時間）の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

表3

業種別 分類番号	業種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

【到達目標】

「臨地実習4」では「臨地実習1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。

「臨地実習4」の業種ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表4)

表 4

業種別 分類番号	業種	「臨地実習4」の内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットサロン ・ペットショップ 	<p>ペットサロンにおいては、開店準備、清掃、犬具の手入れ、商品知識や販売、閉店作業を学ぶ。</p> <p>ペットショップにおいては、開店作業、消毒、清掃、閉店作業等の実務を学ぶ。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴 宿泊施設 	<p>ペットホテルにおいては、開店準備作業、清掃等の環境整備、ペットの健康状態を保ちながら預かるためのノウハウ、閉店作業を通じて実務を学ぶ。</p> <p>訓練施設においては、ペットの「無駄吠え」「散歩の引張癖」「甘噛み」等を治すしつけの方法、開店準備、閉店作業等を通じて実務を学ぶ。</p> <p>老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ等の実務を学ぶ。</p> <p>ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・その他のペット 関連企業 ・動物関連団体 	<p>その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等する店舗等において、開店準備、商品知識、閉店作業、清掃、陳列等の実務を学ぶ。</p> <p>動物関係の公益団体の事務所において、公益団体が提供している動物に関連するイベントの準備作業、公益団体関連法規の知識修得、団体が主催する検定試験準備補助事務等の実務を学ぶ。</p>

先にも述べたが、指摘を受けて臨地実務実習を見直すにあたり、従来の「臨地実習1～5」を「臨地実習1～6」までとした。また、「臨地実習5」及び「臨地実習6」は卒業後の進路を決定するための臨地実務実習として位置付け、選択とし、「臨地実習5」は動物病院における臨地実務実習、「臨地実習6」は動物関連企業における臨地実務実習とした。

「臨地実習5」

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3病院（1日7時間）の他に事前教育2時間、事後教育1

時間、計 150 時間である。

【到達目標】

「臨地実習 5」は、職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして動物看護師として幅広い視野を養うことを到達目標とする。

臨地実務実習時間は 7 日間×3 社（1 日 7 時間）の他に事前教育 2 時間、事後教育 1 時間、計 150 時間である。

「臨地実習 6」

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に 3 か所の動物関連企業等の現場（店舗等・団体等）で 7 日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他ペット関連企業、動物関連団体等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3 年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

【到達目標】

職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして、顧客のニーズを把握し、通常業務における顧客への対応を学ぶ。

「臨地実習 6」の業種ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。（表 5）

表 5

業種別 分類番号	業種	「臨地実習 6」の内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットサロン ・ペットショップ 	<p>ペットサロンにおいては、開店準備、受付等の顧客との対応、環境整備、閉店における事務作業を学ぶ。</p> <p>ペットショップにおいては、顧客対応、開店準備、消毒、清掃、給餌、閉店作業、事務作業を学び、実務能力を高める。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットホテル ・訓練施設 ・老犬ホーム ・ペット同伴宿泊施設 	<p>ペットホテルにおいては、受付等顧客との対応、開店準備作業、清掃等の環境整備、給餌、ペットの健康状態を保持、事務作業等学び、実務能力を高める。</p> <p>訓練施設においては、ペットのしつけの方法を中心に警察犬や災害救助犬の訓練方法のほか、顧客対応、開店準備、給餌、閉店作業、事務作業等を学び実務能力を高める。</p> <p>老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ、病気の際の獣医師との連携、顧客対応、事務作業等を学び実務能力を高める。</p> <p>ペット同伴宿泊施設においては、宿泊客を迎えるための準備や片づけ、宿泊客の対応、ペットへのイベントサービスの提供、宿泊客の見送り、事務作業等を学び実務能力を高める。</p>

3	<ul style="list-style-type: none"> ・その他のペット関連企業 ・動物関連団体 	<p>ペットフード・ペット用品販売等のその他のペット関連企業の店舗等においては、顧客対応、開店準備、商品知識、閉店作業、事務作業等を学び実務能力を高める。</p> <p>動物関係の公益団体の事務所においては、来客者への対応、公益団体が提供している動物に関連する公益サービスの事務作業、イベントの準備作業、機関誌の作成補助等を学び実務能力を高める。</p>
---	---	---

ご指摘のとおり、病院での実習は、病院によって看護師の職務範囲が異なることが考えられるため、学生が行う業務の範囲の基準を設けているか。基準がある場合はその基準を説明し、病院ごとに異なる場合は、どのように業務範囲を把握し十分な教育が行えると判断したのか説明することについて、以下のとおり説明する。

現在、「動物病院実習ガイドライン」作成に関し、一般社団法人 全国動物教育協会が主体となり、「認定動物看護師養成における効果的な連携事業を行うための動物病院実習ガイドライン作成事業」において、鋭意「動物病院実習ガイドライン」を作成中である。

しかしながら本学においては、ヤマザキ動物看護大学が作成した「学生が動物病院で行う業務の範囲の基準」を基に、業務の範囲の基準を次のとおり設定した。

なお、「動物病院実習ガイドライン」が作成された後は、同ガイドラインに準拠した基準を設定する。

<学生が動物病院で行う業務の範囲の基準>

(1)受付業務

- ①常に笑顔を忘れずに、明るくあいさつができる。
- ②飼い主名、ペット名を来院3回以内に確実に覚えることができる。
- ③カルテを間違いなく出せる。
- ④初診の受付ができる。(診察券の発行を含む)
- ⑤診察時間、来院手段の問い合わせに正しく答えられる。(予約診療の場合、予約の取り方を含む)

(2)クライアントエデュケーション

- ①健康犬、健康猫の飼育・食餌指導ができる。
- ②予防指導ができる。(予防接種の種類、接種時期、接種後の注意、接種後の体調の変化等)
- ③手入れの仕方を指導できる。(被毛、歯、耳、爪、肛門囊について)
- ④寄生虫について正しく説明できる。(ノミ、ダニ、シラミ、フィラリア、回虫、条虫、鉤虫、鞭虫等)
- ⑤投薬方法、療法食について正しく説明できる。

(3)清掃・消毒

- ①たえず臭気・汚れに気を配り、院内を清潔に保つ事ができる。

- ②駐車場やエントランスにも気を配り、ゴミや排泄物を処理できる。
- ③トイレのチェックを定期的に行い、清潔を保つ。(トイレットペーパー、汚物入れ等)
- ④院内で使用されている消毒薬の使用方法を理解している。(至適濃度、目的等)
- ⑤院内感染防止の重要性・方法を理解し、正しく実行できる。(汚物の処理法、手指消毒法等)

(4)診療補助

- ①あらゆる犬、猫の体重・体温の測定ができる。
- ②あらゆる犬に対し、獣医師の指示どおり保定ができる。
- ③おとなしい猫に対し、獣医師の指示どおり保定ができる。
- ④おとなしい犬・猫に対し、一般身体検査を行い、かつ獣医師に正しく報告できる。
- ⑤飼い主の質問に対し、診断・診療・方針に関する事を答えてはならないことを理解している。

(5)臨床検査

- ①血液検査において、CBC・mf検査が正しくかつ迅速にできる。(検体の取り扱い、準備、後片付けを含む)
- ②糞便検査において、各寄生虫卵を正しく同定できる。(検体の取り扱い、準備、後片付けを含む)
- ③尿検査において、比重・尿スティック検査ができ、尿沈渣観察用の標本が作製できる。(検体の取り扱い、準備、後片付けを含む)
- ④X線検査において、X線防御の必要性を理解し、正しく実行できる。
- ⑤ECG検査において、正しく動物を保定し電極を装着できる。

(6)看護

- ①健康な動物の状態を把握し、異常を発見できる観察力をもつ。
- ②あらゆる動物に対し、正しく経口投与・点眼・点耳・点鼻ができる。
- ③点滴セットを正しくセットしたり、アンプル・バイアルから指示された量の薬剤を注射器に移すことができる。
- ④全身麻酔から動物が完全に覚醒するまで、バイタルサインを観察し、獣医師に正しく報告できる。
- ⑤飼い主の心の痛みが理解でき、患者に対しては動物愛護の精神を持って優しく接する。

また、本学が実施する臨地実務実習は、臨地実務実習先の動物病院により実習内容が異なるため、臨地実務実習先の動物病院との事前打合せの際に、次の事項を確認し合い、連携して指導体制を構築する。

- ①臨地実務実習の内容・目的及び到達目標を提示する。
- ②臨地実務実習の内容に関する要望・提案等の意見交換を行う。
- ③本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。

新	旧
<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画 (1)臨地実務実習の目的</p> <p>臨地実務実習は、専門職短期大学設置基準第26条第4号に定める「臨地実務実習（企業その他の事業者の事業所またはこれに類する場所において、当該事業者の実務に従事することにより行う実習）」に基づき、産業界と連携し、トータルケアのできる動物看護師として飼い主と産業界を繋ぐ実務能力を養成するとともに、就業意識を高め、実習後の学習意欲の向上を図り、職業選択における自らの適性理解を促し、就職先での定着率を高める。</p> <p>3年間を通して、動物関連企業等での臨地実務実習を450時間行う。実習先として、ペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、その他のペット関連企業、動物関連団体等において実施する。臨地実務実習は、1年次夏季休暇期間、1年次春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、2年次春季休暇期間、3年次夏季休暇期間に実施する。それまでに学修した知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。なお、臨地実務実習の計画案は資料30のとおりである。</p> <p><臨地実務実習の教育内容></p> <p>各施設で具体的にどのような臨地実務実習の教育内容について、臨地実務実習の科目ごとに説明する。</p> <p>「臨地実習 1」</p> <p>1年次夏季休暇または春季休暇に校舎（1号館）に併設されているペットサロンで3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。</p> <p>動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を</p>	<p>11. 臨地実習の具体的な計画 (1)実習の目的</p> <p>臨地実習は、専門職短期大学設置基準第26条第4号に定める「臨地実務実習（企業その他の事業者の事業所またはこれに類する場所において、当該事業者の実務に従事することにより行う実習）」に基づき、産業界と連携し、トータルケアのできる動物看護師として飼い主と産業界を繋ぐ実務能力を養成するとともに、就業意識を高め、実習後の学習意欲の向上を図り、職業選択における自らの適性理解を促し、就職先での定着率を高める。</p> <p>3年間を通して、動物関連企業等での臨地実習を450時間行う。実習先として、動物病院の他、動物関連企業、動物関連団体、動物介護施設、ペットショップ、グルーミングサロン、イヌのしつけ教室、動物愛護センター、動物園、水族館、ペット保険会社、リゾート施設等において実施する。臨地実習は、1年次夏季休業期間、1年次春季休業期間、2年次夏季休業期間、2年次春季休業期間、3年次夏季休業期間に実施する。それまでに学修した知識と技術を持って実習に臨めるよう、実習先を設定する。</p> <p>なお、臨地実習の計画案は資料30のとおりである。</p> <p>(追加)</p>

身に付け、衛生管理の実践、接遇マナーと受付、電話対応等を修得させる。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの1日の業務の流れを把握することを到達目標とする。

「臨地実習2」

1年次夏季休暇または春季休暇に校舎(1号館)に併設されている動物病院(アニマルメディカルセンター)で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習2」は、臨地実務実習の導入として、業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得させる。

「臨地実習3」

動物病院において、8日間ずつ2か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。

院内清掃、電話対応、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日×2病院(1日7時間)の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

【到達目標】

「臨地実習 3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で 8 日間ずつ、2 か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。是正事項 7 の (1) でも説明したとおり、(表 3) の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる 2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日間×2 社 (1 日 7 時間) の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

表 3

業 種 別 分 類 番 号	業 種
1	ペットサロン・ペットショップ
2	ペットホテル、訓練施設、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設
3	その他のペット関連企業、動物関連団体

【到達目標】

「臨地実習 4」では「臨地実習 1～3」で学んだ動物看護の知識を生かし、動物関連企業等の現場での実務を学び、スタッフとの適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。

「臨地実習 4」の業種ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。(表 4)

表 4

業種別分類番号	業種	「臨地実習 4」の内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットサロン ・ ペットショップ 	<p>ペットサロンにおいては、開店準備、清掃、犬具の手入れ、商品知識や販売、閉店作業を学ぶ。</p> <p>ペットショップにおいては、開店作業、消毒、清掃、閉店作業等の実務を学ぶ。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットホテル ・ 訓練施設 ・ 老犬ホーム ・ ペット同伴 ・ 宿泊施設 	<p>ペットホテルにおいては、開店準備作業、清掃等の環境整備、ペットの健康状態を保ちながら預かるためのノウハウ、閉店作業を通じて実務を学ぶ。</p> <p>訓練施設においては、ペットの「無駄吠え」「散歩の引張癖」「甘噛み」等を治すしつけの方法、開店準備、閉店作業等を通じて実務を学ぶ。</p> <p>老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ等の実務を学ぶ。</p> <p>ペット同伴宿泊ホテルに同伴してきたペットに対して、快適な宿泊が行えるように宿泊客が利用するペット用品の管理、清掃、ペット向けのサービス提供のほか、宿泊客を迎えるための準備等の実務を学ぶ。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他のペット関連企業 ・ 動物関連団体 	<p>その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を行う店舗等において、開店準備、商品知識、閉店作業、清掃、陳列等の実務を学ぶ。</p> <p>動物関係の公益団体の事務所において、公益団体</p>

		<p>が提供している動物に関連するイベントの準備作業、公益団体関連法規の知識修得、団体が主催する検定試験準備補助事務等の実務を学ぶ。</p>	
<p>「臨地実習 5」</p> <p>動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7日間ずつ基本的に3か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は5グループの動物病院から3か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。</p> <p>学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。</p> <p>臨地実務実習時間は7日間×3病院(1日7時間)の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。</p> <p>【到達目標】</p> <p>「臨地実習 5」は、職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして動物看護師として幅広い視野を養うことを到達目標とする。</p> <p>「臨地実習 6」</p> <p>学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場(店舗等・団体等)で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。</p>			

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3社（1日7時間）の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして、顧客のニーズを把握し、通常業務における顧客への対応を学ぶ。

「臨地実習6」の業種ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。（表5）

表5

業種別分類番号	業種	「臨地実習6」の内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットサロン ・ ペットショップ 	<p>ペットサロンにおいては、開店準備、受付等の顧客対応、環境整備、閉店における事務作業を学ぶ。</p> <p>ペットショップにおいては、顧客対応、開店準備、消毒、清掃、給餌、閉店作業、事務作業を学び、実務能力を高める。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットホテル ・ 訓練施設 ・ 老犬ホーム ・ ペット同伴宿泊施設 	<p>ペットホテルにおいては、受付等の顧客対応、開店準備作業、清掃等の環境整備、給餌、ペットの健康状態を保持、事務作業等学び、実務能力を高める。</p> <p>訓練施設においては、ペットのしつけの方法を中心に警察犬や災害救助犬の訓練方法のほか、顧客対応、開店準備、給餌、閉店作業、事務作業等</p>

		<p>を学び実務能力を高める。</p> <p>老犬ホームにおいては、老犬を預かる際に必要な、給餌、運動、休息、手入れ、病気の際の獣医師との連携、顧客対応、事務作業等を学び実務能力を高める。</p> <p>ペット同伴宿泊施設においては、宿泊客を迎えるための準備や片づけ、宿泊客への対応、ペットへのイベントサービスの提供、宿泊客の見送り、事務作業等を学び実務能力を高める。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他のペット関連企業 ・ 動物関連団体 	<p>ペットフード・ペット用品販売等のその他のペット関連企業の店舗等においては、顧客対応、開店準備、商品知識、閉店作業、事務作業等を学び実務能力を高める。</p> <p>動物関係の公益団体の事務所においては、来客者への対応、公益団体が提供している動物に関連する公益サービスの事務作業、イベントの準備作業、機関誌の作成補助等を学び実務能力を高める。</p>

動物病院での臨地実務実習は、動物病院によって動物看護師の職務範囲が異なることが考えられるため、学生が行う業務の範囲の基準を設けているか。基準がある場合はその基準を説明し、病院ごとに異なる場合は、どのように業務範囲を把握し十分な教育が行えると判断したのか説明することについて、以下のとおり説明する。

現在、「動物病院実習ガイドライン」作成に関し、

一般社団法人 全国動物教育協会が主体となり、「認定動物看護師養成における効果的な連携事業を行うための動物病院実習ガイドライン作成事業」において、鋭意「動物病院実習ガイドライン」を作成中である。

しかしながら本学においては、ヤマザキ動物看護大学が作成した「学生が動物病院で行う業務の範囲の基準」を基に、業務の範囲の基準を次とおり設定した。

なお、「動物病院実習ガイドライン」が作成された後は、同ガイドラインに準拠した基準を設定する。

(略)

(是正事項) 動物トータルケア学科

(3) 実習先によって指導者の職種や経験年数が異なり、経験年数が1～2年の者や、実習先の指導者が未記載の施設もある。実習の質を確保するという点で、実習先の指導者の要件について、教育内容や教育効果の観点から説明すること。また、指導者の質をどのように確保するかという取組や方策についても説明すること。

(対応)

<実習指導者の実務経験が短い施設の取り扱い>

実習先によって指導者の職種や経験年数が異なり、経験年数が1～2年の者や、実習先の指導者が未記載の施設もあるとの指摘があったため、臨地実務実習先の記載内容を再確認し、実習先の指導者が未記載の施設は全て記載し、経験年数が1～2年の者の実習先は削除した。

<実習指導者の質の確保・要件等>

ご指摘のとおり、臨地実務実習先の指導者の要件及び指導者の質をどのように確保するか取組や方策について、以下のとおり説明する。

学修した動物看護の基礎知識・技術を生かし、動物病院・動物関連企業等の現場で実務をおこなって実践的能力を身に付けることを臨地実務実習の目的とし、①可能な範囲で動物病院・動物関連企業等での臨地実務実習において実践的な臨地実務実習を体験する、②動物病院・動物関連企業等での実践をおこなって動物看護に必要な知識やその目的を理解する、③人間関係形成のためのコミュニケーション能力を高めることを臨地実務実習の目標としているため、動物病院においては、獣医師として豊富な経験を有し、臨地実務実習の受入・指導経験のある獣医師がいること。動物看護の経験が3年以上の動物看護師がいることを臨地実務実習先の指導者の要件としている。

動物看護師に求められる適性や能力は動物医療への時代のニーズの高まりとともに変化するが、獣医師の指示通りの単純作業だけに留まらず、診療、検査、手術、受付対応、飼い主への心のケアにいたるまであらゆる場面に関わる職域である。獣医療を側面から支える動物看護師は社会人として成熟し、人間性は勿論のこと、しっかりとした職業観、コミュニケーション能力が要求される。そのため、人により多少の差はあるが、実習指導者として初任者教育ができるようになるには3年以上の実務経験が必要となるため、実務経験年数3年以上を指導者の要件とした。

動物関連企業等においては、初任者レベルの臨地実務実習のため、それを指導できる3年以上の実務経験がある社員を臨地実務実習先の指導者の要件としている。

ご指摘のとおり、指導者の質をどのように確保するか取組や方策について、以下のとおり説明する。

指導者の質をどのように確保するか取組や方策については、本学において年1回大学教員と臨地実務実習先指導者とのミーティングを実施し、臨地実務実習先が重要視している臨地実務実習を通して学んでほしい事項、問題点や課題等について確認する。臨地実務実習指導者及び教職員間の情報共有を図り、学生への意識付の工夫、課題の確認・目標の設定の再確認、更

なる臨地実務実習の向上を図る。

臨地実務実習担当教員は、臨地実務実習中の巡回指導時において本学と臨地実務実習施設と情報交換し、十分な連携を図る体制を構築する。

臨地実務実習施設への巡回は、臨地実務実習期間の前後及び期間中に原則として1回実施するものとし、実施施設からの要望に応じても訪問する。巡回指導時には、臨地実務実習の目標の達成や課題について本学教員、学生、臨地実務実習指導者が相互に認識し合い、連携した指導体制とする。

巡回指導時には、学生からの問題点や学習の達成状況等について、臨地実務実習が円滑に展開するために指導・支援し、学生の抱える悩みについて相談を受け、指導・助言して臨地実務実習の充実を図る。

また、臨地実務実習先との事前打合せの際に①実習目的・到達目標の提示、②実習内容に関する要望・提案等を行い、本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。

新	旧
<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画 (3)臨地実務実習水準確保の方策</p> <p>(略)</p> <p><実習指導者の質の確保・要件等> 臨地実務実習先の指導者の要件及び指導者の質をどのように確保するか取組や方策について、以下のとおり説明する。</p> <p>学修した動物看護の基礎知識・技術を生かし、動物病院・動物関連企業等の現場で実務をとおして実践的能力を身に付けることを臨地実務実習の目的とし、①可能な範囲で動物病院・動物関連企業等での臨地実務実習において実践的な臨地実務実習を体験する、②動物病院・動物関連企業等での実践をとおして動物看護に必要な知識やその目的を理解する、③人間関係形成のためのコミュニケーション能力を高めることを臨地実務実習の目標としているため、動物病院においては、獣医師として豊富な経験を有し、臨地実務実習の受入・指導経験のある獣医師がいること。動物看護の経験が3年以上の動物看護師がいることを臨地実務実習先の指導者の要件としている。</p> <p>動物看護師に求められる適性や能力は動物医療への時代のニーズの高まりとともに変化するが、獣医師の指示通りの単純作業だけに留まらず、診療、検査、手術、受付対応、飼い主への心のケアにいたるまであらゆる場面で関わる職域である。獣医療を側面から支える動物看護師は社会人として成熟し、人間性は勿論のこと、しっかりとした職業観、コミュニケーション能力が要求される。そのため、人により多少の差はあるが、実習指導者として初任者教育ができるようになるには3年以上の実務経験が必要となるため、実務経験年数3年以上を指導者の要件とした。</p>	<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画 (3)臨地実務実習水準確保の方策</p> <p>(追加)</p>

動物関連企業等においては、初任者レベルの臨地実務実習のため、それを指導できる 3 年以上の実務経験がある社員を臨地実務実習先の指導者の要件としている。

指導者の質をどのように確保するか取組や方策について、以下のとおり説明する。

指導者の質をどのように確保するか取組や方策については、本学において年 1 回大学教員と臨地実務実習先指導者とのミーティングを実施し、臨地実務実習先が重要視している臨地実務実習を通して学んでほしい事項、問題点や課題等について確認する。臨地実務実習指導者及び教職員間の情報共有を図り、学生への意識付の工夫、課題の確認・目標の設定の再確認、更なる臨地実務実習の向上を図る。

(追加)

(略)

< 臨地実務実習委員会の役割 >

「臨地実務実習委員会」の役割について、以下のとおり説明する。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学学生の教育内容を充実し就職活動に有意義な支援指導を行うことを目的として、「臨地実務実習委員会」を設置している。

「臨地実務実習委員会」の臨地実務実習に対する役割については、「設置の趣旨等を記載した書類」P41(3)実習水準の確保の方策及び 45 ページ(4) 実習先との連携体制に次のとおり記載している。

(3)実習水準の確保の方策

臨地実務実習のため「臨地実務実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。

(追加)

(4) 実習先との連携体制

実習担当教員は、臨地実務実習委員会と一

体となって、臨地実務実習の計画・実施・評価、臨地実務実習指導体制の構築、実習施設の実習指導者との実習内容と実習方法の連絡・調整を行う。

「臨地実務実習委員会」の協議事項については、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）」（資料 30-3）において、審議事項を次のとおり規定している。

（審議事項）

6 条 委員会は、次の事項を審議し、実施する。

- (1) 就職支援の研修指導に関する事項
- (2) 臨地実務実習先の開拓、あっせん等に関する事項
- (3) 臨地実務実習の実施に関する全般的な指導及び連絡調整に関する事項
- (4) その他臨地実務実習に関する事項

「臨地実務実習委員会」の委員会構成については、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）」（資料 30-3）において、構成を次のとおり規定している。

（構成）

第 2 条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 動物トータルケア学科長
- (2) 教務部長
- (3) 学生部長
- (4) 教科担当の専任教員
- (5) 専任教職員の中から学長が指名した者

(是正事項) 動物トータルケア学科

(4) 臨地実務実習における成績評価の方法が不明確である。添付されている実習評価票の項目では十分な評価ができるとは考えられない。どのような評価基準を周知し、適切な評価を行うかを説明し、実習評価票も修正すること。その際、「臨地実習委員会」の役割、協議事項も明確にし、全ての施設で一定の水準の評価が行える仕組みを説明すること。

(対応)

<臨地実務実習の成績評価>

ご指摘のとおり、臨地実務実習における成績評価の方法が不明確である。添付されている実習評価票の項目では十分な評価ができるとは考えられない。どのような評価基準を周知し、適切な評価を行うかを説明し、実習評価票も修正すること。について、以下のとおり説明する。

添付されていた「実習評価表」の項目では十分な評価ができるとは考えられないとの指摘を受け、「実習評価表」を「臨地実務実習評価書（動物病院）」（資料 7-1）、「臨地実務実習評価書（ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門）」（資料 7-2）、「臨地実務実習評価書（その他のペット関連企業企業、諸団体）」（資料 7-3）の3種類の課外研修評価書により成績評価することに修正した。

① 「臨地実務実習評価書（動物病院）」（資料 7-1）は、是正事項 7（2）の<学生が動物病院で行う業務の範囲の基準>で説明したとおり、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み修正した。

対象とする実習は、臨地実習 2、臨地実習 3、臨地実習 5 とした。

研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「看護技術」の2つに分け、主に「看護技術」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。

- ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。
- ・「看護技術」は、衛生管理、診察補助、検査補助、入院の項目から評価する。

② 「臨地実務実習評価書（ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門）」（資料 7-2）は、是正事項 7（2）の<学生が動物病院で行う業務の範囲の基準>で説明したとおり、(1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み修正した。

対象とする実習は、臨地実習 1、臨地実習 3、臨地実習 5 とした。

研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「動物美容技術」の2つに分け、主に「動物美容技術」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。

- ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。
- ・「動物美容技術」は、衛生管理、グルーミング、接客・営業、お預かりの項目から評価する。

③ 「臨地実務実習評価書（その他のペット関連企業、諸団体）」（資料 7-3）は、是正事項 7（2）の表 4「臨地実習 4」の業種ごとの臨地実務内容及び P9 表 5「臨地実習 6」の

業種ごとの臨地実務内容で説明したとおり、(1)商品管理業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)商品知識のサービスの実習に鑑み修正した。

対象とする実習は、臨地実習 4、臨地実習 6 とした。

研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を「基本行動」と「実務能力」の 2 つに分け、主に「実務能力」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。

- ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。
- ・「実務能力」は、衛生管理、クライアントエデュケーション、商品知識の項目から評価する。

前回、資料添付がなかったため、今般、新に追加した。

また、本学が実施する臨地実務実習は、臨地実務実習先の動物病院により実習内容が異なるため、臨地実務実習先の動物病院との事前打合せの際に、次の事項を確認し合い、連携して指導体制を構築する。

- ①臨地実務実習の内容・目的及び到達目標を提示する。
- ②臨地実務実習の内容に関する要望・提案等の意見交換を行う。
- ③本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。

<臨地実務実習委員会の役割と実習水準の確保>

ご指摘のとおり、その際、「臨地実務実習委員会」の役割、協議事項も明確にし、全ての施設で一定の水準の評価が行える仕組みを説明することについて、以下のとおり説明する。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学学生の教育内容を充実し就職活動に有意義な支援指導を行うことを目的として、「臨地実務実習委員会」を設置している。

「臨地実務実習委員会」の臨地実務実習に対する役割については、「設置の趣旨等を記載した書類」P41、(3)実習水準の確保の方策及び p45 (4) 実習先との連携体制に次のとおり記載している。

(3)実習水準の確保の方策

臨地実務実習のため「臨地実務実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。

(4) 実習先との連携体制

実習担当教員は、臨地実務実習委員会と一体となって、臨地実務実習の計画・実施・評価、臨地実務実習指導体制の構築、実習施設の実習指導者との実習内容と実習方法の連絡・調整を行う。

「臨地実務実習委員会」の協議事項については、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）」（資料 7-4）において、審議事項を次のとおり規定している。

（審議事項）

第 6 条 委員会は、次の事項を審議し、実施する。

- (1) 就職支援の研修指導に関する事項
- (2) 臨地実務実習先の開拓、あっせん等に関する事項
- (3) 臨地実務実習の実施に関する全般的な指導及び連絡調整に関する事項
- (4) その他臨地実務実習に関する事項

「臨地実務実習委員会」の委員会構成については、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）」（資料 7-4）において、構成を次のとおり規定している。

（構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 動物トータルケア学科長
- (2) 教務部長
- (3) 学生部長
- (4) 教科担当の専任教員
- (5) 専任教職員の中から学長が指名した者

新	旧
<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画 (3)臨地実務実習水準確保の方策</p> <p>(略)</p> <p><臨地実務実習の成績評価> 臨地実務実習における成績評価について、以下のとおり説明する。</p> <p>「臨地実務実習評価書 (動物病院)」、「臨地実務実習評価書 (ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)」、「臨地実務実習評価書 (その他のペット関連企業、諸団体)」の 3 種類の臨地実務実習評価書により成績評価を行う。(資料 30-2)</p> <p>① 「臨地実務実習評価書 (動物病院)」は、 (1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。 対象とする実習は、臨地実習 1、臨地実習 3、臨地実習 5 とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を大きく「基本行動」と「看護技術」の 2 つに分け、主に「看護技術」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。 ・「看護技術」は、衛生管理、診察補助、検査補助、入院の項目から評価する。 <p>② 「臨地実務実習評価書 (ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)」は、 (1)受付業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)診療補助、(5)臨床検査、(6)看護の実習に鑑み設定した。 対象とする実習は、臨地実習 2、臨地実習 3、臨地実習 5 とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価と</p>	<p>11. 臨地実習の具体的な計画 (3)実習水準確保の方策</p> <p>(追加)</p>

<p>し、評価項目を大きく「基本行動」と「動物美容技術」の 2 つに分け、主に「動物美容技術」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。 ・「動物美容技術」は、衛生管理、グルーミング、接客・営業、お預かりの項目から評価する。 <p>③ 「臨地実務実習評価書（その他のペット関連企業、諸団体）」は、(1)商品管理業務、(2)クライアントエデュケーション、(3)清掃・消毒、(4)商品知識のサービス実習に鑑み設定した。</p> <p>対象とする実習は、臨地実習 4、臨地実習 6 とした。</p> <p>研修評価基準を ABC の 3 段階評価とし、評価項目を「基本行動」と「実務能力」の 2 つに分け、主に「実務能力」の観点から評価する。総合評価は、ABC の 3 段階評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本行動」は、一般常識、気質、リテラシ、業務遂行の項目から評価する。 ・「実務能力」は、衛生管理、クライアントエデュケーション、商品知識の項目から評価する。 <p>また、本学が実施する臨地実務実習は、臨地実務実習先の動物病院により実習内容が異なるため、臨地実務実習先の動物病院との事前打合せの際に、次の事項を確認し合い、連携して指導体制を構築する。</p> <p>①臨地実務実習の内容・目的及び到達目標を提示する。</p> <p>②臨地実務実習の内容に関する要望・提案等の意見交換を行う。</p> <p>③本学の評価基準を説明し適切な評価を行うよう依頼する。</p> <p>(略)</p>	<p>(追加)</p>
---	-------------

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

(5) 添付資料では、「臨地実習5」の実習施設の例として「動物シェルター」や「検疫所」との記載があるが、実習施設一覧では当該施設は見当たらない。養成する人材像等に照らして「動物シェルター」や「検疫所」が必要であるかを明確にし、必要であれば、具体的な実習施設を明らかにすること。

(対応)

ご指摘のとおり、「動物シェルター」や「検疫所」について、以下のとおり説明する。

養成する人材像に鑑み、臨地実務実習における教育的効果は少ないと思料されるため、臨地実務実習先を動物福祉団体等の支部に変更し、「臨地実習4」及び「臨地実習6」の臨地実務実習施設から「動物シェルター」及び「検疫所」を削除した。

臨地実務実習評価書(動物病院)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

動物病院名	実習生氏名
-------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価					
下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または院内基準にてお願いいたします。					
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目					
基本行動		評価	看護技術		評価
一般常識	時間を守る		衛生管理	片付けができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切に消毒することができる	
	よい身だしなみで研修できる			基礎的なグルーミングができる	
	電話対応ができる				
気質	返事ができる		診察補助	薬品・備品の補充、準備ができる	
	よく気がつく(積極性、配慮)			保定ができる	
	周りとのコミュニケーションがとれる			滅菌製品の知識がある	
リテラシ	語学力がある(漢字、メモ)		検査補助	遠心分離機を操作することができる	
	計算力がある			血液検査の手順を理解している	
	基礎的な PC 操作ができる			尿検査の手順を理解している	
				検体の適切な処理ができる	
業務遂行	備品を適切に扱える		入院	動物への配慮ができる	
	報告・連絡・相談ができる			フードを準備し、食事の介助ができる	
				投薬方法の知識がある	
総合評価(○印で評価願います)					
A 十分できている		B 改善点有		C 不十分である	
評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)					
今後本学の提携実習先として広報させていただいてよろしいでしょうか (はい ・ いいえ)					
実習指導担当者名 : 役職 氏名					

臨地実務実習評価書(ペットサロン、ペットショップ、動物病院美容部門)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

店・病院名	実習生氏名
-------	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価	
下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または貴社基準にてお願いいたします。	
「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目	

基本行動		評価	動物美容技術		評価
一般常識	時間を守る		衛生管理	片づけができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切に消毒することができる	
	よい身だしなみで研修できる				
気質	返事ができる		グルーミング	健康チェックができる	
	よく気がつく(積極性、配慮)			基礎的なグルーミングの知識・技術がある	
	周りとのコミュニケーションがとれる				
リテラシ	語学力がある(漢字、メモ)		接客・営業	来店客の接客ができる	
	計算力がある			来店客へセールス(予約等)ができる	
	基礎的な PC 操作ができる			着電の対応ができる	
				着電客へのセールス(予約等)ができる	
業務遂行	備品を適切に扱える		お預かり	動物への配慮ができる	
	報告・連絡・相談ができる			フードを準備し、食事の介助ができる	

総合評価(○印で評価願います)

A 十分である	B 改善点有	C 不十分である
---------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

今後本学の提携実習先として広報させていただいてよろしいでしょうか (はい ・ いいえ)

実習指導担当者名 : 役職 氏名

【新】

資料 7-3

臨地実務実習評価書(その他のペット関連企業、諸団体)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

貴社名	実習生氏名
-----	-------

実習期間	平成	年	月	日()	～	月	日()	計	日間
勤務時間	午前	時	～	午後	時	休憩時間含む			

研修評価

下記評価欄への評価を記載願います。評価は、評価者の主観または貴社基準にてお願いいたします。

「A」:十分である 「B」:改善点有 「C」:不十分である 「/」:実施していない項目

基本行動		評価	実務能力		評価
一般常識	時間を守れる		衛生管理	片付けができる	
	挨拶ができる			適切に清掃することができる	
	正しい言葉づかいで会話ができる			適切に消毒することができる	
	よい身だしなみで研修できる		エデュケーション	飼育・食餌指導することができる	
返事ができる		予防指導することができる			
よく気がつく(積極性、配慮)		手入れの仕方を指導することができる			
周りとのコミュニケーションがとれる		寄生虫について正しく説明することができる			
リテラシ	語学力がある(漢字、メモ)		商品知識	投薬方法・療法食について正しく説明することができる	
	計算力がある			ペットサロン・ショップの商品やサービスをアドバイス・説明することができる	
	基礎的なPC操作ができる			ペットの健康状態の保持や衛生管理等を説明することができる	
業務遂行	備品を適切に扱える			症状や年齢に応じたにペットフード・ペット用品等を説明することができる	
	片づけができる				
	報告・連絡・相談ができる				

総合評価(○印で評価願います)

A 十分である	B 改善点有	C 不十分である
---------	--------	----------

評価自由記載欄(今後の教育指導・カリキュラム改善のため具体的なコメントをお願いいたします)

今後本学の提携実習先として広報させていただいてよろしいでしょうか (はい ・ いいえ)

実習指導担当者名 : 役職 氏名

ヤマザキ動物看護専門職短期大学臨地実務実習委員会細則（案）

平成31年4月1日

制定

（目的）

第1条 この細則は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）教授規則第10条第2項の規定に基づき、臨地実務実習委員会（以下「委員会」という。）の運営に必要な事項を定めることを目的とする。

2 必要に応じて小委員会を置くことができる。

（構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 動物トータルケア学科長
- (2) 動物トータルケア副学科長
- (3) 教務部長
- (4) 学生部長
- (5) 教科担当の専任教員
- (6) 専任教職員の中から学長が指名した者

（任期）

第3条 第2条第1項第1号及至5号の委員の任期は、その在職期間とする。

2 第2条第1項第6号委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長等）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、学長が指名する。

3 副委員長は、委員の互選により決する。

4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

5 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

（開会）

第5条 委員会の開催は、委員の3分の2以上の出席を要するものとする。

2 委員会が必要と認めたときは、委員以外の関係者を出席させ、意見を聴くことができる。

（審議事項）

第6条 委員会は、次の事項を審議し、実施する。

- (1) 就職支援の研修指導に関する事項
- (2) 企業実習（インターンシップ）及び動物病院実習先の開拓、あっせん等に関する事項

(3) 企業実習（インターンシップ）及び動物病院実習実施に関する全般的な指導及び絡調整に関する事項

(4) その他企業実習（インターンシップ）及び動物病院実習に関する事項
（委員会の議決及び結果の報告）

第7条 委員会の議決は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決るところによる。

2 委員会で審議した事項に関しては、その結果又は経過を教授会に報告し、出席者の成を得て学長が決定する。

（事務）

第8条 委員会の事務は、本学事務局就職支援課及び教務・学生課において行う。

（細則の改廃）

第9条 この細則の改正及び廃止は、教授会の意見を聴いて、学長が行う。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から制定施行する。

臨地実習評価表

病院・企業名 _____

代表者名 _____ ㊟

実習指導者名 _____ ㊟

実習生氏名 _____

実習期間	平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 () 日間
出欠状況	出席 日 ・ 欠席 日 ・ 遅刻 日 ・ 早退 日

項目		評価	摘要 (お気づきの点)
実 習 態 度	礼儀・清潔感	A B C D	
	親しみやすさ	A B C D	
	積極性	A B C D	
	チームワーク	A B C D	
実 習 内 容	観察力・集中力	A B C D	
	職務内容の理解	A B C D	
	問題意識の探求	A B C D	
	報告・相談	A B C D	
実 習 記 録	記録の仕方	A B C D	
	記録の内容	A B C D	
	記録の提出	A B C D	
総 評 価	合 価	A (優れている) B (やや優れている) C (普通) D (努力を要する)	
所 見 欄	実習を通じ特に改善を要すると思われる点、さらに伸ばすと良いと思われる点など。		

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

8. <教育課程の不断の見直しの体制が不明確>

教育課程の不断の見直しが適切に行われる体制が整備されているか不明確であるため、教育課程連携協議会の意見や指摘を適切に教育課程に反映させる仕組みを含め、適切に不断の見直しを行える体制を構築することを説明すること。併せて、学生の就職先と想定される産業界等のニーズや意見が適切に反映されることについても説明すること。

(対応)

ご指摘のとおり、教育課程の不断の見直しが適切に行われる体制を整備し、教育課程連携協議会の意見や指摘を適切に教育課程に反映させるよう、見直しを行った。

教育課程の編成にあたっては、教育の目的を達成するための必要な教育課程について、企業と連携を図り、これを体系的に編成することとする。動物関連産業界における市場の動向に即した教育を提供できるよう教育課程連携協議会の意見を勘案し、聴取した意見を教務委員会で検討の上、教授会の意見を聴いて、学長が教育課程に反映する。その結果を教育課程連携協議会に報告するというP D C Aのサイクルを構築する。

併せて、学生の就職先と想定される産業界等のニーズや意見が適切に反映されるよう、教育課程連携協議会に産業界から企業の責任職に当たる知識・経験を有する者を構成員に追加する。

教育課程連携協議会は、次の事項を審議する。

- (1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- (2) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

また、開学時には、自己点検・評価委員会を設置して評価基準項目にしたがった評価を行う。評価結果は「自己点検・評価報告書」としてまとめ、公益財団法人日本高等教育評価機構の評価を受審する。

評価機構による評価結果及び改善策等については、学長が「教育課程連携協議会」を経て情報を共有し、改善に取り組む。また、評価結果は教授会に報告し、全学を挙げて教育・研究の改善に努める。

なお、「自己点検・評価報告書」は公表する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (25 ページ)

新	旧
<p>7. 教育課程連携協議会</p> <p>(略)</p> <p>構成員は、①ヤマザキ動物看護専門職短期大学長が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学の教員、その他の職員、②動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ若しくはその他の動物関連産業に係る職業に就いている者、またはこれらの職業に関する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動する関係者であって当該事業の実務に関し豊富な経験を有する者、③地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者、④臨地実務実習その他の授業科目の開設または授業の実施において本学と協力する事業者、⑤本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者となっている。任期は1年とし、再任を妨げない。</p> <p>教育課程連携協議会は年1回以上開催する。教育課程については、教育課程連携協議会の意見を勘案し、聴取した意見を教務委員会で検討の上、教授会の意見を聞いて、学長が教育課程に反映する。その結果を教育課程連携協議会に報告するというPDC Aのサイクルを構築する。</p> <p>また、学生の卒業後の進路と想定される動物産業界からの意見を聴くため、動物産業界で活躍するイオンペット株式会社の事業部長、寺本 健太郎氏を構成員に加える。</p>	<p>7. 教育課程連携協議会</p> <p>(略)</p> <p>構成員は、①ヤマザキ動物看護専門職短期大学長が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学の教員、その他の職員、②動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ若しくはその他の動物関連産業に係る職業に就いている者、またはこれらの職業に関する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動する関係者であって当該事業の実務に関し豊富な経験を有する者、③地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者、④臨地実習その他の授業科目の開設または授業の実施において本学と協力する事業者、⑤本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者となっている。任期は1年とし、再任を妨げない。</p> <p>教育課程連携協議会は年1回以上開催し、その結果は学長に報告され、教育課程や授業の改善に繋げ、その結果を委員会に報告するものとする。</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (49 ページ)

新	旧
<p>15. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等</p> <p>(1)FD・SD 研修</p> <p>ウ カリキュラムの改善</p> <p>教育内容の向上を図るために、継続的にカリキュラムの改善を行う。すなわち、体系的に学修できる必修科目の検討等、カリキュラムの改善を図る。その際には、学生による授業評価と教員による自己評価、動物看護をめぐる国内外の教育研究の動向を考慮したカリキュラムの改善を目指す。</p> <p>また、開学時には、自己点検・評価委員会を設置して評価基準項目に従い、カリキュラムの評価を行う。評価結果は「自己点検・評価報告書」としてまとめ、公益財団法人日本高等教育評価機構の評価を受審する。</p> <p>カリキュラムの改善に関する項目については、評価機構による評価結果及び改善策等を学長が教育課程連携協議会を経て情報を共有し、改善に取り組む。また、評価結果は教授会に報告し、全学を挙げて教育・研究の改善に努める。なお、「自己点検・評価報告書」は公表する。</p>	<p>15. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等</p> <p>(1)FD・SD 研修</p> <p>ウ カリキュラムの改善</p> <p>教育内容の向上を図るために、継続的にカリキュラムの改善を行う。すなわち、体系的に学修できる必修科目の検討等、カリキュラムの改善を図る。その際には、学生による授業評価と教員による自己評価、動物看護をめぐる国内外の教育研究の動向を考慮したカリキュラムの改善を目指す。</p>

【教育課程等】

9. <総合科目が不適切>

総合科目に含まれる「動物実習短期留学」「研修・ボランティア活動」は科目の具体的な内容や教育目的が不明確であり、かつ、いずれの科目も1年次から履修が可能であり、総合科目の趣旨を踏まえた科目とは見受けられない。各科目の具体的な内容と教育目的を明らかにし、配当年次等も踏まえて適切な科目区分に改めること。また、「動物実習短期留学」については、オーストラリア動物園でどのような実習を行うのか、そのことを先方機関から確約されているかについても説明すること。

(対応)

ご指摘のとおり、総合科目に含まれる「動物実習短期留学」、「研修・ボランティア活動」は、総合科目の趣旨を踏まえ、総合科目から削除し、職業科目に配置する。

「動物実習短期留学」は、Australia Zoo (オーストラリアズー) における英語及び動物飼育実習を通じて、多文化共生社会における動物関連学問領域のあり方を学び、グローバルな視野を身に付けることを目的とする。その内容は、Australia Zoo (オーストラリアズー) における実習及び実用英語の実践である。なお、1年生前期に動物看護概論をはじめ、動物看護師の入門段階を学修し、さらに事前学習として、現地で必要な英語の授業を直前に受講してから渡航するので、1年生であっても問題なく受講できる(資料9-1、資料9-2、資料9-3)。

「研修・ボランティア活動」は、研修やボランティア活動に参加し、飼い主と動物を取り巻く環境に対して、専門職として介入できる知識と技術を身に付けることを目的とする。その内容は、国内研修では、北海道の北里大学の牧場において産業動物の飼育・管理の実習に参加する(資料9-4)。海外研修においては、アメリカ及びオーストラリアで大学での研修の他、海外におけるコンパニオンアニマルなどの社会的地位と現状の視察などを行う(資料9-5)(資料9-6)。ボランティア活動としては、公益社団法人動物福祉協会の新東京支部の活動の一環として、保護されたイヌ・ネコの預かりや譲渡活動、災害時の救援物資の仕分け業務などに参加するものである(資料9-7)。

<「動物実習短期留学」及び「研修・ボランティア活動」に関する資料>

資料9-1 2017年 Yamazaki Gakuen University 動物実習短期留学募集パンフレット

資料9-2-1 ヤマザキ動物看護専門職短期大学(仮称)「動物実習短期留学」シラバス【新】

資料9-2-2 ヤマザキ動物看護専門職短期大学(仮称)「動物実習短期留学」シラバス【旧】

資料9-3-1 2018年 Yamazaki Gakuen University Australia Zoo 契約書

資料9-3-2 2018年 Yamazaki Gakuen University Australia Zoo 契約書(和訳)

資料9-4 2017年 ヤマザキ学園 国内研修募集パンフレット

資料9-5 2016年 37th Yamazaki Gakuen U.S.A Study Tour 募集パンフレット

資料9-6 2017年 50周年記念 38th Yamazaki Gakuen Australia Study Tour

資料 9-7-1 ヤマザキ動物看護専門職短期大学（仮称）「研修・ボランティア活動」シラバス【新】

資料 9-7-2 ヤマザキ動物看護専門職短期大学（仮称）「研修・ボランティア活動」シラバス【旧】

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（50 ページ）

(新)	(旧)
<p>16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制</p> <p>(1)教育課程内の取組について</p> <p>②「動物実習短期留学」及び「研修・ボランティア活動」</p> <p>総合科目に含まれる「動物実習短期留学」「研修・ボランティア活動」は、総合科目の趣旨を踏まえ、総合科目から削除し、職業専門科目に配置する。</p> <p>「動物実習短期留学」は、Australia Zoo（オーストラリアズー）における英語及び動物飼育実習を通じて、多文化共生社会における動物関連学問領域のあり方を学び、グローバルな視野を身に付けることを目的とする。その内容は、Australia Zoo（オーストラリアズー）における実習及び実用英語の実践である。なお、留学前には「コミュニケーション論」、「動物臨床看護学（基礎・内科）」、「動物生理・繁殖学」、「公衆衛生学」、「コンパニオンアニマルケア論」等を履修し、Australia Zoo（オーストラリアズー）の実習において衛生管理や動物の取り扱いに関する注意事項の事前指導を行う。</p> <p>「研修・ボランティア活動」は、研修やボランティア活動に参加し、飼い主と動物を取り巻く環境に対して、専門職として介入できる知識と技術を身に付けることを目的とする。</p> <p>また、本学園での国内研修は、平成 22 年度より毎年夏期休業中に北里大学との提携により、北里大学獣医学部附属フィールドサイエンスセ</p>	<p>16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制</p> <p>(1)教育課程内の取組について</p> <p>②「研修・ボランティア活動（国内研修）」</p> <p style="text-align: right;">(追加)</p> <p>本学園では、平成 22 年度より毎年夏期休業中に北里大学との提携により、北里大学獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場に</p>

ンター八雲牧場にて3泊4日の研修を行い、平成29年度で第8回を迎える。本学園では、コンパニオンアニマルを対象とした動物看護学の教育を行っているが、北海道の八雲牧場での産業動物を対象とした牧場実習体験では自然の中でのエコロジカル牧場の特色を活かした学修成果が大きい。

研修内容は、電気牧柵設置や牛の追い込み、堆肥処理、放牧地・採草地の管理や観察等に加え、牛の個体情報管理や体尺値測定にまで及ぶ。国内研修への参加は、選択科目のため別途料金が発生する。

さらに、本学園での海外研修は、昭和46年度の第1回アメリカ研修旅行に始まり、平成29年度で第38回を迎える。アメリカ研修旅行ではカリフォルニア大学デイビス校、オーストラリア研修旅行ではシドニー大学でのセミナー授業の受講の他、動物病院、野生動物の保護施設、盲導犬協会、動物虐待防止協会、ドッグショーの見学等の研修を通し、動物看護を学ぶ学生としてコンパニオンアニマルの社会的地位と現状の視察等を行い、国際人としての教養とコミュニケーション能力を身に付ける。海外研修への参加は、選択科目のため別途料金が発生する。ボランティア活動としては、公益社団法人動物福祉協会の新東京支部の活動の一環として、保護されたイヌ・ネコの預かりや譲渡活動、災害時の救援物資の仕分け業務などに参加するものである。(資料28-4)。

て3泊4日の研修を行い、平成29年度で第8回を迎える。本学園では、コンパニオンアニマルを対象とした動物看護学の教育を行っているが、北海道の八雲牧場での産業動物を対象とした牧場実習体験では自然の中でのエコロジカル牧場の特色を活かした学修成果が大きい。

研修内容は、電気牧柵設置や牛の追い込み、堆肥処理、放牧地・採草地の管理や観察等に加え、牛の個体情報管理や体尺値測定にまで及ぶ。国内研修への参加は、選択科目のため別途料金が発生する。

③「研修・ボランティア活動(海外研修)」

海外研修は、昭和46年度の第1回アメリカ研修旅行に始まり、平成29年度で第38回を迎える。研修内容は、カリフォルニア大学デイビス校やシドニー大学でのセミナー授業の受講や動物病院、野生動物の保護施設、盲導犬協会、動物虐待防止協会、ドッグショーの見学等、10日間の研修を通し、動物看護を学ぶ学生としての知見を広め、国際人としての教養とコミュニケーション能力を身に付ける。海外研修への参加は、選択科目のため別途料金が発生する。

(追加)

①書類等の題名

資料9-1. 2017年 Yamazaki Gakuen University 動物実習短期留学募集パンフレット

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

Yamazaki Gakuen University 2017 動物実習短期留学 (パンフレット)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

授業科目	動物実習短期留学			担当教員	荒木幸子・加藤剛
科目英名	Short-term Animal Practical Training Abroad				
開講期間	1・2・3年次通年	選択科目 3単位	科目区分	職業専門科目	
到達目標					
<p>早い時期に大陸として独立し、独自の生態系を有するに至ったオーストラリアは、近代においてヨーロッパ人の入植により広範で激的な生態系破壊とその対応と回復とを経験した国であり、環境保護意識の非常に高い国であり、環境保護教育でも高い意識と実績を有している。オーストラリア最大規模の動物園である Australia Zoo は、環境保護に大きな役割を果たしていることでも知られているが、この動物園が本学学生のために作るカスタム教育プログラムを中心として、現場で用いる実際的な英語による講義、及び動物飼育体験の実習を通じて、動物の QOL に配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶ。</p>					
講義概要					
<p>事前学修として、ネイティブの英語教員による夏季集中英語講座を受講し、その後、現地で多種多様な動物実習を体験する。渡航先では、宿舎での共同生活等を通じ、学生や研修先スタッフらとの交流から多くを学ぶ。帰国後には事後学修として発表を行う。</p>					
授業計画					担当教員
1	事前学修 1	オリエンテーション (講義目的・内容と履修方法の理解)			荒木・加藤
2	事前学修 2	旅行英語 (空港・市内での一般的実用英語)			荒木・加藤
3	事前学修 3	動物園英語 (動物園関連の英語)			荒木・加藤
4	事前学修 4	動物園英語 (動物園関連の英語)			荒木・加藤
5	事前学修 5	アカデミック英語 (環境保護、動物学などに関わる英語)			荒木・加藤
6	動物園実習 1	実習の概要説明とディスカッション			荒木
7	動物園実習 2	動物園付属野生動物病院見学、リクガメ管理見学と実習			荒木
8	動物園実習 3	ズーキーパー同行実習 1			荒木
9	動物園実習 4	ズーキーパーによる担当動物の説明、質疑応答(ウオンバット等)			荒木
10	動物園実習 5	ズーキーパー同行実習 2			荒木
11	動物園実習 6	グループタスク 1 (キーパーによる解説を聞き仕事を手伝う)			荒木
12	動物園演習	Stive Irwin Wildlife Reserve に関する講義と質疑応答			荒木
13	動物園実習 7	グループタスク 2 (動物園付属野生動物病院見学と手伝い)			荒木
14	事後学修 1	学生による実習報告発表及び担当教員による講評			荒木・加藤
15	事後学修 2	学生による実習報告発表及び担当教員による講評			荒木・加藤
履修上の注意					
<p>海外での生活及び実習の受講に支障がない健康状態であること、定められた日程・実習先で求められる規律を遵守することを履修の条件とする。社会情勢や最低参加人数の充足により開講する。なお、本科目は海外での実習体験につき、旅費等を含めた別途費用が必要となる。午前・午後の授業計画は変更になることもある。4月に説明会を行い、留学の申し込みをもって履修登録を行う。</p> <p>なお、留学前には「コミュニケーション論」、「動物臨床看護学 (基礎・内科)」、「動物生理・繁殖学」、「公衆衛生学」、「コンパニオンアニマルケア論」等を履修し、Australia Zoo (オーストラリアズー) の実習において衛生管理や動物の取り扱いに関する注意事項の事前指導を行う。</p>					
評価方法 (評価基準を含む)					
授業参加状況 70%、発表及びレポート 30%にて総合的に評価する。					
教科書					
未定					
参考書、教材等					
未定					

授業科目	動物実習短期留学			担当教員	荒木 幸子・加藤 剛
科目英名	Short-term Animal Practical Training Abroad				
開講期間	1・2・3年次	選択科目 3単位	科目区分	総合科目	
到達目標					
海外の動物関連施設における実際的な動物飼育実習の学修を通じて、多文化共生社会における動物関連学問領域のあり方を幅広く学び、グローバルな視野を身に付ける。					
講義概要					
事前授業として、担当教員およびネイティブの語学教師による夏季集中英語講座を受講した後、渡航先（オーストラリア）にて多種多様な動物を対象に動物園にて必要な語彙や表現を学びながら実際の飼育作業を実習する。渡航先では、異文化社会における共同生活等を体験する中で、研修先スタッフらとの交流から多くを学ぶことになるだろう。帰国後には事後授業として発表を行い、レポートにまとめる。					
授業計画					
1	事前授業 1	オリエンテーション（講義目的・内容と履修方法の理解）			
2	事前授業 2	地域学習（実習先の地域に関する多文化的視点からの予備学習）			
3	事前授業 3	旅行英語（渡航及び滞在に必要な語彙及び表現）			
4	事前授業 4	専門英語（実習に必要な語彙及び表現）			
5	事前授業 5	専門英語（実習に必要な語彙及び英語）			
6	実習 6	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
7	実習 7	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
8	実習 8	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
9	実習 9	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
10	実習 10	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
11	実習 11	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
12	実習 12	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
13	実習 13	実習及び実用英語（オーストラリア動物園）			
14	事後授業 1	学生による実習報告発表及び担当教員による講評			
15	事後授業 2	学生による実習報告発表及び担当教員による講評			
履修上の注意					
海外での生活及び実習の受講に支障がない健康状態であること、および定められた日程及び実習先で求められる規律を遵守することを履修の条件とする。社会情勢によって研修先の変更、及び最低参加人数（16名）の充足されない場合等開講しないことがある。なお、本科目は海外での実習体験であるため、旅費等を含めた別途費用が必要となる。授業計画は諸般の事情により変更になることもある。4月に説明会を行い、履修登録を行う。					
評価方法（評価基準を含む）					
授業参加度 70%、発表及びレポート 30%にて総合的に評価する。					
教科書					
必要に応じて資料を配布する					
参考書、教材等					
なし					

①書類等の題名

資料 9-3-1. 2018 年 Yamazaki Gakuen University Australia Zoo 契約書

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

Education Program Development Confirmation

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 28-5. 2018 年 Yamazaki Gakuen University Australia Zoo 契約書 (和訳)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

教育プログラム開発契約書

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 9-4. 2017 年 ヤマザキ学園 国内研修募集パンフレット

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

平成 29 年度 北海道国内研修（パンフレット）

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 9-5. 2016 年 37th Yamazaki Gakuen U.S.A Study Tour 募集パンフレット

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

37th Yamazaki Gakuen U.S.A. Study Tour 2016 (パンフレット)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 9-6. 2017 年 50 周年記念 38th Yamazaki Gakuen Australia Study Tour

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

50 周年記念 38th Yamazaki Gakuen Australia Study Tour 2017 (パンフレット)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

授業科目	研修・ボランティア活動			担当教員	井上留美・山村拓也
科目英名	Volunteer Study & Activity				
開講期間	1・2・3年次	選択科目 1 単位	科目区分	総合科目	
到達目標					
<p>動物看護師は、飼い主がペットと安心して生活できる環境を提供する知識と能力を持つことが求められる。地域支援、高齢者支援、障害者支援、震災時支援、イヌやネコの譲渡会などで動物看護師としての活躍が求められている。この授業では、実際に研修（国内・国外）やボランティアに参加し、「飼い主と動物」を取り巻く環境に対して、専門職として介入する知識と能力を身に付けることを到達目標とする。</p>					
講義概要					
<p>本学が指定する研修とボランティアに参加することで、それらの意義や原則を理解することとする。主として「夏季休暇」等を利用した研修やボランティア活動を実践するとともに、事前授業のオリエンテーション及び事後授業でのディスカッションを含む報告会で成果をまとめる。レポートの提出をもって単位の認定を行うこととする。</p>					
授業計画					
<p>1 事前学修 1 オリエンテーション、「海外研修」「国内研修」の紹介と研修意義 2 事前学修 2 ボランティアの意義：ボランティア、地域づくり、活動の紹介① 3 事前学修 3 ボランティアの意義：ボランティア、地域づくり、活動の紹介② 4 事前学修 4 ボランティアの意義：ボランティア、地域づくり、活動の紹介③ 5 } 6 } 研修・ボランティア 下記予定地のいずれかで実施する（複数選択可） 7 } ・海外研修：海外における動物看護、飼育等の視察及びセミナー参加（実費） ・国内研修：産業動物における飼育・管理についての実習についての実習等（実費） ・災害時の防災救援ボランティア ・地域活動の支援 ・その他：科目担当が認めた研修やボランティア 8 事後学修 1 ディスカッションを含む報告会</p>					
履修上の注意					
<p>研修先との連絡を徹底し、事故のないように注意する。 「海外研修」および「国内研修」は別途費用が必要となる。詳しい内容は事前授業で説明する。 （「海外研修」および「国内研修」は、本授業を履修しなくても参加可能な研修である） 社会情勢によって研修先の変更、及び最低参加人数が充足されない場合等開講しないことがある。</p>					
評価方法（評価基準を含む）					
事前授業、事後授業及び、研修・ボランティアの参加度 70%、レポート 30%					
教科書					
必要に応じて資料を配布する					
参考書、教材等					
なし					

授業科目	研修・ボランティア活動			担当教員	井上留美・山村拓也
科目英名	Volunteer Study & Activity				
開講期間	1・2・3年次	選択科目 1 単位	科目区分	総合科目	
到達目標					
<p>動物看護師は、飼い主がペットと安心して生活できる環境を提供する知識と能力を持つことが求められる。地域支援、高齢者支援、障害者支援、震災時支援、イヌやネコの譲渡会などで動物看護師としての活躍が求められている。この授業では、実際に研修（国内・国外）やボランティアに参加し、「飼い主と動物」を取り巻く環境に対して、専門職として介入する知識と能力を身に付けることを到達目標とする。</p>					
講義概要					
<p>本学が指定する研修とボランティアに参加することで、それらの意義や原則を理解することとする。主として「夏季休暇」等を利用した研修やボランティア活動を実践するとともに、事前授業のオリエンテーション及び事後授業でのディスカッションを含む報告会で成果をまとめる。レポートの提出をもって単位の認定を行うこととする。</p>					
授業計画					
<p>事前授業 オリエンテーション、「海外研修」「国内研修」の紹介と研修意義 ボランティアの意義：ボランティア、地域づくり、活動の紹介</p> <p>研修・ボランティア 下記予定地のいずれかで実施する（複数選択可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外研修：海外における動物看護、飼育等の視察及びセミナー参加（実費） ・国内研修：産業動物における飼育・管理についての実習についての実習等（実費） ・災害時の防災救援ボランティア ・地域活動の支援 ・その他：科目担当が認めた研修やボランティア <p>事後授業 ディスカッションを含む報告会</p>					
履修上の注意					
<p>研修先との連絡を徹底し、事故のないように注意する。 「海外研修」および「国内研修」は別途費用が必要となる。詳しい内容は事前授業で説明する。 （「海外研修」および「国内研修」は、本授業を履修しなくても参加可能な研修である） 社会情勢によって研修先の変更、及び最低参加人数が充足されない場合等開講しないことがある。</p>					
評価方法（評価基準を含む）					
事前授業、事後授業及び、研修・ボランティアの参加度 70%、レポート 30%					
教科書					
必要に応じて資料を配布する					
参考書、教材等					
なし					

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

10. <書類の記載誤り>

申請書の実習科目一覧に演習科目が含まれているため、適切に修正すること。

(対応)

ご指摘のとおり、専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧から演習科目を削除する。

【新】

別記様式第2号 (その2の4)

専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧						
(動物トータルケア学科)						
科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態 [臨/連]	臨地実務実習に代えて連携実務演習等(実験、実習又は実技によるものに限る。)を修得させる理由及び見込まれる教育効果
		必修	選択	自由		
基礎科目	該当なし					該当なし
実験、実習又は実技による授業科目	動物形態機能学・組織学実習	1			実習	
	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	2			実習	
	動物臨床看護学(外科)実習	2			実習	
	動物口腔ケア実習		1		実習	
	動物臨床検査学実習	1			実習	
	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	3			実習	
	コンパニオンアニマルケア実習(応用)	3			実習	
	コンパニオンドッグトレーニング実習	3			実習	
	臨地実習1	1			実習[臨]	
	臨地実習2	1			実習[臨]	
	臨地実習3	4			実習[臨]	
	臨地実習4	4			実習[臨]	
	臨地実習5		5		実習[臨]	
	臨地実習6		5		実習[臨]	
	動物実習短期留学		3		実習	
	研修・ボランティア活動		1		実習	
展開科目	該当なし					
総合科目	該当なし					
小計(16科目)		25	15	0		
うち卒業・修了に必要な実習等単位数		25	5	—		
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数		10	5	—		

別記様式第2号 (その2の4)

専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧							
(動物トータルケア学科)							
科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態 [臨/連]	実験、実習又は実技に代えて演習による授業科目を修得させる事由及び見込まれる教育効果	
		必修	選択	自由			
演習による実習等代替授業科目	基礎科目	該当なし				該当なし	
	職業専門科目	該当なし					
	展開科目	該当なし					
	総合科目	該当なし					
	小計(0 科目)		0	0	0		
	うち卒業・修了に必要な実習等単位数		—	0	—		
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数		0	0	—			
合計(16 科目)		25	15	0			
うち卒業・修了に必要な実習等単位数		25	5	—			
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数		10	5	—			

【旧】

別記様式第2号 (その2の4)

専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧								
(動物トータルケア学科)								
科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態 [臨/連]	臨地実務実習に代えて連携実務演習等(実験、実習又は実技によるものに限る。)を修得させる理由及び見込まれる教育効果		
		必修	選択	自由				
実験、実習又は実技による授業科目	基礎科目	実務英語	2			演習	該当なし	
		実務コンピューター	1			演習		
	職業専門科目	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	2					実習
		動物臨床看護学(外科)実習	2					実習
		動物口腔ケア実習		1				実習
		動物形態機能学・組織学実習	1					実習
		動物臨床検査学実習	1					実習
		動物トータルケア演習		1				演習
		コンパニオンアニマルケア実習(基礎)	3					実習
		コンパニオンアニマルケア実習(応用)	3					実習
		コンパニオンドッグトレーニング実習	3					実習
		臨地実習1	3					実習[臨]
		臨地実習2	3					実習[臨]
		臨地実習3	3					実習[臨]
		臨地実習4	3					実習[臨]
	臨地実習5	3				実習[臨]		
	展開科目	該当なし						
	総合科目	動物トータルケア総合演習1	1					演習
		動物トータルケア総合演習2	1					演習
		動物実習短期留学		3				実習
研修・ボランティア活動			1			実習		
小計(20科目)		35	6	0				
うち卒業・修了に必要な実習等単位数		—	0	—				
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数		15	0	—				

別記様式第2号 (その2の4)

専門職大学等における実験、実習又は実技による授業科目並びにこれに代替する演習による授業科目一覧							
(動物トータルケア学科)							
科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態 [臨/連]	実験、実習又は実技に代えて演習による授業科目を修得させる事由及び見込まれる教育効果	
		必修	選択	自由			
演習による実習等代替授業科目	基礎科目	該当なし				該当なし	
	職業専門科目	該当なし					
	展開科目	該当なし					
	総合科目	該当なし					
	小計(0 科目)		0	0	0		
	うち卒業・修了に必要な実習等単位数		—	0	—		
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数		0	0	—			
合計(20 科目)		35	6	0			
うち卒業・修了に必要な実習等単位数		—	0	—			
うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数		15	0	—			

【教育課程等】

1 1. <授業時間の確保が不明確>

「臨地実務実習の確保状況説明書」では実習科目3単位に対して実習時間が84時間と記載されている。基準上は90時間を求められる実習に必要な授業時間が確保されていることを説明すること。

(対応)

事前教育及び事後教育が明示されていないため、単位数に値する基準上の臨地実務実習時間が確保されていることが分かりにくい。臨地実務実習の各科目の配当単位数を変更すると共に、基準を満たしていることを以下のとおり説明する。

設置の趣旨等を記載した書類の資料30「臨地実習1～5」の授業概要を、(資料11-1)、(資料11-2)のとおりに変更する。

臨地実務実習は「臨地実習1」、「臨地実習2」、「臨地実習3」、「臨地実習4」を必修とし、「臨地実習5」及び「臨地実習6」を選択必修とした。

「臨地実習1」は本学併設のペットサロン(シブヤ・ドッグ・ビューティー)にて実習を行う。臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

「臨地実習2」は本学併設の動物病院(アニマル・メディカル・センター)にて臨地実務実習を行う。臨地実務実習時間は3日間(1日7時間)の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

「臨地実習3」は学外の動物病院で実習を行う。臨地実務実習時間は8日×2病院(1日7時間)の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

「臨地実習4」は学外の動物関連企業等で臨地実務実習を行う。臨地実務実習時間は8日間×2社(1日7時間)の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

「臨地実習5」は学外の動物病院で臨地実務実習を行う。臨地実務実習時間は7日間×3病院(1日7時間)の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

「臨地実習6」は学外の動物関連企業等で臨地実務実習を行う。臨地実務実習時間は7日間×3社(1日7時間)の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

必修の4科目と選択必修の1科目の合計臨地実務実習時間は450時間である。

(新旧対照表) 別記様式第2号 (その2の1) 教育課課程

新		旧	
科目 区分	授業科目の名称	科目 区分	授業科目の名称
② 職業専門科目	(略)	② 職業専門科目	(略)
	臨地実習 1		臨地実習 1
	臨地実習 2		臨地実習 2
	臨地実習 3		臨地実習 3
	臨地実習 4		臨地実習 4
	臨地実習 5		臨地実習 5
	臨地実習 6		(略)
	(略)		

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (34～37 ページ)

新	旧
<p>11. 臨地実務実習の具体的な計画</p> <p>(1) 臨地実務実習の目的</p> <p>(略)</p> <p>< 臨地実務実習の教育内容 ></p> <p>各施設で具体的にどのような臨地実務実習の教育内容について、臨地実務実習の科目ごとに説明する。</p> <p>「臨地実習 1」</p> <p>1 年次夏季休暇または 1 年次春季休暇に校舎 (1 号館) に併設されているペットサロンで 3 日間の臨地実務実習を行い、2 年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。</p> <p>動物の取り扱い方、マナー、ペットサロンの業務を把握し、1 日の仕事を学ぶ。商品知識と管理を身に付け、衛生管理の実践、接客マナーと受付、電話対応等を修得させる。</p> <p>臨地実務実習時間は 3 日間 (1 日 7 時間) の他に、事前教育 3 時間、見学実習 3 時間、事後教育 3 時間、計 30 時間である。</p>	<p>(追加)</p>

【到達目標】

「臨地実習 1」は、入学後初めての夏季休暇若しくは春季休暇に行われるので、初歩的な内容を踏まえペットサロン及びペットショップの1日の業務の流れを把握することを到達目標とする。

「臨地実習 2」

1年次夏季休暇または春季休暇に校舎（1号館）に併設されている動物病院（アニマルメディカルセンター）で3日間の臨地実務実習を行い、2年次以降の学外実習に出る前の基礎を学ぶ。

臨地実務実習時間は3日間（1日7時間）の他に、事前教育3時間、見学実習3時間、事後教育3時間、計30時間である。

【到達目標】

「臨地実習 2」は、臨地実務実習の導入として、業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得させる。

(追加)

「臨地実習 3」

動物病院において、8日間ずつ2か所の動物病院で臨地実務実習を行う。

小規模、中規模の動物病院での業務を体験し、技術と知識の再確認と再修得をさせる。院内清掃、電話応対、診療準備、診療補助、検査、手術の準備や補助、入院患者のケア、調剤、往診業務、事務作業を学ぶ。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は8日×2病院（1日7時間）の他に事前教育4時間、事後教育4時間、計120時間である。

【到達目標】

「臨地実習 3」は、動物病院における動物看護師の業務分担と流れを把握し、スタッフと職場での適切なコミュニケーションを図ることを到達目標とする。

「臨地実習 4」

動物関連企業等で 8 日間ずつ、2 か所の企業・店舗等での臨地実務実習を行う。是正事項 7 の(1)でも説明したとおり、(表 3)の動物関連企業等の中から、業種分類が異なる 2 か所での臨地実務実習を行うことで、各業界における業務の流れを把握し、幅広い視野と実践力を養う。

学生の配属に関しては、臨地実務実習期間中自宅から通える範囲を考慮するとともに、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 8 日間×2 社 (1 日 7 時間)の他に事前教育 4 時間、事後教育 4 時間、計 120 時間である。

(略)

(追加)

「臨地実習 5」

動物病院への就職を希望する学生が選択する「臨地実習 5」では、7 日間ずつ基本的に 3 か所の施設で臨地実務実習を行う。動物病院への進路希望者は 5 グループの動物病院から 3 か所を配属先とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物看護師の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3 年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は 7 日間×3 病院 (1 日 7 時間)の他に事前教育 2 時間、事後教育 1 時間、計 150 時間である。

【到達目標】

「臨地実習 5」は、職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして動物看護師として幅広い視野を養うことを到達目標とする。

「臨地実習 6」

学生のキャリアにつながる臨地実務実習として、希望進路やその関連分野を臨地実務実習先とし、基本的に3か所の動物関連企業等の現場（店舗等・団体等）で7日間のローテーションでの臨地実務実習を行う。臨地実務実習先はペットサロン、ペットショップ、ペットホテル、老犬ホーム、ペット同伴宿泊施設、訓練施設、その他ペット関連産業等とする。この臨地実務実習では職業専門科目や展開科目で学修した内容を活かしながら、飼い主のニーズを適切に把握し対応できる動物関連企業等における従業員の役割を学ぶ。

学生の配属に関しては、3年次のキャリアガイダンスでアンケート調査を実施し、本人と臨地実務実習担当教員及び就職支援課職員等と面談の上、本人の希望・適正等を考慮して配属する。

臨地実務実習時間は7日間×3社（1日7時間）の他に事前教育2時間、事後教育1時間、計150時間である。

【到達目標】

職業専門科目で学修した内容に加え、展開科目で産業と社会の繋がりを学修したことをとおして、顧客のニーズを把握し、通常業務における顧客への対応を学ぶ。

「臨地実習 6」の業種ごとの臨地実務実習内容を以下のとおり説明する。（表5）

（略）

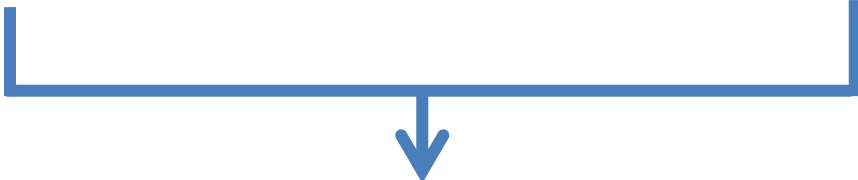
（追加）

「臨地実習1」 1単位 必修

実習時期:1年夏季休暇 or 1年春季休暇
 実習場所:シブヤ・ドッグ・ビューティー
 実習時間:30時間 実習3日(1日7時間)
 事前教育3時間 見学実習3時間 事後教育3時間

「臨地実習2」 1単位 必修

実習時期:1年夏季休暇 or 1年春季休暇
 実習場所:アニマル・メディカル・センター
 実習時間:30時間 実習3日(1日7時間)
 事前教育3時間 見学実習3時間 事後教育3時間



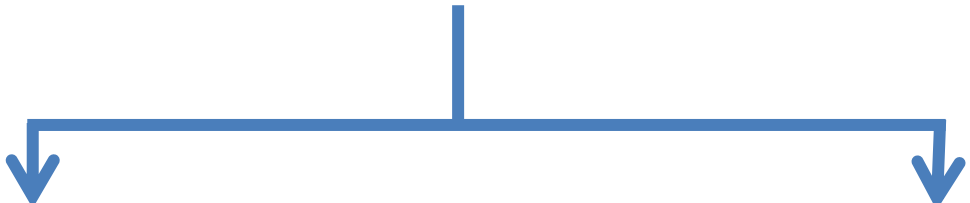
「臨地実習3」 4単位 必修

実習時期:2年夏季休暇
 実習場所:動物病院
 実習時間:120時間 8日×2病院(1日7時間) 事前教育4時間 事後教育4時間



「臨地実習4」 4単位 必修

実習時期:2年春季休暇
 実習場所:動物関連企業等
 実習時間:120時間 8日×2社(1日7時間) 事前教育4時間 事後教育4時間



「臨地実習5」 5単位 選択必修

実習時期:3年夏季休暇
 実習場所:動物病院
 実習時間:150時間 7日×3病院(1日7時間)
 事前教育2時間 事後教育1時間

「臨地実習6」 5単位 選択必修

実習時期:3年夏季休暇
 実習場所:動物関連企業等
 実習時間:150時間 7日×3社(1日7時間)
 事前教育2時間 事後教育1時間

「臨地実習1」および「臨地実習2」は学生によって履修時期が前後します。
 「臨地実習5」と「臨地実習6」はどちらかを選択履修し、単位を修得します。

臨地実務実習時間数一覧

No	科目名	単位数	時間数					備考
			実習	見学実習	事前授業	事後授業	合計	
1	臨地実習1	1	21	3	3	3	30	
2	臨地実習2	1	21	3	3	3	30	
3	臨地実習3	4	112	0	4	4	120	
4	臨地実習4	4	112	0	4	4	120	
5	臨地実習5	5	147	0	2	1	150	
6	臨地実習6							
合 計		15	413	6	16	15	450	

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

1 2. <卒業要件と資格取得の関係が不明確>

卒業要件についての説明が不十分であり、卒業要件を満たせば動物看護師の受験資格を得られることが判然としない。また、本学の教育課程が「認定動物看護師新コアカリキュラム」対応しているかも不明確である。コアカリキュラムとの対比表を示した上で、卒業要件と受験資格の関係を明らかにすること。

(対応)

ご指摘にある、卒業要件と動物看護師の受験資格（一般財団法人動物看護師統一認定機構）の関係について以下のとおり説明する。また、「認定動物看護師コアカリキュラム 2018」（平成 31 年度より実施）に対応する、本学の対照表を提示する。

<卒業要件>

当初、本学の教育課程において認定動物看護師受験資格に必要とされる科目に選択科目を配置していたが、動物看護短期大学士（専門職）取得に鑑み、認定動物看護師受験資格に必要とされる「動物愛護・福祉と関連法規」1 単位、「動物人間関係学」2 単位、「動物行動学」2 単位、「伴侶動物学」2 単位、「産業・実験動物学」2 単位、「野生動物学」1 単位、「動物飼育管理論」2 単位、「動物看護ソーシャルワーク」2 単位、計 14 単位を必修科目に加え、表 1 のとおり卒業必修単位を 93 単位から 107 単位に変更した。

卒業要件は、本学に 3 年間以上在学し、必修単位 77 単位以上と選択科目 30 単位以上、計 107 単位以上を修得することである。更に本学の教育課程は、一般財団法人動物看護師統一認定機構が推奨するコアカリキュラムを包括している。卒業のためには、表 2 の開設科目すべて（52 単位）が必修科目となっており、認定動物看護師の受験資格は卒業要件に含まれる。

表 1 【卒業要件】 (単位数)

区分	必修	選択	合計
基礎科目	5	10	15
職業専門科目	70	5	75
展開科目	0	15	15
総合科目	2	-	2
合計	77	30	107

<認定動物看護師のコアカリキュラム>

認定動物看護師の受験資格は、一般財団法人動物看護師統一認定機構が推奨したコアカリキュラムに基づく「動物看護学」を教育する学科あるいはコースを有する専修学校専門課程あるいは大学において、認定動物看護師になるのに必要単位数または必要時間数を正規課程で修めた者に与えられる。

(一般財団法人動物看護師統一認定機構 HP)

表 2

【動物認定看護師コアカリキュラム2018 対照表】									
認定動物看護師コアカリキュラム2018					ヤマザキ動物看護専門職短期大学科目				備考
分野	学修目標	授業科目(例)	時間数	機構準拠の 必要単位数	科目名	新 必/選	旧 必/選	単位数	
基礎 動物 看護学	動物の体の構造と 機能を理解する	動物形態機能学	120	3	動物形態機能学	必		2	
		動物繁殖学	30	1	動物生理・繁殖学	必		2	
	疾病の成り立ちと 回復の促進に寄 与することを学ぶ	動物病理学	30	1	動物病理学	必		1	
		動物薬理学	60	1.5	動物薬理学	必		2	
		動物感染症学	90	2	動物感染症学	必		2	
応用 動物 看護学	人と動物の調和に 関わることを学ぶ	動物看護学概論	60	1.5	動物看護学概論	必		2	
		動物医療関連法規	30	1	動物愛護・福祉と関連法規	必	選	1	
		公衆衛生学	60	1.5	公衆衛生学	必		2	
		人間動物関係学	30	1	動物人間関係学	必	選	2	
		動物福祉・倫理	30	1	生命倫理学	必		2	
		動物行動学	30	1	動物行動学	必	選	2	
	様々な動物の特 性と人との関わり を理解する	伴侶動物学	60	1.5	伴侶動物学	必	選	2	
		産業動物学	45	1	産業・実験動物学	必	選	2	
		実験動物学	15	0.5					
		野生動物学	30	1	野生動物学	必	選	1	
臨床 動物 看護学	動物の臨床看護 に必要な知識を修 得する	動物内科看護学	30	1	動物臨床看護学(基礎・内科)	必		2	
		動物外科看護学	60	1.5	動物臨床看護学(外科)	必		2	
		動物臨床看護学総論	30	1	動物トータルライフ環境論	必		2	
		動物臨床看護学各論	120	3	訪問動物看護学	必		2	
	動物病院業務に 必要な知識を修得 する	動物臨床栄養学	60	1.5	動物臨床栄養学	必		2	
		動物臨床検査学	60	1.5	動物臨床検査学	必		2	
		動物医療コミュニケーション	30	1	動物看護ソーシャルワーク	必	選	2	
実習	修得した知識の実 践力を身に付ける	動物形態機能学実習	45	1	動物形態機能学・組織学実習	必		1	
		動物内科看護学実習	90	2	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	必		2	
		動物臨床検査学実習	90	2	動物臨床検査学実習	必		1	
		動物外科看護学実習	90	2	動物臨床看護学(外科)実習	必		2	
		動物臨床看護学実習	45	1	臨地実習2	必		1	
		動物看護総合実習	180	4	臨地実習3	必		4	
計			1650	42				52	

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (24 ページ)

新	旧																																									
<p>6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 (3)卒業要件</p> <p>動物トータルケア学科における卒業要件は、本学に3年間以上在学し、<u>必修単位 77 単位以上と選択科目 30 単位以上、計 107 単位以上</u>を修得することである。更に本学の教育課程は、一般財団法人動物看護師統一認定機構が推奨するコアカリキュラムを包括している。卒業のためには、【動物認定看護師コアカリキュラム 2018 対照表】(資料 28-4) の開設科目すべて (52 単位) が必修科目となっており、<u>認定動物看護師の受験資格は卒業要件に含まれる。</u></p> <p>これらは、動物看護の専門知識及び技術を有する教育・研究者の養成並びに動物愛護の精神に則り、豊かな人間性と幅広い視野を備える良質な動物看護師が社会から求められていることを踏まえ、短期大学士課程卒業者としての質を保証するための措置である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>必修</th> <th>選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎科目</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>職業専門科目</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>展開科目</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>総合科目</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">107</td> </tr> </tbody> </table>	区分	必修	選択	基礎科目	5	10	職業専門科目	70	5	展開科目	—	15	総合科目	2	—	合計	107		<p>6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 (3)卒業要件</p> <p>動物トータルケア学科における卒業に必要な単位数は 93 単位である。卒業必修科目及び選択科目を履修し単位を修得すること。さらに認定動物看護師統一認定試験を受験する学生はコアカリキュラムの全ての科目を履修し、単位を修得すること。これらは、動物看護の専門知識及び技術を有する教育・研究者の養成並びに動物愛護の精神に則り、豊かな人間性と幅広い視野を備える良質な動物看護師が社会から求められていることを踏まえ、短期大学士課程卒業者としての質を保証するための措置である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>必修</th> <th colspan="2">選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎科目</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>職業専門科目</td> <td style="text-align: center;">58</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>展開科目</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合科目</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">93</td> </tr> </tbody> </table>	区分	必修	選択		基礎科目	15	—	3	職業専門科目	58	—	展開科目	—	15		総合科目	2	—		合計	93		
区分	必修	選択																																								
基礎科目	5	10																																								
職業専門科目	70	5																																								
展開科目	—	15																																								
総合科目	2	—																																								
合計	107																																									
区分	必修	選択																																								
基礎科目	15	—	3																																							
職業専門科目	58	—																																								
展開科目	—	15																																								
総合科目	2	—																																								
合計	93																																									

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教育課程等】

13. <科目の実施体制が不明確>

40人以上の学生が同時に受講することとしている科目について、教育上その必要があり、かつ十分な教育効果をあげることができることを、教員の配置等授業の実施体制を含めて示すこと。

(対応)

40人以上の学生が同時に受講することとしている14科目については、教育効果を上げる為に7科目に変更した(表1)。

職業専門科目の「動物口腔ケア論」、「動物口腔ケア実習」、「動物リハビリテーション論」、「動物飼育管理論」、「野生動物学」、「産業・実験動物学」、展開科目の「災害・危機管理論」は、1クラス80人の体制を2クラス各40人の配置に修正する。

展開科目の1クラス80人として開講する科目は、著名な非常勤講師を招聘しているため、教育効果を配慮して授業終了後にメール等による質疑応答等を行う。更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。

なお、表1のとおり、設置認可申請時は、14科目であった80人のクラスを、補正申請時には7クラスへと半減させた。

1クラス80人として開講する7科目の担当者及び理由については(資料13-1)で説明する。

表1 受講クラス人数新旧対照表

【補正申請時の40人クラス】

【設置認可申請時の80人クラス】

新			旧		
科目区分	科目名称	受講人数	科目区分	科目名称	受講人数
職業専門科目	動物口腔ケア論	40人×2	職業専門科目	動物口腔ケア論	80人
	動物口腔ケア実習	40人×2		動物口腔ケア実習	80人
	動物リハビリテーション論	40人×2		動物リハビリテーション論	80人
	動物飼育管理論	40人×2		動物飼育管理論	80人
	野生動物学	40人×2		野生動物学	80人
	産業・実験動物学	40人×2		産業・実験動物学	80人
展開科目	(変更なし)		展開科目	ジェロントロジー	80人
	(変更なし)			少子高齢社会と人口問題	80人
	(変更なし)			高齢者心理	80人
	(変更なし)			産業論	80人
	(変更なし)			起業論	80人
	(変更なし)			消費者行動分析学	80人
	(変更なし)			IT社会論	80人
	災害・危機管理論	40人×2		災害・危機管理論	80人

(新)	(旧)
<p>6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 (1)特色とする教育方法 ②授業方法に適した学生数の設定 「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」と「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ」、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の授業はレベル分けの上、20人程度を1クラスとして教育する。ただし、この教室は学生が自由に使用できるように、コンピューターは余裕をもって30台設置して置く。演習、実習は40人を1クラスとして教育する。実習は助手を配置し、学生一人ひとりに細かく指導できるよう配慮する。原則として、講義は1クラス40人とする。しかし、学年全体での講義を実施する場合もある。展開科目の1クラス80人として開講する科目は、著名な非常勤講師を招聘しているため、教育効果を配慮して授業終了後にメール等による質疑応答等を行う。更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。</p>	<p>6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 (1)特色とする教育方法 ②授業方法に適した学生数の設定 「実務英語」と「実務コンピューター」の授業はレベル分けの上、20人程度を1クラスとして教育する。演習、実習は40人を1クラスとして教育する。 (追加) 実習は助手を配置し、学生一人ひとりに細かく指導できるよう配慮する。原則として、講義は1クラス40人とする。しかし、学年全体での講義を実施する場合もある。 (追加)</p>

80人クラスの担当者及び理由

- ・ 今般新たに設置する「**環境生物学**」担当者の専任実務家教員（研究・みなし教員）は、環境整備に関して日本で有数の企業において責任ある取締役の立場にある貴重な人材であり、授業内容には高い教育効果が認められることから、1クラス80人とする。
- ・ 「**ジェロントロジー**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得し、国際批判健康心理学会組織運営委員会委員等を務める傍ら、他の短期大学教授・図書館長等で活躍中の研究者である。この学問は新しい分野であり、研究者は日本では少数である。担当教員は学会の重鎮として第一人者である。
- ・ 「**少子高齢社会と人口問題**」担当者は、新聞社の経済部長、政治部長、社会部長、編集局次長を経て、取締役編集局長を務めた後、論説副主幹等を経て他大学の教授等として少子高齢化・人口減と絡めた地方創生等の講義を行い、名誉教授となった現在は日本自治創造学会会員としてメディア等で活躍している。学生に教育効果の高い講義である。
- ・ 「**高齢者心理**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得し、博士課程単位修得後に退学し、その後博士の学位を取得した。中学校・高等学校や大学のカウンセラーとして活躍する傍ら、大学の非常勤講師としてカウンセリング論等を講義してきた。「家族とライフサイクルの支援」等の研究業績がある。現在はヤマザキ動物看護大学の准教授であり、日本臨床心理学会、日本臨床死生学会等に所属して活躍中の研究者である。病院の緩和ケアチームで、傾聴ボランティアの経験を有する担当者が学生に講義する意義は大きなものがある。
- ・ 「**産業論**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得した後、研究機関の研究員を経て大学の学部・大学院の教授として産業経済論や中小企業論等の科目を担当し、中小企業や産業組織等の著書・論文・報告等を多数発表した。現在は研究所客員主幹研究員を務める傍ら、産業学会会員等として活躍している。産業の動向を考える上で教育効果の高い科目である。
- ・ 「**起業論**」担当者は、会社経営者である。修士課程において修士の学位取得後、直ちに、住宅関係の会社を起業し、その後は複数の企業を経営した経歴を持つ。不動産投資や企業のM&Aの実績を踏まえた著書があり、現在活躍中の経営者である。「起業論」担当の最適任者であり、本学の学生が講義を受けることの意義は大きなものがある。
- ・ 「**消費者行動分析学**」担当者は、修士課程を修了して学位を取得し、博士課程単位取得退学の後、他大学において准教授を経て教授となり、現在は大学院教授である。日本行動分析学会においては、理事、常任理事、事務局長等を歴任した、行動分析学の専門家であり、本学において講義をすることの意義は高い。
- ・ 「**IT 社会論**」担当者は、修士課程を修了して修士の学位を取得し、その前後に著名な民間企業に勤務した。他大学の助教授を経て教授に就任し、その間、海外の大学において客員研究員となる。現在は大学院の教授であり、コンピューターサイエンスと社会の関係を考える上で本学において講義をすることの意義は高い。

(改善事項) 動物トータルケア学科

【教員組織等】

1 4. <教員の年齢構成の偏り>

教員の年齢構成として、定年を超える教員が一定数以上に偏っており、多くの実習等を行うことを考慮すると十分な教育体制であるか疑義があるため、教員の年齢構成について、若手教員の採用等をどのように考え、どのように偏りを解消するのか説明すること。

(対応)

教員の年齢構成として、定年を超える教員が一定数以上に偏っており、多くの実習等を行うことを考慮すると十分な教育体制であるか疑義があるとの指摘を受けたため、教員の年齢構成と若手教員の採用等も考え、どのように偏りを解消するかを説明する。

完成年度末において定年を超過している教員 14 名中 3 人のうち、80 歳代の学長が教授として担当する「生命倫理学」の講義については、完成年度後、速やかに後任の教員を配置する。学科長である 72 歳の教授の担当する「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」については、開学時当初から 40 歳代の非常勤講師とのチームティーチングとするとともに、助手を配置することにより、教育効果を高める。この教授は、動物病院で 30 年以上の勤務経験を有し、ヤマザキ動物看護大学在任中に博士の学位を取得した、余人をもって代えがたい人材である。

完成年度以降、定年を超過している高齢の専任教員が退職する場合には、学生の教育に支障をきたさないよう、教授会で協議の上、段階的に後任として適切な人員を補充する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (21 ページ)

(新)	(旧)
<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(5) 教員の年齢構成</p> <p>専任教員の職位別の年齢構成は、十分な教育研究活動を果たすために、年齢層に偏りのない教員を配置する。</p> <p>開設時の年齢構成は、教授 70 歳代 1 人、60 歳代 4 人。准教授 50 歳代 1 人。講師 60 歳代 1 人、50 歳代 1 人、40 歳代 3 人、30 歳代 1 人。助教 30 歳代 2 人を配置し、次世代を視野に入れた教員の育成に努める。</p> <p>定年は 65 歳と定めるが、開学に当たり採用される教員が開学後 3 年間に定年を迎える場合は、定年年齢にかかわらず短期大学の完成年度までの間は勤務可能な規程を設けた (資料 23)。</p> <p>完成年度末において定年を超過している教員 14 名中 3 人のうち、80 歳代の学長が教授として担当する「生命倫理学」の講義については、完成</p>	<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(5) 教員の年齢構成</p> <p>専任教員の職位別の年齢構成は、十分な教育研究活動を果たすために、年齢層に偏りのない教員を配置する。</p> <p>開設時の年齢構成は、教授 70 歳代 1 人、60 歳代 3 人。准教授 60 歳代 1 人、40 歳代 1 人。講師 60 歳代 1 人、50 歳代 1 人、40 歳 2 人。助教 60 歳代 1 人、30 歳代 2 人を配置し、次世代を視野に入れた教員の育成に努める。</p> <p>定年は 65 歳と定めるが、開学に当たり採用される教員が開学後 3 年間に定年を迎える場合は、定年年齢にかかわらず短期大学の完成年度までの間は勤務可能な規程を設けた (資料 23)。</p> <p>(追加)</p>

年度後、速やかに後任の教員を配置する。学科長である 72 歳の教授の担当する「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」については、開学時当初から 40 歳代の非常勤講師とのチームティーチングとするとともに、助手を配置することにより、教育効果を高める。この教授は、動物病院で 30 年以上の勤務経験を有し、ヤマザキ学園大学（現ヤマザキ動物看護大学）在任中に博士の学位を取得した、余人をもって代えがたい人材である。

完成年度以降、定年を超過している高齢の専任教員が退職する場合には、学生の教育に支障をきたさないよう、教授会で協議の上、若手教員の採用も踏まえ、段階的に後任として適切な人員を補充する。

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教員組織等】

15. <教育課程連携協議会の構成が不適切>

教育課程連携協議会の構成として、コースを設定している「動物産業」に関する者が含まれていない。2コースのうちの1コースである「動物産業」の知識・経験を有す者を構成員に含めること。

(対応)

是正意見2で回答したとおりコース制は設定しない。ペット関連産業界の意見を取り入れ、教育課程連携協議会の充実を図るために動物産業界で活躍するイオンペット株式会社の事業部長、寺本健太郎氏を構成員に加えることにした。これにより「教育課程連携協議会構成員名簿」に同氏を追加する(資料15-1)。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (25 ページ)

新	旧
<p>7. 教育課程連携協議会 (略)</p> <p>構成員は、①ヤマザキ動物看護専門職短期大学長が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学の教員、その他の職員、②動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ若しくはその他の動物関連産業に係る職業に就いている者、またはこれらの職業に関する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動する関係者であって当該事業の実務に関し豊富な経験を有する者、③地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者、④臨地実務実習その他の授業科目の開設または授業の実施において本学と協力する事業者、⑤本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者となっている。任期は1年とし、再任を妨げない。</p> <p>教育課程連携協議会は年1回以上開催する。教育課程については、「教育課程連携協議会」の意見を勘案し、聴取した意見を教務委員会で検討の上、教授会の意見を聴いて、学長が教育課程に反映する。その結果を教育課程連携協議会に報告するというP D C Aのサイクルを構築する。</p> <p>また、学生の卒業後の進路と想定される動物産業界からの意見を聞くため、動物産業界で活躍するイオンペット株式会社の事業部長、寺本健太郎氏を構成員に加える。</p>	<p>7. 教育課程連携協議会 (略)</p> <p>構成員は、①ヤマザキ動物看護専門職短期大学長が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学の教員、その他の職員、②動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ若しくはその他の動物関連産業に係る職業に就いている者、またはこれらの職業に関する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動する関係者であって当該事業の実務に関し豊富な経験を有する者、③地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者、④臨地実習その他の授業科目の開設または授業の実施において本学と協力する事業者、⑤本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者となっている。任期は1年とし、再任を妨げない。</p> <p>教育課程連携協議会は年1回以上開催し、その結果は学長に報告され、教育課程や授業の改善に繋げ、その結果を委員会に報告するものとする。</p>

①書類等の題名

資料 15-1. 教育課程連携協議会構成員名簿

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

教育課程連携協議会構成員名簿【新】（補正申請時に添付した書類）

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 15-2. 教育課程連携協議会構成員名簿

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

教育課程連携協議会構成員名簿【旧】（設置認可申請時に添付した書類）

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教員組織等】

16. <専任教員数が設置基準を満たしていない>

専任教員数について、専門職短期大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

教員審査の結果、保留になった者の個人調書が未整備のため、修正を行う。

それに加えて、教育効果を上げるために研究能力を有する実務家教員を2名追加し、ご指摘された設置基準の満たしていない状況を改める。

本学としては当初、花田道子氏を実(研)の教授候補者として申請し教員審査を受けたところであるが、その結果、書類の不備を理由として審査を受けられなかったため、書類を修正のうえ、補正申請において再度実(研)の教授候補者として申請する。

また、講師候補者として申請した加藤剛氏は、「臨地実習3」については本人の意向によりこの科目を担当科目から削除して再度申請する。「臨地実習3」の担当者は、専任教員を補充する。また、同氏の担当する「動物実習短期留学」について担当部分の科目内容が不明確のため保留となり、担当部分を明確にして再度申請する。

なお、実専の准教授候補者として申請した高柳信子氏は、担当授業科目についていずれも「講師で再申請すれば可」との審査結果を受けて、講師候補者として再度申請する。実(研)の助教として申請した鈴木光行氏については、自己の都合により申請を取り下げる。そのため、実(研)の講師候補者として藤原恵利子氏を申請する。また、教育課程の充実を図るため、実務のみなし教員(実み)の教授候補者として谷川力氏を申請する。なお、企業において責任ある立場であるが、動物看護師の職域拡充に繋がることから、必要な専任教員として講義実習ばかりでなく、臨地実務実習も担当し、教授として教授会に出席し、その他の学内運営にも力を注ぐ。

以上の措置により、専任教員7名、実専の教員7名(うち1名が実みの教員)、計14名の専任教員数となり、実専の教員7名のうち3名が実(研)教員、教授は専任と実(研)とみなしの教員を合わせて5名となる。補正申請の結果、教員審査において可の判定を受ければ専門職短期大学の設置基準を満たす専任教員数となる。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類(13ページ)

(新)	(旧)
<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (1)教員組織の編成の考え方 教員編成の基本的な考え方は以下の3点である。</p> <p>① 専任教員14人のうち、7人を16年から30年の職業経験がある実務家教員とする。なお、7人の内3人の実務家教員は、博士の学位または研究能力を有する実研教員である。</p> <p>② 実習科目を補助する助手4人を配置する。</p>	<p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色 (1)教員組織の編成の考え方 教員編成の基本的な考え方は以下の3点である。</p> <p>①専任教員13人のうち、6人を16年から30年の職業経験がある実務家教員とする。なお、6人の内3人の実務家教員は、博士の学位または研究能力を有する教員である。</p> <p>② 習科目を補助する助手4人を配置する。</p>

<p>③実務家教員以外にも、産業界から多彩な非常勤講師を招来して最先端の技術と知識を得られるように努める。</p> <p>(略)</p>	<p>③ 務家教員以外にも、産業界から多彩な非常勤を招来して最先端の技術と知識を得られるように努める。</p> <p>(略)</p>
--	--

(是正事項) 動物トータルケア学科

【名称、その他】

17. <アドミッション・ポリシーと入学者選抜が不整合>

AO入試で50名を募集することとなっているが、AO入試の選抜方法に一般入試で実施する生物や化学を課していないことから、アドミッション・ポリシーに掲げる「基礎学力を持つ者」を選抜できることを説明すること。また、AO入試や推薦入試等で生物や化学の試験を課さない者に対して、入学後に適切に指導が行えることを説明すること。

(対応)

<「基礎学力を持つ者」の選抜>

入学者受入れの方針に基づき、学力の3要素(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」)を踏まえた多面的・総合的に評価する入学者選抜を実施する。入学者選抜におけるAO入試及び推薦入試において、専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。

また、入学前教育としてAO入試及び推薦入試の合格者を対象に思考力や表現力を問うため、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。

<入学後の教育>

AO入試や推薦入試等で生物や化学の試験を課さない者に対しては、入学後に適切に指導が行えるよう、4月のオリエンテーションにおいて生物基礎及び化学基礎の基本的事項の修得状況を確認するマークシートを使用したプレテストを実施し、一定の水準に達していない学生に対しては、リメディアルトレーニングを行う。

トレーニングの内容は、Moodleというシステムを活用したe-learningによるトレーニングで、初等・中等教育において習得しておくべき生物、化学の学習内容である。各科目の具体的な単元は以下のとおりである。

生物については、「生物の特徴」、「生物の遺伝」、「生物の体内環境」、「消化と代謝」、「神経系とホルモン」、「ヒトの体づくり」等の単元としている。

化学については、「物質の構成」、「化合物と化学式」、「原子の構造」、「物質の量と濃度」等の単元としている。

トレーニング形式はテスト形式となっており、学習者が内容を理解し、テストに正解することにより、e-learningによるトレーニングは修了となるようにプログラムされており、一定の学力を修得させることができる。

入学者選抜の概要

(1)アドミッションポリシー

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科の養成する人材像に基づき、以下のアド

ミッションポリシーを掲げる。

- ・ 本学の建学の精神及び教育理念に共感する者
- ・ 動物に深い理解と愛情を持ち、人と動物の豊かな共生社会を目指す者
- ・ 動物看護学に必要なとされる専門知識と技術を学ぶための基礎学力を持つ者
- ・ 国際的視野に立ち、コミュニケーションを大切にする者

入学者受入れの方針に基づき、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえた多面的・総合的に評価する入学者選抜を実施する。

(2) 募集人員と選抜方法

① 募集人員

入学 定員	募集人員				
	一般入学 試験	AO 入学 試験	特別選抜		
			指定校 推薦	公募 推薦	社会人 入学試験
80 名	10 名	50 名	15 名	5 名	若干名

なお、社会人特別選抜の募集人員は、特別選抜の募集人員の内数とする。

② 選抜方法 (i) 一般入学試験

必要な基礎学力を判定するため独自の学力検査の結果及び出願書類の内容を総合的に判定して行う。

試験教科：理科と英語を必修とする。

教科	科目	区分
理科	生物基礎 化学基礎	左記の2科目から1科目選択
英語	英語（リスニングを除く）	必修

また、入学者の高校までの履修歴を勘案し、あわせて入学後の学力試験の結果に基づき、履修指導の際に、基礎学力不足の学生に対する理数系科目の補修授業を実施する。

(ii) AO 入学試験

アドミッションポリシーに示した、動物看護に強い意欲を持つ入学者を選抜するため、自己推薦文（各種資格、各種検定試験の成績、弁論大会やボランティア活動、在学中の学校内での活動、動物飼育体験の実績等）、小論文、面接、評定平均値の内容を総合的に判定して行う。

入学者選抜における AO 入試において、専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接試験の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。

また、入学前教育として AO 入試及び推薦入試の合格者を対象に、自らまとめた考えを表現させることにより、思考力や表現力を問うため、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。

(iii) 指定校推薦

本学が指定する高等学校の現役生で、高等学校での調査書の評定平均値が 3.2 以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長が責任をもって推薦できる者。

小論文、面接、出願書類を総合的に判定して行う。

入学者選抜における推薦入試において、専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接試験の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。

また、入学前教育として AO 入試及び推薦入試の合格者を対象に、自らまとめた考えを表現させることにより、思考力や表現力を問うため、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。

(iv) 公募推薦

高等学校の現役生及び高等学校卒業後 1 年以内の者で、高等学校での調査書の評定平均値が 3.0 以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長の推薦を受けた者。

小論文、面接、出願書類を総合的に判定して行う。

入学者選抜における推薦入試において、専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接試験の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。

また、入学前教育として AO 入試及び推薦入試の合格者を対象に、自らまとめた考えを表現させることにより、思考力や表現力を問うため、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。

(v) 社会人入学試験

何らかの動物関係の資格保有者や動物病院をはじめとする動物関連企業で勤務した経験がある者で、今後学び直しを希望し、動物看護師を目指す者。または一般選抜と同様の大学入学資格を有し、入学年度の 4 月 1 日に満 22 歳以上である者を対象とする。

小論文、面接、出願書類を総合的に判定して行う。

なお、入学手続者に対し、動物看護実習に係る学力と関連する理数系科目について入学までに取り組むべき課題を課すこととする。

(vi) 入学後の教育

AO 入試や推薦入試等で生物や化学の試験を課さない者に対しては、入学後に適切に指導が行えるよう、4 月のオリエンテーションにおいて生物基礎及び化学基礎の基本的事項の修得状況を確認するマークシートを使用したプレテストを実施し、一定の水準に達していない学生に対しては、リメディアルトレーニングを行う。

トレーニングの内容は、Moodle というシステムを活用した e-learning によるトレーニングで、初等・中等教育において習得しておくべき生物、化学の学習内容である。各科目の具体的な単元は以下

のとおりである。

生物については、「生物の特徴」、「生物の遺伝」、「生物の体内環境」、「消化と代謝」、「神経系とホルモン」、「ヒトの体づくり」等の単元としている。

化学については、「物質の構成」、「化合式と化学式」、「原子の構造」、「物質の量と濃度」等の単元としている。

トレーニング形式はテスト形式となっており、学習者が内容を理解し、テストに正解することにより、e-learning によるトレーニングは修了となるようにプログラムされており、一定の学力を修得させることができる。

新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (29～30 ページ)

(新)	(旧)
<p>9. 入学者選抜の概要 (2)募集人員と選抜方法 ②選抜方法</p> <p>(略)</p> <p>(ii)AO 入学試験 アドミッションポリシーに基づき入学者を選抜するため、自己推薦文（各種資格、各種検定試験の成績、弁論大会やボランティア活動、在学中の学校内での活動、動物飼育体験の実績等）、小論文、面接、評定平均値の内容を<u>総合的に判定して行う</u>。 入学者選抜における AO 入試において、専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接試験の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。 また、入学前教育として AO 入試及び推薦入試の合格者を対象に、<u>思考力や表現力を問うために、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる</u>。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。</p>	<p>9. 入学者選抜の概要 (2)募集人員と選抜方法 ②選抜方法</p> <p>(略)</p> <p>(ii)AO 入学試験 アドミッションポリシーに示した、動物看護に強い意欲を持つ入学者を選抜するため、自己推薦文（各種資格、各種検定試験の成績、弁論大会やボランティア活動、在学中の学校内での活動、動物飼育体験の実績等）、小論文、面接、評定平均値の内容を<u>総合的に判定して行う</u>。</p> <p>(追加)</p>

(略)

(vi) 入学後の教育

AO 入試や推薦入試等で生物や化学の試験を課さない者に対しては、入学後に適切に指導が行えるよう、4月のオリエンテーションにおいて生物基礎及び化学基礎の基本的事項の修得状況を確認するマークシートを使用したプレテストを実施し、一定の水準に達していない学生に対しては、リメディアルトレーニングを行う。

トレーニングの内容は、Moodle というシステムを活用した e-learning によるトレーニングで、初等・中等教育において修得しておくべき生物、化学の学習内容である。各科目の具体的な単元は以下のとおりである。

生物については、「生物の特徴」、「生物の遺伝」、「生物の体内環境」、「消化と代謝」、「神経系とホルモン」、「ヒトの体づくり」等の単元としている。

化学については、「物質の構成」、「化合式と化学式」、「原子の構造」、「物質の量と濃度」等の単元としている。

トレーニング形式はテスト形式となっており、学習者が内容を理解し、テストに正解することにより、e-learning によるトレーニングは修了となるようにプログラムされており、一定の学力を修得させることができる。

(略)

(追加)

(是正事項) 動物トータルケア学科

【名称、その他】

18. <学生確保の見込みが不十分>

学生確保の見通しが示されているが、既設の専門学校の志願状況では本学の定員を満たしておらず、学生が確保できる客観的な根拠に基づく説明が不足している。客観的な根拠や分析に基づき、学生を確保できることを改めて説明すること。また、社会的ニーズについても、特に動物産業関連への就職の見通しの説明も不十分であるため、説明を補足し、動物産業界への就職が確実に見込まれることを説明すること。

(対応)

ご指摘のとおり、客観的な根拠や分析に基づき、学生を確保できることについて、以下のとおり説明する。

<客観的な根拠や分析に基づく学生確保の見通し>

学生確保の見通しについては、第三者調査機関 一般財団法人日本開発構想研究所に委託して実施した(資料 18-1)。

1. アンケート実施の目的

「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」として調査票を作成し、高校生に対してヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを図ることを目的とした。

2. 調査実施

第一期調査：平成 29 年 10 月～11 月

第二期調査：平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月

3. 調査対象

平成 29 年度の高等学校 2 年生を対象に実施した。

第一期調査は、ヤマザキ学園大学及びヤマザキ動物専門学校に強い関心を示していると思われる資料請求者が多い高等学校 103 校をヤマザキ学園側が選定して実施した。

第二期調査は、過去のヤマザキ学園大学とヤマザキ動物専門学校の入学実績を中心に、指定校対象校も加えた高等学校をヤマザキ学園側が選定し、その内アンケート実施許可を得た 65 校に対して実施した。また、第一期実施分だが期日後返送があった 2 校については、第 2 期分に合算して集計した。

4. 調査方法

各高等学校に郵送・手渡しによる配付・回収

5. 回収状況

表 1

項目	有効回答票	回答高校数	回収率 (%) (回答高校/実施高校)
第一期調査	2,682 枚	24 校	23.8%
第二期調査	6,864 枚	55 校	82.1%
合計	9,546 枚	79 校	47.0%

＜ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科 進学意向について＞

高校生を対象とした「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」のヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学意向を問う問5の設問において、「1 進学を希望する」「2 進学先の候補の1つとして考える」を選択した回答の実数は以下のとおりである。

表2

問5 ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望	第一期	第二期	合計
1 進学を希望する	21人	97人	118人
2 進学先の候補の1つとして考える	111人	224人	335人
合計	132人	321人	453人

※問5の設問は、高校卒業後の進路を問う問3の設問において「1～5」の高等教育機関への進学を選択した回答者(7,624人)を集計の対象とする。

問5の設問の結果、ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科へ「進学を希望する」と選択した回答は、第一期調査と第二期調査を合わせて118人おり、入学定員(80人)の約1.48倍と、入学定員を上回る結果となった。

＜教職員による高校訪問の結果＞

対象は違うが、第三者調査機関による高校生アンケートの分析結果だけでは学生確保の見通しとして不十分であると考え、学生募集に携わる10人の職員が、平成24年度から平成29年度までの期間において本学園の大学と専門学校に入学した実績のある高等学校104校を選定し、平成30年3月12日から4月13日の間で進路指導教員を実際に訪問の上、専門職短期大学について説明を行った。その結果、127人の専門職短期大学への進学希望者がいることの確認がとれ、学生確保を確保できる見通しを得ている(資料18-2)(資料18-3)。

ご指摘のとおり、客観的な根拠や分析に基づき、動物産業界への就職が確実に見込まれることについて、以下のとおり説明する。

＜動物産業界への就職が確実に見込まれること＞

設置の趣旨等を記載した書類にあるヤマザキ動物看護専門職短期大学の養成する人材像は次のとおりである。

本学では、動物看護学の中でも特にコンパニオンアニマルの看護を主体として、動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を身につけた動物看護師を養成する。特に、訪問看護においてコンパニオンアニマルの看護、介護、健康管理、口腔ケア、グルーミング、しつけ、食事と栄養指導等、疾病予防衛生管理を含むライフサポートを担当する人材を養成する。また、産業界において飼い主と市場と結ぶ役割を果たす人材を養成する。

- ・ 動物愛護の精神に則り、動物病院及び動物関連産業において実務家として社会に貢献する人材
- ・ 基本的な理論・技術を身に付け、常に強い向上心とフロンティア精神を持ち、実務力を備えた人材
- ・ 豊かな人間性とグローバルな視野を身に付け、実践的、応用的能力を備えた人材

また、ヤマザキ動物専門職短期大学の特色は、①学位という“国際共通の保証”、②実務家教員に

よる教育、③臨地実務実習（企業内実習）と展開科目、④日本における高齢者と高齢動物に対応した動物トータルケア、⑤飼い主（消費者）と産業界と動物を繋ぐ動物看護師の養成という5つである。

さらに、渋谷区からの要望により災害時の飼い主と動物への支援や平常時のアニマルセラピー活動等で地域との連携を深める。このような活動を通して、動物看護師の社会的認知度が高まることにより安定的に受験者を確保出来ると結論付ける。このように、2年制の専門学校、3年制の専門職短期大学及び4年制の大学の特色を明確にし、学生確保を図る。

2年制の専門学校、3年制の専門職短期大学、4年制の大学がある中で、ヤマザキ動物看護専門職短期大学の学生確保の見通しについては動物関連産業界との強い繋がりにあると捉えている。それは、次の(1)～(3)の通りである。

(1) 動物関連産業界からの賛同

この度ヤマザキ動物看護専門職短期大学の開学に対し、渋谷区や公益社団法人日本獣医師会、日本チェーンドラッグストア協会その他、動物関連企業（動物病院を含む）から申請時には230件の賛同を得ている。その後引き続き回答が寄せられ、平成30年2月9日現在294件に及んだ。

(2) 臨地実務実習先の確保

臨地実務実習施設の使用に関しては、動物関連企業（動物病院を含む）から申請時に200件の承諾を得、その後引き続き回答が寄せられ、平成30年2月9日現在261件に及んだ。それに加え、日本チェーンドラッグストア協会の会員企業傘下4,406店舗を臨地実務実習施設として使用することの承諾も得ている。

(3) 就職先の安定

動物関連企業（動物病院を含む）へ人材採用意向等に関するアンケートを実施したところ、申請時における設問に対する回答は、「積極的に採用したい」142件、「採用を検討したい」67件、「状況によって採用を考える」47件という結果に至った。なお、その後引き続き回答が寄せられ、平成30年2月9日現在「積極的に採用したい」183件、「採用を検討したい」90件、「状況によって採用を考える」62件に及んだ。

申請時及びその後も引き続き回答が寄せられてきている状況に鑑み、人材採用の確保が見通されることから、学生確保の見通しに安定が見込まれると考えられる。また今後も、就職先との連携を強化していきたいと考える。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学卒業後の進路先については、動物関連企業への就職率が伸びると予測されるが、平成25年度から平成28年度までのヤマザキ学園大学卒業後の動物関連企業および動物病院への就職率は各々40%前後を維持しており、同様の比率は維持できると考えられるため、卒業生の就職先は十分確保できる見通しである。

表3 学生の確保等の見通し等を記載した書類13頁（再掲）

【平成25年度から平成28年度までのヤマザキ学園大学卒業後の進路先の状況】

項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
動物関連企業 (ペットショップサロン含む)	72	45.3%	57	36.5%	89	50.3%	73	42.7%
動物病院	48	34.2%	68	43.6%	58	32.8%	75	43.9%
その他就職	9	5.7%	3	1.9%	7	4.0%	0	0.0%
就職者合計	129	81.2%	128	82.0%	154	87.1%	148	86.6%
求人社数	1190		1221		1144		1257	

進学	—	—	—	—	—	—	—	—
進学者合計	—	—	—	—	—	—	—	—
就職活動中	4	2.5%	4	2.6%	4	2.2%	3	1.7%
就職希望なし	26	16.3%	24	15.4%	19	10.7%	20	11.7%
卒業者合計	159	—	156	—	177	—	171	—

動物関連企業への区分別就職者数比率の推移は次のとおりである。

3.老犬ホーム、4.ペットフード・ペット用品販売、5.ドラッグストアへの就職比率が増加していること示している。

表4【動物関連企業への区分別就職者比率推移表】

区分・項目	年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1	ペットサロン ペットショップ ペットホテル	9	40.9%	7	23.3%	2	6.1%	3	10.0%
2	しつけ訓練施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%
3	老犬ホーム	2	9.1%	3	10.0%	1	3.0%	4	13.3%
4	ペットフード ペット用品販売	6	27.3%	16	53.4%	17	51.5%	16	53.4%
5	ドラッグストア	2	9.1%	3	10.0%	5	15.2%	6	20.0%
6	ペット保険	1	4.5%	0	0.0%	8	24.2%	0	0.0%
7	公益団体等	2	9.1%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
動物関連企業小計		22	30.6%	30	52.6%	33	37.1%	30	41.1%
その他関連一般企業		50	69.4%	27	47.4%	56	62.9%	43	58.9%
合 計		72	100.0%	57	100.0%	89	100.0%	73	100.0%

【註1. 比率は動物産業関連企業小計に対する人数の内訳比率を表す。】

(新旧対照表) 学生の確保等の見通し等を記載した書類 (13～14 ページ)

新	旧
<p>1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況</p> <p>①学生の確保の見通し</p> <p>ア 定員充足の見込み</p> <p>イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要</p> <p>ウ 学生納付金の設定の考え方</p> <p>②学生確保に向けた具体的な取組状況</p> <p>ア ヤマザキ動物専門学校で現在実施している取組</p> <p>イ 既設の専門学校の同分野の学科の充足率が 1.0 倍未満の場合の、原因分析の上学生確保ができる根拠</p> <p>2. 人材需要の動向等社会の要請</p> <p>①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)</p> <p>②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠</p> <p>ア 社会人等の多様な学生の確保の見込み</p> <p>イ 就職等の進路の確保</p> <p>3. 専門職短期大学新設案件についての、学生確保の調査結果</p> <p>①第三者調査機関によるアンケート調査</p> <p>②教職員による高校訪問調査</p> <p>(略)</p>	<p>1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況</p> <p>①学生の確保の見通し</p> <p>ア 定員充足の見込み</p> <p>イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要</p> <p>ウ 学生納付金の設定の考え方</p> <p>②学生確保に向けた具体的な取組状況</p> <p>ア ヤマザキ動物専門学校で現在実施している取組</p> <p>イ 既設の専門学校の同分野の学科の充足率が 1.0 倍未満の場合の、原因分析の上学生確保ができる根拠</p> <p>2. 人材需要の動向等社会の要請</p> <p>①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)</p> <p>②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠</p> <p>ア 社会人等の多様な学生の確保の見込み</p> <p>イ 就職等の進路の確保</p>

新	旧
<p>3. 専門職短期大学新設案件についての、学生確保の調査結果</p> <p>①第三者調査機関によるアンケート調査</p> <p>学生確保の見通しについては、第三者調査機関一般財団法人日本開発構想研究所に委託して実施した。(資料9)(資料10)(資料11)(資料12)</p> <p>(1)アンケート実施の目的</p> <p>「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」として調査票を作成し、高校生に対してヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを図ることを目的とした。</p> <p>(2)調査実施</p> <p>第一期調査：平成29年10月～11月 第二期調査：平成29年12月～平成30年1月</p> <p>(3)調査対象</p> <p>平成29年度の高等学校2年生を対象に実施した。</p> <p>第一期調査は、ヤマザキ学園大学及びヤマザキ動物専門学校に強い関心を示していると思われる資料請求者が多い高等学校103校をヤマザキ学園側が選定して実施した。</p> <p>第二期調査は、過去のヤマザキ学園大学とヤマザキ動物専門学校の入学実績を中心に、指定校対象校も加えた高等学校をヤマザキ学園側が選定し、その内アンケート実施許可を得た65校に対して実施した。また、第一期実施分だけが期日後返送があった2校については、第2期分に合算して集計した。</p> <p>(4)調査方法</p> <p>各高等学校に郵送・手渡しによる配付・回収</p> <p>(5)回収状況</p>	

(表 15)

項 目	有効 回答票	回答 高校数	回収率 (%) (回答高校/ 実施高校)
第一期調査	2,682 枚	24 校	23.8%
第二期調査	6,864 枚	55 校	82.1%
合 計	9,546 枚	79 校	47.0%

ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科 進学意向について

高校生を対象とした「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」のヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学意向を問う問5の設問において、「1 進学を希望する」「2 進学先の候補の1つとして考える」を選択した回答の実数は以下のとおりである。

(表 16)

問5 ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望	第一期	第二期	合 計
1 進学を希望する	21 人	97 人	118 人
2 進学先の候補の1つとして考える	111 人	224 人	335 人
合 計	132 人	321 人	453 人

※問5の設問は、高校卒業後の進路を問う問3の設問において「1～5」の高等教育機関への進学を選択した回答者(7,624人)を集計の対象とする。

問5の設問の結果、ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科へ「進学を希望する」と選択した回答は、第一期調査と第二期調査を合わせて118人入学定員(80人)の約1.48倍となり、入学定員を上回る結果となった。

②教職員による高校訪問調査

対象は違うが、第三者調査機関による高校生アンケートの分析結果だけでは学生確保の見通しとして不十分であると考え、学生募集に携わる10

人の職員が、平成 24 年度から平成 29 年度までの期間において本学園の大学と専門学校に入学した実績のある高等学校 104 校を選定し、平成 30 年 3 月 12 日から 4 月 13 日の間で進路指導教員を実際に訪問の上、専門職短期大学について説明を行った。その結果、127 人の専門職短期大学への進学希望者がいることの確認がとれ、学生確保を確保できる見通しを得ている。(資料 13) (資料 14)

(略)

資料目次

- 資料 1 【平成 16 年度から平成 21 年度までのヤマザキ動物看護短期大学の志願状況】
- 資料 2 【平成 27 年度から平成 29 年度までの私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）】 短期大学
- 資料 3 【都道府県別在学者数の推移】（18 歳人口の推移予測表）
- 資料 4 【平成 29 年度ヤマザキ動物専門学校入学者出身地別分布図】
- 資料 5 【平成 27 年度から平成 29 年度までの全国動物保健看護系大学 8 大学の志願動向】
- 資料 6 【平成 29 年度全国動物保健看護系大学協会加盟校の学生納付金調】
- 資料 7 【臨地実習及び動物病院で活躍する動物看護師の人材採用意向等に関するアンケート】
【臨地実習及び産業界で活躍する人材採用意向等に関するアンケート】
- 資料 8 【平成 29 年度動物看護師および動物系職業人向け学び直し実証講座のご案内】
【平成 29 年度社会人の学び直し実証講座開催予定表】
- 資料 9 【（仮称）ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータル学科設置に関するアンケート調査報告書】
- 資料 10 【第一期調査に際して回答者に示した設置構想資料】
- 資料 11 【第二期調査に用いた調査票様式】
- 資料 12 【第二期調査に際して回答者に示した設置構想資料】
- 資料 13 【高校訪問による入学想定者数調】
- 資料 14 【高校訪問報告書（抜粋）】

(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科
設置に関するアンケート調査報告書

【高校生対象】

平成 30 年 3 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科進学意向>	2
<アンケート回収表>	3
<アンケート集計結果>	8
<アンケート調査票>	18

<アンケート調査概要>

1. アンケート実施の目的

本調査は、「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」としてアンケート調査票を作成し、高校生に対して学校法人ヤマザキ学園が設置を検討しているヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを測ることを目的とする。

2. 調査実施

第一期調査：平成 29 年 10 月～11 月

第二期調査：平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月

3. 調査対象

平成 29 年度の高校 2 年生を対象に実施。

第一期調査は、ヤマザキ学園大学及びヤマザキ動物専門学校に強い関心を示していると思われる資料請求者が多い高校 103 校を、学園側が選定して実施。

第二期調査は、過去のヤマザキ学園大学とヤマザキ動物専門学校の入学実績を中心に指定校対象校も加えた高校を学園側が選定し、その内アンケート実施許可を得た 65 校に対して実施。また、第一期実施分だが期日後に返送があった 2 校については、第二期分に合算して集計している。

4. 調査方法

各高校に郵送・手渡しによる配布・回収

5. 回収状況

項目	有効回答票	回答高校数	回収率 (回答高校/実施高校)
第一期調査	2,682 枚	24 校	23.8%
第二期調査	6,864 枚	55 校	82.1%
合計	9,546 枚	79 校	47.0%

＜ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科 進学意向＞

高校生を対象とした「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科設置に関するアンケート」のヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学意向を問う問5の設問において、「1 進学を希望する」「2 進学先の候補の1つとして考える」を選択した回答の実数は以下の通りである。

問5 ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科への進学希望	第一期	第二期	合計
1 進学を希望する	21人	97人	118人
2 進学先の候補の1つとして考える	111人	224人	335人
合計	132人	321人	453人

※問5の設問は、高校卒業後の進路を問う問3の設問において「1~5」の高等教育機関への進学を選択した回答者(7,624人)を集計の対象とする。

問5の設問の結果、ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科へ「進学を希望する」と選択した回答者は、第一期調査と第二期調査を合わせて118人と入学定員(80人)の約1.48倍となり、入学定員を上回る結果となった。

<アンケート回収表>

【第一期調査】

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
1	東京都	都立	瑞穂農芸高等学校	-	-	-	
2	静岡県	県立	田方農業高等学校	11/16	38	0	
3	東京都	都立	篠崎高等学校	-	-	-	
4	神奈川県	県立	中央農業高等学校	-	-	-	
5	静岡県	県立	富岳館高等学校	11/2	45	0	
6	東京都	私立	岩倉高等学校	※	0	0	※期日後の返送のため第二期分に合算して集計
7	長野県	県立	南安曇農業高等学校	-	-	-	
8	静岡県	私立	静岡女子高等学校	11/6	83	0	
9	長野県	県立	上伊那農業高等学校	-	-	-	
10	栃木県	県立	上三川高等学校	11/20	68	0	
11	栃木県	県立	栃木農業高等学校	11/16	138	1	
12	新潟県	県立	巻総合高等学校	-	-	-	
13	山梨県	県立	農林高等学校	-	-	-	
14	長野県	県立	松代高等学校	-	-	-	
15	静岡県	県立	焼津水産高等学校	※	0	0	※期日後の返送のため第二期分に合算して集計
16	群馬県	県立	勢多農林高等学校	11/2	37	0	
17	東京都	私立	自由ヶ丘学園高等学校	-	-	-	
18	埼玉県	県立	和光高等学校	-	-	-	
19	静岡県	県立	藤枝北高等学校	10/26	46	0	
20	茨城県	県立	高萩清松高等学校	-	-	-	
21	群馬県	県立	利根実業高等学校	11/6	80	0	
22	東京都	私立	安田学園高等学校	-	-	-	
23	新潟県	県立	加茂農林高等学校	-	-	-	
24	茨城県	県立	茨城東高等学校	-	-	-	
25	埼玉県	県立	三郷高等学校	-	-	-	
26	静岡県	私立	藤枝明誠高等学校	-	-	-	
27	栃木県	県立	黒磯南高等学校	-	-	-	
28	東京都	都立	農産高等学校	-	-	-	
29	千葉県	県立	小見川高等学校	-	-	-	
30	神奈川県	県立	大楠高等学校	-	-	-	
31	埼玉県	県立	大宮東高等学校	-	-	-	
32	群馬県	県立	高崎東高等学校	10/26	75	0	
33	神奈川県	県立	茅ヶ崎西浜高等学校	-	-	-	
34	長野県	県立	坂城高等学校	-	-	-	
35	愛知県	私立	桜花学園高等学校	-	-	-	
36	茨城県	県立	水戸農業高等学校	-	-	-	
37	群馬県	県立	前橋西高等学校	-	-	-	
38	東京都	都立	橘高等学校	-	-	-	
39	長野県	県立	辰野高等学校	-	-	-	
40	長野県	私立	飯田女子高等学校	-	-	-	
41	長野県	私立	伊那西高等学校	-	-	-	
42	静岡県	私立	飛龍高等学校	11/13	71	0	

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
43	茨城県	県立	中央高等学校	-	-	-	
44	栃木県	私立	文星芸術大学附属高等学校	11/9	75	2	
45	千葉県	私立	東京学館船橋高等学校	-	-	-	
46	東京都	都立	晴海総合高等学校	-	-	-	
47	新潟県	県立	見附高等学校	-	-	-	
48	静岡県	県立	裾野高等学校	11/13	104	0	
49	千葉県	県立	市原高等学校	-	-	-	
50	愛知県	私立	東邦高等学校	-	-	-	
51	茨城県	県立	石下紫峰高等学校	-	-	-	
52	群馬県	県立	富岡実業高等学校	11/8	117	0	
53	群馬県	県立	尾瀬高等学校	-	-	-	
54	群馬県	県立	藤岡北高等学校	11/6	94	1	
55	千葉県	県立	浦安高等学校	-	-	-	
56	山梨県	県立	韭崎高等学校	-	-	-	
57	山梨県	市立	甲府商業高等学校	11/6	96	2	
58	愛知県	私立	名古屋大谷高等学校	-	-	-	
59	大阪府	私立	羽衣学園高等学校	-	-	-	
60	大阪府	私立	常翔啓光学園高等学校	-	-	-	
61	栃木県	県立	黒羽高等学校	-	-	-	
62	埼玉県	県立	深谷高等学校	-	-	-	
63	東京都	都立	足立高等学校	-	-	-	
64	茨城県	県立	笠間高等学校	11/16	71	0	
65	茨城県	県立	波崎高等学校	11/13	75	0	
66	栃木県	県立	高根沢高等学校	-	-	-	
67	栃木県	県立	鹿沼南高等学校	-	-	-	
68	群馬県	県立	大間々高等学校	-	-	-	
69	群馬県	私立	桐生第一高等学校	-	-	-	
70	埼玉県	県立	所沢西高等学校	-	-	-	
71	埼玉県	県立	宮代高等学校	-	-	-	
72	千葉県	県立	大網高等学校	-	-	-	
73	新潟県	県立	柏崎総合高等学校	-	-	-	
74	岐阜県	県立	各務原高等学校	-	-	-	
75	岐阜県	私立	美濃加茂高等学校	-	-	-	
76	静岡県	県立	浜松大平台高等学校	-	-	-	
77	静岡県	県立	浜松湖北高等学校	11/8	82	1	
78	三重県	私立	学法津田学園高等学校	-	-	-	
79	沖縄県	私立	N高等学校	-	-	-	
80	茨城県	県立	竜ヶ崎第二高等学校	11/13	34	0	
81	栃木県	私立	足利短期大学附属高等学校	-	-	-	
82	神奈川県	県立	平塚農業高等学校	-	-	-	
83	新潟県	県立	長岡農業高等学校	-	-	-	
84	茨城県	県立	結城第一高等学校	-	-	-	
85	茨城県	県立	岩井高等学校	-	-	-	
86	茨城県	私立	水戸女子高等学校	11/6	85	0	
87	群馬県	私立	常磐高等学校	-	-	-	
88	埼玉県	県立	岩槻高等学校	-	-	-	

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
89	千葉県	私立	千葉学芸高等学校	-	-	-	
90	千葉県	私立	中央国際高等学校	-	-	-	
91	東京都	都立	大江戸高等学校	-	-	-	
92	長野県	県立	北部高等学校	-	-	-	
93	静岡県	県立	静岡西高等学校	-	-	-	
94	茨城県	県立	麻生高等学校	-	-	-	
95	千葉県	私立	あずさ第一高等学校	-	-	-	
96	東京都	都立	農芸高等学校	11/7	69	0	
97	茨城県	県立	日立商業高等学校	-	-	-	
98	茨城県	県立	土浦第三高等学校	-	-	-	
99	茨城県	県立	江戸崎総合高等学校	-	-	-	
100	茨城県	県立	磯原郷英高等学校	-	-	-	
101	神奈川県	県立	横浜桜陽高等学校	1/26※	163	3	※回収は学園が行ったためデータの入力日を記入
102	東京都	私立	堀越高等学校	1/26※	452	3	※回収は学園が行ったためデータの入力日を記入
103	埼玉県	私立	浦和実業高等学校	1/26※	484	8	※回収は学園が行ったためデータの入力日を記入
計				24校	2,682	21	

※「-」（ハイフン）は回答のなかった高校

【第二期調査】

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
1	東京都	私立	岩倉高等学校	12/19	203	5	第一期実施だが期日後の返送のため第二期に合算して集計
2	静岡県	県立	焼津水産高等学校	12/4	94	0	第一期実施だが期日後の返送のため第二期に合算して集計
3	東京都	私立	北豊島高等学校	12/21	72	1	
4	埼玉県	私立	埼玉栄高等学校	12/18	239	6	
5	東京都	私立	東京家政大学附属女子高等学校	12/21	242	0	
6	神奈川県	私立	湘南学院高等学校	12/21	75	1	
7	神奈川県	私立	立花学園高等学校	12/19	309	1	
8	神奈川県	私立	平塚学園高等学校	-	-	-	
9	神奈川県	私立	横浜学園高等学校	12/11	30	0	
10	東京都	都立	八王子桑志高等学校	-	-	-	
11	神奈川県	県立	有馬高等学校	12/18	290	9	
12	神奈川県	県立	秦野曾屋高等学校	12/18	49	0	
13	神奈川県	私立	横浜商科大学高等学校	12/25	255	3	
14	東京都	私立	品川エトワール女子高等学校	12/7	60	1	
15	東京都	私立	二松學舎大学附属高等学校	12/13	213	3	
16	神奈川県	私立	藤沢翔陵高等学校	12/21	83	0	
17	東京都	私立	文化学園大学杉並高等学校	12/6	185	0	
18	東京都	私立	八王子実践高等学校	12/11	114	4	
19	東京都	私立	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校	12/11	111	2	
20	神奈川県	県立	厚木清南高等学校	-	-	-	
21	東京都	私立	立川女子高等学校	12/18	25	0	
22	埼玉県	私立	国際学院高等学校	12/26	77	3	
23	東京都	都立	永山高等学校	-	-	-	
24	東京都	私立	科学技術学園高等学校	12/7	10	1	
25	千葉県	私立	敬愛学園高等学校	12/19	86	1	
26	千葉県	私立	昭和学院高等学校	12/13	316	2	
27	千葉県	私立	千葉商科大学付属高等学校	12/7	60	1	
28	千葉県	私立	和洋国府台女子高等学校	12/5	195	0	
29	神奈川県	県立	横浜旭陵高等学校	12/11	14	0	
30	東京都	私立	共栄学園高等学校	-	-	-	
31	神奈川県	私立	高木学園女子高等学校	12/8	36	1	
32	神奈川県	私立	武相高等学校	12/19	150	3	
33	神奈川県	県立	相原高等学校	12/26	221	2	
34	神奈川県	県立	愛川高等学校	12/18	30	0	
35	神奈川県	私立	自然学園高等学校 相模原キャンパス	-	-	-	
36	静岡県	私立	日本大学三島高等学校	12/14	116	1	
37	神奈川県	私立	八洲学園高等学校 横浜分校	-	-	-	
38	山梨県	私立	山梨学院高等学校	-	-	-	
39	東京都	私立	クラーク記念国際高等学校	12/6	148	1	
40	東京都	私立	駒沢学園女子高等学校	12/8	76	0	
41	神奈川県	県立	川崎高等学校	12/11	28	0	

No	都道府県	設置区分	高校名	回収日	回収数	進学希望者	備考
42	神奈川県	県立	瀬谷高等学校	-	-	-	
43	三重県	私立	徳風高等学校	12/22	46	0	
44	埼玉県	私立	叡明高等学校	12/11	75	4	
45	神奈川県	私立	緑ヶ丘女子高等学校	12/21	96	1	
46	埼玉県	私立	浦和麗明高等学校	12/15	267	0	
47	千葉県	私立	中央学院高等学校	-	-	-	
48	静岡県	県立	駿河総合高等学校	-	-	-	
49	石川県	県立	小松商業高等学校	12/25	197	0	
50	長野県	県立	佐久平総合高等学校	12/21	34	0	
51	静岡県	私立	加藤学園高等学校	-	-	-	
52	千葉県	私立	千葉敬愛高等学校	12/18	104	1	
53	静岡県	市立	沼津市立沼津高等学校	1/11	28	1	
54	神奈川県	県立	座間総合高等学校	12/25	57	0	
55	静岡県	私立	誠恵高等学校	1/17	152	1	
56	東京都	私立	昭和第一高等学校	12/20	241	5	
57	東京都	私立	大成高等学校	12/20	367	7	
58	千葉県	私立	日本体育大学柏高等学校	12/27	35	1	
59	東京都	私立	東京家政学院高等学校	12/27	88	2	
60	東京都	私立	星美学園高等学校	12/27	97	2	
61	東京都	私立	日本体育大学荏原高等学校	12/27	178	9	
62	東京都	私立	日本女子体育大学附属二階堂高等学校	12/27	98	2	
63	東京都	私立	杉並学院高等学校	12/27	73	0	
64	東京都	私立	豊島学院高等学校	12/27	73	2	
65	東京都	私立	文華女子高等学校	12/27	94	1	
66	神奈川県	県立	綾瀬高等学校	12/27	106	1	
67	神奈川県	私立	相洋高等学校	1/18	146	5	
計				55 校	6,864	97	

※「-」（ハイフン）は回答のなかった高校

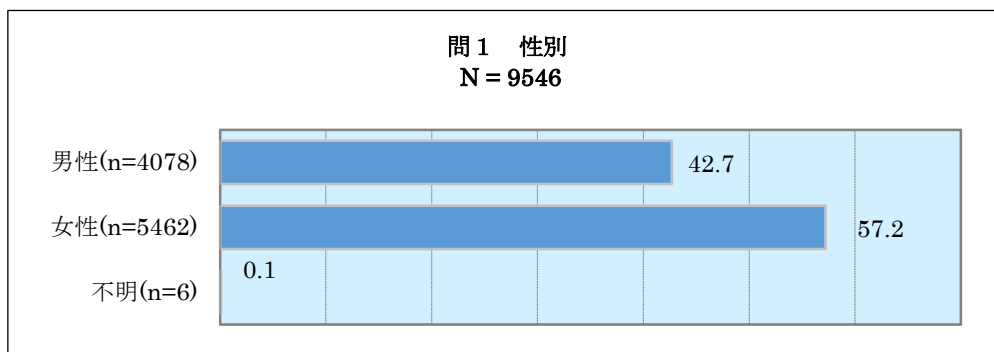
<アンケート集計結果>

[有効回答票 : 9,546 票]

問1 あなたの性別についておたずねします。当てはまるもの1つを選んでください。

回答者の性別については、4,078人(42.7%)が「男性」、5,462人(57.2%)が「女性」である。

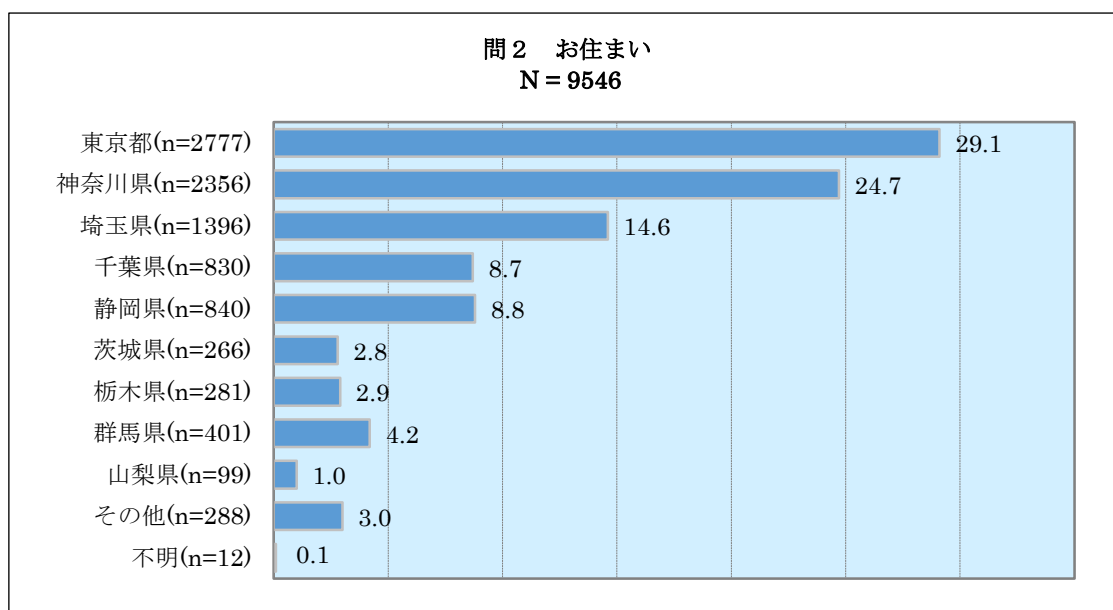
No.	カテゴリ	件数	%
1	男性	4,078	42.7
2	女性	5,462	57.2
	不明	6	0.1
	合計	9,546	100



問2 あなたのお住まいはどちらですか。当てはまるもの1つを選んでください。

回答者のうち、2,777人(29.1%)が東京都、2,356人(24.7%)が神奈川県、1,396人(14.6%)が埼玉県在住である。

No.		上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	東京都	2,777 29.1	2,777	1,173	1,603	1
2	神奈川県	2,356 24.7	2,356	1,172	1,183	1
3	埼玉県	1,396 14.6	1,396	541	854	1
4	千葉県	830 8.7	830	317	513	0
5	静岡県	840 8.8	840	397	443	0
6	茨城県	266 2.8	266	71	195	0
7	栃木県	281 2.9	281	159	121	1
8	群馬県	401 4.2	401	138	263	0
9	山梨県	99 1.0	99	37	62	0
10	その他	288 3.0	288	67	221	0
	不明	12 0.1	12	6	4	2
	合計	9,546 100.0	9,546	4,078	5,462	6
				100.0	100.0	100.0



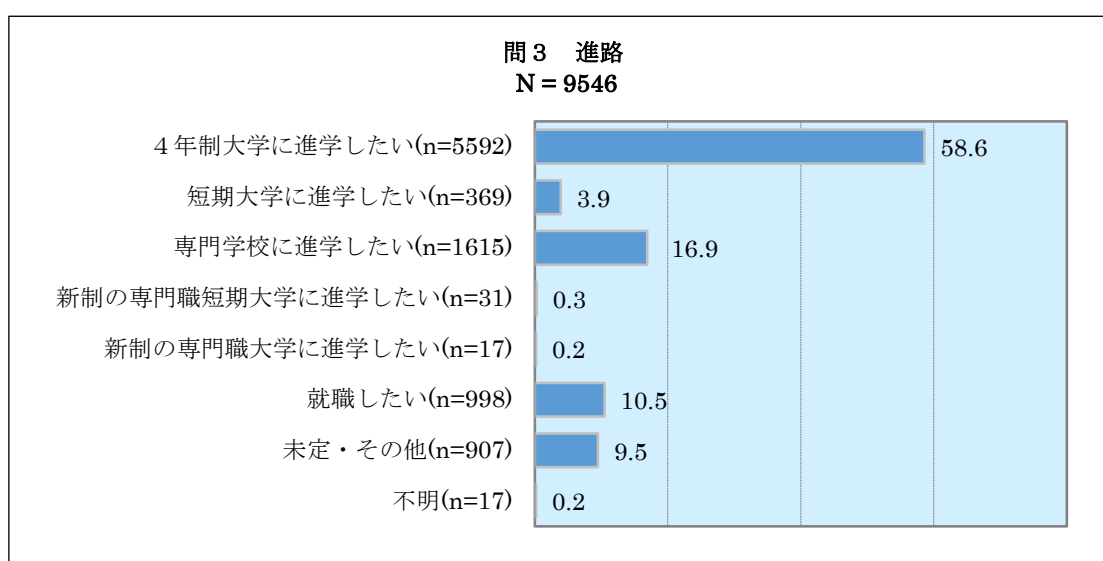
「10 その他」の主な回答

回答	件数
石川県	185
長野県	34
三重県	30
滋賀県	4
岐阜県	1
奈良県	1
愛知県	1

問3 あなたの進路の意識について、当てはまるもの1つを選んでください。

回答者の希望進路については、「4年制大学に進学したい」が5,592人(58.6%)、「専門学校に進学したい」が1,615人(16.9%)、「就職したい」が998人(10.5%)、「短期大学に進学したい」が369人(3.9%)となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	4年制大学に進学したい	5,592	2,728	2,860	4
		58.6	66.9	52.4	66.7
2	短期大学に進学したい	369	37	332	0
		3.9	0.9	6.1	-
3	専門学校に進学したい	1,615	443	1,172	0
		16.9	10.9	21.5	-
4	新制の専門職短期大学に進学したい	31	12	19	0
		0.3	0.3	0.3	-
5	新制の専門職大学に進学したい	17	8	9	0
		0.2	0.2	0.2	-
6	就職したい	998	422	576	0
		10.5	10.3	10.5	-
7	未定・その他	907	421	486	0
		9.5	10.3	8.9	-
	不明	17	7	8	2
		0.2	0.2	0.1	33.3
	合計	9,546	4,078	5,462	6
		100.0	100.0	100.0	100.0



【問4、問5は、問3で「1, 2, 3, 4, 5」のいずれかを選んだ7,624名を対象とする。】

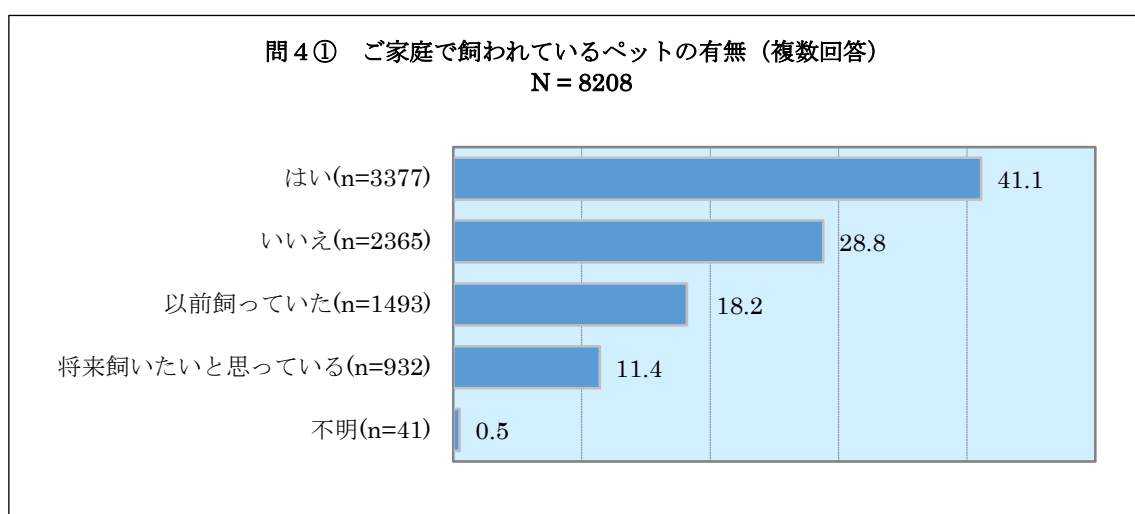
問4 ヤマザキ学園は「動物看護大学」「動物専門学校」を経営しており、現在「動物看護」の3年制の専門職短期大学の計画をしていますが、それらの分野に関してお聞きします。

- ① 現在、人と動物の共生が注目され、ペットは人生のパートナーと呼ばれています。あなたはご家庭で何らかの動物（イヌ、ネコ、うさぎ、とり、熱帯魚等）を飼われていますか？当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

回答者の家庭で飼っているペットの有無については、「はい」（現在飼っている）が3,377人（41.1%）、「いいえ」（現在飼っていない）が2,365人（28.8%）、「以前飼っていた」が1,493人（18.2%）、「将来飼いたいと思っている」が932人（11.4%）となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	はい	3,377	1,338	2,038	1
		41.1	39.2	42.5	25.0
2	いいえ	2,365	1,101	1,263	1
		28.8	32.3	26.4	25.0
3	以前飼っていた	1,493	592	900	1
		18.2	17.4	18.8	25.0
4	将来飼いたいと思っている	932	361	571	0
		11.4	10.6	11.9	-
	不明	41	20	20	1
		0.5	0.6	0.4	25.0
	合計	8,208	3,412	4,792	4
		100.0	100.0	100.0	100.0

※複数回答のため、合計=7,624にならない。

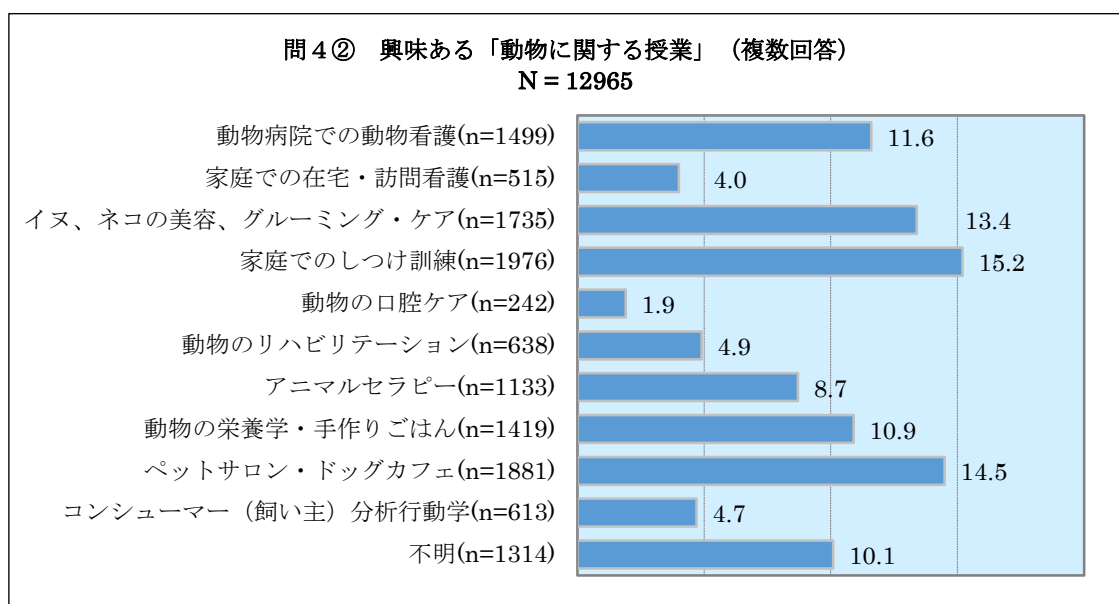


②下記に挙げた「動物に関する授業」で興味のあるものに○をつけて下さい。
(複数回答可)

回答者の興味のある動物に関する授業は、「家庭でのしつけ訓練」が1,976人(15.2%)と最も多く、次いで「ペットサロン・ドッグカフェ」が1,881人(14.5%)、「イヌ、ネコの美容、グルーミング・ケア」が1,735人(13.4%)、「動物病院での動物看護」が1,499人(11.6%)となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	動物病院での動物看護	1,499 11.6	536 11.6	963 11.5	0 -
2	家庭での在宅・訪問看護	515 4.0	209 4.5	306 3.7	0 -
3	イヌ、ネコの美容、グルーミング・ケア	1,735 13.4	417 9.1	1,318 15.8	0 -
4	家庭でのしつけ訓練	1,976 15.2	817 17.8	1,157 13.8	2 50.0
5	動物の口腔ケア	242 1.9	90 2.0	152 1.8	0 -
6	動物のリハビリテーション	638 4.9	227 4.9	411 4.9	0 -
7	アニマルセラピー	1,133 8.7	378 8.2	755 9.0	0 -
8	動物の栄養学・手作りごはん	1,419 10.9	373 8.1	1,046 12.5	0 -
9	ペットサロン・ドッグカフェ	1,881 14.5	493 10.7	1,387 16.6	1 25.0
10	コンシューマー(飼い主)分析行動学	613 4.7	296 6.4	317 3.8	0 -
	不明	1,314 10.1	766 16.6	547 6.5	1 25.0
	合計	12,965 100.0	4,602 100.0	8,359 100.0	4 100.0

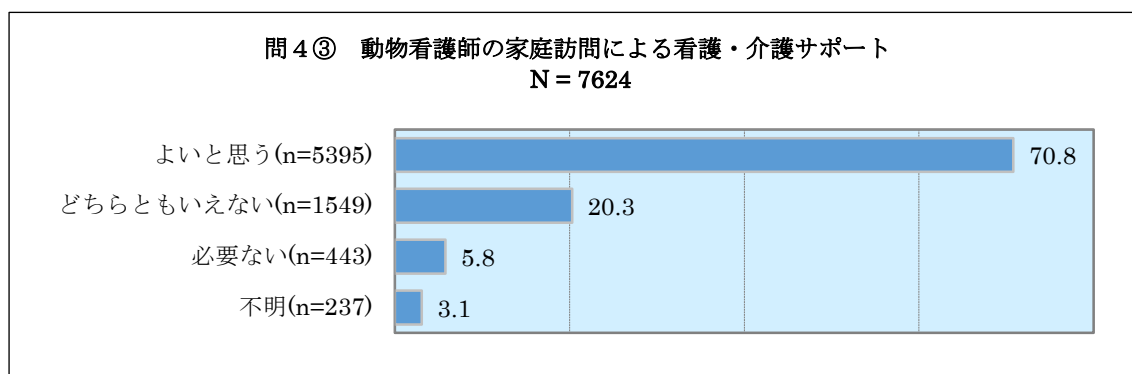
※複数回答のため、合計=7,624にならない。



③近年、人と動物の高齢化により、動物病院を訪れることは人のみならず動物にも、とても負担になっています。新しい専門職短期大学では、動物看護師が家庭訪問しての看護・介護サポートをする教育を充実させたいと思います。当てはまるもの1つを選んでください。

動物看護師が家庭訪問しての看護・介護サポートをする教育も充実については、「よいと思う」が5,395人(70.8%)、「どちらともいえない」が1,549人(20.3%)となっている。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	よいと思う	5,395 70.8	1,990 61.6	3,404 77.5	1 25.0
2	どちらともいえない	1,549 20.3	820 25.4	727 16.6	2 50.0
3	必要ない	443 5.8	275 8.5	168 3.8	0 -
	不明	237 3.1	143 4.4	93 2.1	1 25.0
	合計	7,624 100.0	3,228 100.0	4,392 100.0	4 100.0

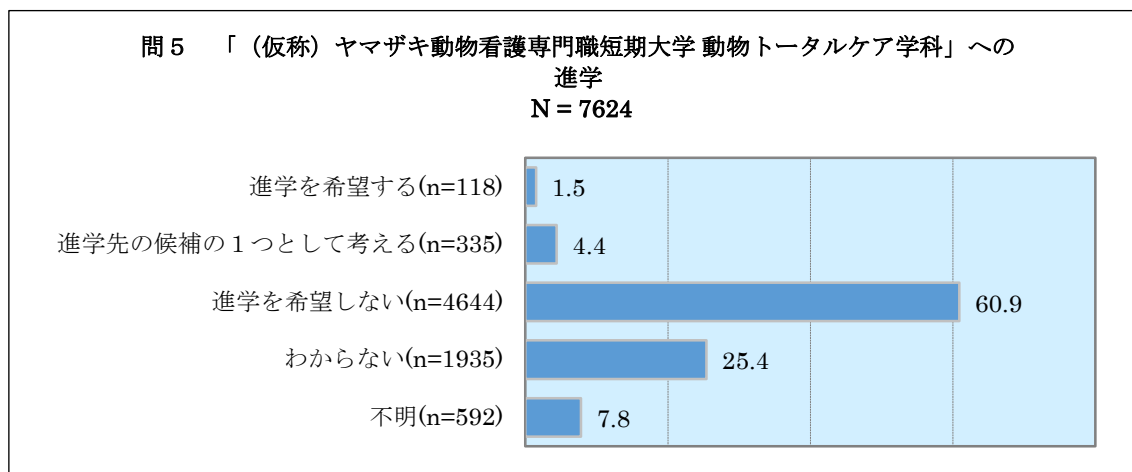


問5 現在、ヤマザキ学園では4年制のヤマザキ学園大学およびヤマザキ動物専門学校を設置していますが、その中でも新たに設置予定の3年制「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科」に進学したいと思いますか。当てはまるもの1つを選んでください。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科(仮称)への進学意向は、「進学を希望する」が118人(1.5%)、「進学先の候補の1つとして考える」が335人(4.4%)となっている。

また、「進学を希望する」と「進学先の候補の1つとして考える」の合計は453人(5.9%)となり、回答者のおよそ1割弱がヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科に対して何らかの進学意向を持っていることが明らかとなった。

No.	上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
1	進学を希望する	118 1.5	73 2.3	45 1.0	0 -
2	進学先の候補の1つとして考える	335 4.4	137 4.2	198 4.5	0 -
3	進学を希望しない	4,644 60.9	1,839 57.0	2,802 63.8	3 75.0
4	わからない	1,935 25.4	871 27.0	1,064 24.2	0 -
	不明	592 7.8	308 9.5	283 6.4	1 25.0
	合計	7,624 100.0	3,228 100.0	4,392 100.0	4 100.0



問6 現在構想中の「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学」について、ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

問6に対する主な回答は以下の通りとなっている。

性別	ご意見・ご要望
女性	問4の②について、お金による。
女性	問4②に関してですが、家庭によっては複数の動物と暮らしている家庭もあると思います。その場合他の動物の負担になってしまうのではないのでしょうか。
男性	問4②に関して、学校を卒業し、就職し、仕事をするにあたって、人と犬の介護をすることについて、在学中に介護資格がとれるようなカリキュラムにしたほうが良いのかと思いました。
男性	問4②について、家庭訪問してのサポートは良いと思いますが、家庭訪問出来ない場合はどうするつもりでしょうか。
男性	訪問動物看護や在宅動物ケアなどの考えはとても良いと思った。
女性	必要になると思うからよいと思う。
女性	馬などの大型動物に関する学科をつくってほしい。
男性	入学定員をもう少し増やしたほうがいい。
女性	特待生制度、学費の免除はあるのかどうか。サークルの規模はどのくらいか。
男性	特待生を作るべきだと思う。
男性	動物病院やしつけの訓練などの将来に向けての看護の活動の場が増えるのはいいことだと思う。
女性	動物関係に進みたい人はいいと思う。4年制の人と就職率の差が出ないようにしなければいけないと思う。
女性	動物看護師を目指しています。人、動物の高齢化に対応したシステムはとてもいいと思いました。進学先の候補として考えたいです。
男性	動物看護に興味がない。
男性	動物を大切に思う気持ち、動物への思いが伝わる大学だと思う。いい大学だと思います。
女性	動物も人間も老いていくと病院が必要。
女性	動物はとても好きです。友達と見学させてもらいます。
男性	動物の看護が出来ればより多くの命を救えると思うので、いいと思う。
女性	動物のさまざまな知識や、動物について学びたいと思っている方々は専門学校が増えることで選択の幅が増えると思うのでいいと思います。
男性	動物のことをよく学べそうです。
女性	動物に関わりたいと思う人にとってはとても魅力的な学校であると感じました。
女性	動物に関しての大学は少しだけ興味がわいた。
女性	動物に関して、とても興味はありますが、4年生との違いを教えて欲しいです。(一番の利点)
男性	動物についての教育機関が増えることは良いことだと思う。
女性	動物と関わる仕事がしたいので、とても気になった。
男性	男の人が少なそう。
女性	短期大学でしかも実習が60日もあるのはいいと思う。
女性	短期間で学べるのはいいと思った。
女性	短期に行きたい人には向いているのではと考える。
女性	大学と専門学校あるのに、なんでまた短大を構想しようとしているのか分からない。
男性	専門学校より授業料が高いのはなぜ？
女性	専門学校か短期大学がよくわからない。
女性	専門で短期なのは良いと思う。
男性	生き物を捨てる人とかいるので、しっかりとしっかりと指導しないといけないと思う。
男性	数少ない短大ならば、増加することもいいと思います。
女性	人の高齢化やペットの高齢化に対応する。
女性	人と同じでペットも負担があることを考えて、訪問看護の教育があることはいいことだと思いました。
男性	将来が期待されると思う。
女性	授業内容が充実していそう。
男性	授業の内容が気になる。
女性	捨てられた動物などにボランティアで何かできると良いと思います。

性別	ご意見・ご要望
女性	実習が多いと社会に出ても通用でき体験できていい。
男性	質の高い教育を求める。
男性	自分もペットを飼っているので少し興味はある。
男性	自分は動物看護とかはあまり興味ないが、とてもいいと思う。入ってくる人も多いと思った。
男性	自分は動物が大好きなのでこういった仕事につけれる大学も視野に入れていきたい。
男性	自分の家は犬を飼っているので、そういう学科が増えて、先生が増えたらありがたいと思います。
女性	資格もとれていいと思います。
女性	私はヤマザキ動物看護大学（4年制）に進学する予定です。3年制の短期があってすごくいいと思います。
女性	私はトリマーになりたいのでとても興味を持ってました。ぜひ見学に行きたいと思いました。
女性	高齢者が増える中で自宅に訪問することはとても良いと思いました。
男性	犬・ネコ以外にも、鳥やウサギ、ハムスターもペットとしてかう人がいるので、もっと幅を増やしてほしい。
女性	看護だけの学校じゃなく、どんな遊びをしたらとか、遊具の開発などはあってほしいです。
男性	看護・介護のサポートは、いいと思います。
女性	学費をもう少し安くしていただきたいです。
女性	学校名を何となく変えた方が良くと思います。
女性	学科がたくさんあるみたいなので今後もっと増えていけばいいかなと思います。
男性	家庭での在宅・訪問看護やリハビリテーションなどのシステムがとても良いと思います。
女性	ペットを飼う人が増えている現代でその専門知識を持っている人が増えればペットが飼いやすくなっていくと思うので、どのような人材が社会に出てくるか期待。
男性	ペットを飼っている人からしたら、動物に詳しい人が多いのは心強いと思うので、よいと思う。
女性	ペットショップにペットがつくまでの経路（ブリーダーとか）についてあるとおもしろい。
男性	ドッグトレーナーなどの事もした方がいいと思う。
女性	この大学に行けば、7種類の職業になれるのは、すごいと思いました。
女性	コース等が2つあっていいなと思った。
女性	オープンキャンパスなど行かせていただいて、とてもよかったです。
女性	いろいろな専門学校があるのだと思った。これから動物も住み良くなると思うので良いと思った。
女性	4年制があるのに、3年制にする必要ありますか？
女性	3年制は新しいことだし良いと思う。
女性	3年制はいいと思うし、動物関係の学校はあまりないと思うからよいと思う。
男性	3年次にインターンをして、実際に学ぶのは良いことと思う。家に訪問もいいが、家にきてほしくないなどあるため、地域ごとに定期的なケアをするイベントをもうけて、そこに派遣する形がいいと思う。
女性	3年ではなく4年制にすべきと思う。
男性	②はとてもいいことだと思う。
女性	「動物の想いを尊重」を教育方針にしてほしいです。
女性	名前が長いと思います。
男性	名称が少し固いと思う。あまり良さが伝わってこないです。

<アンケート調査票>

(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科設置に関するアンケート

学校法人ヤマザキ学園は動物看護のバイオニアとして大学と専門学校を運営し、創立 50 周年を迎えます。このたび産業界からの要望を受け、国会にて、これまでの大学・短大・専門学校に加え、新たに企業とともに作る「専門職短期大学」という学校種が誕生することが決まりました。現在、本学園においても専門職短期大学(3 年制)の新設を検討しています。3 年間の専門職短期大学では、旧来の大学・短大と異なり、学内 450 時間、学外の動物病院や動物関連企業などで 450 時間、合計 900 時間の実習が行われることが大きな特徴です。これまで各大学・短大が独自で企業実習を設けていた例はありますが、専門職短大では在学生全員が正規の必修カリキュラムとして行います。

特に 3 年次(卒業学年)には内定先等での実習も可能となりますので、社会からはペット産業の将来を担い、発展させていく即戦力となる人材として期待されます。

学校名：(仮称) ヤマザキ動物看護専門職短期大学 3 年制

学 科：(仮称) 動物トータルケア学科

学 位：動物看護学短期大学士(専門職)

- ・ このアンケートは主に高校生の皆さんに対して、大学進学に関する意識をお聞きするアンケートです。
- ・ このアンケートは無記名式であり、回答は統計的に処理しますので、外部に回答内容が出ることはありません。またこのアンケートで得られた情報によって、進学を勧めるようなことはありませんので、安心してお答えください。

■ あなた自身に関するお聞きします。

問 1 あなたの性別についておたずねします。当てはまるもの 1 つを選んでください。

- 1 男性 2 女性

問 2 あなたのお住まいはどちらですか。当てはまるもの 1 つを選んでください。

1. 東京都 2. 神奈川県 3. 埼玉県 4. 千葉県 5. 静岡県 6. 茨城県
7. 栃木県 8. 群馬県 9. 山梨県 10. その他(具体的に)

■ 進路に関するお聞きします。

問 3 あなたの進路の意識について、当てはまるもの 1 つを選んでください。

1. 4 年制大学に進学したい 2. 短期大学に進学したい 3. 専門学校に進学したい
4. 新制の専門職短期大学に進学したい 5. 新制の専門職大学に進学したい
6. 就職したい 7. 未定・その他

※問 3 で 1～5 を選択した方は問 4 に進んでください。

問 3 で 6～7 を選択した方は問 6 に進んでください。

問 4 ヤマザキ学園は「動物看護大学」「動物専門学校」を運営しており、現在「動物看護」の 3 年制の専門職短期大学の計画をしていますが、それらの分野に関するお聞きします。

- ① 現在、人と動物の共生が注目され、ペットは人生のパートナーと呼ばれています。あなたはご家庭で何らかの動物(イヌ、ネコ、うさぎ、とり、熱帯魚等)を飼っていますか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. はい 2. いいえ 3. 以前飼っていた 4. 将来飼いたいと思っている

下記に挙げた「動物に関する授業」で興味のあるものに○をつけて下さい。
(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 動物病院での動物看護 | 2. 家庭での在宅・訪問看護 |
| 3. イヌ、ネコの美容、グルーミング・ケア | 4. 家庭でのしつけ訓練 |
| 5. 動物の口腔ケア | 6. 動物のリハビリテーション |
| 7. アニマルセラピー | 8. 動物の栄養学・手作りごはん |
| 9. ペットサロン・ドックカフェ | 10. コンシューマー（飼い主）分析行動学 |

② 近年、人と動物の高齢化により、動物病院を訪れることは人のみならず動物にも、とても負担になっています。新しい専門職短期大学では、動物看護師が家庭訪問しての看護・介護のサポートをする教育を充実させたいと思います。当てはまるもの1つを選んでください。

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. よいと思う | 2. どちらともいえない | 3. 必要ない |
|----------|--------------|---------|

問5 現在、ヤマザキ学園では4年制のヤマザキ学園大学およびヤマザキ動物専門学校を設置していますが、その中でも新たに設置予定の3年制「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科」に進学したいと思いますか。当てはまるもの1つを選んでください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 進学を希望する | 2. 進学先の候補の1つとして考える |
| 3. 進学を希望しない | 4. わからない |

問6 現在構想中の「(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学」について、ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください

--

以上で終了です。ありがとうございました。

【参考】(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学と同分野の学校の学費等

校名	学部学科	授業年数	入学定員	定員	入学金	授業料	実習費	施設費	雑費	教材実費	福利厚生費	経費除く各年次納入金合計
(仮称)ヤマザキ動物看護専門職短期大学	(仮称)動物トータルケア学科	3	90	240	150,000	700,000	300,000	280,000				1,430,000
						700,000	300,000	280,000				1,280,000
						700,000	300,000	280,000				1,280,000
ヤマザキ学園大学	動物看護学部動物看護学科(1~3年次)	4	180	720	150,000	900,000	250,000	300,000				1,600,000
						900,000	250,000	300,000				1,450,000
						900,000	250,000	300,000				1,450,000
ヤマザキ動物専門学校	動物看護・美容学科	3	90	240	150,000	520,000	280,000	180,000	136,000			1,282,000
						520,000	280,000	180,000	136,000			1,132,000
						520,000	280,000	180,000	136,000			1,132,000
日本獣医生命科学大学	獣医保健看護学科(1~3年次)	4	100	400	250,000	750,000	100,000	300,000		200,000	20,000	1,520,000
						750,000	100,000	300,000		200,000		1,350,000
						750,000	100,000	300,000		200,000		1,350,000

①書類等の題名

資料 18-2. 高校訪問による入学想定者数調 (196～198 ページ)

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

高校訪問による入学想定者数調

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

①書類等の題名

資料 18-3. 高校訪問報告書

②出典

学校法人ヤマザキ学園

③書類等の利用範囲

専門職短期大学 高校訪問報告書 (抜粋)

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

・加工なし。

(是正事項) 動物トータルケア学科

【名称、その他】

19. <大学名の英語表記が不適切>

大学名の英語表記については、専門職大学であることがわかるように professional 又は vocational の語（若しくはこれらに類する語）を用いて、適切に改めること。

(対応)

ご指摘のとおり、英語名は、専門職短期大学であることがわかるように professional の語を用いて、「Yamazaki Professional College of Animal Health Technology」に改める。

(新旧対照表) 基本計画書 (1 ページ)

新	旧
<p>大学の名称</p> <p>ヤマザキドウブツカンゴセンモンシヨクタンキダイガク ヤマザキ動物看護専門職短期大学</p> <p>(Yamazaki Professional College of Animal Health Technology)</p> <p>(略)</p>	<p>大学の名称</p> <p>ヤマザキドウブツカンゴセンモンシヨクタンキダイガク ヤマザキ動物看護専門職短期大学</p> <p>(Yamazaki College of Animal Health Technology and Career)</p> <p>(略)</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (9 ページ)

新	旧
<p>3. 専門職短期大学・学科の名称及び学位の名称</p> <p>(1)専門職短期大学名称</p> <p>専門学校及び大学を通じて動物看護の分野におけるパイオニアとして創始者の建学の精神と遺徳を継承し、校名に「ヤマザキ」の名を冠し、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学（英語名：Yamazaki Professional College of Animal Health Technology）」とする。</p> <p>(略)</p>	<p>3. 専門職短期大学・学科の名称及び学位の名称</p> <p>(1)専門職短期大学名称</p> <p>専門学校及び大学を通じて動物看護の分野におけるパイオニアとして創始者の建学の精神と遺徳を継承し、校名に「ヤマザキ」の名を冠し、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学（英語名：Yamazaki College of Animal Health Technology and Career）」とする。</p> <p>(略)</p>

(是正事項) 動物トータルケア学科

【教員組織等】

20. <学位名称が不適切>

学位名称を「動物看護学短期大学士」としているが、専門職短期大学の学位については、学問分野ではなく職業・産業分野の名称を付すことが求められていることから不適切であるので、学位名称を改めること。

(対応)

ご指摘のとおり、専門職短期大学の学位については、学問分野ではなく職業・産業分野の名称を付すことが求められていることから、学位の名称を「動物看護短期大学士（専門職）」と変更する。

(新旧対照表) 基本計画書 (1 ページ)

新	旧
新設学部等の概要 学位又は称号 動物看護短期大学士（専門職）	新設学部等の概要 学位又は称号 動物看護学短期大学士（専門職）

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (8 ページ)

新	旧
1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (4)養成する人材像 ②ディプロマポリシー 卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護短期大学士（専門職）の学位を授与する。 (略)	1. 専門職短期大学設置の趣旨及び必要性 (4)養成する人材像 ②ディプロマポリシー 卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な知識、技術を修得した者に、卒業を認定し、動物看護学短期大学士（専門職）の学位を授与する。 (略)

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (9 ページ)

新	旧
<p>3. 専門職短期大学・学科の名称及び学位の名称 (2)学科及び学位の名称 (略)</p> <p>したがって、学科名は「動物トータルケア学科 (英語名 : Department of Animal Health Technology)」とする。また、学位は「動物看護短期大学士 (専門職) (英語名 : Associate Degree of Animal Health Technology)」とする。 (略)</p>	<p>3. 専門職短期大学・学科の名称及び学位の名称 (2)学科及び学位の名称 (略)</p> <p>したがって学科名は、「動物トータルケア学科 (英語名 : Department of Animal Health Technology and Career) とする。また、学位は「動物看護学短期大学士 (専門職) (英語名 : Associate Degree of Animal Health Technology and Career)」とする。 (略)</p>